新中崎分署建設工事

実施設計図

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長		担当課長		係長		担当		製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者					明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 表紙 縮尺 A1：－ A3：－	図番 ――

図面リスト

図面番号			図面名称
		A000	図面リスト
1	/194	A001	特記仕様書(1)
2	/194	A002	特記仕様書(2)
3	/194	A003	特記仕様書(3)
4	/194	A004	特記仕様書(4)
5	/194	A005	特記仕様書(5)
6	/194	A006	特記仕様書(6)
7	/194	A007	特記仕様書(7)
8	/194	A008	メーカーリスト
9	/194	A009	工事区分表
10	/194	A101	敷地案内図・付近見取り図
11	/194	A102	敷地現況図
12	/194	A103	敷地現況断面図
13	/194	A104	敷地面積表・求積図
14	/194	A105	配置図
15	/194	A201	面積表・求積図
16	/194	A202	仕上表(1)
17	/194	A203	仕上表(2)
18	/194	A204	仕上表(3)
19	/194	A205	ピット平面図
20	/194	A206	1 階平面図
21	/194	A207	2 階平面図
22	/194	A208	3 階平面図
23	/194	A209	4 階平面図
24	/194	A210	屋根伏図
25	/194	A211	立面図(1)
26	/194	A212	立面図(2)
27	/194	A213	断面図(1)
28	/194	A214	断面図(2)
29	/194	A215	断面図(3)
30	/194	A301	矩計図(1)
31	/194	A302	矩計図(2)
32	/194	A303	矩計図(3)
33	/194	A304	矩計図(4)
34	/194	A305	断面詳細図(1)
35	/194	A306	断面詳細図(2)
36	/194	A307	階段1詳細図
37	/194	A308	階段2詳細図(1)
38	/194	A309	階段2詳細図(2)
39	/194	A310	訓練用屋外階段 1 詳細図
40	/194	A311	訓練用屋外階段 2 詳細図
41	/194	A312	1 階平面詳細図(1)
42	/194	A313	1 階平面詳細図(2)
43	/194	A314	2 階平面詳細図(1)
44	/194	A315	2 階平面詳細図(2)
45	/194	A316	3 階平面詳細図(1)
46	/194	A317	3 階平面詳細図(2)
47	/194	A318	4 階平面詳細図(1)
48	/194	A319	4 階平面詳細図(2)
49	/194	A320	2,3階便所詳細図
50	/194	A321	3階脱衣室・浴室詳細図(1)
51	/194	A322	3階脱衣室・浴室詳細図(2)
52	/194	A401	1 階展開図(1)
53	/194	A402	1 階展開図(2)
54	/194	A403	1 階展開図(3)
55	/194	A404	1 階展開図(4)
56	/194	A405	2 階展開図(1)
57	/194	A406	2 階展開図(2)
58	/194	A407	3 階展開図(1)
59	/194	A408	3 階展開図(2)

図面番号			図面名称
60	/194	A409	3 階展開図(3)
61	/194	A410	4 階展開図(1)
62	/194	A411	4 階展開図(2)
63	/194	A412	4 階展開図(3)
64	/194	A413	1 階天井伏図
65	/194	A414	2 階天井伏図
66	/194	A415	3 階天井伏図
67	/194	A416	4 階天井伏図
68	/194	A501	建具配置図
69	/194	A502	建具表(1)
70	/194	A503	建具表(2)
71	/194	A504	建具表(3)
72	/194	A505	建具表(4)
73	/194	A506	建具表(5)
74	/194	A507	建具表(6)
75	/194	A508	建具表(7)
76	/194	A509	建具詳細図(1)
77	/194	A510	建具詳細図(2)
78	/194	A511	建具詳細図(3)
79	/194	A601	訓練用部分詳細図(1)
80	/194	A602	訓練用部分詳細図(2)
81	/194	A603	訓練用部分詳細図(3)
82	/194	A604	訓練用部分詳細図(4)
83	/194	A605	訓練用部分詳細図(5)
84	/194	A606	部分詳細図(1)
85	/194	A607	部分詳細図(2)
86	/194	A608	部分詳細図(3)
87	/194	A609	部分詳細図(4)
88	/194	A610	部分詳細図(5)
89	/194	A611	部分詳細図(6)
90	/194	A612	部分詳細図(7)
91	/194	A613	部分詳細図(8)
92	/194	A614	部分詳細図(9)
93	/194	A615	部分詳細図(10)
94	/194	A616	部分詳細図(11)
95	/194	A617	部分詳細図(12)
96	/194	A618	部分詳細図(13)
97	/194	A619	部分詳細図(14)
98	/194	A701	家具配置図(1)
99	/194	A702	家具配置図(2)
100	/194	A703	家具詳細図(1)
101	/194	A704	家具詳細図(2)
102	/194	A705	家具詳細図(3)
103	/194	A706	家具詳細図(4)
104	/194	A707	家具詳細図(5)
105	/194	A708	備品配置図(1)
106	/194	A709	備品配置図(2)
107	/194	A801	ホースリフター詳細図
108	/194	A802	オイルタンク詳細図
109	/194	A901	サイン配置図
110	/194	A902	サイン詳細図(1)
111	/194	A903	サイン詳細図(2)

図面番号			図面名称
112	/194	G001	外構撤去図
113	/194	G002	外構撤去リスト
114	/194	G003	外構撤去詳細図（1）
115	/194	G004	外構撤去詳細図（2）
116	/194	G005	外構撤去詳細図（3）
117	/194	G006	外構図(1)
118	/194	G007	外構図(2)
119	/194	G008	雨水排水計画図
120	/194	G009	緑化計画平面図
121	/194	G010	外構詳細図(1)
122	/194	G011	外構詳細図(2)
123	/194	G012	外構詳細図(3)
124	/194	G013	外構詳細図(4)
125	/194	K001	仮設計画図(1)
126	/194	K002	仮設計画図(2)
127	/194	K003	仮設計画図(3)
128	/194	K004	仮設計画図(4)
129	/194	K005	仮設計画図(5)
130	/194	K006	山留計画図
131	/194	S001	構造特記仕様書
132	/194	S002	鉄筋コンクリート構造配筋標準図
133	/194	S003	鉄骨工作標準図
134	/194	S004	高強度せん断補強筋設計・施工標準図
135	/194	S005	Hyper-MEGA工法設計・施工標準図
136	/194	S006	New J-BAR設計・施工標準図
137	/194	S007	土質柱状図(1)
138	/194	S008	土質柱状図(2)
139	/194	S009	土質柱状図(3)
140	/194	S010	杭伏図
141	/194	S011	基礎伏図
142	/194	S012	ピット伏図
143	/194	S013	1 階柱床梁伏図
144	/194	S014	2 階柱床梁伏図
145	/194	S015	3 階柱床梁伏図
146	/194	S016	4 階柱床梁伏図
147	/194	S017	R 階柱床梁伏図
148	/194	S018	軸組図(1)
149	/194	S019	軸組図(2)
150	/194	S020	軸組図(3)
151	/194	S021	軸組図(4)
152	/194	S022	軸組図(5)
153	/194	S023	軸組図(6)
154	/194	S024	基礎リスト(1)
155	/194	S025	基礎リスト(2)
156	/194	S026	基礎梁リスト(1)
157	/194	S027	基礎梁リスト(2)・基礎小梁リスト
158	/194	S028	柱梁芯線図 1 （1 階柱 1 階梁）
159	/194	S029	柱梁芯線図 2 （1 階柱 2 階梁）
160	/194	S030	柱梁芯線図 3 （2 階柱 3 階梁）
161	/194	S031	柱梁芯線図 4 （3 階柱 4 階梁）
162	/194	S032	柱梁芯線図 5 （4 階柱 R 階梁）
163	/194	S033	柱リスト
164	/194	S034	大梁リスト(1)
165	/194	S035	大梁リスト(2)
166	/194	S036	大梁リスト(3)
167	/194	S037	大梁リスト(4)
168	/194	S038	大梁リスト(5)
169	/194	S039	小梁リスト

図面番号			図面名称
170	/194	S040	スラブリスト
171	/194	S041	壁リスト
172	/194	S042	架構詳細図
173	/194	S043	階段詳細図(1)
174	/194	S044	階段詳細図(2)
175	/194	S045	階段詳細図(3)
176	/194	S046	階段詳細図(4)
177	/194	S047	雑詳細図(1)
178	/194	S048	雑詳細図(2)
179	/194	S049	屋上目隠しルーバー詳細図
180	/194	S050	ホースリフター詳細図
181	/194	S051	梁貫通スリーブ図（1 階）
182	/194	S052	梁貫通スリーブ図（2 階）
183	/194	S053	梁貫通スリーブ図（3 階）
184	/194	S054	梁貫通スリーブ図（4 階）
185	/194	S055	梁貫通スリーブ図（R 階）
186	/194	S056	柱梁納まり図(1)
187	/194	S057	柱梁納まり図(2)
188	/194	EV001	EV特記仕様書
189	/194	EV002	EV詳細図
190	/194	O001	法チエック図
191	/194	O002	平均地盤面算定表
192	/194	O003	目地・スリット図(1)
193	/194	O004	目地・スリット図(2)
194	/194	O005	耐火リスト

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 図面リスト

縮尺 A1：－ A3：－

図番 A000

特記仕様書

工事概要等

Ⅰ　工事概要

1　工事場所（地名地番）　明石市相生町1丁目93番6

2　地域・地区　準防火地域・近隣商業地域

3　敷地面積　1993.31㎡

4　工事内容
- ・庁舎　RC造4階建て　延べ面積1975.28㎡　1棟　新築
- ・外構　アスファルト舗装他　1式　新設
- ・植栽　1式　新設
- ・とりこわし　1式　撤去

Ⅱ　建築工事仕様

1　共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「標仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事に係る仕様は、それぞれの仕様書を適用する。

（3）昇降機設備工事を本工事に含む場合、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編(令和4年版)を適用する。

2　特記仕様

（1）項目は、番号に〇印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印が付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の＜　.　.　＞内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）使用材料は、再生材、Ｆ☆☆☆☆、低ＶＯＣ材料を選択する（各項共通事項）。

（5）構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先する（各項共通事項）。

1 各章共通事項

章	項目	特記事項
1 各章共通事項	① 適用基準等	※建築工事標準詳細図(令和4年改訂) （国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修） ※営繕工事写真撮影要領(令和5年改訂) （国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修） ※建築構造設計基準(令和3年改訂) （国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修） ⊙構内舗装・排水設計基準(平成27年制定) （国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修）
	② 工事実績情報ｻｰﾋﾞｽ(CORINS)への登録	※ 請負代金額が500万円以上の場合、適用する。　＜1.1.4＞
	③ 再生資源利用(促進)関係	※ 計画書及び実施書を作成（エクセルデータ可） ※ 建設リサイクル関係法令に基づく通知･届出等の必要がない工事は、データのみ提出
	④ 関係法令等の遵守	建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※ 外壁工事　※ 屋根工事　※ 防水工事 ※ 風速Vo=34m/s ※ 垂直積雪量　30cm ※ 地表面粗度区分（・Ⅰ　⊙Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ）
	⑤ 電気保安技術者	※ 配置する　＜1.3.3＞
	⑥ 施工条件	※ 工事用車両の駐車場及び資材置き場　＜1.3.5＞ （※ 場内　⊙ 場外（賃料は工事費に含む。）） その他、工事仕様書及び監督職員との協議による。
	⑦ 発生材の処理等	・ 発注者に引渡しを要するもの（　　）＜1.3.11＞ ・ 特別管理産業廃棄物　種類（　　） 処理方法（　　） ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ・ 現場において再資源化を図るもの（　　） ・ せっこうボードの処理方法 ・ 製造業者の回収　・ 管理型最終処分場 ・ その他（　　） ※ PCB含有物については監督員と協議の上、発注者に引き渡すこと。
	⑧ 建築材料等	※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新版）」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。
	⑨ 特別な材料の工法	※ 標仕に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
	10 技能士	＜1.5.2＞

作業の種別	技能検定の職種

章	項目	特記事項
	⑪ 化学物質の濃度測定	測定時期　＜1.5.9＞ ・ 工事着手前　※ 工事完成時　・ 工事着手前及び完成時 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド　※ トルエン　※ キシレン ・ パラジクロロベンゼン　※ エチルベンゼン　※ スチレン 測定方法 ※ パッシブ採取機器（サンプラー）を使用し、分析機関にて分析 測定対象室（　図示　）測定箇所数（　　）箇所 室内空気中化学物質の室内空気濃度基準値 ホルムアルデヒド　100μg/m3 (0.08ppm) トルエン　260μg/m3 (0.07ppm)　キシレン　200μg/m3 (0.05ppm) パラジクロロベンゼン　240μg/m3 (0.04ppm) エチルベンゼン　3,800μg/m3 (0.88ppm) スチレン　220μg/m3 (0.05ppm) ※ 化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。
	⑫ 技術検査	品確法に基づく工事施工途中における技術検査（中間技術検査） ※行う　＜1.6.2＞ ・実施回数（　　）回　実施する段階（　　） ⊙工事監督員の指示による。
	⑬ 完成図等	※ 完成図　＜1.7.1～1.7.3＞＜表1.7.1＞ 完成図の作成は、CADデータ修正による。 完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記する。 完成図の様式 ⊙ 二つ折り製本２部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記のこと） ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ（印刷物をスキャンしたものは不可） ※ 保全に関する資料　・（　　）部　※ ２部
	⑭ 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ⊙ 二つ折り製本１部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記のこと） ・ A3程度で軽微なものは、監督職員の承諾により完成図書に綴じ込みも可とする。
	⑮ 工事写真	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ写真(ｶﾗｰ,100万画素程度,1200×900pix程度,JPEG)　＜1.2.4＞ 記録紙　※ｺﾋﾟｰ用紙(68g/㎡以上)　・その他(　　) （記録紙は裏写りが無ければ両面印刷可。）
	⑯ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ
⊙ カラー ・ ハつ切り版 ⊙ キャビネ版	※ 外観４面 ※ 内観各室２面	※ 1 ・ 2	(mm) ※ 24×36

撮影業者　⊙ 建築完成写真撮影の実績のある業者
・ 建築完成写真撮影の実績は問わない

装丁　⊙ 写真用装飾アルバム（白表紙、金文字）
・ 市販アルバム

章	項目	特記事項
	⑰ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
	⑱ 交通誘導員	※ 要（延べ　人）⊙ 仮設計画による 資格要件 ⊙ 交通誘導員A（１、２級交通誘導警備検定合格者） ※ 交通誘導員B（警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事するもの）
	⑲ 官公署その他への届出手続等	・公共基準点の工事に伴い、工事着手前に公共測量実施（または廃止）計画書を提出すること。また完了後に報告書を提出すること。 ・兵庫国道事務所(明石維持出張所)へ、道路工事施工承認申請をおこなうこと。
2 仮設工事	1 監督職員事務所	監督職員事務所　・ 設置する（図示）　＜2.3.1＞ 監督職員事務所の仕上げの程度、備品、設備等　＜2.3.1＞ ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル,椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置すること。 ・ その他の備品、設備（ 図示 ）
	② 表示板	※ 設置する（明石市指定様式（900×600））　＜2.3.1＞ （ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る）
	③ 工事用水及び電力	工事用水　構内既存施設　⊙ 利用不可 ・ 利用可（・ 有償　・ 無償） 工事用電力　構内既存施設　⊙ 利用不可 ・ 利用可（・ 有償　・ 無償）
	④ 仮設物撤去等	※ 原形に復する
	⑤ 仮設物	監視カメラ(計2台) ⊙SDカード等による本体録画機能　⊙屋外対応 ⊙防水(防雨)対応　⊙固定金物共(仮囲い固定)
3 土工事	① 埋戻し及び盛土	種別、材料及び工法　＜3.2.3＞＜表3.2.1＞ ⊙ A種　※ B種　・ C種　・ D種　・その他（　　）
	② 建設発生土の処理	処理方法　＜3.2.5＞ ・（　　）　※工事現場外に搬出し、適切に処理
4 地業工事	① 試験杭	位置　※ 本杭の最初の1本　⊙ 図示　＜4.2.2＞ 本数及び寸法　※ 図示　＜4.2.2＞
	2 杭及び地盤の載荷試験	杭の載荷試験　・ 鉛直載荷試験　・ 水平載荷試験　＜4.2.3＞ 試験杭の載荷荷重　※ 図示　＜4.2.3＞ 地盤の載荷試験（平板載荷試験）　・ 適用する　＜4.2.4＞ 載荷試験の位置及び載荷加重　※ 図示　＜4.2.4＞ 試験方法及び報告書の記載事項等は、敷地調査共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)による。
	③ 既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	種類、性能、曲げ強度等による区分等　※ 構造図による　＜4.3.3＞ 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等　＜4.3.3＞ ※ 構造図による 杭の工法　＜4.3.1＞＜4.3.4.5＞

・ ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法	支持層の位置及び土質　※ 構造図による アースオーガーの支持層への掘削深さ ※ 1.5m以上　・ 構造図による 杭の支持層への根入れ深さ ※ 1.0m以上　・ 構造図による 根固め液及び杭周固定液の管理試験（　　）
⊙ 特定埋込杭工法	支持層の位置及び土質　※ 構造図による

杭の精度
根入れ長さの精度　※ 構造図による　＜4.3.5＞
水平方向の位置ずれの精度　＜4.3.5＞
※ 再計算による（監督職員に確認要）　・ 杭径/4かつ100mm以下
継手　＜4.3.6＞
※ アーク溶接継手　⊙ 無溶接継手（工法等：T.P JOINT ）
杭頭の処理　＜4.3.8＞
※ アーク溶接継手　・ 無溶接継手（工法等：　　）

章	項目	特記事項
	4 鋼杭地業	鋼杭の材料　※ 構造図による　＜4.4.3＞ 先端部形状及び補強　※構造図による 杭の工法　＜4.4.4＞ ・ 特定埋杭込工法　支持層の位置及び土質　※ 構造図による 杭の精度 根入れ長さの精度　※ 構造図による 水平方向の位置ずれの精度 ※ 再計算による（監督職員に確認要）　・ 杭径/4かつ100mm以下 継手の工法　※ 構造図による　＜4.4.5＞ 杭頭の処理　※ 処理しない（切断しない）・ 処理する　＜4.4.6＞
	5 場所打ちｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	帯筋の加工及び組立　※ 構造図による　＜4.5.4＞ 鉄筋の最小かぶり厚さ　※ 構造図による　＜4.5.4＞ 鉄筋かごの補強　※ 構造図による　＜4.5.4＞ 組み立てた鉄筋の節ごとの継手　※ 重ね継手　・ 図示　＜4.5.4＞ セメントの種類　※ 高炉セメントB種　・ 図示　＜4.5.4＞ コンクリートの設計基準強度（Fc）　※ 図示　＜4.5.4＞ コンクリートの種別　・ A種　・ B種　＜4.5.4＞＜表4.5.1＞ スランプ（cm）　※ 18　・ 図示　＜4.5.4＞ 構造体強度補正値（S）（N/mm2）　※ 3　・ 図示　＜4.5.4＞ 鋼管部分の材料　※ 図示　＜4.5.4＞ 杭の工法　＜4.5.5＞＜4.5.6＞ ・ ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ工法　・ ﾘﾊﾞｰｽ工法　・ ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法 ・ 場所打ち鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法　・ 拡底杭工法 支持層の位置及び土質　※ 構造図による　＜4.5.5＞ 本杭の支持層への根入れ深さ　※ 構造図による　＜4.5.5＞ 水平方向の位置ずれの精度　＜4.5.5＞ ※ 再計算による（監督職員に確認要）　・ 杭径/4かつ100mm以下 超音波測定器による孔壁確認　・ 行う　＜4.5.5＞
	⑥ 砂利、砂、捨ｺﾝｸﾘｰﾄ地業等	砂利地業に使用する砂利　＜4.6.2＞ ・ 再生クラッシャラン　⊙ 切込砂利　⊙ 切込砕石 砂地業に使用する砂　＜4.6.2＞ ・ ｼﾙﾄ　⊙ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂 ・ 川砂　⊙ 砕砂 床下防湿層に使用する材料　＜4.6.2＞ ※ ポリエチレンフィルム（厚さ0.15mm以上）　・ 図示 砂利及び砂地業の範囲　※ 図示　＜4.6.3＞ 砂利及び砂地業の厚さ　※ 60　⊙ 図示 捨コンクリートの範囲　※ 図示　＜4.6.4＞ 捨コンクリートの厚さ　※ 50　⊙ 図示 防湿層の適用　・ 適用する　⊙ 適用しない 防湿層の範囲　※ 図示　＜4.6.5＞
5 鉄筋工事	① 鉄筋の種類	鉄筋の種類等　＜5.2.1＞＜表5.2.1＞ ※ 構造図（構造特記仕様書）による
	② 溶接金網	鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径　＜5.2.2＞ ※ □150　6φ　⊙ □100　6φ
	③ 加工	90°未満の折曲げの内法直径　＜5.3.2＞＜表5.3.1＞ ※ D16以下：4d以上、D19～25：6d以上、D29～38：8d以上
	④ 継手及び定着	呼び径19mm以上の柱、梁の主筋　＜5.3.4＞＜5.5.2＞ ※ ガス圧接　・ 重ね継手　・ 機械式継手　・ 溶接継手 上記以外の鉄筋　※ 重ね継手 機械式定着工法の適用 ・適用箇所（・　　・図示　） ・種類（　　） 継手位置　※ 構造図による 柱、梁の主筋、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　（ 40 ）d 定着長さ　※ 構造図による　・ 標仕　表5.3.4による 仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さが、表5.3.4のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法　⊙ 図示
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	※ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。　＜5.3.5＞＜表5.3.6＞ ・耐久上不利な箇所、軽量コンクリートの場合の鉄筋のかぶり厚さは構造図による。

施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 軽量コンクリートを使用し、土に接する部分	※ 10

章	項目	特記事項
	⑥ 各部配筋	※ 各部配筋参考図による　⊙ 構造図による　＜5.3.7＞
	⑦ 圧接完了後の圧接部の試験	※ 超音波探傷試験　・ 引張試験　＜5.4.10＞ ・ 引張試験の方法等（　　）

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 設計者 佐藤 貞清	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
		明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 特記仕様書(1)　縮尺 A1：－ A3：－	図番 A001

6 コンクリート工事

① ｺﾝｸﾘｰﾄの種類
ｺﾝｸﾘｰﾄの類別 ※Ⅰ類 ・Ⅱ類 ＜6.2.1＞
気乾単位容積質量による種類 ※普通ｺﾝｸﾘｰﾄ ・軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ
建築基準法第37条第２号の規定に基づく国土交通大臣の認定を受けたｺﾝｸﾘｰﾄ ・適用する

設計基準強度Fc (N/mm2)	ｽﾗﾝﾌﾟ (cm)	適用箇所
※21 ・24	※15 ・18	基礎、基礎梁、土間ｽﾗﾌﾞ
※18	※18	柱、梁、ｽﾗﾌﾞ、壁
	※15 ・18	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ
構造図による		

② 構造体ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上り
ｺﾝｸﾘｰﾄの打放し仕上げ ＜6.2.5＞＜表6.2.4＞
・A種 ・B種 ・C種 ⊙図示
ｺﾝｸﾘｰﾄの仕上りの平たんさ ＜表6.2.5＞
・a種 ・b種 ・c種 ⊙図示

③ セメントの種類
※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・高炉ｾﾒﾝﾄA種 ＜6.3.1＞＜表6.3.1＞
・ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種
高炉ｾﾒﾝﾄB種及びﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種の適用箇所 ※ 図示

④ 骨材の種類
・ﾌｪﾛﾆｯｹﾙｽﾗｸﾞ ・銅ｽﾗｸﾞ細骨材
・電気炉酸化ｽﾗｸﾞ骨材 ・再生骨材H
ｱﾙｶﾘｼﾘｶ反応性による区分 ※A ・B

⑤ 混和材料
・混和剤の種類(AE減水剤)
・混和剤の種類(高性能AE減水剤)

⑥ 構造体強度補正値(S)
・(　　)N/mm2 ※表6.3.2による ＜6.3.2＞＜表6.3.2＞

7 打継ぎ
打継ぎの位置 ※図示 ＜6.6.4＞
打継ぎ目地の寸法 ※幅20mm以上、深さ10mm以上 ・図示

⑧ 湿潤養生
・普通ｴｺｾﾒﾝﾄの場合(　　) ＜6.7.2＞

⑨ 型枠
外部に面するｺﾝｸﾘｰﾄの打増し厚さ ＜6.8.1＞
※20mm ・図示
ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法 ＜6.8.1＞
※図示
せき板の材料 ＜6.8.2＞
※合板(厚さ12mm) ・断熱材兼用型枠材 ・MCR工法用ｼｰﾄ
ｽﾘｰﾌﾞの材料 ＜6.8.2＞＜表6.8.1＞
・鋼管 ・硬質ポリ塩化ﾋﾞﾆﾙ管
・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼管
存置期間 ＜6.8.4＞
※標仕 表6.8.2及び表6.8.3の圧縮強度かつせき板で中2日、支柱で中10日以上は存置すること。
・普通ｴｺｾﾒﾝﾄの場合(　　)

⑩ 強度試験
※構造体ｺﾝｸﾘｰﾄの強度判定のための圧縮強度試験は、公的機関にて行う。 ＜6.9.3＞
(公的機関には、JABの認定又はJNLAの登録を受けている試験所を含む)

11 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ
適用箇所 ※図示 ＜6.10.1＞
種別 ・1種 ・2種 (気乾単位容積質量 t/m3)
ｽﾗﾝﾌﾟ(cm) ※21 ・図示 ＜6.10.2＞

12 寒中ｺﾝｸﾘｰﾄ
適用期間 ※図示 ＜6.11.1＞＜6.11.2＞＜表6.3.2＞
構造体強度補正値(S) ※表6.3.2による ・図示

13 暑中ｺﾝｸﾘｰﾄ
構造体強度補正値(S)(N/mm2) ※3 ・6 ＜6.12.2＞

14 ﾏｽｺﾝｸﾘｰﾄ
適用箇所 ※図示 ＜6.13.1＞
ｾﾒﾝﾄの種類 ＜6.13.2＞
・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・高炉ｾﾒﾝﾄB種 ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種 ・ｼﾘｶｾﾒﾝﾄ
・混和剤の種類(　　)
・混和剤の種類(　　)
ｽﾗﾝﾌﾟ(cm) ※15cm ・図示 ＜6.13.2＞
構造体強度補正(S) ＜6.13.2＞
※表6.13.1による ・(　　)N/mm2

15 流動化ｺﾝｸﾘｰﾄ
・適用する ＜6.15.1＞

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場
加工能力等 ※構造特記仕様書による ＜7.1.3＞

② 施工管理技術者
※配置する ＜7.1.4＞

③ 鋼材
種類、形状及び寸法 ※ 構造図による ＜7.2.1＞＜表7.2.1＞

④ 高力ﾎﾞﾙﾄ
(※)ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ ・JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ ＜7.2.2＞
⊙溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ
・建築基準法に基づく認定を受けた上記以外の高力ﾎﾞﾙﾄ(　　)
ねじの呼び(　　)

⑤ 普通ﾎﾞﾙﾄ
ボルト及びナットの材料等 ＜7.2.3＞
※標仕 表7.2.3 ・ その他(　　)
ねじの呼び(　　)

⑥ ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
・構造用(種類 ※SNR400B ・SS400) ＜7.2.4＞
・建方用(種類 ・SNR400B ※SS400)
公差域ｸﾗｽ及び仕上げの程度 ※表7.2.3 ・構造図による

⑦ 溶接材料
・表7.2.4以外の溶接材料(　　) ＜7.2.5＞

⑧ ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ
種類、ねじの呼び等 ＜7.2.6＞
建築用ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙﾎﾞﾙﾄの種類 ※羽子板ﾎﾞﾙﾄ
建築用ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ胴の種類 ※割枠式

9 床構造用のﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ
材質、形状及び寸法 ※構造図による ＜7.2.7＞

10 ｽﾀｯﾄﾞ
種類等 ※構造図による ＜7.2.8＞

⑪ 柱底均しﾓﾙﾀﾙ
※構造図による ＜7.2.9＞
・無収縮ﾓﾙﾀﾙ(※ﾌﾟﾚﾐｯｸｽ ・標仕 7.2.9)

⑫ 工作図
高力ボルト、普通ﾎﾞﾙﾄ及びｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄの縁端距離、ﾎﾞﾙﾄ間隔、ｹﾞｰｼﾞ等
※構造図による ＜7.3.2＞

⑬ 仮組
※実施しない ・実施する ＜7.3.10＞

⑭ 高力ﾎﾞﾙﾄ接合
すべり試験 ※実施しない ・実施する ＜7.4.2＞
試験の方法等(　　)
ﾅｯﾄ回転法(JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ)の回転量(　　)
(ﾎﾞﾙﾄの長さがねじの呼びの５倍を超える場合に限る) ＜7.4.7＞

⑮ 溶接接合
技能資格者に対する技量付加試験 ＜7.6.3＞
※実施しない ・実施する
開先の形状 ※構造図による ＜7.6.4＞
・鋼製ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞの切断 ＜7.6.7＞
切断箇所(　　) 切断範囲(　　)
切断面の仕上げ(　　)
ｽｶﾗｯﾌﾟの形状 ※構造図による

⑯ 溶接部の試験
※構造図による ＜7.6.12＞

17 ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄの溶接
ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄと鉄骨部材の溶接方法 ※構造図による ＜7.7.8＞

⑱ 錆止め塗装
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示 ＜7.8.2＞
上記以外の面の塗装範囲 ・ 図示
鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の鋼製ｽﾘｰﾌﾞで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料の種別 ※A種 ・B種 ＜7.8.4＞
耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料の種別
・A種 ・B種 ＜7.8.4＞

19 耐火被覆
＜7.9.2＞＜7.9.3＞

種類		耐火性能等
・耐火材吹付け	・半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
	・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		
・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り		
・耐火塗料塗り		

⑳ アンカーボルトの設置等
・ 構造用アンカーボルト及びアンカーフレーム ＜7.10.3＞
形状並びに寸法 ※ 図示
・ 建方用アンカーボルトの保持及び埋め込み工法
・ A種 ・ B種 ＜7.10.3＞＜表7.10.1＞
柱底均しモルタルの厚さ ※ 30mm ・ 50mm ・ 図示 ＜7.10.3＞
柱底均しモルタルの工法 ※ A種 ・ B種 ＜表7.10.2＞

㉑ 軽量形鋼
ボルトの接合方法 ※ 普通ボルト接合 ・ 図示 ＜7.11.2＞

㉒ 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合
摩擦面の処理方法 ※ ブラスト処理 ・ りん酸塩処理 ＜7.12.5＞

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板

1 建築用ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ
＜8.2.2＞

	種類	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法	正味厚さ
・補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造	(　　)	長さ(　　) 高さ(　　) (mm)	・100 ・120 ・150 ・190 ・図示 (mm)
・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀	※空洞ﾌﾞﾛｯｸC(16) ・(　　)		

ﾓﾙﾀﾙ調合
※表8.2.1 ・監督職員の承諾 ・図示
各部の配筋 ※図示 ＜8.2.5＞＜8.3.4＞
目地仕上げ ※押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ ＜8.2.7＞
ﾓﾙﾀﾙ又はｺﾝｸﾘｰﾄの充填範囲 ※図示 ＜8.2.8＞＜8.3.7＞

2 ALCﾊﾟﾈﾙ
＜8.4.2＞

区分			設計荷重 (N/mm2)	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	耐火性能 (時間)
・一般	・平	・外壁用					
		・床用					
		・間仕切壁用					
		・屋根用					
	・意匠	・外壁用					
		・間仕切壁用					
・ｺｰﾅｰ	・平	・外壁用					
		・間仕切壁用					
	・意匠	・外壁用					
		・間仕切壁用					

ﾊﾟﾈﾙ相互の接合部に挿入する耐火目地材 ※図示 ＜8.4.2＞
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法の種別 ・A種 ・B種 ＜8.4.3＞
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法における耐風圧性能及び耐震性能 ＜8.4.3＞
・図示
間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ構法の種別 ・C種 ・D種 ・E種 ＜8.4.4＞
間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ構法における耐震性能 ＜8.4.4＞
・図示
幅300mm未満のﾊﾟﾈﾙの使用 ・使用する ＜8.4.3＞
ﾊﾟﾈﾙ短辺小口相互の接合部の目地幅 (mm) ＜8.4.3＞
※10～20 ・図示
出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取合い部の伸縮目地幅(mm) ※10～20 ・図示 ＜8.4.3＞
伸縮調整目地に対する耐火目地材の充填 ・充填する ＜8.4.3＞

3 押出成形ｾﾒﾝﾄ板 (ECP)
＜8.5.2～8.5.5＞＜表8.5.1～2＞

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	工法	耐火性能	開口寸法の限界
・外壁	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ ・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ ・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ	※50 ・図示	・A種 ・B種	※有(　　) ・無 ※目地 (製造所の仕様)	※図示
・間仕切壁	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ ・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ ・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ	※50 ・図示	・B種 ・C種	※有(　　) ・無 ※目地 (製造所の仕様)	※図示

外壁ﾊﾟﾈﾙ構法における耐風圧性能及び耐震性能 ＜8.5.3＞
・図示
幅300mm未満のﾊﾟﾈﾙの使用 ・ 使用する ＜8.5.3＞
ﾊﾟﾈﾙ相互の目地幅(mm) ※図示(長辺≧8、短辺≧15) ＜8.5.3＞
伸縮目地幅(mm) ※15 ・図示 ＜8.5.3＞
耐火構造以外の目地及び隙間の処理 ＜8.5.3＞
※ﾊﾟﾈﾙ製造所の仕様による ・図示
間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ構法における耐震性能 ＜8.5.4＞
・図示
設備開口寸法の限度 ＜8.5.5＞
・図示

9 防水工事

① ｱｽﾌｧﾙﾄ防水
改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ ＜9.2.2＞
※表9.2.3～8による ・図示
部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ
※表9.2.5～8による ・図示
押え金物の材質及び形状寸法 ＜9.2.2＞
⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ製L-30×15×2.0(mm) ※図示
屋根保護防水断熱工法における断熱材の厚さ ※図示 ＜9.2.2＞
屋根露出防水断熱工法における断熱材の種類及び厚さ ＜9.2.2＞
※図示
絶縁ｼｰﾄの材料
・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ(厚さ0.15mm以上)⊙ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ(70g/㎡程度)

防水層の工法による種別 ＜表9.2.3～表9.2.9＞

工法	種別	工法	種別
屋根保護防水密着工法	・A-1 ・A-2 ・A-3	屋根露出防水絶縁工法	・D-1 ・D-2
屋根保護防水密着工法	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3	屋根露出防水絶縁断熱工法	・DI-1 ・DI-2
屋根保護防水絶縁工法	・B-1 ⊙B-2 (3F)	屋内防水密着工法	⊙E-1 ・E-2 (浴室)
屋根保護防水絶縁断熱工法	・BI-1⊙BI-2 (4F,RF)		

立上り部における保護工法 ・図示 ⊙乾式保護材 ＜表9.2.3～6＞
立上り部への断熱材及び絶縁ｼｰﾄの設置 ・図示 ＜表9.2.4,6＞
露出防水における仕上塗料の種類及び使用量 ＜表9.2.7～8＞
※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による ・図示
下地にﾓﾙﾀﾙ塗りを適用する箇所 ※図示 ＜9.2.4＞
屋根露出防水絶縁断熱工法のﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示 ＜9.2.4＞
立上り部の保護工法 ※図示 ＜9.2.5＞
れんが押えの場合の仕様 ※図示 ＜9.2.5＞
屋上排水溝 ⊙設置する ＜9.2.5＞

2 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水
改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ ＜9.3.2＞
※表9.3.1～3による ・図示 ＜9.3.2＞
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ ＜9.3.2＞
※表9.3.2～3による ・図示
押え金物の材質、形状及び寸法 ＜9.3.2＞
・ｱﾙﾐﾆｳﾑ製L-30×15×2.0(mm) ※図示
断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ ※図示 ＜9.3.2＞
防水層の種別 ＜9.3.3＞＜表9.3.1～表9.3.3＞

工法	種別
屋根露出防水密着工法	・AS-T1 ・AS-T2
屋根露出防水絶縁工法	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1
屋根露出防水絶縁断熱工法	・ASI-T1 ・ASI-J1

仕上塗料の種類及び使用量 ＜表9.3.1～3＞
※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様による ・図示
脱気装置の種類及び設置数量 ＜9.3.3＞
※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様による ・図示
屋根露出防水絶縁断熱工法における防湿用ｼｰﾄ ＜表9.3.3＞
・設置する

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水
ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ ＜9.4.2＞
※表9.4.1～3による ・図示
可塑剤移行防止用ｼｰﾄの材質 ＜9.4.2＞
※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ ・図示
固定金具の材質、形状及び寸法 ＜9.4.2＞
※防錆処理鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの(厚さ0.4mm以上)
・図示
断熱工法(機械的固定工法及び接着工法)に用いる断熱材の種類及び厚さ ※図示 ＜9.4.2＞
防水層の種別 ＜9.4.3＞＜表9.4.1～表9.4.3＞

工法	種別
合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2
合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水(断熱工法)	・SI-F1 ・SI-F2 ・SI-M1 ・SI-M2
合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水(屋内保護密着工法)	・S-C1

接着工法における脱気装置の種類及び設置数量 ＜9.4.3＞
※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による ・図示
S-F2又はS-M2における仕様 ＜表9.4.1＞
・軽歩行仕様 ・非歩行仕様
仕上塗料の種類及び使用量 ＜表9.4.1～2＞
※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による ・図示
断熱工法における防湿用フィルムの設置 ＜表9.4.2＞
・設置する
屋内保護密着工法におけるモルタルの塗厚 ＜表9.4.3＞
※図示

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	

製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
2025年1月	図面名称 特記仕様書(2)	縮尺 A1:－ A3:－	図番 A002

接着工法におけるﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地の場合の目地処理　<9.4.4>
※図示
S-F1又はSI-F1の場合のﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地の入隅部の増張り <9.4.4>
※図示
機械的固定工法における建築基準法に基づく風圧力に対応 した工法
※適用する　<9.4.4>
（固定金具の引張試験を3箇所行い、計算書作成の上ﾋﾟｯﾁを決定する）
立上り部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗厚（mm）　<9.4.4>
※7mm以下　・図示

④ 塗膜防水

防水層の種別及び工程　<9.5.3><表9.5.1～表9.5.2>

工法	種別
ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水	・X-1（絶縁工法）　⊙X-2（密着工法）
ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水	・Y-1　・Y-2

エフワンエヌ 高強度ウレタン・ゴムアス複合防水 M-BP153 同等品
仕上塗料の種類及び使用量　<表9.5.1>
※主材料の製造所の仕様による　・図示
X-1における脱気装置の種類及び設置数量　<9.5.3>
※主材料の製造所の仕様による　・図示
ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水における工程数及び各工程の使用量
※主材料製造所の仕様による　・図示
保護層の仕様（Y-2工法）　・図示　<9.5.3>

5 ｹｲ酸質系塗布防水

壁及び天井部の防水層下地の仕上げ　<9.6.4>
※ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ（B種）　・図示
防水層下地のｺﾝｸﾘｰﾄの打継ぎ箇所の処理　<9.6.4>
※30×30程度の目地棒を用い、除去後水洗い清掃し製造所の仕様に
よりﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙを充填
・図示
標仕の規定以外の下地処理　※図示　<9.6.4>

⑥ 防水保証
及び施工標識

※三者連名防水保証の保証期間
工事完成日の翌日から　※10年　・5年
※ｱｸﾘﾙ板（200×150×3.0、ｽﾃﾝﾚｽﾋﾟｽ止め、ｴｯﾁﾝｸﾞ文字書き込み）
（工事年度、工事名称、受注者名、施工業者名、ﾒｰｶｰ名、
施工部位、防水種別、商品（工法）名、保証期間を記入）

⑦ ｼｰﾘﾝｸﾞ

下表以外は、(表9.7.1)による　**<9.7.2,3>**

種類	施工箇所	寸法（幅×深さ）mm
	・図示　・（　　）	
	・図示　・（　　）	
	・図示　・（　　）	

仕上げを行わない場合　※図示　<表9.7.1>
２成分形ｼｰﾘﾝｸﾞ材のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ　※不要　・要　<9.7.4>
接着性試験　<9.7.5>
⊙行う（※簡易接着性試験　・引張接着性試験）　・行わない

10 石工事

1 施工一般

② 石材

石材の割付　※図示　<10.1.3>
石材の形状及び寸法　<10.2.1>
※正方形に近い矩形、1枚の面積0.8㎡以下　・図示
・幅及び高さ1,200mm以下、重量70kg以下（外壁乾式工法の場合）
石材の仕上げの種類等　<表10.2.1～表10.2.2>

施工箇所	仕上げの種類	石材の種類
浴室	JB仕上	御影石
浴室	小叩き	御影石

ｼﾞｪｯﾄﾊﾞｰﾅｰ仕上げの場合のﾊﾞﾌ仕上げ　<表10.2.1>
※有り　・無し
ﾃﾗｿﾞの種石の種類及び大きさ　<10.2.1>
※大理石、1.5～12mm　・図示
ﾃﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸの形状、仕上げ面による区分及び寸法　<10.2.1>
※図示
ﾃﾗｿﾞﾀｲﾙの寸法による区分　※図示　<10.2.1>
ﾃﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸ及びﾃﾗｿﾞﾀｲﾙの表面仕上げの種類
・粗磨き　・水磨き　・本磨き　<10.2.1><表10.2.2>

3 取付け金物

受金物の材質、形状及び寸法　<10.2.2>
※ｽﾃﾝﾚｽ、L-75×75×6(mm)、長さ100又は150mm　・図示
外壁乾式工法用金物の種類、形状及び寸法　<表10.2.4>
※表10.2.4による　・図示
外壁乾式工法用金物の方式　<表10.2.4>
・ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ﾛｯｷﾝｸﾞ方式

④ その他の材料

特殊部位に使用する引金物、だぼ、かすがい及び受金物
※外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物に準ずる　・図示
特殊部位に使用するﾌｧｽﾅｰの方式　<10.2.2>
・ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ﾛｯｷﾝｸﾞ方式　・図示
ｱﾝｶｰの材質、寸法　※10.2.2(4)による　・図示　<10.2.2>
あと施工ｱﾝｶｰの材質、寸法等　※図示　<10.2.2>
上記以外の金物の材質、形状及び寸法　<10.2.2>
※見本又は証明となる資料等を監督職員に提出　・図示

取付用ﾓﾙﾀﾙ、既調合目地用ﾓﾙﾀﾙ、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材　<10.2.3>
※専門工事業者の指定製品　・図示
外壁湿式工法に使用するﾄﾞﾚﾝﾊﾟｲﾌﾟの材質　※図示　<10.2.3>
金物の固定に使用する充填材料　<10.2.3>
※専門工事業者の指定製品　・図示

⑤ 工法

<10.3.1～10.7.4>

施工箇所	工法	石材厚さ(mm)	石裏面,裏打ち処理の適用	下地ごしらえ	一般目地幅(mm)	伸縮調整目地 位置	伸縮調整目地 目地寸法
	外壁湿式						
	内壁空積						
	乾式						
床及び階段							
特殊部位	湿式	30	○	モルタル	3～6		

11 タイル工事

① 一般事項

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　<11.1.3>
※表11.1.1による　・図示
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法　<11.1.3>
※9.7.3による　・図示
※便所等、室内の入隅、建具取合等は、5mm×5mm程度の目地幅とし、
吹き抜けの玄関ﾎｰﾙ壁等は上記による。

② 材料、工法等

ﾀｲﾙの種別・工法等　<11.2.2～11.4.2>

施工箇所	形状寸法(mm)	種類	工法	釉薬 無釉	釉薬 施釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性/耐摩耗性 適用	耐凍害性/耐摩耗性 適用
便所内	600×1,000	汚垂ﾀｲﾙ	－	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・
壁：風除室エントランス	295×47	内装壁ﾀｲﾙ	接着	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・
床：風除室エントランス	600×600	内装床ﾀｲﾙ	－	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	⊙
乾燥室・除染室・救急消毒室	100×100	内装床ﾀｲﾙ	－	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	⊙
乾燥室・除染室・救急消毒室	50×50	内装壁ﾀｲﾙ	接着	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	⊙
壁：エントランス	295×47	外装壁ﾀｲﾙ	接着	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・
床：エントランス	600×600	外装床ﾀｲﾙ	－	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	⊙
壁：浴室	295×19.5	外装壁ﾀｲﾙ	接着	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・
立ち上り：浴室・浴槽	600×300	外装壁ﾀｲﾙ	接着	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	・
床：浴槽	297×297	浴槽床ﾀｲﾙ	－	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	⊙

風除室・エントランス壁　：国代耐火工業所　G2Y同等品
風除室・エントランス床　：国代耐火工業所　600G(F)-RLT3-5同等品
浴室壁　：LIXIL　HAL-20BR/HB-6同等品
浴室・浴槽立ち上り　：国代耐火工業所　36G(F)-RLT3-9同等品
浴槽床　：LIXIL IFT-300/ST33N同等品
乾燥室・除染室・救急消毒室床：LIXIL ADG-100NETM同等品
乾燥室・除染室・救急消毒室壁：LIXIL ADM-155M同等品
※標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形品と
する。
ﾀｲﾙの試験張り、見本焼き　<11.2.2><11.3.2>
※行わない　・行う
下地ﾓﾙﾀﾙ塗りを行うｺﾝｸﾘｰﾄ素地面の処理
・目荒し工法　・MCR工法　・図示　<11.2.6><11.3.5>

③ 下地及び
ﾀｲﾙごしらえ

④ 有機系接着剤による
ﾀｲﾙ張り

ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　<11.3.4>
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・図示
伸縮調整目地、その他の目地　※変成ｼﾘｺｰﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ　・図示

12 木工事

① 材料

木材の含水率　※A種　・B種　・図示　<12.2.1><表12.2.1>
木材の規格・樹種等
<12.2.1><12.4.1><12.5.1><12.6.1><12.7.1>

施工箇所	材種・規格	形状寸法(mm)	等級など(材面の品質)	含水率	保存処理
下地	杉	90×90	2級	A級	
下地	杉	45×55	2級	A級	
下地	杉	90×45	2級	A級	

② 防腐・防蟻処理

薬剤の加圧注入の適用部位及び処理の種類　※図示　<12.3.1>
薬剤の保存処理性能区分　<12.3.1>
・K2　⊙K3　・K4　・図示
表面処理用木材保存剤による処理の適用　・適用する　<12.3.1>
塗布する薬剤の種類及び適用部材　※図示　<12.3.1>
薬剤塗布の処理方法　※製造所の仕様による　・図示　<12.3.1>
薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　・行う　<12.3.1>
合板等の加圧注入による防腐,防蟻処理　・行う　<12.3.1>

③ 防虫処理

防虫処理　⊙適用する　<12.3.2>

4 内部間仕切軸壁
及び床組

間仕切軸組に製材を用いる場合の木材　※杉又は松　・図示 <12.4.1>
床組に製材を用いる場合の木材　※杉又は松　・図示

5 窓、出入口その他

窓、出入口その他に製材を用いる場合の木材　<12.5.1>
※ひのき（吊元枠、水掛りの下枠及び敷居）
※その他（松又は杉）　・図示

6 床板張り

縁甲板及び上がりがまちに製材を用いる場合の木材　<12.6.1>
※ひのき　・図示

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

板及びｺｲﾙの種類　<13.2.2>
※屋根用ｺｲﾙ(JISG3322)　・図示
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等　※図示　<13.2.2>
下葺材料の種類　<13.2.2>
・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940
・改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材
（・一般ﾀｲﾌﾟ　・複層基材ﾀｲﾌﾟ　・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
屋根葺形式　<13.2.3>
・瓦棒葺(心木なし)　・立平葺　・横葺　・図示
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　<13.2.3>
・適用する
葺板の寸法・厚さ、下地、留付け方法　※図示　<13.2.3>
雪止め　・設ける　<13.2.3>

2 折板葺

折板の材料による区分　※鋼板製　・図示　<13.3.2>
折板の形式、山高・山ﾋﾟｯﾁ及び耐力による区分並びに厚さ　<13.3.2>
※図示
折板に使用する材料の材質の種類　※図示　<13.3.2><表13.2.1>
軒先面戸板　・適用する　<13.3.2>
折板に張る断熱材の種類、厚さ、防火性能等　※図示　<13.3.2>
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　・適用する　<13.3.3>
耐雪性能に対応した工法　・適用する　<13.3.3>
折板のけらば納め　・図示　※けらば包み　<13.3.3>

3 粘土瓦葺

種類、大きさ、産地等　※図示　<13.4.2>
役物瓦の種類　・鬼瓦　・のし瓦　・冠瓦　<13.4.2>
・袖瓦　・桟瓦　・軒瓦
雪止め瓦　・使用する　<13.4.2>
凍害試験(JISA5208)　・行う　<13.4.2>
瓦桟木の材質及び寸法　<13.4.2>
※杉、幅21×高さ15(mm)以上　・図示
棟補強用心材の材質及び寸法　<13.4.2>
※杉、幅40×高さ30(mm)以上　・図示
瓦緊結用釘又はねじの種類、径及び長さ　※図示　<13.4.2>
棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法
※図示　<13.4.2>
建築基準法に基づく風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等の工法
※図示　<13.4.3>
瓦緊結用釘又はねじの有効長さの最小値　※図示　<13.4.3>
桟木の留付け工法　※図示　<13.4.3>
棟の工法　<13.4.3>
・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部の仕上げ　<13.4.3>
※モルタル又は瓦葺き用しっくい

④ とい

といその他の材種等　<13.5.2><表13.5.1>
・配管用鋼管　・排水管継手　⊙硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管
⊙硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手　⊙ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　・硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ雨どい
・表面処理鋼板　⊙ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・とい緊結用銅線
とい受金物及び足金物の材種　<13.5.2><表13.5.2>
※ｽﾃﾝﾚｽ　・溶融亜鉛めっき
とい受金物及び足金物の形状　※図示　<13.5.2>
とい受金物の取付け間隔　<13.5.2><表13.5.2>
※表13.5.2による　・図示
多雪地域の場合の軒どい取付け間隔(0.5m以下)　<13.5.2>
・適用する
鋼管製といの防露巻き　<13.5.3><表13.5.4>
※表13.5.4による　・図示

14 金属工事

① ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理

ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理の種別　<14.2.1>
・AB-1種　・AB-2種　・AC-1種　・AC-2種　<表14.2.1>
・BA-1種　・BA-2種　・BB-1種　・BB-2種
・BC-1種　・BC-2種　⊙C種(エントランス庇部館名サイン)
陽極酸化被膜の着色方法　※二次電解着色　・図示
陽極酸化被膜の色合等　※図示

② 鉄鋼の亜鉛めっき

亜鉛めっきの種別　<14.2.2><表14.2.2>
⊙A種　・B種　・C種　・D種　・E種　・F種

③ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　<14.4.2><表14.4.1>
※19形(屋内)　※25形(屋外)　・図示
屋外の場合の野縁受け、つりﾎﾞﾙﾄ及びｲﾝｻｰﾄの間隔　<14.4.3>
※図示
屋外の場合の野縁の間隔　※図示　<14.4.3>
ﾀﾞｸﾄ等により吊りﾎﾞﾙﾄの間隔が900mmを超える場合の補強方法
※図示　<14.4.4>
天井のふところが3mを超える場合の補強方法
※図示　<14.4.4>
天井下地材における耐震性を考慮した補強　※図示　<14.4.4>
屋外の軒、ﾋﾟﾛﾃｨ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
※図示　<14.4.4>

④ 軽量鉄骨壁下地

ｽﾀｯﾄﾞ、ﾗﾝﾅｰの種類　<14.5.3>
※表14.5.1による　・図示
ｽﾀｯﾄﾞの高さが5.0mを超える場合のｽﾀｯﾄﾞ等の種類　<14.5.3>
※図示
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　<14.5.4>
※14.5.4(5)による　・図示

5 金属成形板張り

金属成形板の種別及び表面処理　※図示　<14.6.2>
取付け用下地　※標仕14章4節による　・図示　<14.6.3>
伸縮調整継手　・適用する　<14.6.3>

6 ｱﾙﾐﾆｳﾑ製笠木

部材の種類　<14.7.2><表14.7.1>
・250形　・300形　・350形
笠木本体材料の表面処理の種別　<14.7.2><表14.2.1>
・AB-1種　・AB-2種　・AC-1種　・AC-2種
・BA-1種　・BA-2種　・BB-1種　・BB-2種
・BC-1種　・BC-2種　・C種
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　<14.7.3>
・適用する

15 左官工事

1 下地

ﾗｽ系下地の種類　<15.2.4>
（通気工法）・二層下地　・単層下地
（直張り工法）・ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地　・ﾗｽｼｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地
外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気構法
・適用する　<15.2.4>
ﾗｽ及び補強用平ﾗｽ　材料記号　※K　<15.2.4>
※波形ﾗｽ700、こぶﾗｽ、力骨付きﾗｽ(二層下地通気構法の場合)
※ﾌﾞﾗｽCに裏打ち材と一体化したﾗｽ(単層下地通気構法の場合)
・図示
ﾗｽｼｰﾄ　<15.2.4>
山高、山ﾋﾟｯﾁ、質量及び溶接ﾋﾟｯﾁによる区分
※LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・図示
ｽﾃｰﾌﾟﾙの形状及び寸法　※L925TS以上(ﾘﾌﾞﾗｽCの場合)　<15.2.4>
※L1019JS以上(波形ﾗｽの場合)　・図示
二層下地通気構法における防水紙の換気口部の措置　<15.2.4>
※木造標仕11.4.3による　・図示
直張り工法ﾗｽｼｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地のﾗｽｼｰﾄ　<15.2.4>
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合の施工方法　※図示
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びせっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞの種類及び厚さ　<15.2.5>
※図示
木質系ｾﾒﾝﾄ板の種類及び厚さ　※図示　<15.2.5>
こまい下地の建築基準法に基づく耐力壁の指定　<15.2.6>
・指定あり
木ずり用小幅板の樹種　<15.2.7>
※杉(心去り材)　・（　　）

② モルタル塗り

ﾓﾙﾀﾙの材料　<15.3.2>
⊙現場調合材料　・既調合材料（　　）
既製目地材の形状　・図示　<15.3.2>

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

課長 / 担当監督 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事
図面名称 特記仕様書(3)
縮尺 A1：－ A3：－
当初・変更・完成
図番 A003

③ 仕上塗材仕上げ

床の目地の目地割り及び種類 <15.3.5>
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m、押し目地 ・図示
外装ﾀｲﾙ張り下地等の下地ﾓﾙﾀﾙ塗り及び下地調整材塗りの接着力試験
・行う <15.3.5>
薄付け仕上塗材(適用箇所は図示) <15.6.2><表15.6.1>

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材Si ・可とう形 外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状	⊙吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り ・こて塗り
⊙外装薄塗材E	⊙砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・着色骨材砂壁状	
・可とう形 外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波形 ・凹凸状	
・外装薄塗材S	・砂壁状	
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・平たん状	
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状	
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状 ・平たん状 ・凹凸状	

内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材 <15.6.2>
・使用する
厚付け仕上塗材(適用箇所は図示) <15.6.2><表15.6.1>

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装厚塗材C ・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・ﾛｰﾗｰ塗り ・こて塗り

外装厚塗材Si及び外装厚塗材Eの上塗材 <15.6.2><表15.6.1>
※図示
ｾﾒﾝﾄｽﾀｯｺ以外の外装厚塗材Cの上塗材
※図示 <15.6.2><表15.6.1>
複層仕上塗材(適用箇所は図示)
<15.6.2><表15.6.1><表15.6.2>

呼び名	仕上げの形状等	工法
・複層塗材CE ⊙複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E ・可とう形複層塗材CE ・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸模様 ⊙ゆず肌状 耐候性 ※耐候形(　)種 上塗材の種類 溶媒 ・水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 樹脂 ・ｱｸﾘﾙ系 ・ｳﾚﾀﾝ系 ・ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系 ・ふっ素系 外観 ・つやあり ・つやなし	・吹付け ⊙ﾛｰﾗｰ塗り

特殊樹脂塗装 ジェイエイチエスコーティング LINE-X同等品

4 マスチック塗材塗り

種別 ・A種 ・B種 <15.7.2>

5 しっくい塗り

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ、ﾓﾙﾀﾙ塗り、木ずり、こまい土壁塗り
以外の下地の適用 ・適用する <15.10.1>
既調合しっくい材料の色しっくい ・適用する <15.10.2>
既調合しっくいの調合、塗厚等 <15.10.3>
※表15.10.1による(せっこうﾎﾞｰﾄﾞ下地の場合)
※表15.10.2による(ﾓﾙﾀﾙ塗り下地の場合)
※製造所の仕様による(せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ下地の上塗り) ・図示
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚 <15.10.3>
※表15.10.3による(木ずり下地の場合)
※表15.10.4による(こまい土壁下地の場合) ・図示
既調合しっくいの上塗りの仕上げ工法 <15.10.4><表15.10.5>
・なで切り仕上げ ・ﾊﾟﾀｰﾝ仕上げ

6 こまい壁塗り

土壁用のり <15.11.2>
・ふのり ※つのまた ・ぎんなんそう ・粉末海藻
砂壁用のり <15.11.2>
※ふのり ・つのまた ・こんにゃくのり ・にかわ
・合成高分子系混和剤
土物仕上げに用いる色土の種類 ※図示 <15.11.2>
大津仕上げに用いる色土の種類 ※図示 <15.11.2>
色砂の種類 ※図示 <15.11.2>

下塗りの調合 <15.11.3><表15.11.2>
※表15.11.2による ・図示
塗厚 ※表15.11.8による ・図示 <15.11.4><表15.11.8>
建築基準法に基づく耐力壁の場合の塗厚 ※図示
こまい壁の工程種別 ※A種 ・B種 <15.11.5><表15.11.9>
上塗りする土物仕上げの工法 <15.11.7>
・水ごね土物1工法 ・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法 ・のりごね工法
・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法
ちりじゃくり ※図示 <15.11.7>
大津仕上げの工法 <15.11.8>
・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法

7 ロックウール吹付け

仕上げ吹付け厚さ ※図示 <15.12.3>

16 建具工事

① 共通事項

防火戸の適用 ※図示 <16.1.3>
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸のﾋｭｰｽﾞ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ⊙図示
建具見本の製作 ・行う(建具番号:) <16.1.4>
特殊な建具の仮組 ・行う(建具番号:) <16.1.4>
防犯建物部品の適用 ・適用する <16.1.6>

② ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具

外部に面する建具 <16.2.2><16.2.4><表16.2.1>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-3	W-4	※70	※ 図示
⊙B種	S-5			・100	※ 図示
・C種	S-6	A-4	W-5	※100	※ 図示

防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼの遮音性の等級
・T-1 ⊙T-2 ・T-3 ・T-4
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼの断熱性の等級
⊙H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5
防虫網の材質 <16.2.3>
・合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ※ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS316)
防虫網(合成樹脂製)の線径及び網目 <16.2.3>
※0.25mm以上、網目16～18ﾒｯｼｭ ・図示
防虫網の取付方法 ⊙外部可動式 ・固定式 ⊙内開き <16.2.3>
ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理の種別 <16.2.4>
・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種
・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ⊙BB-2種
・BC-1種 ・BC-2種 ・C種
ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理の色の別 <16.2.4>
※標準色(ブラック系) ・特注色
結露水の処理方法 ※図示 <16.2.4>
水切り板、ぜん板等 ※図示 <16.2.5>
木下地における外部に面する内付け建具回りの止水処理
※建具の製作所の仕様による

3 樹脂製建具

外部に面する建具 <16.3.2><16.3.4><表16.3.1>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・A種	S-4	A-4	W-4	※70	※図示
・B種	S-5		W-5	・100	※図示
・C種	S-6			※100	※図示

防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼの遮音性の等級 ・T-1 ・T-2 <16.3.2>
外部に面する断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼの断熱性の等級 <16.3.2><表16.3.3>
・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ・図示 <16.3.2>
防虫網の材質 <16.3.3>
・合成樹脂製 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製 ※ｽﾃﾝﾚｽ製(SUS316)
防虫網(合成樹脂製)の線径及び網目 <16.3.3>
※0.25mm以上、網目16～18ﾒｯｼｭ ・図示
防虫網の取付方法 ・外部可動式 ・固定式 <16.3.3>
防鳥網 ・適用する
ｶﾞﾗｽの種類 ※複層ｶﾞﾗｽ ・図示 <16.3.3>
外部に面する建具のｶﾞﾗｽ溝の寸法、形状等 <16.3.4>
※建具製造所の仕様 ・図示
表面色 ※標準色 ・特注色 <16.3.4>
水切り板、膳板等 ※図示 <16.3.5>
外部に面する内付け建具回りの止水処理 <16.3.5>
・建具製造所の仕様による

④ 鋼製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ ・適用する <16.4.2><表16.4.1>
耐震ﾄﾞｱの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 <16.4.2>
外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 <16.4.2>
・S-4 ⊙S-5 ・S-6
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼの遮音性の等級
・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼの断熱性の等級
・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の種類 <16.4.3>
※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・図示
鋼板類の厚さ ※表16.4.2による ・図示 <16.4.4><表16.4.2>

5 標準型鋼製建具

形式及び寸法 ※ 図示 <16.4.6>

⑥ 鋼製軽量建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの気密性の等級 ⊙A-3
耐震ﾄﾞｱの面内変形追随性の等級 ・D-1 ・D-2 ・D-3 <16.5.2>
防音ﾄﾞｱ、防音ｻｯｼの遮音性の等級 <16.5.2>
・T-1 ・T-2 ・T-3 ・T-4
断熱ﾄﾞｱ、断熱ｻｯｼの断熱性の等級 <16.5.2>
・H-1 ・H-2 ・H-3 ・H-4 ・H-5
鋼板の種類
⊙溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
めっきの付着量 ・Z06 ・F06 ・E24 ⊙Z12 <16.5.3>
ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼板の被覆原板の種類 ・SG ・SE <16.5.3>
めっきの付着量 ・Z06 ・F06 ・E24 <16.5.3>
ｶﾗｰ鋼板 <16.5.3>
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 ・電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
召合せ、縦小口包み板等の材質 <16.5.3>
※鋼板 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出形材
鋼板類の厚さ <16.5.4><表16.5.1>
・図示 ※表16.5.1による

⑦ ｽﾃﾝﾚｽ製建具

ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の種類 <16.6.3>
※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1 ・図示
表面仕上げ ・図示 ※HL <16.6.4>
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ <16.6.5>

⑧ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 <16.7.2><表16.7.1>
※A種 ・B種
ﾌﾗｯｼｭ戸の表面材 ⊙合板 ・MDF <16.7.2>
表面材の品質 <16.7.2>
ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量 ※F☆☆☆☆
MDFの表裏面の状態,曲げ強さ,接着剤による区分 ※図示
かまち及び鏡板の樹種 ※図示 <16.7.2>
ふすまの材料の種別 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 <16.7.2><表16.7.3>
ふすま紙の上張りの種類 <16.7.2>
・鳥の子 ・新鳥の子 ・ﾋﾞﾆﾙ紙
枠及びくつずりの材料 ※図示 <16.7.2>
表面板の厚さ ・図示 ※表16.7.6による <16.7.3><表16.7.6>
見込み寸法 ・図示 ※表16.7.7による <16.7.3><表16.7.7>
ﾌﾗｯｼｭ戸の定規縁 <16.7.4><表16.7.8>
・図示(召合わせかまちがいんろう付きの場合)
ふすまの縁の仕上げ ・図示 <16.7.4>

⑨ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質 <16.8.2>
・図示 ※建具表に記載のないものは表16.8.1による
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ <16.8.2>
・図示 ※表16.8.2による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ <16.8.2>
・図示 ※表16.8.3による
木製建具用丁番の枚数及び大きさ <16.8.2>
・図示 ※表16.8.4による
木製用建具の戸車及びﾚｰﾙ <16.8.2>
・図示 ※表16.8.5による
握り玉及びﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｸﾚｾﾝﾄ等の取付け位置 <16.8.3>
※図示
ﾏｽﾀｰｷｰ ⊙製作する <16.8.4>
製作本数 ⊙1組につき3本(室名札を付け既製の鍵箱に収納)

⑩ 自動ﾄﾞｱ開閉装置

戸の開閉方式 ※図示 <16.9.2>
駆動装置の性能値 <16.9.2>
・図示 ※表16.9.1による(引き戸用駆動装置の場合)
引き戸用駆動装置(多機能ﾄｲﾚ出入口に限る)の性能値
・図示 ※表16.9.2による <16.9.2><表16.9.2>
防錆 <16.9.2><表16.9.2>
※適用する ・適用しない
検出装置の性能 <16.9.2><表16.9.3>
・図示 ※表16.9.3による(引き戸用検出装置の場合)
防錆 <16.9.2><表16.9.3>
※適用する ・適用しない
引き戸用検出装置の種類 <16.9.3><表16.9.4>
⊙光線(反射)ｾﾝｻｰ ・熱線ｾﾝｻｰ ・音波ｾﾝｻｰ ・光電ｾﾝｻｰ
・電波ｾﾝｻｰ ・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ
ﾀｯﾁｽｲｯﾁの開閉ｽｲｯﾁ <16.9.2><表16.9.4>
・無線式ﾀｯﾁｽｲｯﾁ ・光線式ﾀｯﾁｽｲｯﾁ
車椅子使用者用便房開閉ｽｲｯﾁ <16.9.2><表16.9.4>
・大型(開・閉)押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ ・非接触ｽｲｯﾁ
凍結防止措置 ⊙行う <16.9.3>

⑪ 自閉式上吊り引戸装置

装置の性能 <16.10.3><表16.10.1>
・図示 ※表16.10.1による

12 重量ｼｬｯﾀｰ

ｼｬｯﾀｰの種類 <16.11.2>
・管理用ｼｬｯﾀｰ ・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ ・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ
・防煙ｼｬｯﾀｰ
管理用ｼｬｯﾀｰ及び外壁用防火ｼｬｯﾀｰの耐風圧強度 ※図示 <16.11.2>
開閉方式の種類 <16.11.2><表16.11.1>
※電動式(手動併用) ・手動式
電動ｼｬｯﾀｰの急降下制動装置又は急降下停止装置の設置箇所
※図示 <16.11.2>
電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置の設置箇所 ※図示 <16.11.2>
屋内用防火ｼｬｯﾀｰ又は防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構の設置箇所 <16.11.2>
※図示 (煙感知器連動、熱感知器連動、手動閉鎖装置により閉鎖するものに限る)
外壁用防火ｼｬｯﾀｰ、屋内用防火ｼｬｯﾀｰ、防煙ｼｬｯﾀｰを除くｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ
・設置する <16.11.2>
ｽﾗｯﾄ及びｼｬｯﾀｰｹｰｽ用鋼板 <16.11.3>
・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
めっき付着量 ・図示 ※Z12又はF12 <16.11.3>

13 軽量ｼｬｯﾀｰ

開閉方式 ・電動式(手動併用) ※手動式 <16.12.2>
耐風圧強度 ※図示 <16.12.2>
保護装置の設置箇所 ※図示 <16.12.2>
ｽﾗｯﾄの材質 <16.12.3>

種類	めっき付着量
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	・図示 ・Z06 ・F06
・塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯及び鋼帯	・図示 ・AZ90

ｽﾗｯﾄの種類 <16.12.4>
・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾋﾟﾝｸﾞ形

⑭ ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

ｾｸｼｮﾝ材料による区分 <16.13.2>
※ｽﾁｰﾙﾀｲﾌﾟ ・ｱﾙﾐﾆｳﾑﾀｲﾌﾟ
⊙ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ
風圧力による強さの区分 ※図示 <16.13.2>
開閉方式による区分 <16.13.2>
※ﾊﾞﾗﾝｽ式 ・ﾁｪｰﾝ式 ⊙電動式
収納形式による区分 <16.13.2>
⊙ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形 ・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形 ・ﾊｲﾘﾌﾄ形 ・ﾊﾟｰﾁｶﾙ形
障害物感知装置(電動式)の設置箇所 ※図示 <16.13.2>
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの使用材料 <16.13.4>
※溶融亜鉛めっき鋼板(Z27) ⊙ｽﾃﾝﾚｽ鋼板

⑮ ｶﾞﾗｽ

ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽの品種及び厚さの呼びによる種類 <16.14.2>
※図示
型板ｶﾞﾗｽの厚さによる種類 ※図示 <16.14.2>
網入板ｶﾞﾗｽ及び線入板ｶﾞﾗｽ <16.14.2>
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※図示

合わせｶﾞﾗｽ ＜16.14.2＞
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに合わせｶﾞﾗｽの合計厚さ及び特性による種類　※図示
強化ｶﾞﾗｽ ＜16.14.2＞
形状による種類、材料板ｶﾞﾗｽの種類による名称及び特性による種類
※図示
熱線吸収板ｶﾞﾗｽ ＜16.14.2＞
板ｶﾞﾗｽによる種類、厚さによる種類及び性能による種類　※図示
複層ｶﾞﾗｽ ＜16.14.2＞
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さの組合せ並びに複層ｶﾞﾗｽの厚さ、耐熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び乾燥気体の種類
※図示
熱線反射ｶﾞﾗｽ ＜16.14.2＞
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類並びに日射熱遮へい性及び耐久性による区分　※図示
倍強度ｶﾞﾗｽ ＜16.14.2＞
材料板ｶﾞﾗｽの種類及び厚さによる種類　※図示
ｶﾞｽｹｯﾄ ＜16.14.2＞
※ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ(ｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具に用いる引違い及び片引き障子の場合)
・図示
板ｶﾞﾗｽをはめ込む溝の大きさ ＜16.14.3＞
・図示　※建具製造所の仕様
ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸの表面形状、呼び寸法及び厚さ　※図示 ＜16.14.5＞
壁用金属枠及び補強材　※図示 ＜16.14.5＞
力骨の材質、寸法及び形状 ＜16.14.5＞
・図示
※ｽﾃﾝﾚｽ鋼(SUS304)、径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋
化粧目地ﾓﾙﾀﾙの色　※図示 ＜16.14.5＞
ｼｰﾘﾝｸﾞ材の種類　※図示 ＜16.14.5＞
金属製化粧ｶﾊﾞｰの材質、寸法及び形状　※図示 ＜16.14.5＞
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　・適用する ＜16.14.5＞
壁用金属枠の留付け間隔(木下地の場合)　※図示 ＜16.14.5＞
ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸの目地幅の寸法 ＜16.14.5＞
・図示
※8mm以上15mm以下(平積みの場合)
※曲率半径をｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸの幅寸法の10倍以上、外側15mm以下、内側6mm以上(曲面積の場合)
伸縮調整目地の位置 ＜16.14.5＞
・図示　※6m以下ごとに幅10～25mmのものを設置
伸縮調整目地の目地部の横力骨の納まり ＜16.14.5＞
・図示　※ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ製造所の仕様

17 カーテンウォール工事

1 共通事項
カーテンウォールの諸性能値　※ 図示 ＜17.1.3＞
性能の確認方法及び判定方法 ＜17.1.3＞
※ 資料提出による監督職員の承諾　・ 図示

2 ﾒﾀﾙｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ
金属系材料の種類　※ 図示 ＜17.2.2＞
シーリング材の種類　※ 図示
ガラス取付け材の種類　※ 図示 ＜17.2.2＞
構造ガスケットの材質、形状等　※ 図示 ＜17.2.2＞
断熱材の仕様等　※ 図示 ＜17.2.2＞
製品の寸法許容差 ＜17.2.3＞
・ 図示　※ 表17.2.1による（ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金鋳物の場合を除く）
製品の見え掛り部分の仕上げ　※ 図示
ガラス溝の寸法、形状等
・ 図示　※ カーテンウォール製造所の仕様
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差 ＜17.2.5＞
・ 図示　※ 表17.2.2による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
・ 図示　※ 表17.2.3による
ガラスの取付け方法　※ 図示 ＜17.2.6＞

3 PCカーテンウォール
コンクリートの種類 ＜17.3.2＞
・ 普通コンクリート　・ 軽量コンクリート
コンクリートの品質 ＜17.3.2＞
設計基準強度（Fc）　・（　　）N/mm2　※ 30N/mm2
スランプ　・（　　）cm　※ 12cm
気乾単位容積質量　・（　　）t/m3　※ 2.1t/m3超2.5t/m3以下
単位水量の最大値　・（　　）kg/m3　※ 185kg/m3
鉄筋の種類　・（　　）　※ SD295A ＜17.3.2＞
補強鉄線の径及び網目寸法　※ 図示 ＜17.3.2＞
シーリング材の種類　※ 図示 ＜17.3.2＞
耐火目地材の仕様等　※ 図示 ＜17.3.2＞
断熱材の仕様等　※ 図示 ＜17.3.2＞
先付け材料の仕上げ材（タイル等）、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等　※ 図示 ＜17.3.2＞
製品の見え掛り部の寸法許容差 ＜17.3.3＞＜表17.3.1＞
・ 図示　※ 表17.3.1による
PCカーテンウォールの仕上げ　※ 図示 ＜17.3.3＞
アンカー溝の寸法及び寸法許容差　※ 図示 ＜17.3.3＞
配筋　※ 図示　・ 計算書による監督職員の承諾 ＜17.3.4＞
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
・ 図示　※ 表17.3.2による ＜17.3.5＞＜表17.3.2＞
ガラスの取付け方法　※ 図示 ＜17.3.6＞
耐火被覆 ＜17.3.7＞

部位	種類	材料	工法

18 塗装工事

① 素地ごしらえ
木部の素地ごしらえ ＜18.2.2＞
・ A種（不透明塗料塗り）　⊙ B種（透明塗料塗り）
鉄鋼面の素地ごしらえ　・ A種　・ B種　※ C種 ＜18.2.3＞
亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ　⊙ A種　・ B種 ＜18.2.4＞
ﾓﾙﾀﾙ及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ ＜18.2.5＞
・ A種　※ B種
ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ALCﾊﾟﾈﾙ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面の素地ごしらえ ＜18.2.6＞
・ A種　※ B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ ＜18.2.7＞
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法の場合　※ A種　・ 図示
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が上記以外の工法の場合　※ B種　・ 図示

② 錆止め塗料塗り
鉄鋼面錆止め塗料の種別（仕上げ塗料がEP-Gに限る）
・ A種　※ B種 ＜18.3.2＞＜表18.3.1＞
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別（仕上げ塗料がSOPに限る）
※ A種　・ B種 ＜18.3.2＞＜表18.3.2＞
鉄鋼面錆止め塗料塗り(仕上げ塗料がSOP,EP-Gに限る)
※ A種（見え掛り）　※ B種（見え隠れ） ＜18.3.3＞＜表18.3.3＞
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り(仕上げ塗料がSOP,EP-Gに限る)
※ A種（鋼製建具等）　※ B種（その他） ＜18.3.3＞＜表18.3.5＞

③ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）
木部合成樹脂調合ペイント塗り（多孔質広葉樹除く） ＜18.4.2＞
※ A種（屋外）　※ B種（屋内）　・ 図示 ＜表18.4.1＞
鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り ＜18.4.3＞＜表18.4.2＞
・ A種　※ B種

4 ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り（CL）
クリヤラッカー塗り　・ A種　※ B種 ＜18.5.2＞＜表18.5.1＞

5 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）
アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り ＜18.6.2＞＜表18.6.1＞
・ A種　※ B種

6 耐候性塗料塗り
鉄鋼面 上塗り塗料の等級
※ 図示 ＜18.7.2＞＜表18.7.1＞
亜鉛めっき鋼面 上塗り塗料の等級
※ 図示 ＜18.7.3＞＜表18.7.2＞
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面耐候性塗料塗り
・ A種　・ B種　・ C種 ＜18.7.4＞＜表18.7.3＞

⑦ つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP-G）
ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等のつや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　・ A種　※ B種
＜18.8.2＞＜表18.8.1＞
屋内の鉄鋼面つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り
・ A種　※ B種 ＜18.8.4＞＜表18.8.3＞

⑧ 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP）
合成樹脂エマルションペイント塗り ＜18.9.2＞＜表18.9.1＞
・ A種　※ B種

⑨ ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り（UC）
ウレタン樹脂ワニス塗り ＜18.10.2＞＜表18.10.1＞
・ A種　※ B種
工程1の着色の適用　・適用する　・適用しない ＜表18.10.1＞

⑩ ｽﾃｲﾝ塗り
オイルステイン塗料の仕様等　※ 図示 ＜18.11.2＞

11 木材保護塗料塗り（WP）
木材保護塗料塗り　・ A種　※ B種 ＜18.12.2＞＜表18.12.1＞

19 内装工事

① ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ及びｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ張り
⊙ ビニル床シート ＜19.2.2＞
種類の記号　※ FS　・ 図示
色柄　※ 図示 ⊙無地 ⊙柄物 （廊下、ホール、食堂、厨房）
厚さ（mm）　※ 2.0　・ 図示
⊙ ビニル床タイル ＜19.2.2＞
種類の記号　※ KT　・ 図示
色柄　※ 図示　・無地 ⊙柄物 （階段2踊場）
厚さ（mm）　※ 2.0　・ 図示
・帯電防止床シート ＜19.2.2＞
種類、性能、厚さ等　※ 図示
・ 帯電防止床タイル ＜19.2.2＞
種類、性能、寸法、厚さ等　※ 図示
・ 視覚障害者用床タイル ＜19.2.2＞
種類、形状等　※ 図示
・ 耐動荷重性床シート ＜19.2.2＞
種類、厚さ等　※ 図示
⊙ 防滑性床シート　⊙ 防滑・防汚性床シート ＜19.2.2＞
種類、厚さ等　※ 2.0　・図示
・ 防滑性床タイル ＜19.2.2＞
種類、寸法、厚さ等　※ 図示
ビニル幅木の材質の種類　※ 図示 ＜19.2.2＞
ビニル幅木の厚さ及び高さ（mm）
※ 厚さ1.5以上、高さ60　・ 図示
・ ゴム床タイル ＜19.2.2＞
色柄、種類、厚さ、寸法等　※ 図示
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 ＜19.2.2＞＜表19.2.2＞
ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤の種別　※ 図示
ゴム床タイル用接着剤の種別　※ 図示
ﾓﾙﾀﾙ塗り下地、ｺﾝｸﾘｰﾄ下地、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り下地、木下地以外の下地の工法　※ 図示 ＜19.2.3＞
ビニル床シート張りの接合部の処理 ＜19.2.3＞
・ 図示　※ 熱溶接工法

② カーペット敷き
織じゅうたんの織り方及びパイルの形状　※ 図示 ＜19.3.2＞
織じゅうたんの色柄 ＜19.3.2＞＜表19.3.1＞
・ 図示　※ 模様のない無地のもの
織じゅうたんのパイル糸の種類 ＜19.3.2＞＜表19.3.1＞
・ A種　・ B種　・ C種
帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)　・ 適用する ＜19.3.2＞
タフテッドカーペットのパイルの形状及びパイル長 ＜19.3.2＞
※ 図示
帯電性(人体帯電圧の値3kV以下)　・ 適用する ＜19.3.2＞
タイルカーペットの種類及びパイルの形状 ＜19.3.2＞
※ 第一種のループパイル　・ 図示
タイルカーペットの寸法及び総厚さ（mm） ＜19.3.2＞
※ 500角、総厚さ6.5　・ 図示
下敷き材 ＜19.3.2＞
※ 第2種第2号（JISL3204）の反毛ﾌｪﾙﾄ（呼び厚さ8mm）　・ 図示
見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※ 図示 ＜19.3.2＞
タフテッドカーペットの工法 ＜19.3.3＞
・ グリッパー工法　・ 全面接着工法
織じゅうたん（ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法）の接合方法 ＜19.3.3＞
※ ﾋｰﾄﾎﾞﾝﾄﾞ工法
・ 丈夫な綿糸、亜麻糸又は合成繊維糸を手縫でつづり縫い
タイルカーペットの敷き方 ＜19.3.3＞
※ 市松敷き（平場）　※ 模様流し（階段部分）　・ 図示

③ 合成樹脂塗床
弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げの種類 ＜19.4.3＞＜表19.4.4＞
※ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
エポキシ樹脂系塗床の工法及び仕上げの種類 ＜19.4.3＞
・ 薄膜流しのベ工法（・ 平滑　・ 防滑）
⊙ 厚膜流しのベ工法（⊙ 平滑　⊙ 防滑）
ABC商会　ケミクリートE同等品
・ 樹脂モルタル工法（・ 平滑　・ 防滑）
⊙無機系硬質床　ABC商会　ラガーハードC同等品

④ フローリング張り
ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの種類 ＜19.5.2＞
・ 単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ（・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等　・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等）
⊙ 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ
工法 ＜19.5.3＞
⊙ 釘留め工法（・ 根太張り工法　⊙ 直張り工法）
・ 接着工法
フローリングの樹種　・ 図示 ⊙ ナラ ＜19.5.4＞
複合フローリングの種別　・ A種　⊙ B種　・ C種 ＜19.5.4＞
フローリングブロックの樹種、厚さ及び長さ　※ 図示 ＜19.5.5＞
フローリング裏面の不陸緩衝材の仕様等 ＜19.5.5＞
※ 合成樹脂発泡シート　・ 図示

⑤ 畳敷き
畳の種別 ＜19.6.2＞＜表19.6.1＞
・A種　・B種　・C種　・D種 ⊙和紙畳
D種の場合（・ KT-Ⅰ　・ KT-Ⅱ　・ KT-Ⅲ　・ KT-K　・ KT-N）
衝撃緩和型畳の畳表の仕様(JIS A5902) ＜19.6.2＞
・C1　・C2

⑥ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他のﾎﾞｰﾄﾞ類の種類、厚さ等 ＜19.7.2＞
※ 図示
ボード表面への化粧張り仕上げ等 ＜19.7.2＞
※ 図示
普通合板の表板の樹種名、板面の品質及び厚さ
※ 図示 ＜19.7.2＞
普通合板の防虫処理　・ 行う ＜19.7.2＞
天然木化粧合板の化粧板の樹種名及び厚さ ＜19.7.2＞
※ 図示
天然木化粧合板の防虫処理　・ 行う
特殊加工化粧合板の化粧加工の方法、表面性能及び厚さ
※ 図示 ＜19.7.2＞
特殊加工化粧合板の防虫処理　・ 行う ＜19.7.2＞
天井ボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く)　・ 行う
合板類の張付け　・ A種　・ B種 ＜19.7.3＞＜表19.7.3＞
せっこうボードの目地工法の種類 ＜19.7.3＞＜表19.7.5＞
・ 継目処理工法　・ 突付け工法　・ 目透し工法
目地工法に応じたせっこうボードのエッジの種類
(突きつけ工法及び目透し工法の場合) ＜19.7.3＞＜表19.7.5＞
・ ベベルエッジ　・ スクェアエッジ

⑦ 壁紙張り
壁紙の種類　※ 図示 ＜19.8.2＞
壁紙の防火性能　※ 図示 ⊙不燃 ＜19.8.2＞
ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ ＜19.8.3＞
・ A種　※ B種
コンクリート面の素地ごしらえ ＜19.8.3＞
・ A種　※ B種
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びけい酸ｶﾙｼｳﾑ板面の素地ごしらえ ＜19.8.3＞
・ A種　※ B種

⑧ 断熱・防露
断熱材の種類及び厚さ　※ 図示 ＜19.9.3＞
断熱材現場発泡工法における断熱材の種類 ＜19.9.4＞
(※) A種1又はA種1H　⊙ 図示
断熱材の吹付け厚さ　※ 図示 ＜19.9.4＞

20 ユニット及びその他工事

① ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ
＜20.2.2＞

表面仕上材の寸法(mm)	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ高さ(mm)	耐震性能(Ks)	所定加重(N)	帯電防止性能(U)	漏えい抵抗
6	50	・0.6 ⊙1.0	⊙3,000（会議室） ⊙5,000（事務室・システム管理室）	・≧1.2 ⊙≧0.6	(1×10＾6)Ω (>1×10　Ω)

フクビ化学工業　FP3000/FP5000 同等品
試験方法 ＜20.2.2＞
⊙耐荷重性能(mm)　※変形5.0以下、残留変形3.0以下　・図示
⊙耐衝撃性能　※残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと　・図示
⊙ﾛｰﾘﾝｸﾞﾛｰﾄﾞ性能(mm)　※残留変形3.0以下　・図示
・耐燃焼性能
・建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・燃焼終了後の残炎時間が0秒であること
寸法精度　・図示 ＜20.2.2＞

② 可動間仕切
＜20.2.3＞

構造形式	構成基材		遮音性（透過損失）	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ(ﾄﾞｱ含む)		
・ｽﾀｯﾄﾞ式(内蔵) ・ｽﾀｯﾄﾞ式(露出) ⊙ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	⊙ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金系 ・ｽﾁｰﾙ系 ・（　　）	・木質系 ・ｽﾁｰﾙ系 ・ｶﾞﾗｽ系 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金系 ・樹脂系 ⊙せっこう系 ⊙ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ系 ・（　　）	・15dB ・30dB ・36dB以上 ・（　　）dB	※図示

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ放散量　※F☆☆☆☆ ＜20.2.3＞
ﾊﾟﾈﾙ内に取り付ける建具寸法及び形状　・図示 ＜20.2.3＞

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計　大阪支社　一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号　TEL 06-6366-0241	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 （佐藤）（貞清）	明石市都市局住宅・建築室営繕課
製作年月日	2025年1月	工事名称	新中崎分署建設工事
図面名称	特記仕様書(5)	縮尺	A1:－　A3:－
当初・変更・完成		図番	A005

3 移動間仕切
パネル操作方法による種類 <20.2.4>
・手動式 ・電動式 ・部分電動式
パネル表面材の材質及び仕上げ ※図示 <20.2.4>
パネル圧接装置の操作方法 ※図示 <20.2.4>
遮音性(透過損失) <20.2.4>
・36dB未満 ・36dB以上 ・図示
ハンガーレール取付け下地の補強 <20.2.4>
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対し、耐力及び変形量が使用上支障がないもの ・図示
パネルをランナーに取り付ける部品 <20.2.4>
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・図示
ハンガーレール、ランナーの強度 <20.2.4>
※パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの ・図示
あと施工アンカーを使用する場合の材質、寸法等 <20.2.4>
※図示

④ トイレブース
パネル表面材 <20.2.5>
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ <20.2.5>
脚部の種類 ※幅木タイプ ・図示 <20.2.5>
ドアエッジの材質 ・図示 ※トイレブース製造所の仕様による <20.2.5>

⑤ 手すり
材料の種類、仕上げ ※図示 <20.2.6>

⑥ 階段滑り止め
材種、形状、寸法等 ※ 図示 <20.2.7>
取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法 <20.2.7>

7 黒板及びホワイトボード
黒板の区分 ※焼付け黒板 ・研出し黒板 <20.2.9>
黒板の種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 <20.2.9>
ホワイトボードの仕様等 ※図示 <20.2.9>

⑧ 鏡
鏡のガラス厚さ ※5mm ⊙図示 <20.2.10>

⑨ 表示
対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等 ※図示 <20.2.11>
非常用進入口等の表示 ・図示(A-) <20.2.11>
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示(A-) <20.2.11>

⑩ タラップ
材料の種類及び仕上げ ・図示 ※SUS,仕上げ無し <20.2.12>

11 煙突ライニング
煙突用成形ライニング材の適用安全使用温度 ※図示 <20.2.13>
工法 ※コンクリート打込み時に打ち込む <20.2.13>

⑫ ブラインド
ブラインドの形式 ⊙横形 ⊙縦形 <20.2.14>
横形ブラインドの種類 <20.2.14>
※ギヤ式ブラインド ・コード式ブラインド ・操作棒式ブラインド
横形ブラインドの幅、高さ ※図示 <20.2.14>
横形ブラインドのスラット幅 ※25mm ・図示 <20.2.14>
横形ブラインドのスラットの材質 <20.2.14>
※アルミニウム合金製 ・樹脂製 ・木製 ・図示
横形ブラインドのヘッドボックス及びボトムレールの材種
※鋼製 ・アルミニウム合金製 ・図示 <20.2.14>
縦形ブラインドの幅及び高さ ※図示 <20.2.14>
縦形ブラインドの開閉方式 <20.2.14>
⊙片開き方式 ・両開き方式
縦形ブラインドの操作方法 <20.2.14>
・1本操作コード方式 ※2本操作コード方式
縦形ブラインドのスラットの仕様 <20.2.14>
・焼付け塗装仕上げのアルミスラット
⊙防炎性能の表示がある特殊樹脂加工のクロススラット
縦形ブラインドのスラットの幅 ※図示 <20.2.14>

⑬ ロールスクリーン
操作方法 <20.2.15>
⊙スプリング式 ・コード式(チェーン式) ・電動式
幅及び高さ ※図示 <20.2.15>
スクリーンの材種 <20.2.15>
・ガラス繊維製 ⊙合成・天然繊維製 ・木製
スクリーンの品質 ※図示 <20.2.15>
巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※ロールスクリーン製造所の仕様による ・図示 <20.2.15>

14 カーテン及びカーテンレール <20.2.16>

シングル・ダブルの別	形式	開閉操作方式
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動

カーテン用生地の種別、品質、特殊加工等 ※図示 <20.2.16>
カーテンレール及びブラケットの強さによる区分 <20.2.16>
・10-60 ※10-90
レールの材料による区分 <20.2.16>
※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・図示
レールの仕上げ ※アルマイト ・図示 <20.2.16>
レールの形状 <20.2.16>
※角形 ・C形 ・D形 ・I形 ・H形
フック(ひるかん) ※鋼製 ・樹脂製 <20.2.16>
ひだの種類 <20.2.16><表20.2.1>
・つまみひだ(三つ山ひだ,二つ山ひだ) ・箱ひだ、片ひだ
・プレーンひだ
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり <20.2.16>
※300mm以上 ・図示

15 プレキャストコンクリート工事
補強鉄線の径及び網目寸法 ※図示 <20.3.2>
コンクリートの設計基準強度(Fc) <20.3.3>
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満たす調合強度
・図示
配筋 ※配筋を定めた計算書を提出 ・図示 <20.3.3>
取付け方法 ※図示 <20.3.4>

16 間知石及び
コンクリート間知ブロック積み
間知石の材種 <20.4.2>
・花こう岩 ・凝灰岩 ・安山岩
コンクリート間知ブロックの種類 ※図示 <20.4.2>
コンクリート間知ブロックの質量区分 <20.4.2>
・A(350kg以上) ・B(350kg未満)
間知石の積み方 ・布積み ※谷積み <20.4.3>
目塗り ・行う <20.4.3>
伸縮調整目地の材種、厚さ等 ※図示 <20.4.3>

⑰ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形 ・気密形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ⊙目地タイプ	・額縁タイプ ⊙目地タイプ

(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

⑱ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
⊙アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ⊙600×600 ・	・一般形 ⊙密閉形 ・結露防止形	・屋内外用 ⊙屋内用	・鍵付き

密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする
(品質・性能及び試験方法) 建築材料等品質性能表による

⑲ 消火器ボックス
⊙ 埋め込み型 ST製 KS-FE01F-W (ユニオン) 同等品
⊙ 壁掛け型 ST製 UFB-6A-3003H-ARD (ユニオン) 同等品
⊙ 置型 ST製 UFB-3F-2500-SIL (ユニオン) 同等品
⊙ 屋外壁掛け型 SUS製 USB-3S-2760-HLN (ユニオン) 同等品

⑳ ピクチャレール
⊙ 埋込タイプ、フック及びスライドハンガー 1ヶ所/1000mm

㉑ ユニットバス
⊙ ビバス1616AR (Panasonic) 同等品

㉒ ユニットシャワー
⊙ Fシリーズシャワールームユニット0812 (Panasonic) 同等品

㉓ 避難はしご
⊙ SPCⅢ600-111 (ナカエ業) 同等品

㉔ パイプ棚
⊙ BPS30-12B SUS製 W900×D250×H240 (マルゼン) 同等品

㉕ タオル掛け
⊙ YT408S4R SUS製W440×H40×D55(TOTO) 同等品

㉖ 小物置(女性仮眠室)
⊙ LTS-DPSF041 W400×D100×H21(EIDAI) 同等品

㉗ 洗面化粧台
⊙ LDPL075BAGEN2 (TOTO) 同等品

㉘ 洗濯流しユニット
⊙ LAA604SA (TOTO) 同等品

21 排水工事

① 屋外雨水排水
排水管用材料 <21.2.1>

材種	規格名称	種類・記号	呼び径
・遠心力鉄筋コンクリート管	・プレキャスト鉄筋コンクリート製品(遠心力鉄筋コンクリート管)	・外圧管(1種)	
⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙硬質ポリ塩化ビニル管	⊙VP ・VU	図示
	・リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	・RS-VU	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・排水用硬質ポリ塩化ビニル管継手	・DV	
	・屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手	・VU継手	

※コンクリート製マンホール及び桝との取付け部には、管の外側に砂付け加工を行った管を使用
排水管の基礎 ※図示 <21.2.1>
側塊の形状及び寸法 ※図示 <21.2.1>
排水桝、ふたの種類等 ※図示
鋼鉄製ふたの名称、種類及び適用荷重 ※図示 <21.2.1>
グレーチングの仕様 <21.2.1>

材質	用途	適用荷重	メインバーピッチ	ボルト固定	上面形状
⊙鋼製(めっき) ・ステンレス製	・溝ふた ・桝ふた ・U字側溝 ⊙図示	・歩行用 ⊙T-2 ・T-6 ・T-14 ・T-20 ⊙T-25	※細目 ・普通目 ・細目	⊙あり	※凹凸形 ・平形

現場打ちコンクリートの種類 <21.2.1>
※普通コンクリート ・図示
現場打ちコンクリートの設計基準強度 <21.2.1>
※18N/mm2 ・図示
現場打ちコンクリートのスランプ <21.2.1>
・15cm ⊙18cm ・図示
現場打ちの場合の鉄筋 ※SD295 ・図示 <21.2.1>
凍上抑制層に用いる材料 ※図示 <21.2.1>
砂の粒度試験 ・行う <21.2.1>
埋戻しに用いる材料 <表3.2.1><21.2.1>
⊙A種 ※B種 ・C種 ・D種
現場打ち排水桝の足掛け金物(幅400mm) <21.2.2>
・径22mmのSUS製 ・径22mmの防錆処置した鋼製
・径19mmの合成樹脂被覆加工品
遠心力鉄筋コンクリート管の基床の厚さ及び種類 ※図示 <21.2.2>
硬質ポリ塩化ビニル管の基床の厚さ及び種類 ※図示 <21.2.2>
継手の接合材 ※接着剤 ・ゴム輪 <21.2.2>

② 街きょ、縁石及び側溝
縁石及び側溝の種類、形状及び寸法 <21.3.1><表21.3.1>
※図示
砂利地業の厚さ ※100mm ・図示 <21.3.2>

22 舗装工事

① 路床
凍上抑制層の厚さ ・図示 <22.2.2>
透水性舗装におけるフィルター層の厚さ ※図示 <22.2.2>
路床安定処理の方法 ・図示 <22.2.2>
盛土に用いる材料 <22.2.3><表3.2.1>
⊙A種 ・B種 ・C種 ・D種
路床安定処理用添加材料 <22.2.3><表22.2.1>
・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
・生石灰 特号 ・生石灰 1号
・消石灰 特号 ・消石灰 1号
路床土の支持力比(CBR試験)の適用 ・適用する <22.2.5>
路床締固め度の試験の適用 ・適用する <22.2.5>
現場CBR試験の適用 ⊙適用する <22.2.5>

② 路盤
路盤の厚さ ※図示 <22.3.2>
路盤材料 <22.3.3><表22.3.1>
・クラッシャラン ・粒度調整砕石 ⊙再生クラッシャラン
・再生粒度調整砕石 ・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③ アスファルト舗装
アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 <22.4.2>
舗装の平たん性 <22.4.2>
※通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・図示
再生アスファルトの種類 <22.4.3><表22.4.1>
⊙60~80 ・80~100
表層の加熱アスファルト混合物及び再生加熱アスファルト混合物の種類
⊙密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F) ・粗粒度アスファルト混合物(20)
<22.4.4><表22.4.4>

4 コンクリート舗装
アスファルト混合物等の抽出試験の適用 ⊙適用する <22.4.6>
コンクリート舗装の構成 ※図示 <22.5.2>
コンクリート舗装の厚さ <22.5.2>
・図示 ※70mm(歩行者用通路の場合)
コンクリートの種類 ・図示 ※普通コンクリート <22.5.3>
<22.5.3><表22.5.1>

部位	設計基準強度(N/mm2)	スランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm) 砂利	粗骨材の最大寸法(mm) 砕石
車路及び駐車場	※24 ・( )	※8 ・( )	・25 ・40 ・( )	・ 20 ・ 25 ・( )
歩行者用通路	※18 ・( )		※25 ・( )	※ 20 ・( )

早強ポルトランドセメント ・使用する <22.5.3>
加熱施工式注入目地材の種別 <22.5.3>
※低弾性タイプ ・高弾性タイプ
コンクリート舗装の目地 <22.5.4><表22.5.3>

部位		目地の種類	目地間隔
駐車場	縦方向	※突合せ目地 ・図示	※5m程度ごと ・図示
	横方向	※収縮目地 ・図示	※3m程度ごと ・図示
車路及び歩行者用通路	縦方向	※突合せ目地 ・図示	※3m程度ごと ・図示
	横方向	※収縮目地 ・図示	※4m程度ごと ・図示
舗装内の桝の周囲		※伸縮調整目地 ・図示	
建築物、構造物との取合い		※伸縮調整目地 ・図示	

目地の構造 <22.5.4><図22.5.1>
※図22.5.1による ・図示

5 カラー舗装
カラー舗装の種類 ・加熱系 ・常温系 <22.6.2>
加熱系カラー舗装の構成及び厚さ ※図示 <22.6.2>
表層に使用する加熱系混合物の結合材 <22.6.2>
・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物
常温系カラー舗装の工法 <22.6.2>
・ニート工法 ・塗布工法
着色部の下部 <22.6.2>
・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装
加熱系混合物に使用する材料 <22.6.3>
・着色骨材 ・自然石
顔料の添加量(加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合)
・図示 <22.6.4>
ニート工法及び塗布工法の配合その他 ※図示 <22.6.4>
加熱系混合物の抽出試験 ・行う <22.6.6>

6 透水性アスファルト舗装
舗装の構成 ※図示 <22.7.2>
舗装の平たん性 ・図示 ※著しい不陸がないもの <22.7.2>
開粒度アスファルト混合物の抽出試験 ・行う <22.7.6>

7 ブロック系舗装
コンクリート平板舗装の目地材 ※砂 ・モルタル <22.8.2>
舗石舗装の基層 <22.8.2>
・アスファルト混合物 ・コンクリート版
基層の厚さ <22.8.2>
※50mm(アスファルト混合物の場合)
※70mm(コンクリート版の場合) ・図示
コンクリート平板舗装及び舗石舗装のクッション材 <22.8.2>
※砂 ・空練りモルタル
仕上り面の平たん性 <22.8.2>
※コンクリート平板間、インターロッキングブロック間、舗石間の段差3mm以内
・図示
コンクリート平板の種類及び寸法 ※図示 <22.8.3>
コンクリート平板の厚さ ※60mm ・図示 <22.8.3>
インターロッキングブロックの種類、形状、寸法及び表面加工等 <22.8.3>
※図示
インターロッキングブロックの厚さ(mm)及び曲げ強度(N/mm2) <22.8.3>
※厚さ80、曲げ強度5.0(車路)
※厚さ60、曲げ強度3.0(歩行者用通路)
・図示
舗石に用いる石材の種類、形状、寸法及び厚さ <22.8.3>
※図示

⑧ 砂利敷き

砂利敷きの種別 <22.9.2><表22.9.1>
※A種(通路)　※B種(建物周囲その他)　・図示

⑨ 路面標示用塗料

JIS K 5665 (路面標示用塗料) による

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
・ 1種 ※	常温	液状	⊙ 白	⊙ 150	⊙ 1.0
・ 2種 ※	加熱		・	・ 100	・
※ 3種1号	溶融	粉体状			

※ 低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料

23 植栽及び屋上緑化工事

1 共通事項

土壌の水素ｲｵﾝ濃度指数(pH)、電気伝導度(EC)等の試験 <23.1.3>
・行う

② 植栽基盤

植栽基盤の整備　⊙適用する <23.2.2>
有効土層として整備する面積　※図示 <23.2.2>
有効土層として整備する厚さ <23.2.2>
※表23.2.1による　・図示
植栽基盤に浸透した雨水排水のための暗きょ、開きょ、排水層、縦穴排水等の設置　・図示 <23.2.2>
植栽基盤の整備工法の種別 <23.2.2><表23.2.2>
※A種(樹木)　※B種(芝及び地被類)　・図示
土壌改良材　・適用する <23.2.2>
植込み用土　・客土　・現場発生土の良質土 <23.2.3>
土壌改良材の種類　※図示 <23.2.3>
発生土の処理 <23.2.4>
※工事現場外に搬出し、適切に処理　・図示

③ 植樹

樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用 <23.3.2>
⊙適用する
樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの数量 <23.3.2>
・適用する ⊙図示
支柱材の種類　※丸太　・図示 <23.3.2>
丸太の防腐処理方法 <23.3.2>
※加圧式防腐処理丸太材を使用　・図示
幹巻き用材料 <23.3.2>
※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ　・わら　・こも
支柱 <23.3.3>
・添え柱形　・鳥居形　・ﾊｯ掛け形　・布掛け形
・ﾜｲﾔ掛け形　・地下埋設形　⊙2脚鳥居型支柱(添柱付)
新植樹木の枯れ補償期間 <23.3.4>
・図示　※引渡しの日から1年
移植樹木の枯損処置を行う期間 <23.3.6>
・図示　※引渡しの日から1年

④ 芝張り、吹付けは種及び地被類

芝の種類　※ｺｳﾗｲｼﾊﾞの類　・ﾉｼﾊﾞの類 <23.4.2>
吹付けは種用種子の種類　※洋芝類　・図示 <23.4.2>
吹付けは種用種子の量　※図示 <23.4.2>
地被類の種類、芽立数、径及び単位面積当たりの株数 <23.4.2>
※図示
芝張りの工法 <23.4.3>
※目地張り(平地)　※べた張り(法面)　・図示
枯損した芝及び地被類の処置 <23.4.7>
※23.3.4に準ずる

5 屋上緑化

土壌層の厚さ　※図示 <23.5.2>
排水層の種類 <23.5.3>
・軽量骨材(層の厚さ　mm)　・透水排水管　・板状成形品
土壌層の植込み用土の種類 <23.5.3>
・人工軽量土　※改良土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みものの数量　・図示 <23.5.3>
見切り材、舗装材、排水孔、ﾏﾙﾁﾝｸﾞ材等　※図示 <23.5.3>
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づく風圧力に対応した工法　・適用する <23.5.4>
支柱の設置及び形式　※図示 <23.5.4>
かん水装置の設置及び種類　※図示 <23.5.4>
新植樹木の枯れ補償期間 <23.5.5>
・図示　※引渡しの日から1年
芝及び地被類の枯補償期間 <23.5.5>
・図示　※引渡しの日から1年

24 解体工事

① 一般事項

受注者は、解体工事に先立ち近隣住民に対して十分な説明を行うと共に、苦情等が発生した場合には、誠意をもって対応すること。
受注者は、誤って工事現場内に第三者が立ち入らないよう十分に注意すること。
解体工事に係る重機及び仮設材の搬出入については、監督職員と事前に打合せを行うこと。
作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとし、日曜･祝日は作業しないこととするが、詳細については関係各所と打合せの上、決定すること。
解体工事に先立ち、工事範囲外の建物(近隣も含む)及び監督職員が指示するものについては、着工前に現況写真撮影等による事前調査を行い、工事施工に起因して破損、汚染等が生じた場合は、原則として受注者の責任において速やかに原状復旧を行うこと。
地中埋設物(埋設管等を含む)の事前調査を行い、必要な諸手続きを延滞なく行うとともに安全管理に万全の処置を講ずること。なお、不審な点があれば監督職員に報告の上、監督職員の指示に従うこと。
設計図に記載の寸法と現地測量との間に大幅な差異がある場合は、監督職員にその旨を報告の上、協議すること。

② 共通事項

解体工事に伴い発生する建設副産物の処分は、「建築工事に係る資源の再資源化等に関する法律」のほか、関連法規に従い適正に搬出処分を行うこと。
建設副産物は中間処理を行い、再生利用、減量化等を図るよう努めること。
塵埃防止として、場内に加圧ﾎﾟﾝﾌﾟ付散水栓を設置し、適宜散水すること。なお、上階散水が必要な場合は、揚水ﾎﾟﾝﾌﾟの使用も併せて考慮すること。
枠組足場による防音ﾊﾟﾈﾙ(鋼製、ｱﾙﾐ製)又は防音ｼｰﾄを設置する場合は、設計図書で定められた位置及び高さまで設置すること。
原則として、足場控えは建築物の柱･梁に堅固に緊結し、強風時の転倒防止を図るとともに随時取り外しが可能になるよう配慮すること。
全ての建設副産物は、処分地が指定する寸法以下に破砕し、受注者の責任において所定の手続きの上、速やかに搬出処分すること。
埋戻し及び整地の状態は、監督職員の指示に従うこと。また、埋戻しには良質土を使用し、ﾗﾝﾏｰ類で十分締め固めを行うこと。なお、転圧はその土質、使用機器等に応じ、締固めに適した含水状態で行うこと。
建設副産物の搬出走行中は、積載物が落下しないよう十分な養生･保護をするとともに、安全運転に留意すること。
門、塀、池等の撤去に当たっては、個々にその規模、構造等を確認すること。また、これらの撤去については、基礎部分を含めて完全に撤去すること。なお、これらを撤去することにより、隣接地に影響を及ぼす可能性がある場合は、監督職員と協議すること。
建設副産物の処分については、建設廃棄物等(変更)処理計画書により速やかに場外搬出処分すること。ただし、特定建設資材については、再資源化施設に搬出すること。
建設副産物は現場において分別し、処理･再生利用に応じた搬出処分を基本とすること。
なお、ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体解体前に、内部造作、既存備品、ｶﾞﾗｽ、ｱﾙﾐｻｯｼ枠等を解体、分別、収集すること。
地上部(上屋)の解体完了後、順次掘削しながら地中梁、基礎の解体撤去を行うこと。なお、近隣への振動等の影響を考慮の上、解体部分の順序を計画すること。
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造の建築物の解体用重機は、油圧式圧搾機の性能をを有するものとし、解体は安全で能率的な作業方法により順次解体すること。
なお、圧搾機の使用不可能な場所については、監督職員と打合せの上、適切な機械(道具)を用いること。
鉄骨、鉄筋の切断については、切断方法を含め監督職員と事前に十分協議すること。
解体撤去用の外部足場により発生する可能性がある電波障害について十分配慮すること。
排水施設の撤去については、経路等を調査の上、既存法面、周辺隣接地に影響を及ぼさないよう撤去計画を立てること。
会所及び排水管は全て掘り起こし、完全に撤去すること。なお、既存排水施設等との取合いがある場合は、適切に補修すること。また、既存のまま存置する会所、排水管、雨水側溝等は清掃し、排水機能を確保すること。
原則として、樹木等の撤去は根株を含めて堀り起こし、場外搬出処分とすること。また、移植する場合は、監督職員の指示する位置に移植すること。
除却工事の施工者は、「建築物除却届(建築基準法第15条第1項)」を兵庫県知事に届け出ること(明石市の所管課へ提出)。
特別管理産業廃棄物については、関係法令、都道府県の条例の厳守、関係官公署への手続を速やかに行うとともに、適正に処理すること。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 特記仕様書(7)

縮尺 A1:－ A3:－

図番 A007

建築工事メーカーリスト

※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては､監督員の承諾を得るものとする。（参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修･社団法人「公共建築協会」発行　建築材料等評価名簿）

	名称・品名	会　社　名
防水工事	アスファルト 及び 改質アスファルトシート	・七王工業㈱　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱　・昭石化工㈱　・㈱ＡＲセンター
	合成高分子ルーフィング　加硫ゴム系 ルーフィングシート	・三ッ星ベルト㈱　・シバタ工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱　・ニッタ化工品㈱　・アサヒゴム㈱
	合成高分子ルーフィング　塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート	・アーキヤマデ㈱　・ロンシール工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱　・早川ゴム㈱
	塗膜防水(塗布)　ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱　・ニッタ化工品㈱　・三ツ星ベルト㈱　・AGCポリマー建材㈱
	塗膜防水(塗布)　ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱　・㈱ウォータイト
	塗膜防水(塗布)　ケイ酸質系 及び ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系･EVA系	・大関化学工業㈱　・昭和電工建材㈱　・大日化成㈱　・ユニオン建材工業㈱
	シ ー リ ン グ	・コニシ㈱　・セメダイン㈱　・サンスター技研㈱　・日本シーカ㈱　・横浜ゴム㈱
	※各防水種別でリストになくても、メインとなる防水工法のメーカーにその種別の防水の取り扱いがあれば使用可とする。	
石工事	石	・関ヶ原石材㈱　・矢橋大理石㈱　・神戸大理石工業㈱　・㈱池西石材
	人 工 大 理 石	・㈱アドヴァン　・㈱エービーシー商会　・アイカ工業㈱　・㈱シブタニ
タイル工事	タイル	・㈱ＬＩＸＩＬ　・㈱ダントー　・ＫＹタイル㈱　・ＴＯＴＯ㈱　・ニッタイ工業㈱
木工事	兵 庫 県 産 木 材	・兵庫県木材業協同組合連合会（兵庫県木連県産木材供給部会）会員メーカーによる 。
屋根・樋工事	金 属 板	・ＪＦＥ鋼板㈱　・㈱淀川製鋼所　・日鉄住金鋼板㈱　・元旦ビューティー工業㈱　・三晃金属工業㈱
	シ ン グ ル	・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱
	塩化ビニル製樋	・ケイミュー㈱　・三菱ケミカルインフラテック㈱　・タキロンシーアイ㈱　・積水化学工業㈱
金属工事	ア ル ミ 笠 木 ＥＸＰ．Ｊカバー	・㈱エービーシー商会　・理研軽金属工業㈱　・三協立山㈱　・㈱パラキャップ社　・カネソウ㈱
	天井・床点検口	・ナカ工業㈱　・理研軽金属工業㈱　・㈱ダイケン
	グレーチング ステンレス金物 排水金物等	・カネソウ㈱　・㈱ニムラ　・福西鋳物㈱　・㈱中部コーポレーション
	建築金物　（手摺･ﾉﾝｽﾃｯﾌﾟ） （見切金物等）	・ナカ工業㈱　・ワイエム工業㈱　・ケージーパルテック㈱　・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱　・㈱ナスタ　・㈱ダイケン　・神栄ホームクリエイト㈱(旧新協和)　・㈱アシスト
建具工事	シ ャ ッ タ ー オーバーヘッドドア	・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・東洋シャッター㈱　・金剛産業㈱
	自動ドア開閉駆動装置	・ナブテスコ㈱　・扶桑電気工業㈱
	鍵	・㈱ゴール　・美和ロック㈱　・㈱シブタニ
	ハンガードア	・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・㈱くろがね工作所　・小松ウォール工業㈱　・コマニー㈱
	スライディングウォール	・㈱ニチベイ　・立川ブラインド工業㈱　・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱
	トイレブース	・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱　・信越ファインテック㈱　・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱
	ガ ラ ス ガラスブロック	・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱ ・日本電気硝子㈱（電気硝子建材㈱）
	スクールパーテーション （鋼製軽量建具）	・コマニー㈱　・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・小松ウォール工業㈱
	防 煙 垂 壁	・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱　・㈱ミヨシ　・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱

	名称・品名	会　社　名
塗装工事	一 般 塗 装	・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱　・大日本塗料㈱　・ロックペイント㈱　・㈱トウペ　・大同塗料㈱　・神東塗料㈱　・大谷塗料㈱
	吹 付 塗 装	・菊水化学工業㈱　・エスケー化研㈱　・ＡＧＣコーテック㈱　・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱ ・神東塗料㈱　・大日本塗料㈱　・㈱ハマキャスト(天然石調)
内外装工事	フローリング	・大建工業㈱　・朝日ウッドテック㈱　・㈱ウッドワン　・天龍木材㈱　・永大産業㈱　※県産木材の指定があれば木工事の項による。
	ビニル床タイル	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会　・㈱サンゲツ
	ビニル床シート	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会　・タキロンシーアイ㈱　・㈱サンゲツ
	カ ー ペ ッ ト	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱サンゲツ　・㈱スミノエ　・アスワン㈱
	ク ロ ス	・リリカラ㈱　・㈱サンゲツ　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱スミノエ
	メラミン不燃化粧板(抗菌)	・アイカ工業㈱　・イビケン㈱　・日本デコラックス㈱
	岩 綿 吸 音 板	・大建工業㈱　・東洋テックス㈱　・吉野石膏㈱
ユニット及び その他の工事	カ ー テ ン・舞 台 幕	・㈱スミノエ　・アスワン㈱　・㈱川島織物セルコン　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱サンゲツ
	流 し 台	・ナスラック㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・タカラスタンダード㈱　・㈱トーヨーキッチンスタイル
	シャワーユニット	・ＴＯＴＯ㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・パナソニック㈱　・日ポリ化工㈱
	教育施設用家具	・㈱西尾家具工芸社　・㈱内田洋行
	ブ ラ イ ン ド	・立川ブラインド工業㈱　・㈱ニチベイ　・トーソー㈱
	舞 台 装 置	・㈱博電舎　・㈱シネマ工房　・㈱オーエス　・日本スクリーン㈱
	屋内運動場椅子収納台車	・フジタス工業㈱　・㈱丸橋鉄工(代理店㈱カンサイ)　・セノー㈱
	体育器具	・セノー㈱　・㈱小川長春館　・㈱ニシオカ　・日本体器㈱
屋外附帯工事	フ ェ ン ス	・ＪＦＥ建材㈱　・朝日スチール工業㈱　・日鉄建材㈱
	防 球 ネ ッ ト	・塚本商事機械㈱　・朝日スチール工業㈱　・㈱アスノ　・㈱センターサービス
外壁改修工事	外壁改修【施工】	・㈱コンステック　・菊水化学工業㈱　・ショーボンド建設㈱　・大成工材㈱　・㈱伏見工業
	ピンネット工法【施工】	・コニシ㈱（ﾎﾞﾝﾄﾞｶｰﾎﾞﾋﾟﾝﾈｯﾄ）　・㈱リノテック（ﾈｯﾄﾊﾞﾘﾔｰ）　・全日本外壁ﾋﾟﾝﾈｯﾄ工事業協同組合（ﾀｹﾓﾙﾋﾟﾝﾈｯﾄ）　※第三者賠償責任保険付
	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有塗材等 除去工法【施工】	・ダイオーテック㈱（ﾊﾞｷｭｰﾑﾌﾞﾗｽﾄ）　・㈱マルホウ（ｳｫｰﾀｰｸﾘｰﾝ）　・㈱アシレ（ﾊﾞｷｭｰﾑｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ）　※集塵装置付除去工法
今回追加		
ホースリフター工事	ホースリフター	・流通産業㈱　・双葉工業㈱　・㈱イトブン

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241 設計者 佐藤 真清	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当 明石市都市局住宅･建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 図面名称 メーカーリスト 縮尺 A1：－ A3：－	当初・変更・完成 図番 A008

工事区分表

表中　A：建築工事，　E：電気設備工事，　M：機械設備工事，　EV：エレベーター設備工事　を示す

項目	内容	A	E	M	EV	別途	備考
RC造･RC部の梁･壁･床の貫通孔・開口部 S･SRC造のS･SRC梁の貫通孔 **その他躯体に帰ずるもの**	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通孔のスリーブ材及び取付け	○	○	○	○		
	補強を要する開口部の型枠材及び取付け	○					
	Ｓ・ＳＲＣ梁貫通孔の鋼管スリーブ材及び取付け						
	Ｓ・ＳＲＣ梁貫通孔の鋼管スリーブ材及び取付け						
	デッキプレートの貫通部切込み						
	貫通孔・開口部の補強	○					
	補強を要しない開口部の型枠材及び取付け	○	○	○	○		
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○		防火区画，防煙区画
	使用されたスリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火区画，防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火区画，防煙区画
	ALCパネル・ECP・PCパネルの床・壁開口及び補強						
設備機器の基礎	屋内設置の基礎（建築設計図に記入あるもの）	○					
	屋内設置の基礎（設備設計図に記入のあるもの）		○	○			
	屋外・屋上設置の基礎	○					屋外基礎は個別エアコン基礎を除く
	屋上設置基礎で押えコンクリートにアンカーしない軽微なもの		○	○			
	機器取り付け用アンカー及び架台		○	○			
	屋内受水タンク用の基礎						
	太陽電池アレイ用架台（支持金物）		○				アンカー共Ｅ工事
昇降機関連	昇降路の躯体	○					
	機械室の床開口（機器搬入口の仮枠，補強及び復旧）						
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上						
	機械室マシンビーム受け梁の設置						
	機械室の床配管ピット・蓋						
	昇降路内換気設備						
	機械室照明設備						
	巻上機周囲のチェッカープレート敷						
	昇降路内ピット防水・集水桝	○					
	点検用タラップ				○		
	各階出入口穴あけ・同補強	○					
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				○		
	乗り場敷居受け	○					
	出入口扉，三方枠及び幕板				○		
	昇降路がＳ造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材						
	昇降路の中間ビーム･ブラケット･レールブラケット支持柱他，昇降路内の鋼製部材一式				○		
	昇降路がＳ造の時の中間ビーム及びブラケット受けピース						
	昇降路内にフックの取付 （フックを含む）	○					
	ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	○					
	点検用コンセント，煙感知器		○				
	EV制御盤への動力・照明用電源・アース・防災信号・拡声設備（盤内放送用）の配管・配線		○				
	EV内監視カメラ及び監視カメラからEV制御盤までの配管・配線				○		
	EV制御盤から監視カメラ用の監視装置までの配管・配線		○				
	EV制御盤又は監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）及び緊急地震速報受信用の配管・配線		○				
	EV監視盤又は警報盤からEV制御盤までの制御及びインターホンの配管・配線		○				
	電源・接地線		○				

項目	内容	A	E	M	EV	別途	備考
軽量鉄骨天井・壁 **吊りボルト，インサート**	下地補強を要するボードの切り込み及び下地補強	○					
	下地補強を要しないボードの切り込み	○	○	○			
	開口部の墨出し	○	○	○			
	リブ天井仕上げ材の器具廻り取合い	○					
	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用の吊りボルト及びインサート		○	○			
可動間仕切	切り込み及び補強	○					
	位置ボックス		○				
	衛生器具類・機器類取付け用壁補強	○					
外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					
	ウエザーカバー，ベンドキャップ			○			
	換気扇（取付枠共）			○			
水廻り	つり戸棚，水切り棚，コンロ台	○					
	湯沸器			○			
	レンジフード（既製品），換気扇	○					
	一槽式シンク	○					
	汚物流し			○			
	防火衣洗濯機，防火衣乾燥機			○			
	洗濯乾燥機					○	
	システムキッチン	○					
	システムキッチン用衛生配管			○			
	洗濯乾燥機			○			
	浴室ユニット，複合浴室ユニット，シャワーユニット	○					
	間上，出入口壁取合い部枠	○					
	製作浴槽	○					
	洗面化粧台	○					
	洗面化粧台用衛星配管			○			
	洗濯流し	○					
	洗濯流し用衛星配管			○			
	浴室及び便所の床排水金物			○			
	洗面カウンター（既製品以外）	○					洗面器はM
	洗面カウンター（既製品）			○			
	鏡（W600×H900）			○			
	鏡（W600×H900を越えるもの）	○					
	衛生陶器及び水栓類			○			
	オストメイト用の汚物流し等			○			
	乳幼児用ベッド・イス			○			
	フィッティングボード			○			
	身障用手すり，背もたれ	○		○			衛生器具ユニット及びトイレパックの場合はM
各室廻り	家具組み込みの洗面器						切り込みはＡ
	フリーアクセスフロアのコンセント		○				
	フリーアクセスフロア床パネルの切り込み加工	○					

項目	内容	A	E	M	EV	別途	備考
雨水排水	屋外雨水排水	○					
	桝・マンホール及び同ふた	○					
	桝・マンホールの化粧上ふたの表面仕上げ	○					
	雨水公設桝・マンホール	○					
	雨水利用配管（ストレーナーまで）						
	雨水利用配管（ストレーナー以降）						
雑排水，汚水排水，**電力・通信ハンドホール**	屋外雑排水及び屋外汚水排水			○			
	桝・マンホール・ハンドホール及び同ふた		○	○			
	桝・マンホール・ハンドホールの化粧上ふたの表面仕上げ	○					
	排水公設桝・マンホール			○			
煙突	煙突	○					
	発電機室から煙突までの排気管		○				
	煙道接続用スリーブ	○					
	煙突底部排水目皿・排水管	○					
ユニット型浄化槽	ピット形の躯体・砂充てん						
	ユニット型浄化槽本体・配管・据付等						
屋外オイルタンク	タンク室の躯体・乾燥砂充てん	○					タンク本体はE
	オイルタンク本体・配管・据付・マンホール等		○				
	配管トレンチ及びふた	○					トレンチ内架台等はE
その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					
	湧水・汚水ピット，ＲＣ造各種水槽及び防水，マンホール，タラップ等	○					
	避雷設備・同接地						
	避雷導体間の接続						
	厨房排水溝	○					
	厨房グリース阻集器						
	オイルサービスタンクの防油堤	○					
	２重ピット及びトレンチのマンホールふた	○					
	機器搬入用フック・ビーム	○					
	チェーンブロック						
	点検口（天井・床下・壁）	○					
	排煙口等の天井仕上材	○					
	消火器ボックス	○					
	消火器	○					
	消火器（発電機オイルタンク用）	○					
	くつふきマット，玄関マット，自動扉マット部床排水金物（目皿共），排水管						
	くつ洗い流し部床水金物・排水管						
	ルーフドレン	○					
	たてとい及び横引配管	○					
	雨水配管	○					
	屋上緑化						
	植栽及び客土	○					
	駐車場ガソリントラップ（コンクリート造）	○					
	配線捌き（X線探査含む）						
	誘導標識		○				
	屋外照明付き手摺	○					

項目	内容	A	E	M	EV	別途	備考
自動扉，電動シャッター， 電気錠等， 電気配管・配線	機器付属の制御盤以降の配管・配線（接地線共）			○			２次側
	機器付属の制御盤への電源用配管・配線		○				１次側
	自動制御と動力盤との電源用の渡り配管・配線						
	室内機と屋外機の渡り（連絡）配線			○			エアコン，湯沸器等
	機器と付属操作スイッチの位置ボックスとその渡り配管		○	○			エアコン，全熱交換器等
	機器と付属操作スイッチの渡り配管・配線			○			
	小便器用節水装置への電源供給						
	小便器用節水装置の制御盤以降の配管・配線						
	注油口内アース端子よりのアース用配管・配線		○				自家発用はＥ
	ＡＣＰ屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管・配線			○			マルチ形ACPの場合の電源，アースはＥ
	ポンプ及び電極棒用電源配管・配線		○				電極棒はM
	自動扉までの配管・配線・電源供給		○				
	自動扉キースイッチ及びキースイッチまでの配管・配線		○				
	自動扉本体・駆動装置・検出装置（センサー）及びキースイッチ以降の配線	○					
	電動シャッターまでの配管・配線・電源供給		○				
	電動シャッター操作ｽｲｯﾁ用位置ボックス及び配管		○				
	電動シャッター本体・操作ｽｲｯﾁ及びその間の配線	○					
	防火・防煙シャッター及び二次側配線						
	防火・防煙シャッター連動制御器・煙感知器の取付け・配線						
	電気錠の扉までの配管・配線及び電気錠への電源供給		○				
	電気錠の本体・通電金物・扉内配線	○					
	自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切り込み補強及びドアクローザー・フロアヒンジ	○					
	防火戸の連動制御器・煙感知器・自動閉鎖装置・吸着板・ラッチ受座の取付け及び配線		○				
	防煙ダンパー本体			○			
	防煙ダンパー連動制御器・煙感知器の取付け及び配線		○				
	排煙口本体						
	排煙口連動制御器・煙感知器の取付け及び配線						
	排煙窓本体・自動開閉装置	○					
	排煙窓連動制御装置の感知器取付け及び配線						
	防煙たれ壁本体・駆動装置						
	防煙たれ壁連動制御装置の感知器取付け及び配線						
震度観測施設整備	機器・配線					○	神戸地方気象台観測予報管理官室
震度情報ネットワーク	機器・配線		○				NTT西日本
消防指令システム環境整備	機器					○	協和テクノロジィズ㈱
	配線（外部からMDF繋ぎこみ）					○	協和テクノロジィズ㈱
	配線（MDFから各端末機器まで）					○	オプテージ
	配線（アンテナから無線装置まで）					○	協和テクノロジィズ㈱
地域イントラネット環境整備	機器（通信制御器・配下端末機器一式）		○				NTTビジネスソリューションズ㈱
	配線（外部からMDF繋ぎこみ）					○	NTT西日本
	配線（MDFから各端末機器まで）		○				NTTビジネスソリューションズ㈱
強震度観測装置	新築予定地にある強震度観測装置の移設					○	防災科学技術研究所

特記事項

・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 工事区分表

縮尺 A1：－ A3：－

図番 A009

敷地案内図　S=1/2,500

付近見取り図　S=1/1,000

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 敷地案内図・付近見取り図

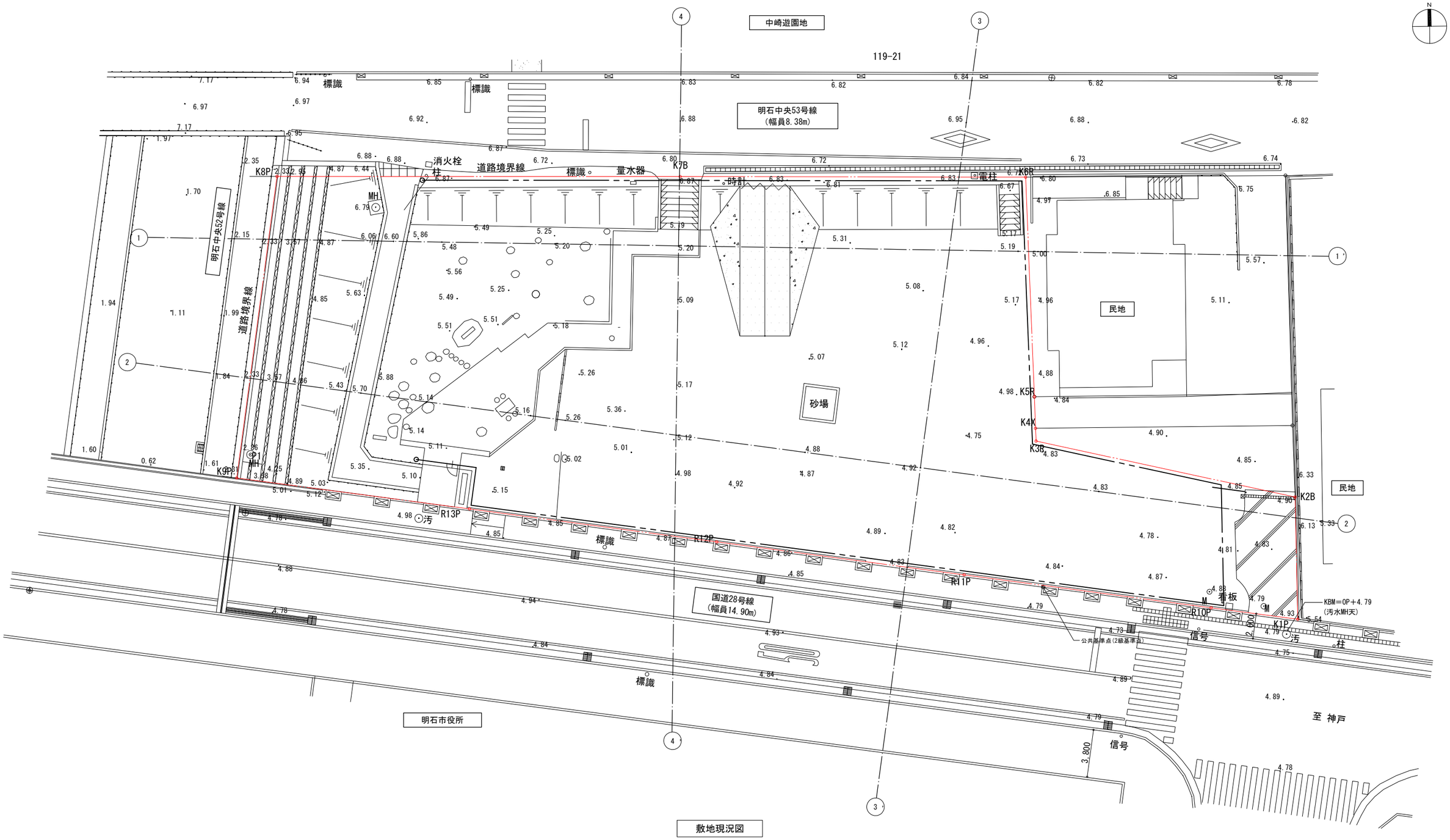
縮尺 A1：図示 A3：図示/2

当初・変更・完成

図番 A101

■外構リスト

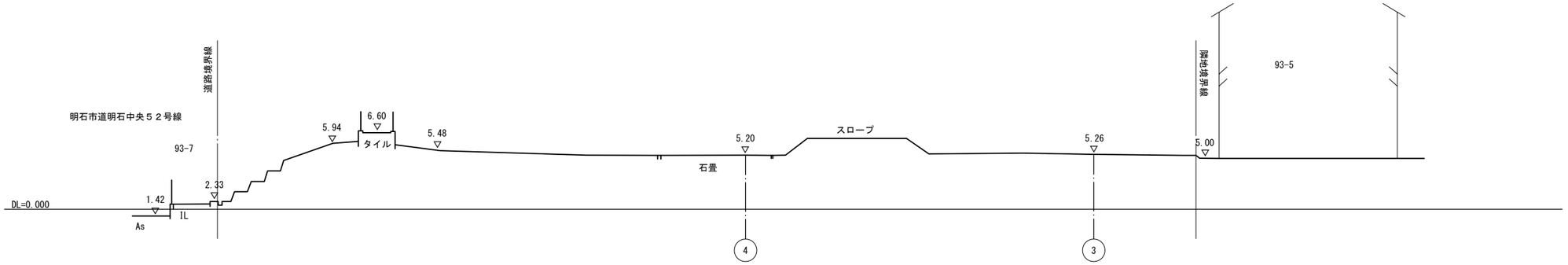
	内容	寸法
	フェンスバリケード（出入口：2ヵ所）	165m
	キャスターゲート	W5.4×H1.8



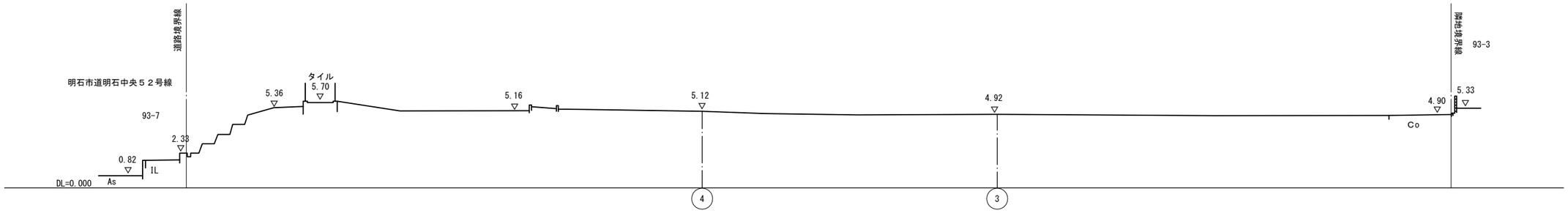
敷地現況図

※レベルはOP基準とする
※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60=KBM+0.11

特記事項	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 敷地現況図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図番 A102

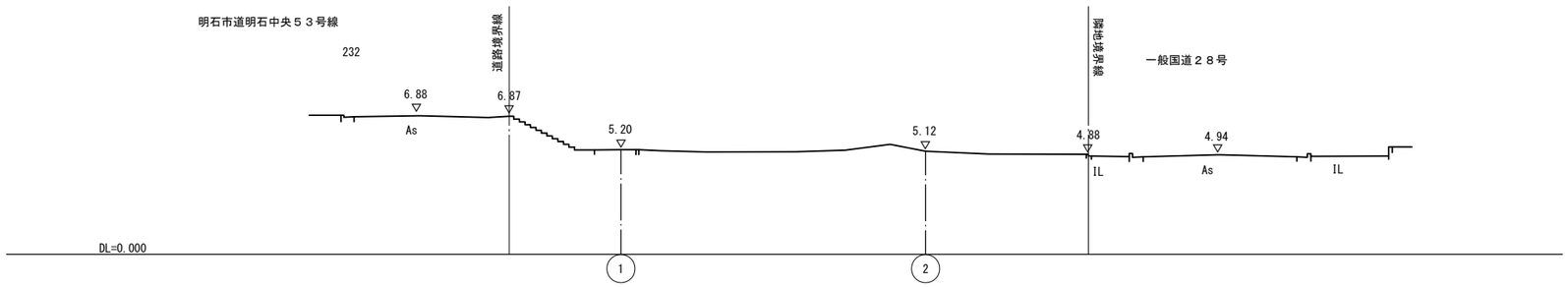


1 ―― 1'



2 ―― 2'

3 ―― 3'

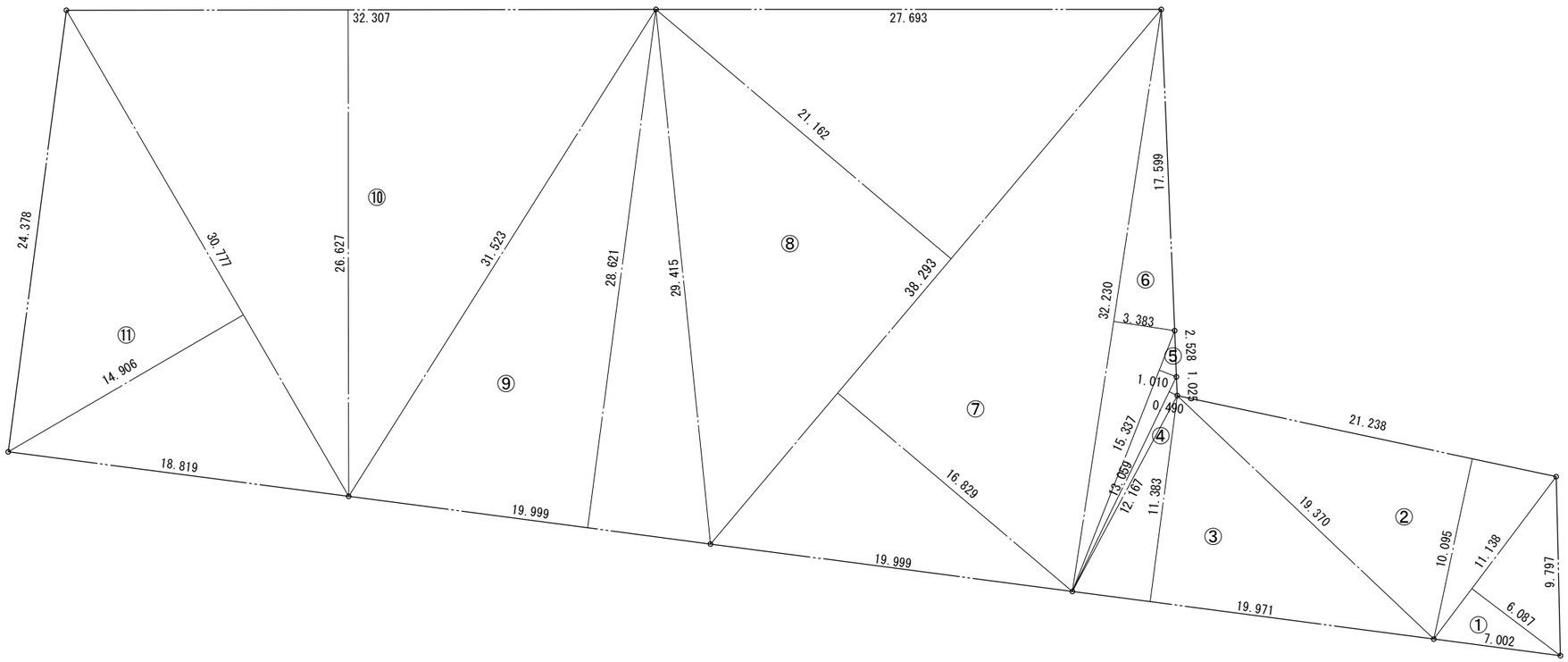


4 ―― 4'

※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60
※レベルはOP基準とする

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称	敷地現況断面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300
							図番 A103

求積表			
番号	底辺	高さ	倍面積
①	11.138	6.087	67.797006
②	21.238	10.095	214.39761
③	19.971	11.383	227.329893
④	13.059	0.490	6.39891
⑤	15.337	1.010	15.49037
⑥	32.230	3.383	109.03409
⑦	38.293	16.829	644.432897
⑧	38.293	21.162	810.356466
⑨	19.999	28.621	572.391379
⑩	32.307	26.627	860.238489
⑪	30.777	14.906	458.761962
合計			3986.629072
面積			1993.314536
地積			1993.31㎡



特記事項

株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社　一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号

設計者　一級建築士 第340646号 佐藤　彰洋

課長　担当係長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

工事名称　新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

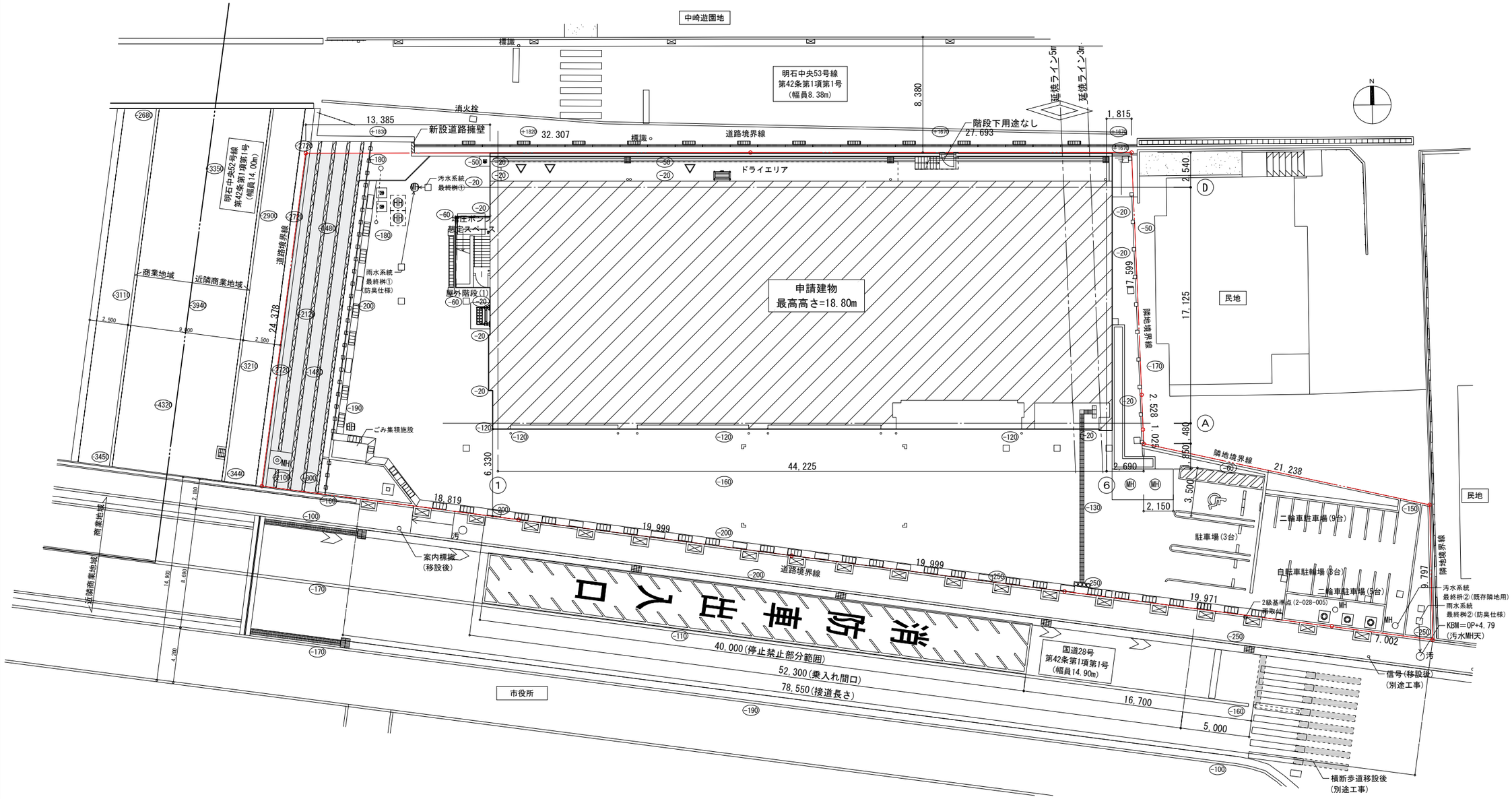
図面名称　敷地求積図・求積表

縮尺　A1：1/150　A3：1/300

図番　A104

■凡例

凡例	内容
	計画建物
	既存残置範囲
	移設後停止禁止位置 及び横断歩道位置
±0	1FLからの仕上高さを示す

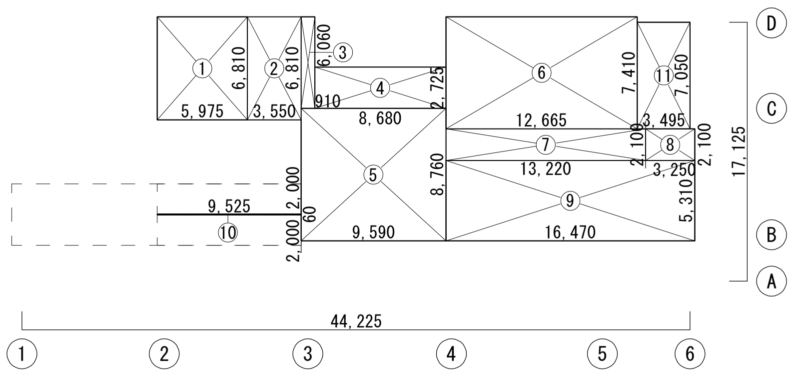


配置図

※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60=KBM+0.11

特記事項	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 設計者 佐藤 貞清	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
						図面名称 配置図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300 / 図番 A105

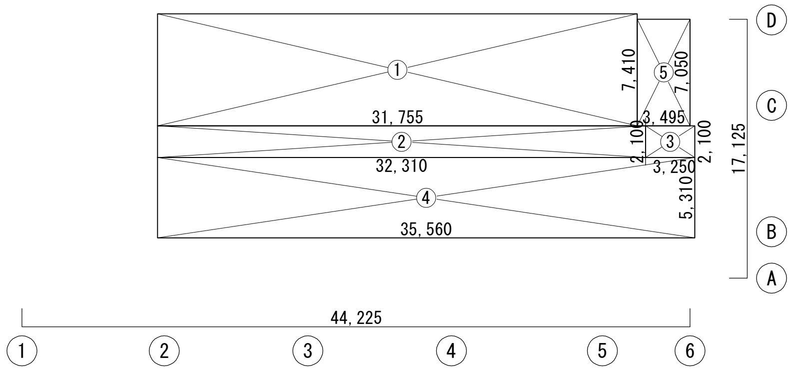
延床面積　求積図



4階　求積図

■４階床面積

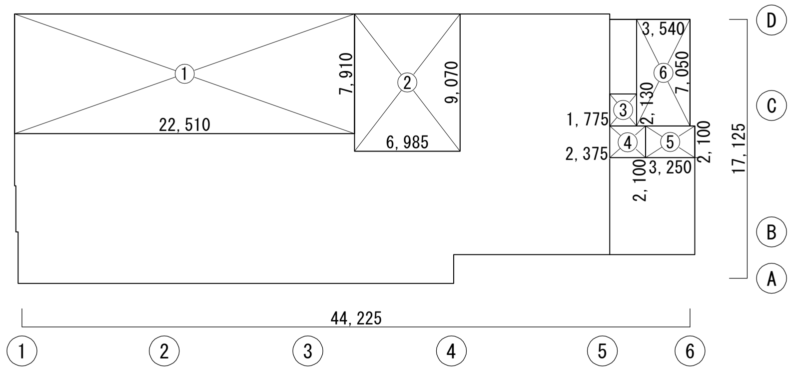
番号	計算式	合計
①	5.975 × 6.810 ＝ 40.689	419.138
②	3.550 × 6.810 ＝ 24.175	
③	0.910 × 6.060 ＝ 5.514	
④	8.680 × 2.725 ＝ 23.653	
⑤	9.590 × 8.760 ＝ 84.008	
⑥	12.665 × 7.410 ＝ 93.847	
⑦	13.220 × 2.100 ＝ 27.762	
⑧EV	3.250 × 2.100 ＝ 6.825	
⑨	16.470 × 5.310 ＝ 87.455	
⑩	9.525 × 0.060 ＝ 0.571	
⑪	3.495 × 7.050 ＝ 24.639	
4階床面積		419.13 ㎡



３階　求積図

■３階床面積

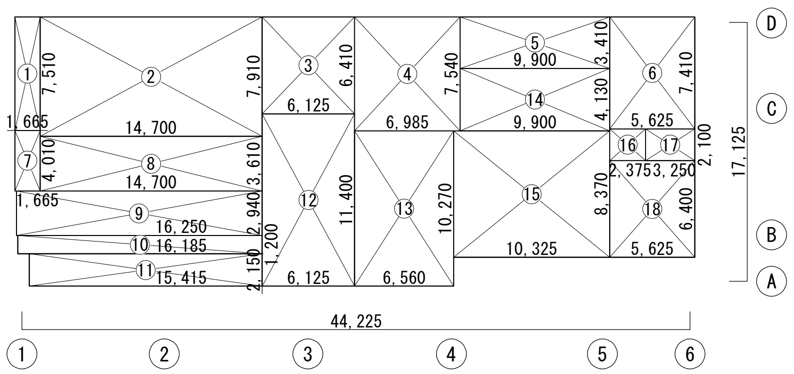
	計算式	合計
①	31.755 × 7.410 ＝ 235.304	523.442
②	32.310 × 2.100 ＝ 67.851	
③EV	3.250 × 2.100 ＝ 6.825	
④	35.560 × 5.310 ＝ 188.823	
⑤	3.495 × 7.050 ＝ 24.639	
3階床面積		523.44 ㎡



２階　求積図

■２階床面積

番号	計算式	合計
①	22.510 × 7.910 ＝ 178.054	281.956
②	6.985 × 9.070 ＝ 63.353	
③	1.775 × 2.130 ＝ 3.780	
④	2.375 × 2.100 ＝ 4.987	
⑤EV	3.250 × 2.100 ＝ 6.825	
⑥	3.540 × 7.050 ＝ 24.957	
2階床面積		281.95 ㎡

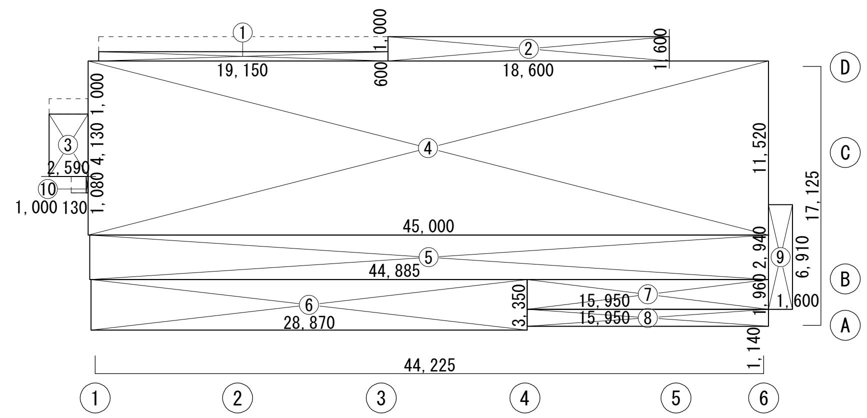


１階　求積図

■１階床面積

番号	計算式	合計
①	1.665 × 7.510 ＝ 12.504	768.545
②	14.700 × 7.910 ＝ 116.277	
③	6.125 × 6.410 ＝ 39.261	
④	6.985 × 7.540 ＝ 52.666	
⑤	9.900 × 3.410 ＝ 33.759	
⑥	5.625 × 7.410 ＝ 41.681	
⑦	1.665 × 4.010 ＝ 6.676	
⑧	14.700 × 3.610 ＝ 53.067	
⑨	16.250 × 2.940 ＝ 47.775	
⑩	16.185 × 1.200 ＝ 19.422	
⑪	15.415 × 2.150 ＝ 33.142	
⑫	6.125 × 11.400 ＝ 69.825	
⑬	6.560 × 10.270 ＝ 67.371	
⑭	9.900 × 4.130 ＝ 40.887	
⑮	10.325 × 8.370 ＝ 86.420	
⑯	2.375 × 2.100 ＝ 4.987	
⑰EV	3.250 × 2.100 ＝ 6.825	
⑱	5.625 × 6.400 ＝ 36.000	
1階床面積		768.54 ㎡

建築面積　求積図



■建築面積

番号	計算式	合計
①	19.150 × 0.600 ＝ 11.490	859.662
②	18.600 × 1.600 ＝ 29.760	
③	2.590 × 4.130 ＝ 10.696	
④	45.000 × 11.520 ＝ 518.400	
⑤	44.885 × 2.940 ＝ 131.961	
⑥	28.870 × 3.350 ＝ 96.714	
⑦	15.950 × 1.960 ＝ 31.262	
⑧	15.950 × 1.140 ＝ 18.183	
⑨	1.600 × 6.910 ＝ 11.056	
⑩	0.130 × 1.080 ＝ 0.140	
建築面積		859.66 ㎡

延べ面積

■延べ面積

階数	床面積							容積対象面積
	本体	容積対象外面積						
		EV	車庫		自家発電設備		計	
			延べ面積/5	床面積	延べ面積/100	床面積		
4階	419.13 ㎡	6.83 ㎡	398.61 ㎡	0.00 ㎡	19.93 ㎡	29.68 ㎡	26.76 ㎡	392.37 ㎡
3階	523.44 ㎡	6.83 ㎡		0.00 ㎡		0.00 ㎡	6.83 ㎡	516.62 ㎡
2階	281.95 ㎡	6.83 ㎡		0.00 ㎡		0.00 ㎡	6.83 ㎡	275.13 ㎡
1階	768.54 ㎡	6.83 ㎡		424.58 ㎡		0.00 ㎡	405.44 ㎡	363.10 ㎡
小計	1,993.06 ㎡	27.30 ㎡	424.58 ㎡		29.68 ㎡		445.84 ㎡	1,547.22 ㎡
合計	1,993.06 ㎡	27.30 ㎡	398.61 ㎡		19.93 ㎡		445.84 ㎡	1,547.22 ㎡

■１階車庫床面積

番号	計算式	合計
⑦	1.665 × 4.010 ＝ 6.676	424.585
⑧	14.700 × 3.610 ＝ 53.067	
⑨	16.250 × 2.940 ＝ 47.775	
⑩	16.185 × 1.200 ＝ 19.422	
⑪	15.415 × 2.150 ＝ 33.142	
⑫	6.125 × 11.400 ＝ 69.825	
⑬	6.560 × 10.270 ＝ 67.371	
⑭	9.900 × 4.130 ＝ 40.887	
⑮	10.325 × 8.370 ＝ 86.420	
1階車庫床面積		424.58 ㎡

■４階発電機室床面積

番号	計算式	合計
②	3.550 × 6.810 ＝ 24.175	29.689
③	0.910 × 6.060 ＝ 5.514	
4階発電機室床面積		29.68 ㎡

特記事項	株式会社あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 面積表・求積図　縮尺 A1：－ A3：－	当初・変更・完成 / 図番 A201

■ 共通事項

1 (〇-〇〇-〇)内の数字は，建築工事標準詳細図（令和4年版）の詳細番号を示す。

2 室名の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。

VS(浴室・浴場用)

略号	下地・仕上材等
	【基材】
C	コンクリート
SB	鉄筋コンクリート用棒鋼
RS	一般構造用圧延鋼材
PC	プレキャストコンクリート
CB	コンクリートブロック
ALC	軽量気泡コンクリートパネル
ECP	押出成形セメント板
M	モルタル
SL	セルフレベリング材
BA	建築用下地調整塗材
LGS	軽量鉄骨下地（壁，天井）
ST	スチール
AL	アルミニウム
SUS	ステンレス
B	ボード類
	【工法】
GL	直張り工法
T	金ごて仕上げ
F	はけ引き仕上げ
WT	木ごて仕上げ
	【コンクリート表面の仕上り状態】
C(*)	コンクリート打放し仕上げ（種別 *：A,B,C）
C(*)-@	コンクリート打放し仕上げ（平たんさの種別 @：a,b,c）
C(D)	床コンクリート直均し仕上げ
C(D)-@	床コンクリート直均し仕上げ（平たんさの種別 @：a,b,c）
	【屋根 他】
RD	ルーフドレン
HD	横走りルーフドレン
CD	中継ドレン
OF	オーバーフロー管
DP	とい
AP	通気管

略号	下地・仕上材等
	【塗料】
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
CL	クリヤラッカー塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
DP-1	耐候性塗料塗り(上塗り1級：ふっ素系樹脂)
DP-2	耐候性塗料塗り(上塗り2級：シリコン系樹脂)
DP-3	耐候性塗料塗り(上塗り3級：ポリウレタン系樹脂)
EP-G	つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り
EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
OS	オイルステイン塗り
WP	木材保護塗料塗り
AE	アクリル樹脂エナメル塗り
AC	アクリル樹脂ワニス塗り
HRP	高日射反射率塗料塗り
HexP	熱交換塗料塗り
	【内装材料 他】
GB-R	せっこうボード
GB-R-H	普通硬質せっこうボード
GB-S	シージングせっこうボード
GB-F	強化せっこうボード
GB-D	化粧せっこうボード(トラバーチン模様)）
GB-D(P)	化粧せっこう吸音ボード
GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧なし：下地張り用)
GB-NC(T)	不燃積層せっこうボード(化粧あり：トラバーチン模様)
GB-P	吸音用あなあきせっこうボード(化粧なし：塗装用)
DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)
DR-U	ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)
FK	(繊維強化セメント板)けい酸カルシウム板(タイプ2)
FK-D	(繊維強化セメント板)化粧けい酸カルシウム板(タイプ2)
RW-B	ロックウール吸音ボード
GW-B	グラスウール吸音ボード
RW	ロックウールガラスクロス張り
GW	グラスウールガラスクロス張り
XPS	押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	【天井廻縁】

	塩化ビニル製	アルミニウム製		
⊏	V1	A1		
⊏	V2	A2		

略号	下地・仕上材等
	【内装材料 他】
VS	ビニル床シート
VS(防滑)	防滑性ビニル床シート
VS(防滑・防汚)	防滑・防汚性ビニル床シート
VS(浴室・浴場用)	浴室・浴場用ビニル床シート
VT	ビニル床タイル
FOA	置敷きビニル床タイル
TC	タイルカーペット
OAF	フリーアクセスフロア(置敷き式) (OAフロア)
FAF	フリーアクセスフロア(支柱調整式)
VB	ビニル幅木
WB	木製幅木
WF	畳寄せ(6-43-2)

【コンクリートの打放しと直均しの種別】

略号	打放し	平たんさ	仕上げ	
C(A)-a	A種	a種	コンクリート化粧打放し	(BA下地) タイル張り(接着剤張り)
			(C下地) タイル直張り(モルタル張り)	(C下地) タイル直張り(接着剤張り)
C(B)-a	B種	a種	(BA下地) 塗装	(BA下地) 壁紙張り
C(B)-b		b種	(BA下地) 仕上塗材	(M下地)タイル張り(モルタル張り)
			防水層立上り部	
C(C)-b	C種	b種	直張り工法(GL)下地	
C(C)-c		c種	モルタル塗り	現場発泡断熱材吹付け
C(D)-a	直均し仕上	a種	ビニル系・ゴム系床材張り	合成樹脂塗床,防塵塗装
			タイルカーペット張り	フリーアクセスフロア(置敷き式)
			床コンクリート直均し仕上げのまま	
C(D)-b		b種	上記以外のカーペット張り	フリーアクセスフロア(支柱調整式)
			防水下地,保護コンクリート表面	セルフレベリング材塗り
C(D)-c		c種	床下ピット床表面	フリーアクセスフロア以外の二重床

※コンクリート面の下地調整については、15.6.5による

略号	下地・仕上材等
	【居室】
◯	居室
㊫	採光上の無窓居室
(排)	排煙上の無窓居室
	【内装制限】
不	仕上材を不燃材料
準	仕上材を準不燃材料
難	仕上材を難燃材料
(不)	下地，仕上材を不燃材料
(準)	下地，仕上材を準不燃材料
	【排煙設備】
自	自然排煙
機	機械排煙
令1～4	建築基準法施行令 第126条の2 第1項 第1号,2号,3号,4号
告イ～ホ	H12建告1436号 第4 イ，ロ，ハ，ニ,ホ,ト
告ヘ1～5	H12建告1436号 第4 ヘ (1),(2),(3),(4),(5)

■ 外部仕上表

棟	部位	箇所	仕上
	床	エントランス	セラミックタイル (1-01-6)
		ドライエリア	C(D)
		車庫前	無機系硬質床(防滑)
		訓練用屋外階段(1)(2)	踊場：塗膜防水(X-2)
			蹴上・踏面：防水モルタルt30金ゴテ押え
	壁、柱、はり		フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
			複層塗材RE
			C(A)の上、ファンデーション耐候性特殊塗装フッ素コーティング
		エントランス	セラミックタイル
		ドライエリア(擁壁側)	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
		訓練用屋外階段(1)	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
		訓練用屋外階段(2)	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
			複層塗材RE
		放水壁	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
			FRPグレーチング
		降下訓練壁	C(B)の上、 特殊樹脂塗装
		引揚訓練壁	C(B)の上、 特殊樹脂塗装
		ホースリフター	鉄部：溶融亜鉛メッキ仕上げ
	腰		※壁、柱、はりに同じとする。
	屋根	バルコニー(1)(3)	超速硬化ウレタン塗膜防水
		訓練用通路	超速硬化ウレタン塗膜防水(防滑)
		引揚訓練スペース	超速硬化ウレタン塗膜防水(防滑)
		バルコニー(2)	保護アスファルト防水絶縁工法 (B-2)
		屋上、バルコニー(4)(5)	保護アスファルト防水絶縁断熱工法 (BI-2)
		パラペット天端	塗膜防水(X-2)
		設備基礎天端	塗膜防水(X-2)
		管類立上り	天端：複層塗材RE
			壁：複層塗材RE
		目隠しルーバー	鉄部：溶融亜鉛メッキの上、リン酸処理仕上げ
	軒天		外装薄塗材E
		エントランス	木目調パルプ繊維混入セメント板t12
	庇		上端：塗膜防水(X-2)
			はな：フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
			下端：フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
			人工木ルーバー
			アルミ製(既製品)

棟	部位	箇所	仕上

■ 使用材料 認定番号

【⊙印の材料を本工事に使用する】

材質	認定番号
【不燃材料】	
⊙ せっこうボード GB-R t12.5以上	NM-8619
・ 普通硬質せっこうボード GB-R-H	NM-9645
⊙ シージングせっこうボード GB-S	NM-9639
⊙ 強化せっこうボード GB-F	NM-8615
・ 化粧せっこうボード GB-D	NM-5468
・ 化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)	NM-0879
・ 不燃積層せっこうボード GB-NC	NM-0441
⊙ 不燃積層せっこうボード GB-NC(T)	NM-1864
⊙ ロックウール化粧吸音板 DR	NM-8599
⊙ けい酸カルシウム板(タイプ2) FK	NM-8576
⊙ 化粧けい酸カルシウム板(タイプ2) FK-D	NM-8577
・ ロックウール吸音ボード RW-B	NM-8600
・ グラスウール吸音ボード GW-B	NM-8605
・ ロックウールガラスクロス張り RW	NM-8602
⊙ グラスウールガラスクロス張り GW	NM-8610
⊙ 塗料塗装	NM-8585
・ 無機質砂壁状吹付材塗り	NM-8571
・ 有機質砂壁状塗料塗り	NM-8572
・ 複合型化粧用仕上塗り	NM-8573
⊙ 天然木化粧不燃板t6 (アイカ モアウッド不燃同等品)	NM-1739
⊙ バスパネル (フクビ化学工業 マルチスパン同等品)	NM-1838
⊙ メラミン不燃化粧板t3 (Panasonic キッチンボード同等品)	NM-2183
⊙ 壁紙張り (東リ 不燃認定壁紙同等品)	NM-3991
⊙ 壁紙張り（上級） (東リ 不燃認定壁紙同等品)	NM-3991
⊙ UB (Panasonic システムバス BEVAS同等品)	NM-3790
⊙ US (Panasonic ユニットバス Fシリーズ同等品)	NM-3790
⊙ 木ルーバー **(日本住宅パネル工業協同組合 NMウッドすぎ集成同等品)**	NM-1716
⊙ ノンフロン湿式不燃断熱材 **(エスケー化研 セラミライトエコG同等品)**	NM-0916

材質	認定番号
【難燃材料】	
・ 塗料塗装	RM-9364
・ 無機質砂壁状吹付材塗り	RM-9366
・ 有機質砂壁状塗料塗り	RM-9361
・ 複合型化粧用仕上塗り	RM-9362
【準不燃材料】	
・ せっこうボード GB-R t9.5	QM-9828
・ シージングせっこうボード GB-S	QM-9826
・ 化粧せっこうボード GB-D	QM-9824
・ 化粧せっこう吸音ボード GB-D(P)	QM-9822
・ 吸音用あなあきせっこうボード GB-P	QM-9827
・ 塗料塗装	QM-9816
・ 無機質砂壁状吹付材塗り	QM-9811
・ 有機質砂壁状塗料塗り	QM-9812
・ 複合型化粧用仕上塗り	QM-9813
・	
【耐火被覆材料】	
・ 吹付けロックウール耐火被覆(柱1時間)	FP060CN-9460
・ 吹付けロックウール耐火被覆(柱2時間)	FP120CN-9463
・ 吹付けロックウール耐火被覆(はり1時間)	FP060BM-9408
・ 吹付けロックウール耐火被覆(はり2時間)	FP120BM-9411
・	

【壁装材料（壁紙）】	防火種別	**防火性能(認定番号)**
・ 紙系壁紙		
・ 繊維系壁紙（織物）		
・ 繊維系壁紙（化学繊維織物）		
・ 塩化ビニル樹脂系壁紙		
・ 塩化ビニル樹脂系壁紙		
・ プラスチック系壁紙		
・ 無機質系壁紙		
・		

■ 特記事項

【特記なき限り次のとおりとする】

部位	特記事項
共通	・モルタル(M)塗りは金ごて仕上げ(T)とする。
	・内装仕上げ，下地材，天井内に使用する材料は，F☆☆☆☆とする。
	・断熱材打込みの施工範囲は，(7-01)による。
	・カーテン，じゅうたんは防炎処理仕様とする。
	・使用する材料は、石綿を含有しないものとする。
床，幅木	・床コンクリートの表面はC(D)，金ごて仕上げ(T)とする。
	・仕上高は，FLからの仕上高さを示す。
	・コンクリートスラブ(SL)高は，FLよりの寸法を示す。
	・FLとSLの差は，コンクリートスラブの打増し(仕上げ材を含む)で調整する。(1-01-3)(1-01-4)
	・PS，EPS，DSの床は水平区画とし，仕上げはC(D)の上，金ごて仕上げ(T)とする。
	・異なる床仕上げ材の取合いで，くつずり，目地棒など，仕上げ見切りがない場合は，(4-31-3)による。
壁，柱	・ボード出隅部は，塩ビ製ジョイナーを用いて補強する。
	・化粧けい酸カルシウム板(FK-D)の出隅，入隅は，アルミ製ジョイナーを用いる。(2-04-1)ジョイント部は,目地シーリングとする。
	・タイル接着剤張りの下地ボードは，シージングせっこうボード(GB-S)を使用する。(2-01-3)
	・表面ボードがけい酸カルシウム板(FK)又はシージングせっこうボード(GB-S)の場合,耐火間仕切部分はその上に増張りとし,それ以外は表面ボードを置換する。
	・下がり壁の仕上げは，壁と同じとする。(3-12-1)
	・柱型及び梁型の仕上げは，壁仕上げと同じとする。
	・軽量鉄骨壁下地(LGS)で,壁に取りつく手摺，棚，便器等がある場合は下地補強を行う。
	・外部に面するコンクリートは 20mmの打増しを行う。(2-02-7～11)
天井	・軽量鉄骨天井下地(LGS)で表面ボードが目透し張りの場合，野縁以外の目地部分に目地板を入れる。
防水	・防水層保護コンクリートの表面は，C(D) とする。
	・防水下地コンクリートスラブの天端は，t=10mmの打増しし，表面はC(D)とする。
	・屋根防水が断熱工法の場合，ルーフドレン(RD，HD)周りは，スラブ下面に断熱を施す。(5-32-1)

部位	特記事項

特記事項	・
	・
	・
	・

株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 (佐藤) (貞清)
課長	担当課長
係長	担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課	
製作年月日	2025年1月
工事名称	新中崎分署建設工事
図面名称	仕上表(1)
縮尺	A1：－ A3：－
当初・変更・完成	
図番	A202

■ 内部仕上表

階	室名	居室	内装制限	排煙設備	床仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 天井高	備考
1	風除室		準	－	±0	M	セラミックタイル（防滑）	－		C B	セラミックタイル 天然木ルーバー	LGS	GB-Rt12.5の上、木目調パルプ繊維混入セメント板t12	V2	2700	総合案内板、衝突防止柵、点字鈑、
					-30					B	EP		一部GB-Rt12.5の上、天然木化粧不燃板t6		一部 3420	受付カウンター、ピクチャーレール
	ホール		準	自	±0	M	セラミックタイル（防滑）	－		C B	セラミックタイル 天然木ルーバー	LGS	GB-Rt12.5の上、天然木化粧不燃板t6	V2	2700	
					-30					B	EP					
	倉庫		不	告へ2	±0	C	合成樹脂塗床	床材立上	100	－	C(B)	－	C(B)	－	直天	
					-10											
	車庫 測定対象室（3）		準	告へ1	-100～±0	C	無機系硬質床(防滑)	床材立上	100	C	フッ素カラークリアー塗装	C	外装薄塗材E（梁型共）	－	直天	一槽式シンク、設備基礎、
					-110～-10		一部溶剤系ライン塗					C	一部ノンフロン湿式不燃断熱材t50			ホースフック
	油庫		不	告へ2	±0	C	合成樹脂塗床（耐油性）	床材立上	500	－	C(B)	－	C(B)	－	直天	ため桝
					-10											
	資機材庫 測定対象室（1）		不	告へ2	±0	C	合成樹脂塗床	床材立上	100	－	C(B)	－	C(B)	－	直天	
					-10											
	出動準備室 測定対象室（2）		準	自	±0	SL	VS（防滑）	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	
					-10							C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			
	洗濯室 測定対象室（1）		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑）	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	面台
					-10											
	乾燥室		不	告へ2	±0	M	セラミックタイル（防滑）	－		C	セラミックタイル	LGS	バスパネル	V2	2575～2600	物干しパイプ(金物共)、排水溝
					-50							C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			
	除染室		不	告へ2	±0	M	セラミックタイル（防滑）	－		C	セラミックタイル	LGS	バスパネル	V2	2600～2620	シャワーブース、排水溝、面台、
					-50							C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			ステンレス棚、フック
	救急消毒室 測定対象室（1）		不	告へ2	±0	M	セラミックタイル（防滑）	－		C	セラミックタイル	LGS	FKt8.0の上、EP-G	V2	2600	一槽式シンク、作業台、面台、排水溝
					-30							C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			
	救急資機材庫		不	告へ2	±0	C	合成樹脂塗床	床材立上	100	B	EP-G	LGS	FKt8.0の上、EP-G	V2	2600	
					-10							C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			
	水防資機材庫兼資機材庫		不	告へ2	±0	C	合成樹脂塗床	床材立上	100	－	C(B)	C	ノンフロン湿式不燃断熱材t50	－	直天	
					-10											
	土のう置場		不	告へ2	±0	C	合成樹脂塗床	床材立上	100	－	C(B)	C	ノンフロン湿式不燃断熱材t50	－	直天	
					-10											
	HWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	トイレパック（機械設備工事）
					-10											
	MWC、WWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	トイレブース、手摺、面台、汚垂タイル、
					-10											タオル掛け、洗面カウンター(穴あけ共)
	SK		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	面台、棚板、モップフック
					-10											
2	廊下		準	自	±0	SL	VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700 一部 2800	
					-10							C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			
	洗面室		不	告へ2	±0	SL	VS(防滑・防汚)	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	鏡、洗面カウンター(穴あけ共)、
					-10						一部化粧シート張り					タオル掛け
	仮眠室1～14 測定対象室（1） （仮眠室1のみ）	○	難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ブラインドボックス
					-10		下足:VS(貼り分け)					C	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)			

階	室名	居室	内装制限	排煙設備	床仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 天井高	備考
2	倉庫		不	告へ2	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	
					-10											
	リネン室		不	告へ2	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	リネン収納棚
					-10											
	MWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	トイレブース、手摺、面台、
					-10											汚垂タイル
	SK		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	面台、棚板、モップフック
					-10											
3	ホール		準	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	
					-10											
	事務室 測定対象室（2）	○	難	自	±0	SL	FAFの上、FOA	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ブラインドボックス、天然木ルーバー
					-60											
	来庁者用打合せスペース	○	難	自	±0	SL	FAFの上、FOA	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5の上、EP	V2	2600	
					-60					B B	一部天然木ルーバー 一部EP					
	給湯室		難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5の上、EP	V2	2700	システムキッチン、カップボード、
	※火気の使用はなし				-10					B	一部メラミン不燃化粧板t3					ブラインドボックス
	システム管理室		不	告へ2	±0	SL	FAFの上、FOA	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	設備基礎
					-60											
	執務室 測定対象室（1）	○	難	自	±0	SL	FAFの上、FOA	VB	60	B	壁紙張り（上級）	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ブラインドボックス
					-60											
	廊下		準	自	±0	SL	VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700 一部 2950	ブラインドボックス、リネン収納棚、鏡、
					-10						一部化粧シート張り	C	一部GW-Bt50 敷込			面台、洗面カウンター(穴あけ共)
	脱衣室1･3		不	告へ2	+200	C	乾式二重床の上、VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2500	洗面化粧台、脱衣箱、
					-10											面台(脱衣室1のみ)
	脱衣室2･4･5		不	告へ2	+200	C	乾式二重床の上、VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2500	脱衣棚
					-10	SL	下足:VS(貼り分け)									
	浴室		不	告へ2	+170～+200	C	VS(浴室・浴場用)	－		C B	セラミックタイル	LGS	バスパネル		2550～2600	排水溝、浴槽
					-10											
	女性仮眠室1～3	○	難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ブラインドボックス、鏡、カウンター
					-10		下足:VS(貼り分け)					C	GW-Bt50 敷込			
	仮眠室15～22	○	難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ブラインドボックス
					-10		下足:VS(貼り分け)									
	洗面室		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	鏡、洗面カウンター(穴あけ共)、
					-10							C	GW-Bt50 敷込			タオル掛け
	HWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	
					-10											
	MWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	面台、洗面カウンター(穴あけ共)、手摺
					-10											トイレブース、タオル掛け、汚垂タイル
	WWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	手摺、タオル掛け
					-10											

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 仕上表(2)

縮尺 A1：－ A3：－

当初・変更・完成

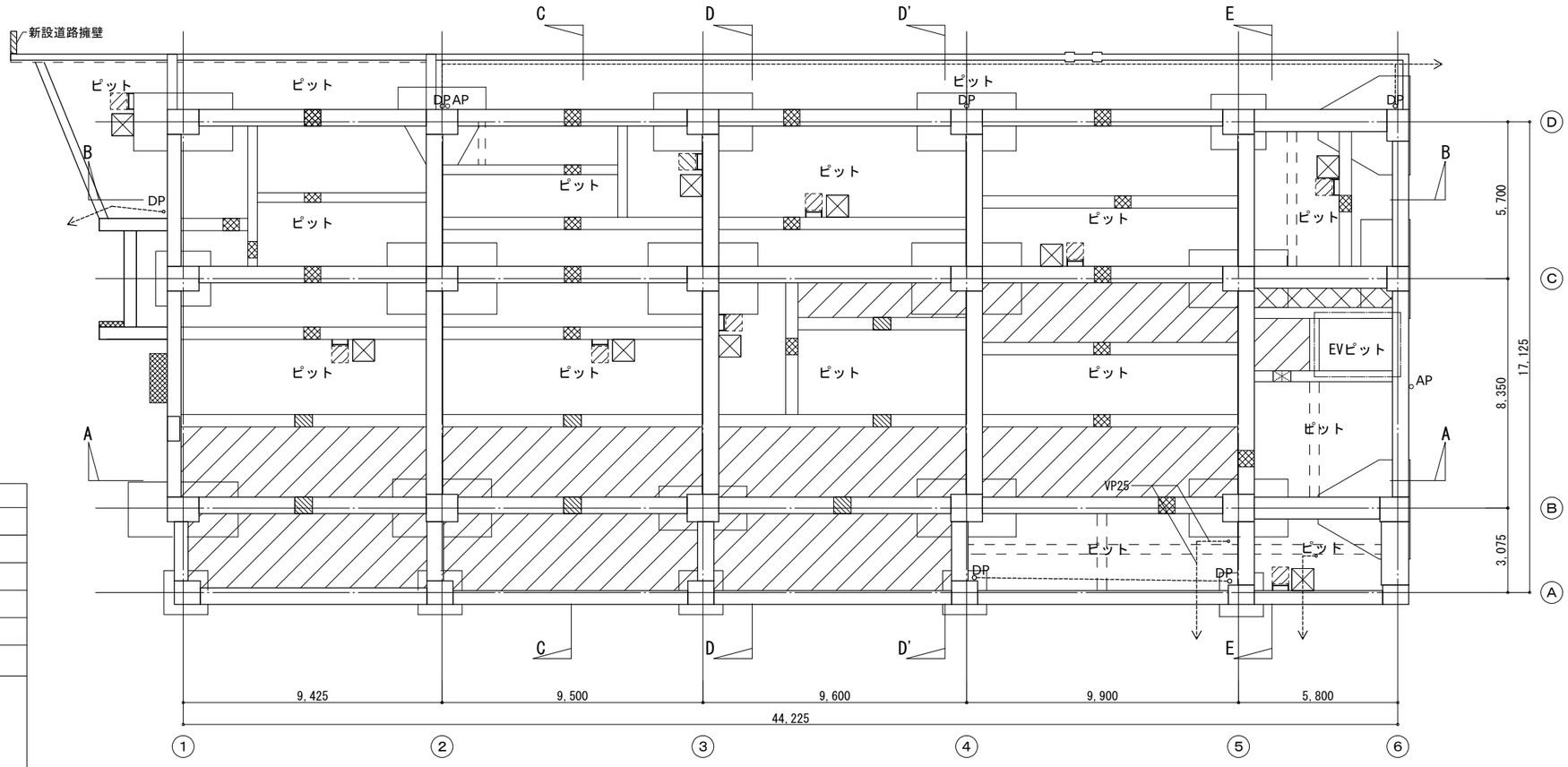
図番 A203

■ 内部仕上表

階	室名	居室	内装制限	排煙設備	床仕上高 スラブ高	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁 下地	壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井 廻縁	天井 天井高	備考
4	廊下		準	自	±0	SL	VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	
					-10											
	スタッフルーム	○	難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	ブラインドボックス
	測定対象室（1）				-10											
	書庫兼倉庫		不	告へ2	±0	SL	VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	
					-10											
	体力錬成室	○	難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2800 一部 2700	壁掛洗面、ブラインドボックス
	測定対象室（1）				-10		下足:VS(貼り分け)				腰壁：衝撃吸収材 H=1100 t50					雲梯、鏡
	食堂	○	難	自	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ブラインドボックス、カップボード、
	測定対象室（2）				-10						EP(ブラック)					面台
	厨房	火	不	告へ2	±0	SL	VS	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	システムキッチン、カップボード
					-10						一部メラミン不燃化粧板t3					
	待機室	○	難	自	300	C	在来軸組の上、畳敷きt15	WF	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5の上、壁紙張り	–	2400	ブラインドボックス
	測定対象室（1）				-10		一部フローリングt15(6-43-2)									棚板
	会議多目的室	○	難	自	±0	C	FAFの上、FOA	VB	60	B	壁紙張り	LGS	GB-Rt12.5+DRt9.0	V2	2700	ホワイトボード、ブラインドボックス
	測定対象室（2）				-60						一部ホワイトボード壁紙張り					
	倉庫1～2		不	告へ2	±0	SL	VS	VB	60	B	EP-G	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2700	
	測定対象室（1）（倉庫1のみ）				-10											
	電気室		不	告へ2	±0	C	C(D)	床材立上	100	C	GWt50	C	GWt50	–	直天	設備基礎
	測定対象室（1）				-10											
	発電機室		不	告へ2	±0	C	C(D)	床材立上	100	C	GWt50	C	GWt50	–	直天	防油堤、ため桝、設備基礎
					-10											
	MWC・WWC		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	面台、手摺、タオル掛け
					-10											
	SK		不	告へ2	±0	SL	VS（防滑・防汚）	床材立上	60	B	FK-Dt6.0	LGS	GB-NC(T)t9.5	V2	2600	面台、棚板、モップフック
					-10											
共通	PS			–	±0	C	C(D)	床材立上	100	C LGS	下地表し	C	C(B)	–	直天	
					-10					C	一部発泡ウレタン吹付 ※ノンフロン仕様					
	EPS			–	±0	C	C(D)	床材立上	100	C LGS	下地表し	C	C(B)	–	直天	
					-10					C	一部発泡ウレタン吹付 ※ノンフロン仕様					
	階段1		準	–	±0	M	VS（防滑）	VB	60	B C	EP-G	LGS	GB-Dt9.5	V2	2700	
					-30							C	EP-G			
	階段2(2階ホール共)		準	–	±0	SL M	VS（防滑）（3F段床～4FL） VT（防滑）（1FL踊場～3FL）	VB	60	B C	EP-G	LGS	GB-Rt12.5の上、EP-G（1FL～3FL）	V2	2700	点字鋲
						M	セラミックタイル（1FL）	–		C	フッ素カラークリアー塗装		GB-NC(T)t9.5(4FL)			
					-30	M	構造用合板t9の上、国産オーク無垢集成材t36 UC					C	EP-G			
	EV昇降路			–	1FL -1250	C	ケイ酸質系塗布防水	床材立上	1250	C	C(B)	C	C(B)	–	直天	吊フック
					1FL -1250											

特記事項 ・
・
・
・

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清
課長 担当課長 係長 担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課
製作年月日 2025年1月
工事名称 新中崎分署建設工事
図面名称 仕上表(3)
縮尺 A1：– A3：–
当初・変更・完成
図番 A204



ピット平面図

■凡例	
	砕石敷ピット範囲を示す
	埋戻し範囲を示す
	タラップ（SUS製）（8-31-1） 5段
	上部化粧フロアハッチ(防水･防臭型) ：特記なき限り600□（床仕上同材）
	釜場 800X800XH500
	人通口600φ
	握り棒 SUS 22φ L=600 通気管 VU100 人通孔 600φ 連通管 VU150 半割
	人通口600φ(連通管なし)
	人通口550φ
	握り棒 SUS 22φ L=600 通気管 VU100 人通孔 600φ
	1階スラブ下：押出法ポリスチレンフォーム 3種bt25打ち込み 地盤面からH400折り返し
	止水板(水膨張性コンクリート打継止水材W20 x t10)
	特記なき限り、VP150
	梁側面増打ち
	小梁(見上げ)

N

特記事項

株式会社 あい設計

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学

設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

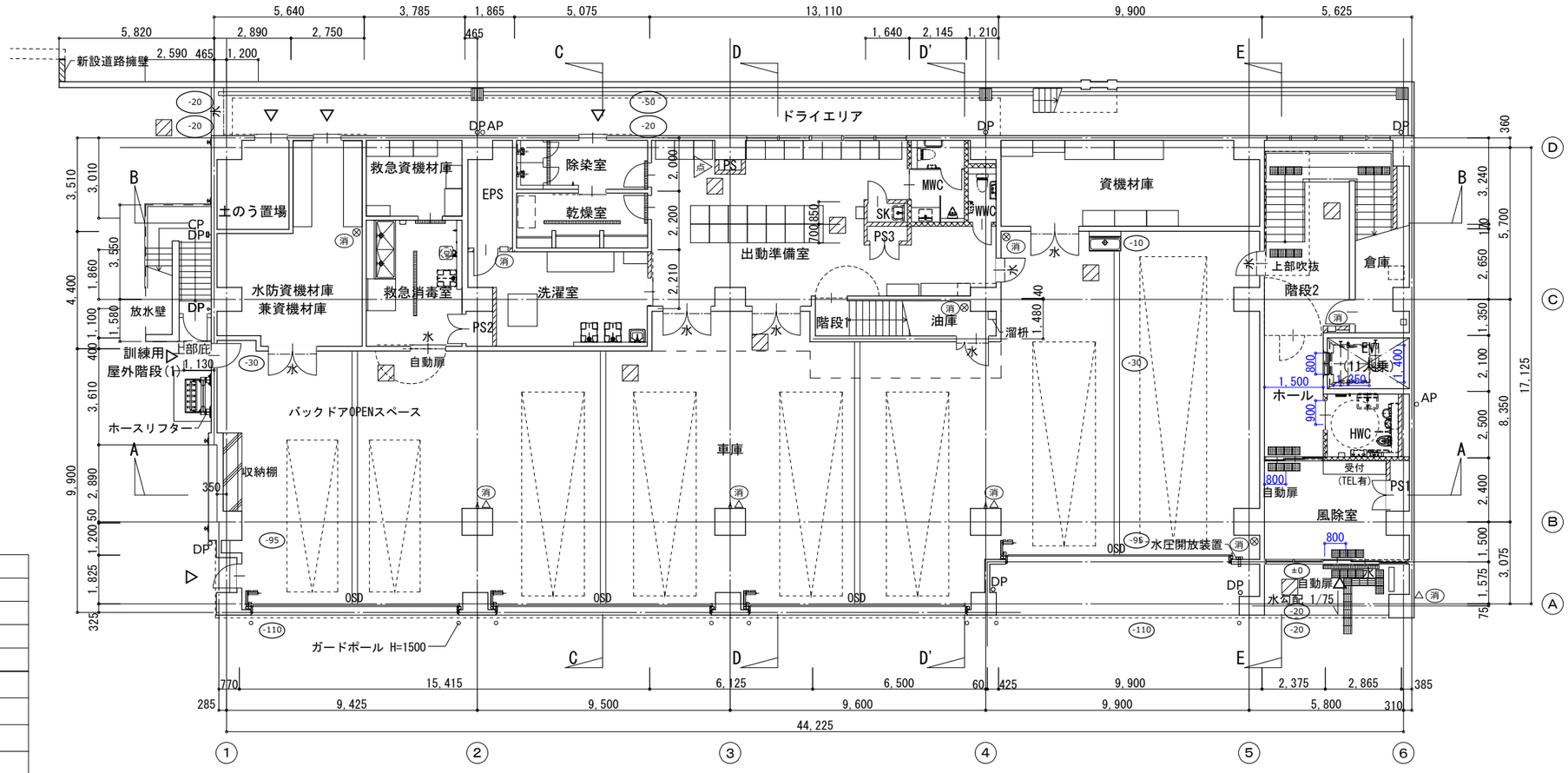
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

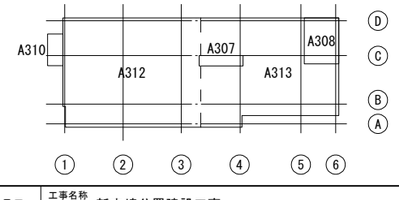
図面名称 ピット平面図

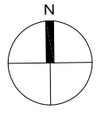
縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A205



1階平面図



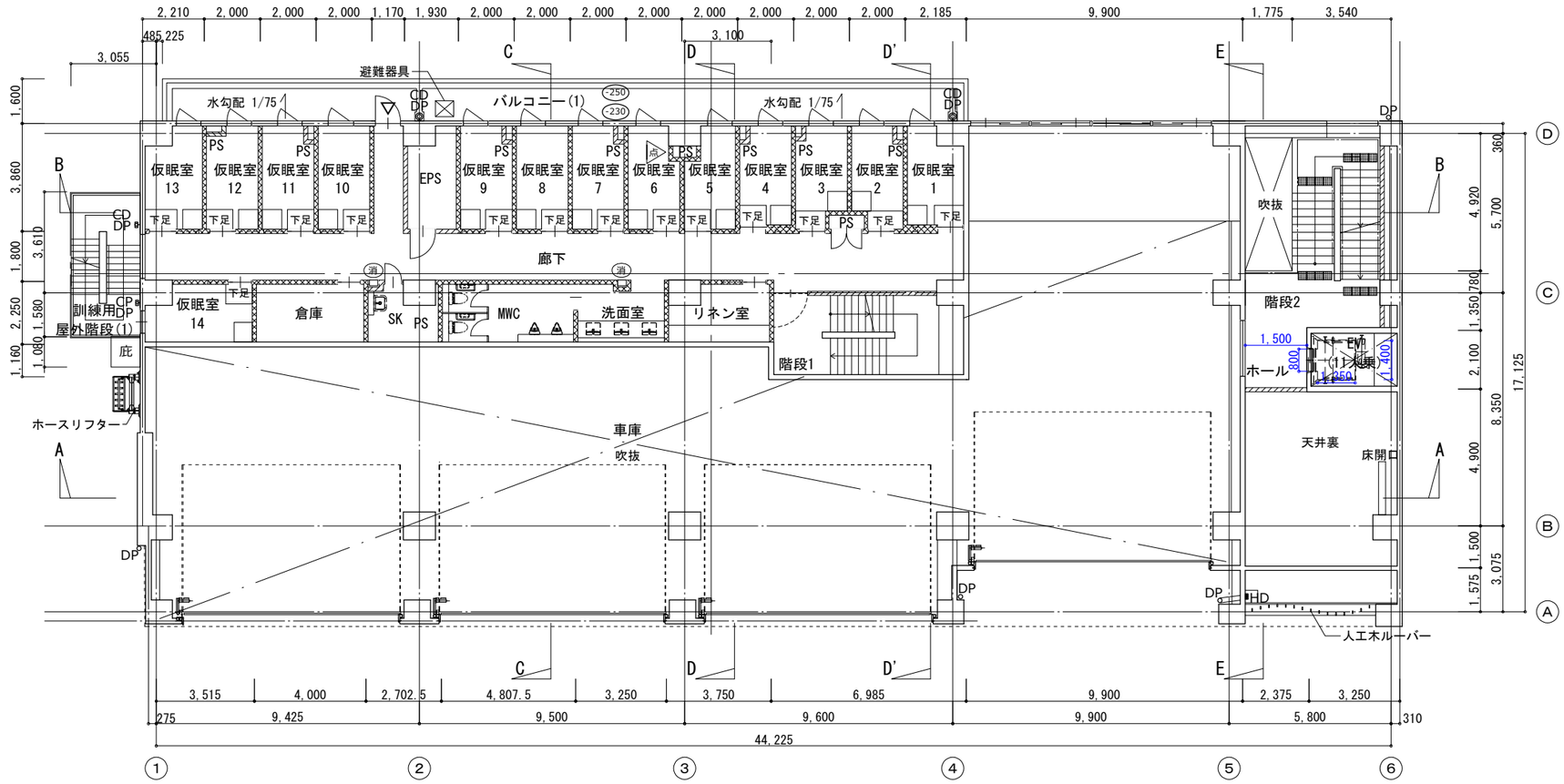


■凡例

	RC壁
	遮音LGS壁
	LGS壁
	上部バルコニー・庇ライン
△	屋外出入口
	側溝
	集水桝
水	防水板
消	消火器ボックス(埋込)
消	消火器ボックス(床置)
消	消火器ボックス(壁掛)
	設備機械基礎
	点鋲(視覚障碍者用)
	線鋲(視覚障碍者用)
±0	FLからのスラブ高さを示す
	特記なき床高さは±0とする
	必要最低有効寸法(建築基準法)
	必要最低有効寸法(兵庫県 福祉のまちづくり条例)
	化粧フロアハッチ(防水・防臭型) ：特記なき限り600口（床仕上同材）
点	壁点検口300×300　アルミ枠(壁同材額縁タイプ)

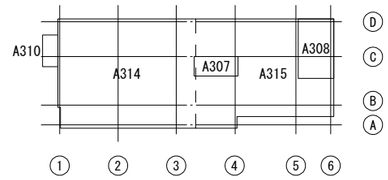
特記事項

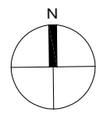
株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 1階平面図 / 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図番 A206



2階平面図

■凡例	
	RC壁
	遮音LGS壁
	LGS壁
	上部バルコニー・庇ライン
±0	FLからのスラブ高さを示す
△	屋外出入口
	点鈑(視覚障碍者用)
消	消火器ボックス(埋込)
	必要最低有効寸法(建築基準法)
	必要最低有効寸法(兵庫県 福祉のまちづくり条例)
点	壁点検口300×300 アルミ枠(壁同材額縁タイプ)





特記事項

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

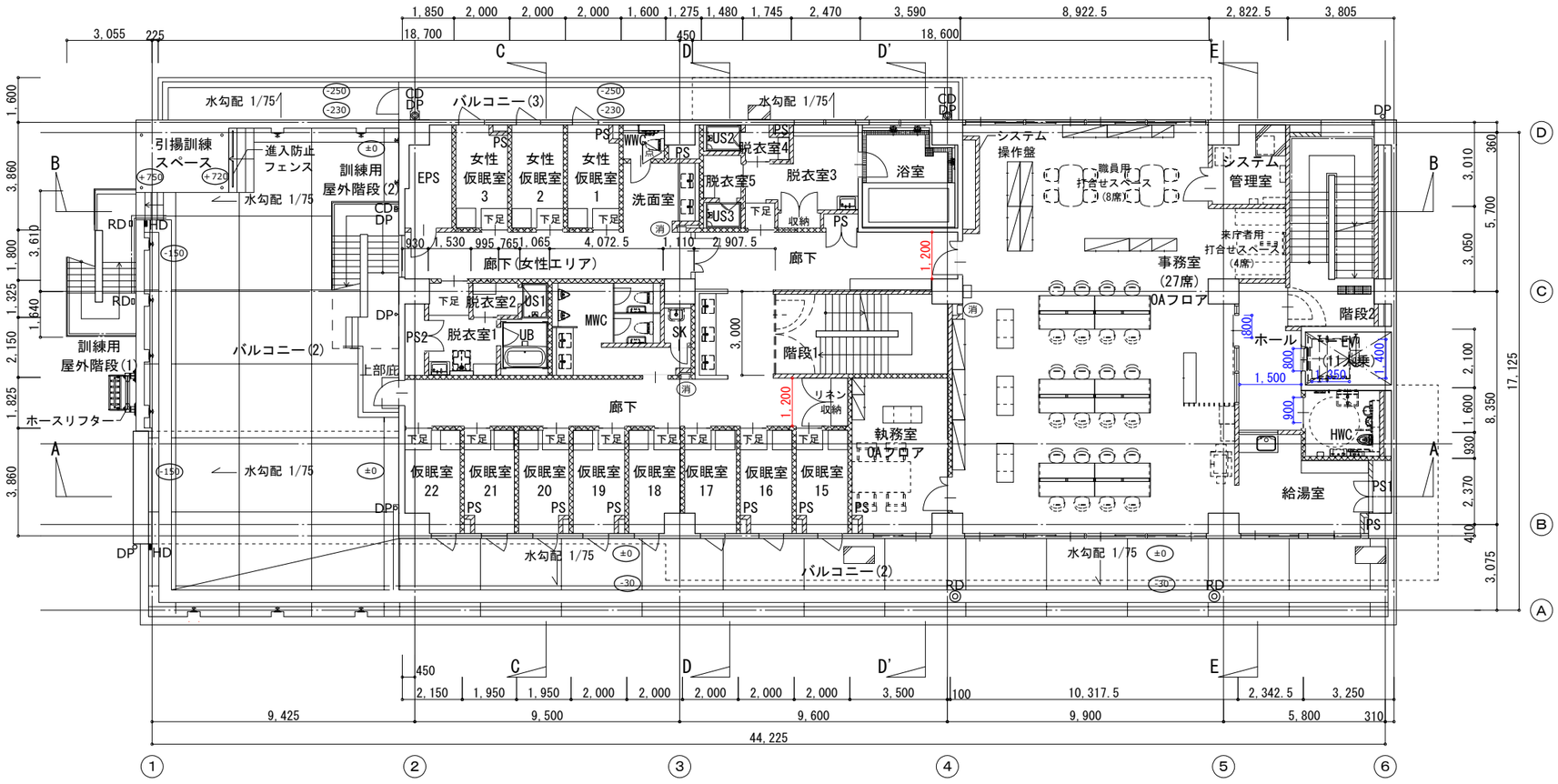
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 2階平面図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

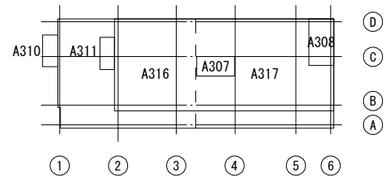
当初・変更・完成

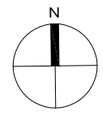
図番 A207



3階平面図

■凡例	
	RC壁
	遮音LGS壁
	LGS壁
	上部バルコニー・庇ライン
±0	FLからのスラブ高さを示す
	点鈑(視覚障碍者用)
消	消火器ボックス(埋込)
	設備機械基礎
点	壁点検口300×300　アルミ枠(壁同材額縁タイプ)
	必要最低有効寸法(建築基準法)
	必要最低有効寸法(兵庫県　福祉のまちづくり条例)





特記事項

株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社　一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号　TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

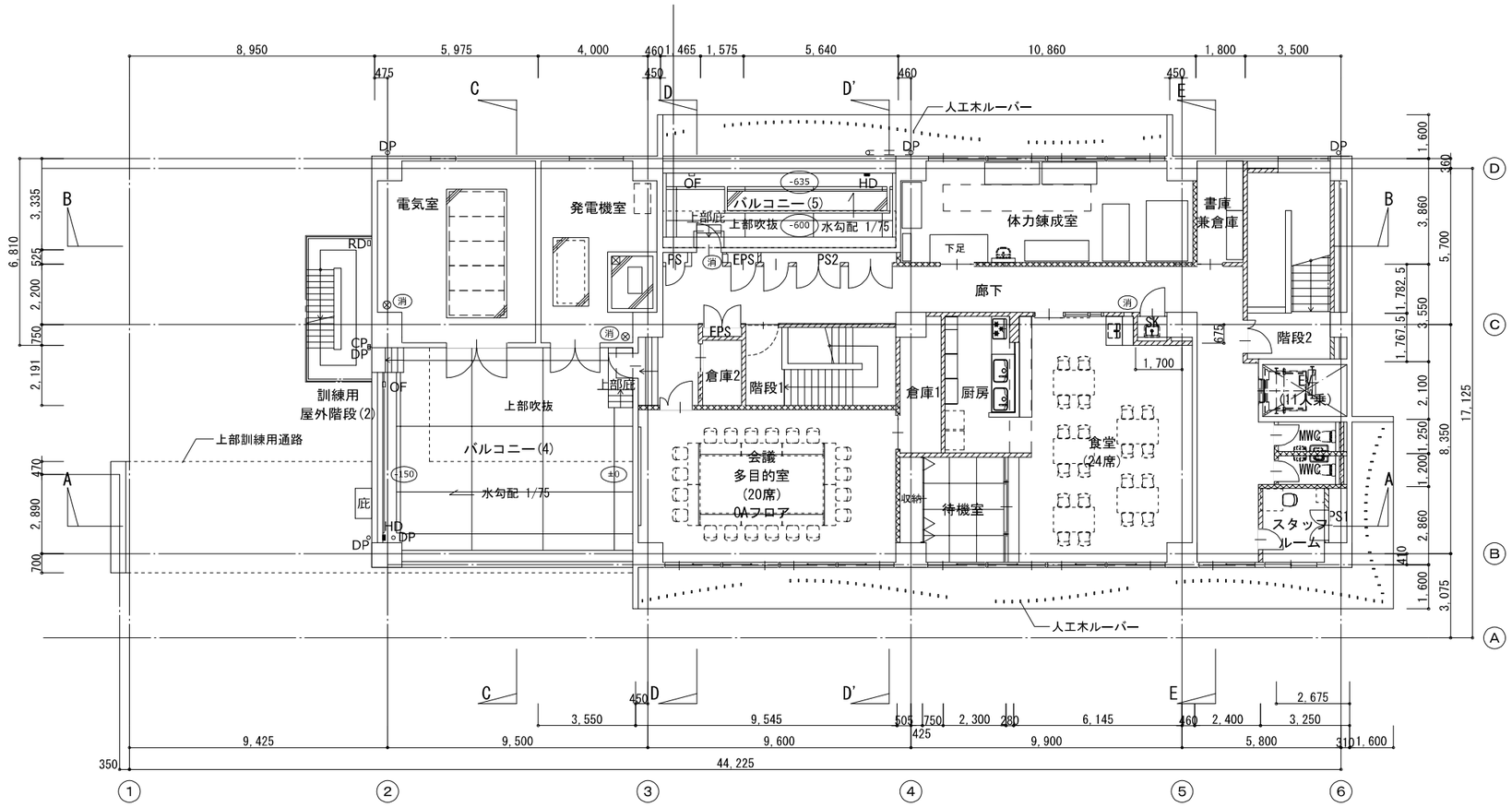
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 3階平面図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

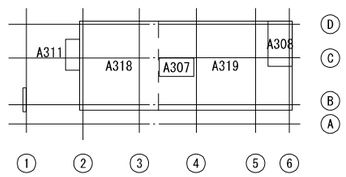
当初・変更・完成

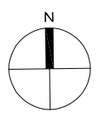
図番 A208



4階平面図

■凡例	
	RC壁
	遮音LGS壁
	LGS壁
±0	FLからのスラブ高さを示す
------	上部訓練用通路ライン
△	屋外出入口
消	消火器ボックス(埋込)
消	消火器ボックス(床置)





特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞浩

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

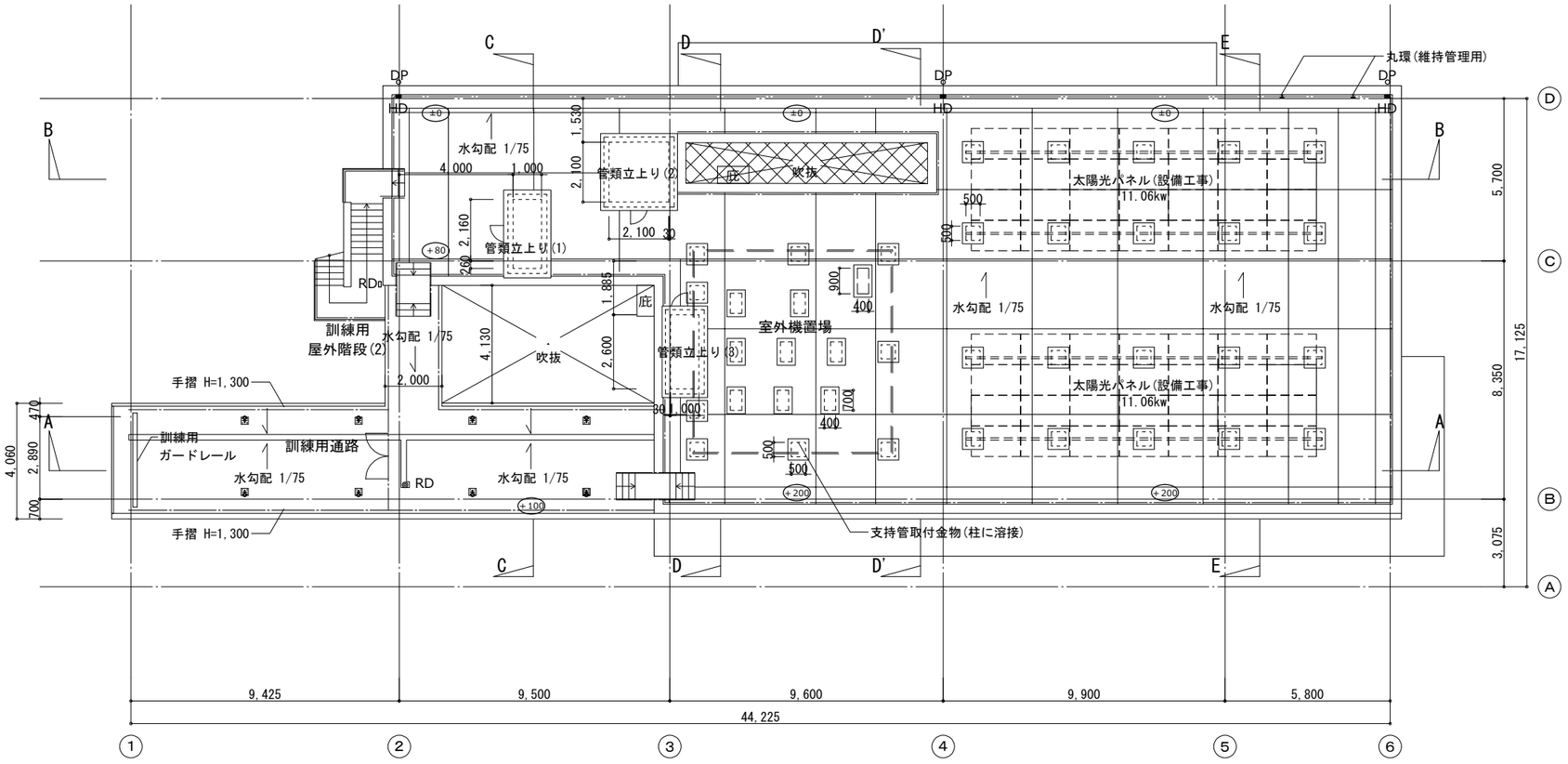
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 4階平面図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A209



屋根伏図

■凡例	
±0	FLからのスラブ高さを示す
———	手摺
	機械設備基礎
═ ═	目隠しルーバー
	丸環(維持管理用)
	撚線ネット

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

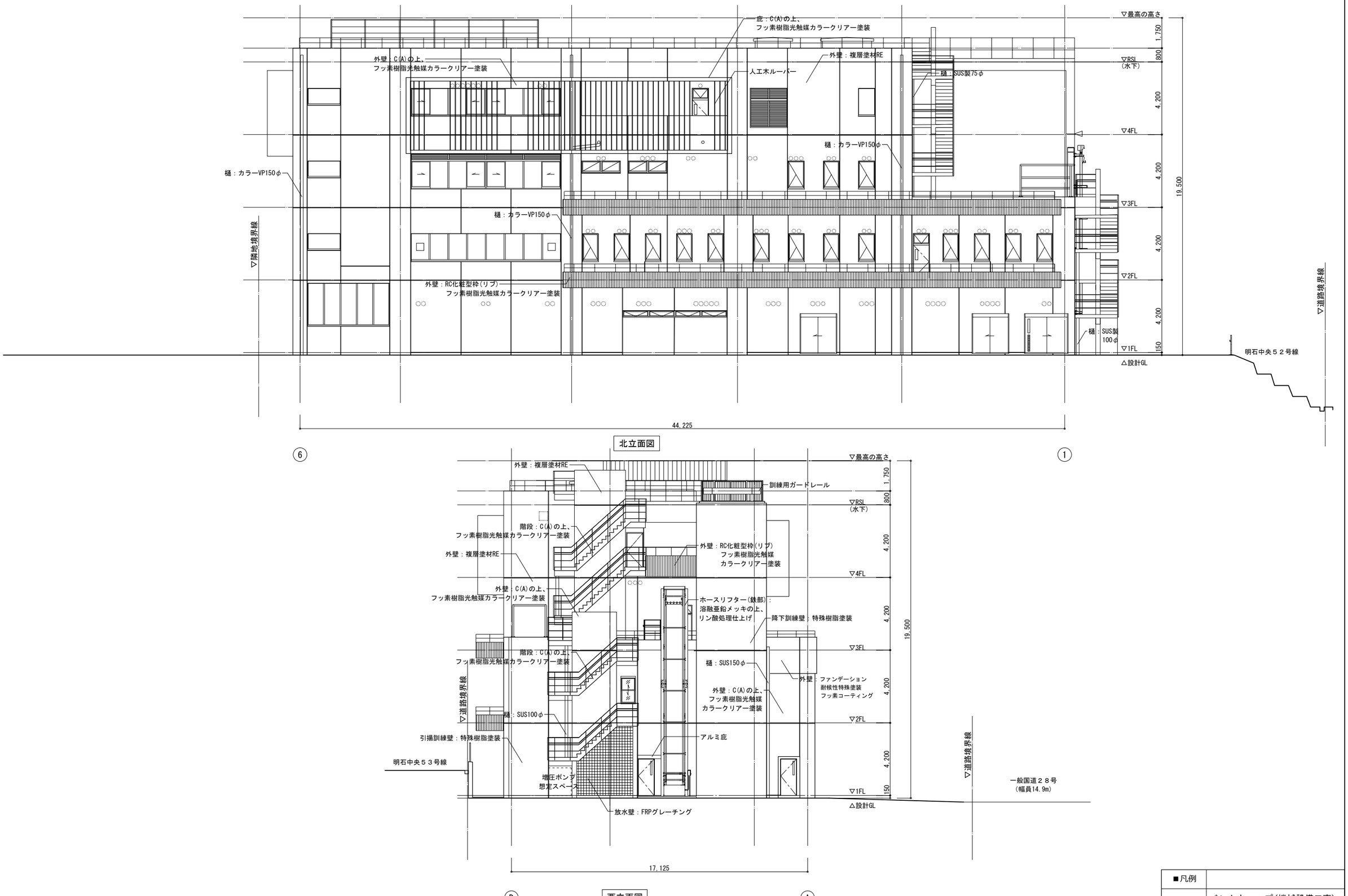
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 屋根伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A210



■凡例	
○	ベントキャップ(機械設備工事)

特記事項

株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

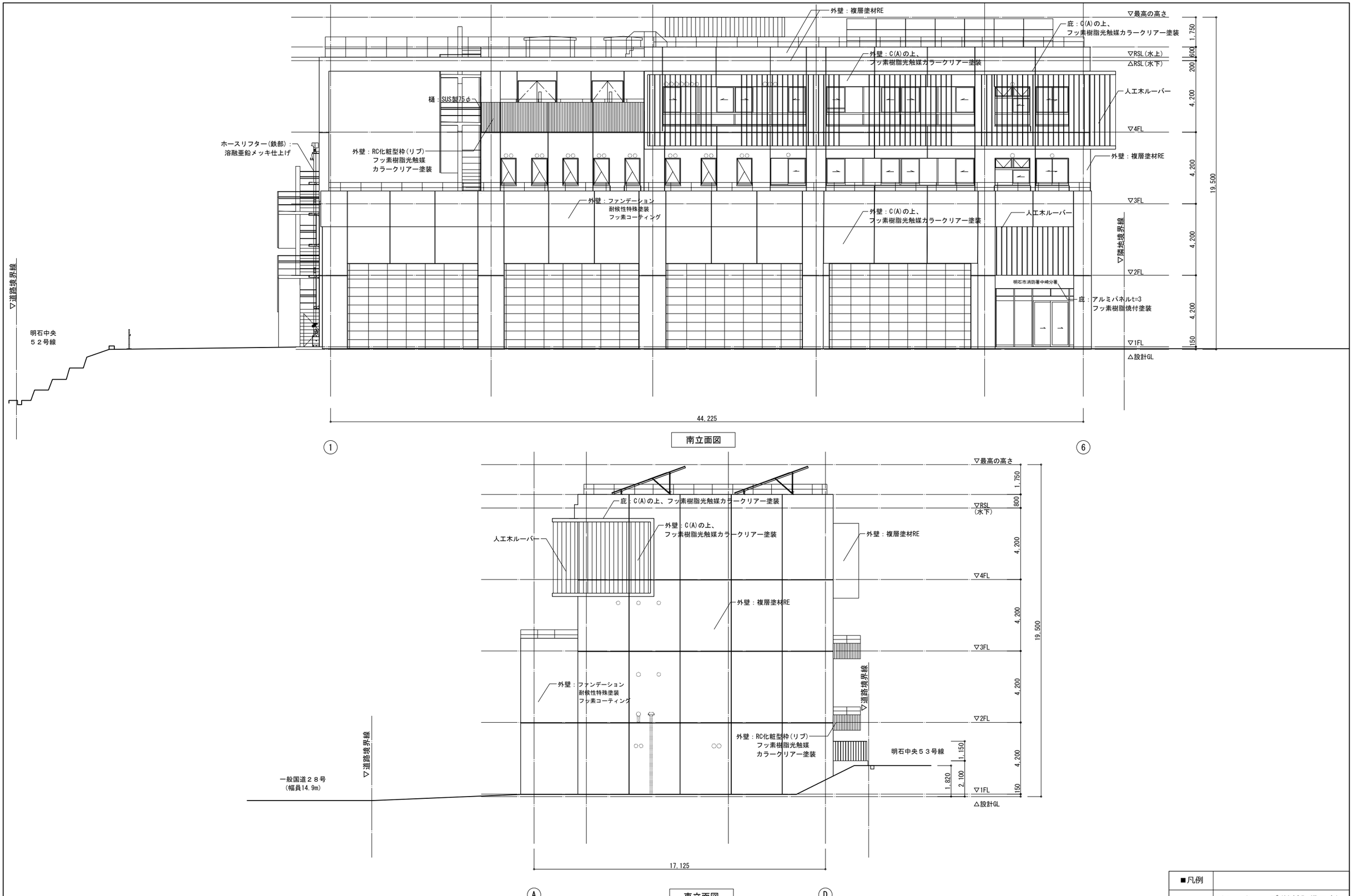
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 立面図(1)

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A211



■凡例	
○	ベントキャップ(機械設備工事)

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

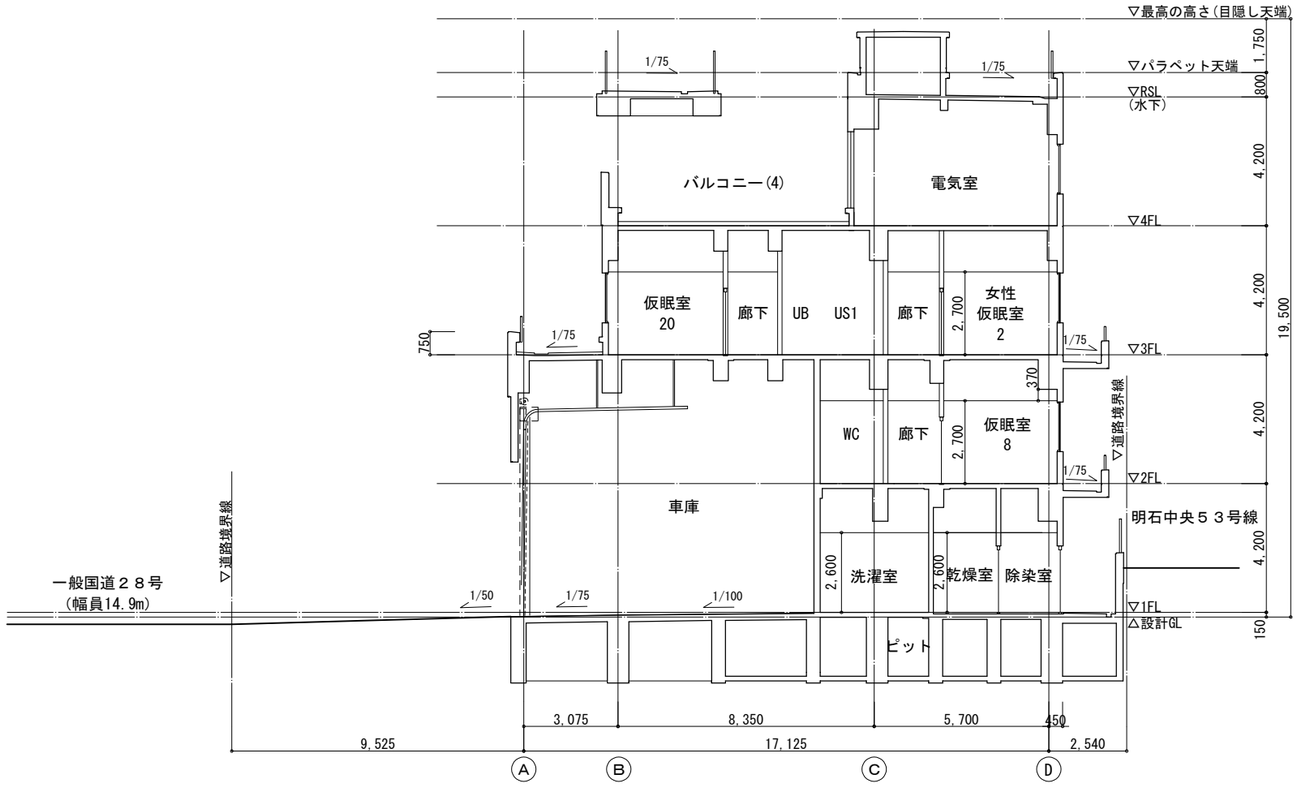
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

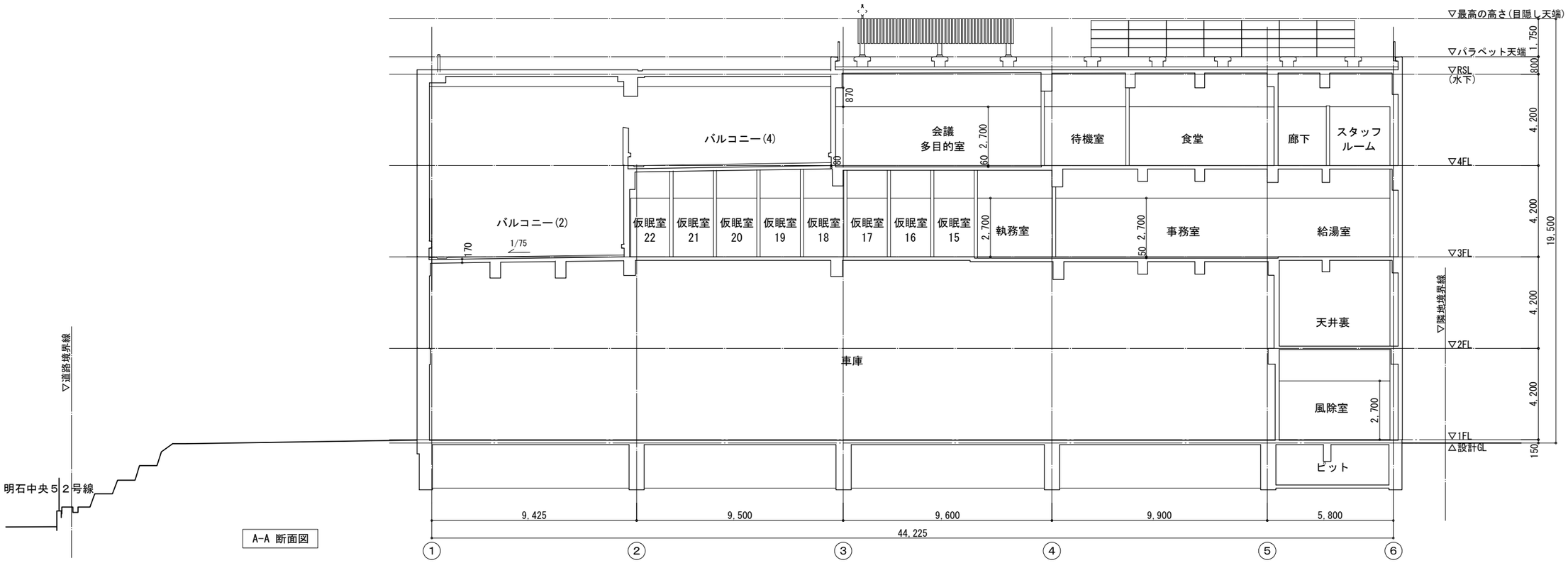
図面名称 立面図(2)

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A212

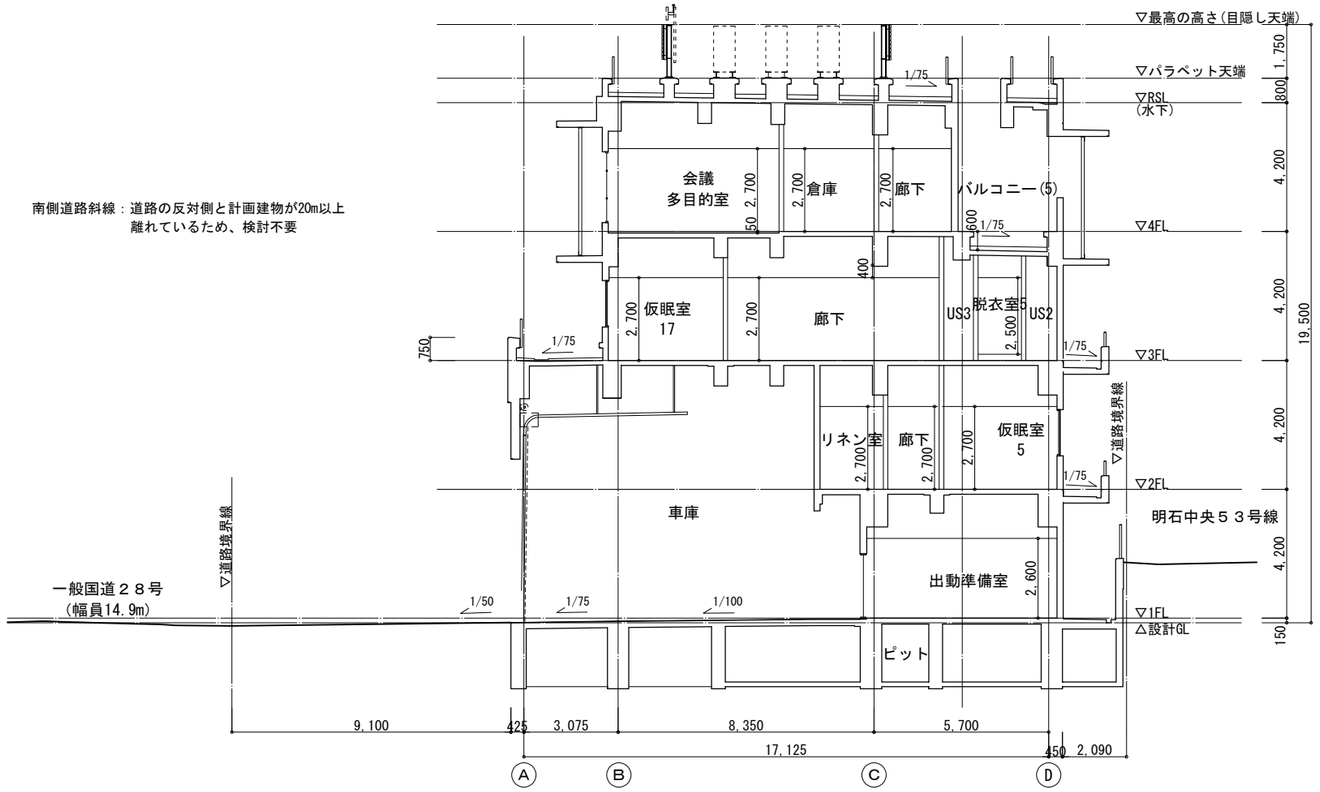


C-C 断面図

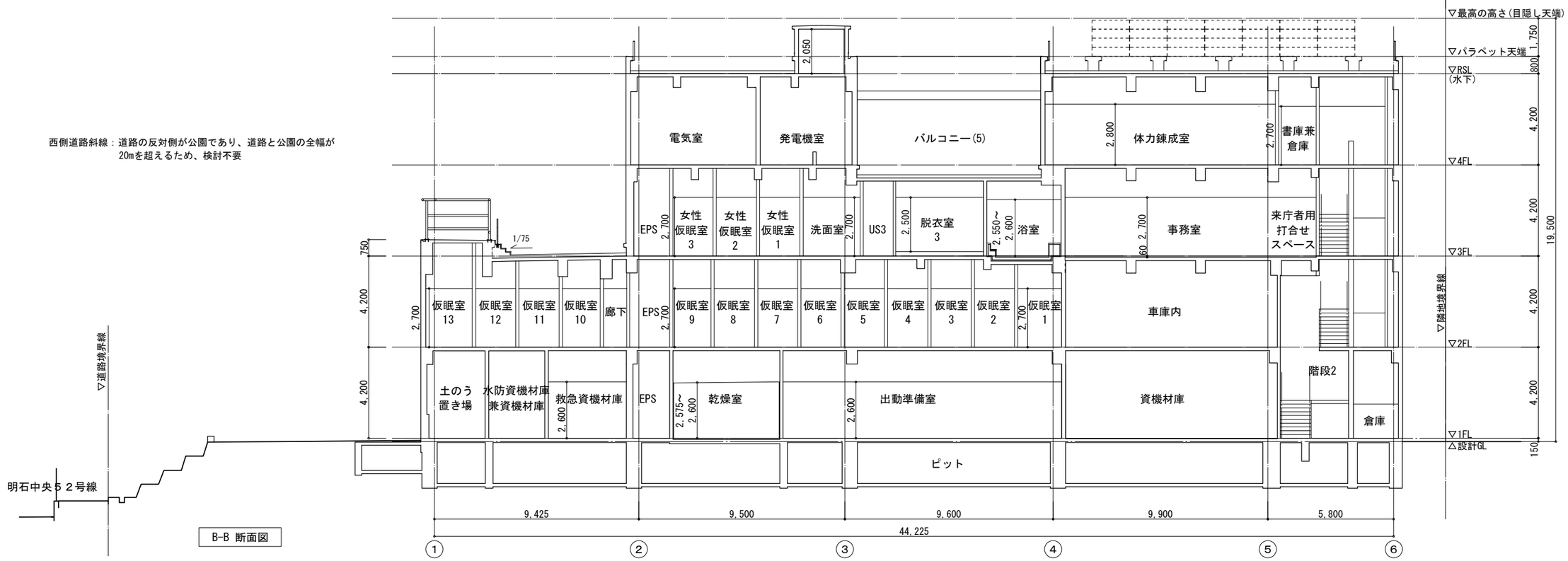


A-A 断面図

特記事項	株式会社 あい設計 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 断面図(1)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A213

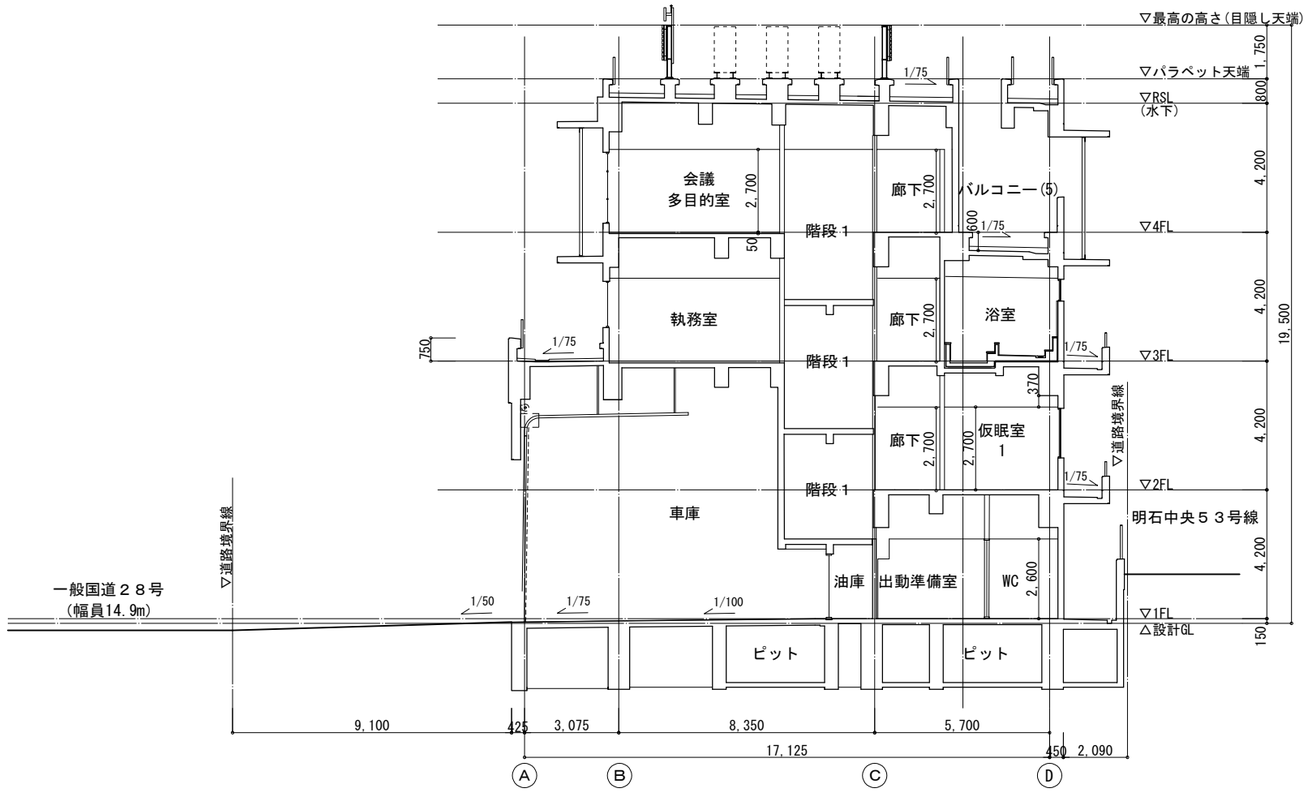


D-D 断面図

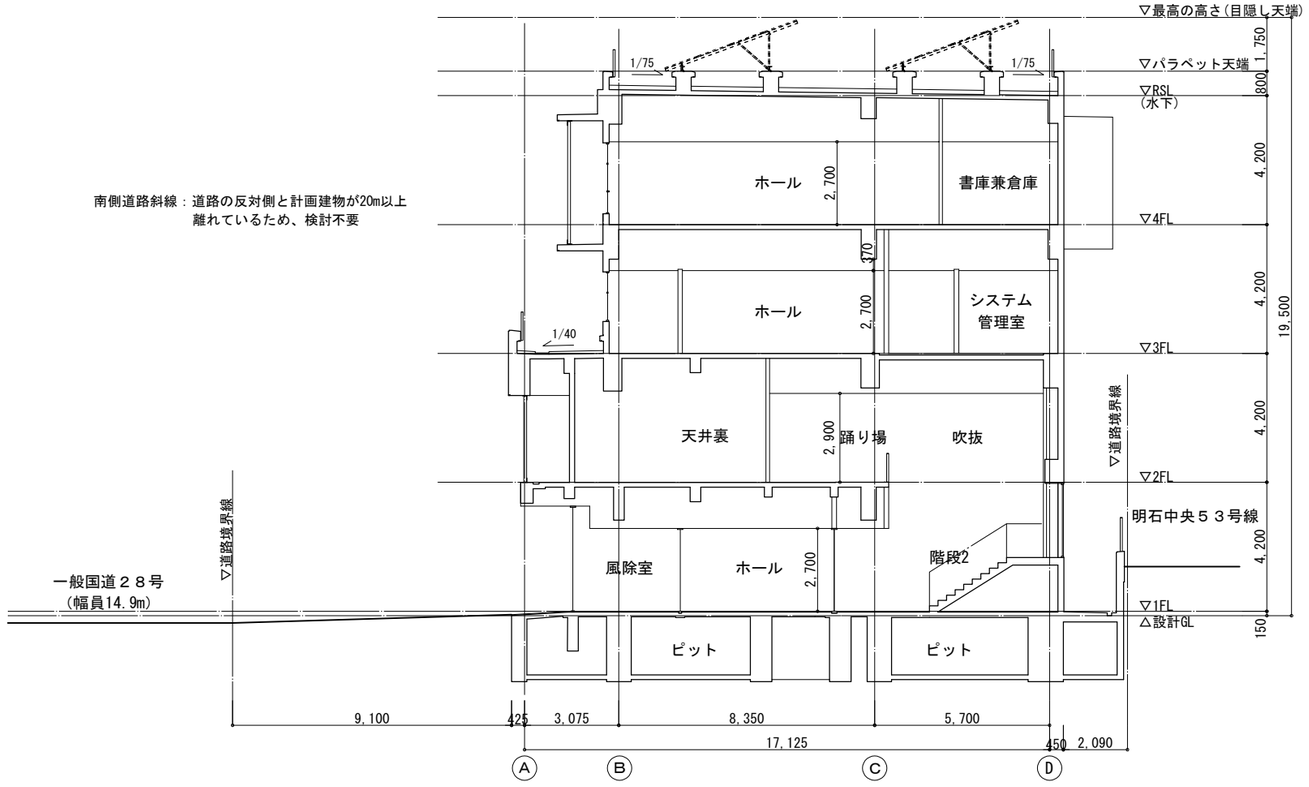


B-B 断面図

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当監督 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 断面図(2)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A214



D'-D' 断面図



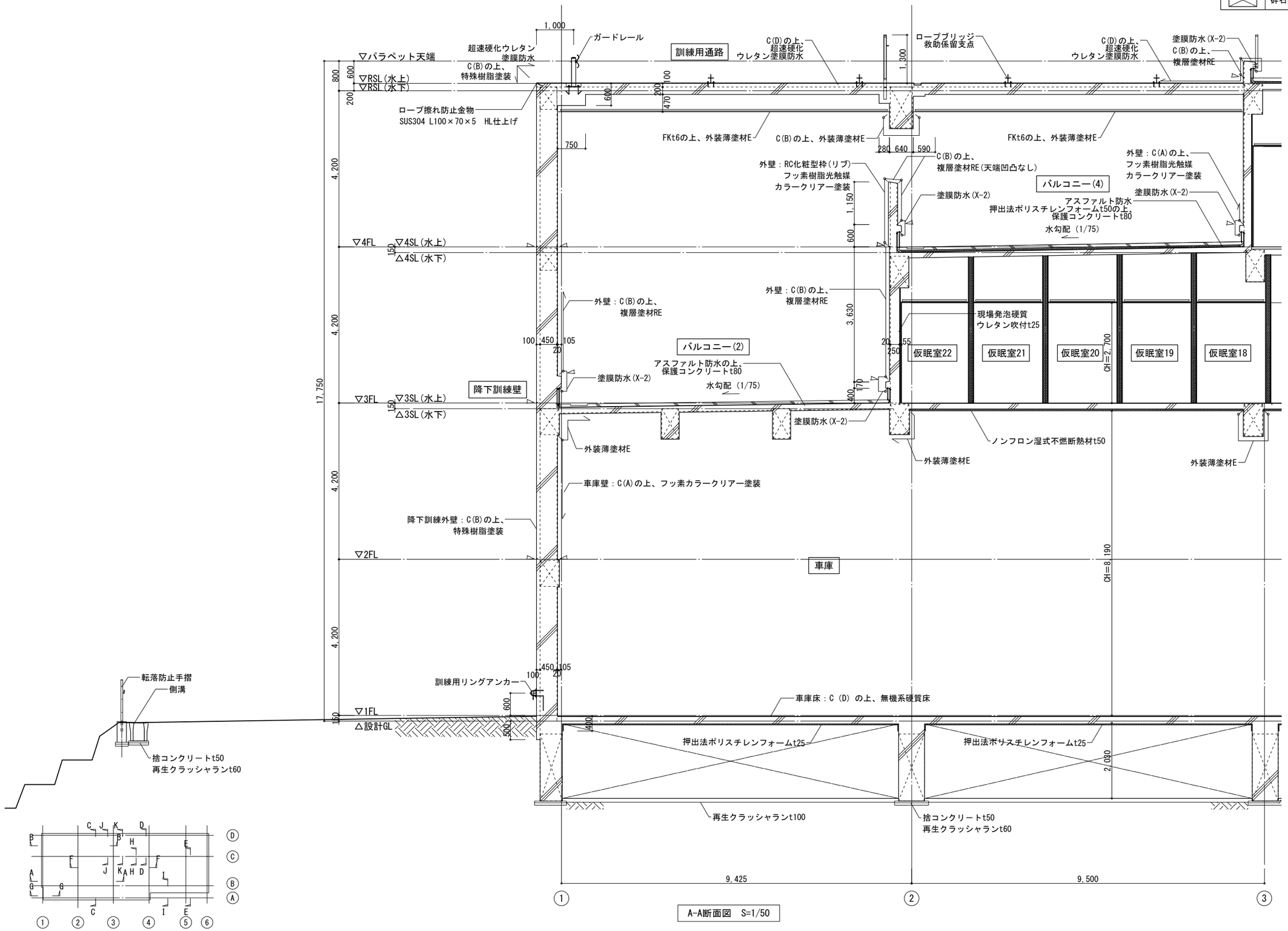
南側道路斜線：道路の反対側と計画建物が20m以上離れているため、検討不要

北側道路斜線：道路の反対側が公園であり、道路と公園の全幅が20mを超えるため、検討不要

E-E 断面図

特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	断面図(3) 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 A215

■凡例	
▷	シーリング
╳	砕石敷ピット範囲を示す

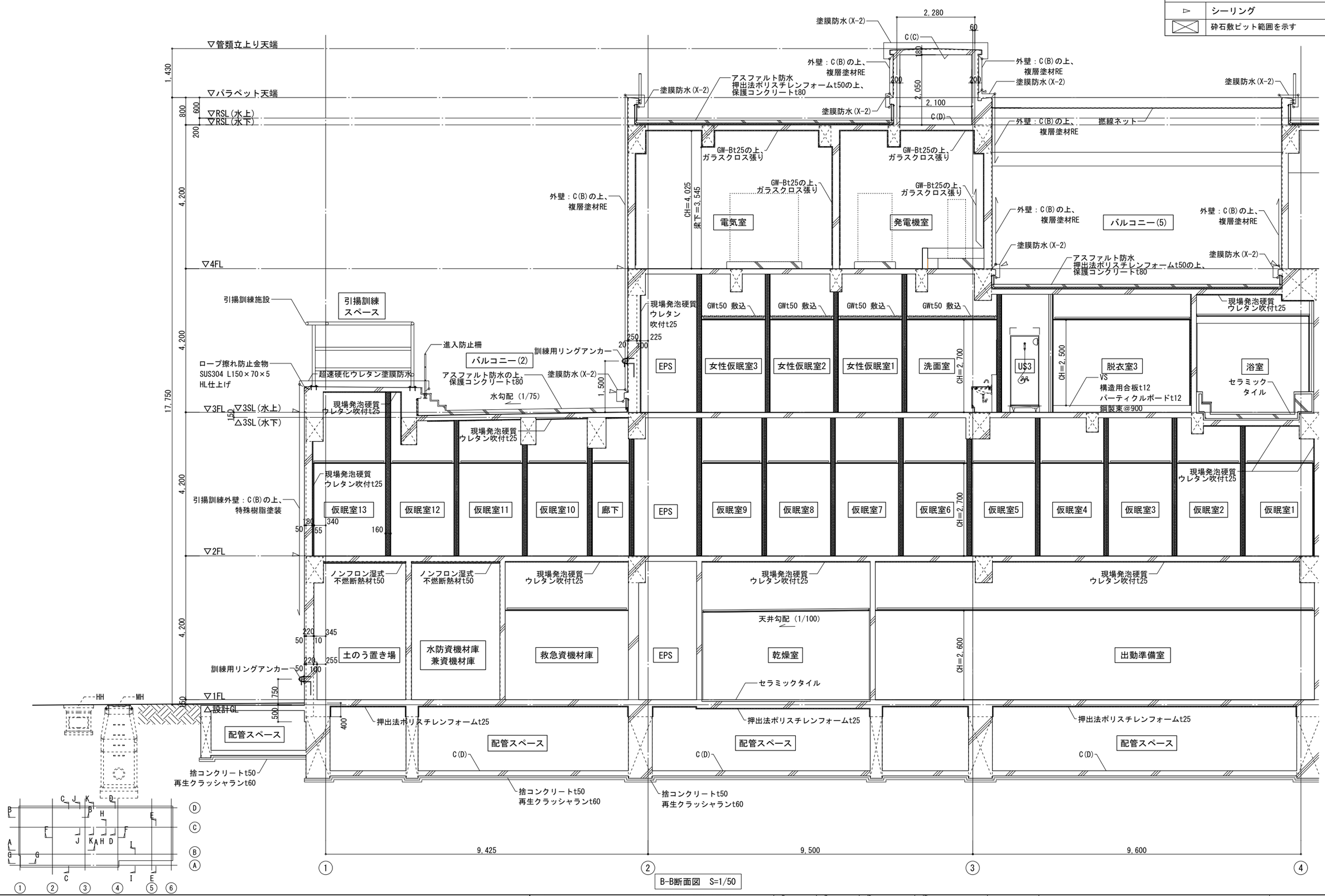


A-A断面図 S=1/50

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任者	係長	担当	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	新中崎分署建設工事	
							図面名称	縮尺	図番
							矩計図(1)	A1:1/50 A3:1/100	A301

■凡例

▷	シーリング
⊠	砕石敷ピット範囲を示す

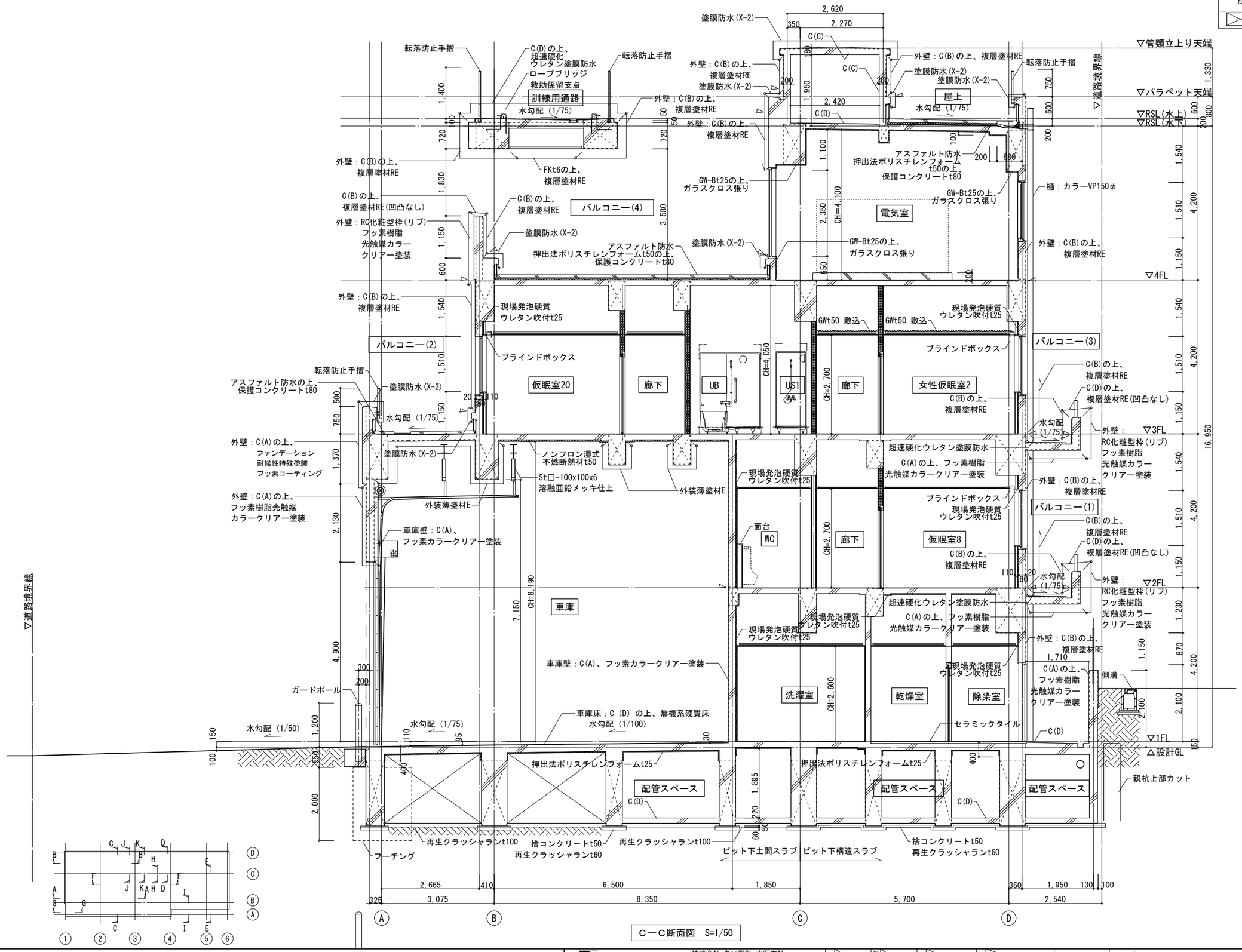


B-B断面図　S=1/50

特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 矩計図(2) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A302

■凡例

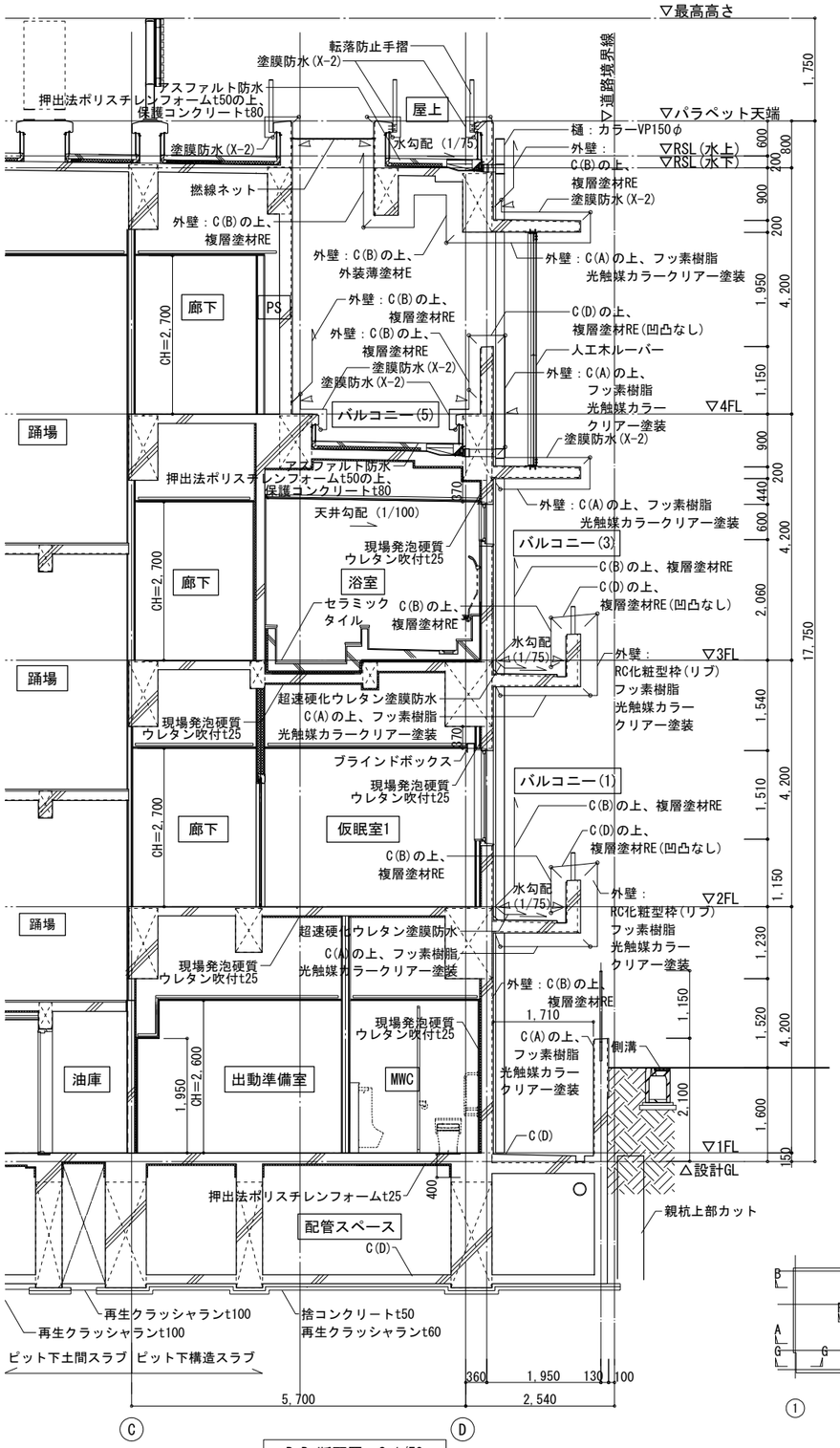
▷	シーリング
╳	砕石敷ピット範囲を示す



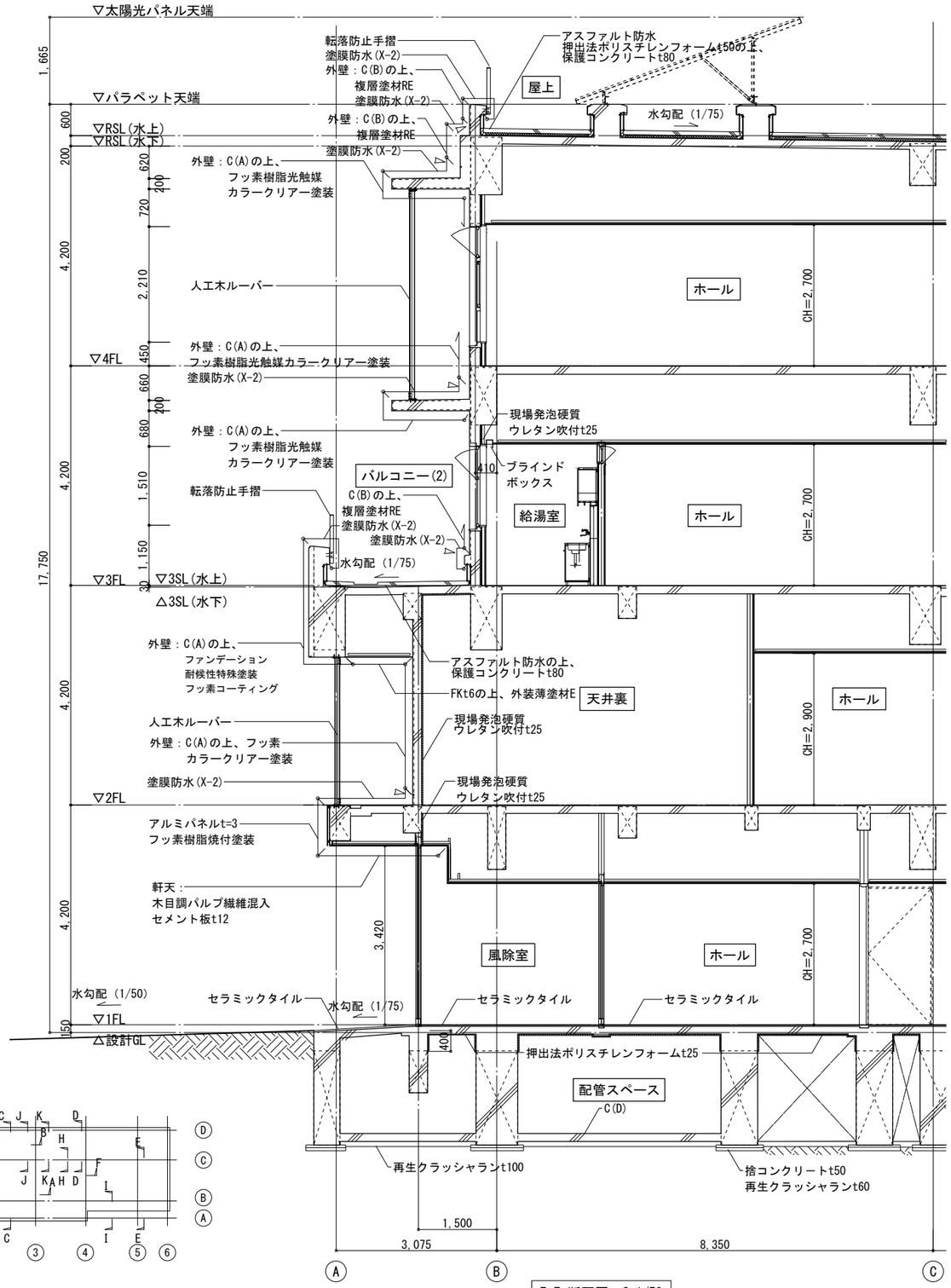
C－C断面図 S=1/50

特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 矩計図(3) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A303

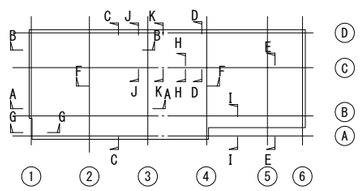
■凡例	
▷	シーリング
╳	砕石敷ピット範囲を示す



D-D 断面図 S=1/50



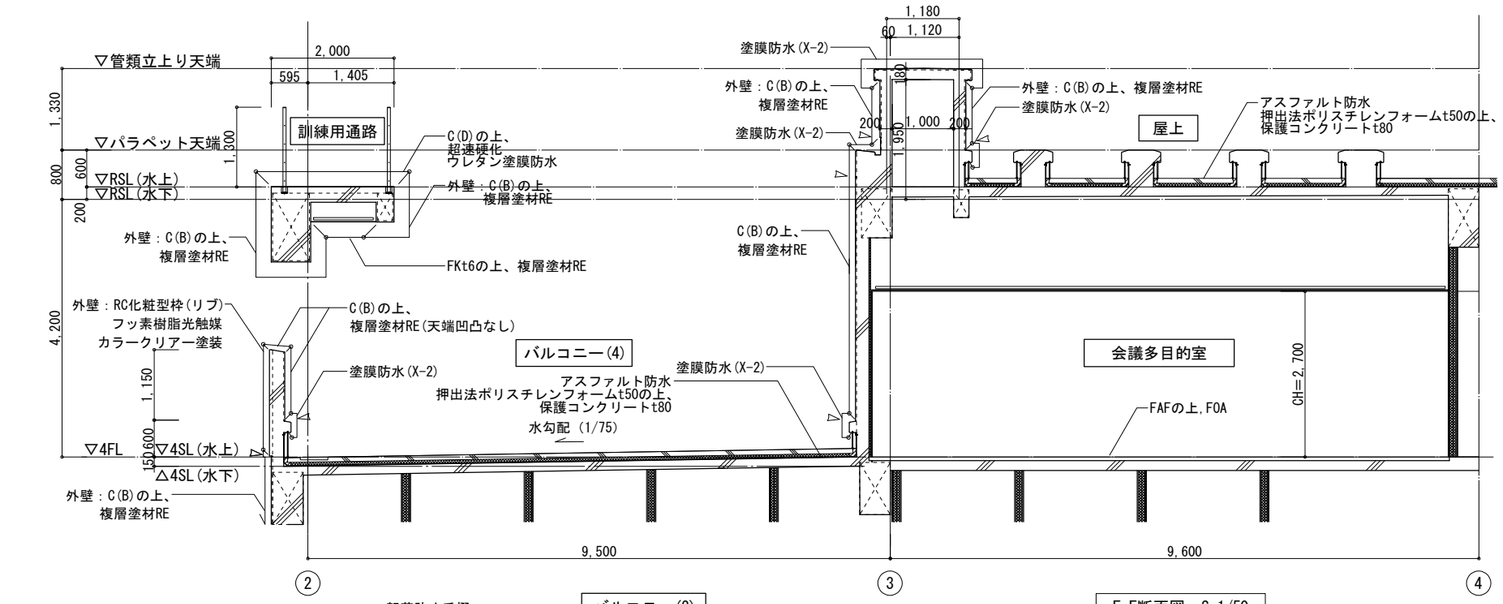
E-E 断面図 S=1/50



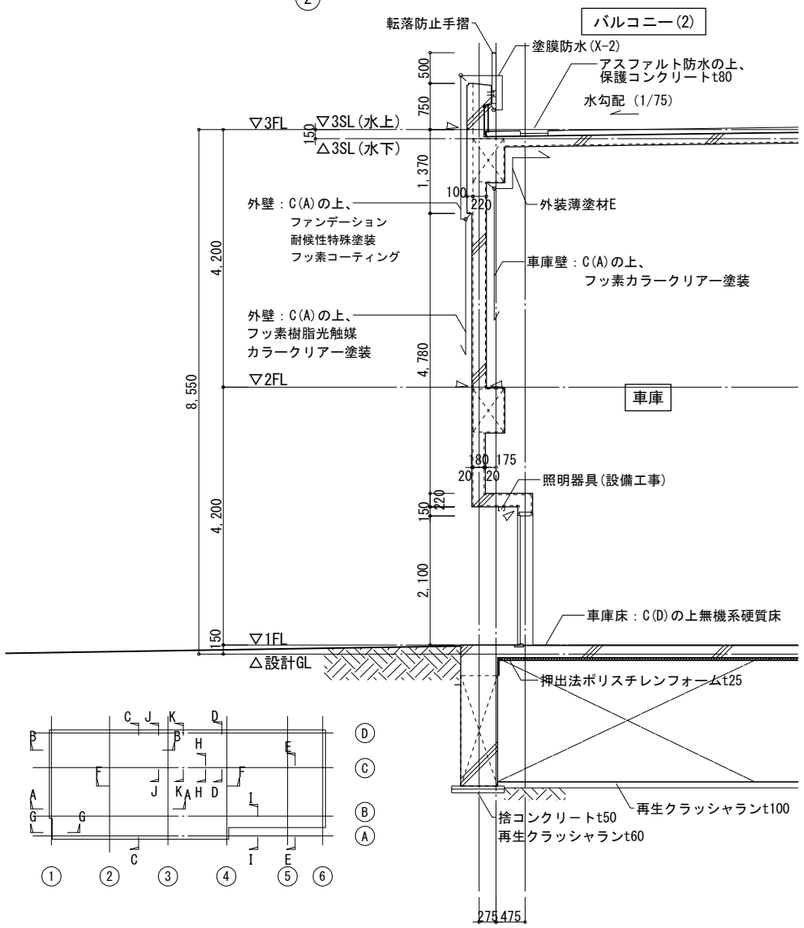
特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 矩計図(4)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A304

■凡例

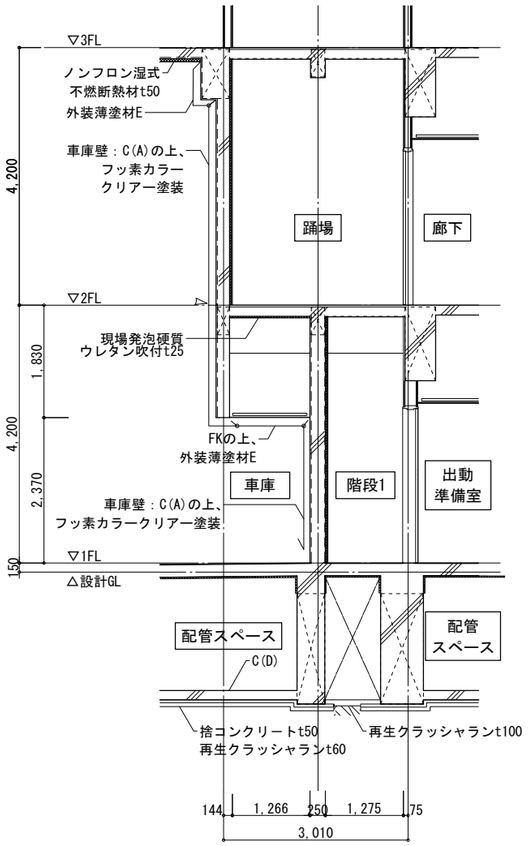
▻	シーリング
╳	砕石敷ピット範囲を示す



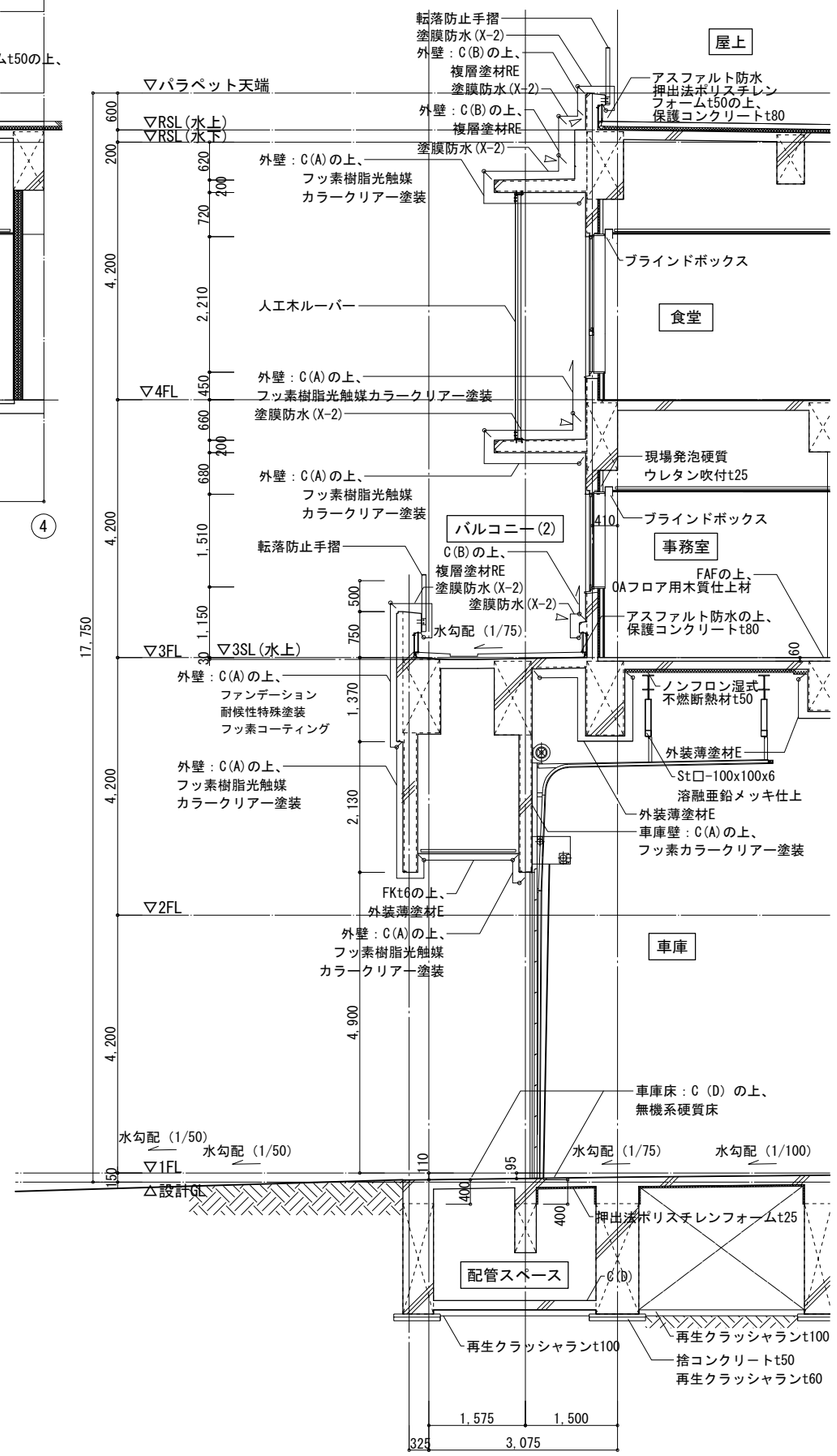
F-F断面図 S=1/50



G-G断面図 S=1/50



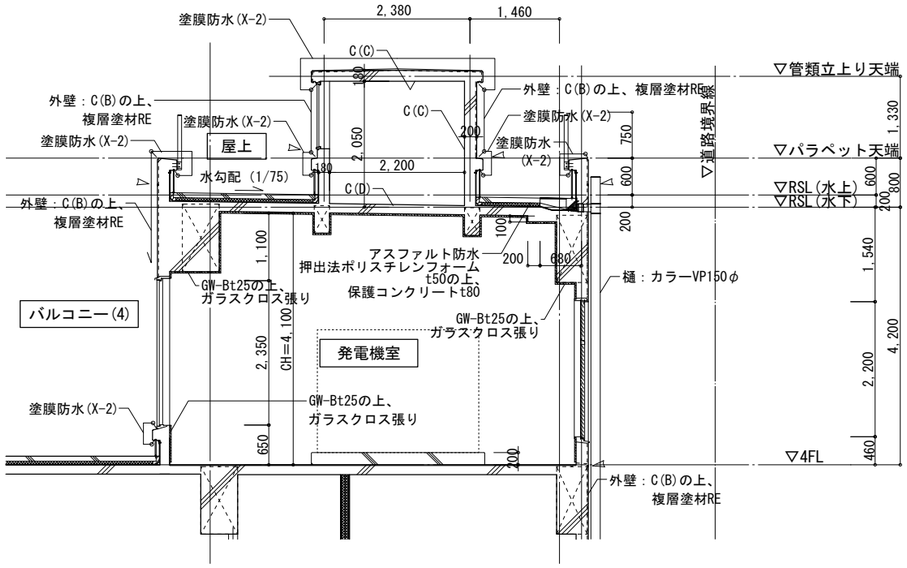
H-H断面図 S=1/50



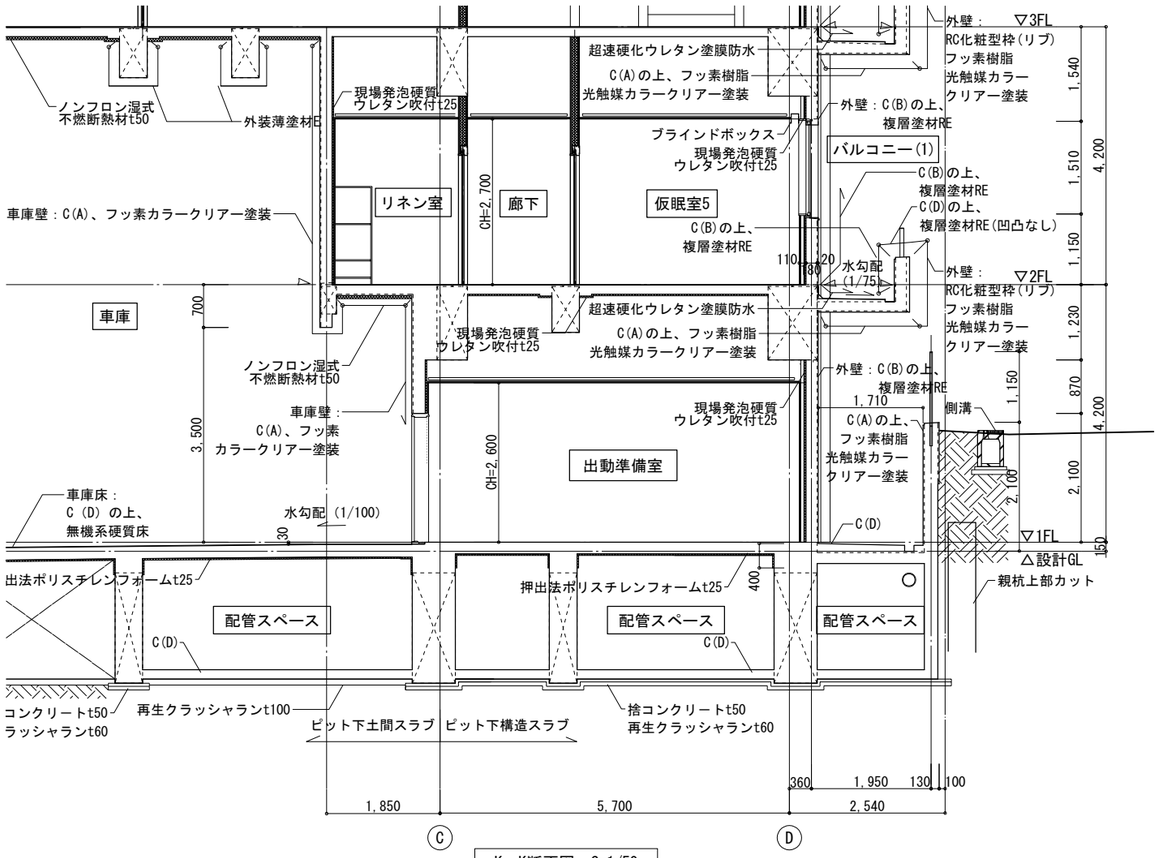
I-I 断面図 S=1/50

特記事項	株式会社あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 断面詳細図(1) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A305

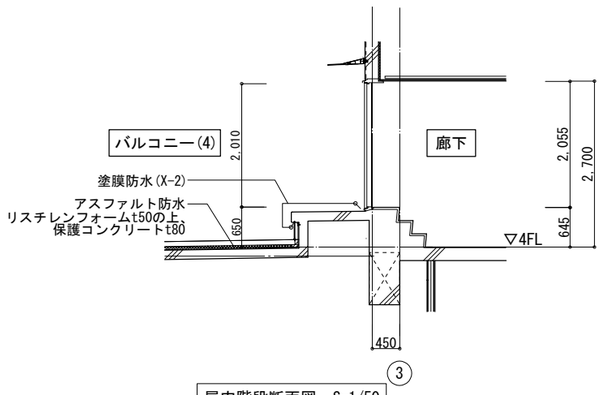
■凡例	
▷	シーリング
╳	砕石敷ピット範囲を示す



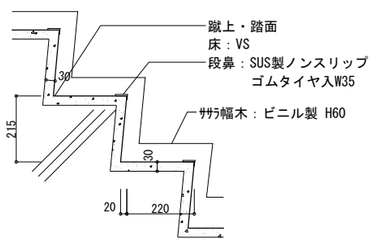
J-J 断面図　S=1/50



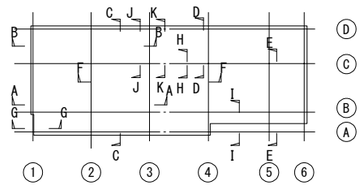
K—K断面図　S=1/50



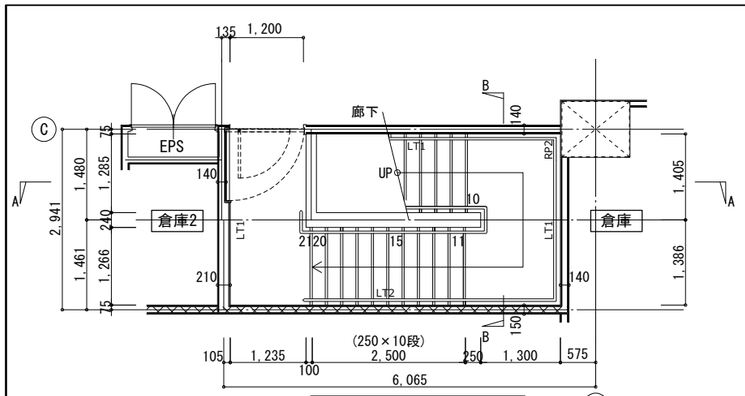
屋内階段断面図　S=1/50



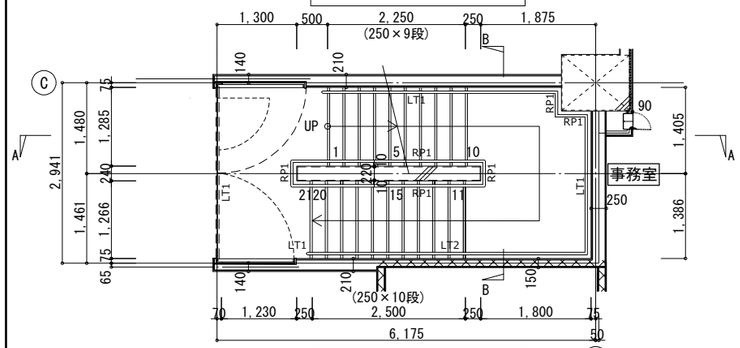
踏み面詳細図　S=1/10



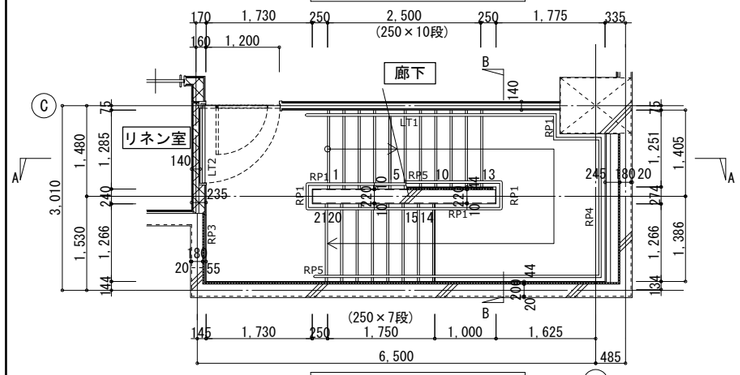
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任者	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 断面詳細図(2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A306



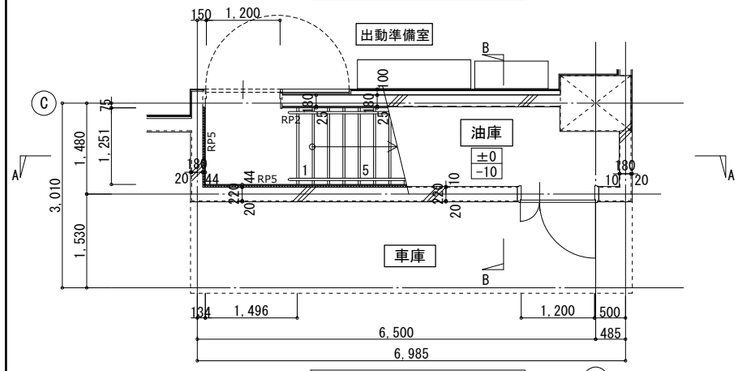
4階平面詳細図　S=1/50



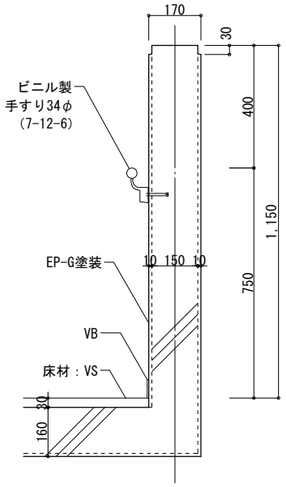
3階平面詳細図　S=1/50



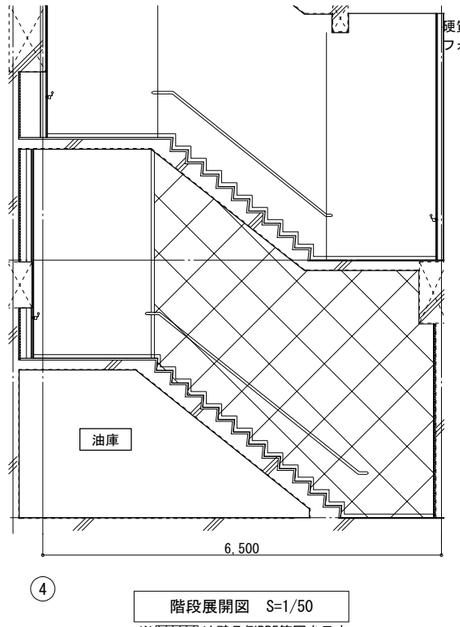
2階平面詳細図　S=1/50



1階平面詳細図　S=1/50

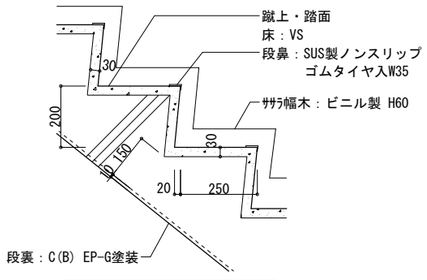


4F腰壁詳細図　S=1/10

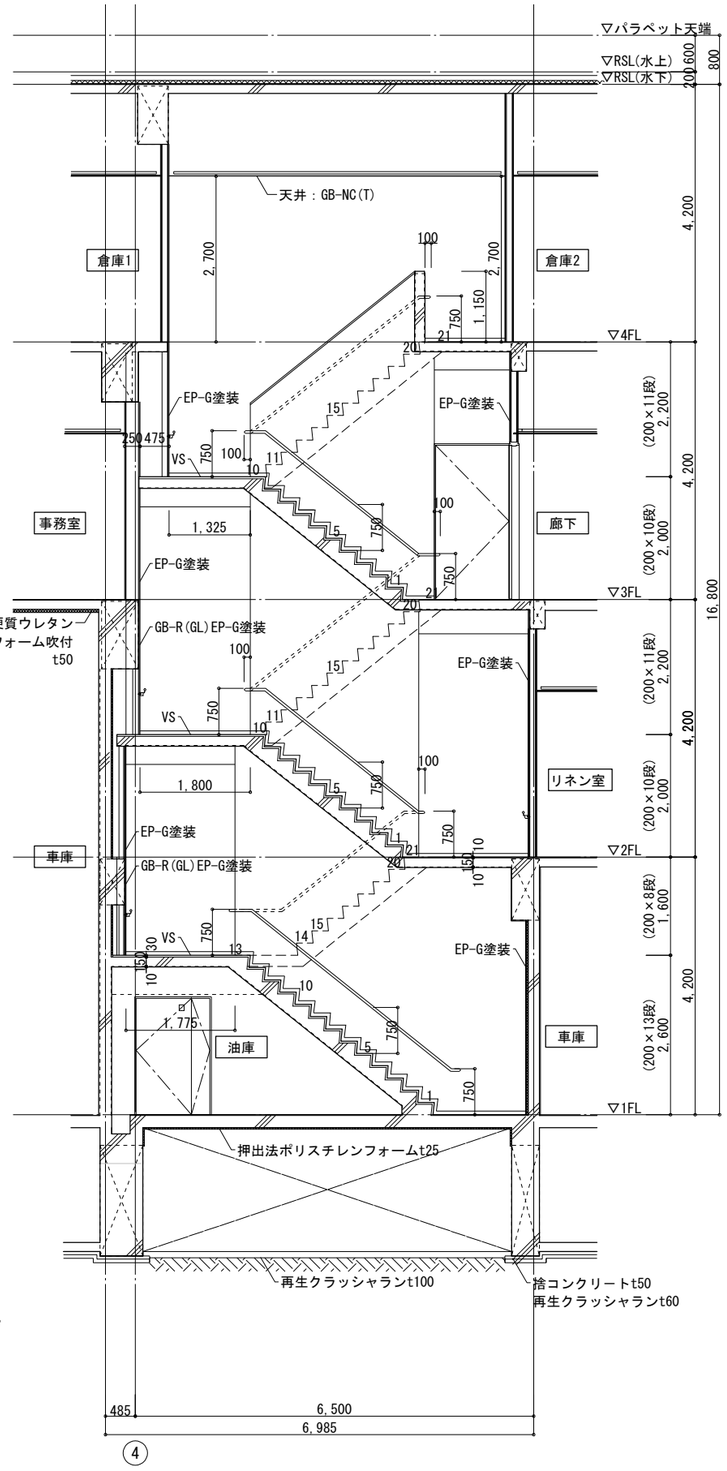


階段展開図　S=1/50

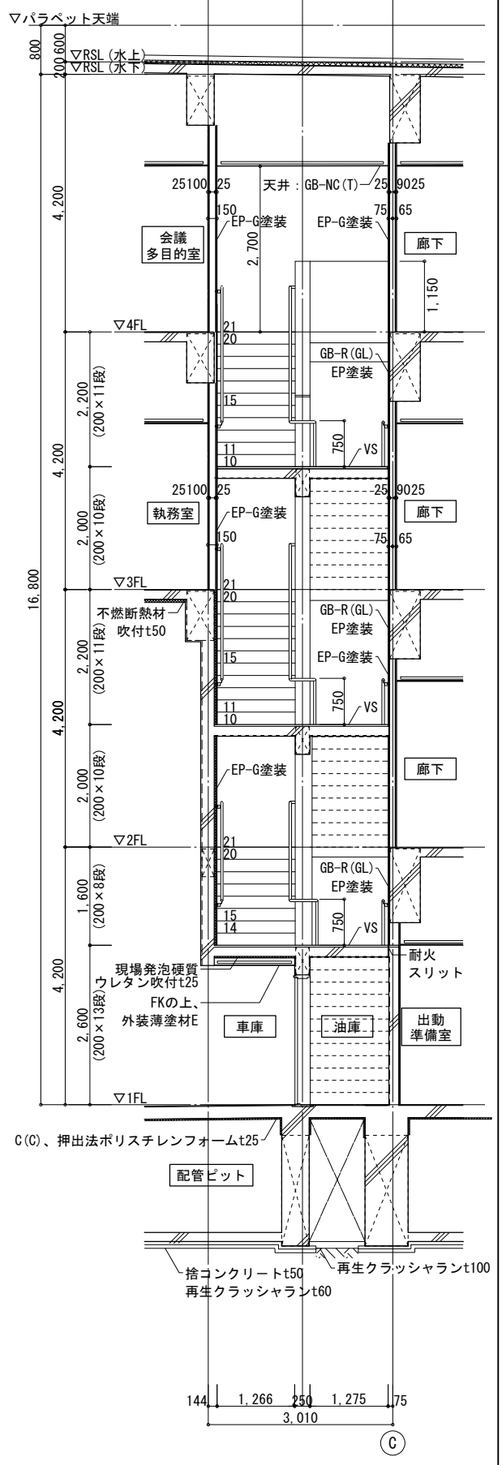
※▨は壁凡例RP5範囲を示す



踏み面詳細図　S=1/10



A-A断面詳細図　S=1/50

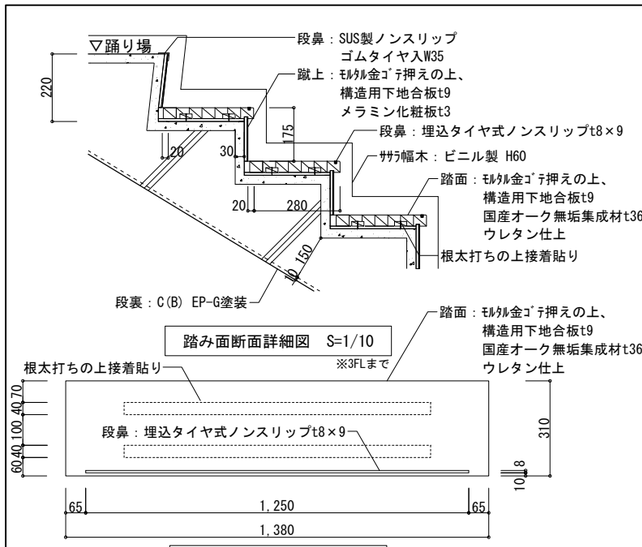


B-B断面詳細図　S=1/50

※壁凡例はA615参照

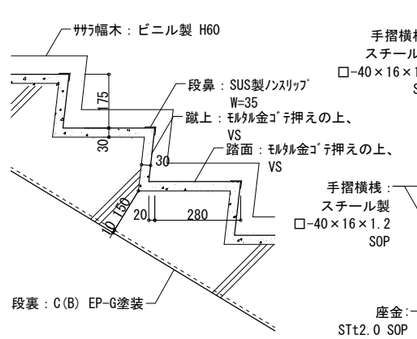
※▨は埋め戻し不要範囲を示す

特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 階段1詳細図 / 縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 A307

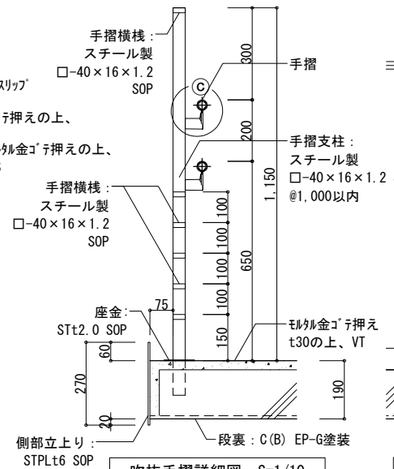


踏み面断面詳細図　S=1/10
※3FLまで

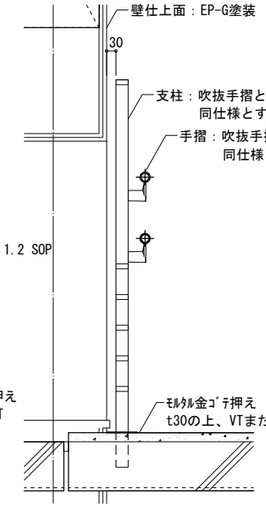
踏み面平面詳細図　S=1/10
※3FLまで



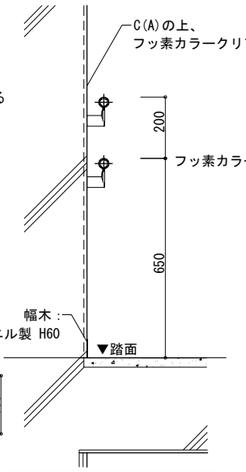
踏み面断面詳細図　S=1/10
※3FLから4FLの階段・踊場



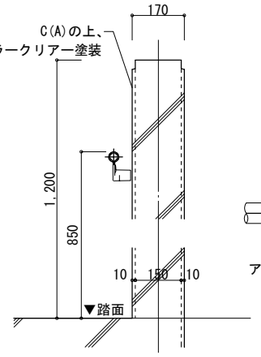
吹抜手摺詳細図　S=1/10



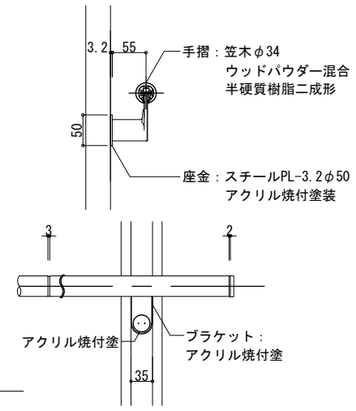
Ⓓ通り手摺詳細図　S=1/10



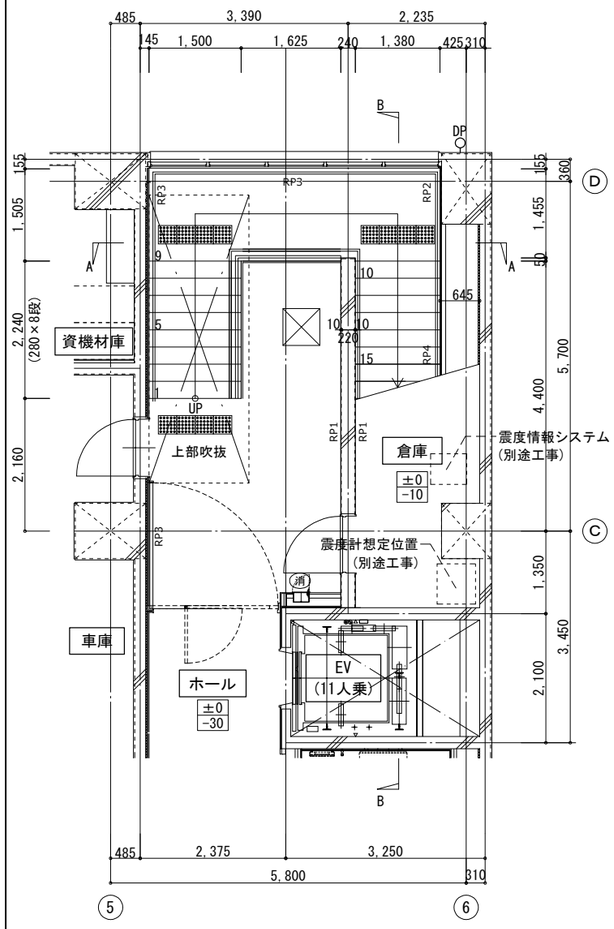
RC壁付手摺詳細図　S=1/10



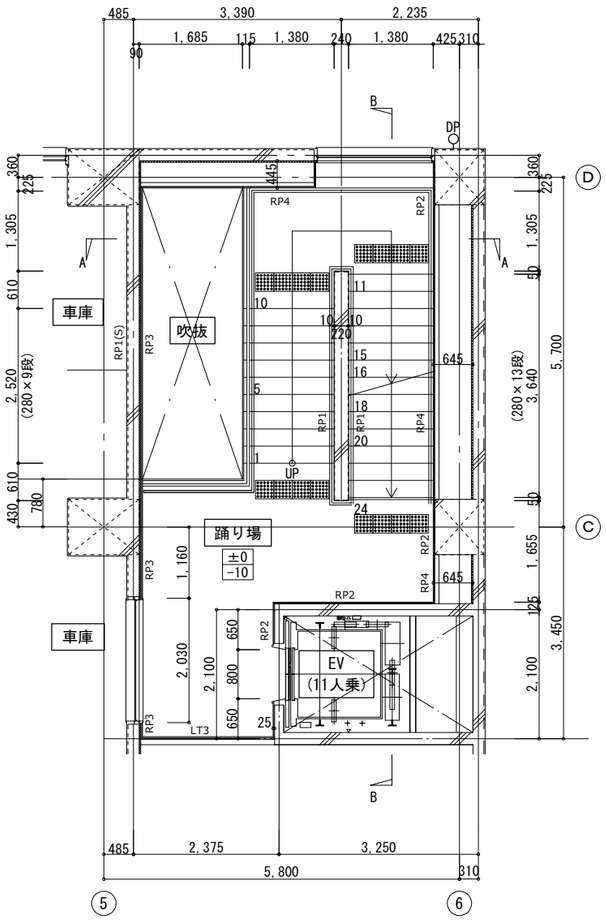
RC壁付手摺詳細図　S=1/10



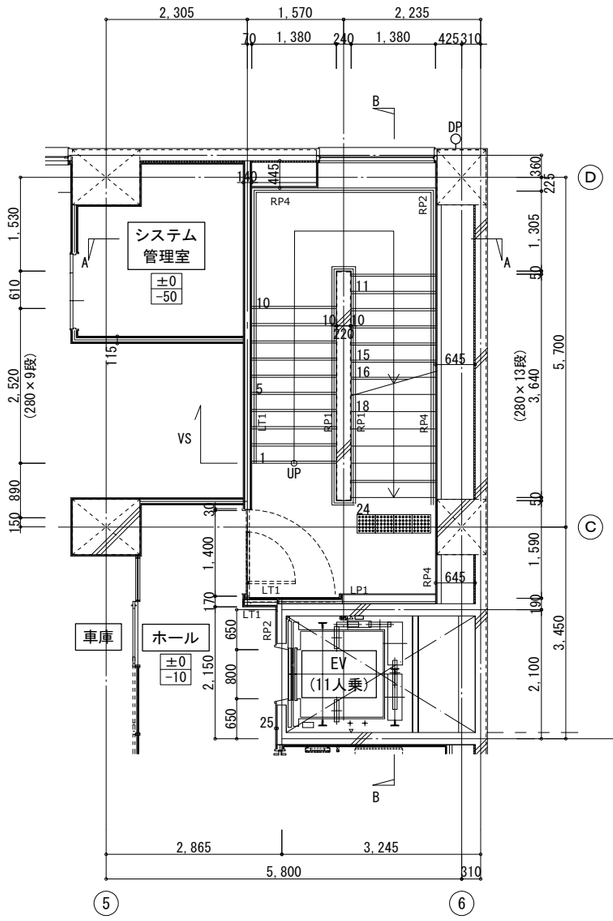
ⓒ部詳細図　S=1/5



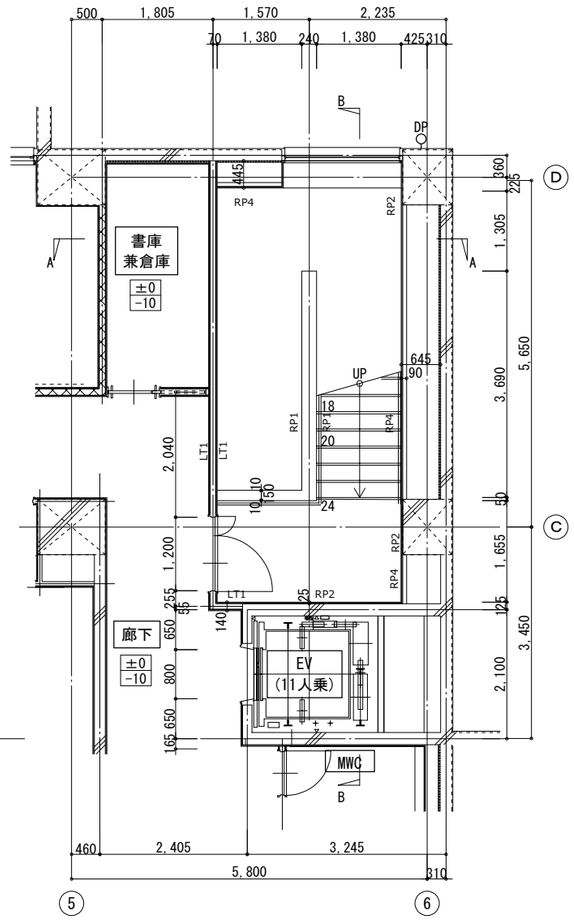
1階平面詳細図　S=1/50



2階平面詳細図　S=1/50

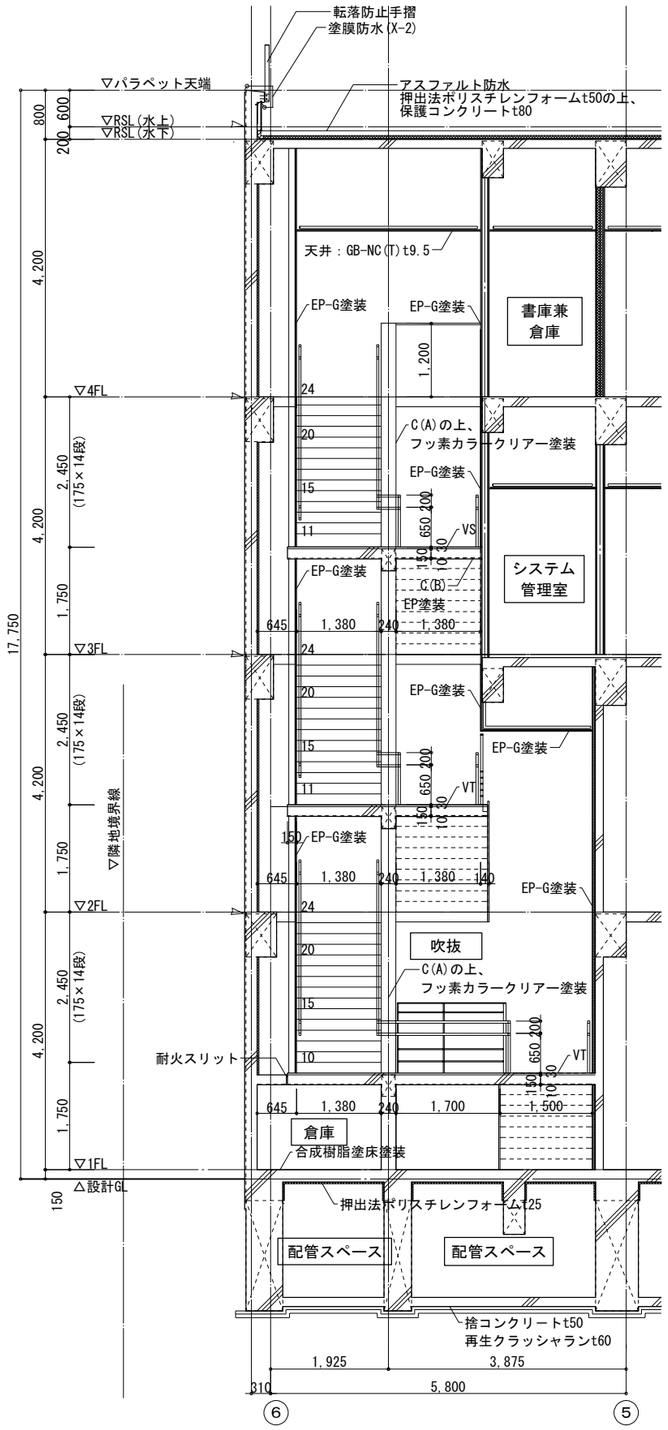


3階平面詳細図　S=1/50

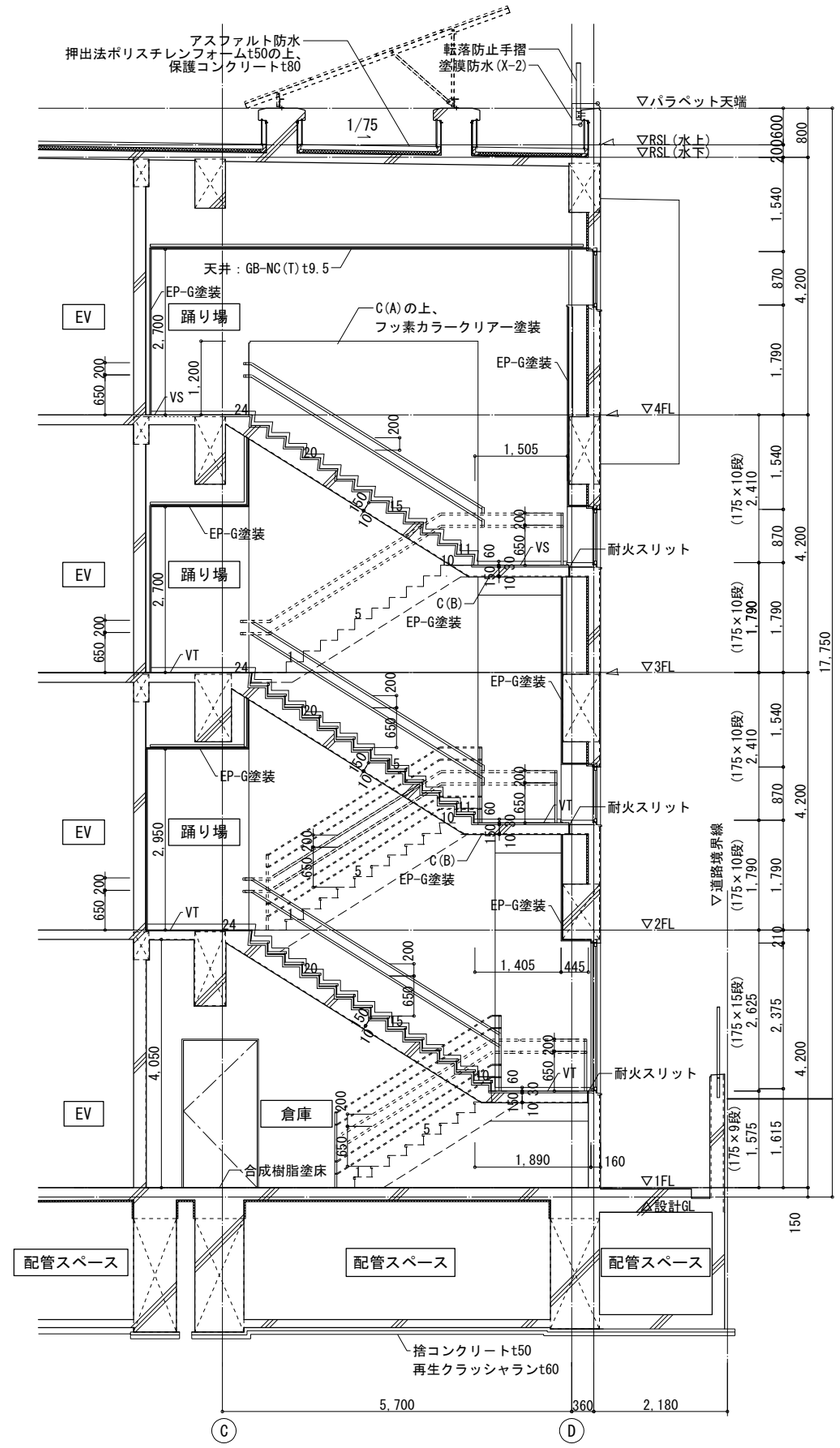


4階平面詳細図　S=1/50

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当主任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 階段2詳細図(1)　縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A308



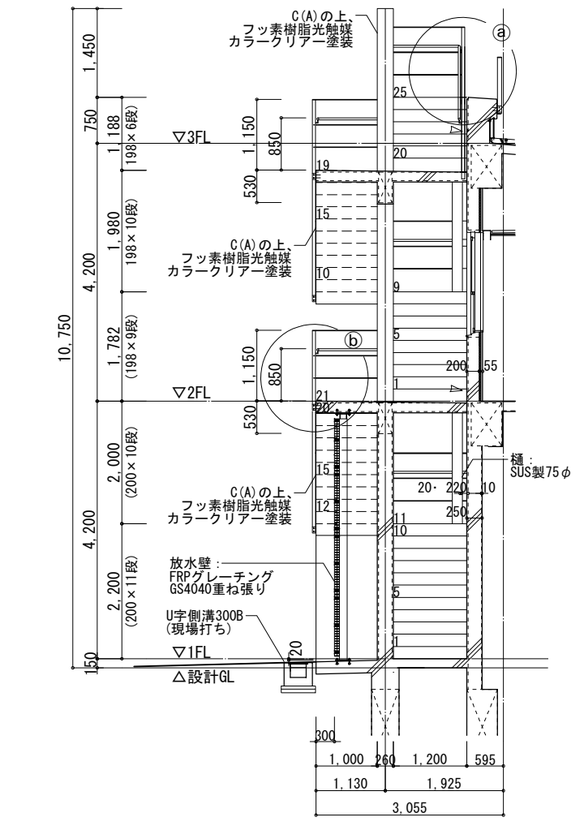
A-A断面詳細図　S=1/50



B-B断面詳細図　S=1/50

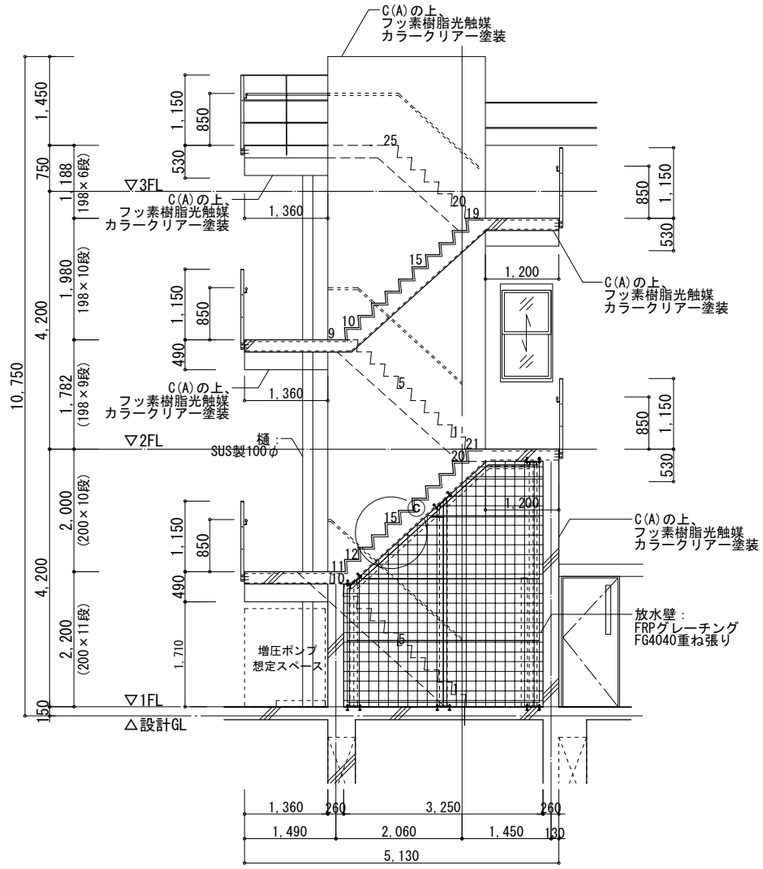
▷ シーリング

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 階段2詳細図（2）	縮尺 A1：図示 A3：図示/2　図番 A309



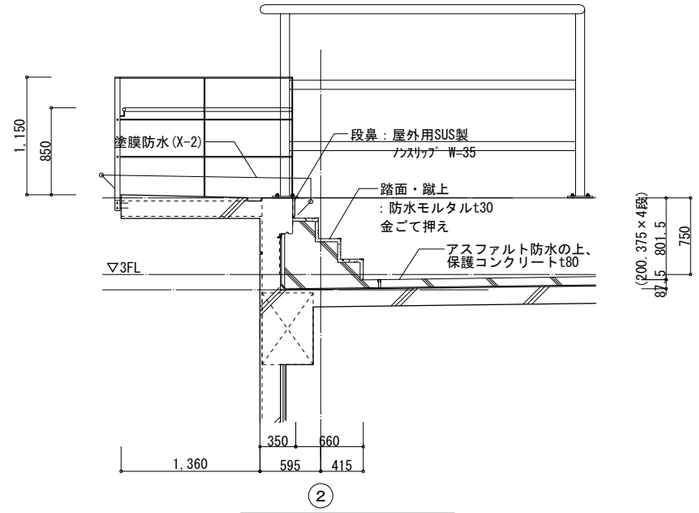
①

A-A断面図　S=1/50



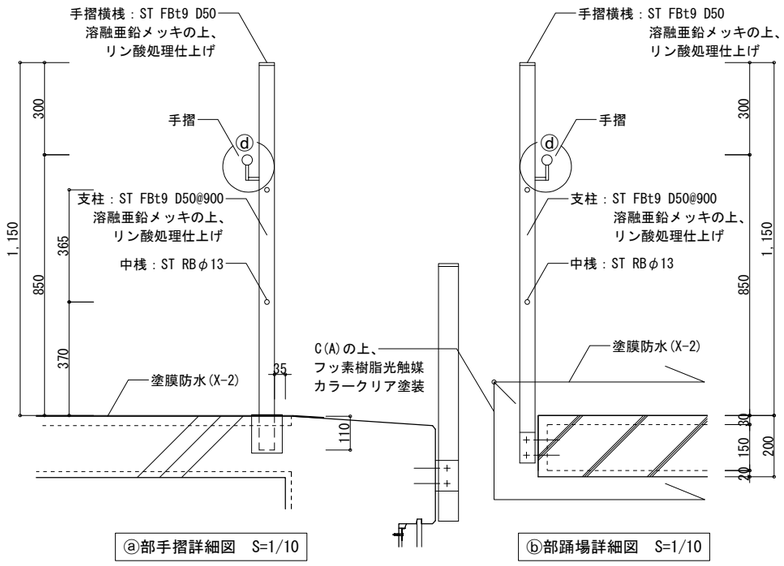
ⓒ

B-B断面図　S=1/50



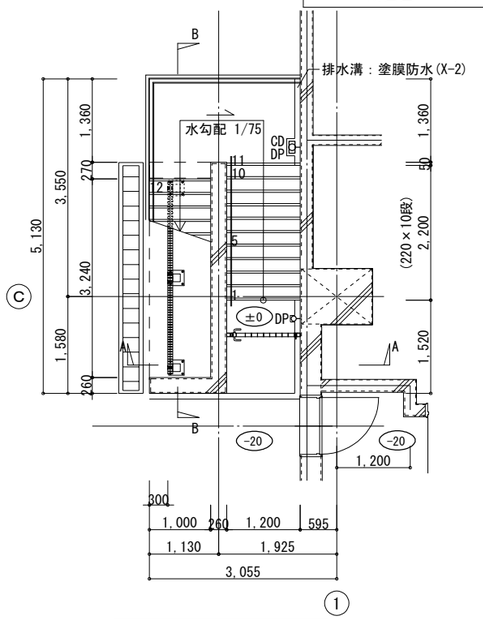
②

C-C断面詳細図　S=1/30



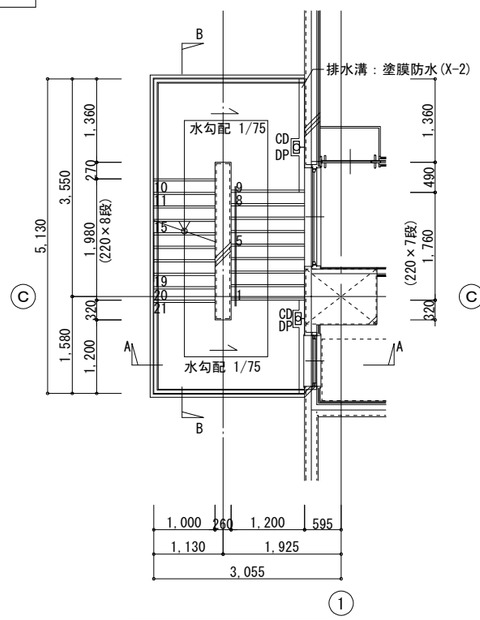
ⓐ部手摺詳細図　S=1/10

ⓑ部踊場詳細図　S=1/10



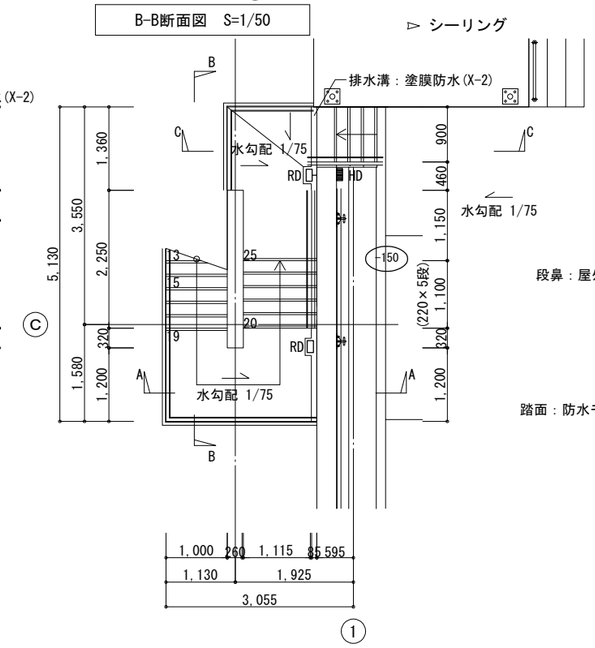
①

1階平面詳細図　S=1/50



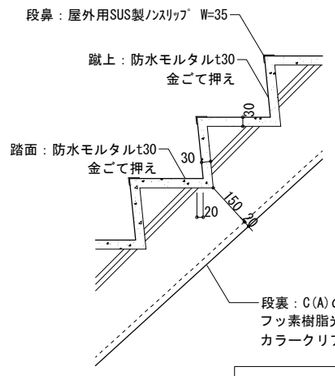
①

2階平面詳細図　S=1/50

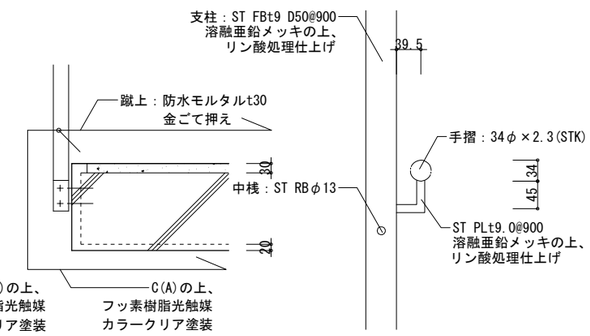


①

3階平面詳細図　S=1/50

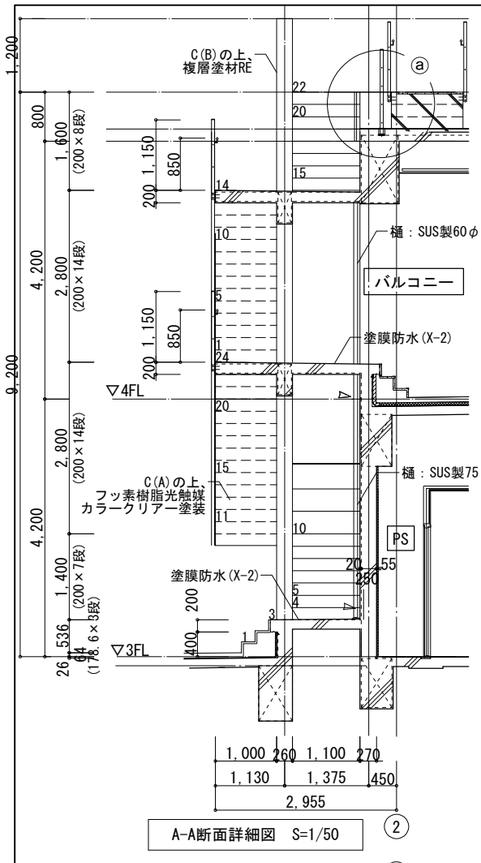


ⓒ部階段詳細図　S=1/10

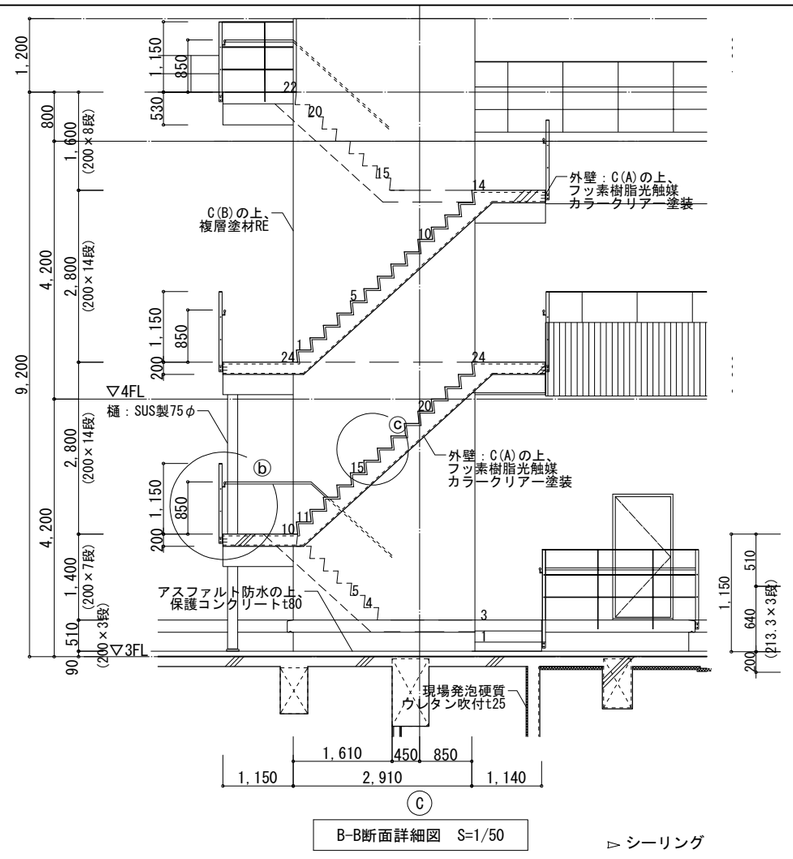


ⓓ部手摺詳細図 S=1/5

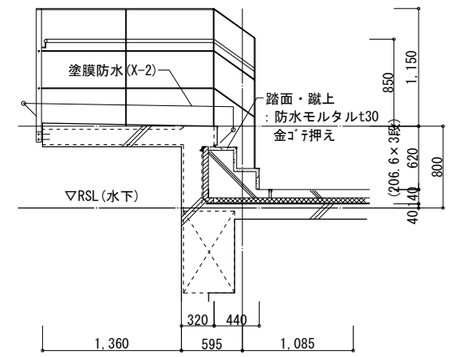
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 訓練用屋外階段1詳細図 / 縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 A310



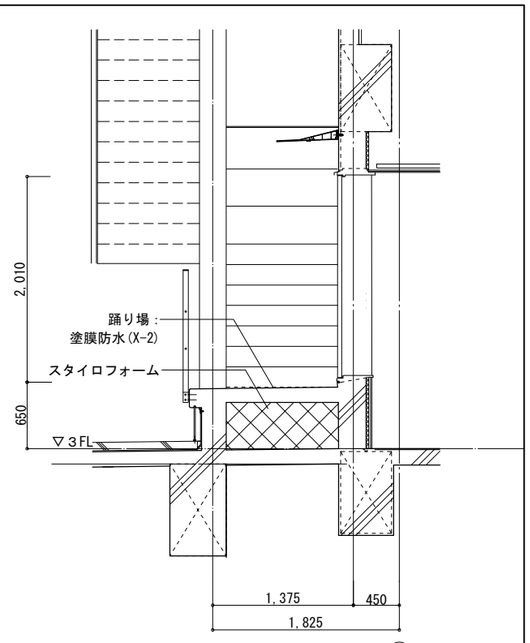
A-A断面詳細図　S=1/50



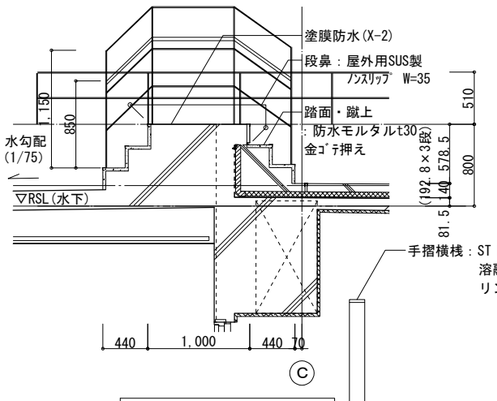
B-B断面詳細図　S=1/50



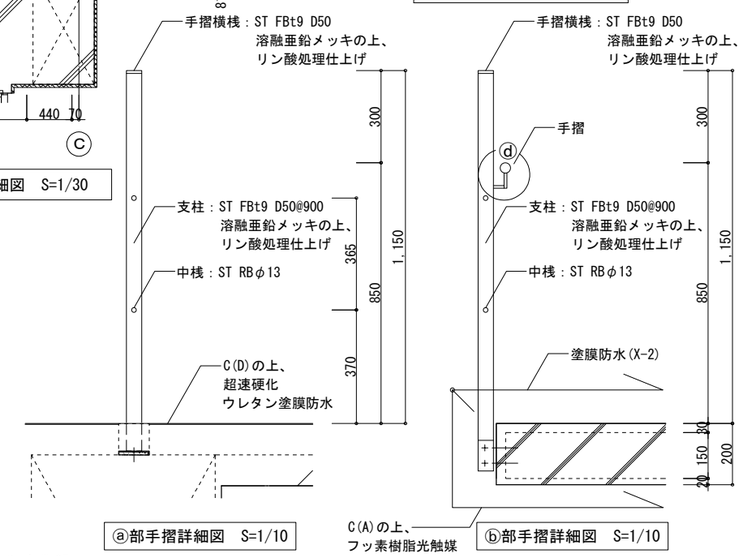
C-C断面詳細図　S=1/30



E-E断面詳細図　S=1/30

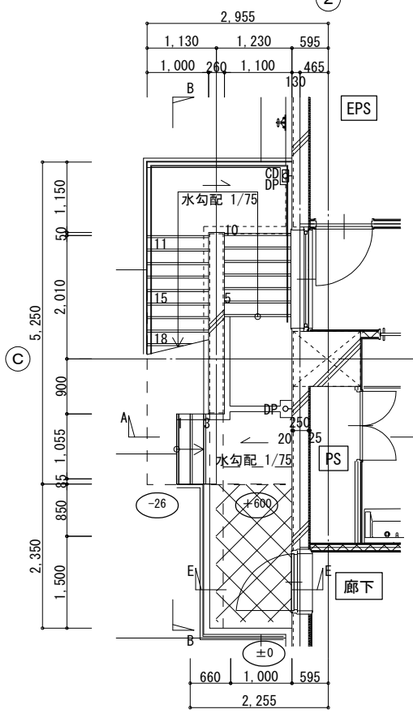


D-D断面詳細図　S=1/30



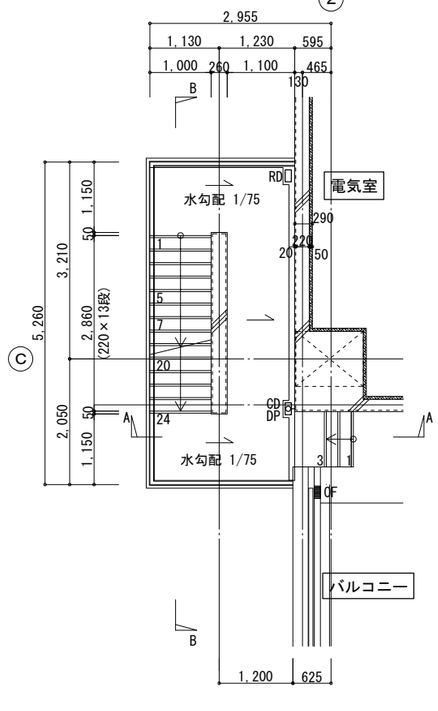
ⓐ部手摺詳細図　S=1/10

ⓑ部手摺詳細図　S=1/10

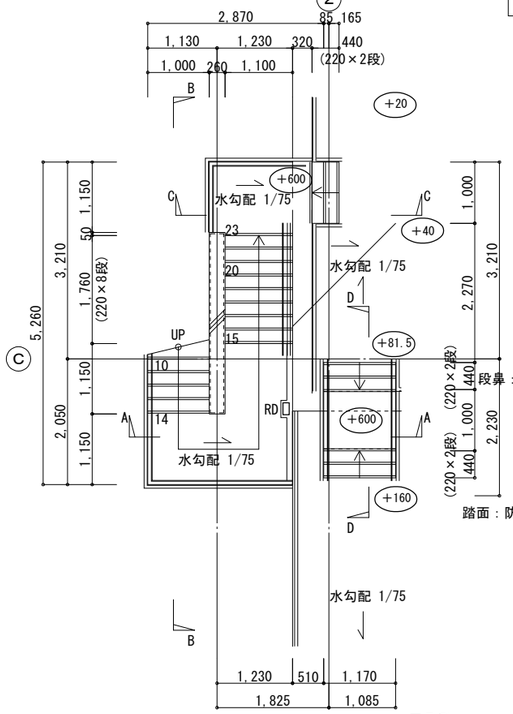


3階平面詳細図　S=1/50

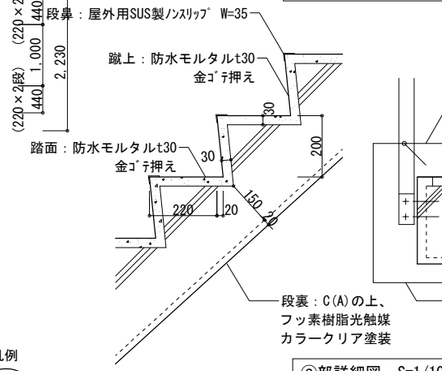
：二重スラブ
範囲を示す



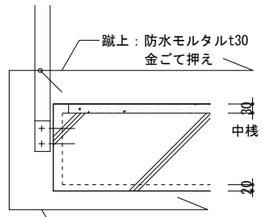
4階平面詳細図　S=1/50

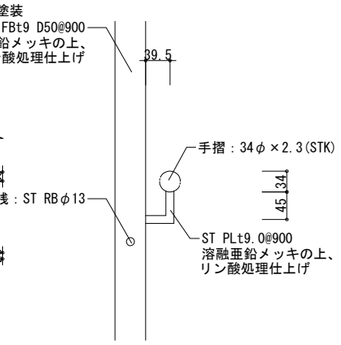


屋上平面詳細図　S=1/50



ⓒ部詳細図　S=1/10

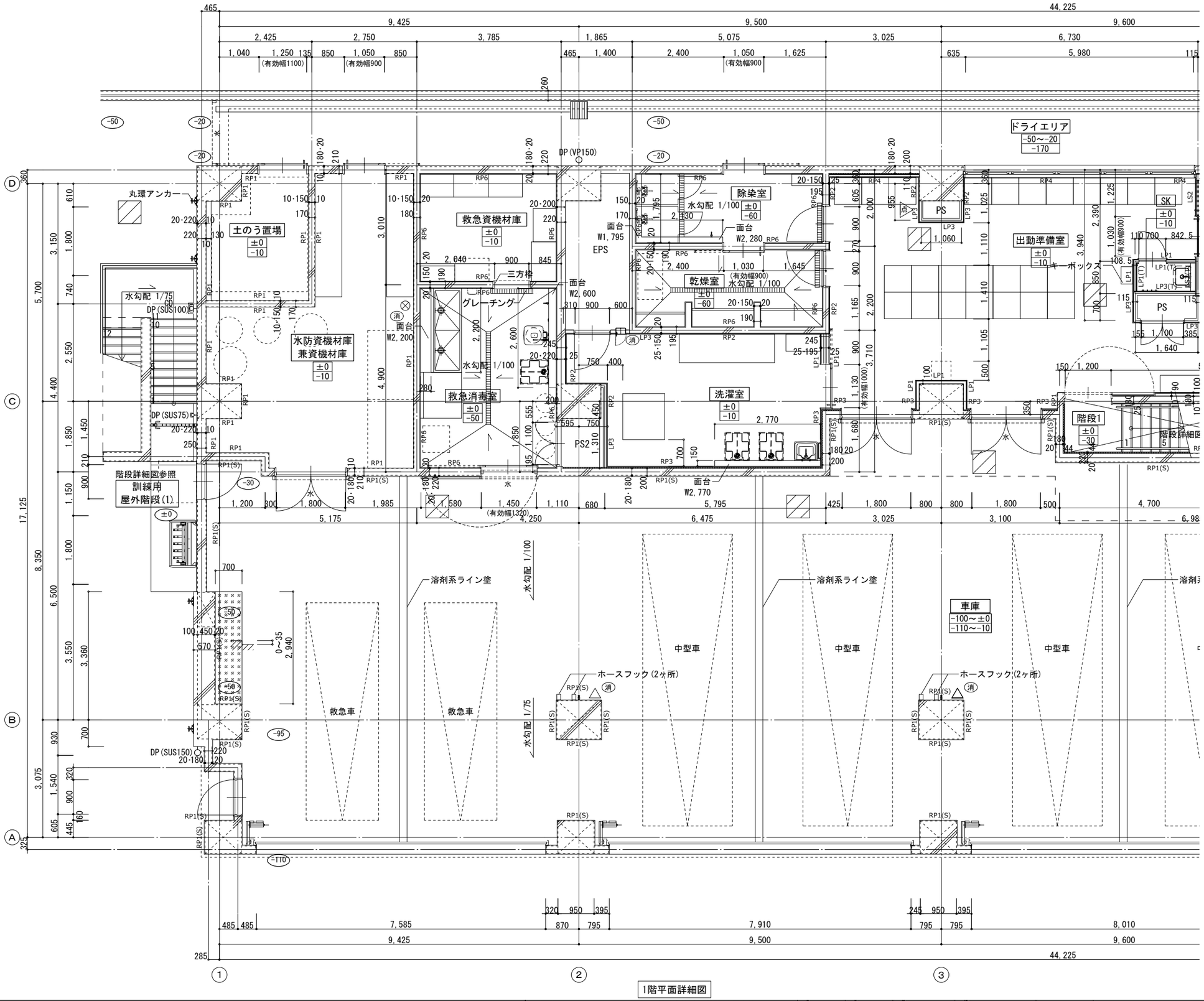




ⓓ部手摺詳細図 S=1/5

■凡例
±0　FLからのスラブ高さを示す

特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 訓練用屋外階段2詳細図	縮尺 A1：図示 A3：図示/2 / 図番 A311



1階平面詳細図

■凡例

	RC壁
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	側溝(ステンレス製 細目グレーチング 溝幅150)
	視覚障害者用床タイル
DP() ○	縦樋 ※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
消	消火器ボックス(置型)
消	消火器ボックス(壁掛)
(ANS138)	ガラスクロスを示す
点	**壁点検口300×300 アルミ枠(壁同材額縁タイプ)**
	フリーアクセスフロア範囲
	設備機械基礎
	備品基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す
	化粧フロアハッチ(防水・防臭型) ：特記なき限り600□ 上部(床仕上同材)
水	防水板

A B C D 展開方向

特記事項

株式会社あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録(二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

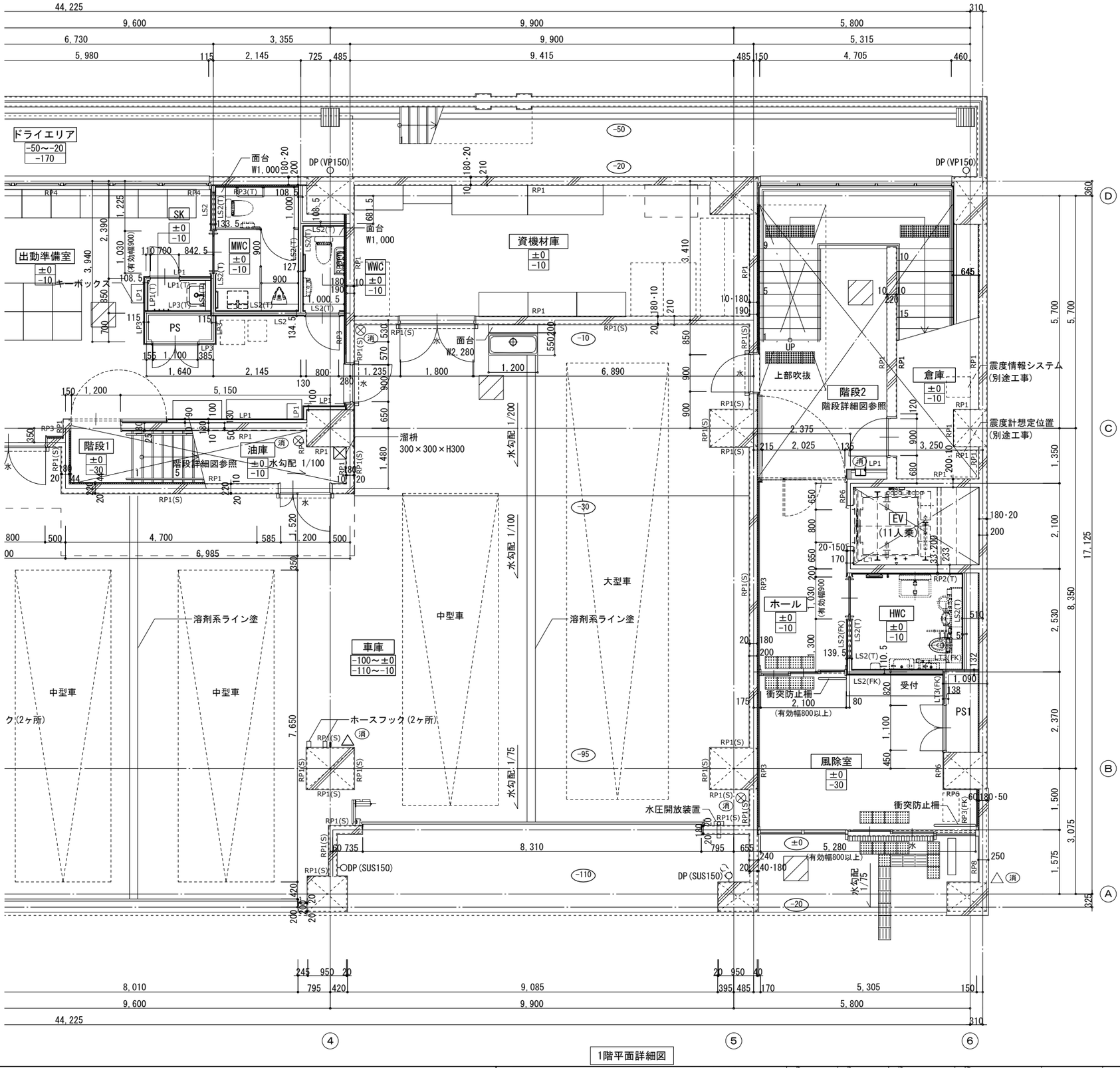
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 1階平面詳細図(1)

縮尺 A1:1/50 A3:1/100

当初・変更・完成

図番 A312

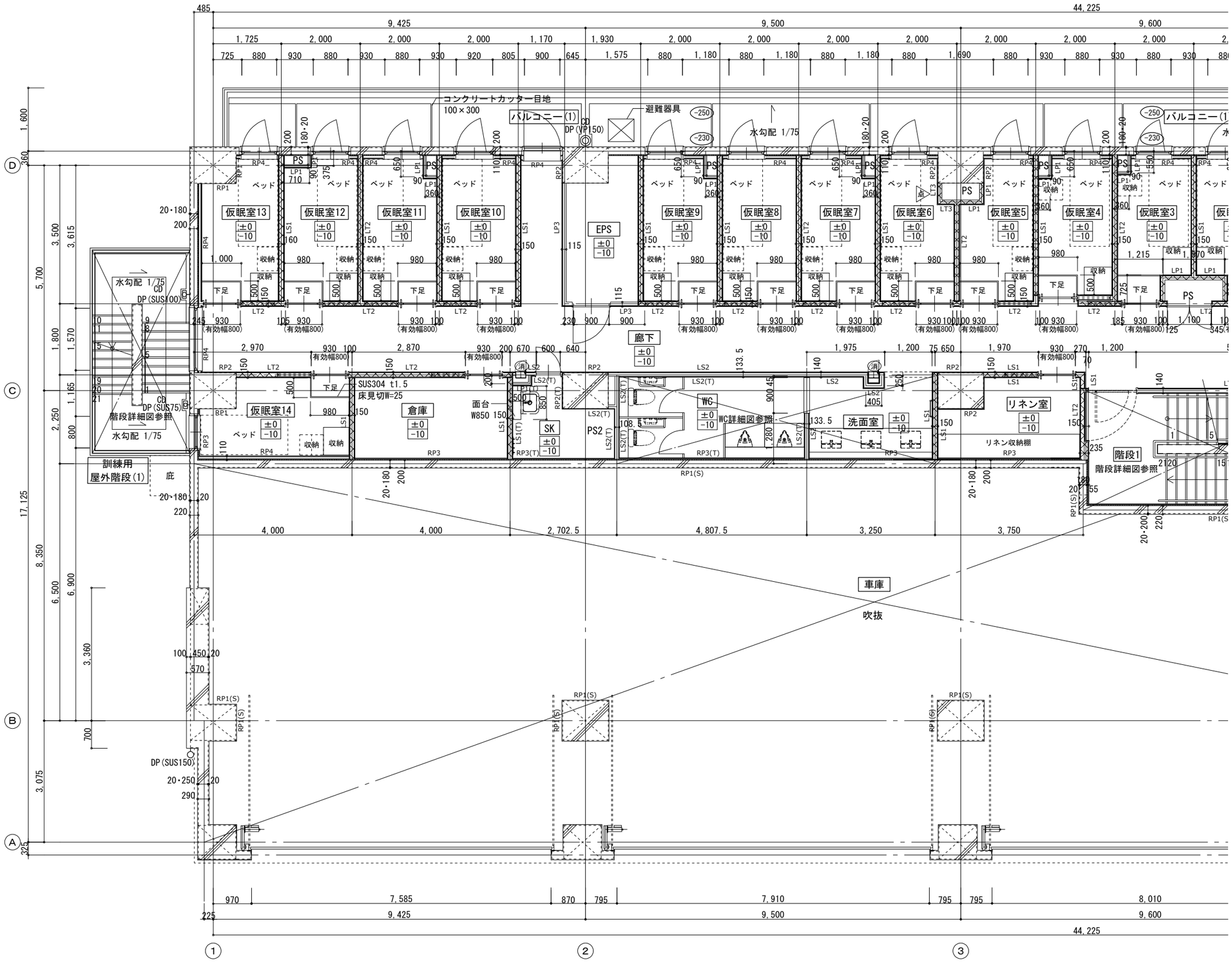


1階平面詳細図

■凡例

	RC壁
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	側溝(ステンレス製 細目グレーチング 溝幅150)
	視覚障害者用床タイル
DP() ○	縦樋 ※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
消	消火器ボックス(置型)
消	消火器ボックス(壁掛)
(ANS138)	ガラスクロスを示す
点	**壁点検口300×300 アルミ枠(壁同材額縁タイプ)**
	フリーアクセスフロア範囲
	設備機械基礎
	備品基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す
	化粧フロアハッチ(防水・防臭型) :特記なき限り600□ 上部(床仕上同材)
水	防水板

特記事項	株式会社あい設計 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録(二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 1階平面詳細図(2) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 図番 A313



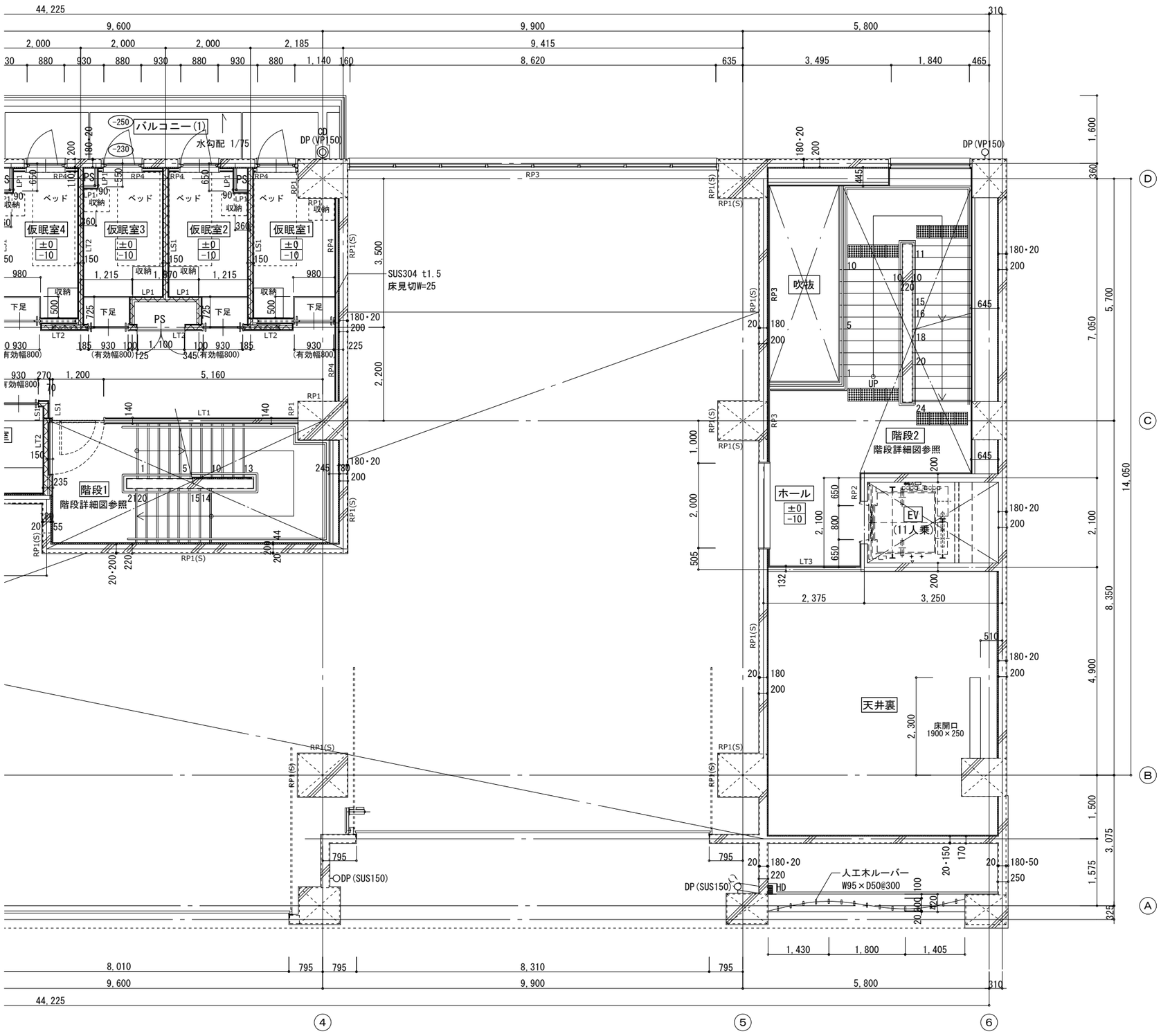
■凡例

	RC壁
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	樹脂製スレンダー型側溝
	視覚障害者用床タイル
DP() ○	縦樋　※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
(ANS138)	ガラスクロスを示す
点	**壁点検口300×300　アルミ枠（壁同材額縁タイプ）**
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ範囲
	設備機械基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す

A 展開方向 B C D

2階平面詳細図

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 2階平面詳細図(1)　縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A314



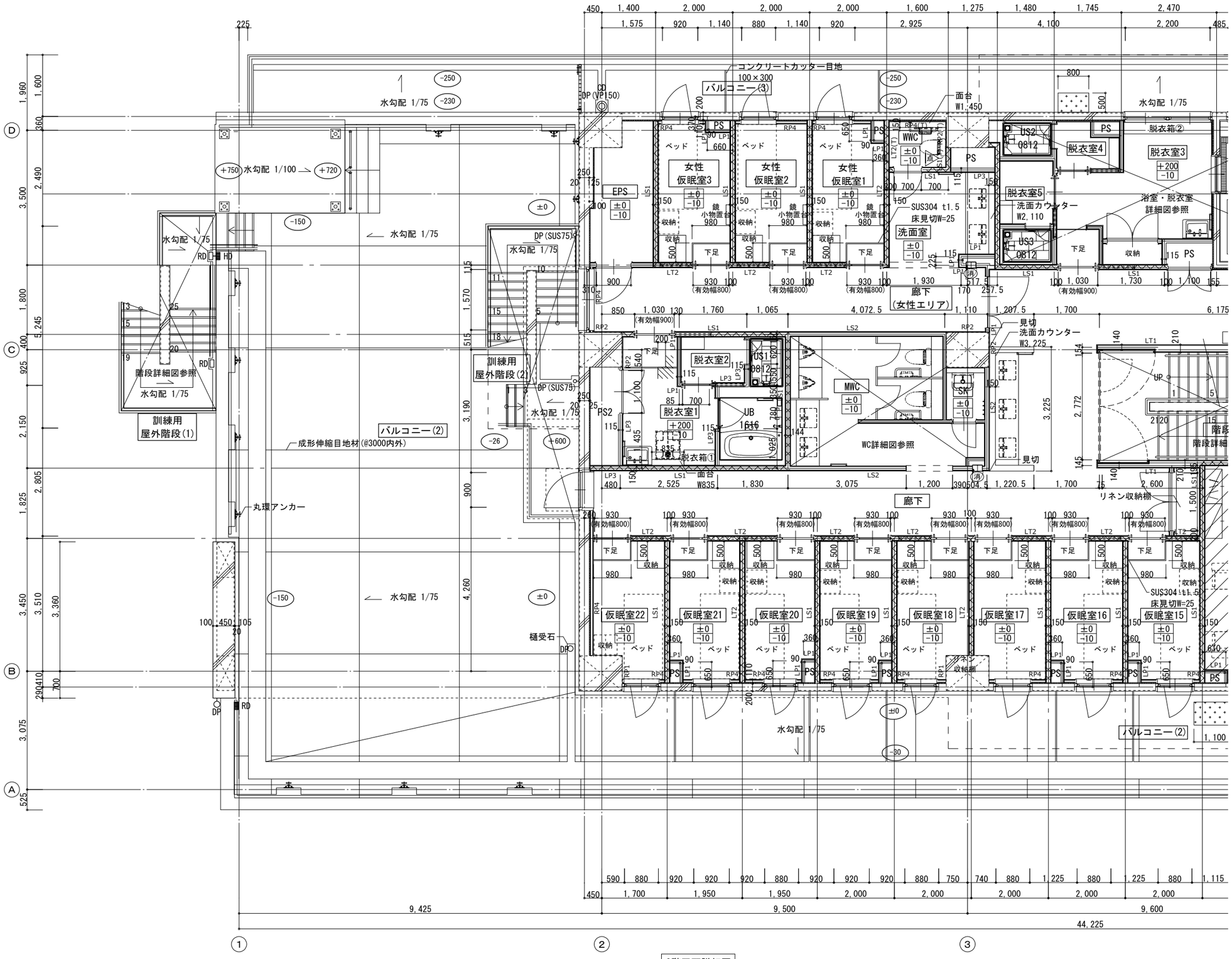
■凡例

	RC壁
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	樹脂製スレンダー型側溝
	視覚障害者用床タイル
DP() ○	縦樋 ※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
(ANS138)	ガラスクロスを示す
点	**壁点検口300×300 アルミ枠(壁同材額縁タイプ)**
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ範囲
	設備機械基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す

展開方向 A B C D

2階平面詳細図

特記事項	株式会社あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録(二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 2階平面詳細図(2) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A315



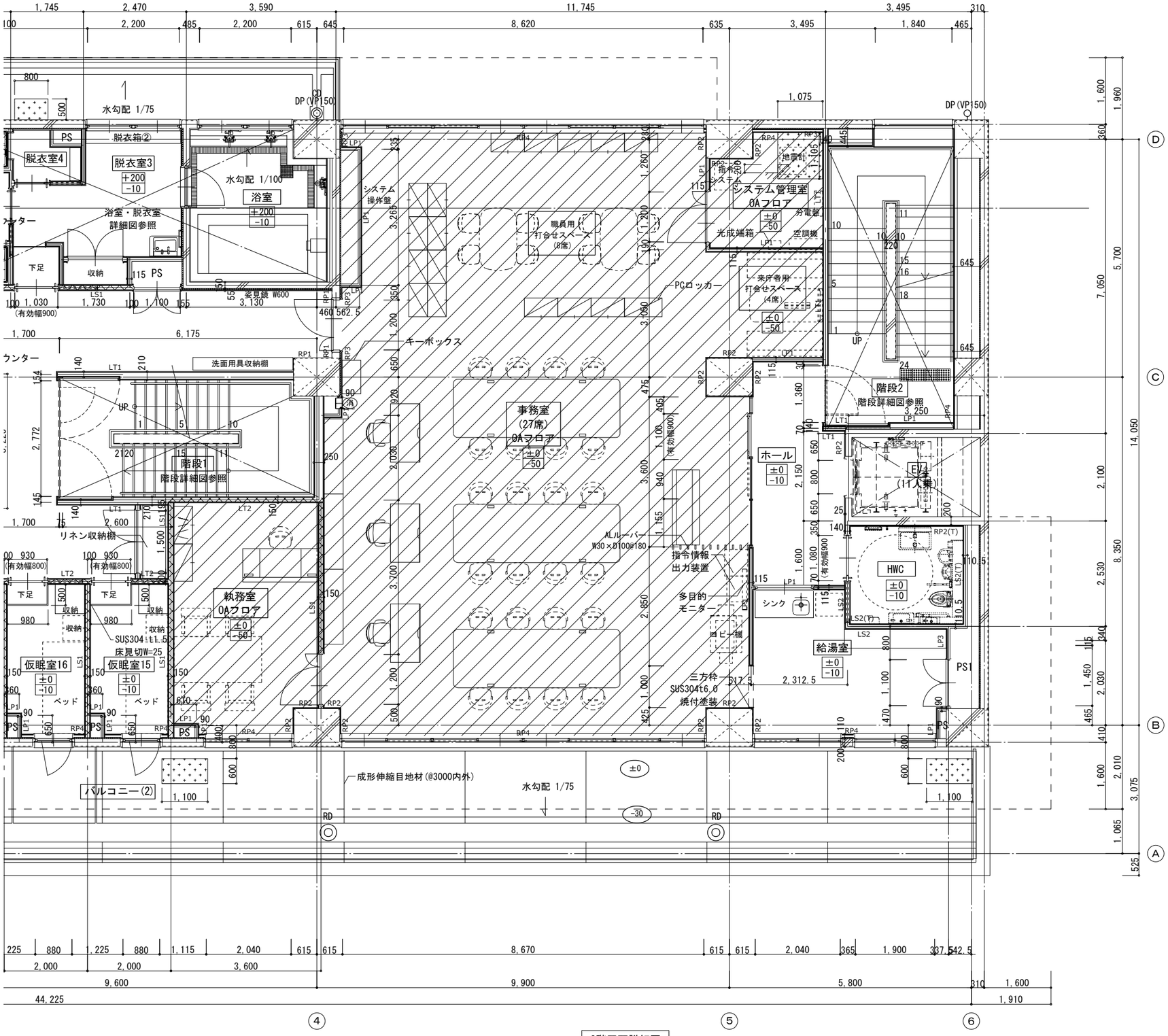
■凡例

	RC壁
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	樹脂製スレンダー型側溝
	視覚障害者用床タイル
DP() ○	縦樋　※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
点	**壁点検口300×300　アルミ枠（壁同材額縁タイプ）**
	フリーアクセスフロア範囲
	設備機械基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す

A 展開方向 B C D

3階平面詳細図

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 3階平面詳細図(1)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A316



■凡例

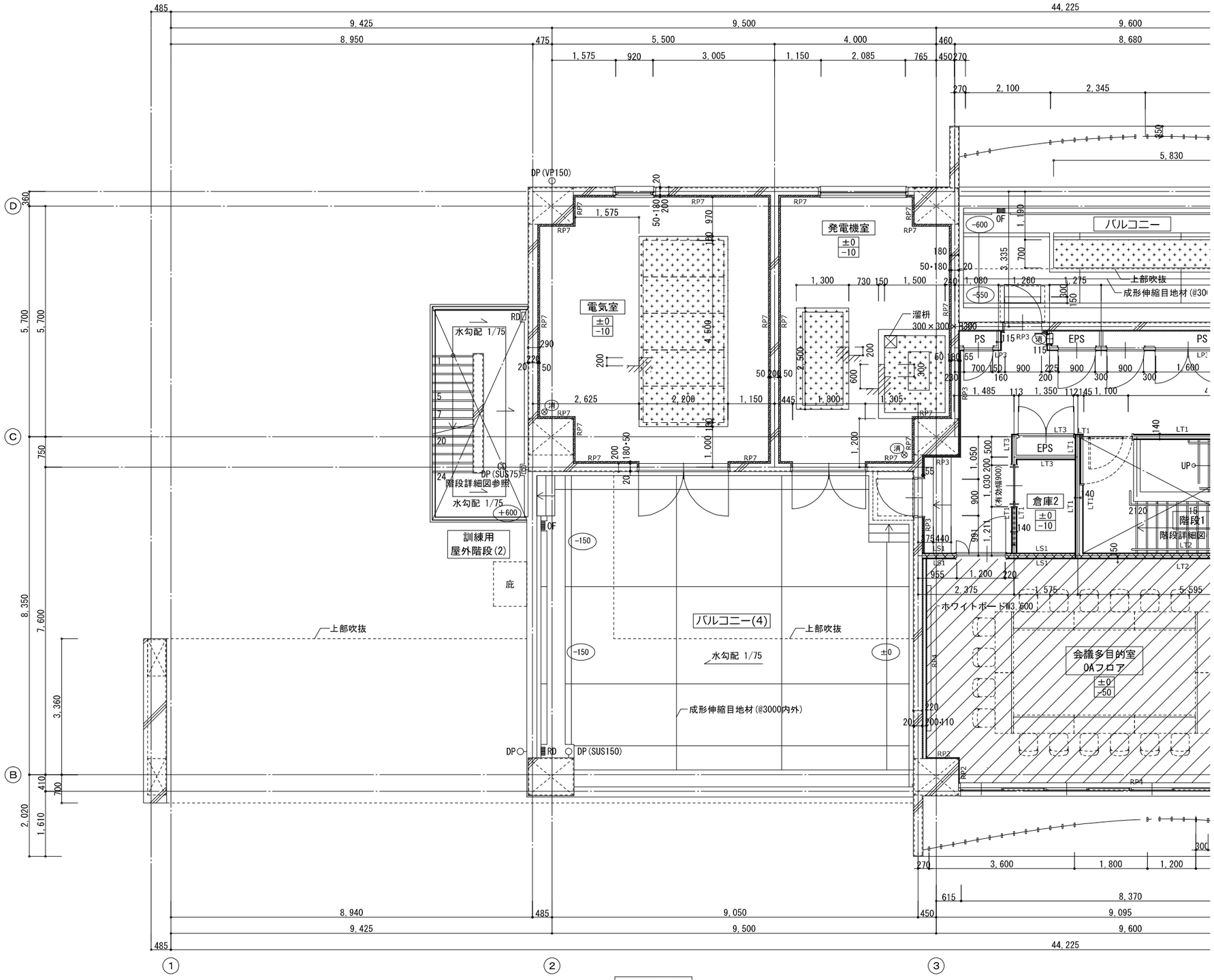
	RC壁
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	樹脂製スレンダー型側溝
	視覚障害者用床タイル
DP() ○	縦樋　※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
点	**壁点検口300×300　アルミ枠（壁同材額縁タイプ）**
	フリーアクセスフロア範囲
	設備機械基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す

A
D 展開方向 B
C

3階平面詳細図

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 3階平面詳細図(2)　縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A317

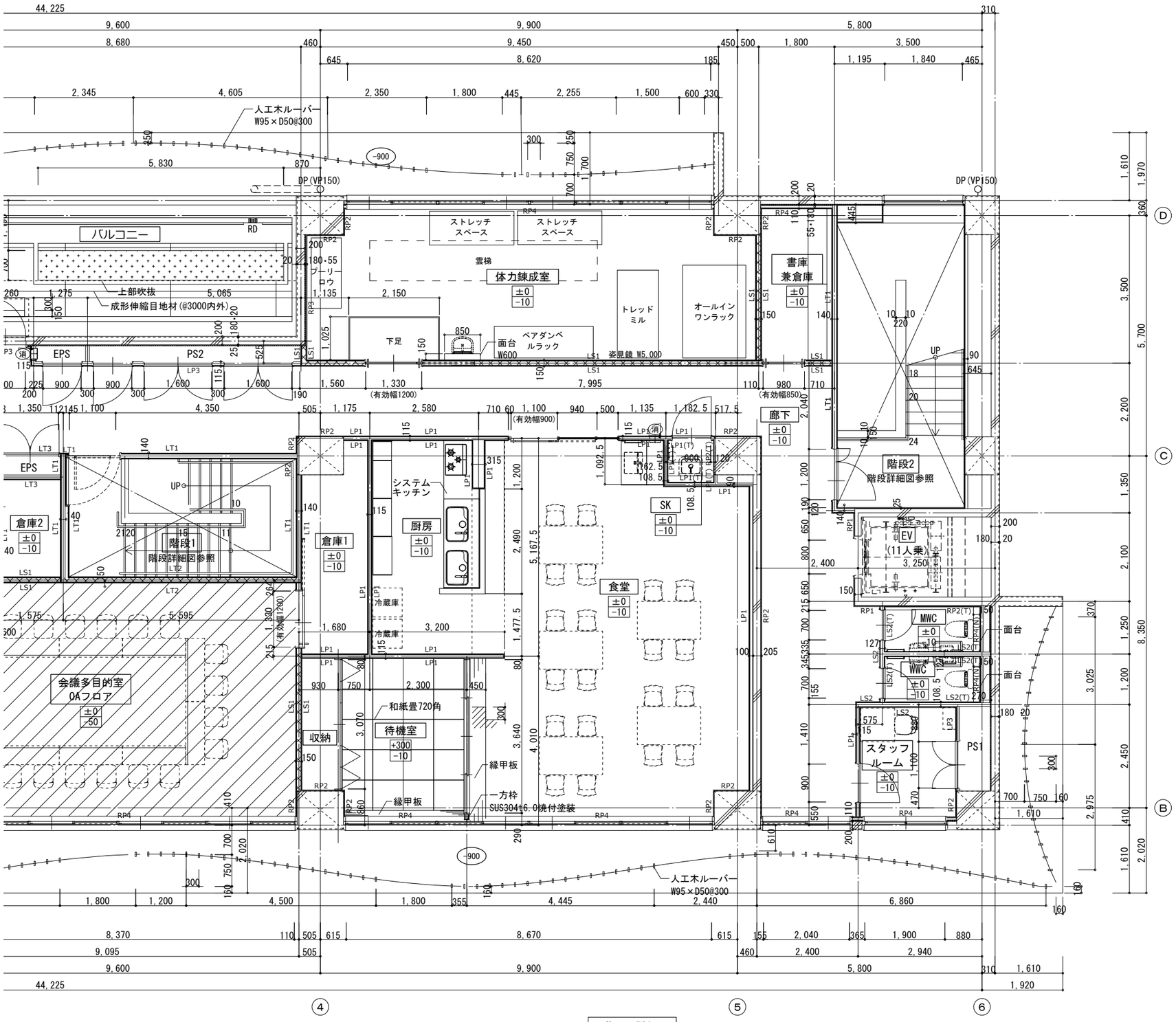
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※	FLからの仕上げ高さを示す
※	FLからのスラブ高さを示す
	樹脂製スレンダー型側溝
DP()	縦樋　※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
消	消火器ボックス(置型)
(ANS138)	ガラスクロスを示す
点	**壁点検口300×300　アルミ枠（壁同材額縁タイプ）**
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ範囲
	設備機械基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す



4階平面詳細図

特記事項	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課			図面名称 4階平面詳細図(1) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A318

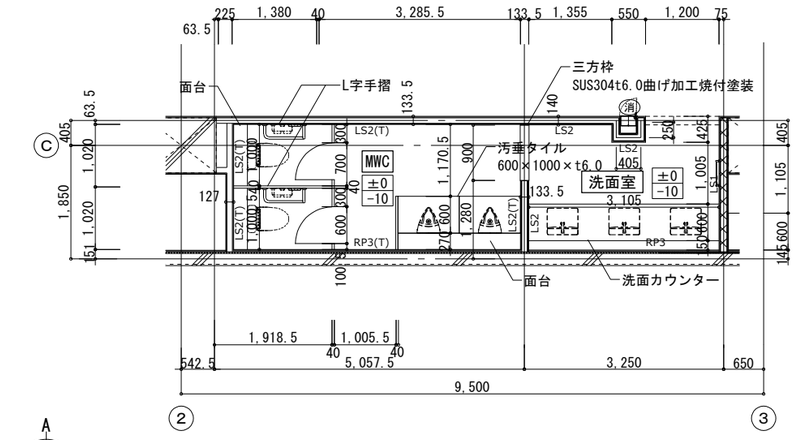
	GW遮音壁を示す(GWt=50(24K充填))
※ ※	FLからの仕上げ高さを示す FLからのスラブ高さを示す
	樹脂製スレンダー型側溝
DP()	縦樋　※()内は樋の仕様を示す
消	消火器ボックス(埋込)
消	消火器ボックス(置型)
(ANS138)	ガラスクロスを示す
点	壁点検口300×300　アルミ枠（壁同材額縁タイプ）
	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ範囲
	設備機械基礎
	床上がりを示す
±0	FLからのスラブ高さを示す



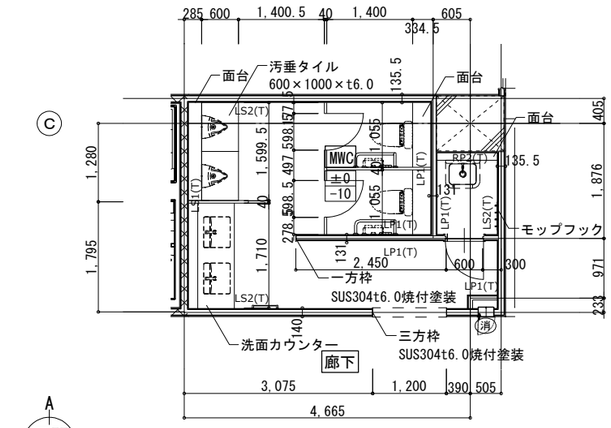
4階平面詳細図

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任者	係長	担当	製作年月日 2025年1月
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				

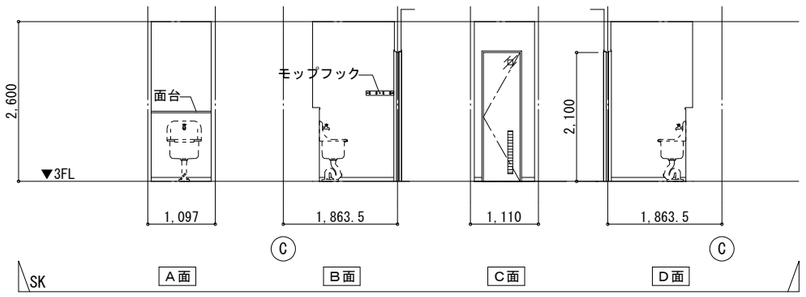
工事名称	新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
図面名称	4階平面詳細図(2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A319

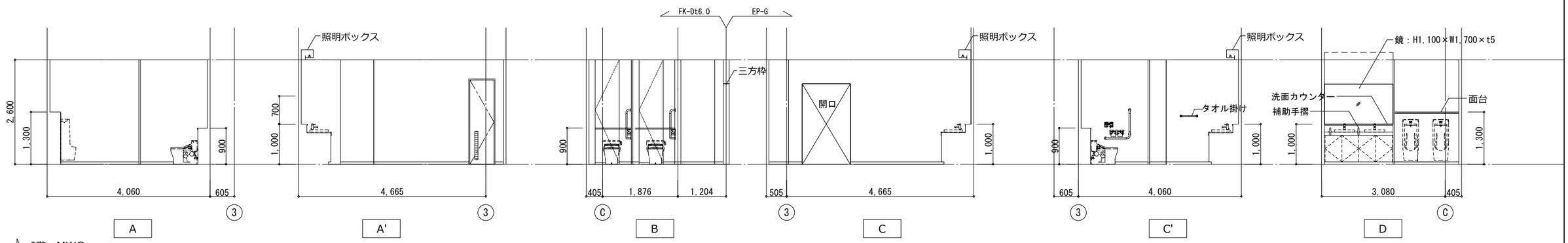


2階便所詳細図　S=1/50

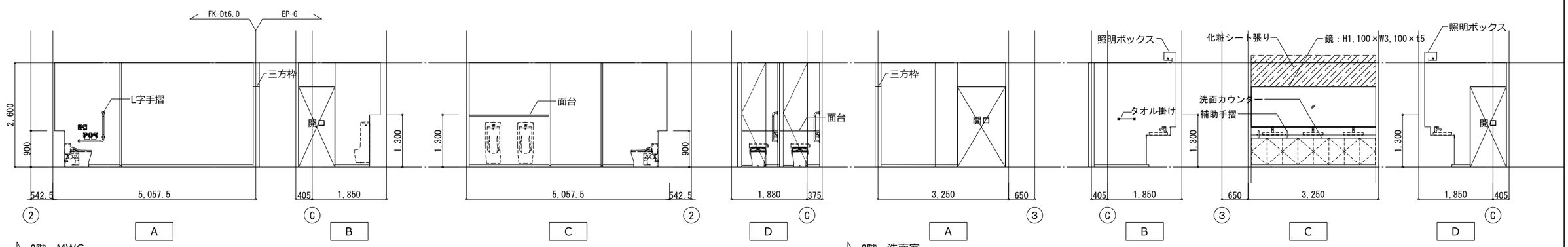


3階便所詳細図　S=1/50



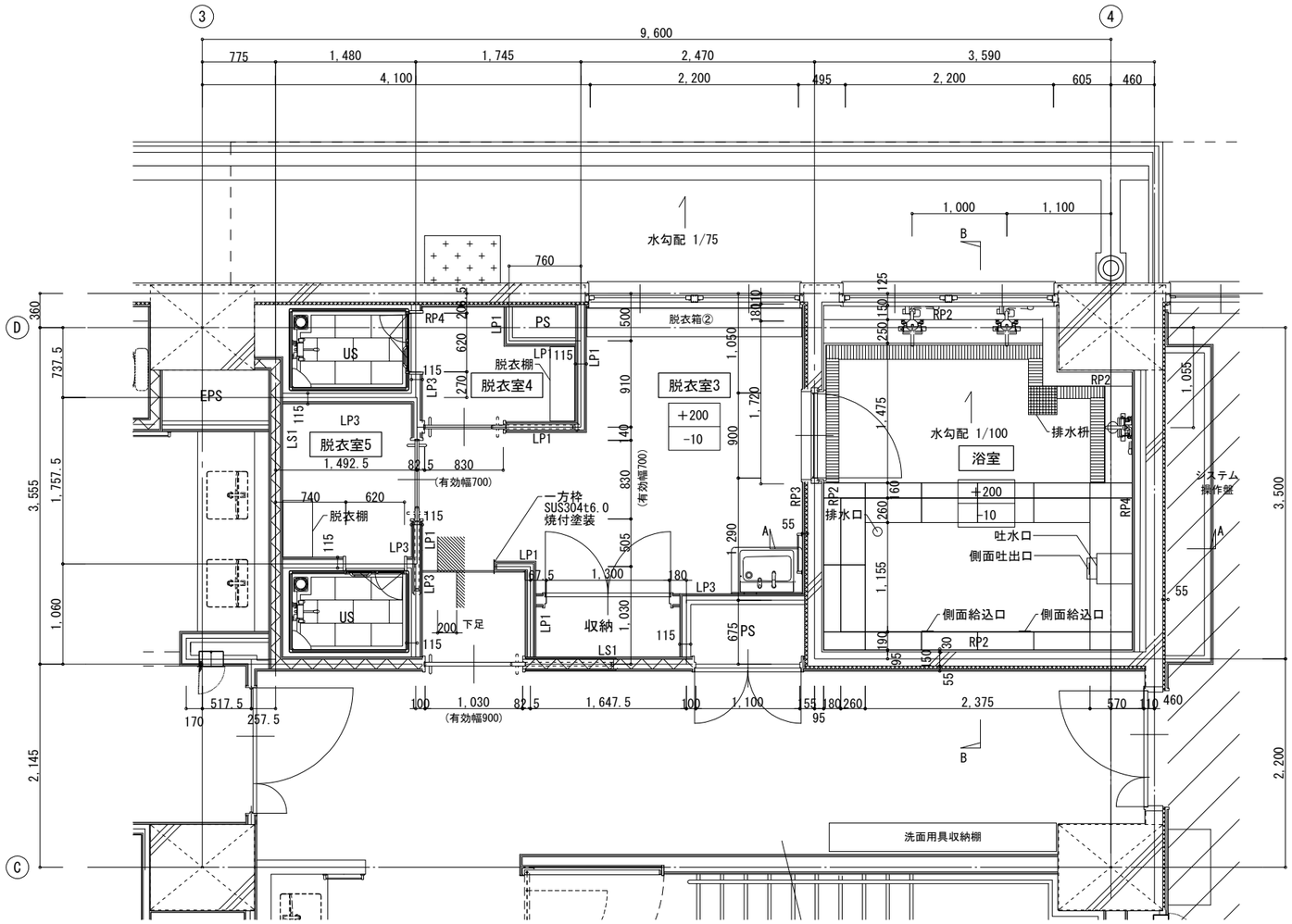


3階　MWC

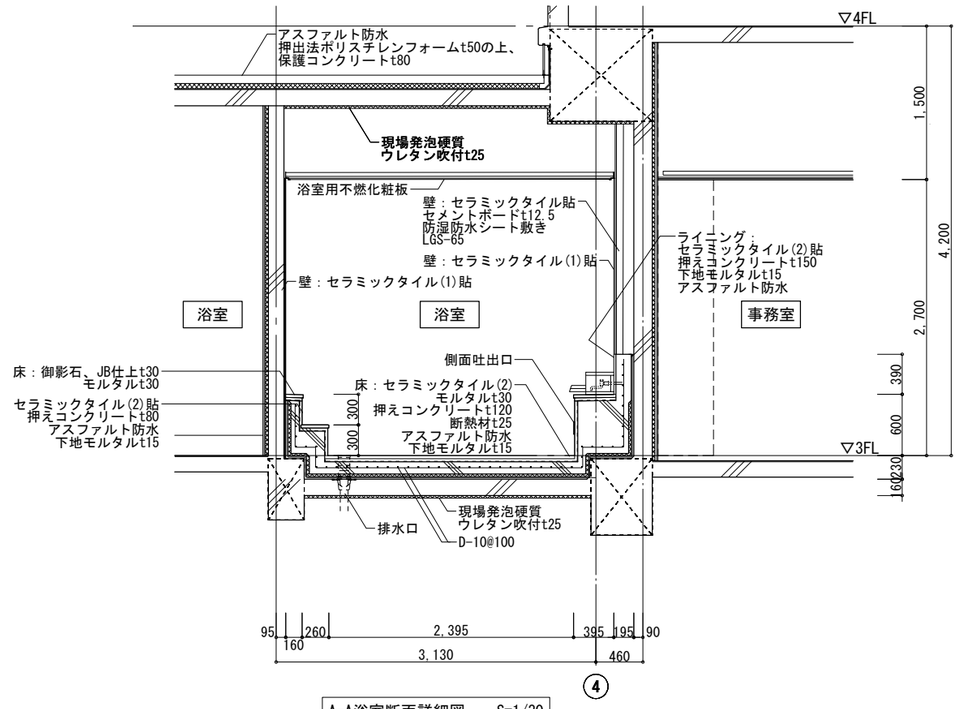


2階　MWC　　2階　洗面室

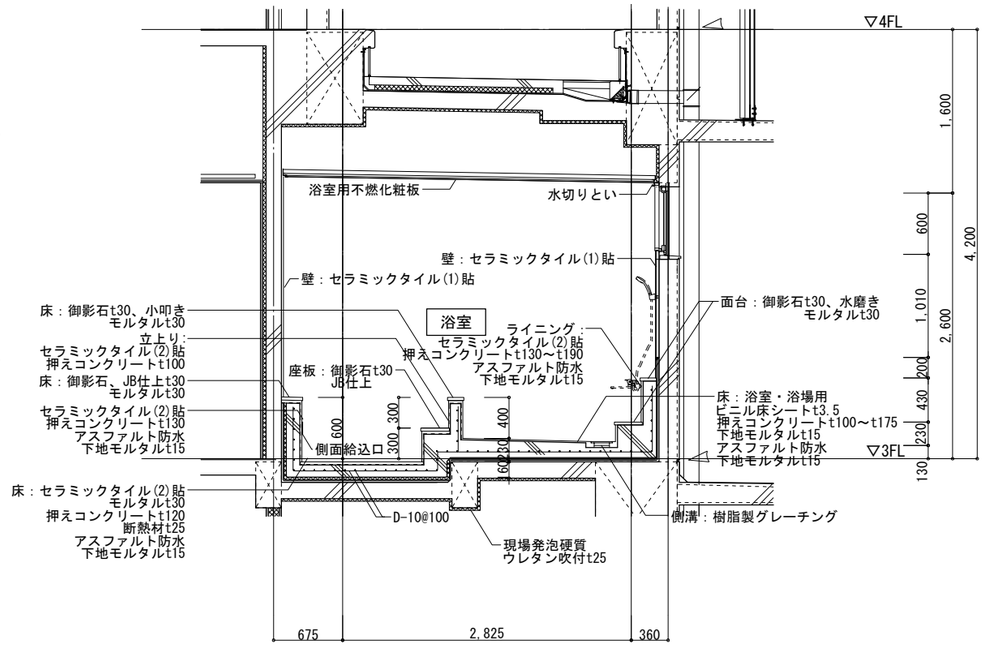
特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 2,3階便所詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100　図番 A320



脱衣室・浴室平面詳細図　S=1/30

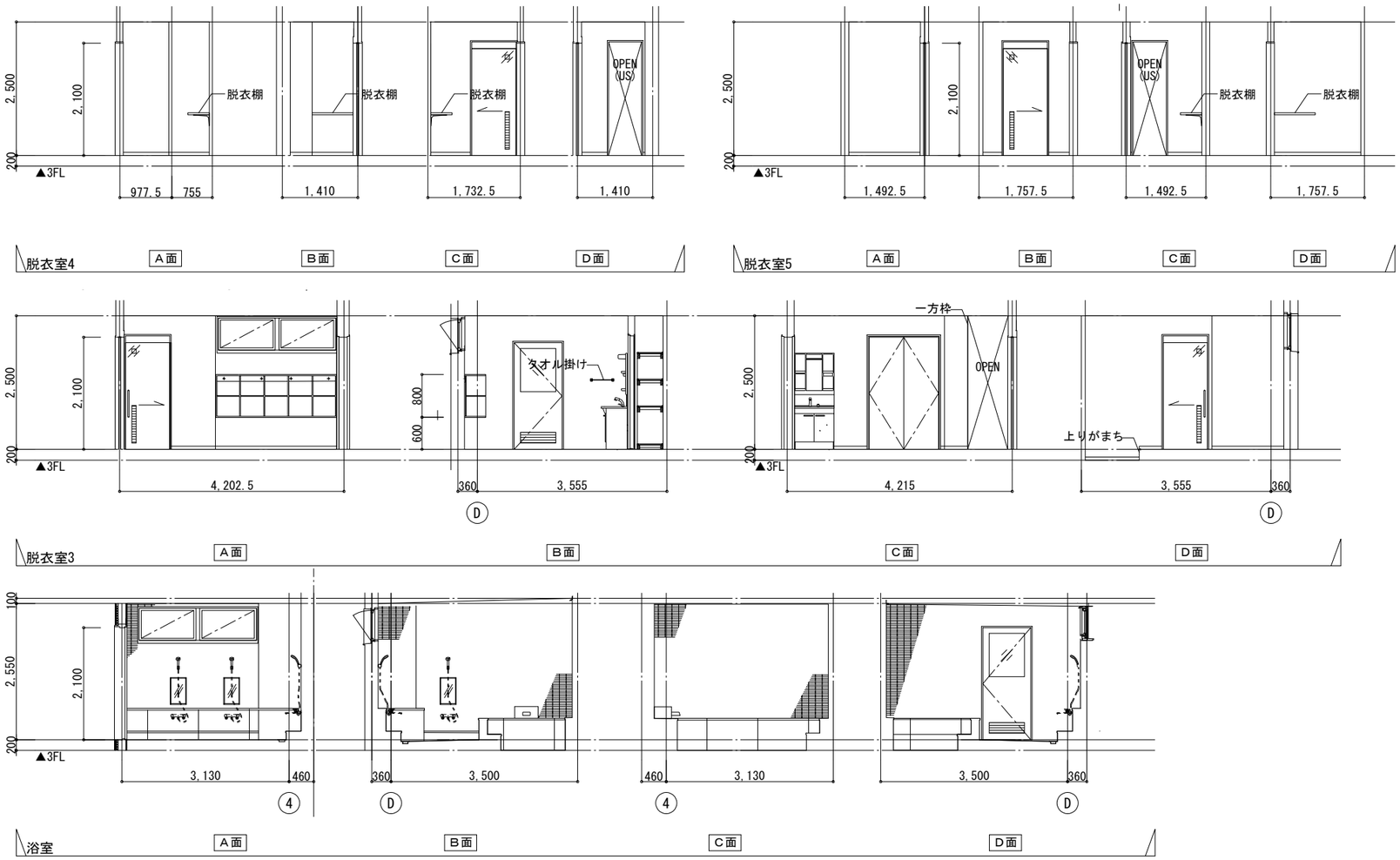


A-A浴室断面詳細図　S=1/30

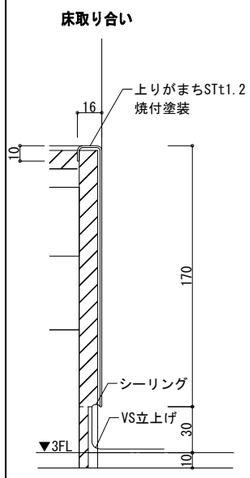


B-B浴室断面詳細図　S=1/30

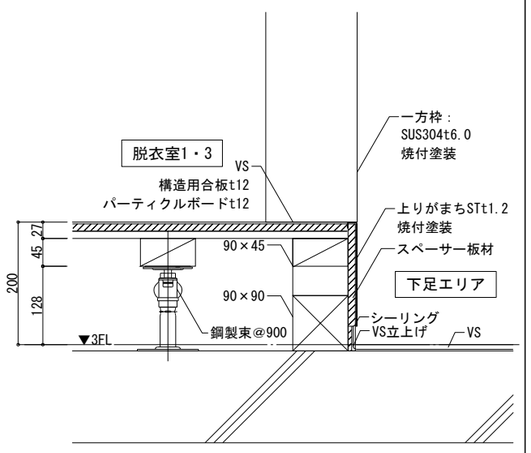
特記事項	株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 3階脱衣室・浴室詳細図(1)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2　図番 A321



上りがまち S=1:2

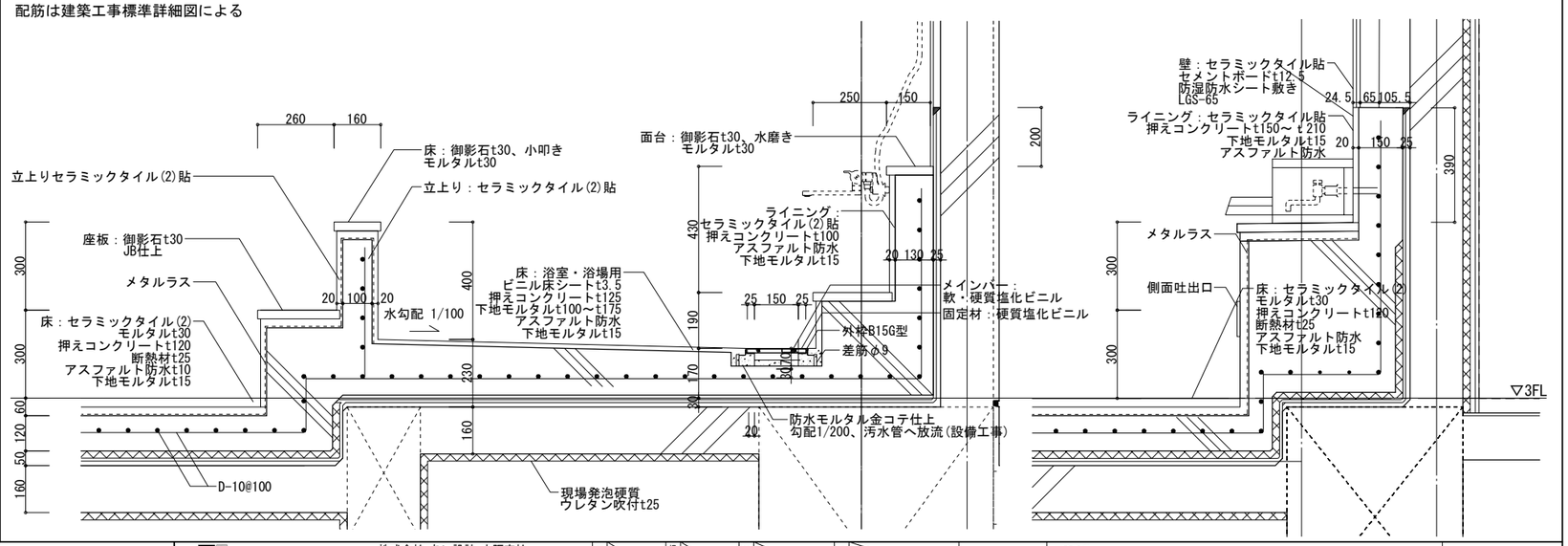


床取り合い S=1:5

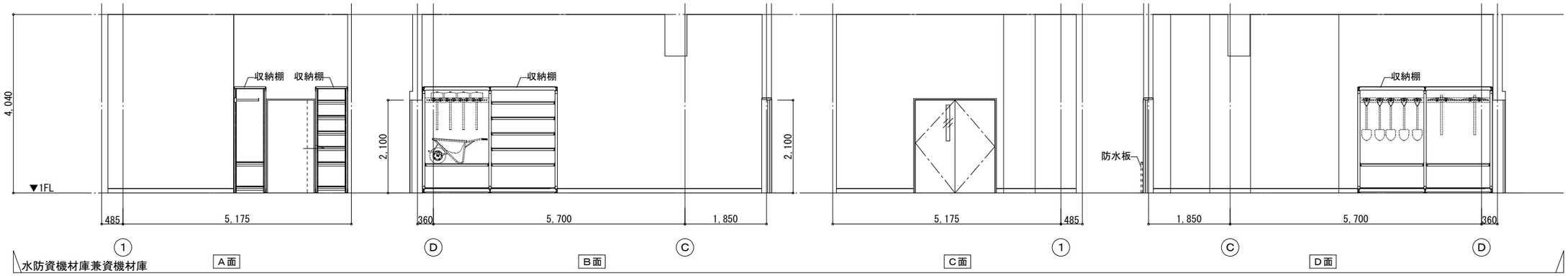


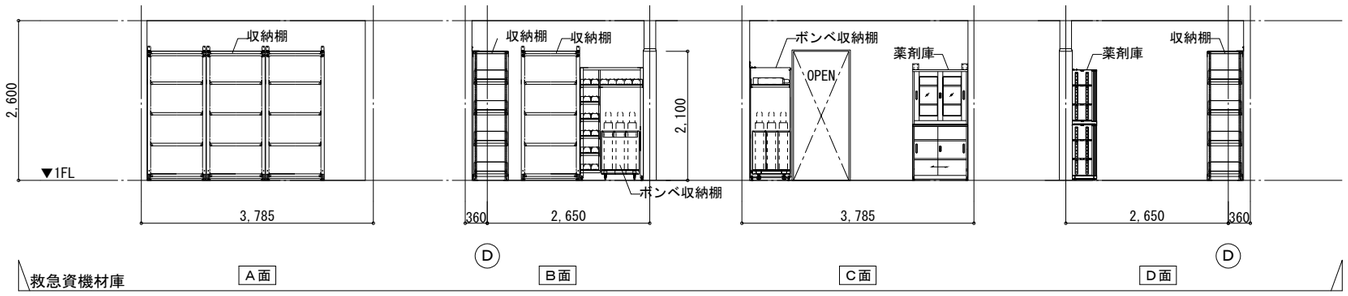
浴室詳細図 S=1:10

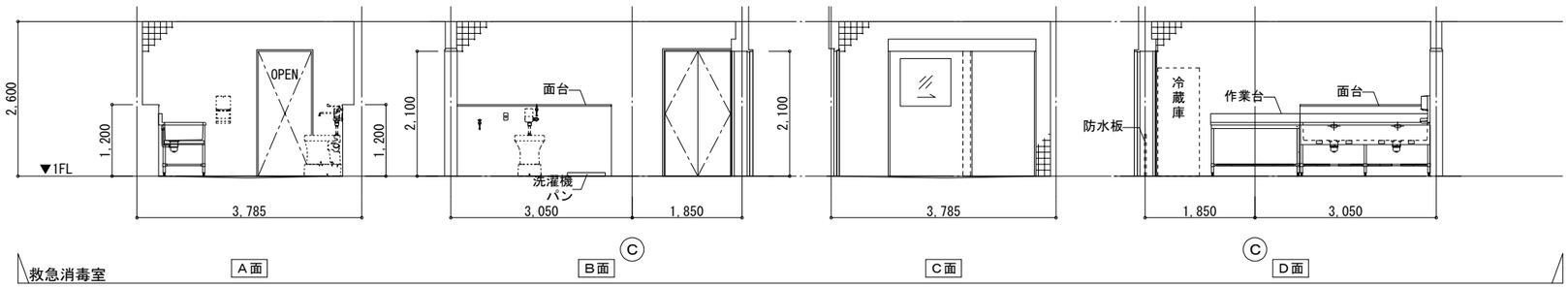
配筋は建築工事標準詳細図による

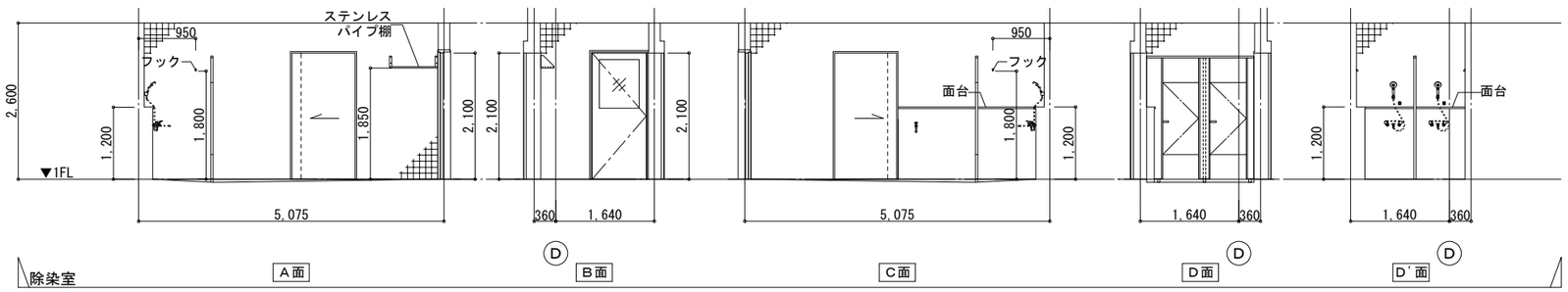


特記事項	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		工事名称 新中崎分署建設工事
			図面名称 3階脱衣室・浴室詳細図(2)
			縮尺 A1：図示 A3：図示/2
			当初・変更・完成
			図番 A322

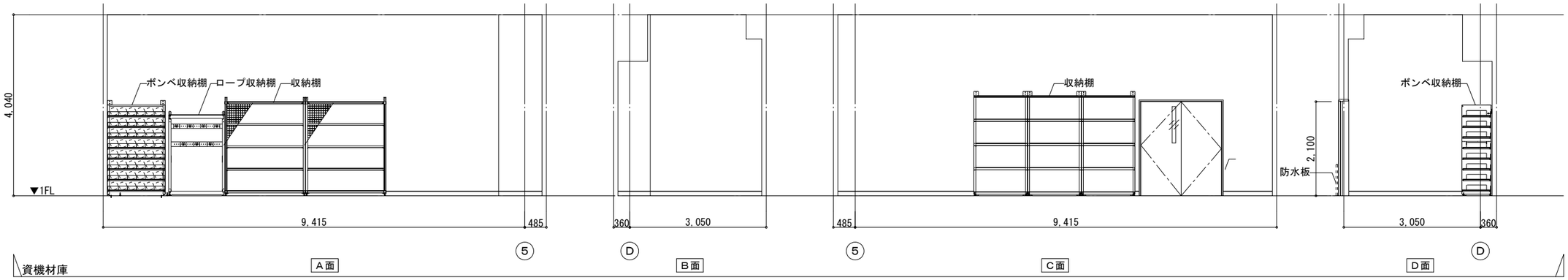


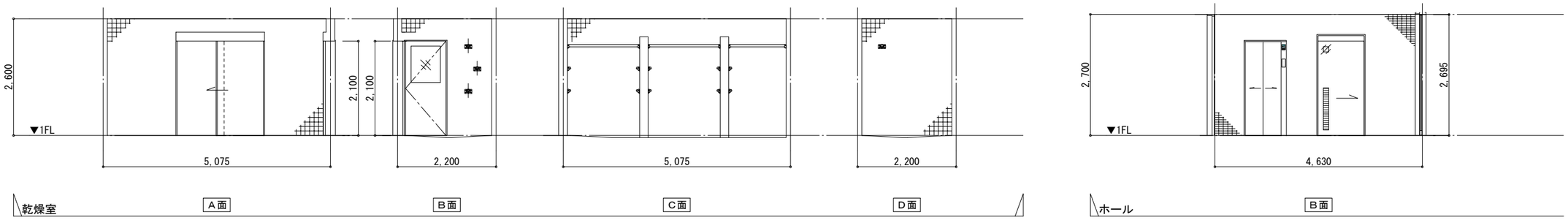


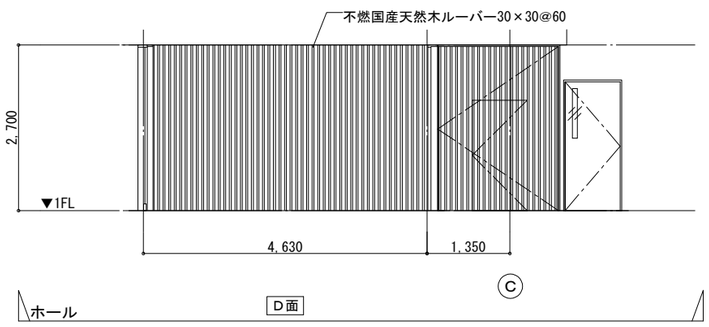


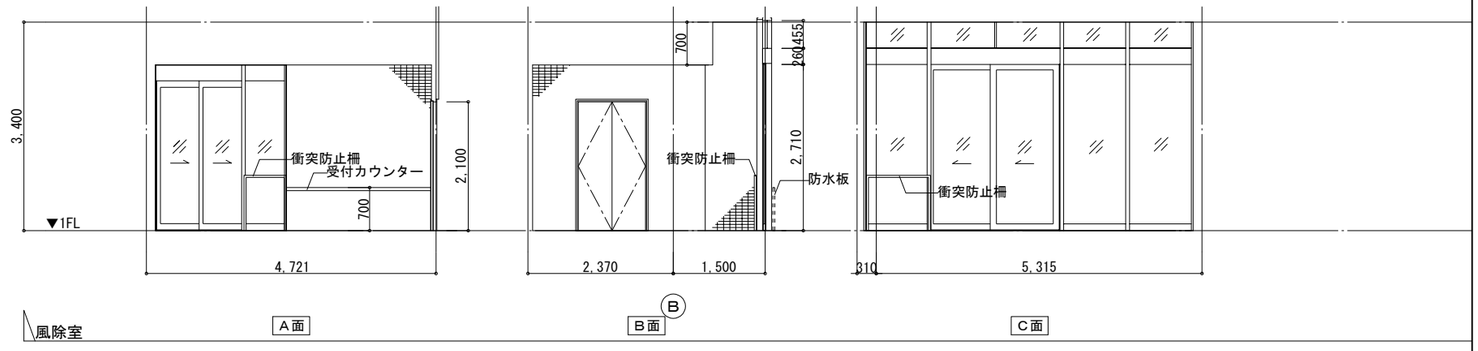


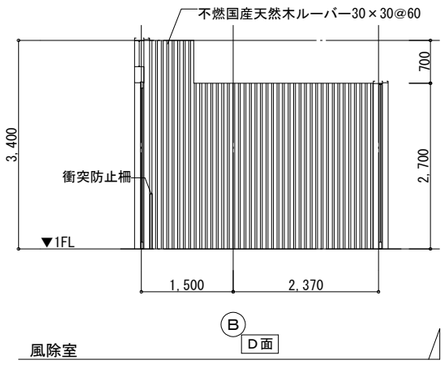
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 1階展開図(1) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A401

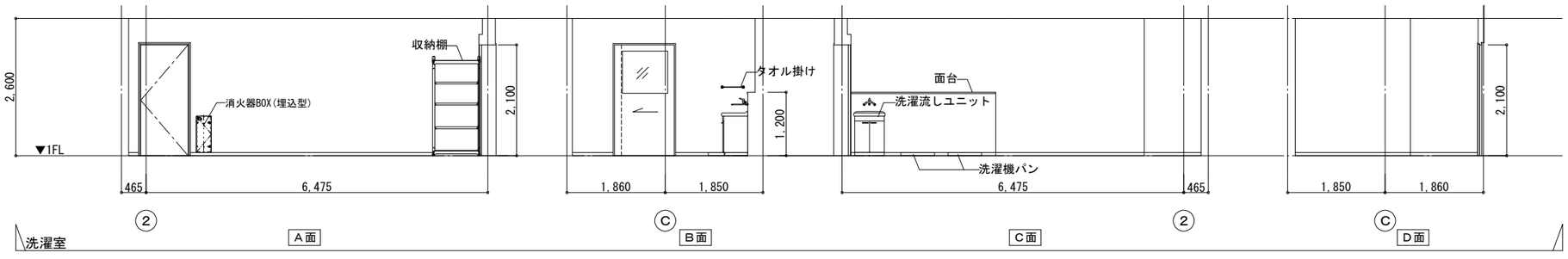




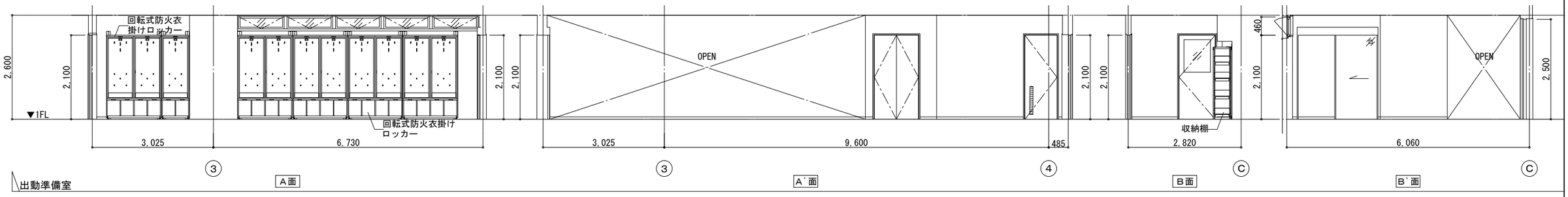


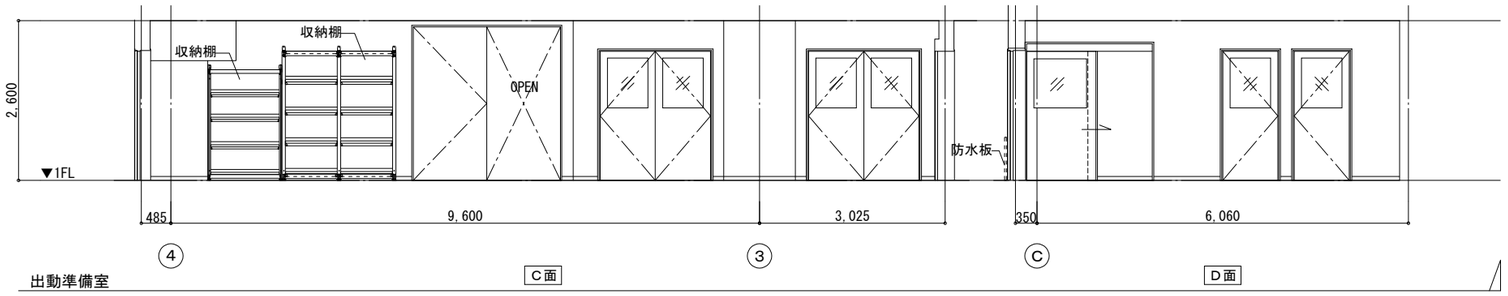


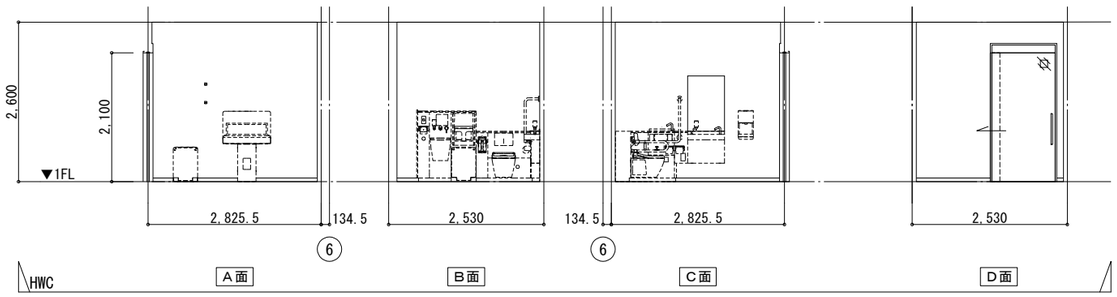


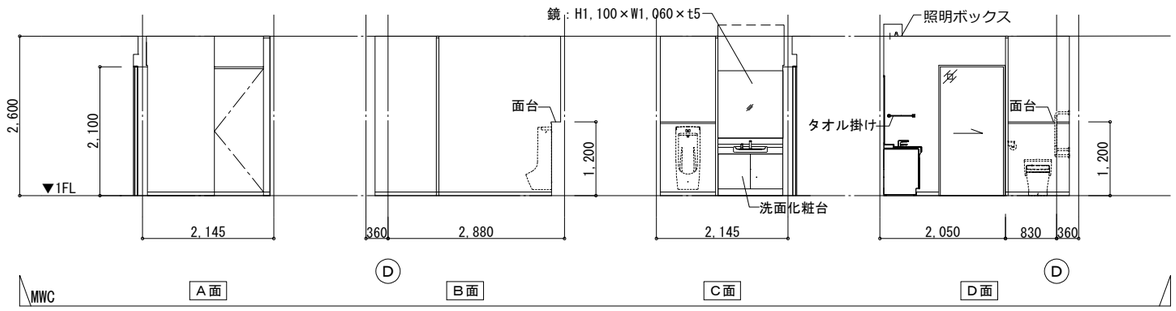


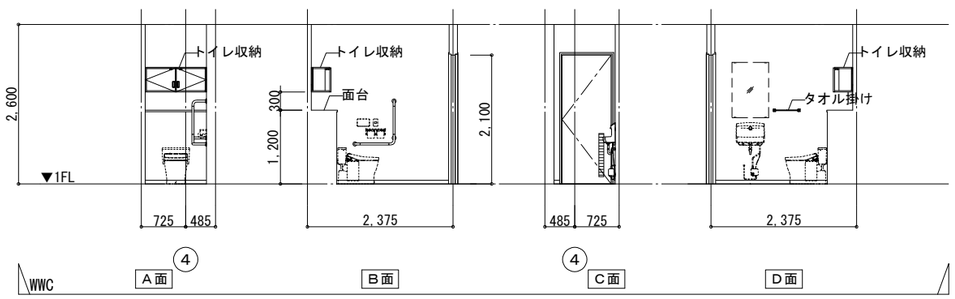
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 1階展開図(2) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A402

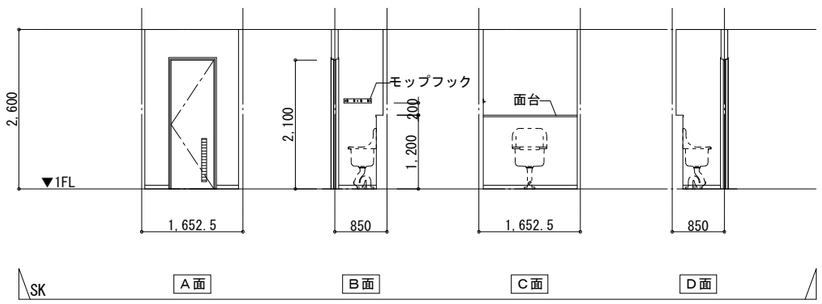




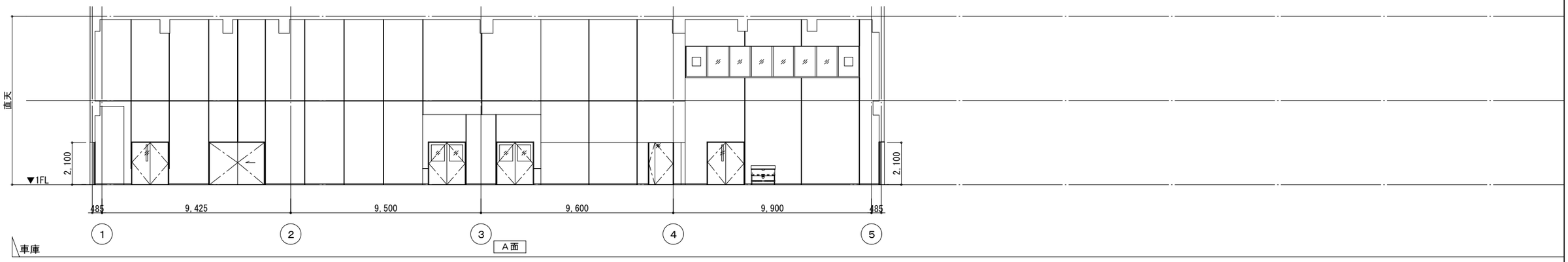




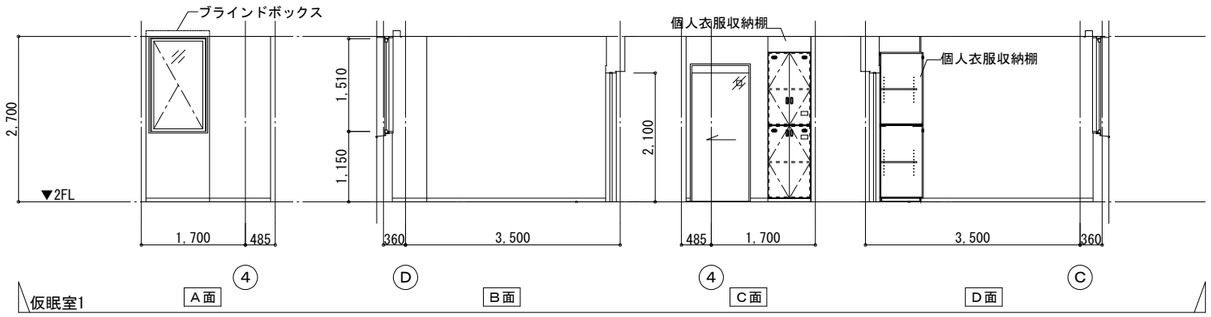


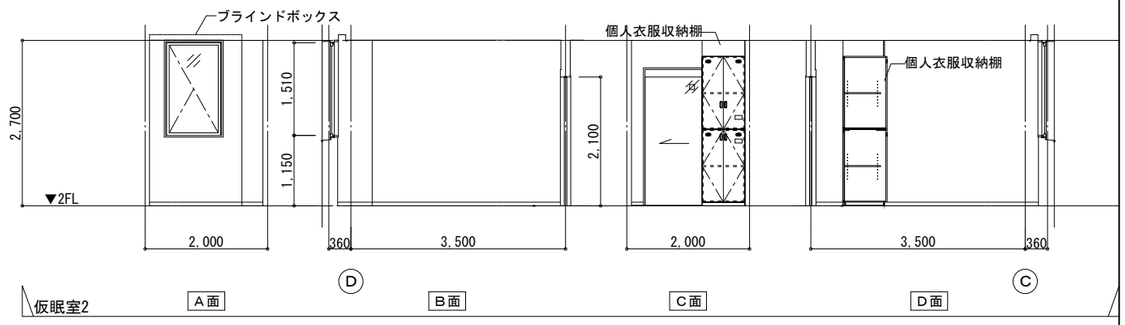


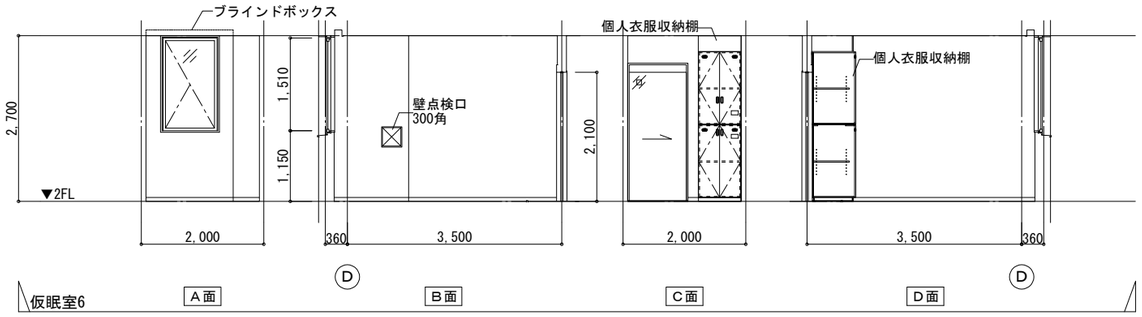
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 1階展開図(3) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A403

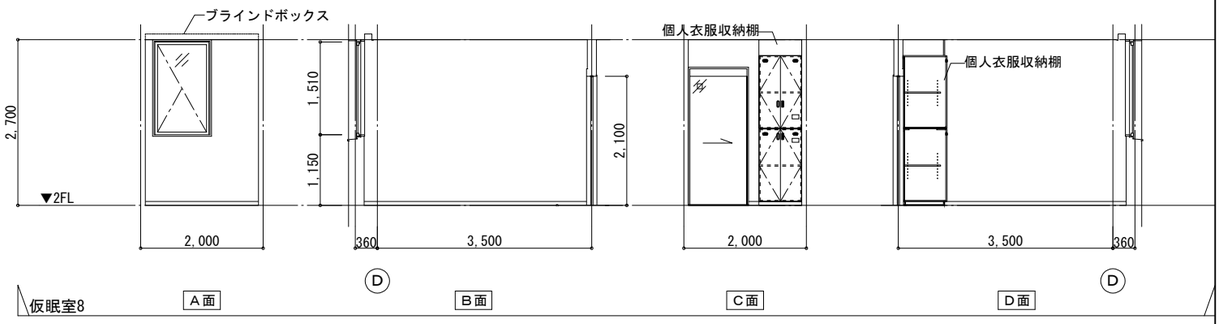


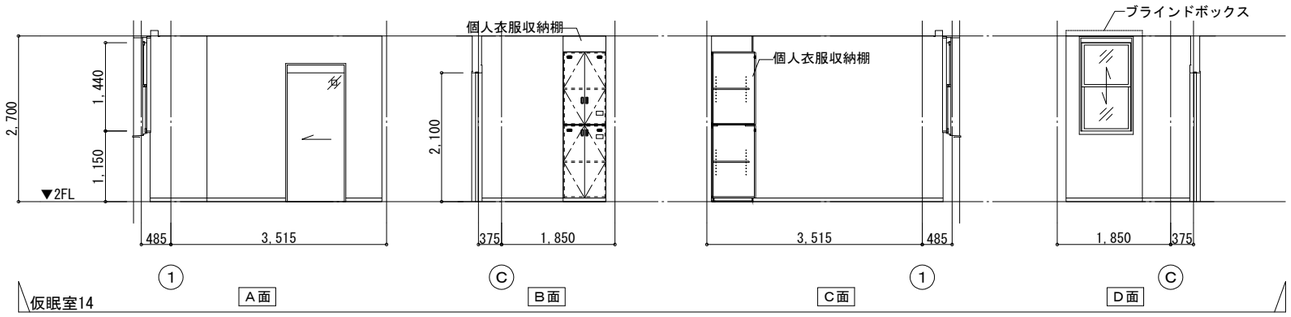
特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241 設計者 佐藤 真清	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 図面名称 1階展開図(4)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	当初・変更・完成 図番 A404

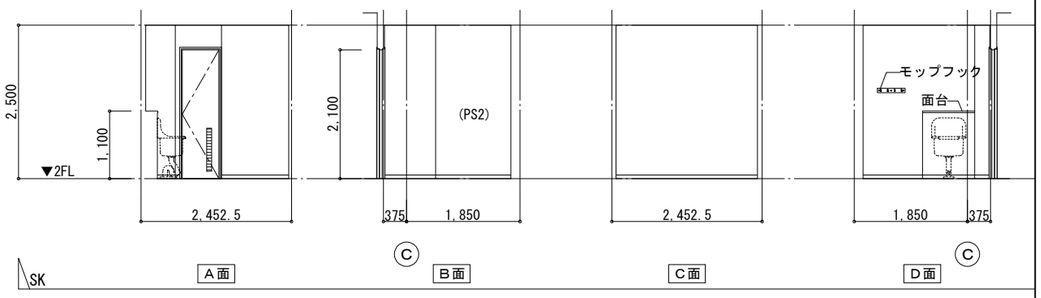


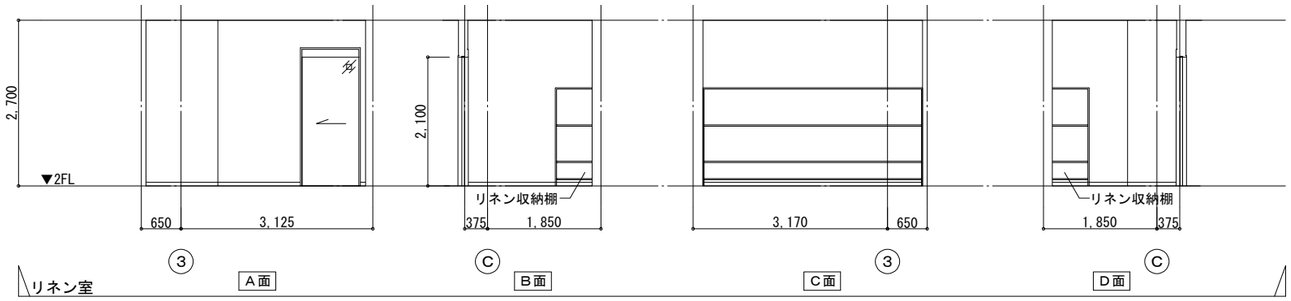




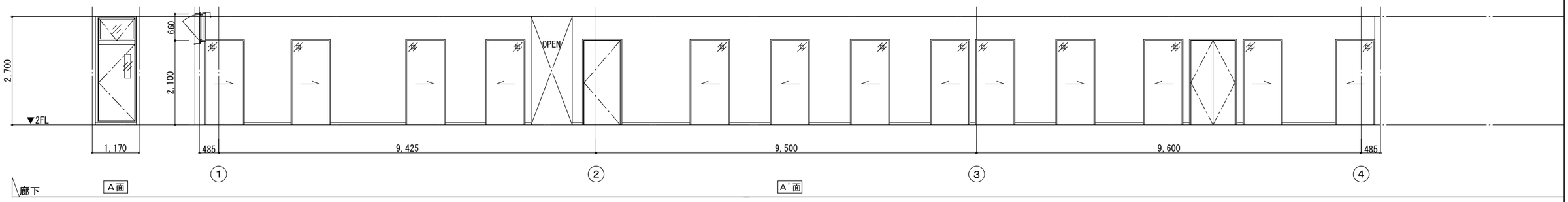


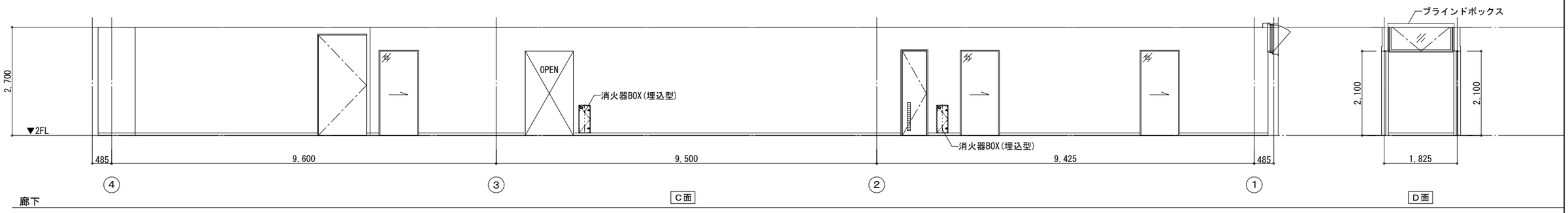


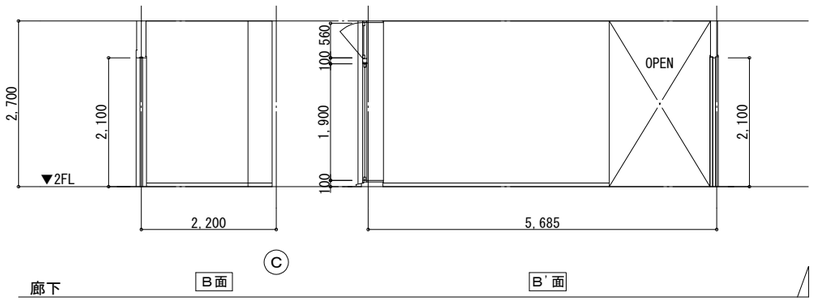




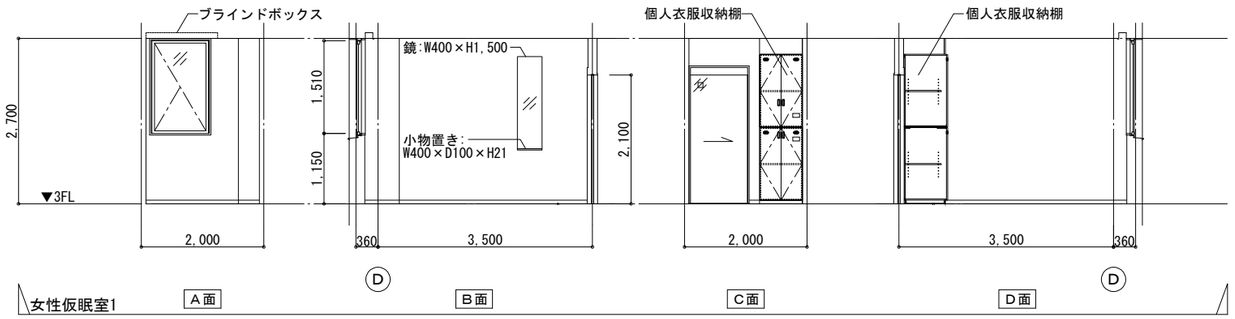
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 2階展開図(1) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A405

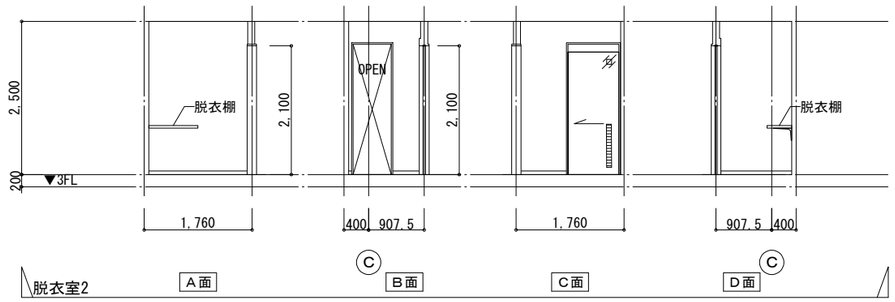


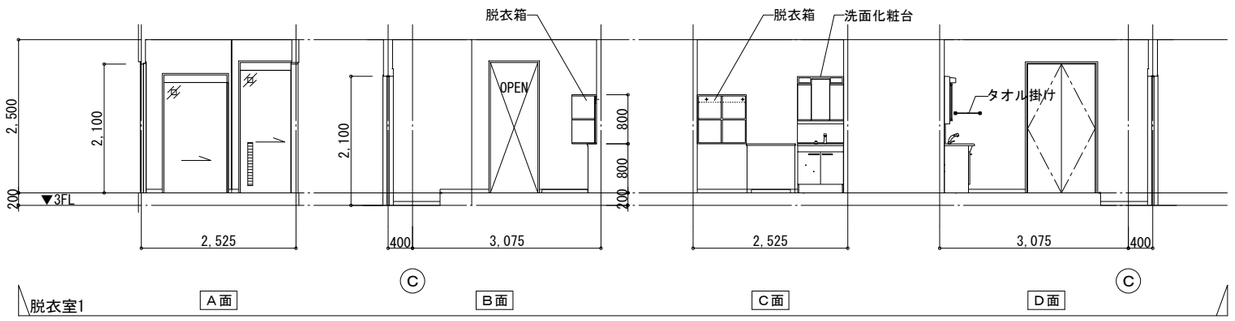


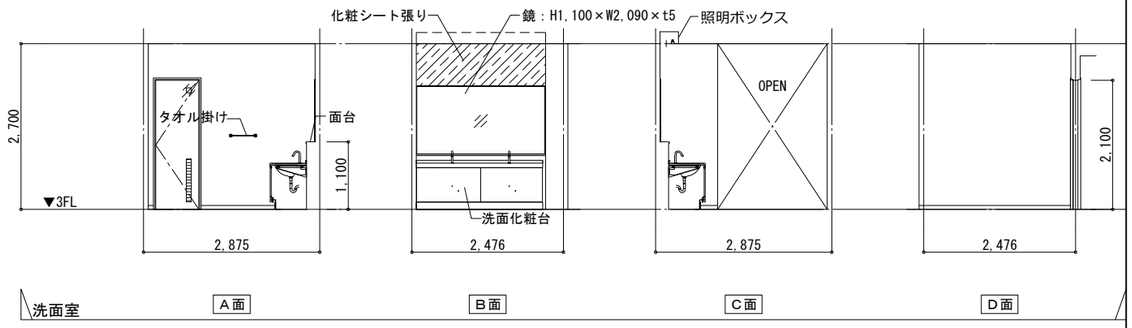


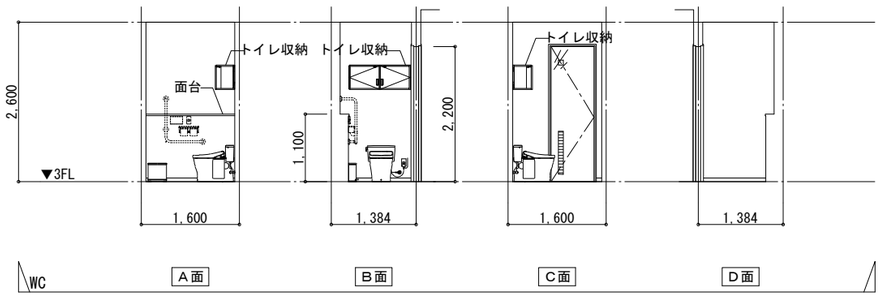
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 2階展開図(2)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A406

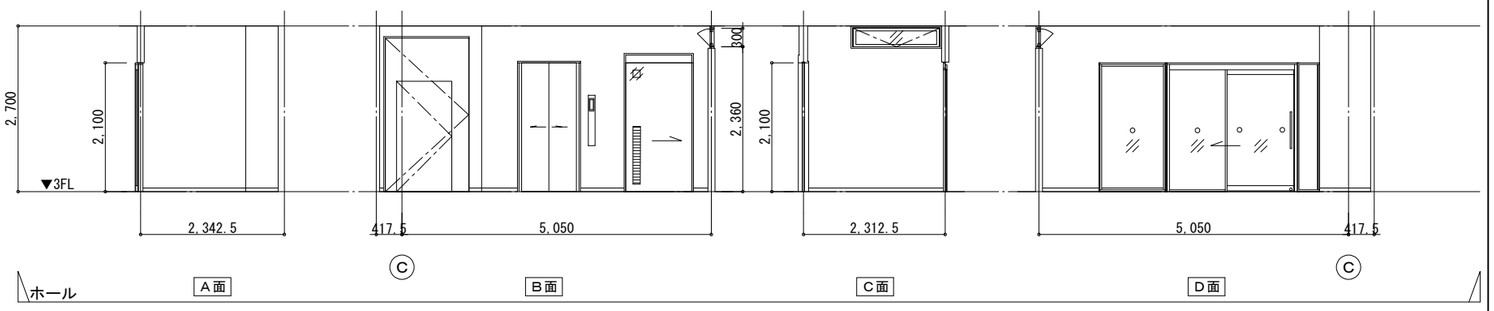


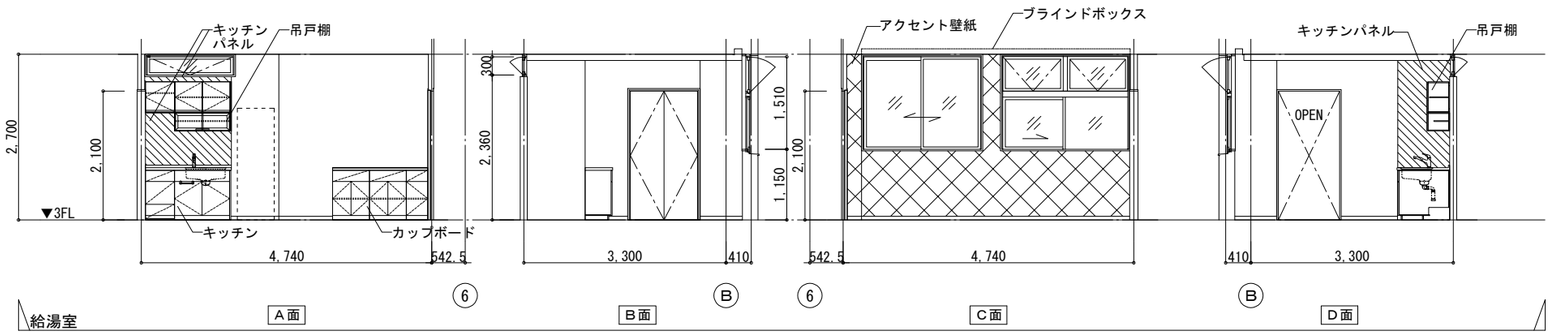




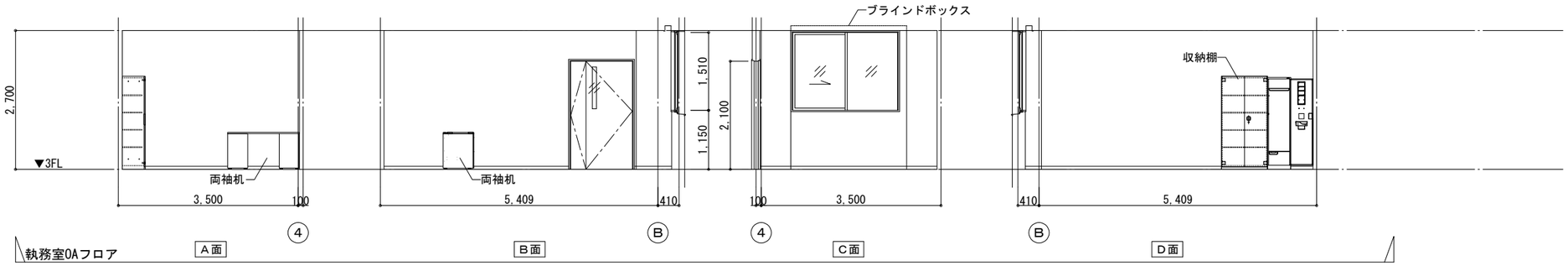


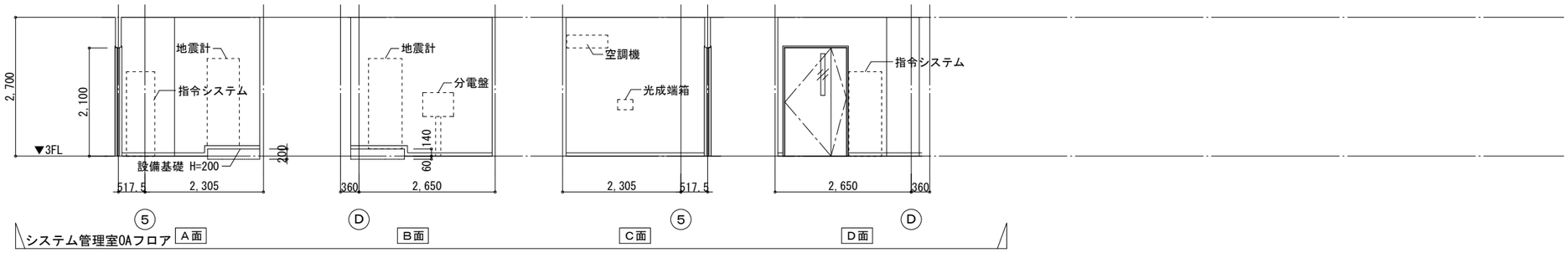


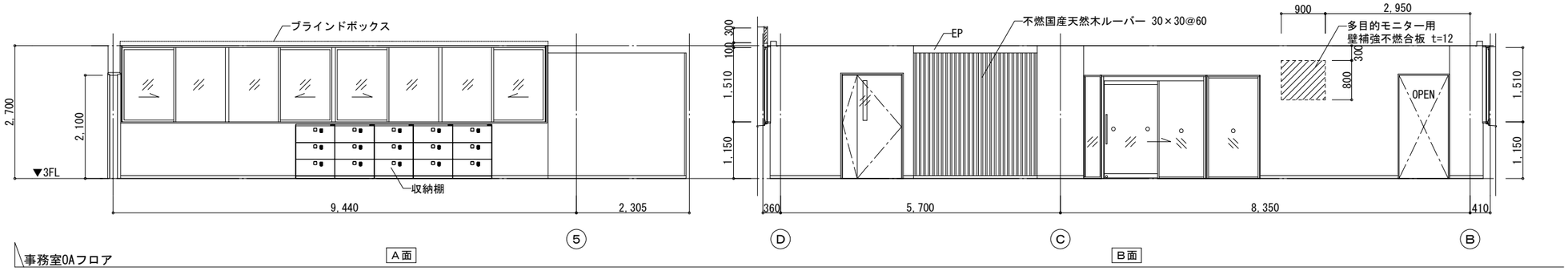


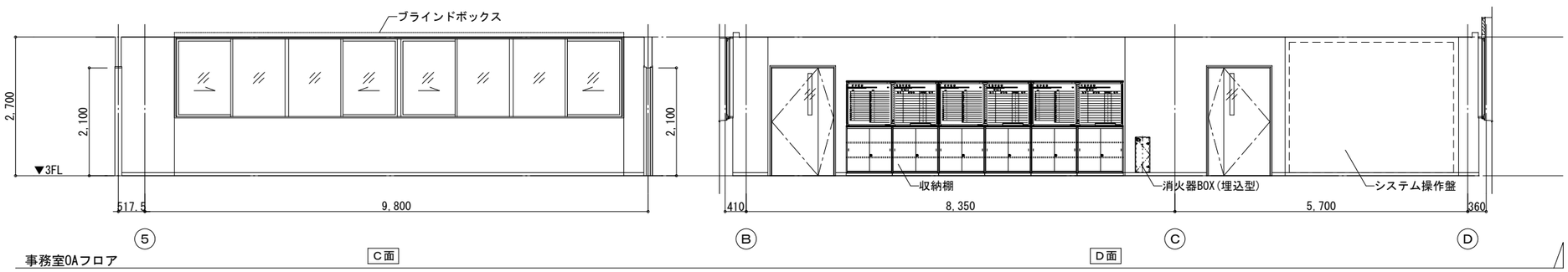


特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 3階展開図(1)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A407

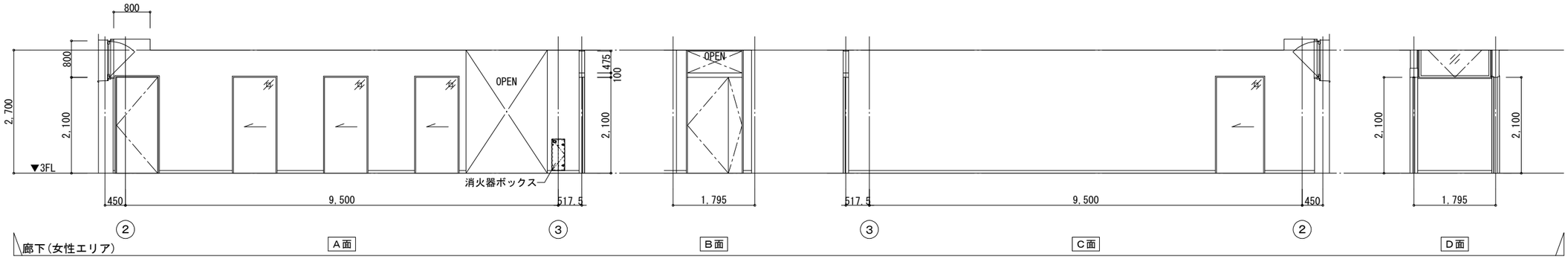


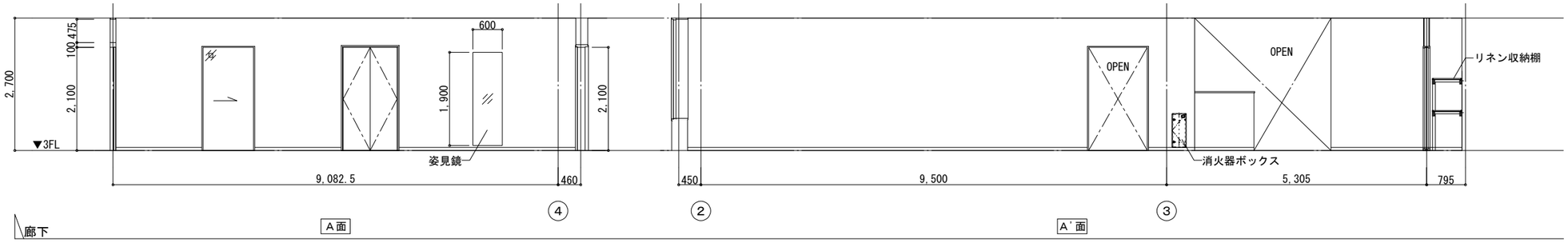


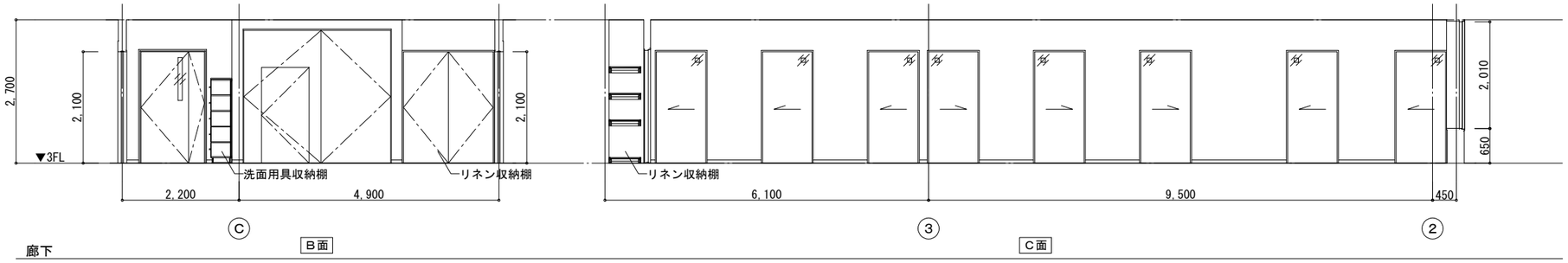


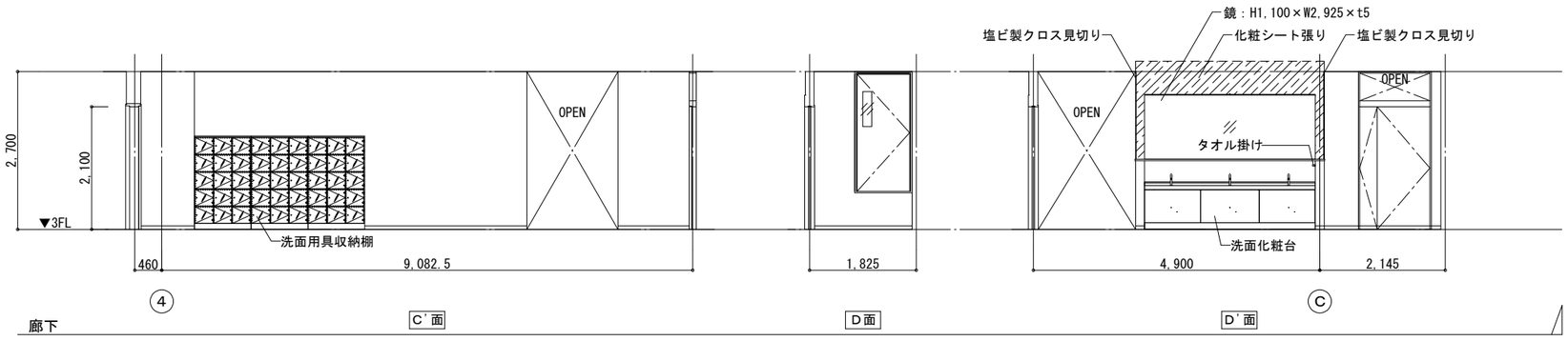


特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称 3階展開図(2) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A408

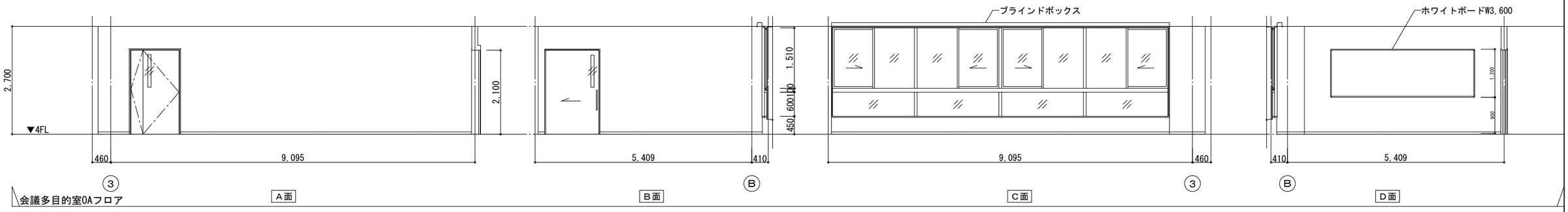


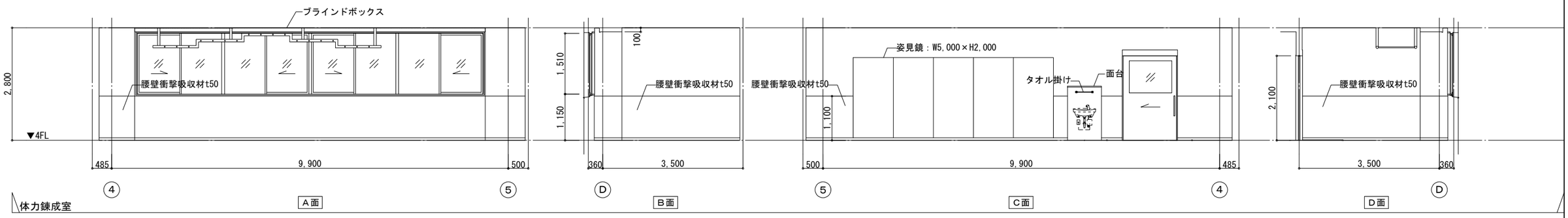


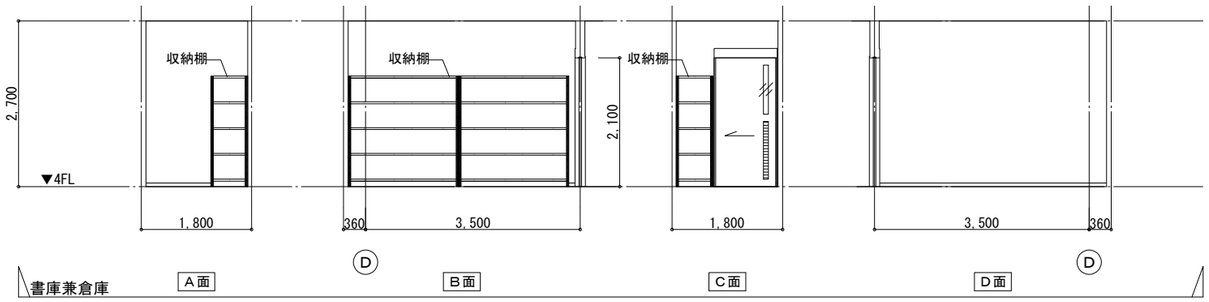


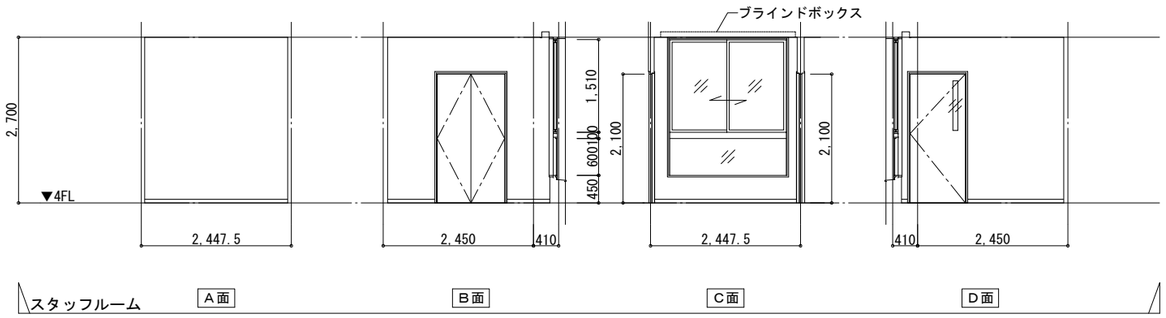


特記事項	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称 3階展開図(3) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A409

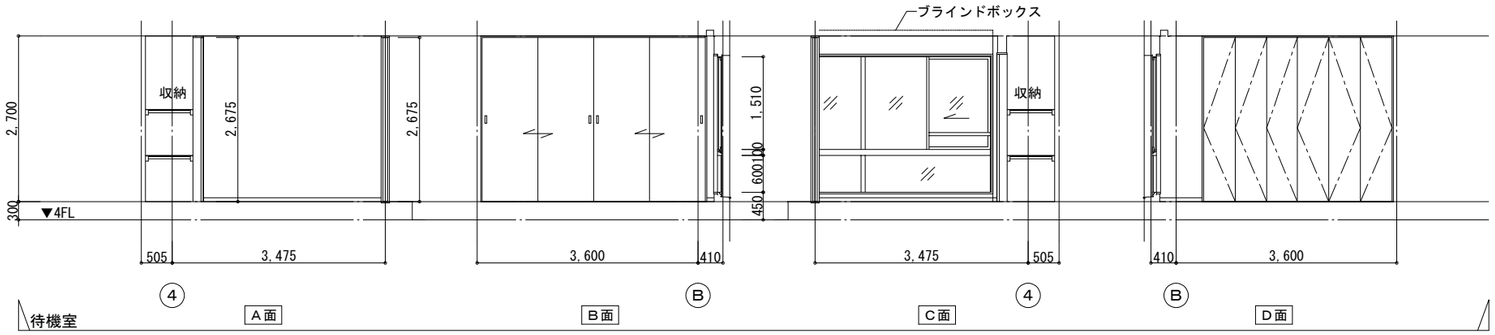


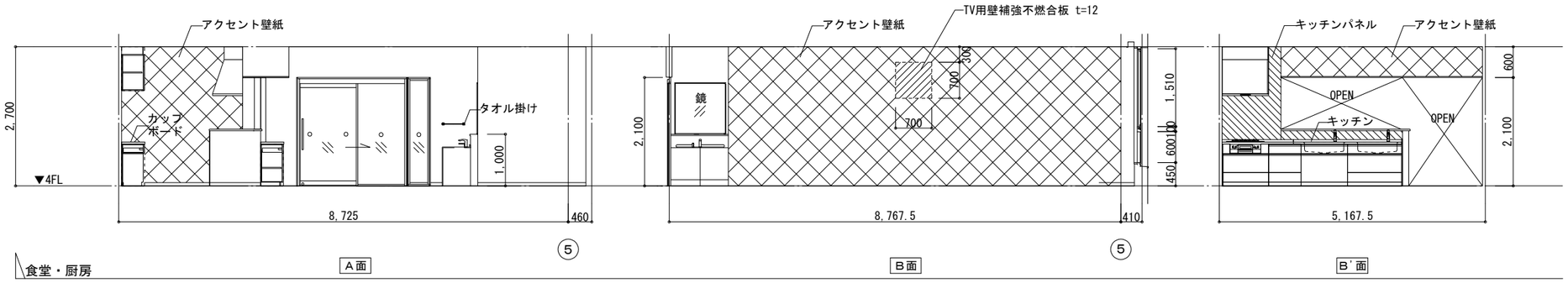


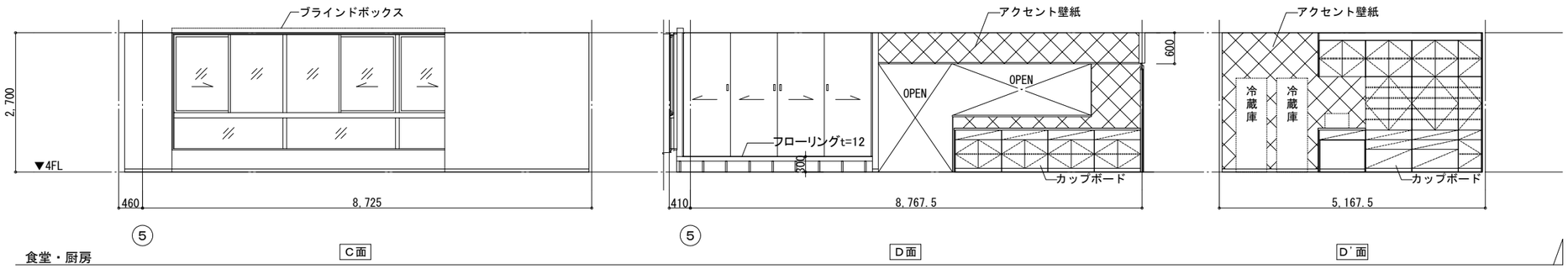


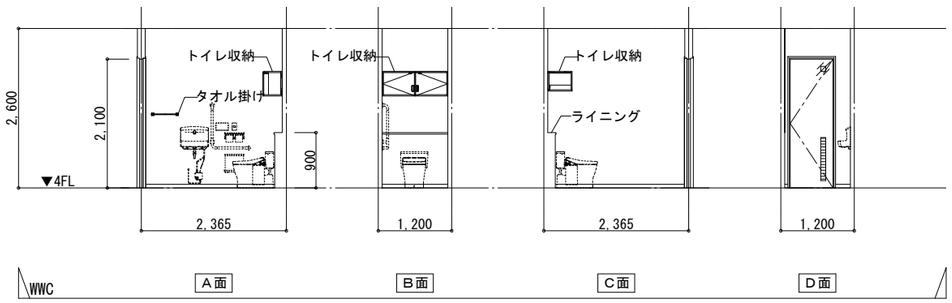


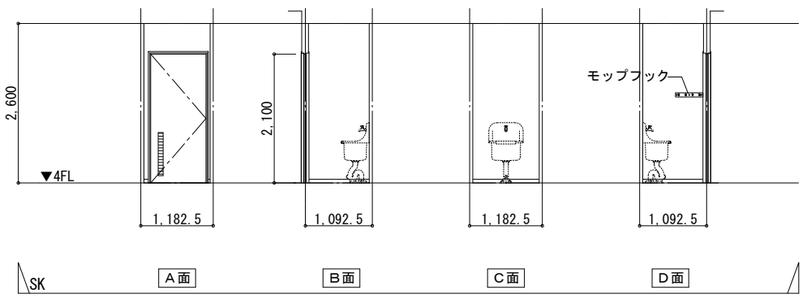
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 4階展開図(1) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A410



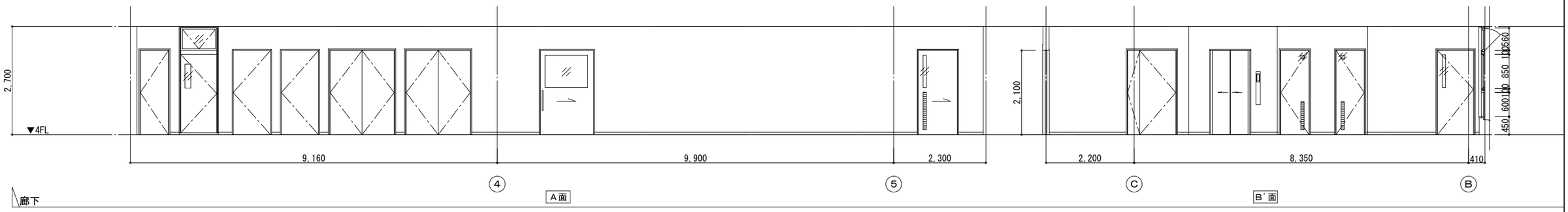


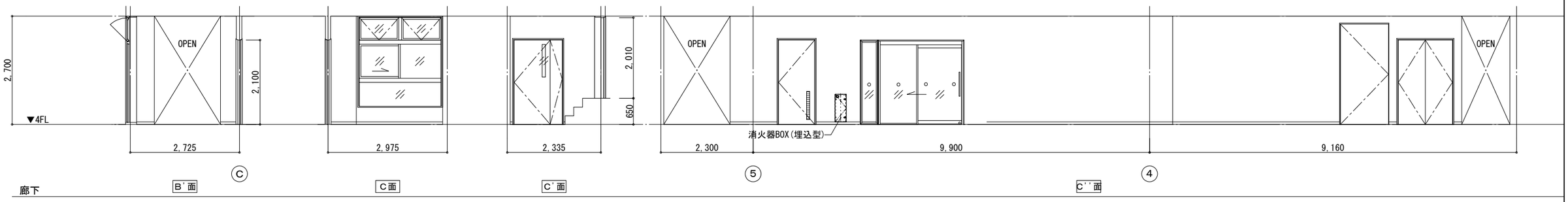


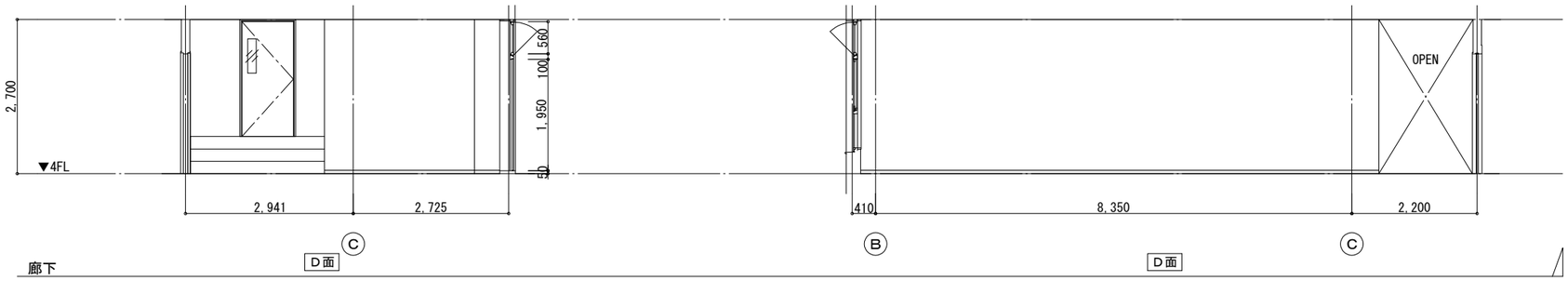




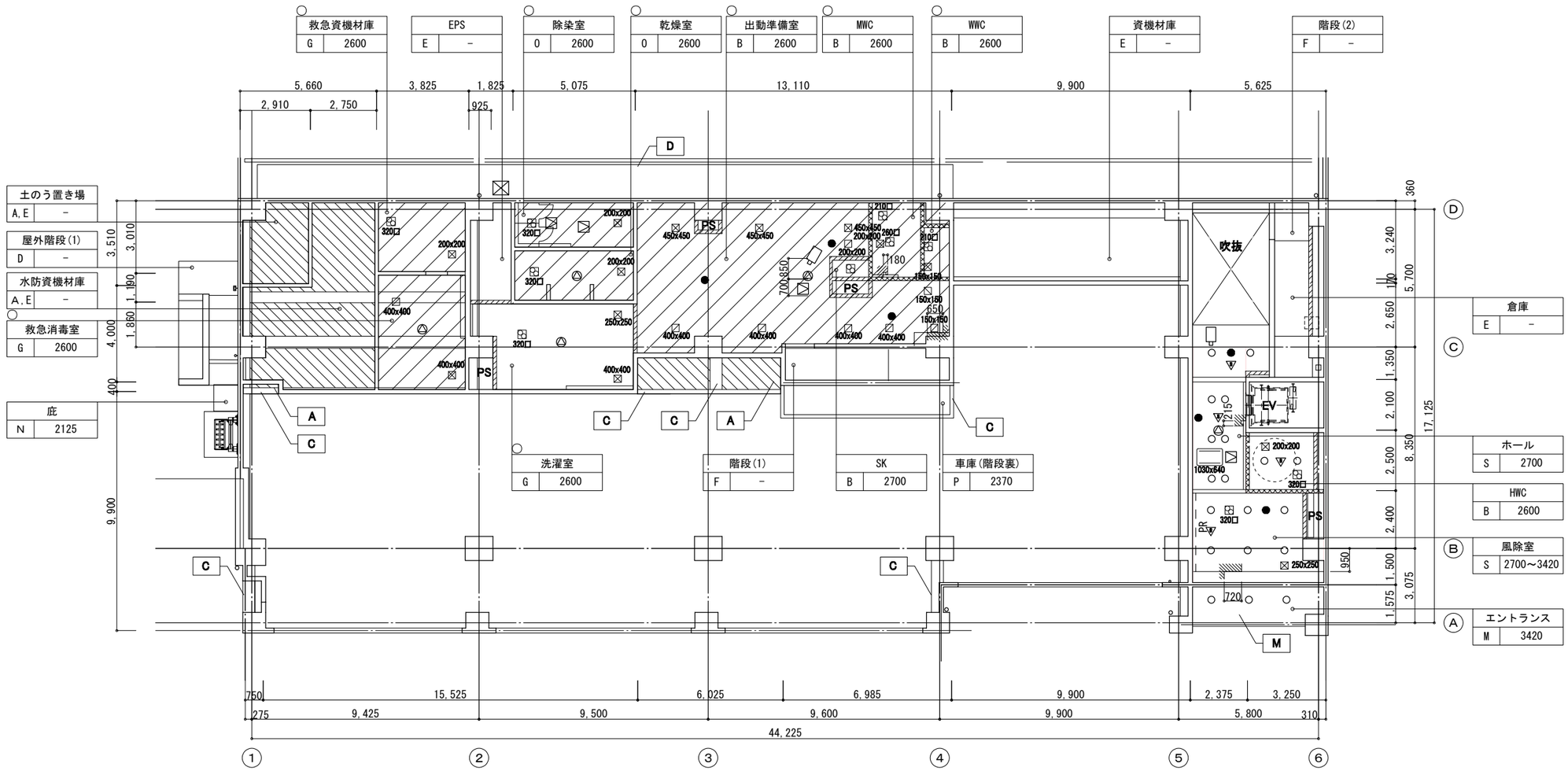
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 4階展開図(2) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A411







特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 4階展開図(3) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A412



1階天井伏図

天井伏図凡例

耐震クリップを示す
室名
FLからの天井高さ
下記に示す符号

符号	仕上
A	C(B)の上、ノンフロン湿式不燃断熱材t50
B	GB-NC(T)t9.5
C	C(A)の上、フッ素カラークリアー塗装
D	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
E	C(B)
F	GB-Rt12.5の上、EP-G
G	FKt6の上、EP-G
H	GB-Rt12.5+DRt9.0
I	GB-Rt12.5の上、壁紙張り
J	C(B)の上、GWt50
K	C(B)の上、複層塗材RE
L	FKt6の上、複層塗材RE
M	GB-Rt12.5の上、木目調パルプ繊維混入セメント板t12
N	アルミ庇
O	バスパネル
P	C(B)の上、外装薄塗材E
Q	FKt6の上、外装薄塗材E
R	ファンデーション耐候性特殊塗装フッ素コーティング
S	GB-Rt12.5の上、天然木化粧不燃板t6
-	直天
各階共通	倉庫・資機材庫・PS・EPS:直天/天井表し
	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)
	ノンフロン湿式不燃断熱材t50
	GW-Bt25
	GWt50 敷込
	天井下がりを示す
BB	ブラインドボックス
BB型	ブラインドボックスのみ
PR	ピクチャレール

符号	仕様	開口寸法
	点検口	４５０□
	制気口	図示
	天井扇	図示
	全熱交換器カセット形	図示
	天井カセット形	図示
	埋込型照明器具	220x1235
	埋込型照明器具	350□
	ダウンライト	100φ
	ダウンライト	150φ
	ダウンライト（角型）	150□
	非常照明	100φ
	人感センサー	100φ
	昼光センサー	100φ
	天井埋込型スピーカー	200φ
	ドーム型監視カメラ	200φ

※開口補強は建築工事標準詳細図 令和4年度版による。

屋外鋼製天井天井下地	
耐風圧	2609 Pa
下地	C-100×50×20×2.3@600
野縁	50×25×0.5@303
クリップ	耐震クリップ

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

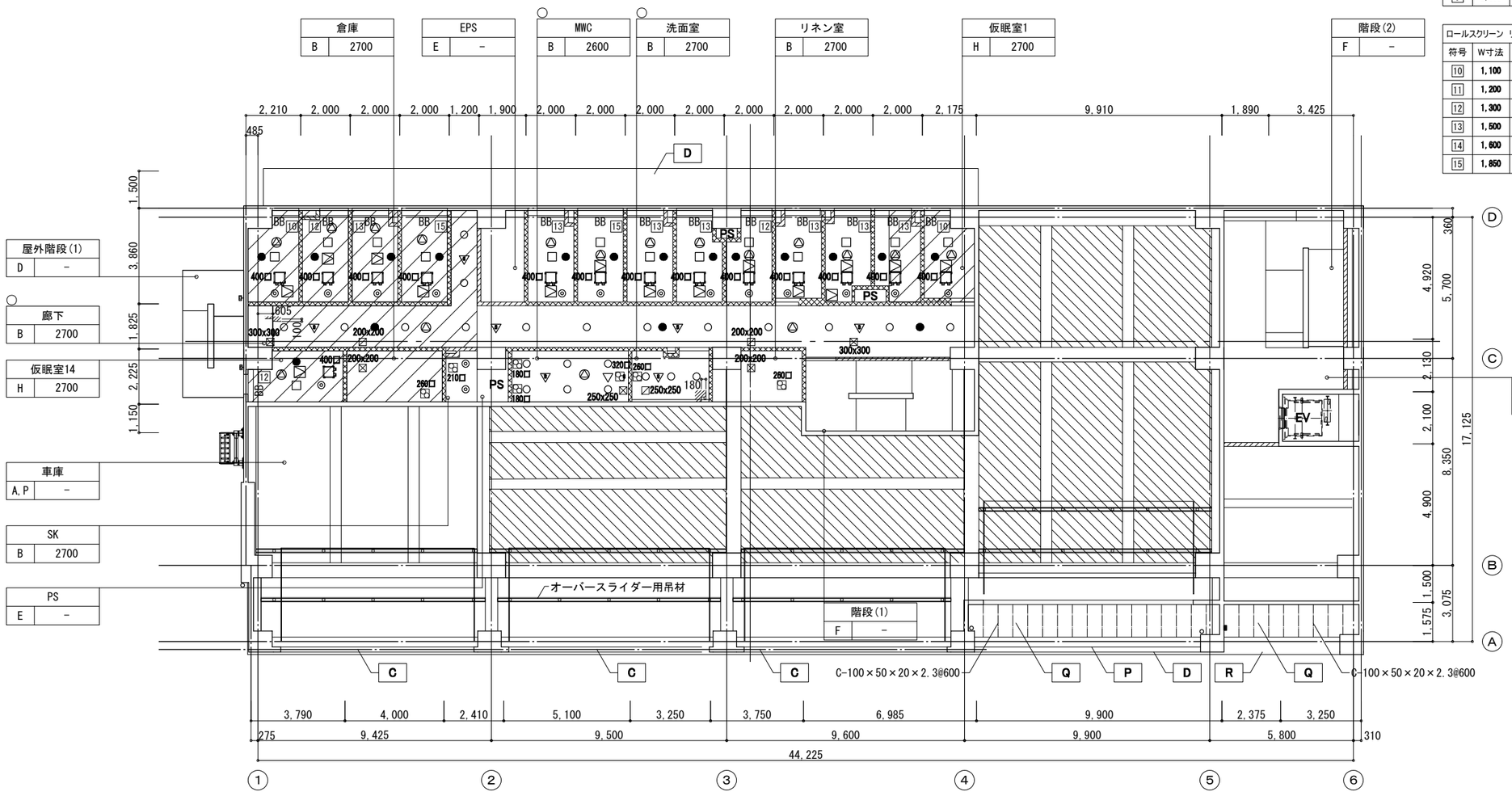
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 1階天井伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A413



2階天井伏図

ブラインド リスト				
符号	W寸法	H寸法	数量	仕様
1	3,000	2,700	0	手動縦型ブラインド フラット巾100m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
2	2,800	2,700	0	
3	2,900	2,700	0	
4	2,850	2,400	0	手動横型木製ブラインド フラット巾50m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
5	2,200	1,600	0	手動横型ブラインド フラット巾25m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
6	2,300	1,600	0	
7	3,000	1,600	0	
8	2,800	1,600	0	
9	2,350	1,600	0	

ロールスクリーン リスト				
符号	W寸法	H寸法	数量	仕様
10	1,100	1,600	2	手動ロールスクリーン スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
11	1,200	1,600	0	
12	1,300	1,600	3	
13	1,500	1,600	7	
14	1,600	1,600	0	
15	1,850	1,600	2	

天井伏図凡例

耐震クリップを示す
室名
FLからの天井高さ
下記に示す符号

符 号	仕 上
A	C(B)の上、ノンフロン湿式 不燃断熱材t50
B	GB-NC(T)t9.5
C	C(A)の上、フッ素カラー クリアー塗装
D	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒 カラークリアー塗装
E	C(B)
F	GB-Rt12.5の上、EP-G
G	FKt6の上、EP-G
H	GB-Rt12.5+DRt9.0
I	GB-Rt12.5の上、壁紙張り
J	C(B)の上、GWt50
K	C(B)の上、複層塗材RE
L	FKt6の上、複層塗材RE
M	GB-Rt12.5の上、木目調 パルプ繊維混入セメント板t12
N	アルミ庇
O	バスパネル
P	C(B)の上、外装薄塗材E
Q	FKt6の上、外装薄塗材E
R	ファンデーション耐候性 特殊塗装フッ素コーティング
S	GB-Rt12.5の上、 天然木化粧不燃板t6
-	直天
各階共通	倉庫・資機材庫・PS・EPS :直天/天井表し
	現場発泡硬質 ウレタン吹付t25(天井裏)
	ノンフロン湿式 不燃断熱材t50
	GW-Bt25
	GWt50 敷込
	天井下がりを示す
BB	ブラインドボックス
BB室	ブラインドボックスのみ
PIC	ピクチャレール

符 号	仕様	開口寸法
	点検口	４５０□
	制気口	図示
	天井扇	図示
	全熱交換器 カセット形	図示
	天井カセット形	図示
	埋込型照明器具	220x1235
	埋込型照明器具	350□
	ダウンライト	100φ
	ダウンライト	150φ
	ダウンライト (角型)	150□
	非常照明	100φ
	人感センサー	100φ
	昼光センサー	100φ
	天井埋込型 スピーカー	200φ
	ドーム型 監視カメラ	200φ

※開口補強は建築工事標準詳細図
令和4年度版による。

屋外鋼製天井天井下地	
耐風圧	2972 Pa
下地	C-100×50×20×2.3@600
野縁	50×25×0.5@303
クリップ	耐震クリップ

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

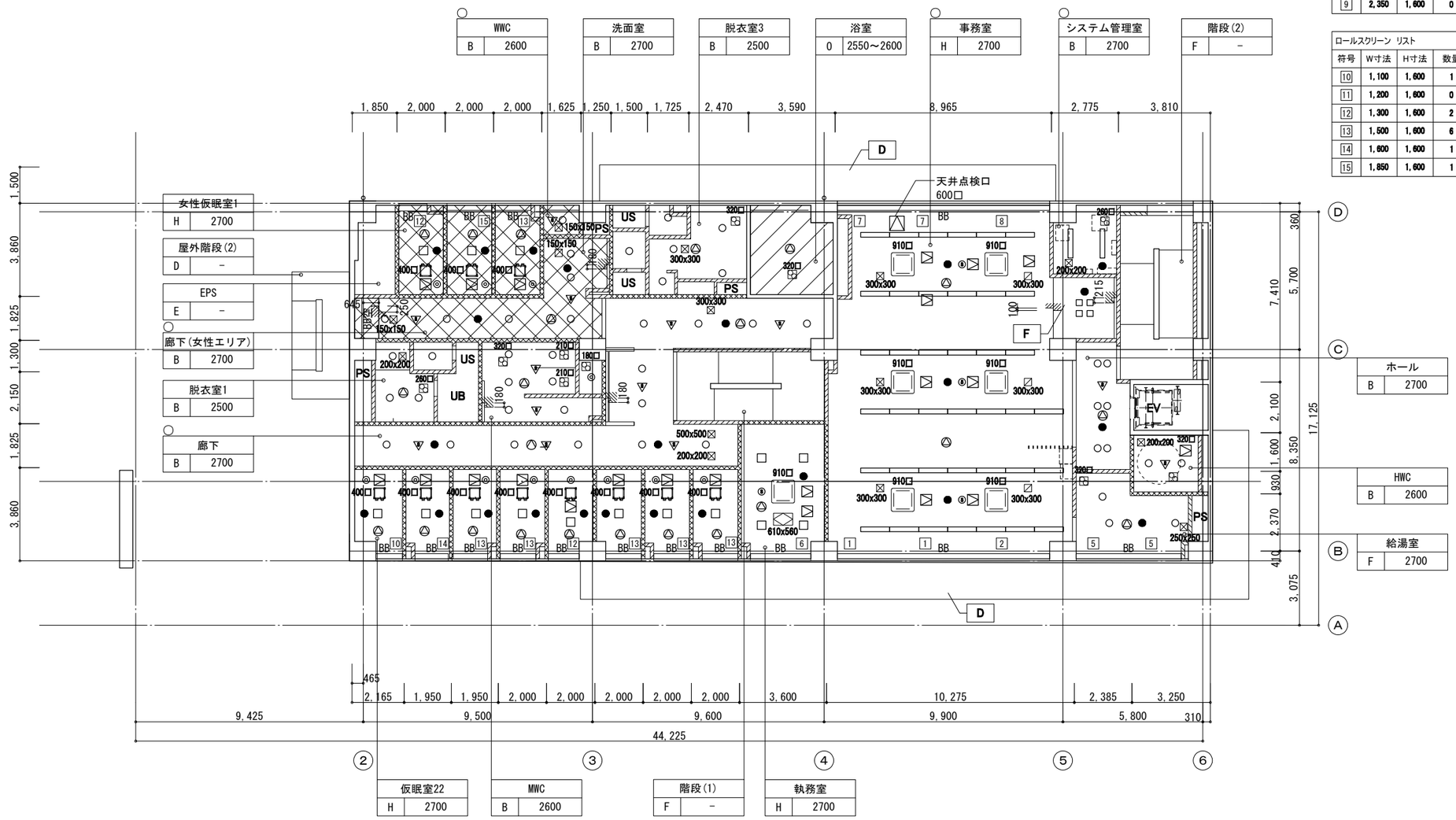
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 2階天井伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A414



3階天井伏図

ブラインド リスト				
符号	W寸法	H寸法	数量	仕様
1	3,000	2,700	2	手動軽型ブラインド フラット巾100m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
2	2,800	2,700	1	
3	2,900	2,700	0	
4	2,850	2,400	0	手動機型木製ブラインド フラット巾50m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
5	2,200	1,600	2	手動機型ブラインド フラット巾25m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
6	2,300	1,600	1	
7	3,000	1,600	2	
8	2,800	1,600	1	
9	2,350	1,600	0	

ロールスクリーン リスト				
符号	W寸法	H寸法	数量	仕様
10	1,100	1,600	1	手動ロールスクリーン スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
11	1,200	1,600	0	
12	1,300	1,600	2	
13	1,500	1,600	6	
14	1,600	1,600	1	
15	1,850	1,600	1	

天井伏図凡例

耐震クリップを示す
室名
FLからの天井高さ
下記に示す符号

符 号	仕 上
A	C(B)の上、ノンフロン湿式 不燃断熱材t50
B	GB-NC(T)t9.5
C	C(A)の上、フッ素カラー クリアー塗装
D	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒 カラークリアー塗装
E	C(B)
F	GB-Rt12.5の上、EP-G
G	FKt6の上、EP-G
H	GB-Rt12.5+DRt9.0
I	GB-Rt12.5の上、壁紙張り
J	C(B)の上、GWt50
K	C(B)の上、複層塗材RE
L	FKt6の上、複層塗材RE
M	GB-Rt12.5の上、木目調 パルプ繊維混入セメント板t12
N	アルミ庇
O	バスパネル
P	C(B)の上、外装薄塗材E
Q	FKt6の上、外装薄塗材E
R	ファンデーション耐候性 特殊塗装フッ素コーティング
S	GB-Rt12.5の上、 天然木化粧不燃板t6
-	直天
各階共通	倉庫・資機材庫・PS・EPS :直天/天井表し
	現場発泡硬質 ウレタン吹付t25(天井裏)
	ノンフロン湿式 不燃断熱材t50
	GW-Bt25
	GWt50 敷込
	天井下がりを示す
BB	ブラインドボックス
BB室	ブラインドボックスのみ
内	ピクチャレール

符 号	仕様	開口寸法
	点検口	４５０□
	制気口	図示
	天井扇	図示
	全熱交換器 カセット形	図示
	天井カセット形	図示
	埋込型照明器具	220x1235
	埋込型照明器具	350□
	ダウンライト	100φ
	ダウンライト	150φ
	ダウンライト （角型）	150□
	非常照明	100φ
	人感センサー	100φ
	昼光センサー	100φ
	天井埋込型 スピーカー	200φ
	ドーム型 監視カメラ	200φ

※開口補強は建築工事標準詳細図
令和4年度版による。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

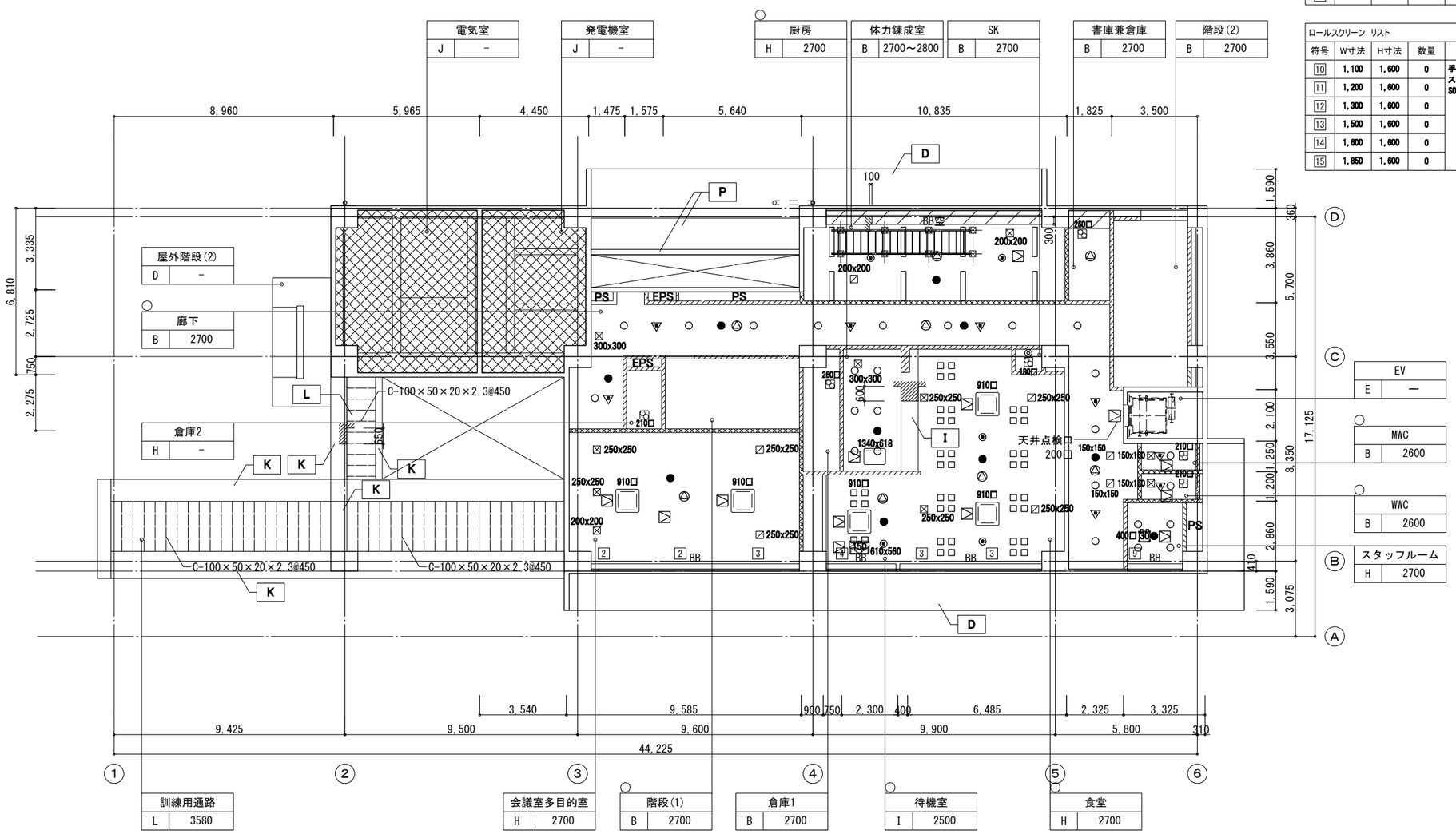
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 3階天井伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A415



4階天井伏図

ブラインド リスト				
符号	W寸法	H寸法	数量	仕様
1	3,000	2,700	0	手動軽型ブラインド フラット巾100m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
2	2,800	2,700	2	
3	2,900	2,700	3	
4	2,850	2,400	1	手動横型木製ブラインド フラット巾50m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
5	2,200	1,600	0	手動横型ブラインド フラット巾25m/m スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
6	2,300	1,600	0	
7	3,000	1,600	0	
8	2,800	1,600	0	
9	2,350	1,600	1	

ロールスクリーン リスト				
符号	W寸法	H寸法	数量	仕様
10	1,100	1,600	0	手動ロールスクリーン スチール製ブラインドボックス SOP塗装 120×150
11	1,200	1,600	0	
12	1,300	1,600	0	
13	1,500	1,600	0	
14	1,600	1,600	0	
15	1,850	1,600	0	

天井伏図凡例

耐震クリップを示す
室名
FLからの天井高さ
下記に示す符号

符号	仕上
A	C(B)の上、ノンフロン湿式不燃断熱材t50
B	GB-NC(T)t9.5
C	C(A)の上、フッ素カラークリアー塗装
D	C(A)の上、フッ素樹脂光触媒カラークリアー塗装
E	C(B)
F	GB-Rt12.5の上、EP-G
G	FKt6の上、EP-G
H	GB-Rt12.5+DRt9.0
I	GB-Rt12.5の上、壁紙張り
J	C(B)の上、GWt50
K	C(B)の上、複層塗材RE
L	FKt6の上、複層塗材RE
M	GB-Rt12.5の上、木目調パルプ繊維混入セメント板t12
N	アルミ庇
O	バスパネル
P	C(B)の上、外装薄塗材E
Q	FKt6の上、外装薄塗材E
R	ファンデーション耐候性特殊塗装フッ素コーティング
S	GB-Rt12.5の上、天然木化粧不燃板t6
—	直天
各階共通	倉庫・資機材庫・PS・EPS :直天/天井表し
	現場発泡硬質ウレタン吹付t25(天井裏)
	ノンフロン湿式不燃断熱材t50
	GW-Bt25
	GWt50 敷込
	天井下がりを示す
BB	ブラインドボックス
BB改	ブラインドボックスのみ
PR	ピクチャレール

符号	仕様	開口寸法
	点検口	450□
	制気口	図示
	天井扇	図示
	全熱交換器カセット形	図示
	天井カセット形	図示
	埋込型照明器具	220x1235
	埋込型照明器具	350□
	ダウンライト	100φ
	ダウンライト	150φ
	ダウンライト（角型）	150□
	非常照明	100φ
	人感センサー	100φ
	昼光センサー	100φ
	天井埋込型スピーカー	200φ
	ドーム型監視カメラ	200φ

※開口補強は建築工事標準詳細図 令和4年度版による。

屋外鋼製天井天井下地	
耐風圧	3767 Pa
下地	C-100×50×20×2.3@450
野縁	50×25×0.5@303
クリップ	耐震クリップ

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

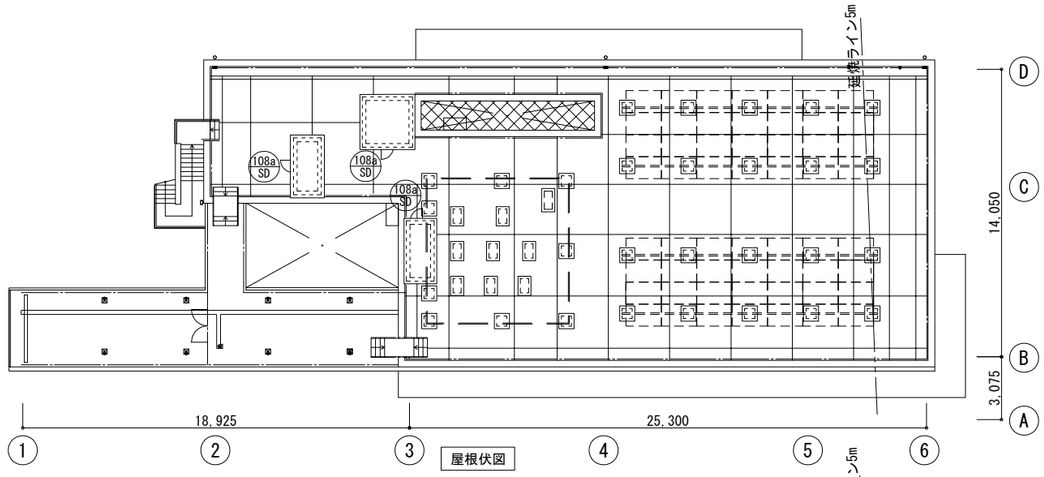
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

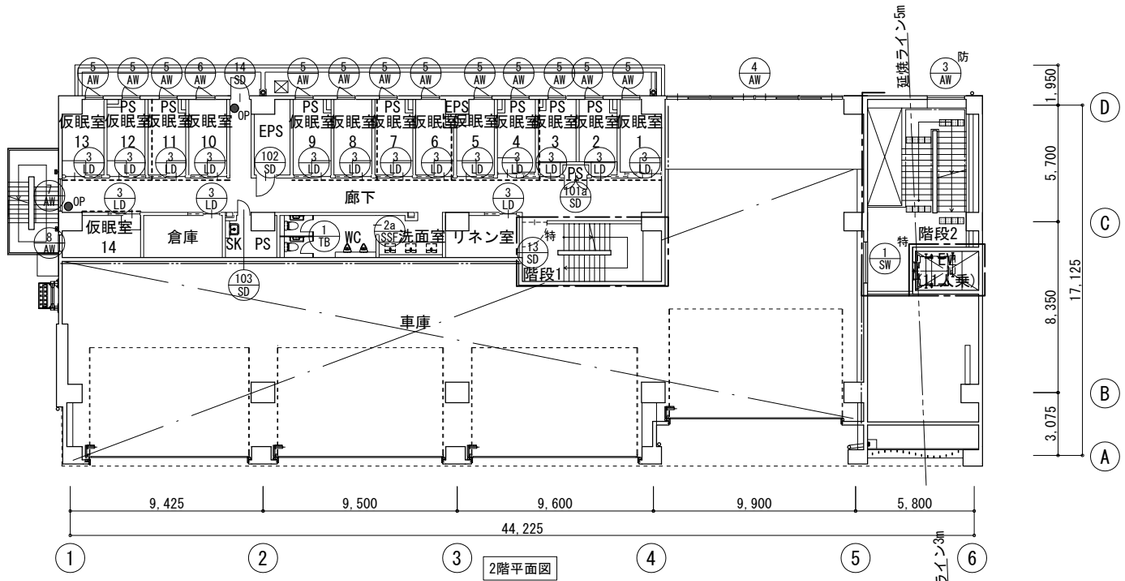
図面名称 4階天井伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

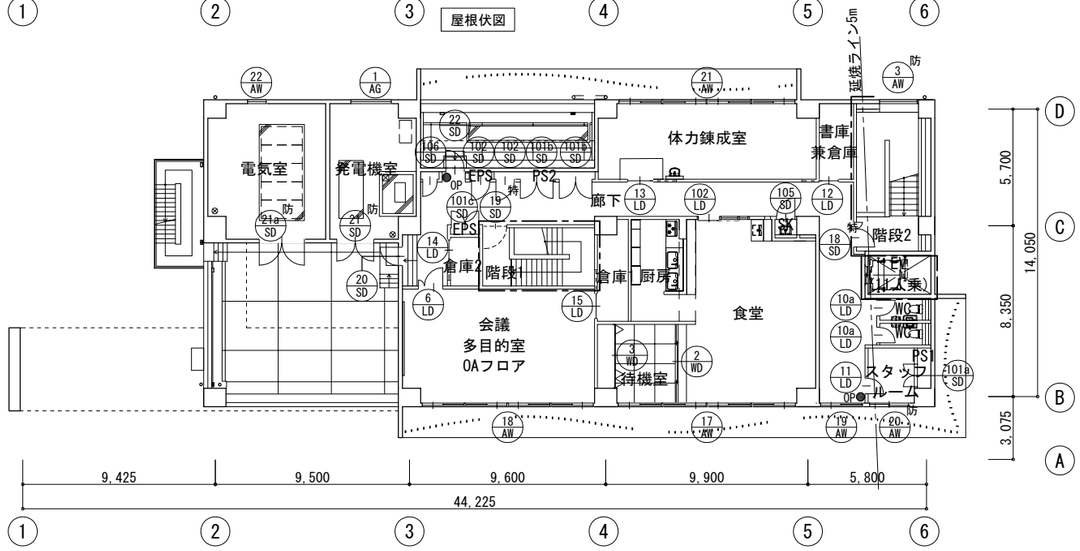
図番 A416



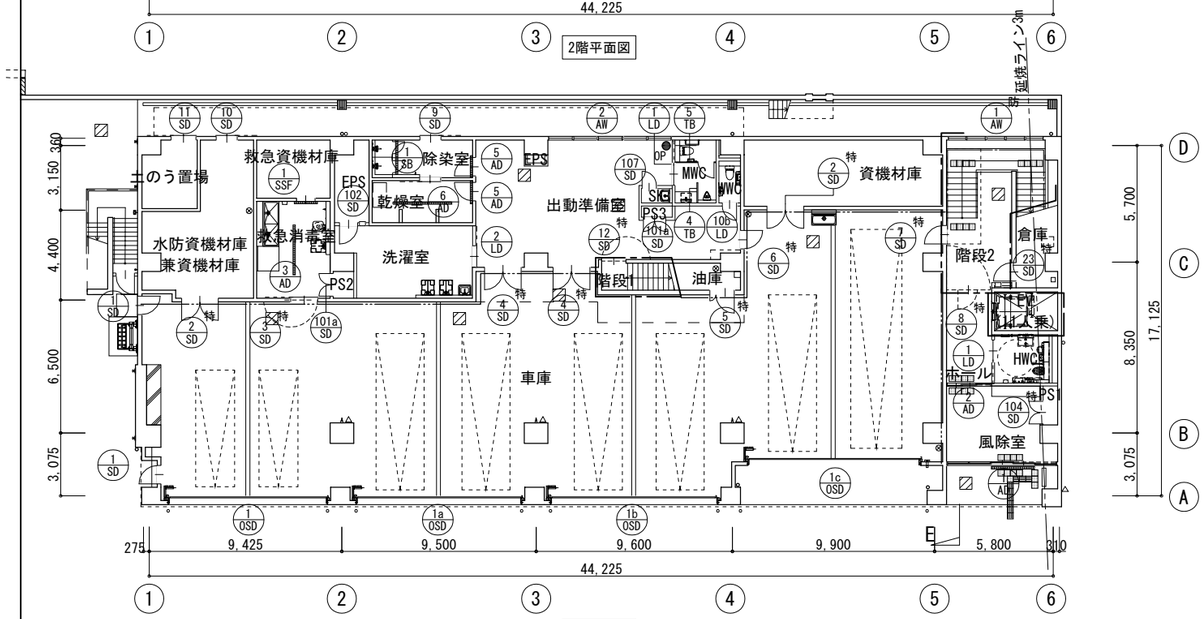
屋根伏図



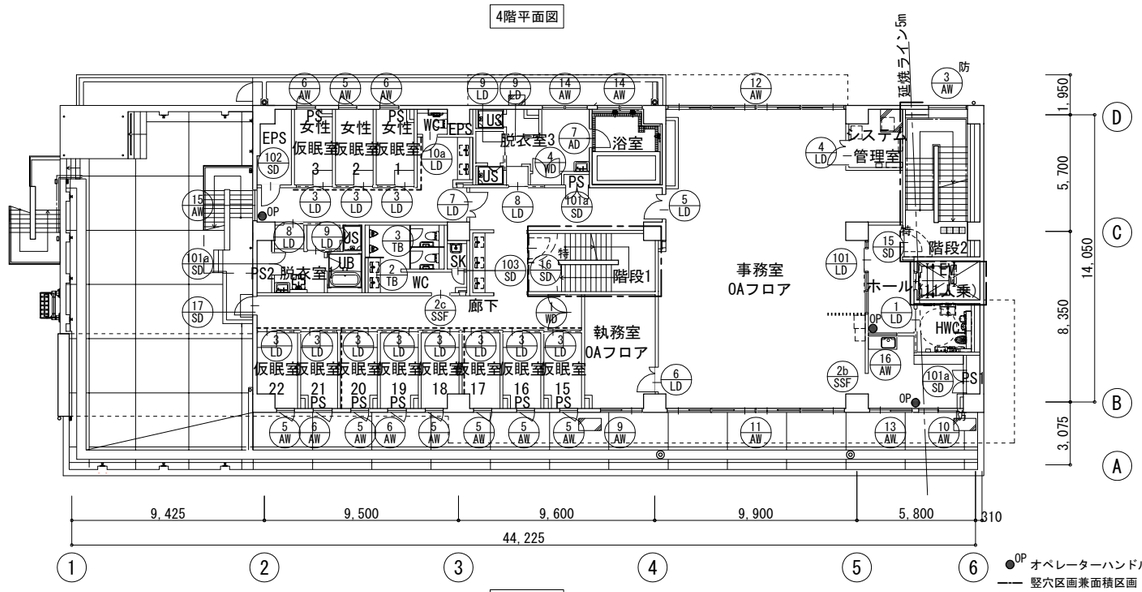
2階平面図



4階平面図



1階平面図



3階平面図

OP オペレーターハンドル
竪穴区画兼面積区画
異種用途区画
114条区画

特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 建具配置図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図番 A501

凡例，略号

【図面表示建具符号】

整理番号 ― 防火設備の種別
建具略号

【建具略号】

種　別	戸	窓	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ	がらり	三方枠	障子	ふすま	ｼｬｯﾀｰ
アルミニウム製	AD	AW	ACW	AG				AS
樹脂製	PD	PW						
鋼　製	SD	SW		SG	SF			SS
鋼製軽量	LD							LS
ステンレス製	SSD	SSW		SSG	SSF			
木　製	WD	WW		WG		S	F	
強化ガラス製	TD							

※OSD：オーバースライダー

【ガラス略号】

P	フロート板ガラス	IG	複層ガラス
F	型板ガラス	HG	高断熱複層ガラス
NF	網入型板ガラス(防火設備)	HR	高性能熱線反射ガラス
WF	線入型板ガラス	HAR	高性能熱線吸収反射ガラス
NP	網入磨き板ガラス(防火設備)	DS	倍強度ガラス
WP	線入磨き板ガラス	DSHA	倍強度熱線吸収ガラス
HAP	熱線吸収フロート板ガラス	HTG	耐熱強化ガラス(防火設備)
HANP	熱線吸収網入磨き板ガラス(防火設備)	HCG	耐熱結晶化ガラス(防火設備)
HAWP	熱線吸収線入磨き板ガラス	Low-E	低放射ガラス
T	強化ガラス	A*	空気層 * mm
FT	高性能型板強化ガラス	AR*	アルゴン層 * mm
L	合わせガラス	GB	ガラスブロック

【建具金物など略号】

FH	フロアヒンジ	BL	シリンダー箱錠（レバーハンドル）
HC	ヒンジクローザ	CL	シリンダー本締錠(内部サムターン)
PH	ピボットヒンジ	CH	ケースハンドル
GH	グレビティヒンジ	LH	レバーハンドル
H	丁番	EML	非常錠
DC	ドアクローザ(ストップなし)	CEL	カード式電気錠
DC(S)	ドアクローザ(ストップ付)	PEL	暗証番号式電気錠
		EL	電気錠
		ADB	オートドアボトム

※BL、CL、引戸錠は、室内側サムターン

【防音，防火設備の略号】

SAT	セミエアタイト	(特)	特定防火設備
AT	エアタイト	(防)	防火設備
		(S)	煙感知器連動閉鎖式

共通事項　【特記なき限り次のとおりとする。】

【仕上げ】

(1) 鋼製建具(SD)，鋼製軽量建具(LD)の仕上げは，SOP(F☆☆☆☆)とする。
(2) 鋼製軽量建具(LD)の召合わせおよび縦小口包み板は鋼板とする。
(3) 簡易気密型扉(SAT)，気密型扉(AT)の気密材取合い部(扉側)はSUS304 t1.5mmとし，形状は建具製作所の仕様による。
(4) 鋼製建具(SD)，鋼製軽量建具(LD)のがらりは，鋼製とする。
(5) アルミニウム製建具の金属製水切りは，端部立上げ（水切り共通1）とする。

【建具金物】

(1) ドアクローザの取付けは室内側を原則とする。
(2) 壁当たりとなる開き戸は壁面からの逃げ寸法を100mm 程度とする。
なお，ドアクローザの有無にかかわらず戸当たりを設ける。
(3) クレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は床面から800mm以上1,500mm 以下とする。
(4) 扉の握り玉及びレバーハンドルの取付け位置は床面から1,000mm とし，押板類は1,100mm とする。

【複層ガラス】

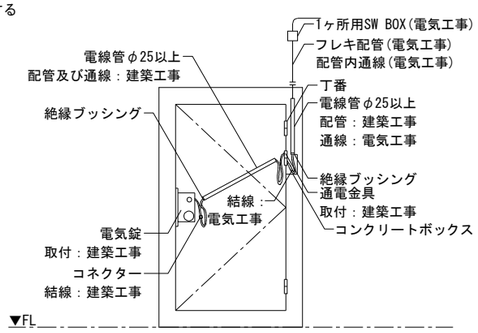
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ	建具表による
断熱性	T2
日射取得性、日射遮蔽性	S
乾燥期待の種類	アルゴン

【その他】

(1) 随閉の防火戸をS48告示2563号に適合させること。

電気錠工事 工事区分

※形状及び型番は参考とする



建具の性能

【アルミニウム製建具】

耐風圧性能	・S-1	・S-2	・S-3	・S-4	・S-5	・S-6	・S-7	
最高圧力(Pa)	800	1,200	1,600	2,000	2,400	2,800	3,600	
気密性能	・A-1	・A-2	・A-3	・A-4				
対応値	120	30	8	2				
水密圧性能	・W-1	・W-2	・W-3	・W-4	・W-5			
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500			
遮音性能	・T-1	・T-2	・T-3	・T-4				
対応値	25	30	35	40				
断熱性能	・H-1	・H-2	・H-3	・H-4	・H-5	・H-6	・H-7	・H-8
熱貫流率W/(㎡･K)	4.7	4.1	3.5	2.9	2.3	1.9	1.5	1.1
日射熱取得性	・N-1	・N-2	・N-3					
対応値	1.00	0.50	0.35					
面内変形追随性	・D-1	・D-2	・D-3					
(rad)	1/300	1/150	1/120					
表面処理	・BA-1	・BA-2	・BB-1	・BB-2	・BC-1	・BC-2		
表面処理基準	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅳ		

【樹脂製建具】

耐風圧性能	・S-1	・S-2	・S-3	・S-4	・S-5	・S-6	・S-7	
最高圧力(Pa)	800	1,200	1,600	2,000	2,400	2,800	3,600	
気密性能	・A-1	・A-2	・A-3	・A-4				
対応値	120	30	8	2				
水密圧性能	・W-1	・W-2	・W-3	・W-4	・W-5			
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500			
遮音性能	・T-1	・T-2	・T-3	・T-4				
対応値	25	30	35	40				
断熱性能	・H-1	・H-2	・H-3	・H-4	・H-5	・H-6	・H-7	・H-8
熱貫流率W/(㎡･K)	4.7	4.1	3.5	2.9	2.3	1.9	1.5	1.1
日射熱取得性	・N-1	・N-2	・N-3					
対応値	1.00	0.50	0.35					

【鋼製建具】

耐風圧性能	・S-1	・S-2	・S-3	・S-4	・S-5	・S-6	・S-7	
最高圧力(Pa)	800	1,200	1,600	2,000	2,400	2,800	3,600	
気密性能	・A-1	・A-2	・A-3	・A-4				
対応値	120	30	8	2				
水密圧性能	・W-1	・W-2	・W-3	・W-4	・W-5			
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500			
遮音性能	・T-1	・T-2	・T-3	・T-4				
対応値	25	30	35	40				
断熱性能	・H-1	・H-2	・H-3	・H-4	・H-5	・H-6	・H-7	・H-8
熱貫流率W/(㎡･K)	4.7	4.1	3.5	2.9	2.3	1.9	1.5	1.1
面内変形追随性	・D-1	・D-2	・D-3					
(rad)	1/300	1/150	1/120					

【鋼製軽量建具】

気密性能	・A-1	・A-2	・A-3	・A-4				
対応値	120	30	8	2				
遮音性能	・T-1	・T-2	・T-3	・T-4				
対応値	25	30	35	40				
断熱性能	・H-1	・H-2	・H-3	・H-4	・H-5	・H-6	・H-7	・H-8
熱貫流率W/(㎡･K)	4.7	4.1	3.5	2.9	2.3	1.9	1.5	1.1
面内変形追随性	・D-1	・D-2	・D-3					
(rad)	1/300	1/150	1/120					

【ステンレス製建具】

耐風圧性能	・S-1	・S-2	・S-3	・S-4	・S-5	・S-6	・S-7	
最高圧力(Pa)	800	1,200	1,600	2,000	2,400	2,800	3,600	
気密性能	・A-1	・A-2	・A-3	・A-4				
対応値	120	30	8	2				
水密圧性能	・W-1	・W-2	・W-3	・W-4	・W-5			
圧力差(Pa)	100	150	250	350	500			
遮音性能	・T-1	・T-2	・T-3	・T-4				
対応値	25	30	35	40				
断熱性能	・H-1	・H-2	・H-3	・H-4	・H-5	・H-6	・H-7	・H-8
熱貫流率W/(㎡･K)	4.7	4.1	3.5	2.9	2.3	1.9	1.5	1.1
面内変形追随性	・D-1	・D-2	・D-3					
(rad)	1/300	1/150	1/120					

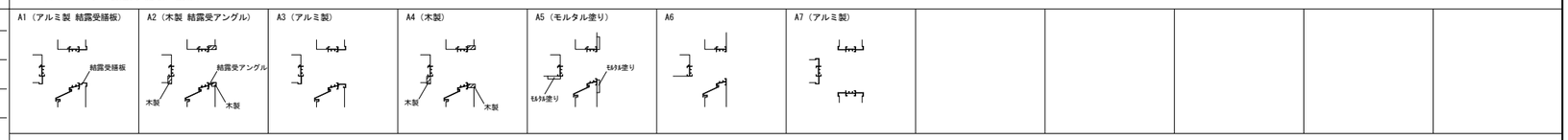
【重量シャッター】

耐風圧性能(Pa)	・2,400							

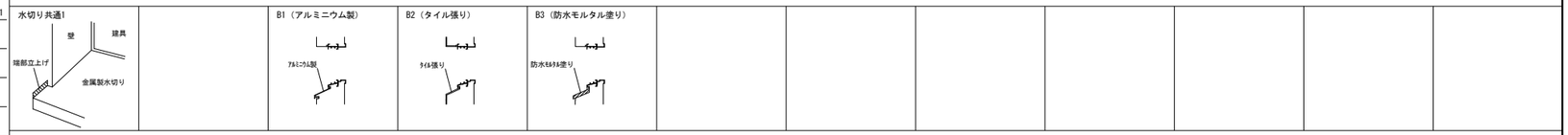
【軽量シャッター】

耐風圧性能(Pa)	・2,400							

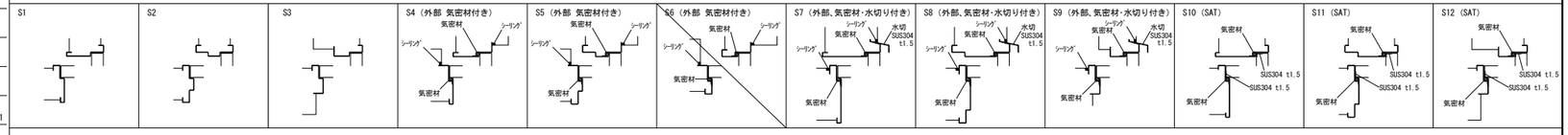
【アルミニウム製建具 縁板，額縁】

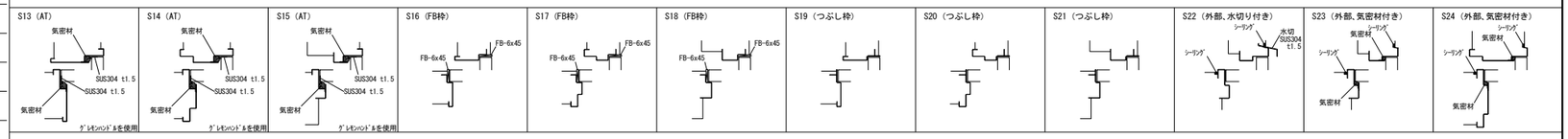


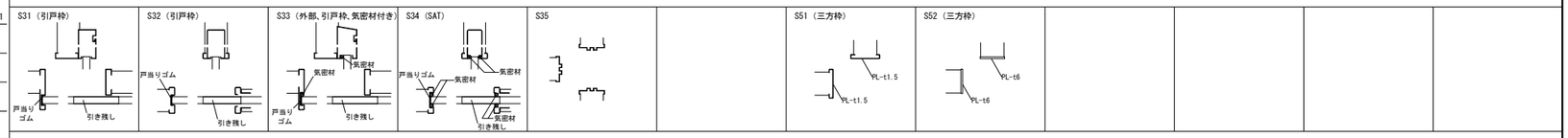
【アルミニウム製建具 水切】



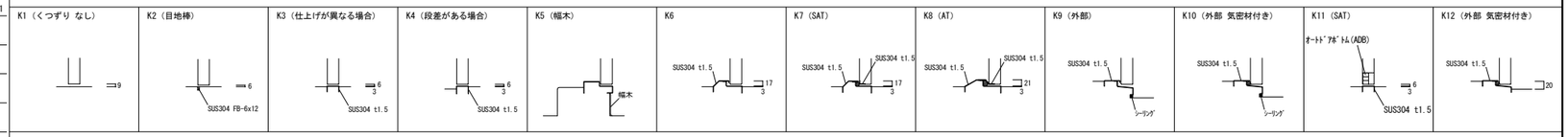
【鋼製建具・鋼製軽量建具・ステンレス製建具 枠，三方枠】



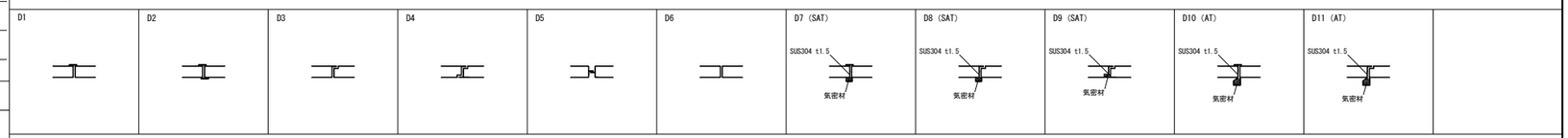




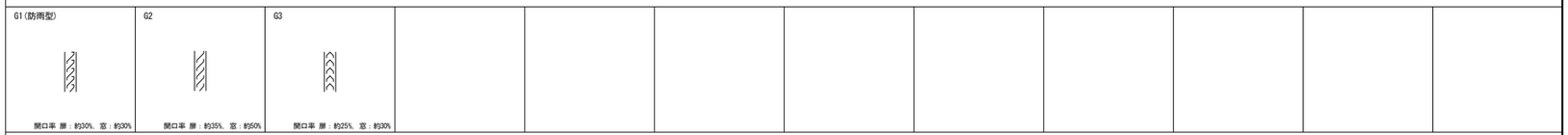
【くつずり】



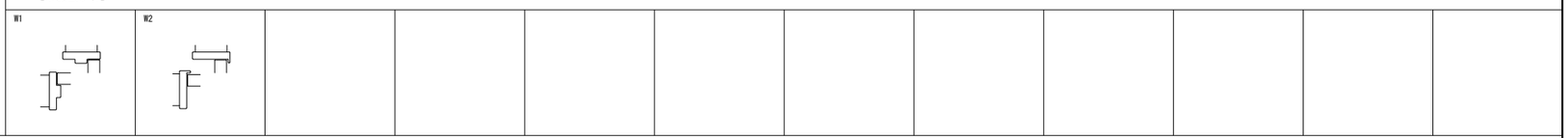
【扉 召合せ】



【がらり】



【木製建具 枠】



特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

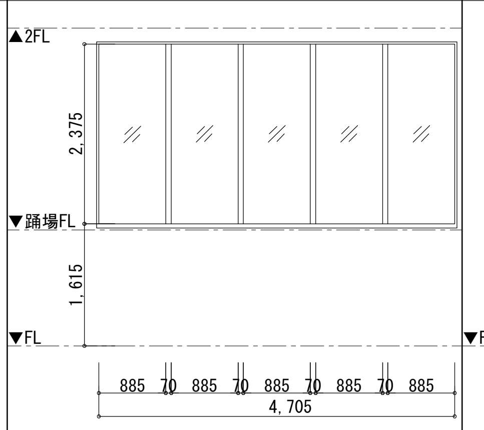
課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日	2025年1月	工事名称	新中崎分署建設工事
図面名称	建具表(1)	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
当初・変更・完成		図番	A502

建具表(2)

1/AW FIX窓　防火設備



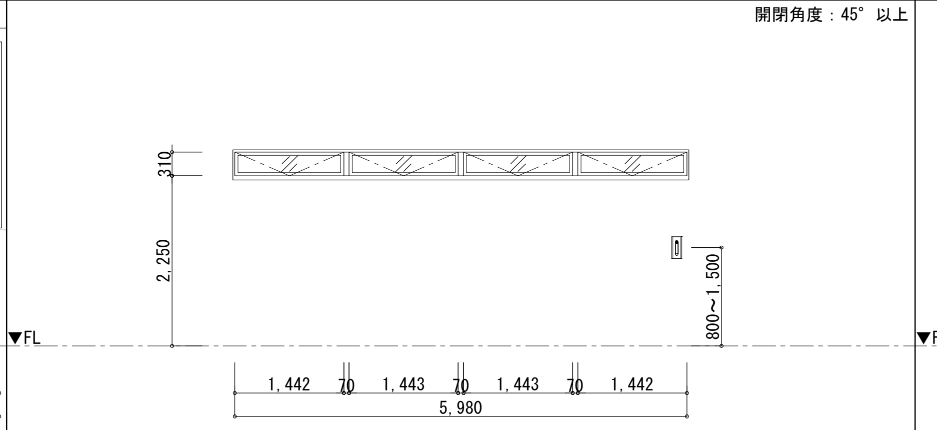
取付場所：1階:階段2　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(NP6.8+A6+Low-E5)

金物など：付属金物一式

2/AW 外倒し窓



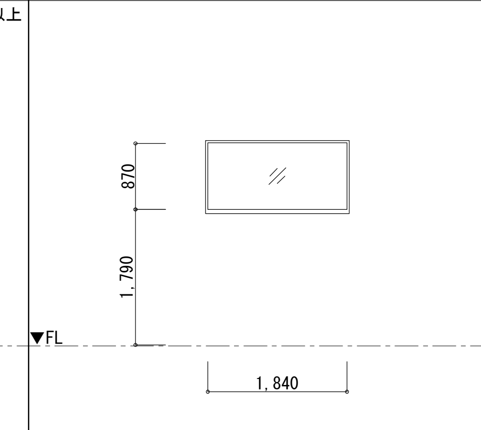
取付場所：1階:出動準備室　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(F6+A6+Low-E5)

金物など：排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、付属金物一式

3/AW FIX窓　防火設備



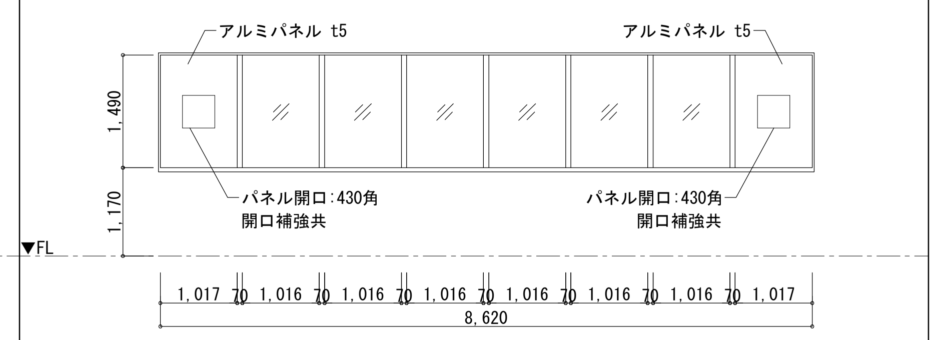
取付場所：2階,3階,4階:階段2　数量：3

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(NP6.8+A6+Low-E5)

金物など：付属金物一式

4/AW FIX窓



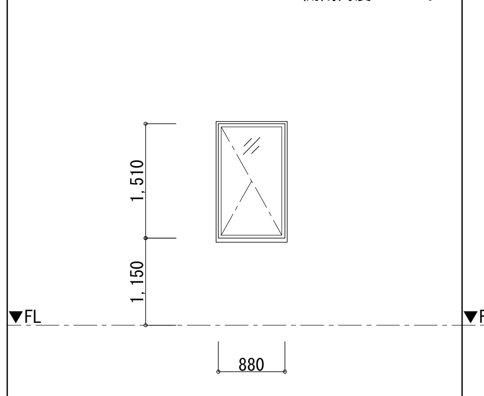
取付場所：2階:車庫　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(P6+A6+Low-E5)

金物など：付属金物一式

5/AW 縦辷り出し窓



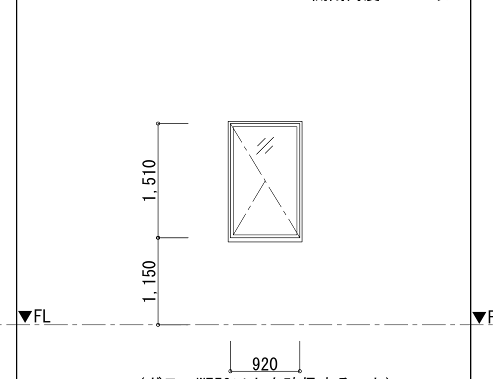
取付場所：2階,3階:仮眠室,女性仮眠室　数量：19

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(F6+A6+Low-E5)

金物など：プリーツ網戸、付属金物一式

6/AW 縦辷り出し窓



(ガラスW750以上を確保すること)

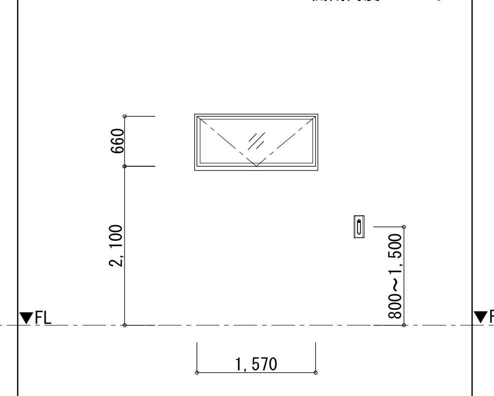
取付場所：2階,3階:仮眠室,女性仮眠室　数量：5

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(F6+A6+Low-E5)

金物など：プリーツ網戸、付属金物一式

7/AW 内倒し窓



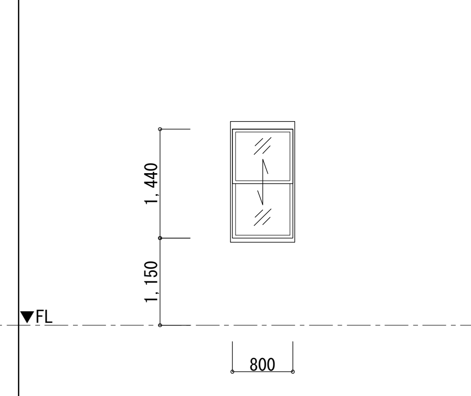
取付場所：2階:廊下　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(F6+A6+Low-E5)

金物など：排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、付属金物一式

8/AW 上げ下げ窓



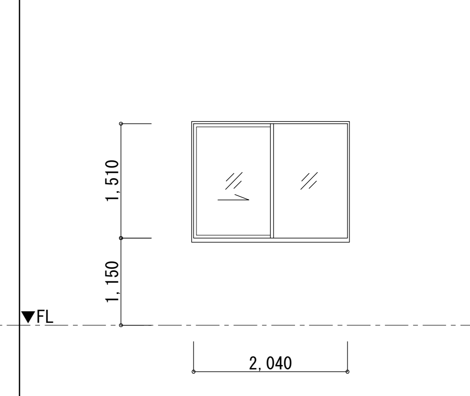
取付場所：2階:仮眠室14　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(F6+A6+Low-E5)

金物など：網戸、付属金物一式

9/AW 片引き窓



開き勝手は立面図による

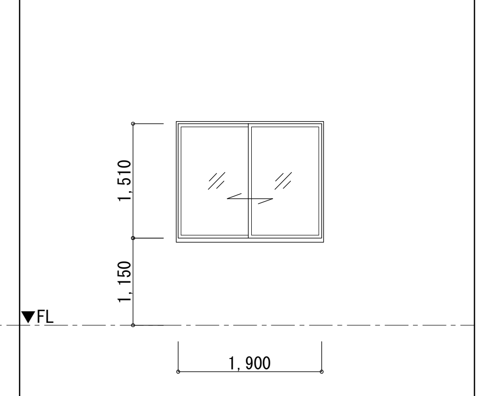
取付場所：3階:執務室　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(P6+A6+Low-E5)

金物など：網戸、付属金物一式

10/AW 引違い窓　防火設備



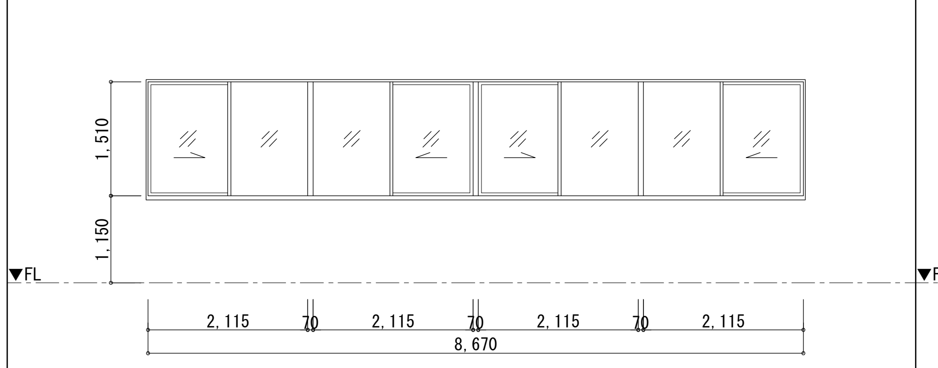
取付場所：3階:給湯室　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(NP6.8+A6+Low-E5)

金物など：網戸、付属金物一式

11/AW 片引き窓



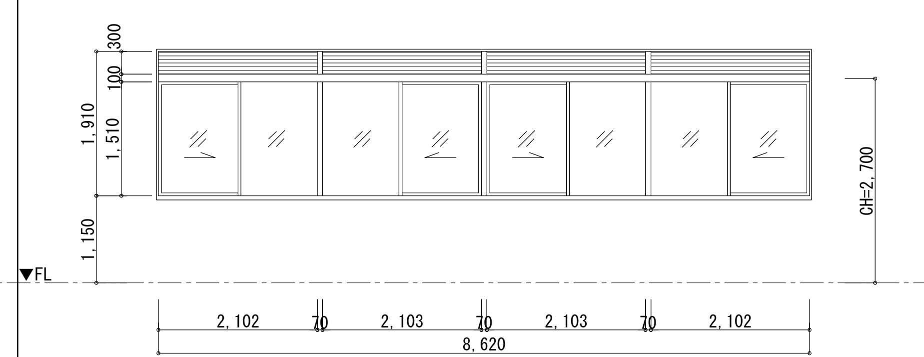
取付場所：3階:事務室　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(P6+A6+Low-E5)

金物など：網戸、付属金物一式

12/AW 片引き窓



ガラリにはチャンバーボックス接続金物を設けること(4-52-7)

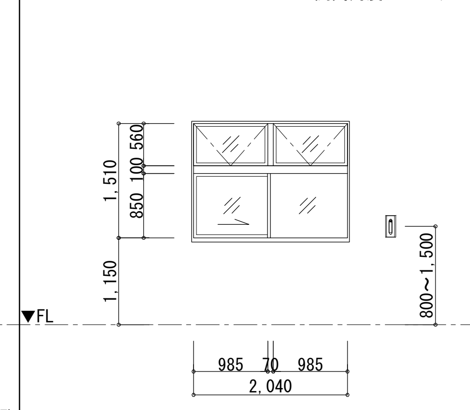
取付場所：3階:事務室　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	G1
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(P6+A6+Low-E5)

金物など：網戸、付属金物一式

13/AW 片引き窓+外倒し窓



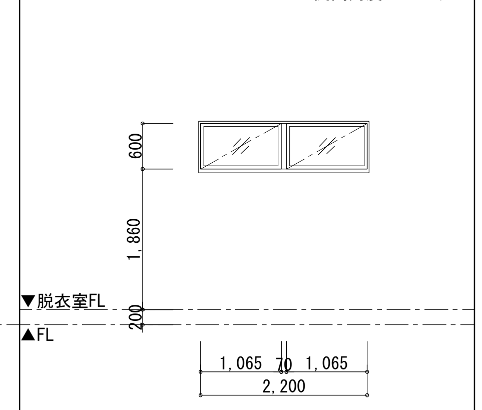
取付場所：3階:給湯室　数量：1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

ガラス：IG(P6+A6+Low-E5)

金物など：網戸、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、煙感知器(AW16と)連動、付属金物一式

14/AW 辷り出し窓



取付場所：3階:脱衣室2,浴室　数量：2

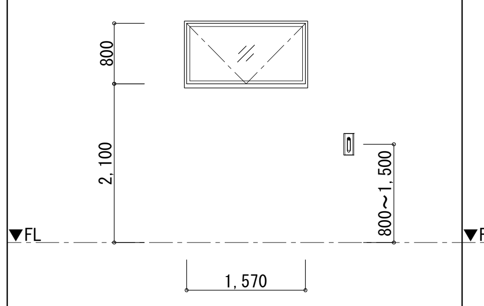
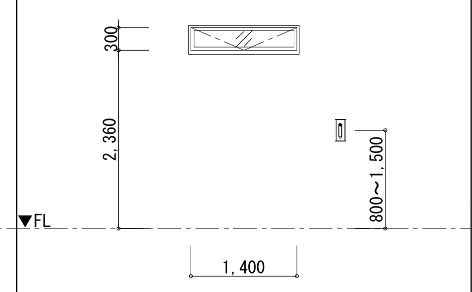
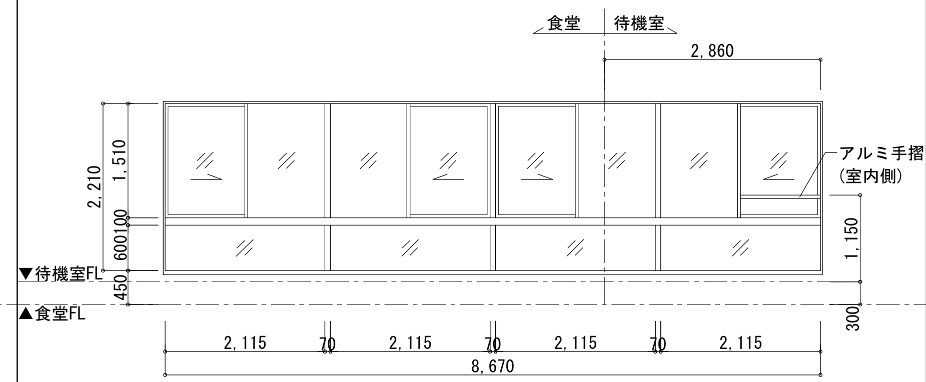
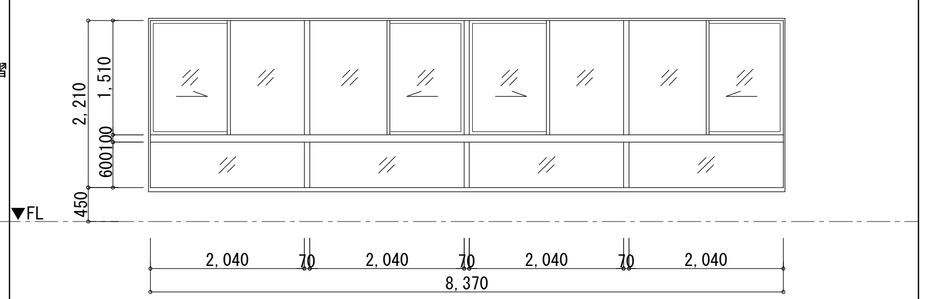
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- ー -	A1 ー B1	ー	ー
枠見込	**扉見込**	**枠仕上**	**扉仕上**
70	ー	BA-2	ー

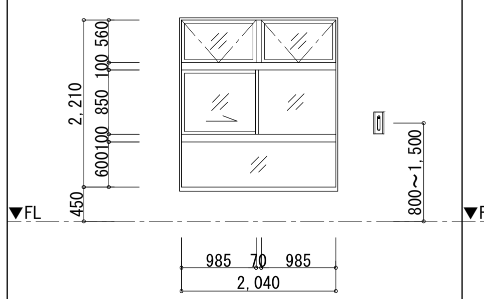
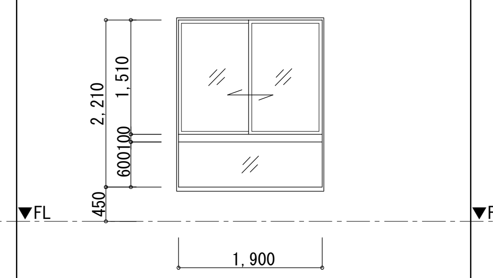
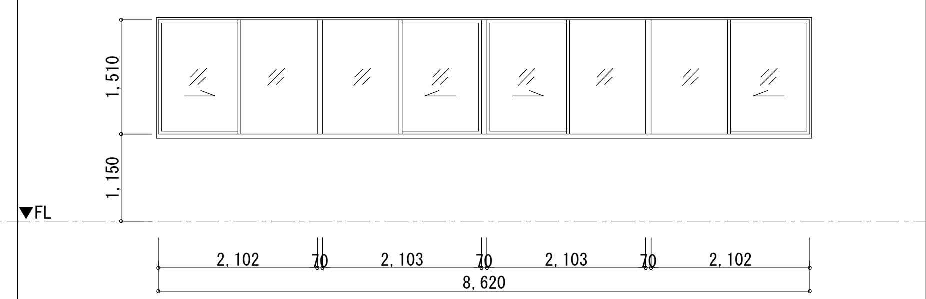
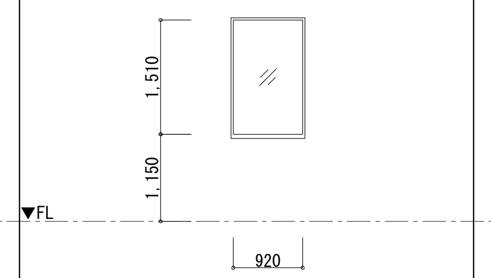
ガラス：IG(F6+A6+Low-E5)

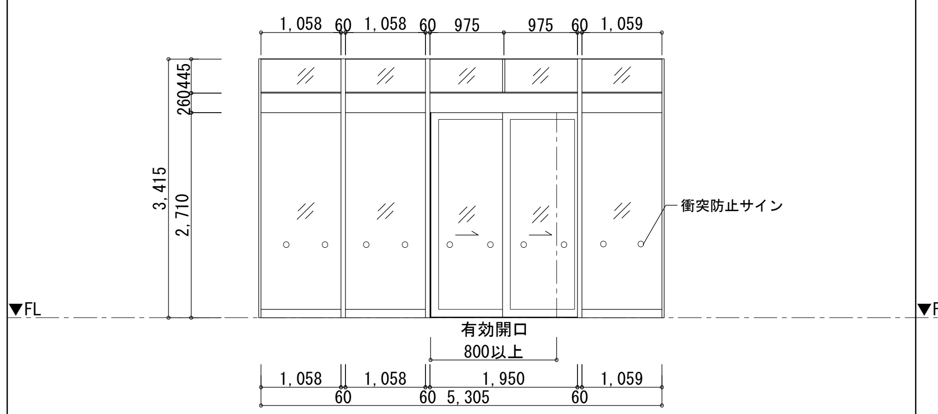
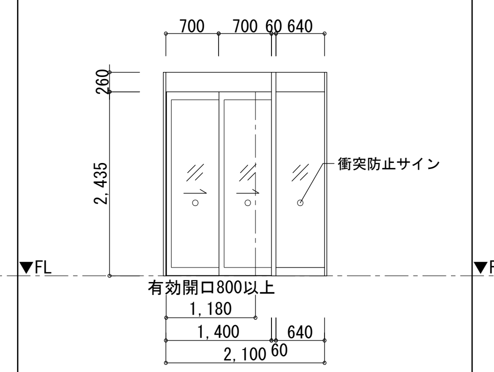
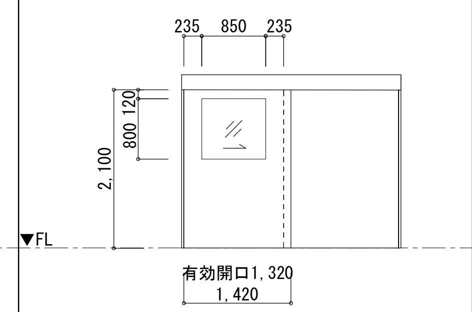
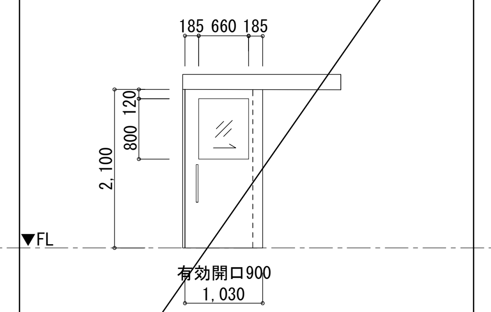
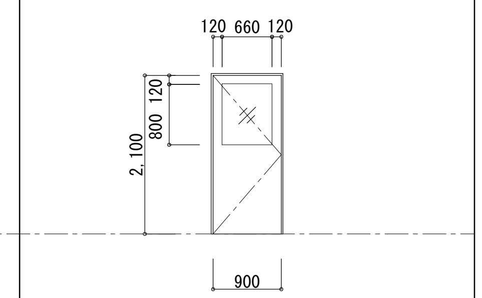
金物など：ｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾝﾄﾞﾙ、固定網戸、付属金物一式

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清
課長　担当課長　係長　担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課
製作年月日 2025年1月
工事名称 新中崎分署建設工事
図面名称 建具表(2)
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
当初・変更・完成
図番 A503

符号・名称	15 AW 内倒し窓	16 AW 外倒し窓	17 AW 片引き窓+FIX	18 AW 片引き窓+FIX
姿図	開閉角度：45° 以上 	開閉角度：45° 以上 		
取付場所 / 数量	3階:廊下 / 1	3階:ホール / 1	4階:食堂、待機室 / 1	4階:会議・多目的室 / 1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	− − − / A1 − B1 / − / −	− − − / A7 − − / − / −	− − − / A1 − B1 / − / −	− − − / A1 − B1 / − / −
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	70 / − / BA-2 / −	70 / − / BC-2 / −	70 / − / BA-2 / −	70 / − / BA-2 / −
ガラス	IG(F6+A6+Low-E5)	P8	IG(P6+A6+Low-E5)	IG(P6+A6+Low-E5)
金物など	排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、付属金物一式	排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、付属金物一式、煙感知器(AW13と)連動	網戸、付属金物一式	網戸、付属金物一式

符号・名称	19 AW 片引き窓+外倒し窓+FIX	20 AW 引違い窓+FIX 防火設備	21 AW 片引き窓+FIX	22 AW FIX窓
姿図	開閉角度：45° 以上 			
取付場所 / 数量	4階:ホール / 1	4階:スタッフルーム / 1	4階:体力錬成室 / 1	4階:電気室 / 1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	− − − / A1 − B1 / − / −	− − − / A1 − B1 / − / −	− − − / A1 − B1 / − / −	− − − / A1 − B1 / − / −
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	70 / − / BA-2 / −	70 / − / BA-2 / −	70 / − / BA-2 / −	70 / − / BA-2 / −
ガラス	IG(P6+A6+Low-E5)	IG(NP6.8+A6+Low-E5)	IG(P6+A6+Low-E5)	IG(F6+A6+Low-E5)
金物など	排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、網戸(片引き窓のみ)、付属金物一式	網戸、付属金物一式	網戸、付属金物一式	付属金物一式

符号・名称	1 AD 片引き自動扉+FIX	2 AD 2枚片引き自動扉+FIX	3 AD 片引き自動扉	4 AD 片引き戸	5 AD 片開き戸
姿図					
取付場所 / 数量	1階:風除室 / 1	1階:風除室 / 1	1階:救急消毒室 / 1	1階:乾燥室 / 1	1階:除染室、乾燥室 / 2
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	K16 − − / − − − / − / −	K16 − − / − − − / − / −	K16 − − / − − − / − / −	S33 − K7 / − − − / − / −	A7 − K8 / − − − / − / −
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	100 / − / BA-2 / BA-2	100 / − / BA-2 / BA-2	100 / − / BB-2 / BB-2	220 / − / BB-2 / BB-2	180 / 40 / BB-2 / BB-2
ガラス	T8、ﾗﾝﾏ:P5	T8	T5	T5	T5
金物など	自動ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ、EL、スリム框タイプ、非常時開錠、ﾊﾟﾆｯｸｵｰﾌﾟﾝ(非常電源装置付)、飛散防止ﾌｨﾙﾑ、衝突防止ﾌｨﾙﾑ、付属金物一式	**自動ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ、EL、スリム框タイプ、飛散防止ﾌｨﾙﾑ、非常時解錠、ﾊﾟﾆｯｸｵｰﾌﾟﾝ(非常電源装置付)、衝突防止ﾌｨﾙﾑ、付属金物一式**	自動ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ、CL、非常時解錠、飛散防止ﾌｨﾙﾑ、ﾌｯﾄｽｲｯﾁ(室内外共)、付属金物一式	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、SUS製押棒、半自閉装置、指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式	DC(S)、LH、PH、飛散防止ﾌｨﾙﾑ、付属金物一式

特記事項
・
・
・
・

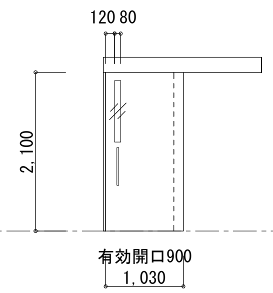
株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

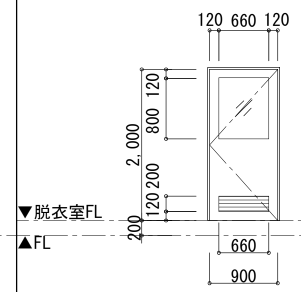
製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
2025年1月	図面名称	建具表(3) 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A504

6/AD 片引き戸



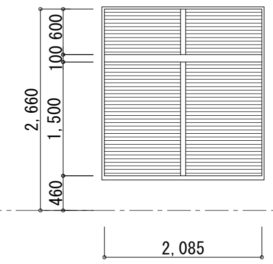
取付場所			数量
1階:乾燥室			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S33 — K7	- — -	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
215	—	BB-2	BB-2
ガラス	T5		
金物など	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式		

7/AD 片開き戸



取付場所			数量
3階:浴室			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
A1 — K8	- — -	—	G1
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
180	40	BB-2	BB-2
ガラス	F4		
金物など	DC(S)、LH、PH、 飛散防止ﾌｨﾙﾑ、付属金物一式		

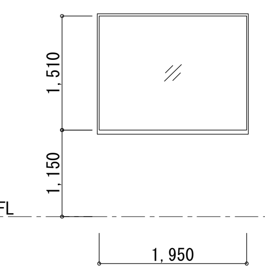
1/AG ガラリ



各ガラリ(2ヶ所)にはチャンバーボックス
接続金物を設けること(4-52-7)

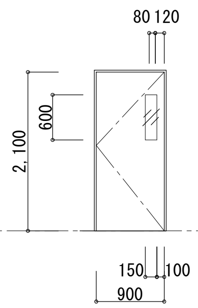
取付場所			数量
4階:発電機室			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- — -	A1 — B1	—	G1
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
70	—	BA-2	—
ガラス	-		
金物など	付属金物一式		

1/SW FIX窓 特定防火設備



取付場所			数量
2階:階段2			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
- — -	S101 — -	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
280	—	ﾌｯ素焼付塗装	—
ガラス	HTG8		
金物など	付属金物一式		

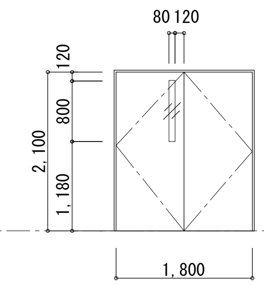
1/SD 片開き戸



小窓の下枠からｻﾑﾀｰﾝ錠までの距離は15cm以内とすること

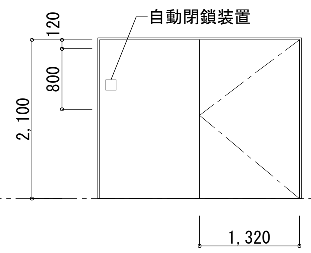
取付場所			数量
1階:車庫			2
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S22 — K12	—	D2	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
120	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	T5		
金物など	DC(S)、PEL、LH、H、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能、 付属金物一式		

2/SD 両開き戸 特定防火設備(遮煙付)



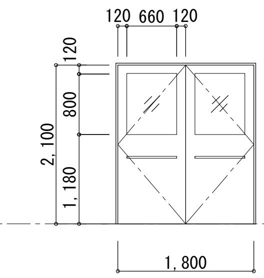
取付場所			数量
1階:水防資機材庫兼資機材庫,資機材庫			2
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S23 — K3	—	D9	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
120	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	HTG5		
金物など	DC、BL、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し、常閉、調整器、 付属金物一式		

3/SD 戸袋付き片開き戸 特定防火設備(遮煙付)



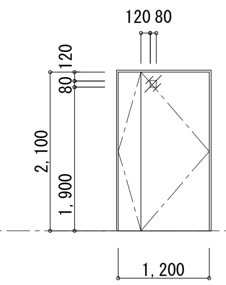
取付場所			数量
1階:救急消毒室			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S23 — K12	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
120	50	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	-		
金物など	CH、HC、 常開、煙感知器連動閉鎖、付属金物一式		

4/SD 両開き戸 特定防火設備(遮煙付)



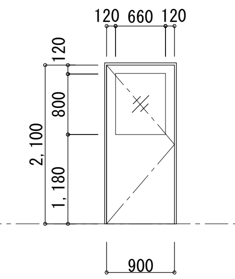
取付場所			数量
1階:出動準備室			2
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S24 — K12	—	D9	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
280	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	HTG5		
金物など	DC、BL、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し、常閉、調整器、 付属金物一式		

5/SD 親子開き戸 特定防火設備(遮煙付)



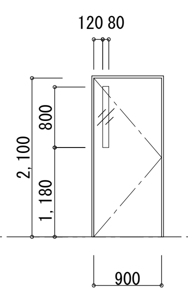
取付場所			数量
1階:油庫			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S23 — K12	—	D9	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
120	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	HTG5		
金物など	DC、BL、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し、常閉、調整器、 付属金物一式		

6/SD 片開き戸 特定防火設備(遮煙付)



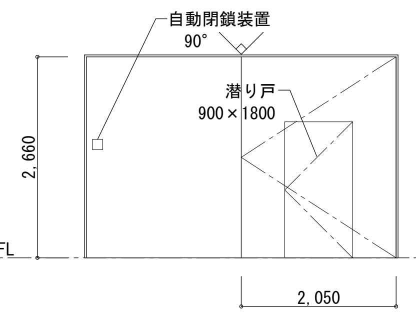
取付場所			数量
1階:出動準備室			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S23 — K3	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
280	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	HTG5		
金物など	DC、BL、LH、PH、常閉、付属金物一式		

7/SD 片開き戸 特定防火設備(遮煙付)



取付場所			数量
1階:車庫			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S23 — K3	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
280	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	HTG5		
金物など	DC、PEL、LH、PH、常閉、付属金物一式		

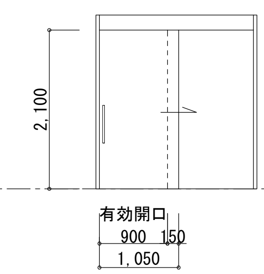
8/SD 戸袋付き片開き戸（潜り戸付）特定防火設備(遮煙付)



※木ルーバー300角張り仕上（仕上工事）

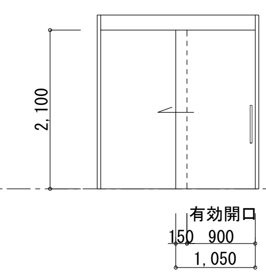
取付場所			数量
1階:階段2			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S12 — K1	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
120	50	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	-		
金物など	CH、HC、 常開、煙感知器連動閉鎖、付属金物一式		

9/SD 片引き戸



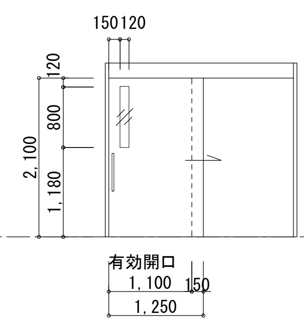
取付場所			数量
1階:除染室			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S33 — K10	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
340	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	-		
金物など	PEL、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、SUS製押棒、半自閉装置、 付属金物一式		

10/SD 片引き戸



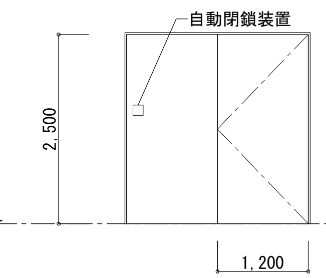
取付場所			数量
1階:水防資機材庫兼資機材庫			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S33 — K10	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
340	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	-		
金物など	引戸錠、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、SUS製押棒、半自閉装置、 付属金物一式		

11/SD 片引き戸



取付場所			数量
1階:土のう置場			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S33 — K10	—	D2	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
340	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	F4		
金物など	引戸錠、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、SUS製押棒、半自閉装置、 付属金物一式		

12/SD 戸袋付き片開き戸 特定防火設備(遮煙付)



取付場所			数量
1階:階段1			1
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S12 — K2	—	—	—
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
120	50	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	-		
金物など	CH、HC、 常開、煙感知器連動閉鎖、付属金物一式		

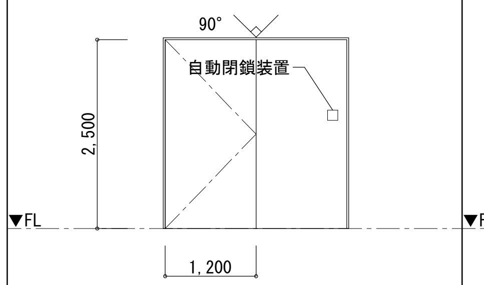
特記事項
・
・
・
・

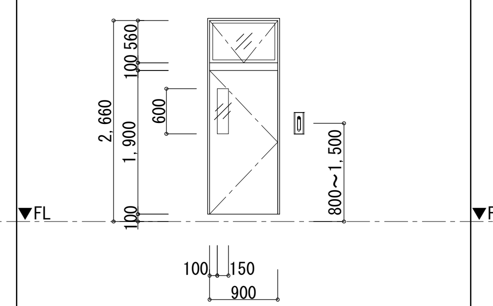
株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

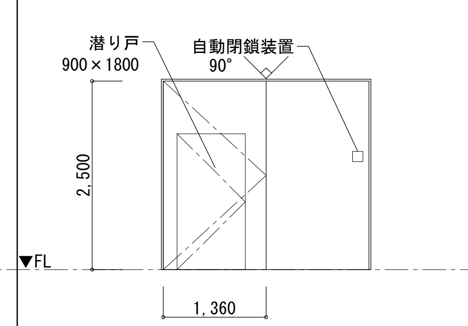
課長 担当課長 係長 担当

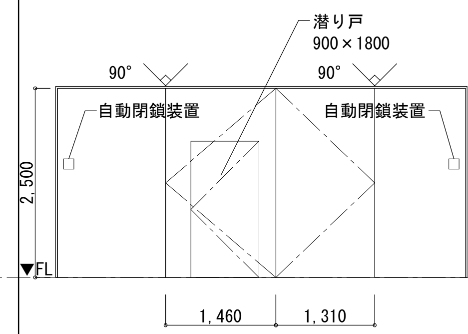
明石市都市局住宅・建築室営繕課

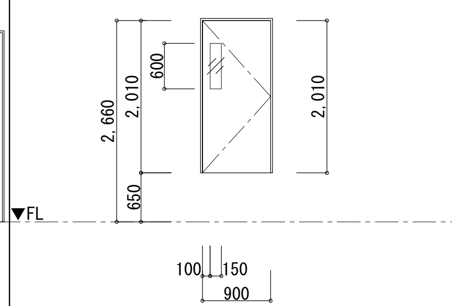
製作年月日	工事名称		当初・変更・完成
2025年1月	新中崎分署建設工事		
	図面名称 建具表(4)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 A505

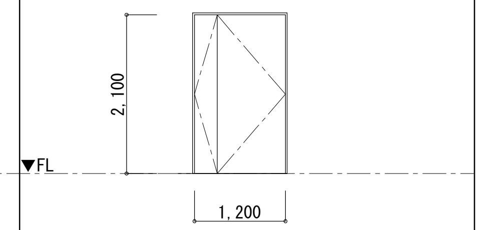
符号・名称	13/SD 戸袋付き片開き戸 特定防火設備(遮煙付)			
姿図				
取付場所 / 数量	2階:階段1			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K2	ー	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	165	50	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	CH、HC、 常開、煙感知器連動閉鎖、付属金物一式			

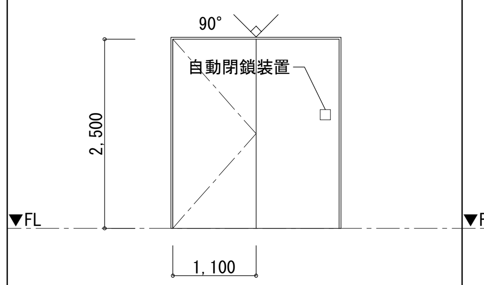
符号・名称	14/SD 片開き戸+外倒し窓			
姿図	開閉角度：45° 以上  小窓の下枠からｻﾑﾀｰﾝ錠までの距離は15cm以内とすること			
取付場所 / 数量	2階:廊下			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S8 ー K10	- ー -	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	280	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	窓：IG(F4+A6+Low-E5)、扉：T5			
金物など	DC(S)、BL、LH、H、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能、 付属金物一式			

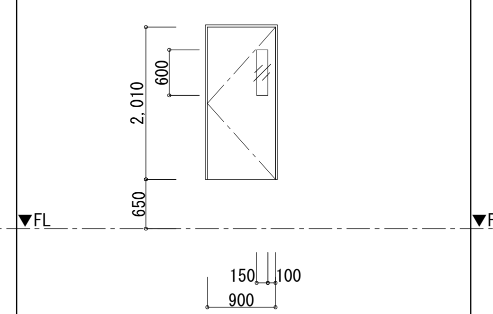
符号・名称	15/SD 戸袋付き片開き戸（潜り戸付）特定防火設備(遮煙付)			
姿図				
取付場所 / 数量	3階:階段2			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K2	ー	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	165	50	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	CH、HC、 常開、煙感知器連動閉鎖、付属金物一式			

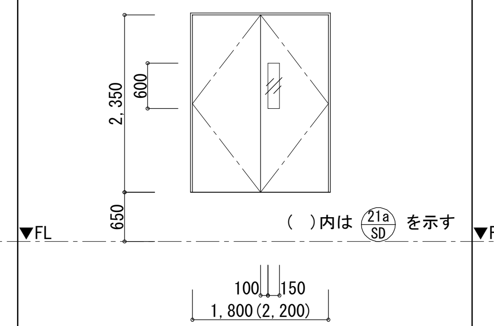
符号・名称	16/SD 戸袋付き両開き戸（潜り戸付）特定防火設備(遮煙付)			
姿図				
取付場所 / 数量	3階:階段1			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K2	ー	D9	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	165	50	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	CH、HC、常開、煙感知器連動閉鎖、調整器、 付属金物一式			

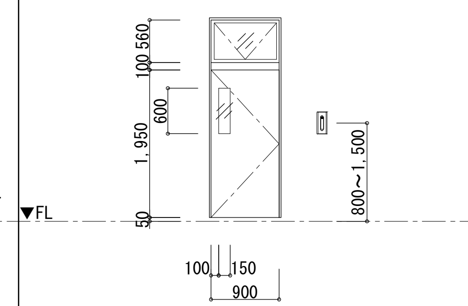
符号・名称	17/SD 片開き戸			
姿図	 小窓の下枠からｻﾑﾀｰﾝ錠までの距離は15cm以内とすること			
取付場所 / 数量	3階:廊下			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S8 ー K10	- ー -	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	280	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	T5			
金物など	DC(S)、BL、LH、H、ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能、 付属金物一式			

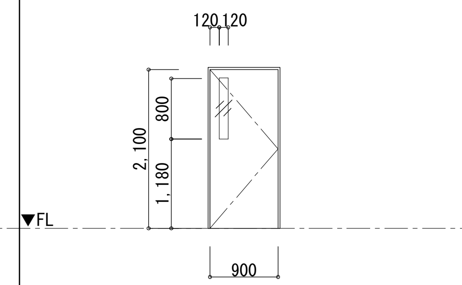
符号・名称	18/SD 親子開き戸 特定防火設備(遮煙付)			
姿図				
取付場所 / 数量	4階:階段2			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K2	ー	D2	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	165	50	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	DC、PEL、LH、PH、常閉、ﾌﾗﾝｽ落し、調整器、 付属金物一式			

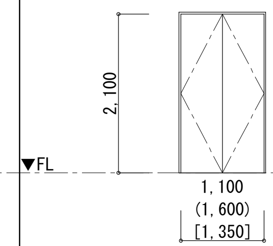
符号・名称	19/SD 戸袋付き片開き戸 特定防火設備(遮煙付)			
姿図				
取付場所 / 数量	4階:階段1			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K2	ー	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	165	50	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	CH、HC、 常開、煙感知器連動閉鎖、付属金物一式			

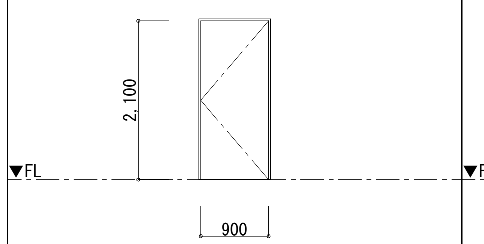
符号・名称	20/SD 片開き戸			
姿図	 小窓の下枠からｻﾑﾀｰﾝ錠までの距離は15cm以内とすること			
取付場所 / 数量	4階:廊下			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S8 ー K10	- ー -	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	100	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	T5			
金物など	DC(S)、BL、LH、H、ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能、 付属金物一式			

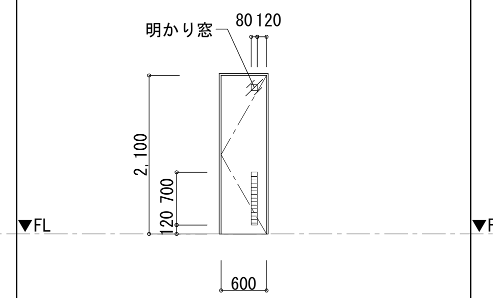
符号・名称	21/SD 21a/SD 両開き戸 防火設備			
姿図	 小窓の下枠からｻﾑﾀｰﾝ錠までの距離は15cm以内とすること			
取付場所 / 数量	4階:電気室,発電機室			SD-21:1 SD-21a:1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S9 ー K10	ー	D9	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	120	50		
ガラス	NF6.8			
金物など	DC、BL、LH、H、ﾌﾗﾝｽ落し、ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能、調整器、 付属金物一式			

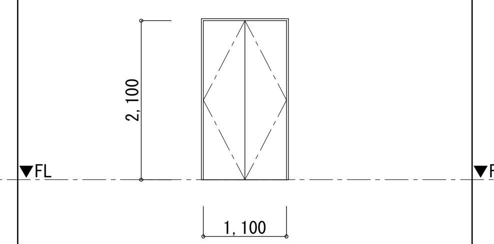
符号・名称	22/SD 片開き戸+外倒し窓			
姿図	開閉角度：45° 以上  小窓の下枠からｻﾑﾀｰﾝ錠までの距離は15cm以内とすること			
取付場所 / 数量	4階:廊下			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S8 ー K10	- ー -	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	280	40	ﾌｯ素焼付塗装	ﾌｯ素焼付塗装
ガラス	窓：IG(F4+A6+Low-E5)、扉：T5			
金物など	DC(S)、BL、LH、H、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、ﾊﾞｯｸﾁｪｯｸ機能、 付属金物一式			

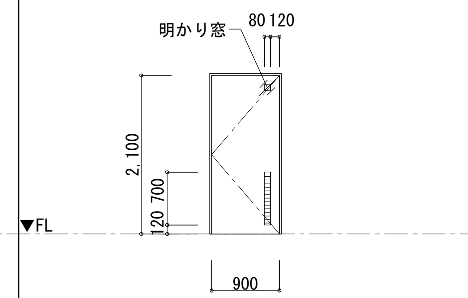
符号・名称	23/SD 片開き戸 特定防火設備(遮煙付)			
姿図				
取付場所 / 数量	1階:倉庫			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K7	- ー -	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	265	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	HTG5			
金物など	DC、BL、LH、PH、常閉、付属金物一式			

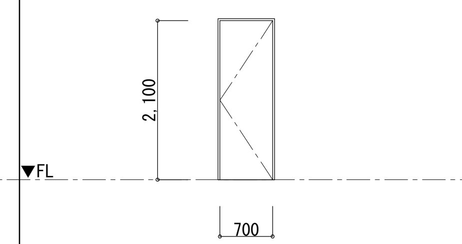
符号・名称	101a/SD 101b/SD 101c/SD 両開き戸(片面フラッシュ)			
姿図	 ( )内は 101b/SD を示す [ ]内は 101c/SD を示す			
取付場所 / 数量	1,2,3階:PS、4階:PS,EPS			SD-101a:7、SD-101b:2、 SD-101c:1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S3 ー K3	ー	D3	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	スリットキー、H、ﾌﾗﾝｽ落し、付属金物一式			

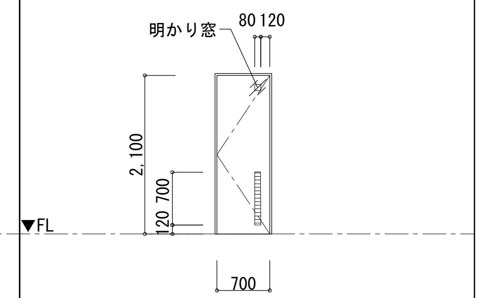
符号・名称	102/SD 片開き戸(片面フラッシュ)			
姿図				
取付場所 / 数量	1,2,3階:PS、4階:PS,EPS			5
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S3 ー K3	ー	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	スリットキー、H、付属金物一式			

符号・名称	103/SD 片開き戸			
姿図				
取付場所 / 数量	2,3階:SK			2
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S1 ー K2	ー	ー	G1
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	F4			
金物など	DC、BL、LH、PH、付属金物一式			

符号・名称	104/SD 両開き戸(片面フラッシュ) 特定防火設備(遮煙付)			
姿図	 ※セラミックタイル張り仕上（仕上工事）			
取付場所 / 数量	1階:PS			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S12 ー K3	ー	D3	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	スリットキー、H、ﾌﾗﾝｽ落し、常閉、ﾌﾗﾝｽ落し、調整器、 付属金物一式			

符号・名称	105/SD 片開き戸			
姿図				
取付場所 / 数量	4階:SK			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S1 ー K2	ー	ー	G1
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	F4			
金物など	DC、BL、LH、PH、付属金物一式			

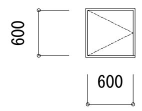
符号・名称	106/SD 片開き戸(片面フラッシュ)			
姿図				
取付場所 / 数量	4階:PS			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S3 ー K3	ー	ー	ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	-			
金物など	スリットキー、H、付属金物一式			

符号・名称	107/SD 片開き戸			
姿図				
取付場所 / 数量	1階:SK			1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S1 ー K2	ー	ー	G1
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140	40	焼付塗装	焼付塗装
ガラス	F4			
金物など	DC、BL、LH、PH、付属金物一式			

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 眞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	
製作年月日	2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
図面名称 建具表(5)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番	A506

108a/SD 片開き戸



取付場所	数量
屋根:管類立上り(1),(2),(3)	SD-108a:3

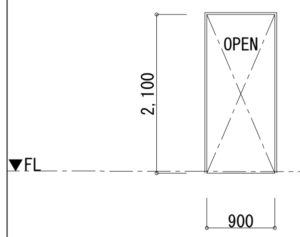
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S9 ー K10	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
100	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: -

金物など: DC、CL、付属金物一式 SAT仕様

1/SSF 三方枠



取付場所	数量
1階:救急資機材庫	1

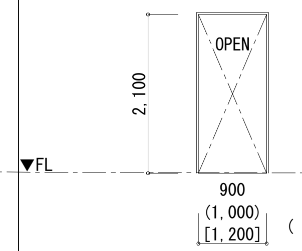
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S51 ー ー	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
220	ー	焼付塗装	ー

ガラス: -

金物など: -

2a/SSF 2b/SSF 2c/SSF 三方枠



( )内は 2b/SSF を示す

[ ]内は 2c/SSF を示す

取付場所	数量
2階:MWC,3階:MWC,給湯室	SSF-2a:1、2b:1 SSF-2c:1

枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S51 ー K2	ー ー ー	ー	ー

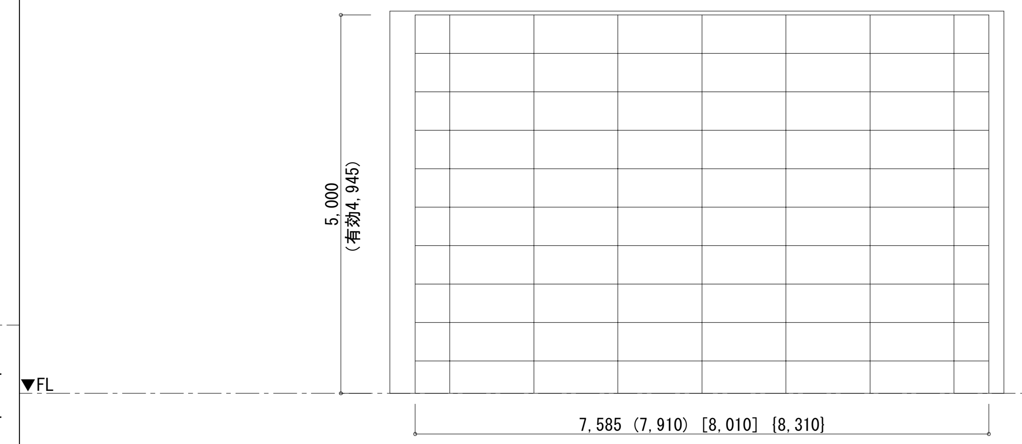
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
170(140)	ー	焼付塗装	ー

ガラス: -

金物など: -

1/OSD 1a/OSD 1b/OSD 1c/OSD オーバースライダー(電動)

耐風圧は1250Pa以上とする



( )内は 1a/OSD を示す

[ ]内は 1b/OSD を示す

{ }内は 1c/OSD を示す

取付場所	数量
1階:車庫	OSD-1:1、OSD-1a:1 OSD-1b:1、OSD-1c:1

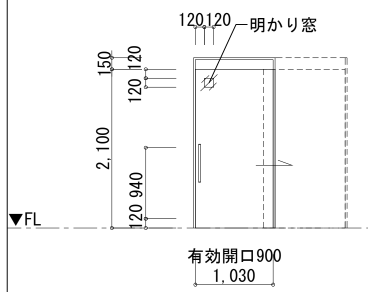
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
ー ー ー	ー ー ー	ー ー ー	ー ー ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
ー	ー	ー	ー

ガラス: ファイバーグラスパネル(光線透過率50%)

金物など: 非常電源付、開閉ﾎﾞﾀﾝ付、ｽﾃﾝﾚｽ製ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、障害検知、水圧開放装置(OSD-1cのみ)、付属金物一式、急降下停止

1/LD 片引き戸



取付場所	数量
1階:HWC,MWC,3階:HWC	3

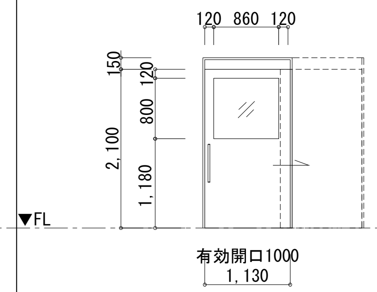
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S32 ー K3	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
165	ー	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: 引戸錠(表示付)、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｽﾃﾝﾚｽ製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式

2/LD 片引き戸



取付場所	数量
1階:洗濯室	1

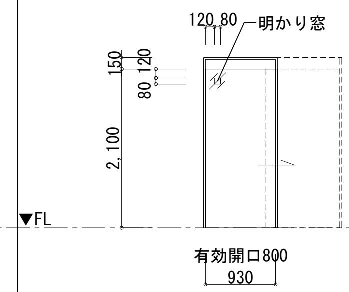
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S32 ー K3	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
140	ー	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式

3/LD 片引き戸



取付場所	数量
2階:仮眠室,倉庫,リネン室,3階:仮眠室,女性仮眠室	27

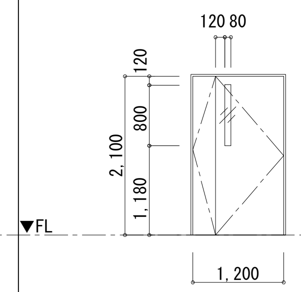
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S34 ー K15	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
175	ー	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: CL、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式

4/LD 親子開き戸



取付場所	数量
3階:システム管理室	1

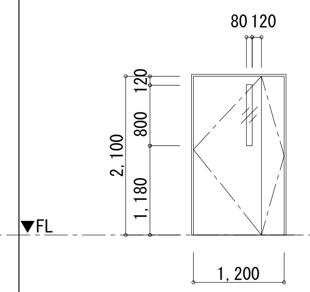
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S2 ー K3	ー ー ー	D2	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
140	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: DC(S)、CL、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し、付属金物一式

5/LD 親子開き戸



取付場所	数量
3階:事務室	1

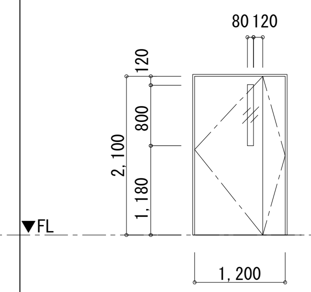
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S2 ー K3	ー ー ー	D2	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
270	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: DC(S)、CL、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し、付属金物一式

6/LD 親子開き戸



取付場所	数量
3階:執務室,4階:会議多目的室	2

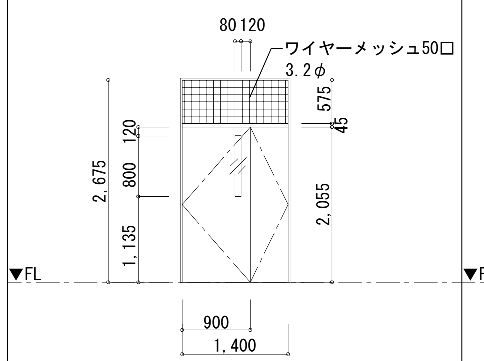
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S11 ー K11	ー ー ー	D9	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
175	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: DC(S)、CL(内部ｻﾑﾀｰﾝ)、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し、付属金物一式

7/LD 親子開き戸



取付場所	数量
3階:廊下(女性エリア)	1

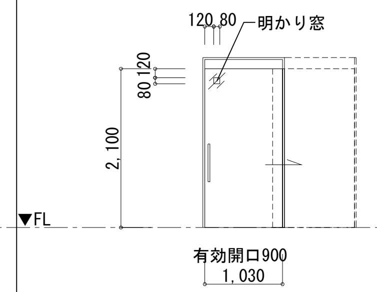
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S2 ー K1	ー ー ー	D2	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
140	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4(ミラーフィルム貼)

金物など: DC、PEL(個別系統)、LH、PH、ﾌﾗﾝｽ落し 付属金物一式

8/LD 片引き戸



取付場所	数量
3階:脱衣室1,脱衣室3	2

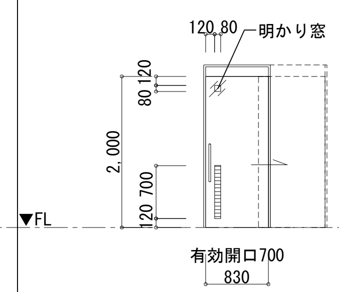
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S34 ー K15	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
165	ー	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: 引戸錠(表示付)、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式

9/LD 片引き戸



取付場所	数量
3階:脱衣室2,脱衣室4,脱衣室5	3

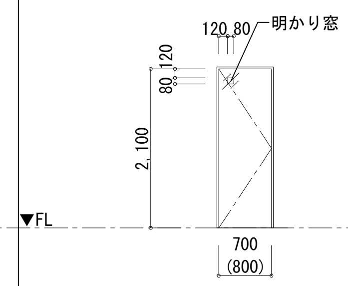
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S32 ー K1	ー ー ー	ー	G1

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
140	ー	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: 引戸錠(表示付)、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式

10a/LD 10b/LD 片開き戸



( )内は 10b/LD を示す

取付場所	数量
1階:WWC,3階:WWC,4階:MWC,WWC	LD-10a:3 LD-10b:1

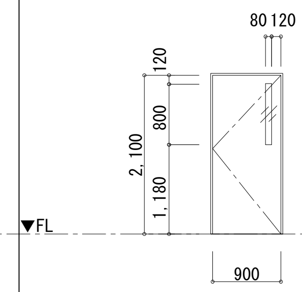
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S11 ー K11	ー ー ー	ー	G1

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
165	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: DC、BL(表示付)、LH、PH、付属金物一式

11/LD 片開き戸



取付場所	数量
4階:スタッフルーム	1

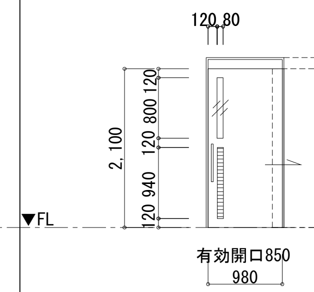
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S2 ー K2	ー ー ー	ー	ー

枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
140	40	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: DC(S)、BL、LH、PH、付属金物一式

12/LD 片引き戸



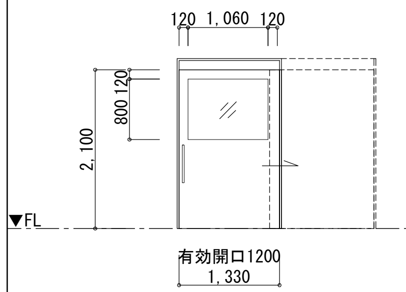
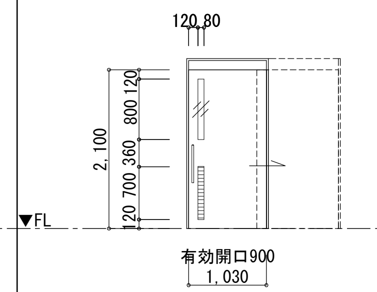
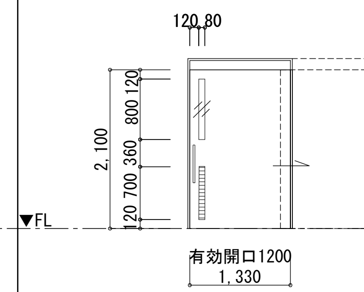
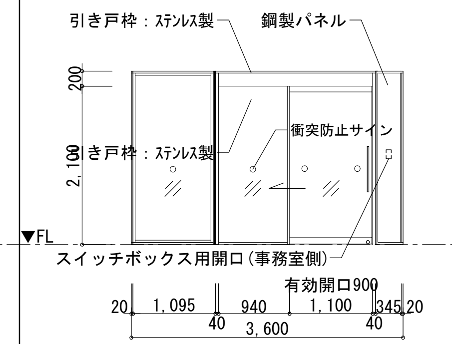
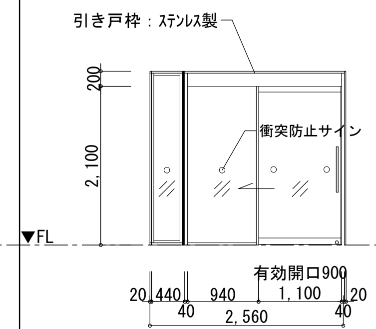
取付場所	数量
4階:書庫兼倉庫	1

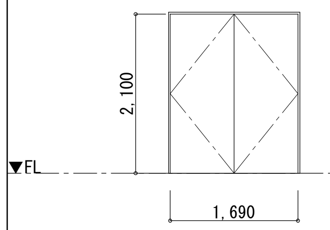
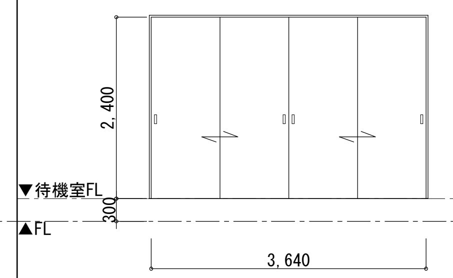
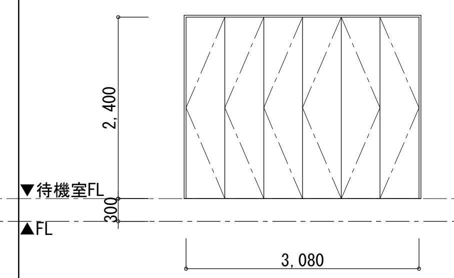
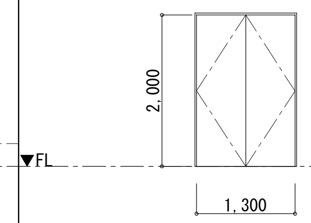
枠-くつずり	水切-ぜん板/額縁	召合せ	がらり
S32 ー K2	ー ー ー	ー	G1

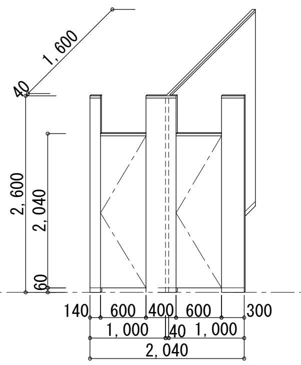
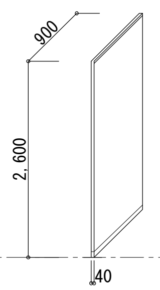
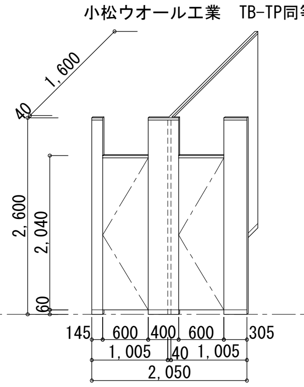
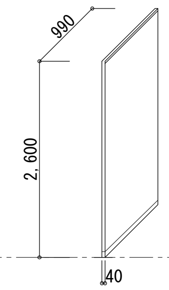
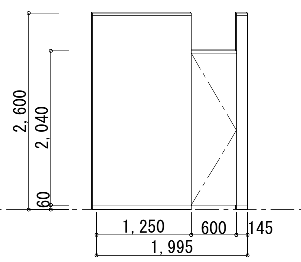
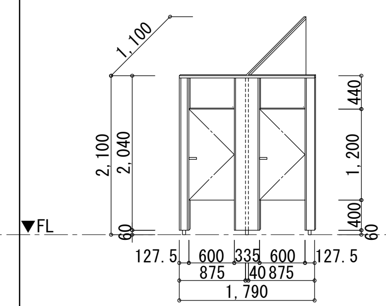
枠見込	扉見込	枠仕上	扉仕上
175	ー	焼付塗装	焼付塗装

ガラス: F4

金物など: 引戸錠、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式

符号・名称	13/LD 片引き戸	14/LD 片引き戸	15/LD 片引き戸		101/LD ガラスパーティション	102/LD ガラスパーティション
姿図					コマニー BRIDIAシングルガラス連装同等品とする。 ※スリムガラス引戸「80㎜厚ドアユニット納まり仕様」 小松ウオール工業 マイティ-GWALL同等品とする。 ※ガラス引戸 ハンドル仕様 	コマニー BRIDIAシングルガラス連装同等品とする。 ※スリムガラス引戸「80㎜厚ドアユニット納まり仕様」 小松ウオール工業 マイティ-GWALL同等品とする。 ※ガラス引戸 ハンドル仕様 
取付場所 / 数量	4階:体力錬成室 / 1	4階:倉庫2 / 1	4階:会議多目的室 / 1		3階:事務室 / 1	4階:食堂 / 1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	S34 ー K15 / - ー - / ー / ー	S32 ー K2 / - ー - / ー / G1	S32 ー K3 / - ー - / ー / G1		- ー K1 / - ー - / ー / ー	- ー K1 / - ー - / ー / ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	175 / ー / 焼付塗装 / 焼付塗装	175 / ー / 焼付塗装 / 焼付塗装	175 / ー / 焼付塗装 / 焼付塗装		81 / ー / 焼付塗装 / 焼付塗装	81 / ー / 焼付塗装 / 焼付塗装
ガラス	T5	F4	T5		ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ：P10、扉：T10	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ：P10、扉：T10
金物など	引戸錠、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｽﾃﾝﾚｽ製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式	引戸錠、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式	引戸錠、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、樹脂製押棒、半自閉装置 指詰防止ｺﾞﾑ、付属金物一式		CL(内部ｻﾑﾀｰﾝ)、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｽﾃﾝﾚｽ製押棒、半自閉装置 **指詰防止ｺﾞﾑ、飛散防止ﾌｨﾙﾑ、衝突防止ﾌｨﾙﾑ、付属金物一式**	CL(内部ｻﾑﾀｰﾝ)、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、ｽﾃﾝﾚｽ製押棒、半自閉装置 **指詰防止ｺﾞﾑ、飛散防止ﾌｨﾙﾑ、衝突防止ﾌｨﾙﾑ、付属金物一式**

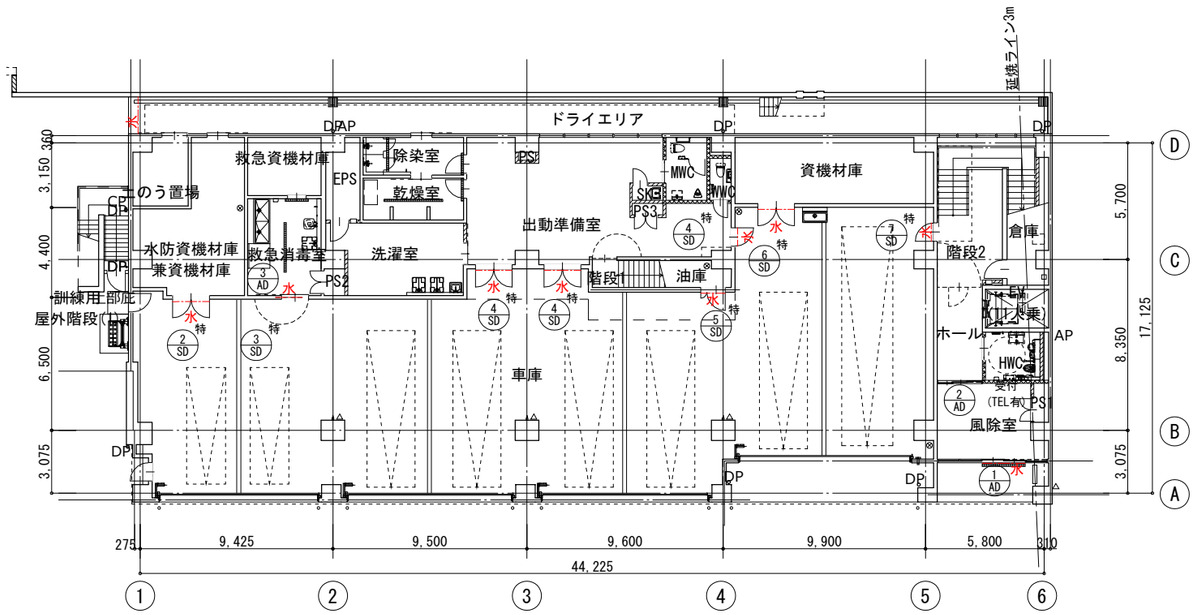
符号・名称	1/WD 両開き戸	2/WD 4枚引違い戸	3/WD 6枚折れ戸	4/WD 両開き戸		
姿図						
取付場所 / 数量	3階:廊下 / 1	4階:待機室 / 1	4階:待機室 / 1	3階:脱衣室3 / 1		
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	W1 ー K1 / - ー - / ー / ー	W1 ー K13 / - ー - / ー / ー	W2 ー K14 / - ー - / ー / ー	W1 ー K1 / - ー - / ー / ー		
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	140 / 40 / **ﾊﾟｲﾝ集成材(OS)** / ｼﾅ合板(OS)	165 / 40 / **ﾊﾟｲﾝ集成材(OS)** / ｼﾅ合板(OS)	110 / 40 / **ﾊﾟｲﾝ集成材(OS)** / ｼﾅ合板(OS)	140 / 40 / **ﾊﾟｲﾝ集成材(OS)** / ｼﾅ合板(OS)		
ガラス	-	-	-	-		
金物など	掘込取手、H、付属金物一式	引手、 付属金物一式	引手、ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、下レール 付属金物一式	掘込取手、H、付属金物一式		

符号・名称	1/TB トイレブース	2/TB トイレブース	3/TB トイレブース	4/TB トイレブース	5/TB トイレブース	1/SB シャワーブース
姿図	コマニー CB-ARSE同等品とする。 小松ウオール工業 TB-TP同等品とする。 	コマニー CB-ARSE同等品とする。 小松ウオール工業 TB-TP同等品とする。 	コマニー CB-ARSE同等品とする。 小松ウオール工業 TB-TP同等品とする。 	コマニー CB-ARSE同等品とする。 小松ウオール工業 TB-TP同等品とする。 	コマニー CB-ARSE同等品とする。 小松ウオール工業 TB-TP同等品とする。 	コマニー SHB同等品とする。 小松ウオール工業 SB-GPR同等品とする。 
取付場所 / 数量	2階:MWC / 1	3階:MWC / 1	3階:MWC / 1	1階:MWC / 1	3階:MWC / 1	1階:除染室 / 1
枠-くつずり / 水切-ぜん板/額縁 / 召合せ / がらり	ー / - ー - / ー / ー	ー / - ー - / ー / ー	ー / - ー - / ー / ー	ー / - ー - / ー / ー	ー / - ー - / ー / ー	- ー - / - ー - / ー / ー
枠見込 / 扉見込 / 枠仕上 / 扉仕上	ー / 40 / ー / **メラミン樹脂化粧板**	ー / 40 / ー / **メラミン樹脂化粧板**	ー / 40 / ー / **メラミン樹脂化粧板**	ー / 40 / ー / **メラミン樹脂化粧板**	ー / 40 / ー / **メラミン樹脂化粧板**	ー / 40 / ー / ー
ガラス	ー	ー	ー	ー	ー	-
金物など						付属金物一式

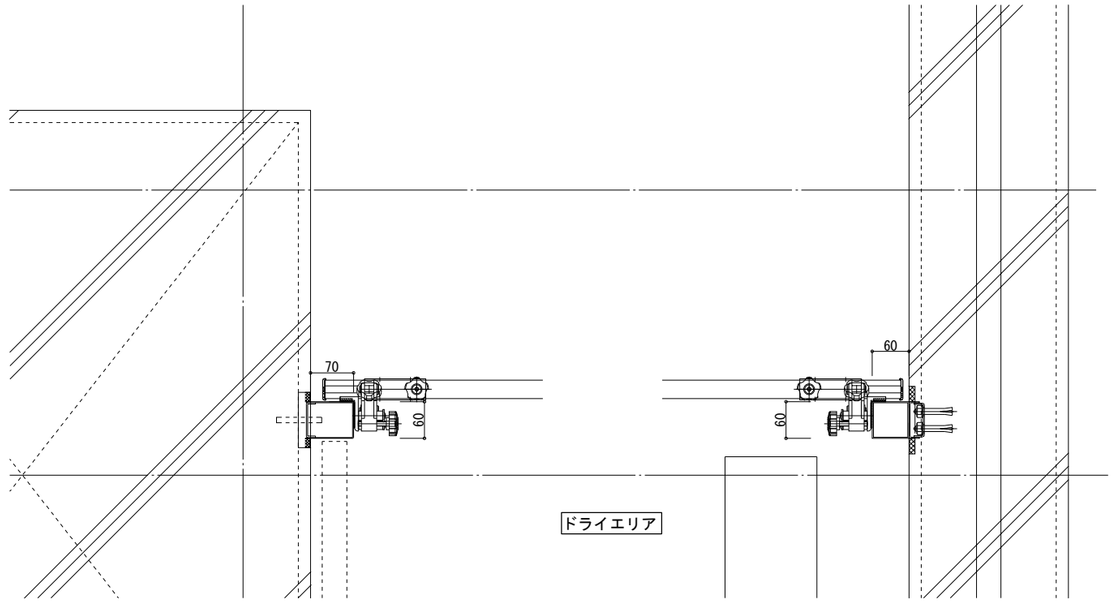
特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清
課長 担当課長 係長 担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課
製作年月日 2025年1月
工事名称 新中崎分署建設工事
図面名称 建具表(7)
縮尺 A1:1/50 A3:1/100
当初・変更・完成
図番 A508

防水板キープラン　1/150

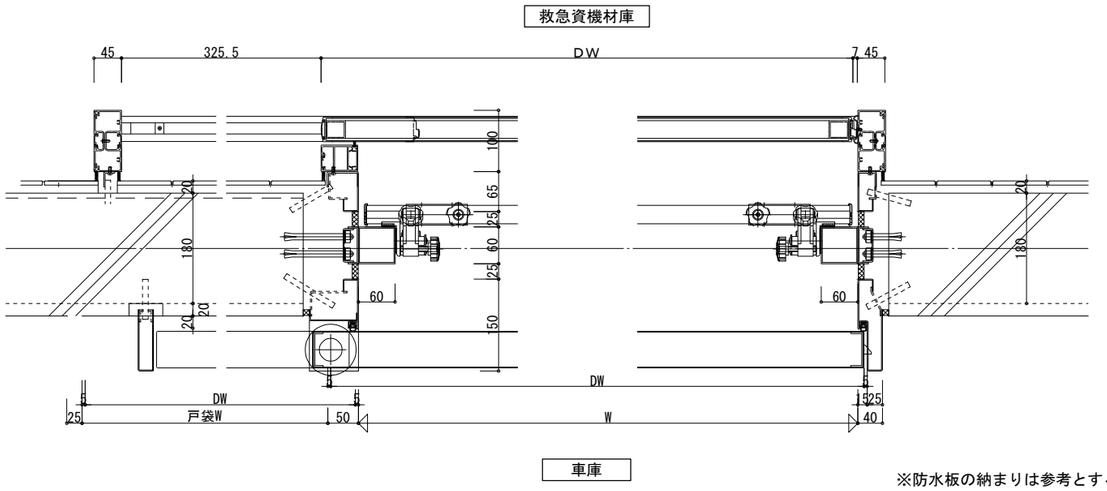


ドライエリア防水板 枠平面詳細図　1/5

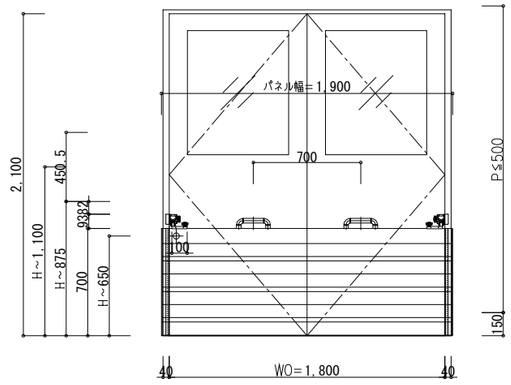


※防水板の納まりは参考とする。

AD-3, SD-3 枠平面詳細図　1/5



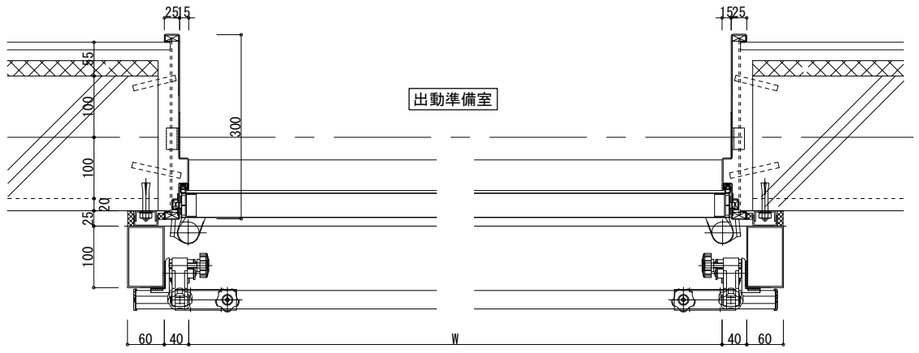
※防水板の納まりは参考とする。



防水板参考姿図　1/20

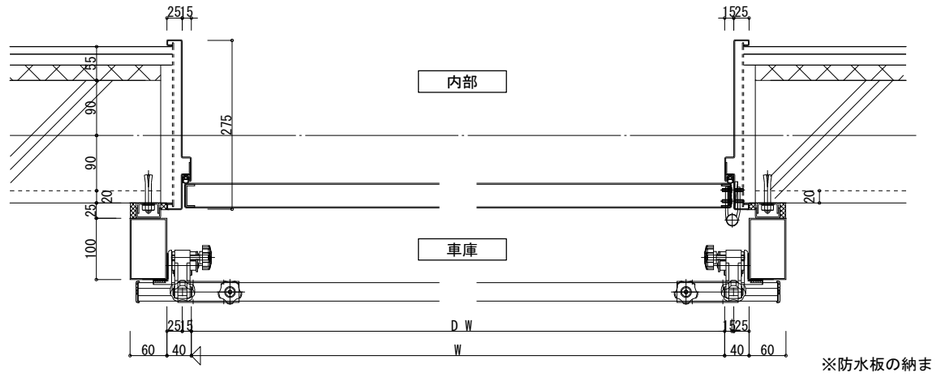
設 計 仕 様		
漏水量	Ws-4等級以上	
設計水深（有効高）	外水深	0.700m
	内水深	0.700m
水密方式	3方ゴム水密	
パネル	アルミまたはポリカ―ボネート	

SD-4 枠平面詳細図　1/5



※防水板の納まりは参考とする。

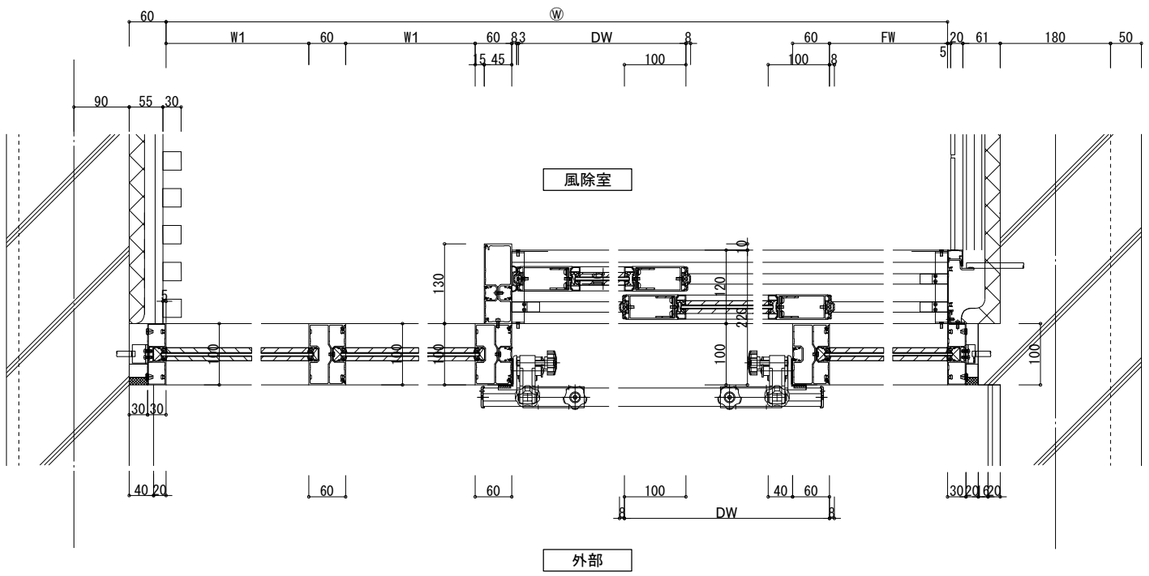
SD-6枠平面詳細図　1/5



※防水板の納まりは参考とする。

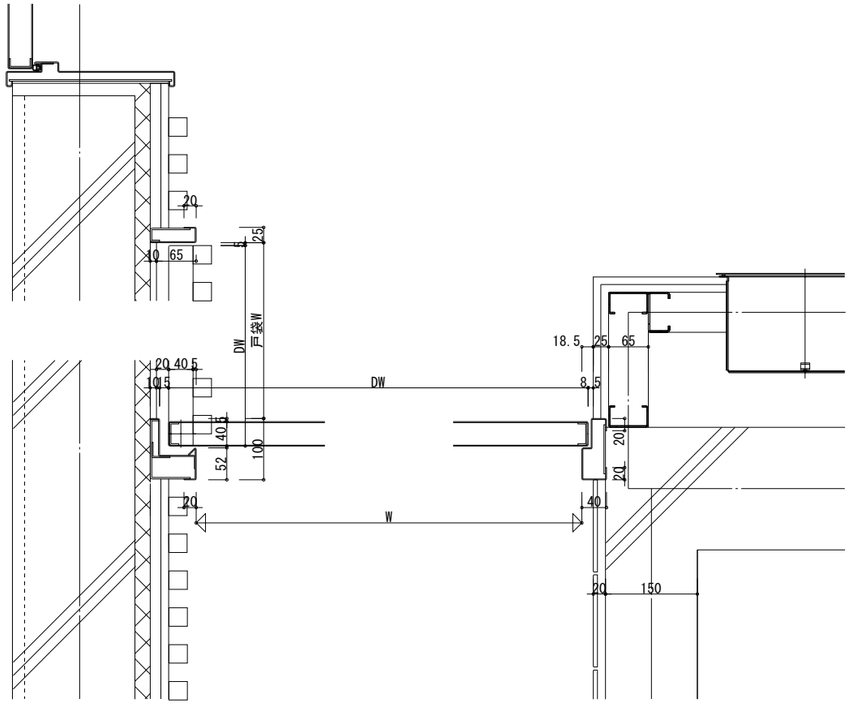
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任	係長	担当	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	新中崎分署建設工事	
							図面名称	建具詳細図(1)	縮尺 A1:図示 A3:図示	図番 A509

AD-1 枠平面詳細図 1/5

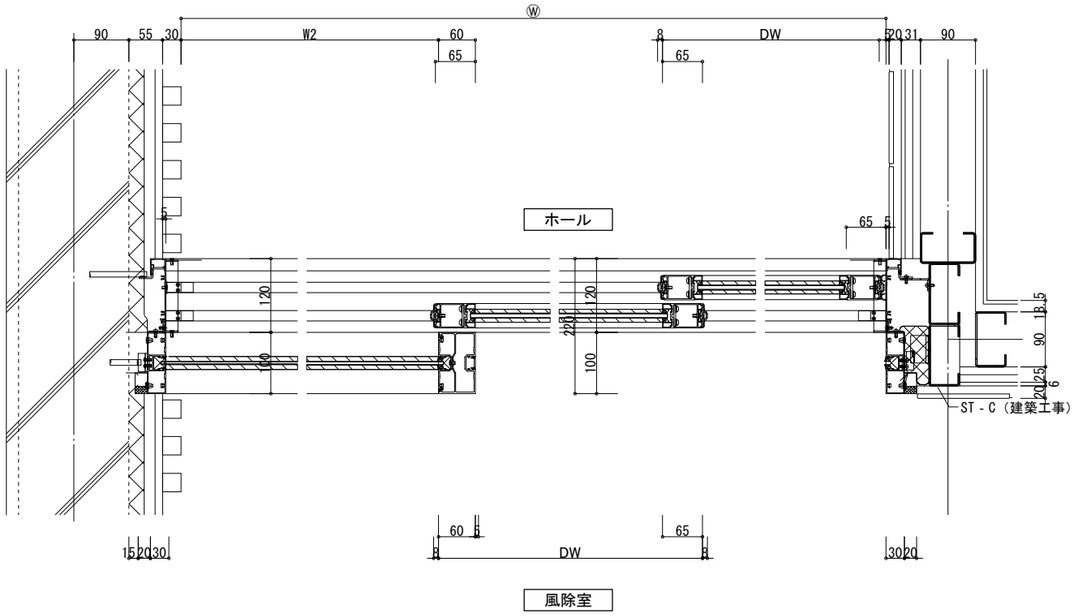


※防水板の納まりは参考とする。

SD-8 枠平面詳細図 1/5

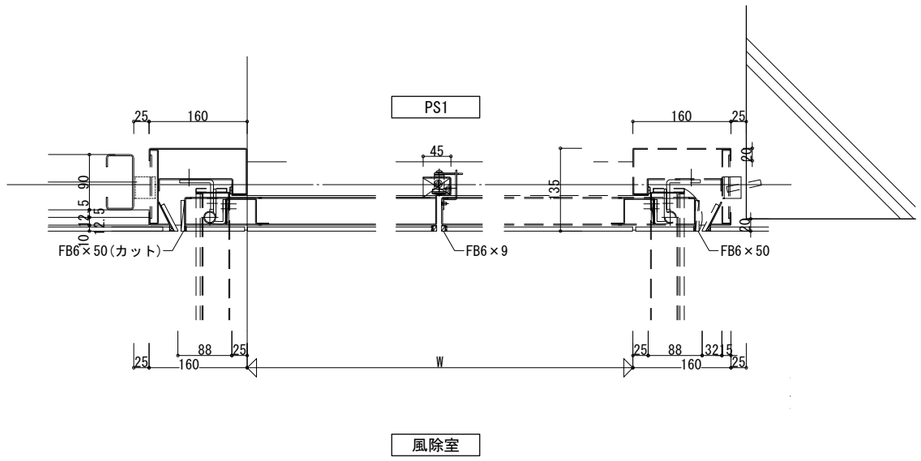


AD-2 枠平面詳細図 1/5



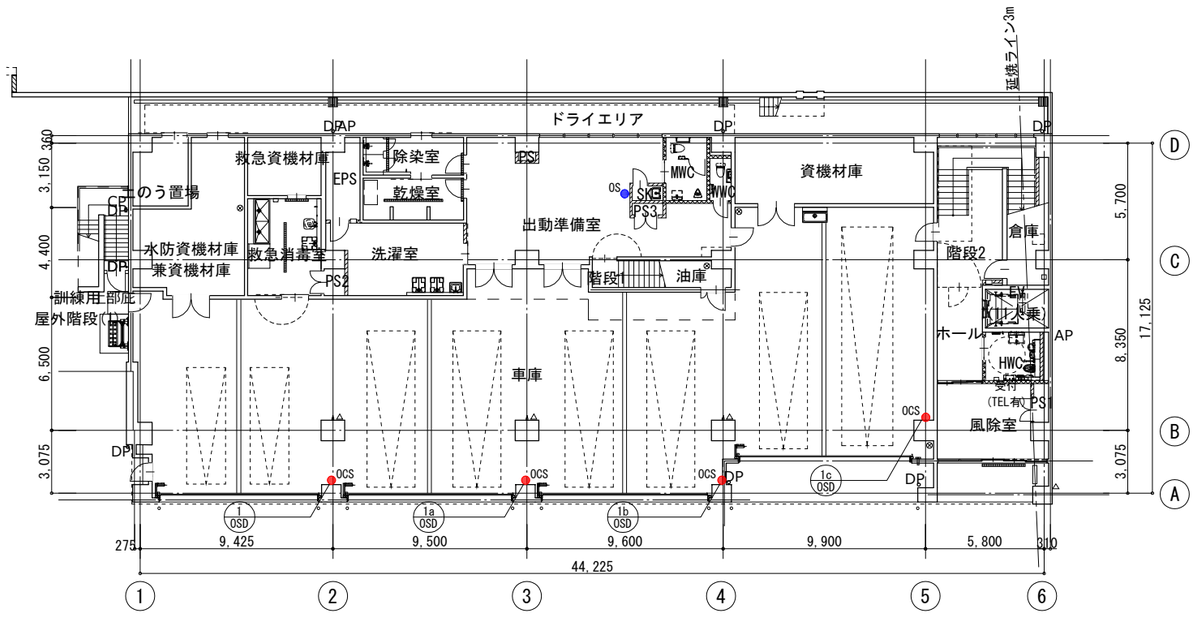
※防水板の納まりは参考とする。

SD-104 枠平面詳細図



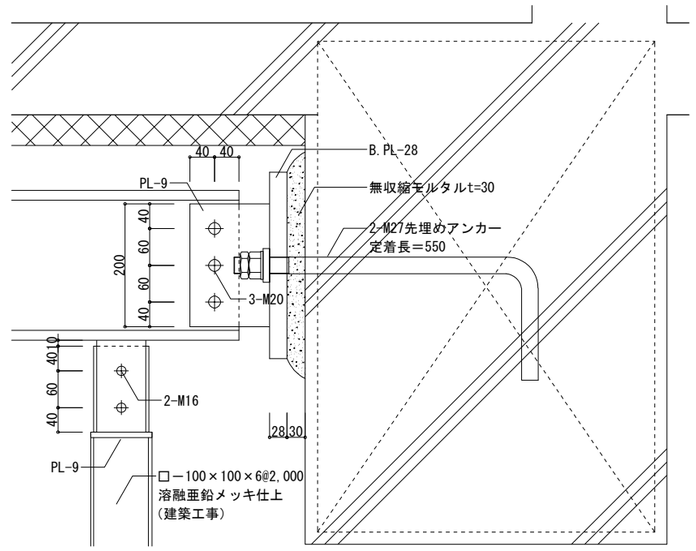
特記事項	株式会社あい設計 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 建具詳細図(2) 縮尺 A1:図示 A3:図示	図番 A510

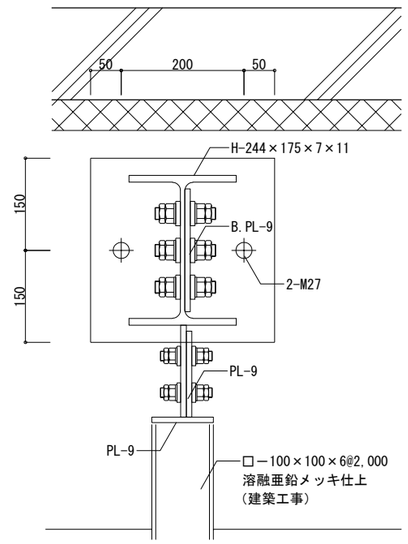
OSD スイッチキープラン 1/150

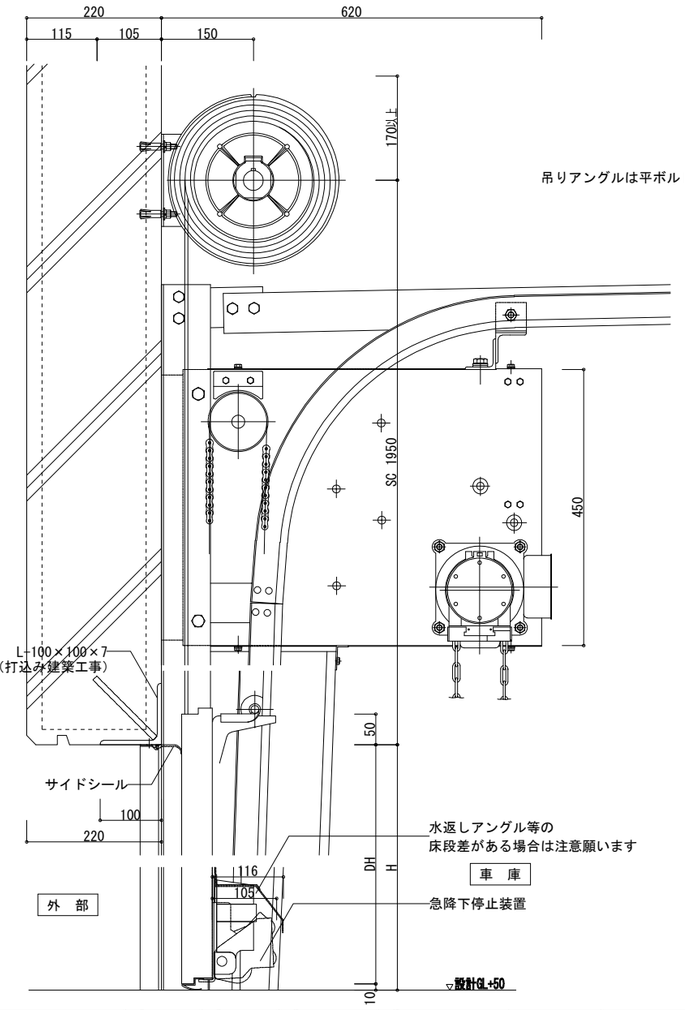


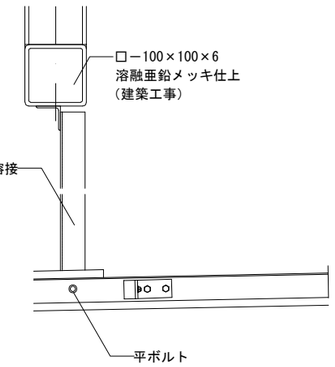
●OCS 三点押しボタンスイッチ(開・閉・停)
●OS 二点押しボタンスイッチ(開・停)
※二点押しボタンスイッチはすべてのOSDに対応とする
※出動注意灯と連動する仕様とする

OSD 断面詳細図 1/5

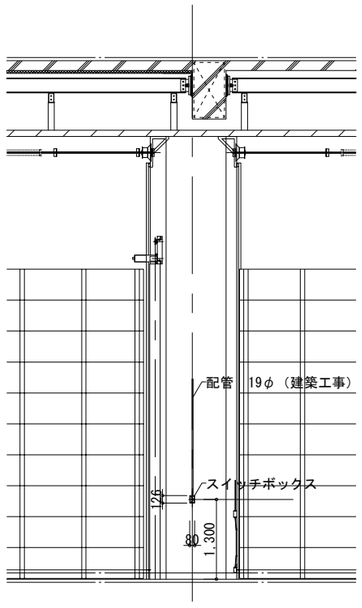




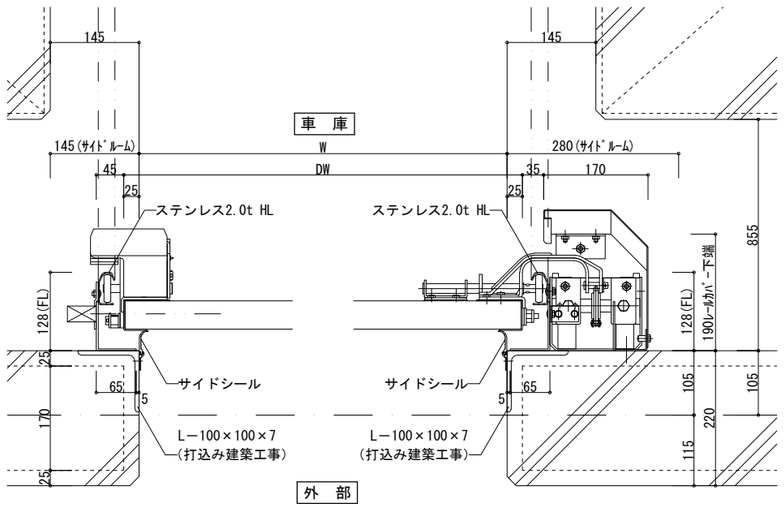




OSD 姿参考図 1/50



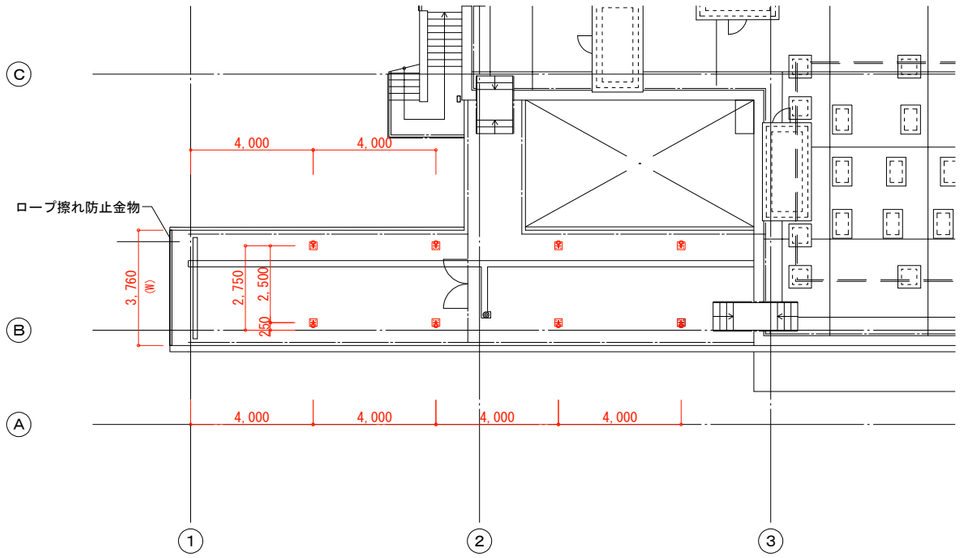
OSD 平面詳細図 1/5



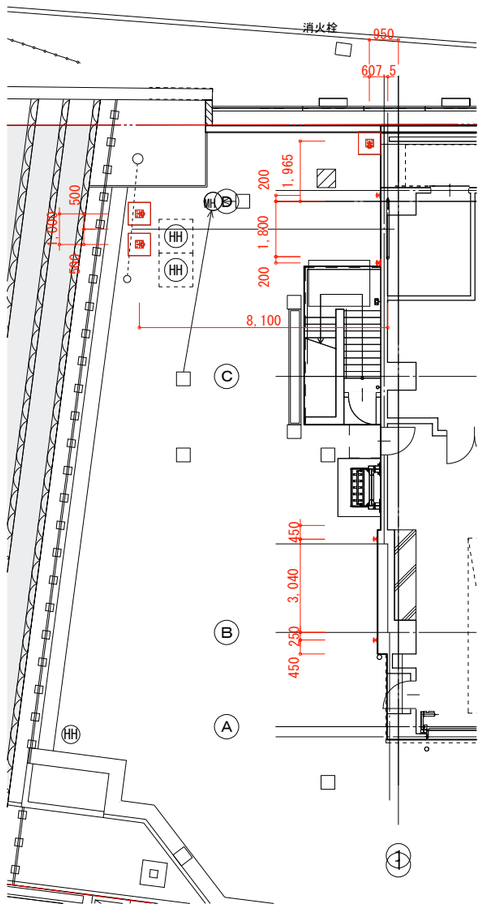
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	

工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
図面名称	建具詳細図(3)	縮尺 A1:図示 A3:図示
図番	A511	

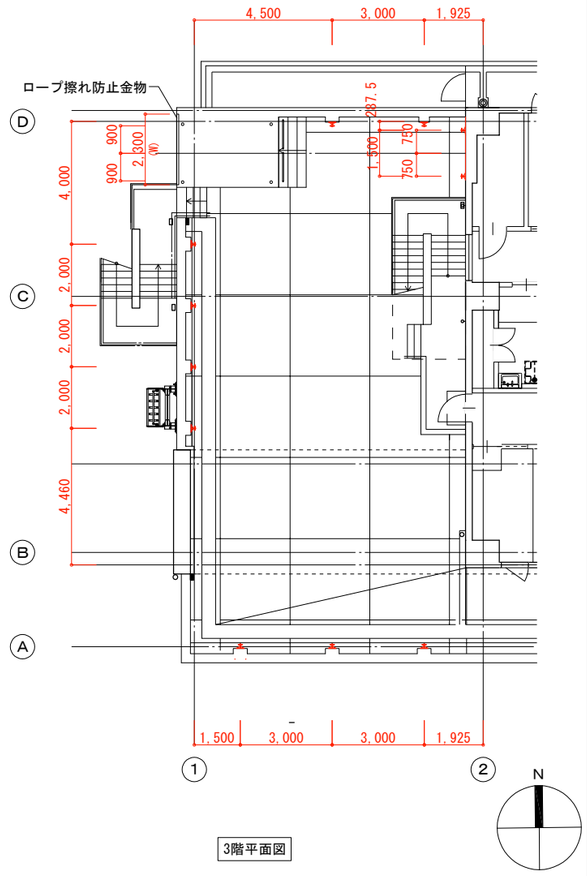
訓練用アンカーキープラン　S=1:150



屋根伏図



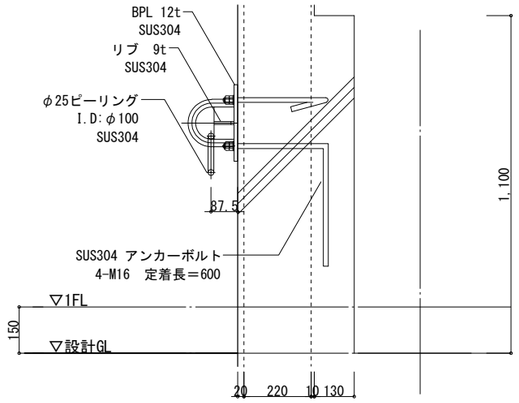
1階平面図



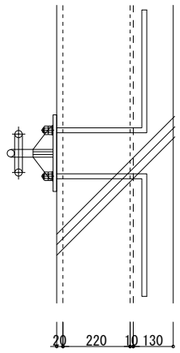
3階平面図

丸環アンカー　S=1:10

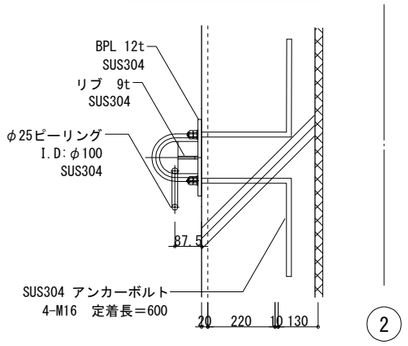
運用荷重20KN



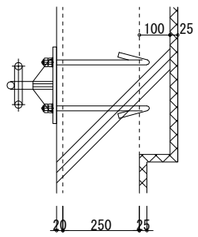
断面図(1階土のう置場) S=1:10



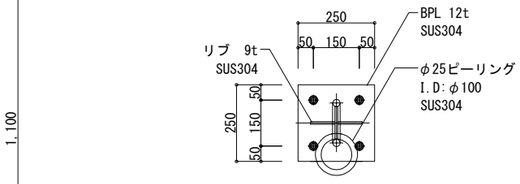
平面図(1階土のう置場) S=1:10

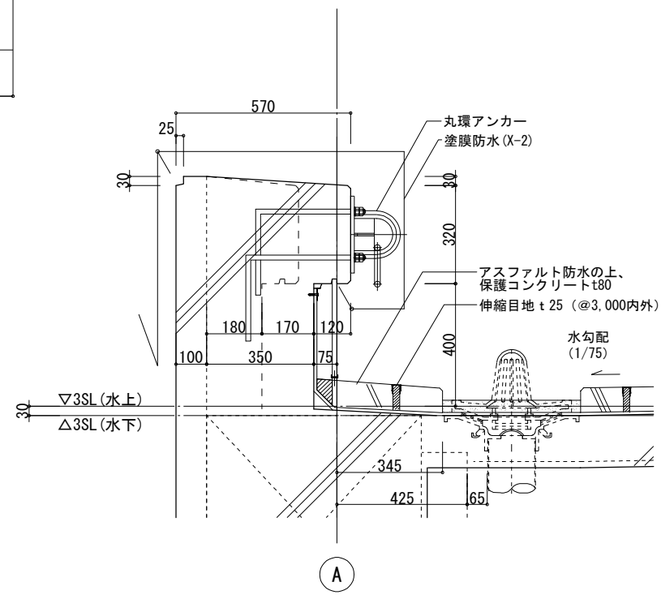


断面図(3階EPS) S=1:10

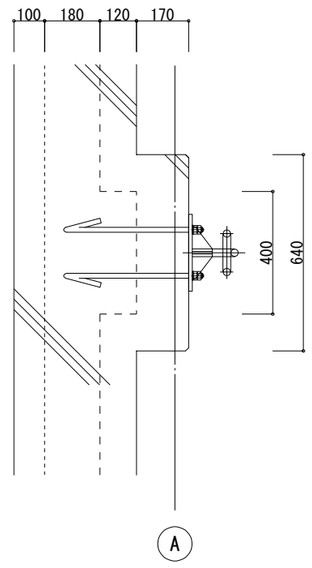


平面図(3階EPS) S=1:10





断面図(3階バルコニー) S=1:10

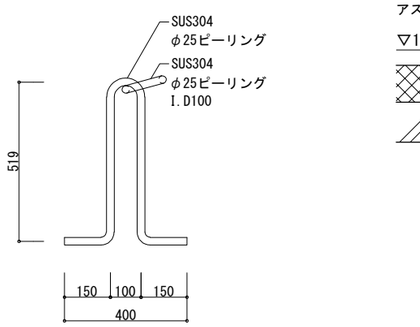


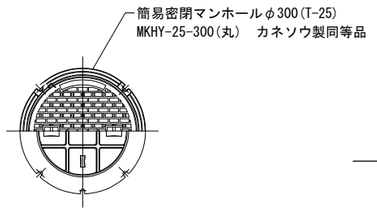
平面図(3階バルコニー) S=1:10

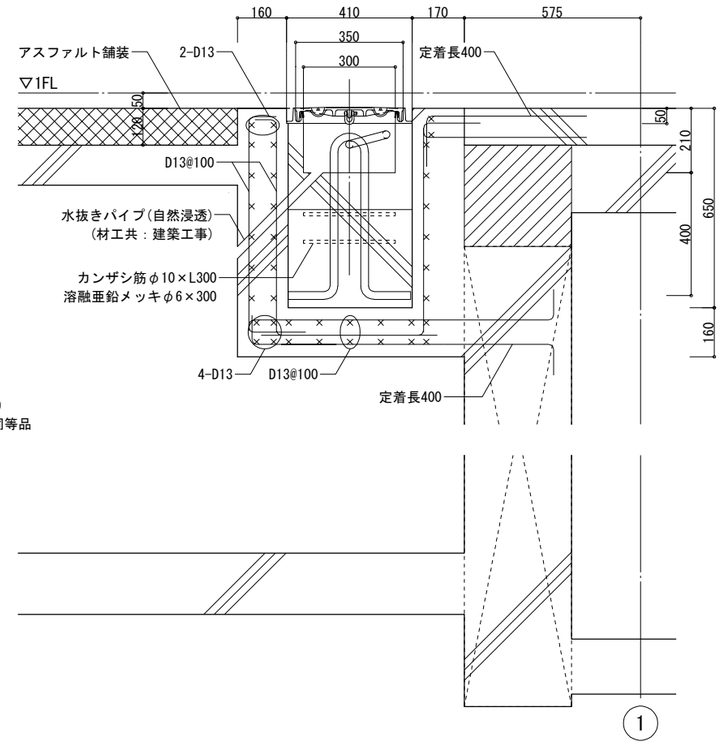
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	訓練用部分詳細図(1)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A601

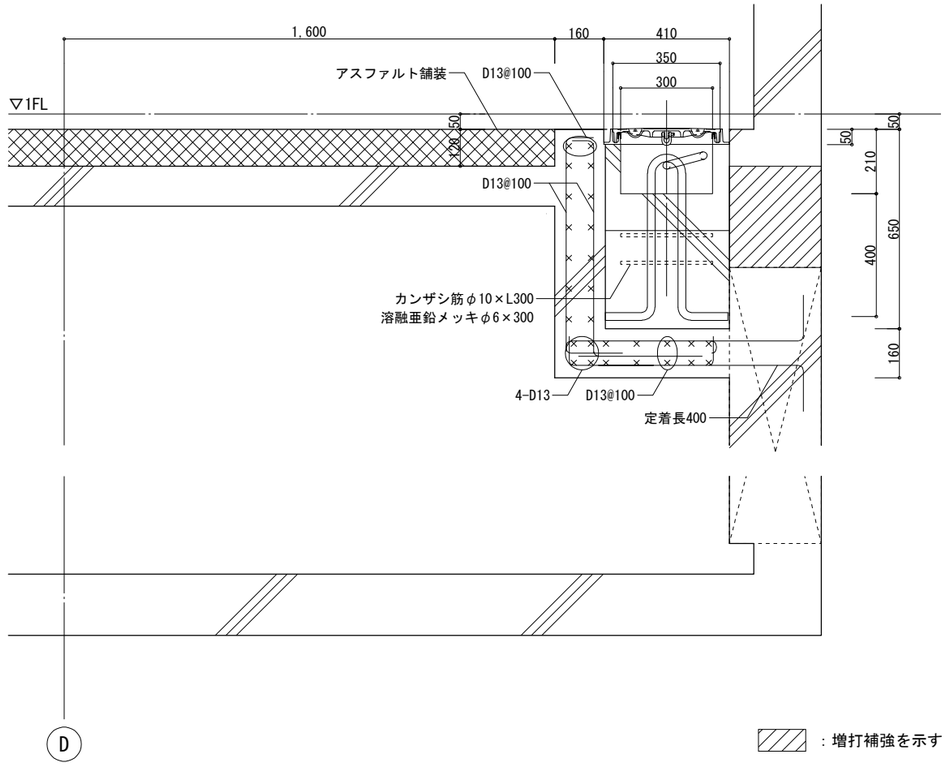
V 地上マンホール（リング環付き）B

S=1:10





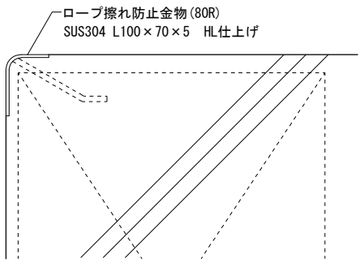




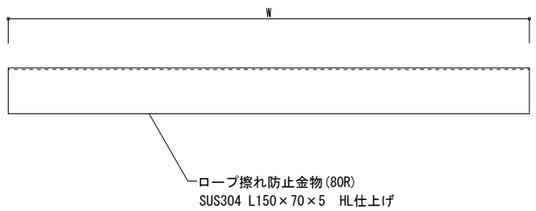
：増打補強を示す

救助ロープ擦れ防止金物

S=1:10



断面図　S=1:5

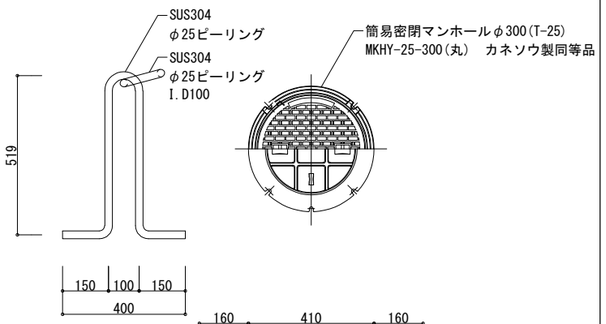


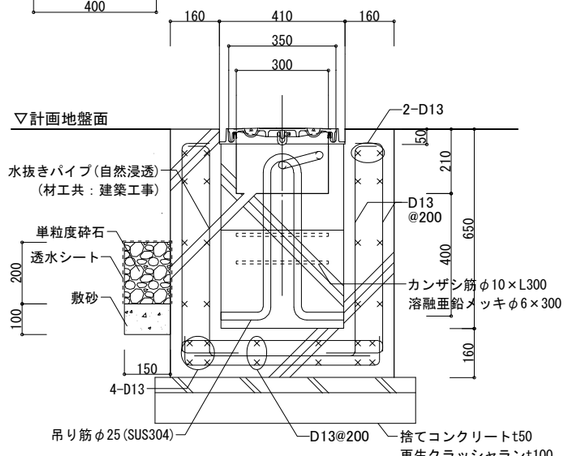
姿図 S=1:10

※Wはキープランによる

P 地上マンホール（リング環付き）A

S=1:10



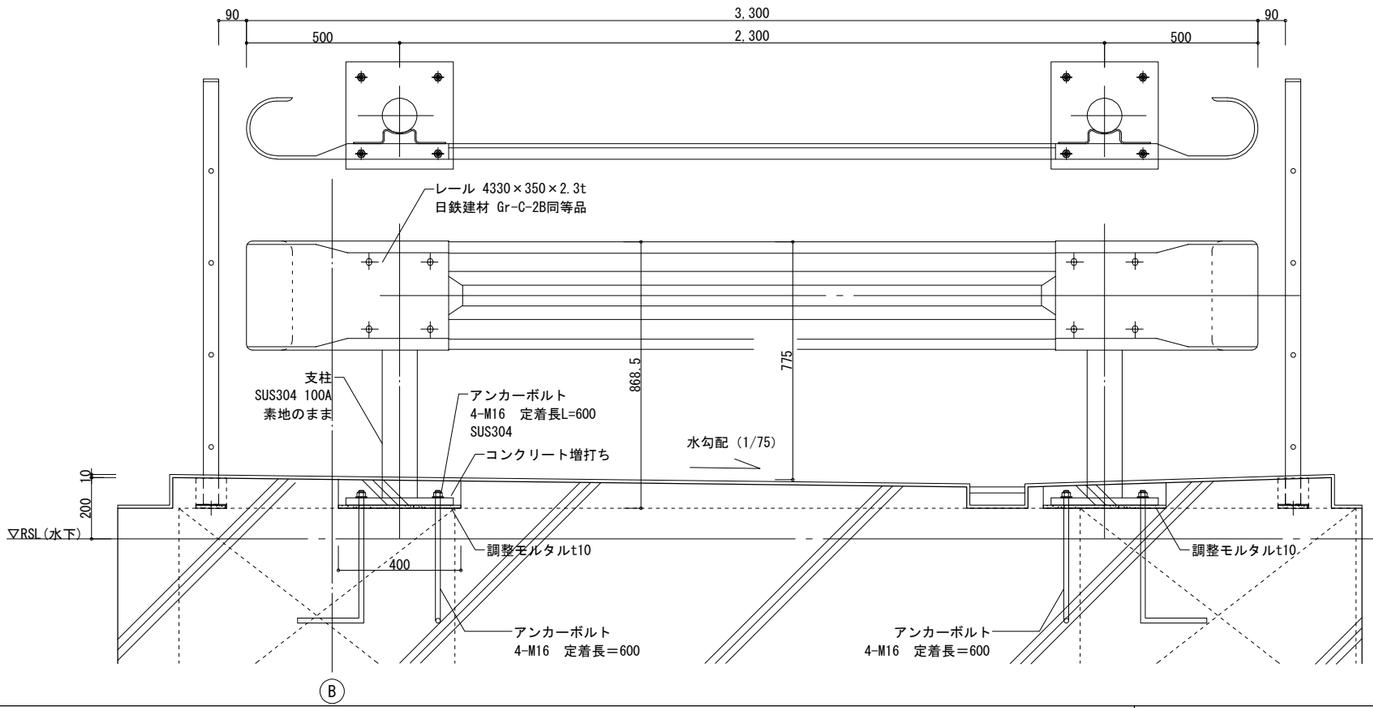


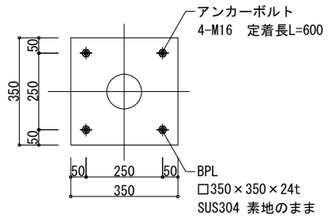
コンクリート:Fc-21-18-20

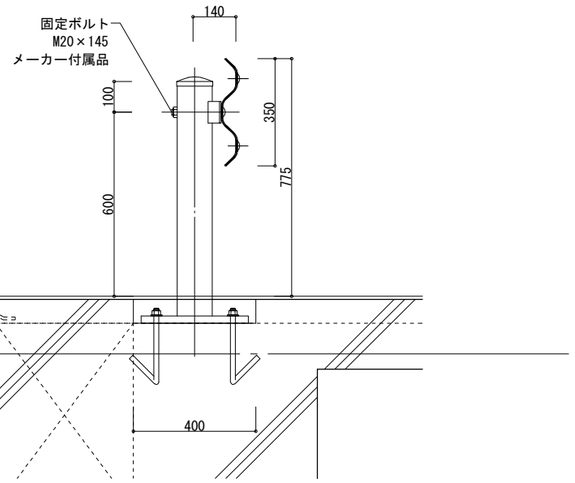
特記事項		株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者	佐藤	貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		2025年1月	図面名称	訓練用部分詳細図(2)　縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A602

ガードレール　S=1:10

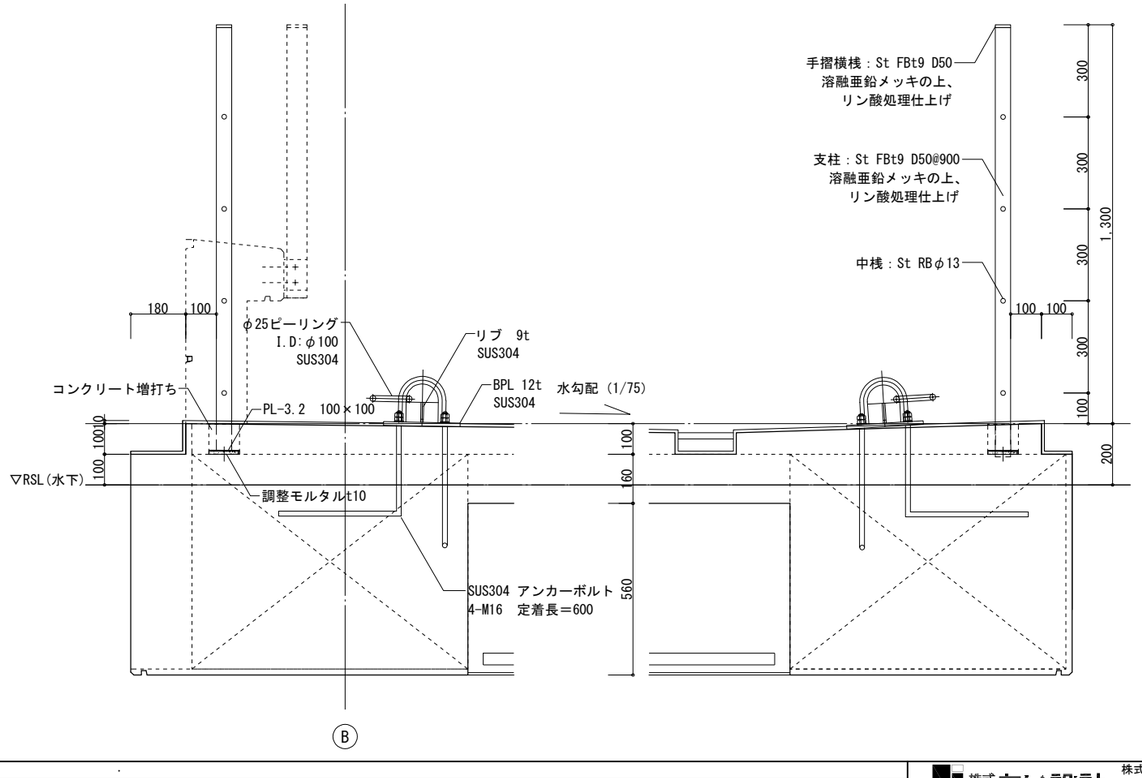
運用荷重20KN（但しガードレール本体に耐荷重は設定不可。柱1本につき10KNの荷重条件）







訓練用通路(屋上)　S=1:10

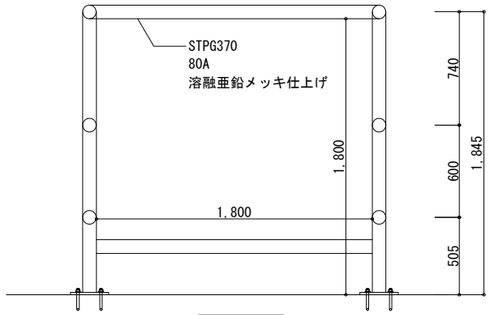


特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 訓練用部分詳細図(3)　縮尺 A1:図示 A3:図示/2
	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当		当初・変更・完成　図番 A603

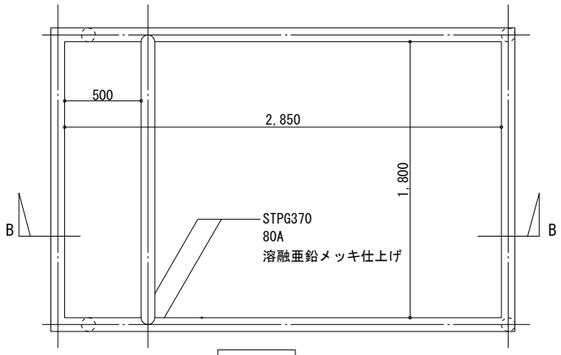
救助やぐら S=1:20

※運用荷重7KN

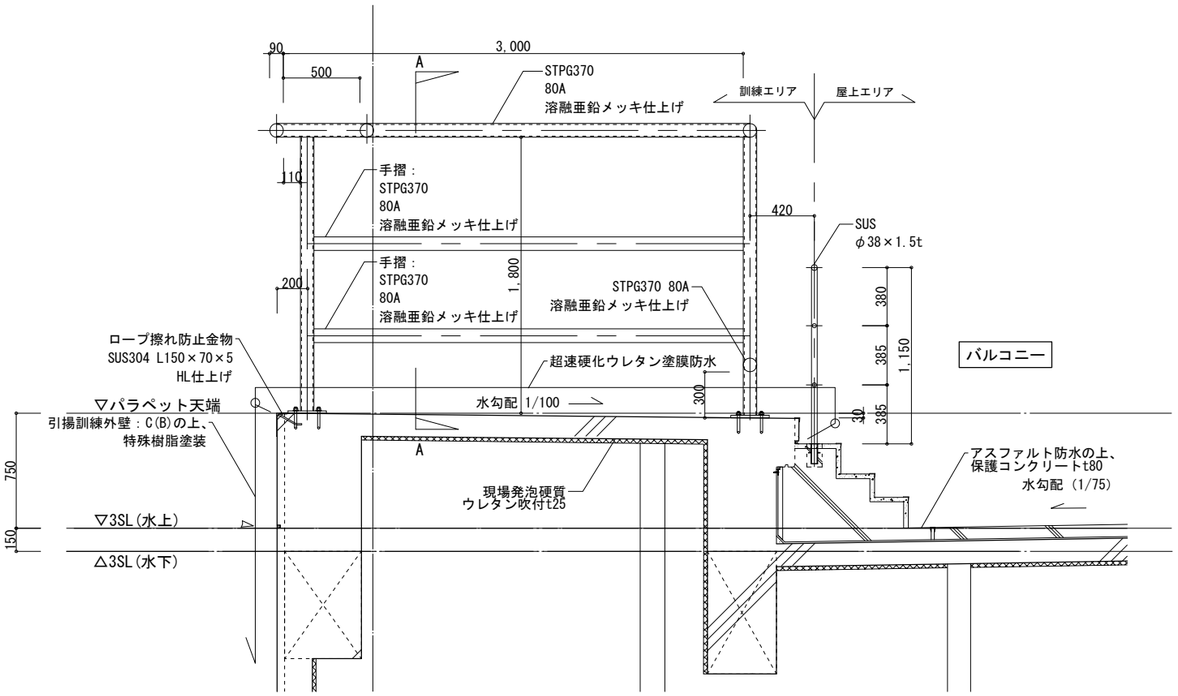
施工業者は、本訓練における荷重方向を考慮した構造計算書を提出し、承認を得ること



A-A断面図

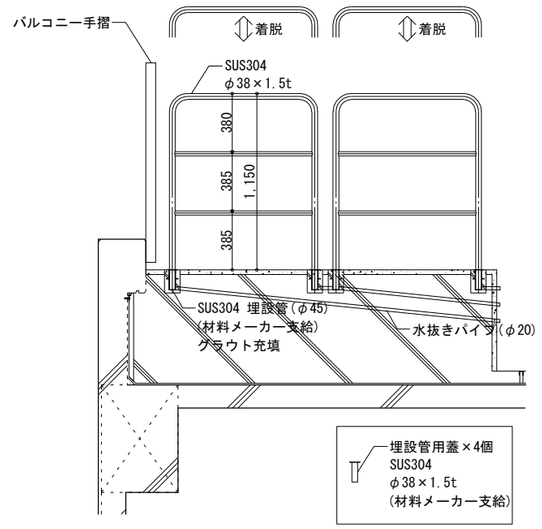


平面図



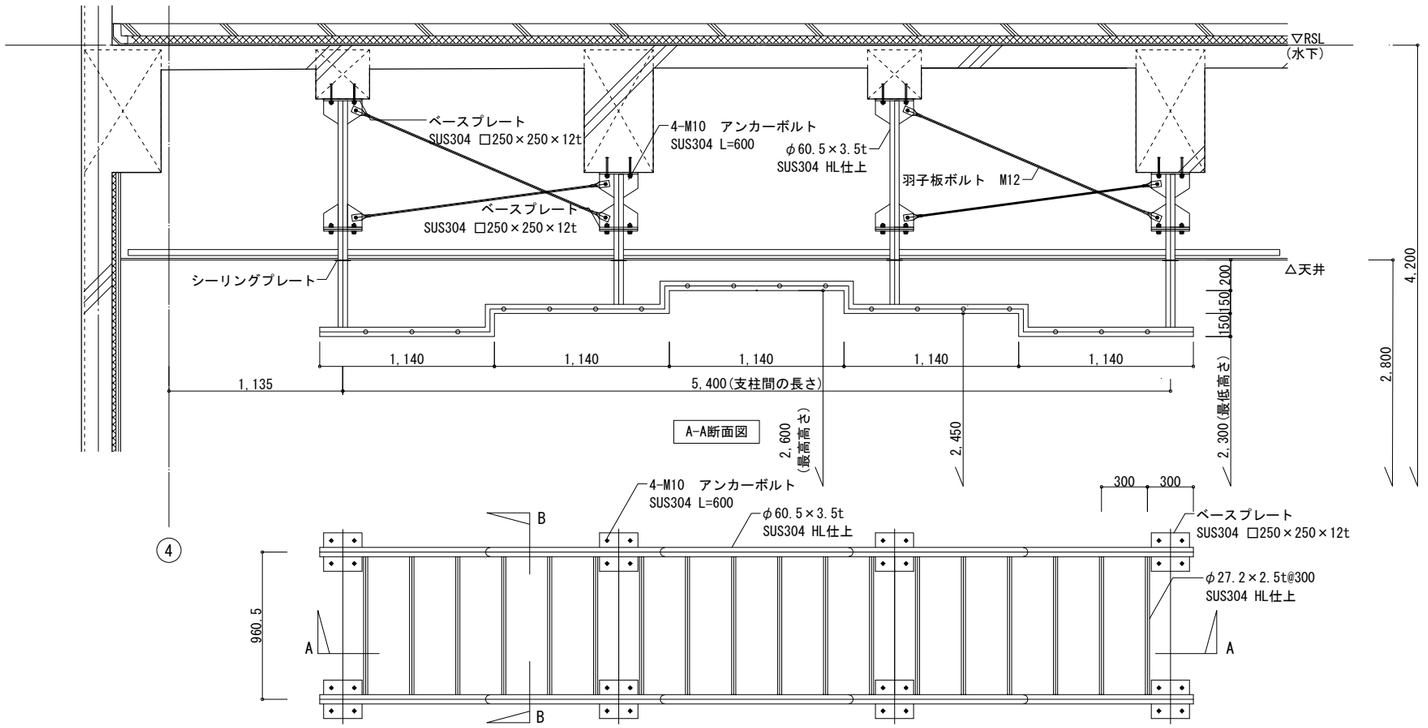
1

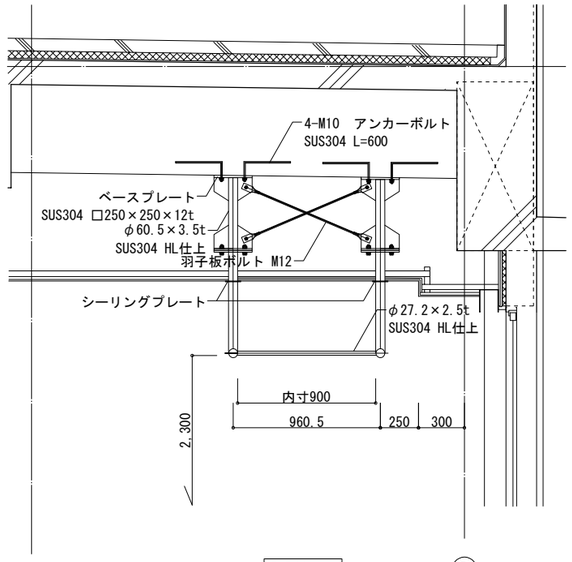
B-B断面図



北立面図 S=1/40

雲梯 S=1:20



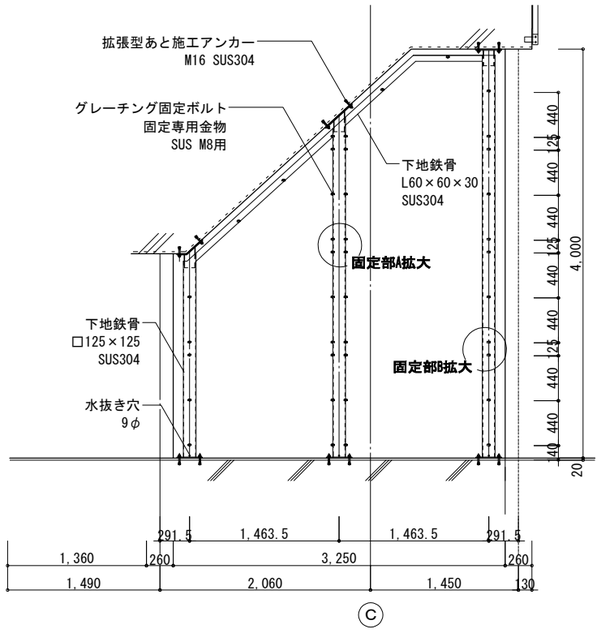


B-B断面図

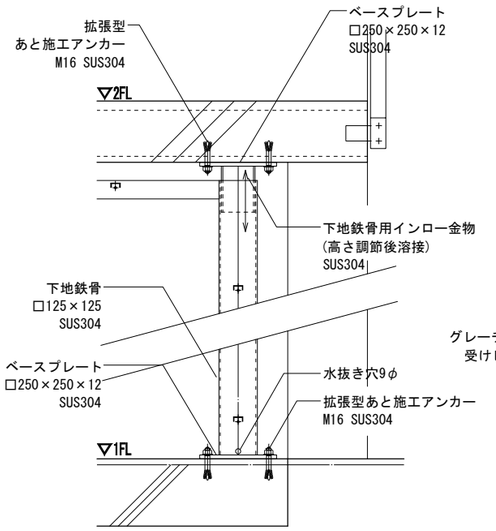
特記事項	株式会社あい設計 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	訓練用部分詳細図(4)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A604

放水壁 S=1:30

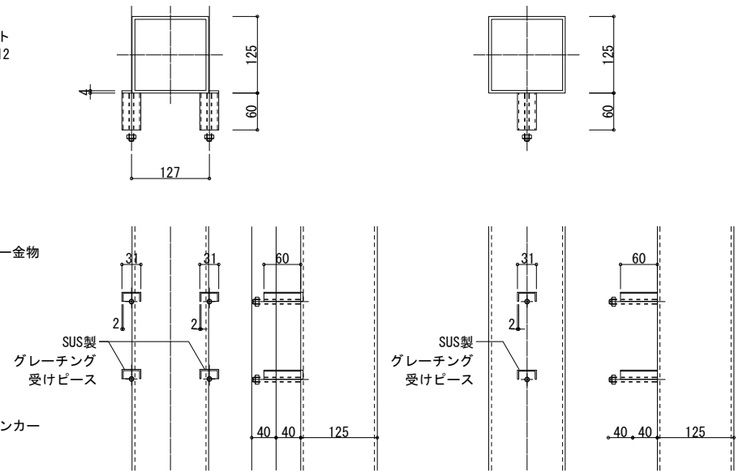
※本工事は、消防訓練施設で施行経験がある業者とする



下地鉄骨割り付け 1/30



根太上下部詳細図 1/10

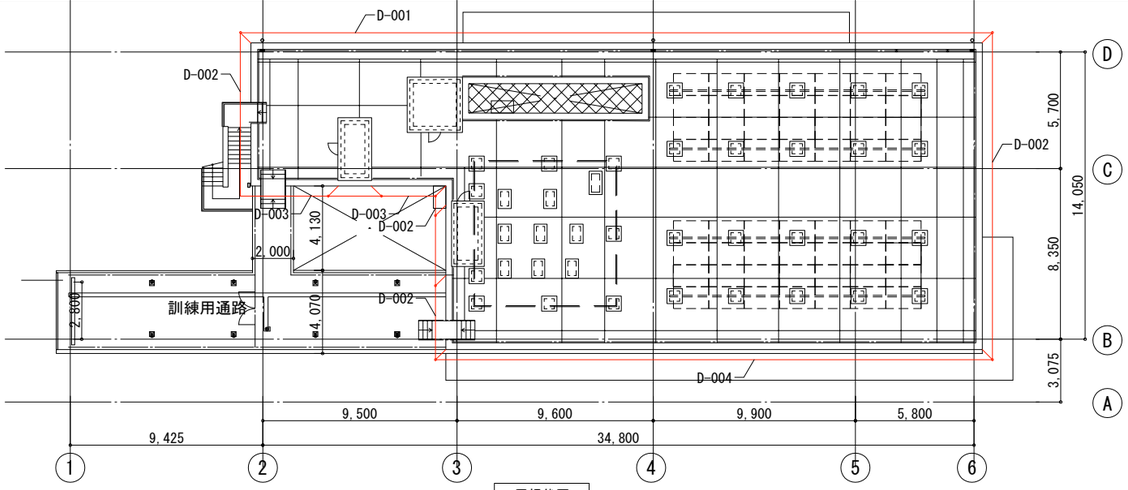


固定部A拡大図 1/5

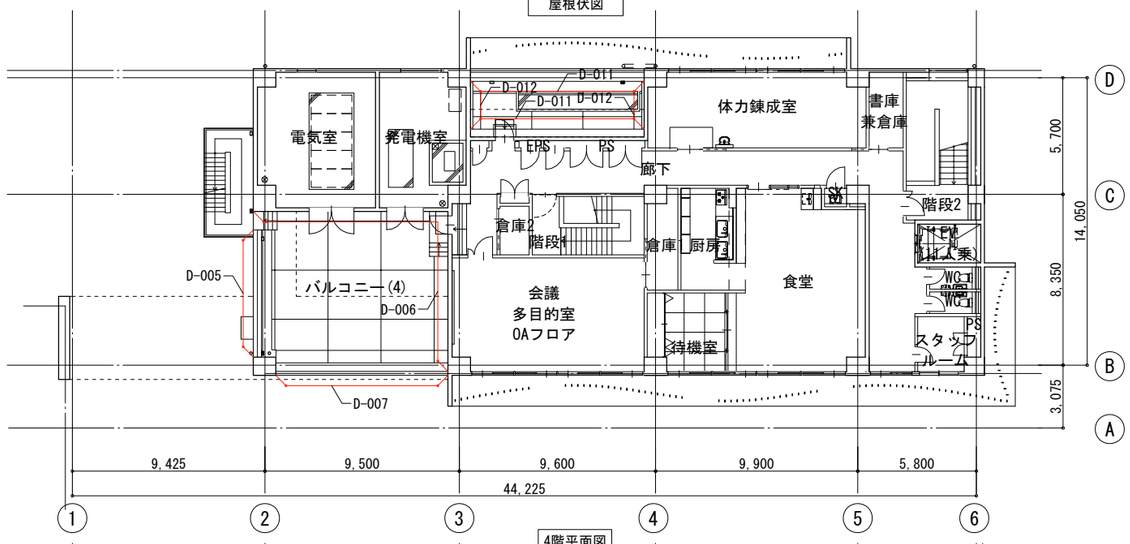
固定部B拡大図 1/5

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 訓練用部分詳細図(5)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A605

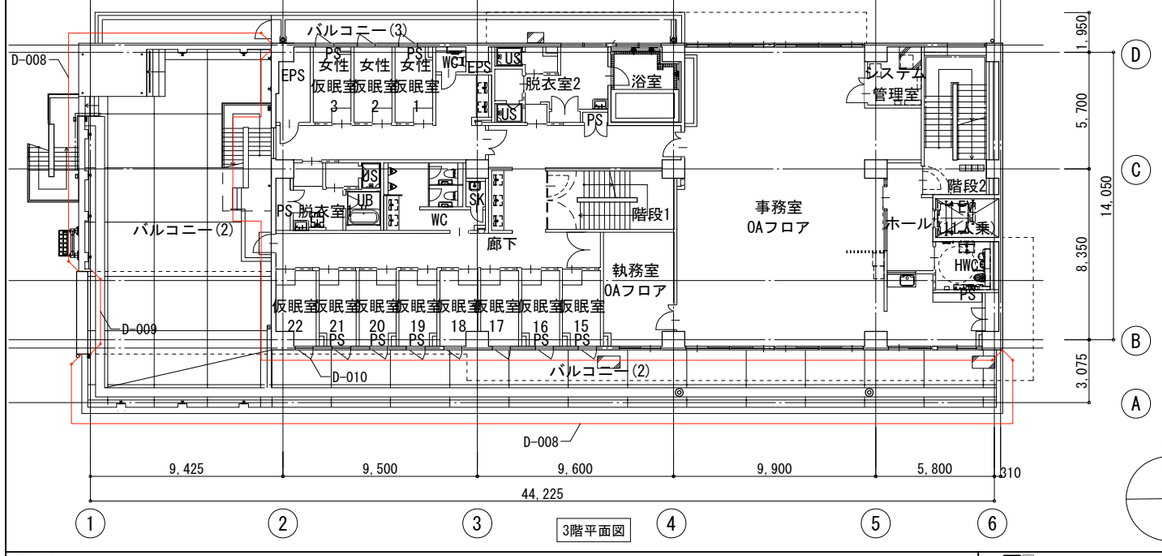
屋外防水キープラン　S=1:150



屋根伏図



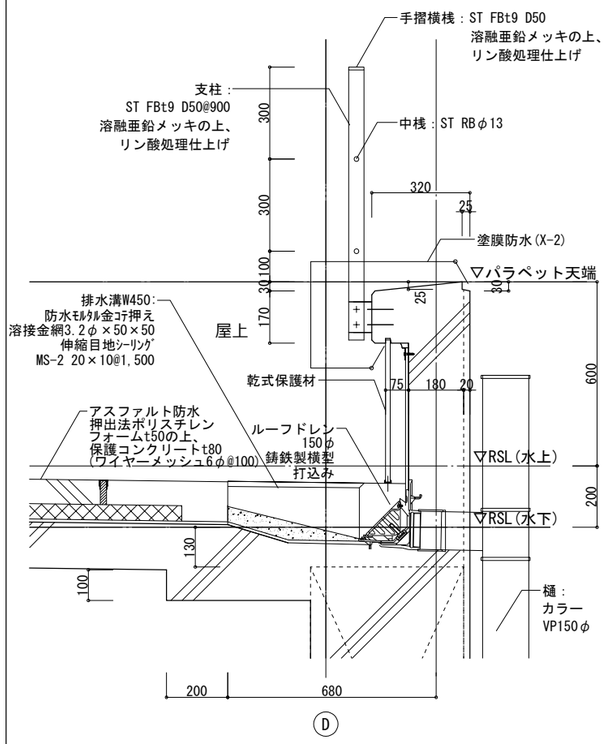
4階平面図



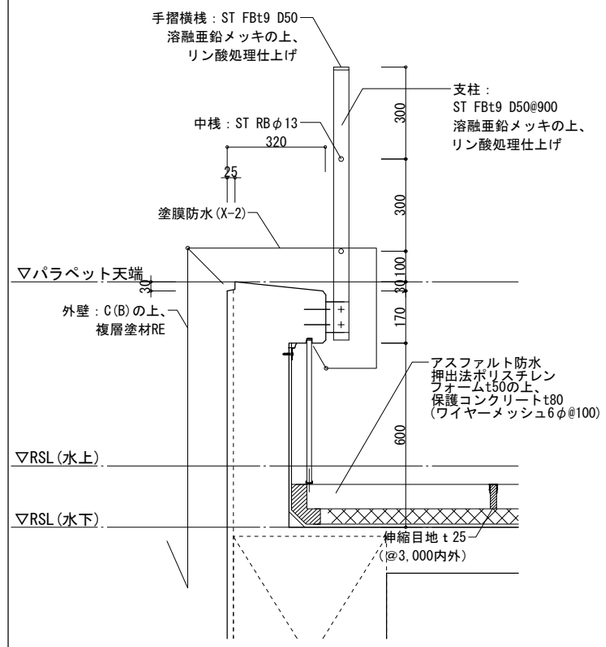
3階平面図

N

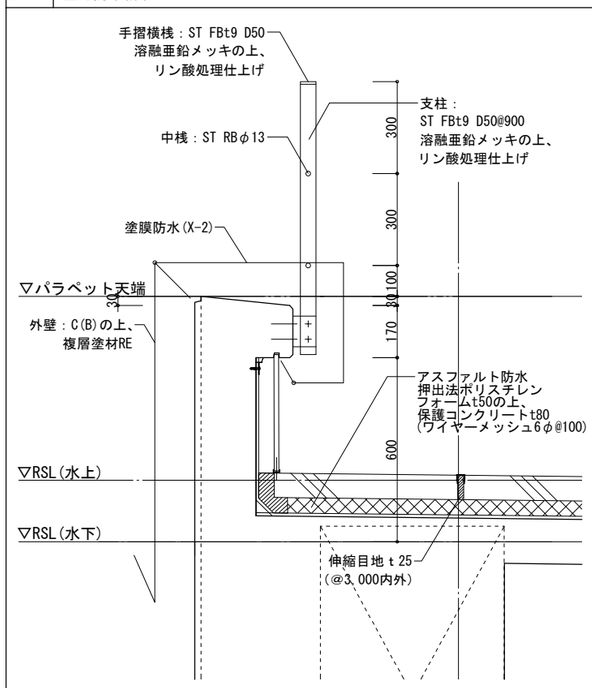
D-001　屋外防水詳細　S=1:10



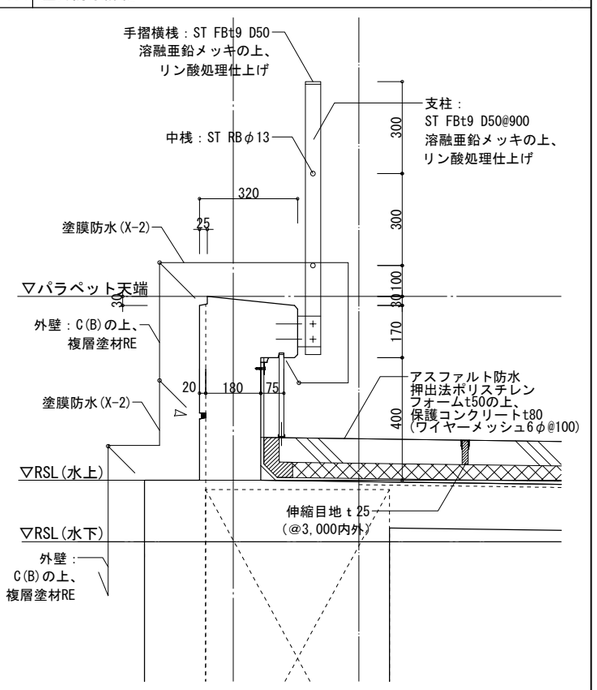
D-002　屋外防水詳細　S=1:10



D-003　屋外防水詳細　S=1:10



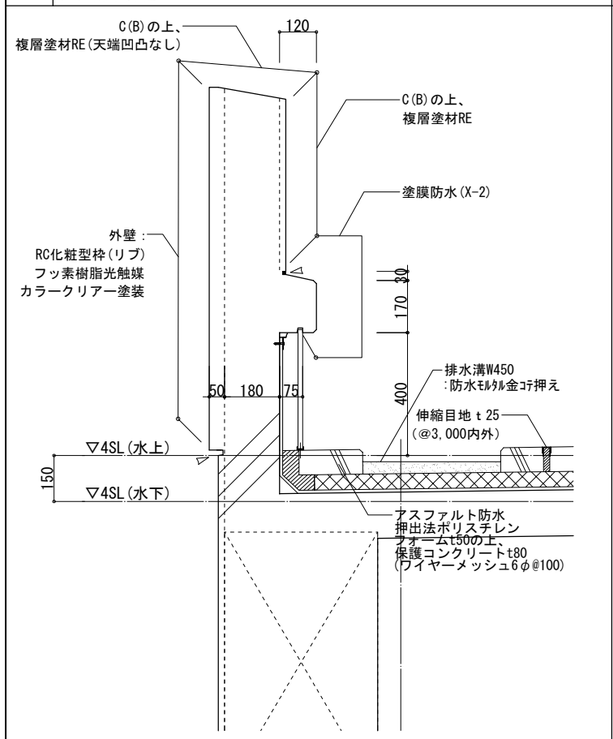
D-004　屋外防水詳細　S=1:10



凡例
▷ シーリング

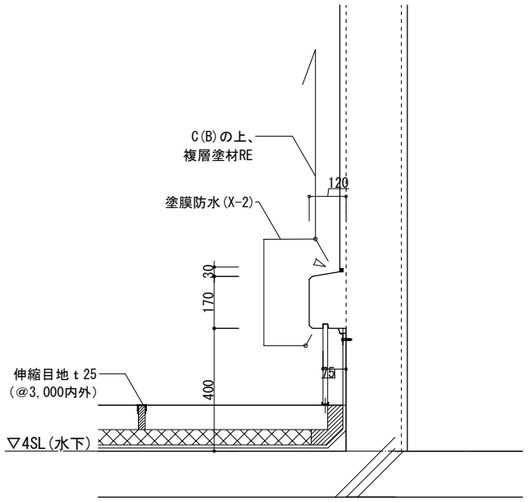
特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 部分詳細図(1) / 縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 A606

D-005 屋外防水詳細 S=1:10



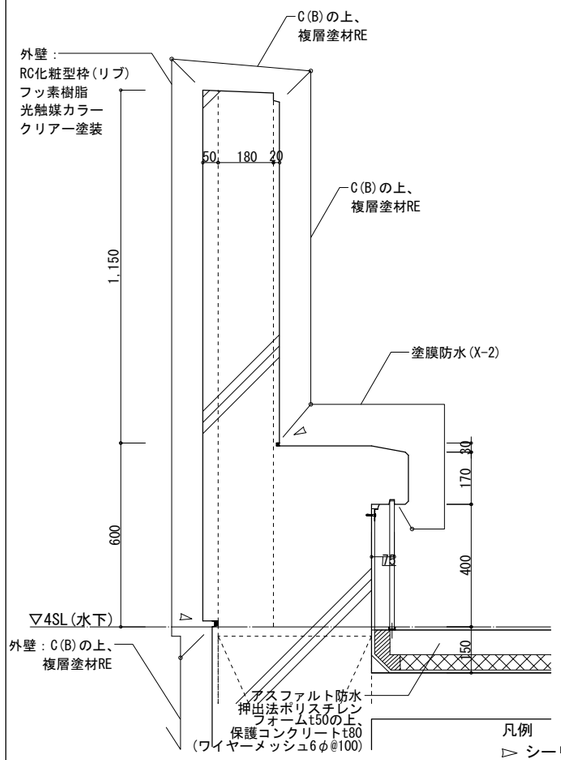
凡例
▷ シーリング

D-006 屋外防水詳細 S=1:10



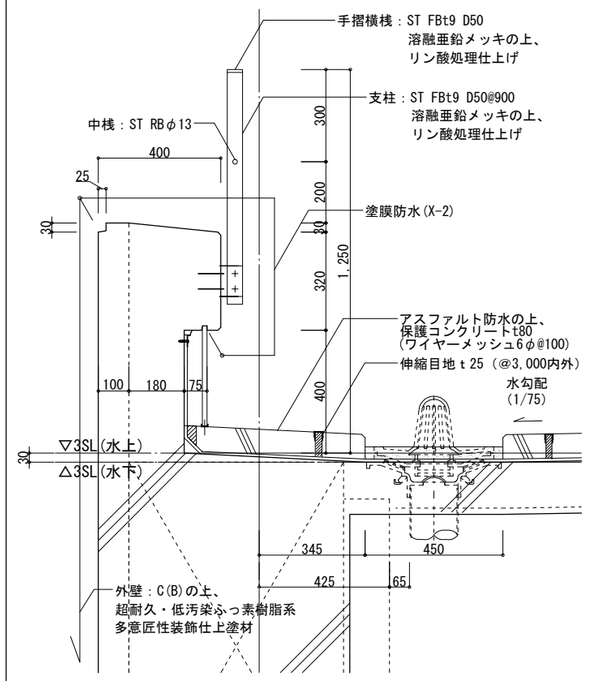
凡例
▷ シーリング

D-007 屋外防水詳細 S=1:10



凡例
▷ シーリング

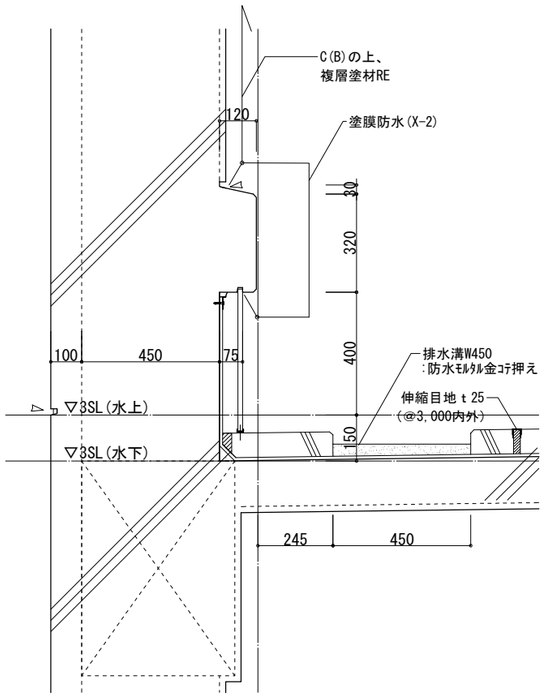
D-008 屋外防水詳細 S=1:10



凡例
▷ シーリング

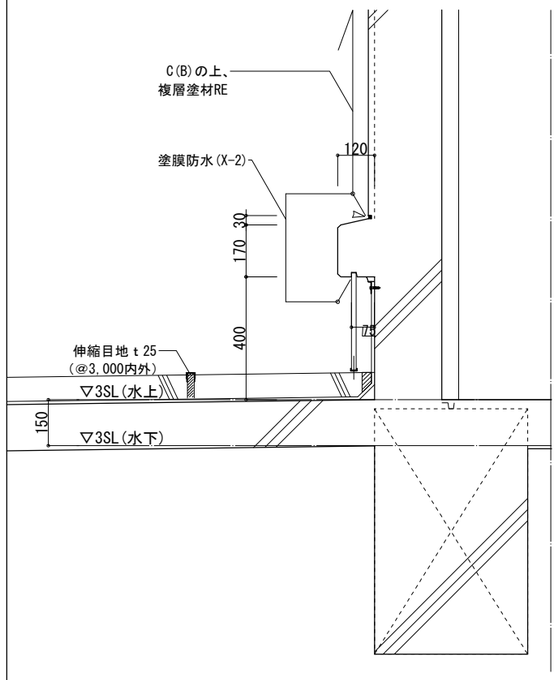
※西側は横引きドレン

D-009 屋外防水詳細 S=1:10



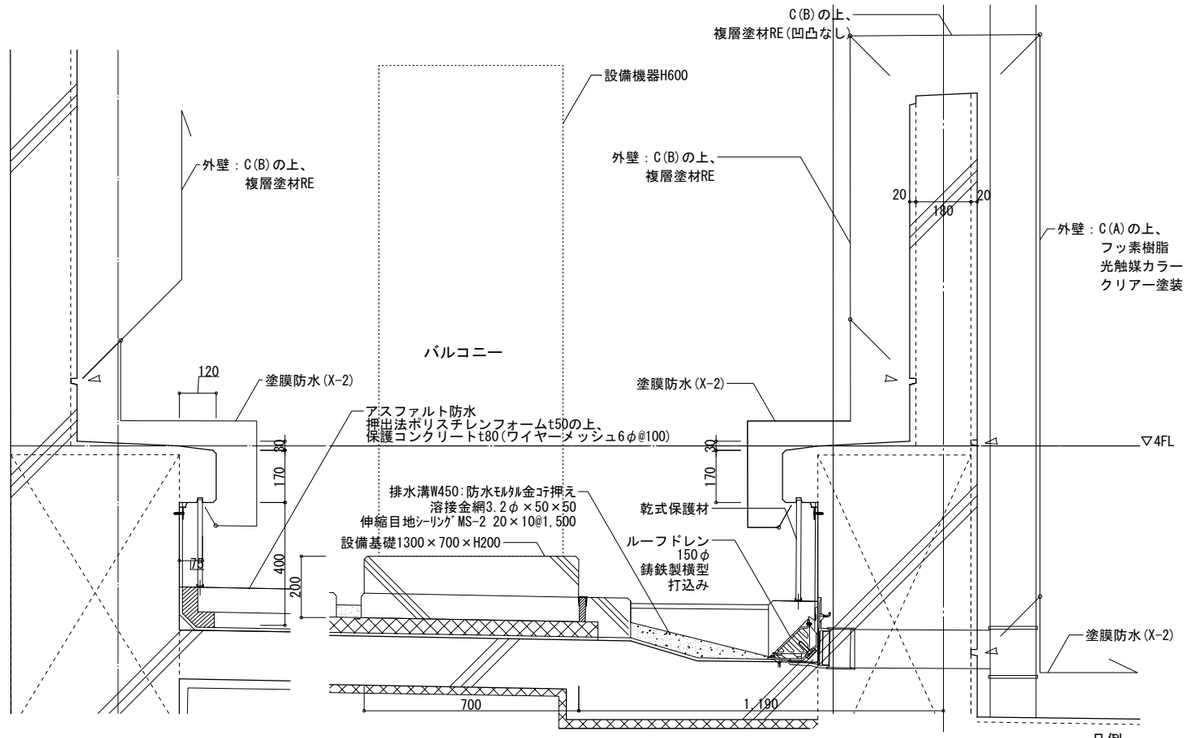
凡例
▷ シーリング

D-010 屋外防水詳細 S=1:10



凡例
▷ シーリング

D-011 バルコニー(5)設備基礎 S=1:10

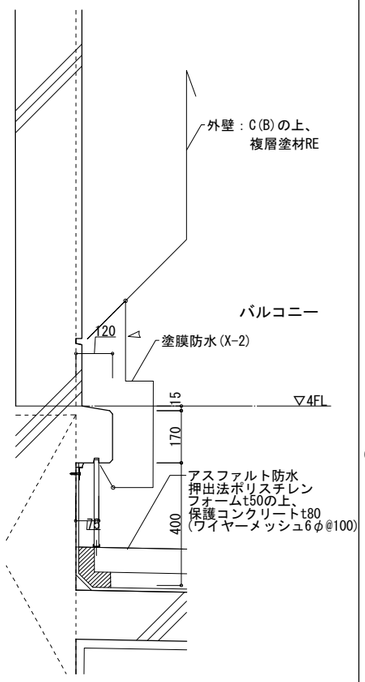


D

凡例
▷ シーリング

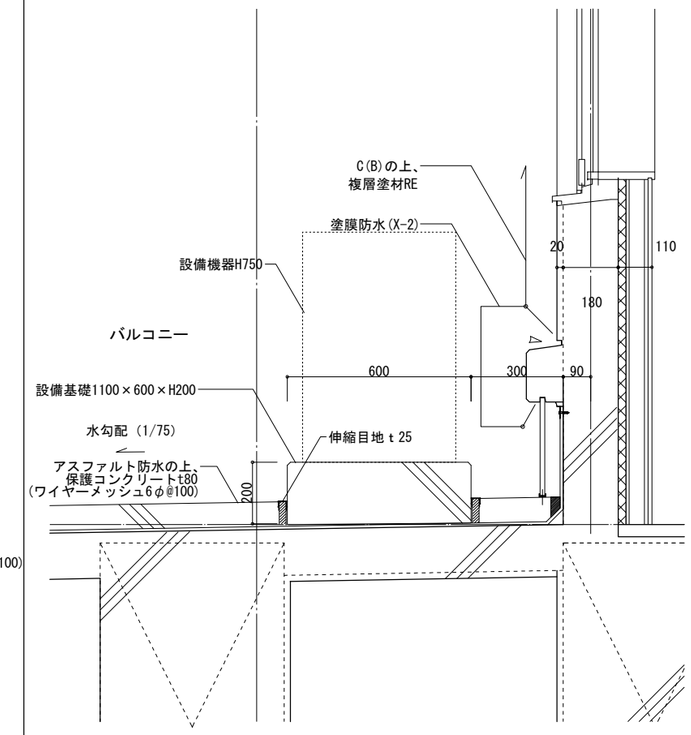
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 部分詳細図(2)	縮尺 A1：図示 A3：図示/2	図番 A607	

D-012 屋外防水詳細 1/10



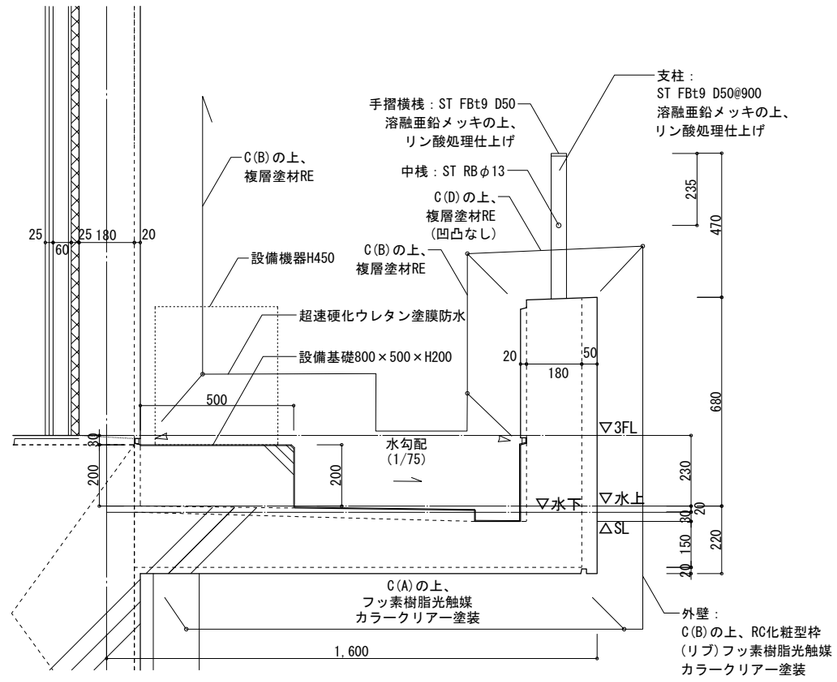
凡例
▷ シーリング

バルコニー(2)設備基礎 1/10



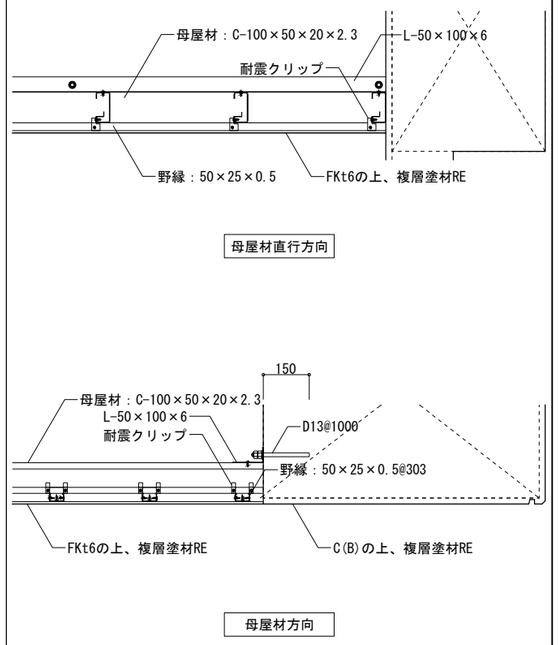
凡例
▷ シーリング

バルコニー(3)設備基礎 S=1:10



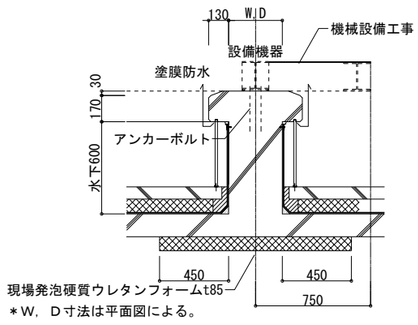
凡例
▷ シーリング

屋外天井下地 S=1:10



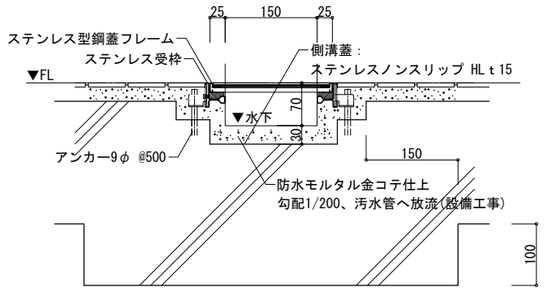
※母屋材のピッチは天伏図による

設備関連：屋上設備用基礎詳細図 S=1:20

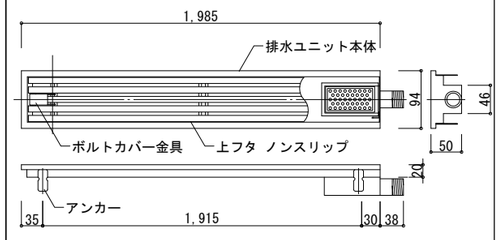


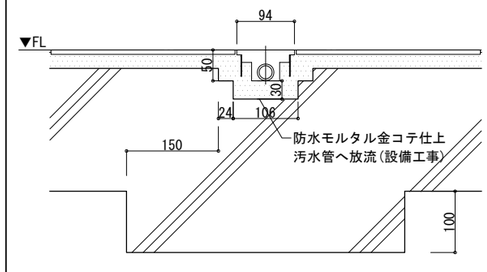
＊W，D寸法は平面図による。

側溝(1階:乾燥室、除染室、救急消毒室) 1/5

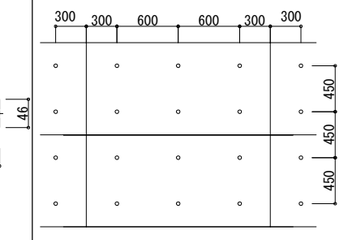


側溝(1階:エントランス) 1/5

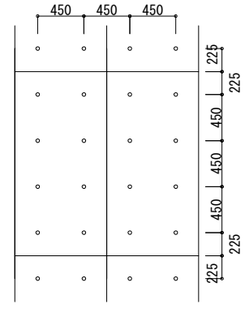




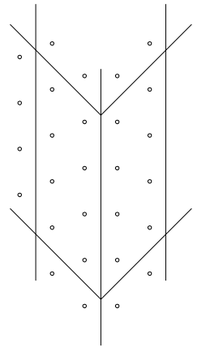
コンクリート化粧打ち放し S=1:5/1:30



標準パネル割付(横割り)
＊半端物は両端に振り分ける

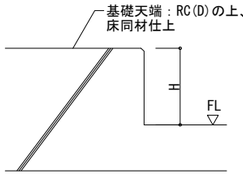


標準パネル割付(縦割り)
＊下端から正のものを重ね、最後に半端を出す



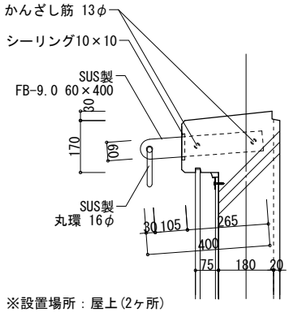
＊型枠材料、型枠の加工、組立て、コンクリート打設計画、締固め方法など打放し仕上げの施工要領書を作成し、監督職員の承諾を得て施工を行うこと
＊横方向の割付け：半端物は原則として両端に振り分ける
＊縦方向の割付け：下端から正のものを重ね、最後に半端を出す ＊セパレーターの高さは異なる面でも同一とする
＊型枠は日本農林規格「コンクリート型枠用合板」A種としウレタン塗装合板 t＝12とする
※補修が必要な場合は、大日技研FC特殊工法同等品の工法を監督職員と協議し、承諾の上行うものとする

屋内設備基礎 S=1:10



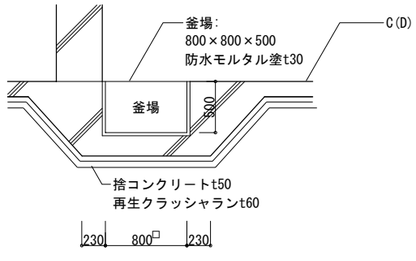
※Hは平面詳細図による

丸環(維持管理用) S=1:10



※設置場所：屋上(2ヶ所)

釜場 S=1:30



特記事項 ・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

課長 | 担当責任者 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

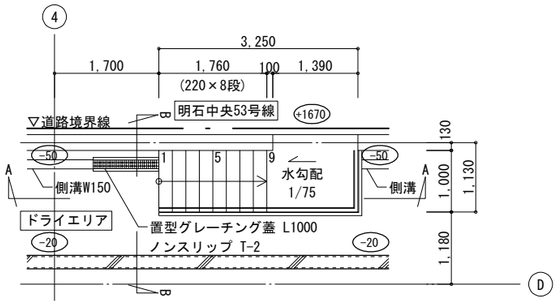
図面名称 部分詳細図(3)

縮尺 A1：図示 A3：図示/2

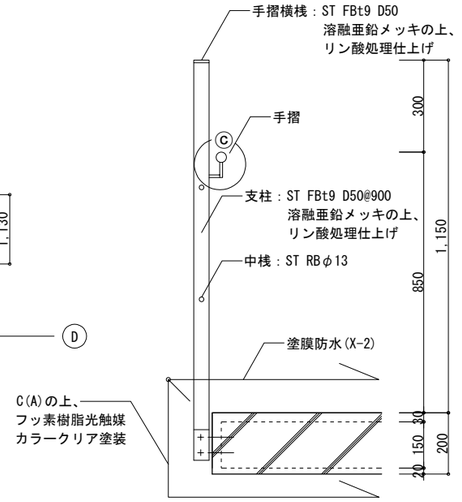
当初・変更・完成

図番 A608

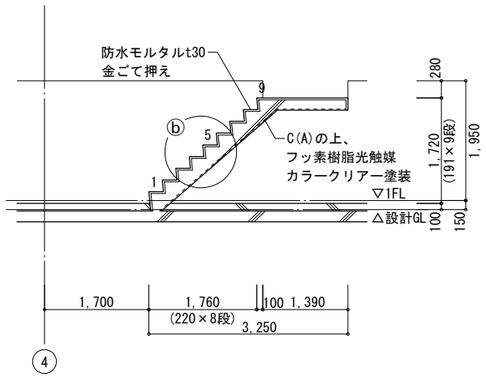
屋外階段詳細図（ドライエリア）　図示



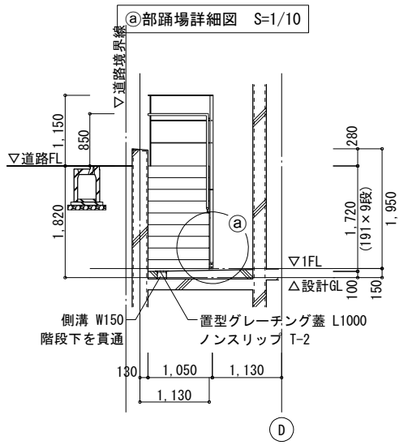
平面詳細図　S=1/50



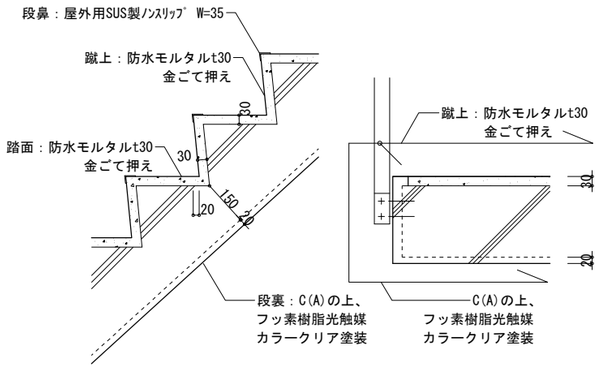
ⓐ部踊場詳細図　S=1/10



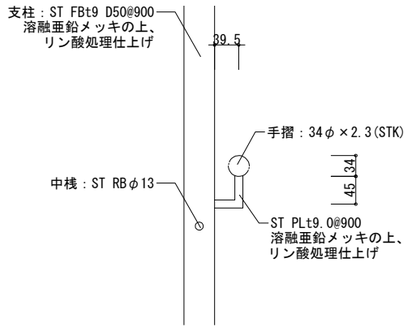
A-A断面詳細図　S=1/50



B-B断面詳細図　S=1/50

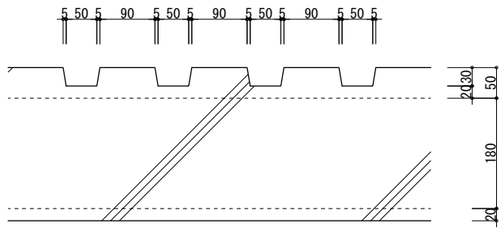


ⓑ部階段詳細図　S=1/10



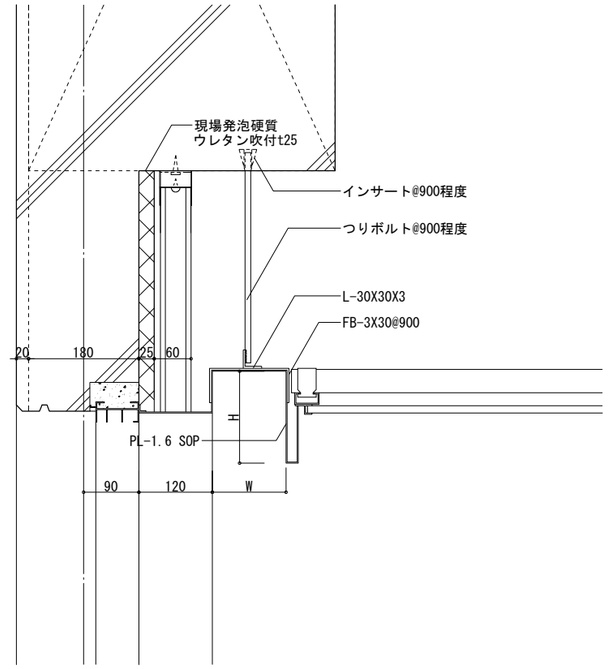
ⓒ部手摺詳細図 S=1/5

化粧型枠リブ　S=1:5



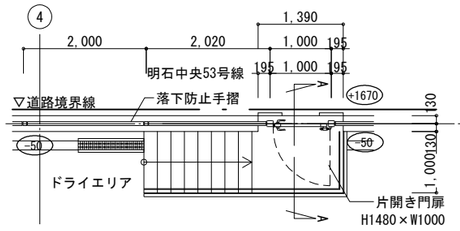
平面詳細図 S=1/5

ブラインドボックス　S=1:5

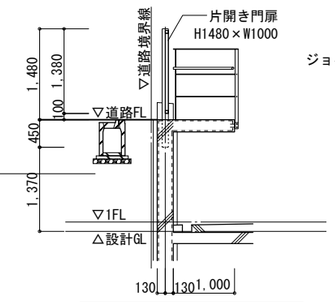


ブラインドボックス：W,Hは天伏図による。

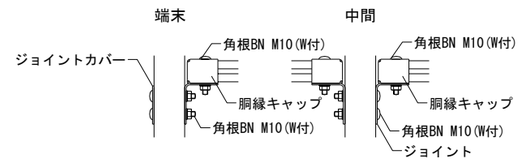
落下防止手摺詳細図　図示



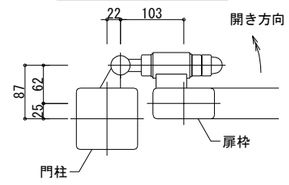
平面詳細図　S=1/50



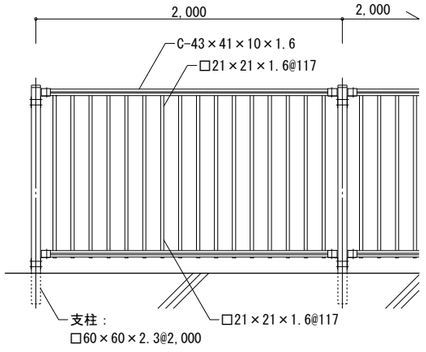
A-A断面詳細図　S=1/50



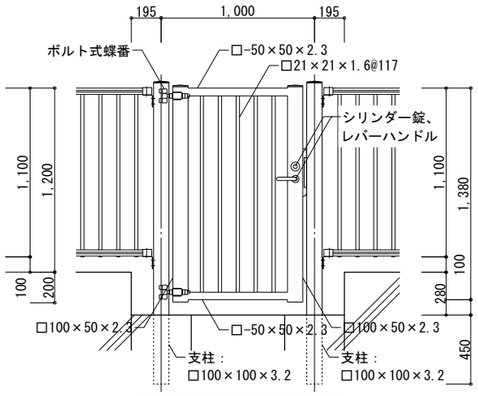
パネル取付図 S=1/5



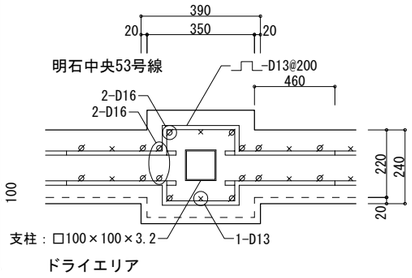
門柱・扉枠位置関係図 S=1/5



正面図(パネル) S=1/20



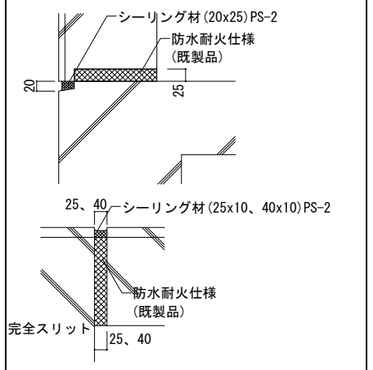
正面図(門扉) S=1/20



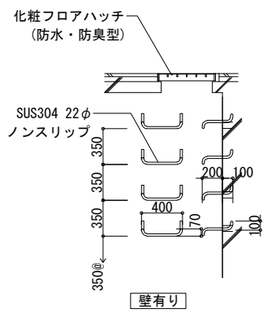
扉支柱部配筋詳細図　S=1/10

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事　当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 部分詳細図(4)　縮尺 A1:図示 A3:図示/2　図番 A609

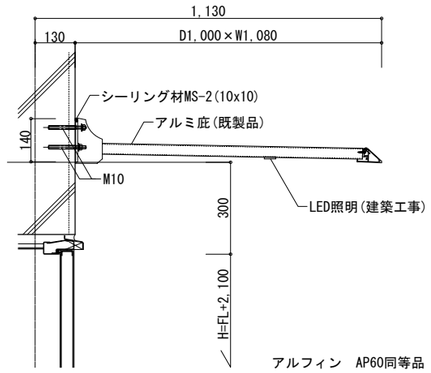
耐火スリット詳細 S=1:5



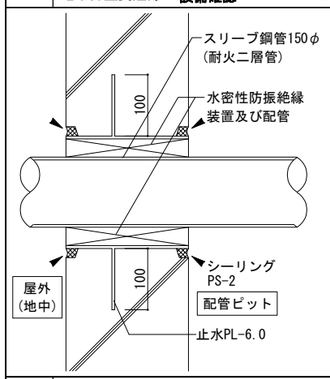
地下：タラップ（ピット内） S=1:30

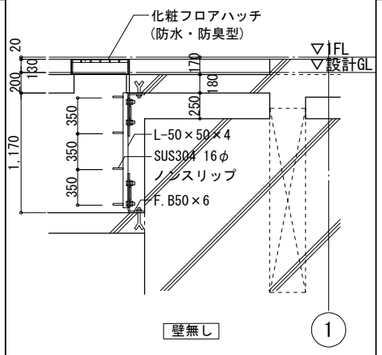


アルミ庇詳細図(1階) 1/10

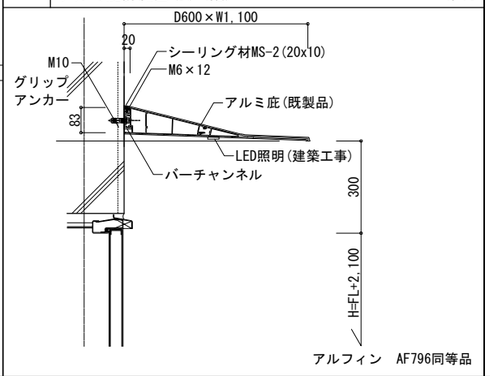


地下外壁貫通部 設備確認 S=1:5

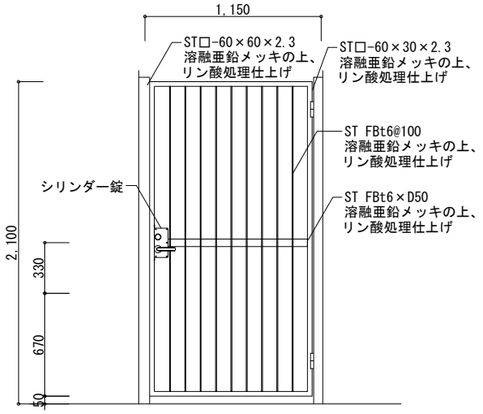




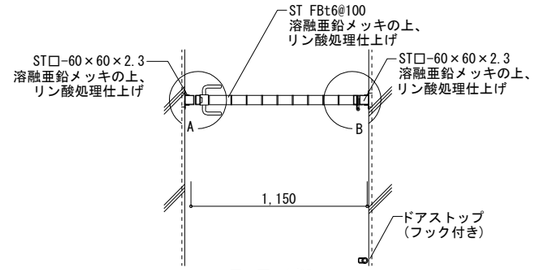
アルミ庇詳細図(3、4階) 1/10



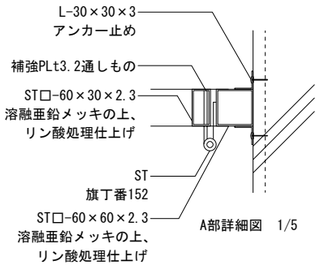
片開き戸(1階屋外階段) S=1:20



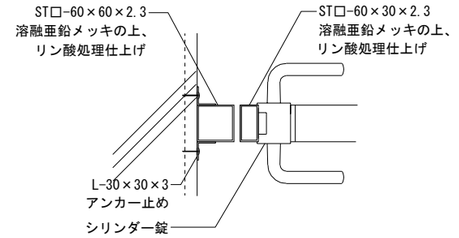
立 面 1/20



平 面 1/20

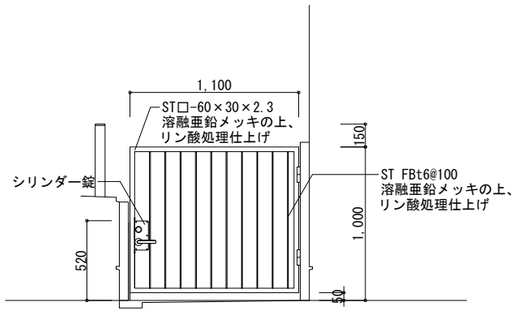


A部詳細図 1/5

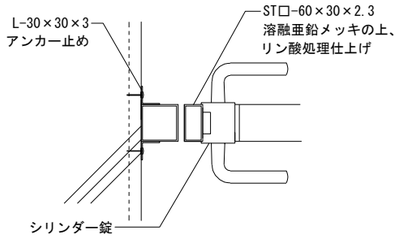


B部詳細図 1/5

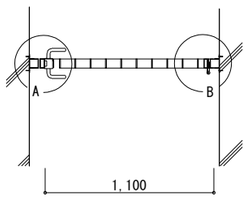
片開き戸(3階バルコニー) S=1:20



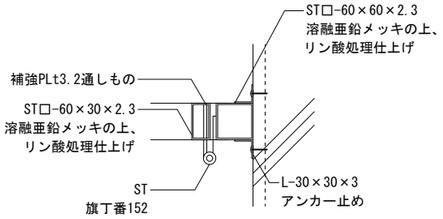
立 面 1/20



A部詳細図 1/5

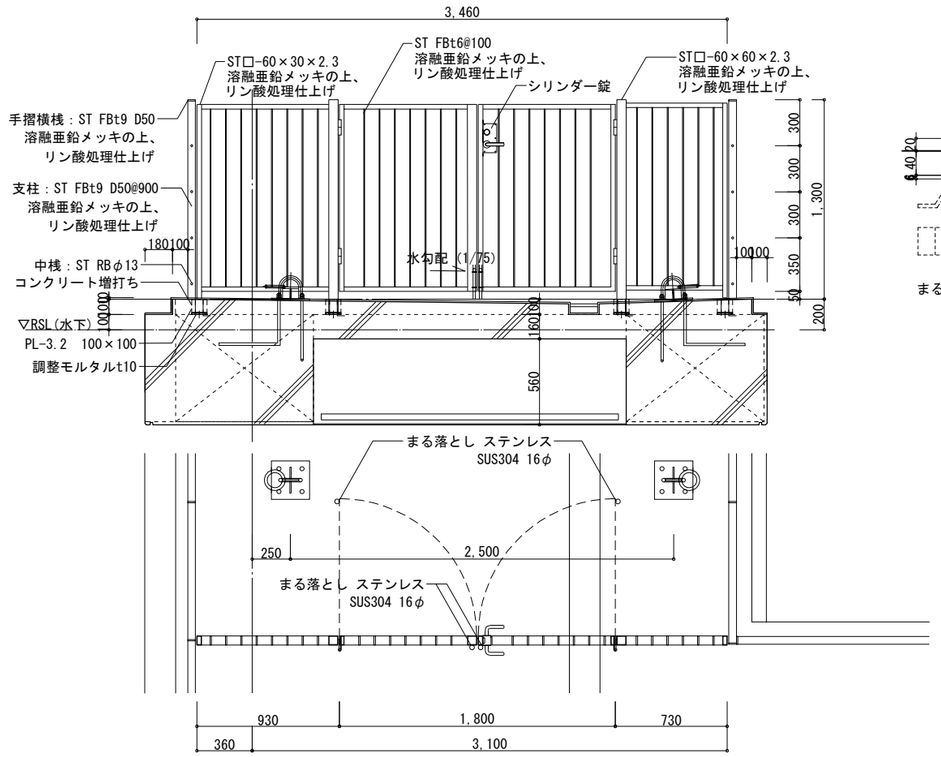


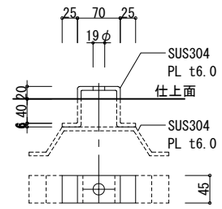
平 面 1/20



B部詳細図 1/5

両開き戸(屋上訓練用通路) S=1:20

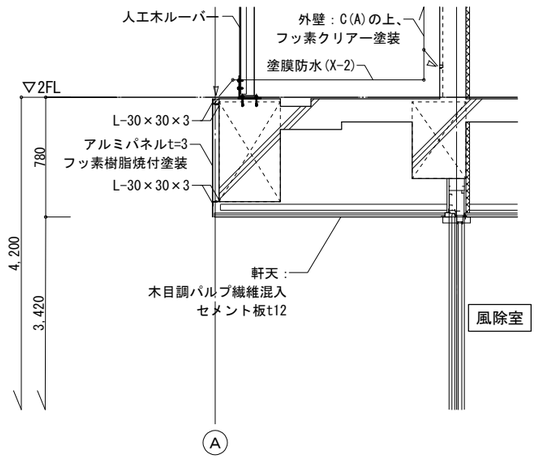




まる落とし受け座 1/5

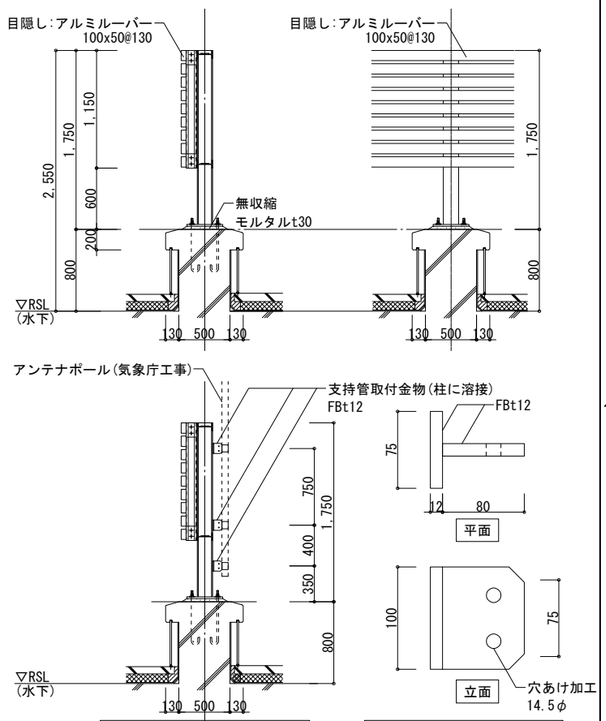
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 部分詳細図(5) 縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A610

出入口庇詳細図(1階エントランス)　S=1:20



屋上目隠しルーバー　S=1:30

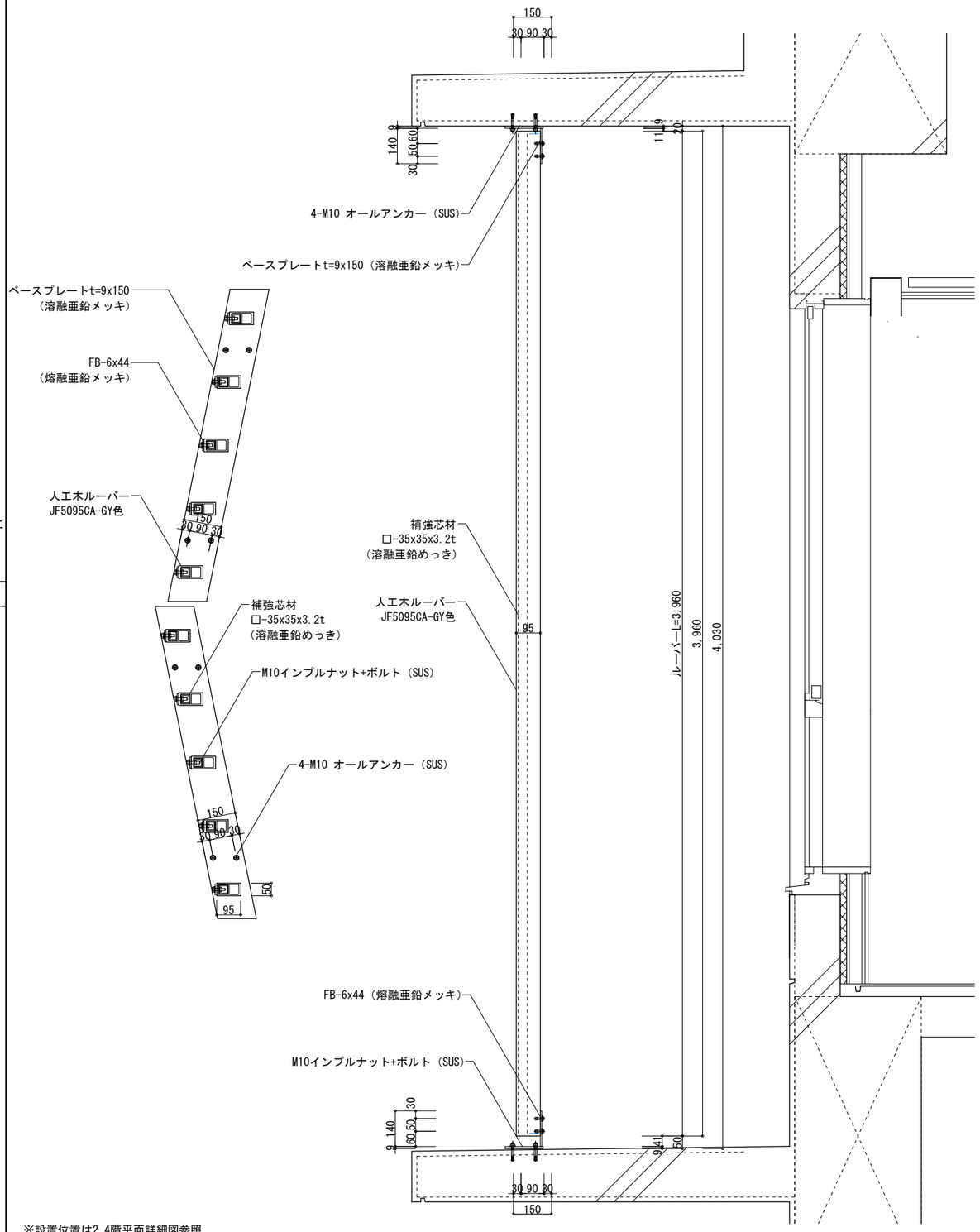
※鋼材の補強は構造図に示す



支持管取付金物設置位置詳細図

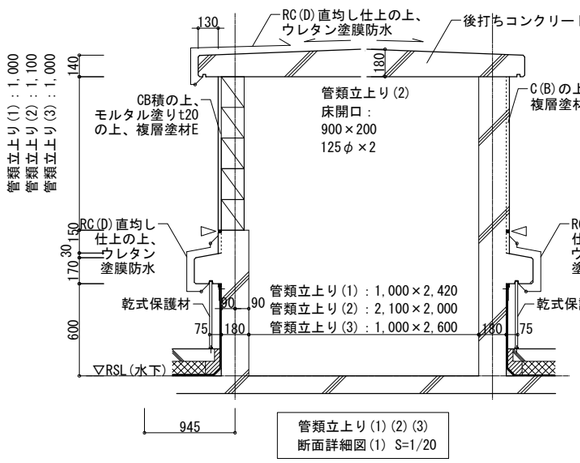
支持管取付金物詳細図 S=1:3

人工木ルーバー　S=1:10

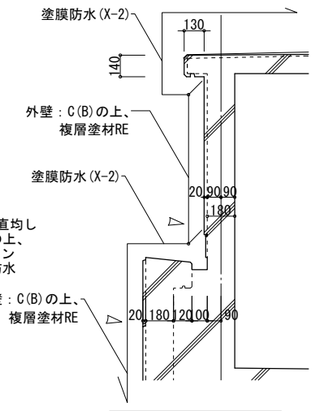


※設置位置は2,4階平面詳細図参照
フクビ化学工業　フクビプラスウッド同等品

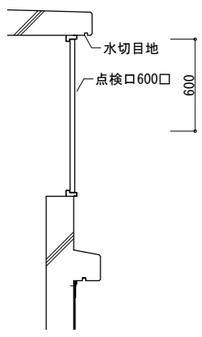
管類立上り詳細図　S=1:20



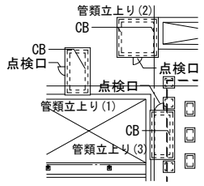
管類立上り(1)(2)(3)
断面詳細図(1) S=1/20



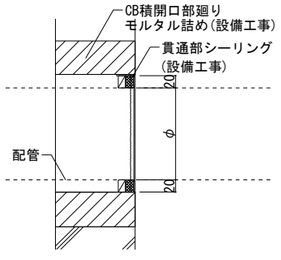
管類立上り(1)(2)(3)
断面詳細図(2) S=1/20



点検口部詳細図 S=1/20



管類立上りキープラン



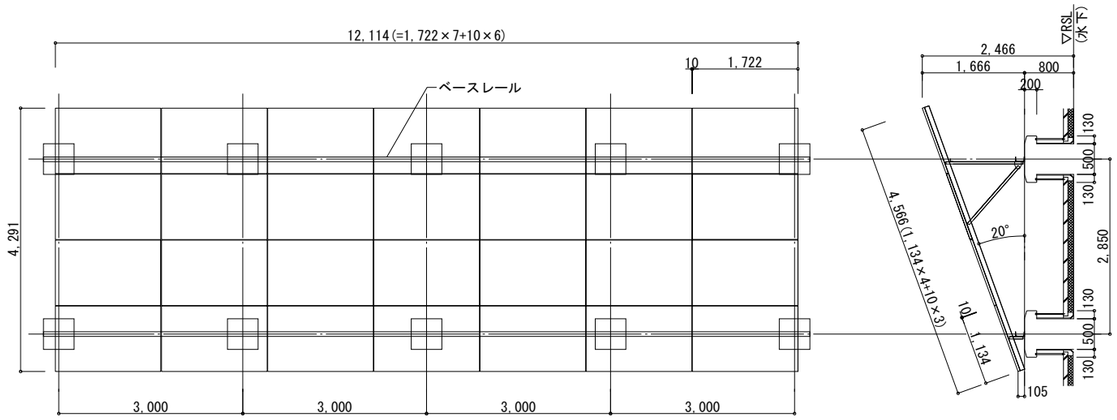
詳細図 S=1/5

※配筋は構造図による

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 部分詳細図(6)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A611

太陽光パネル詳細図（参考図）

S=1:10

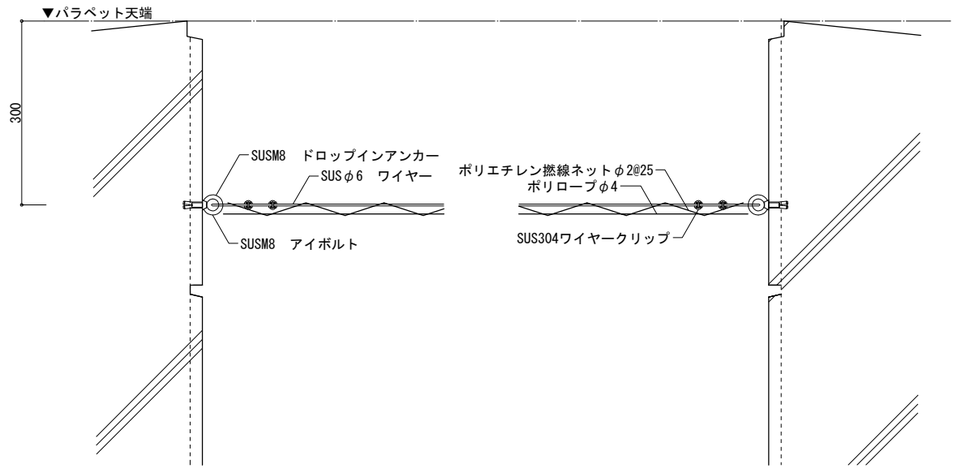


太陽光パネル面積
(12.114×4.291)×2=103.96㎡

※基礎工事のみ建築工事とする

鳥害対策撚線ネット

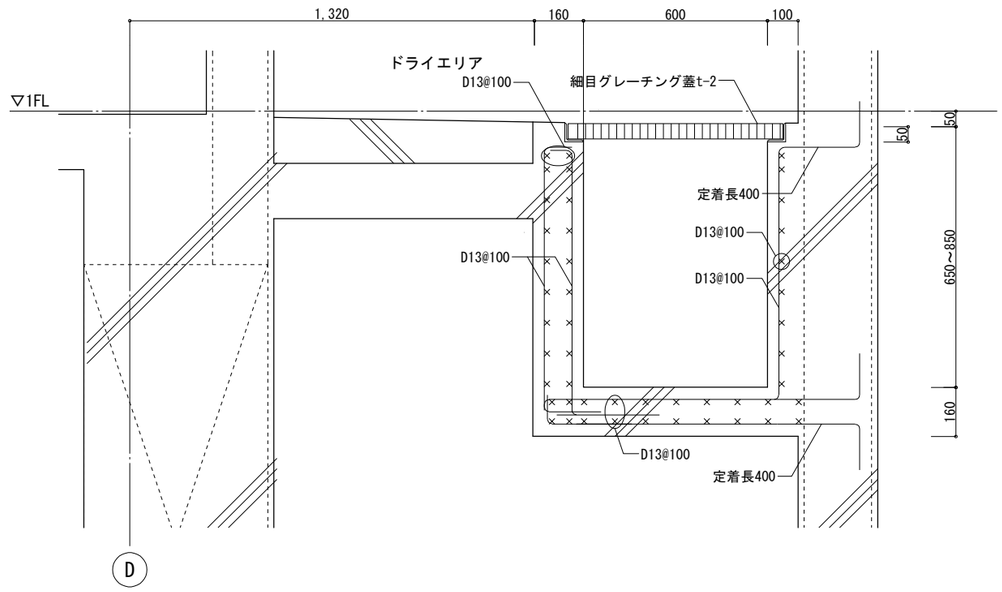
S=1:5



※エスク　バードストッパー・ネットタイプ同等品

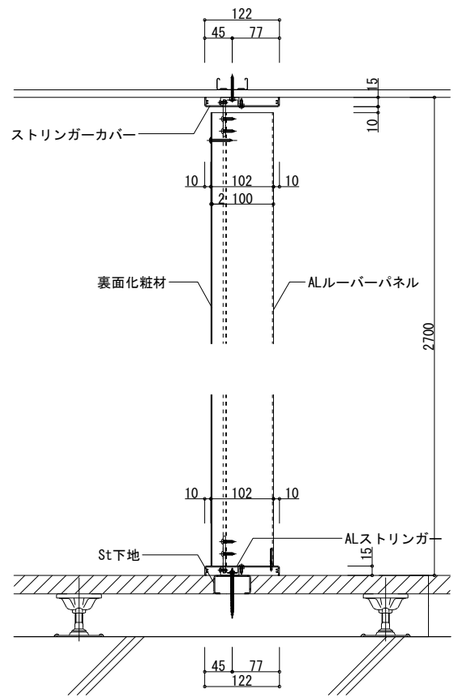
集水桝詳細図（ドライエリア）

S=1:10



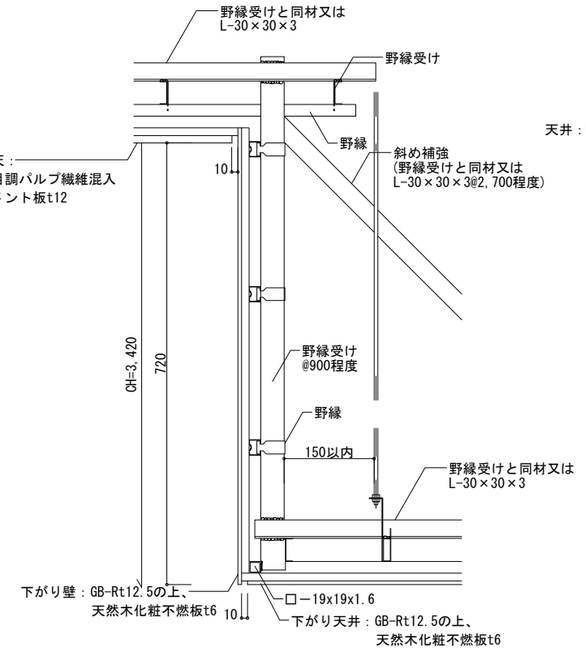
アルミルーバー(事務室)

S=1:5

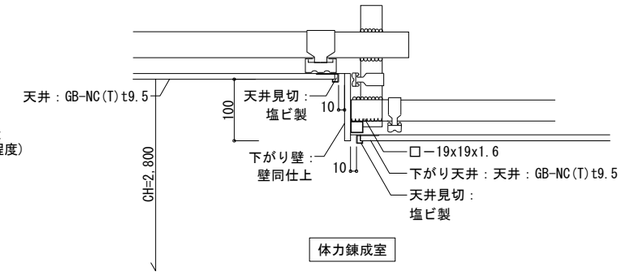


特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 部分詳細図(7)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2
						図番 A612

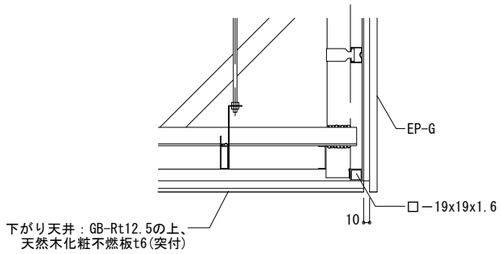
折下げ天井　S=1:5



風除室

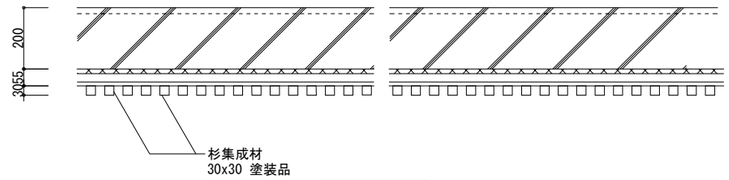


体力錬成室

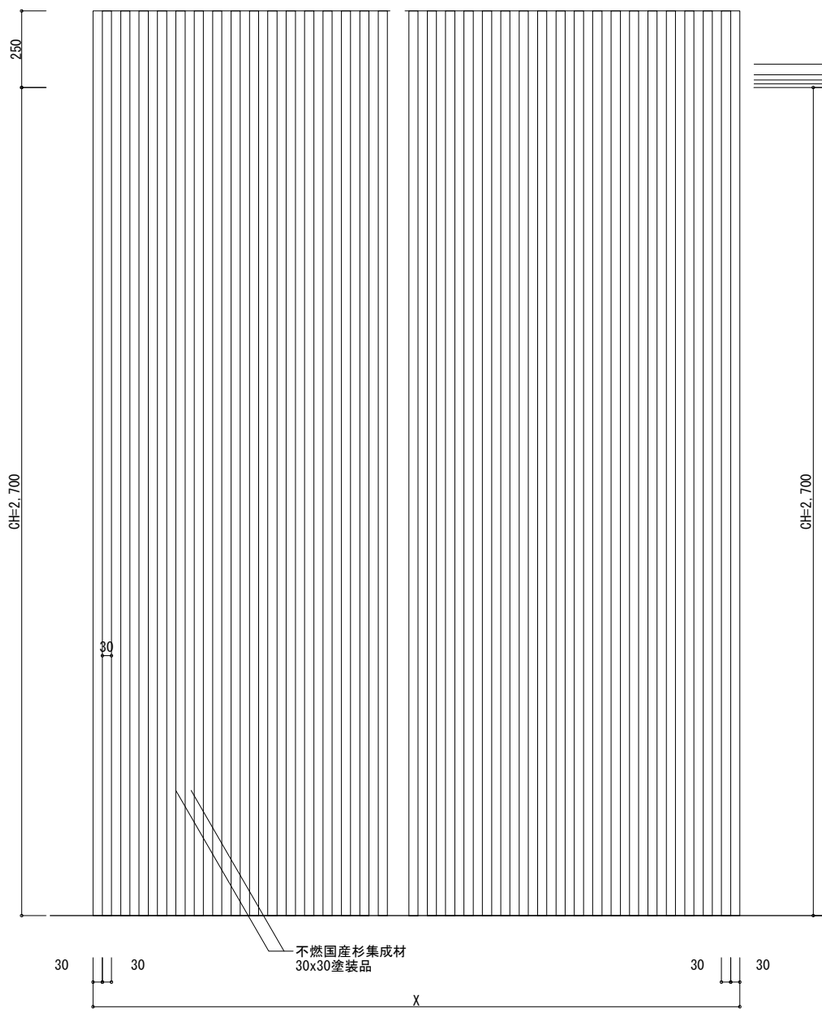


ホール(階段2吹抜)

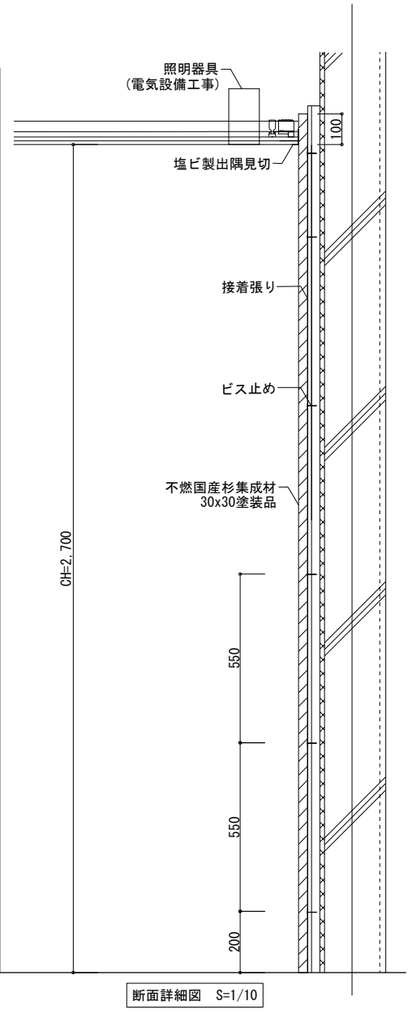
屋内不燃天然木ルーバー詳細　1/10



平面図　S=1/30



立面図　S=1/30



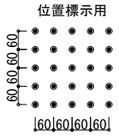
断面詳細図　S=1/10

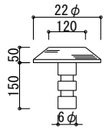
※不燃国産天然木ルーバーについてはすぎ集成材塗装品とし100%液だれしない、
白華のしにくいもの(リン酸系薬剤不使用)とする。
※ＮＭウッドすぎ集成 NM-1716 米ぬか系油塗装品 日本住宅パネル工業協同組合　同等品

点字鋲　S=1:10

点字鋲：SUS　HL

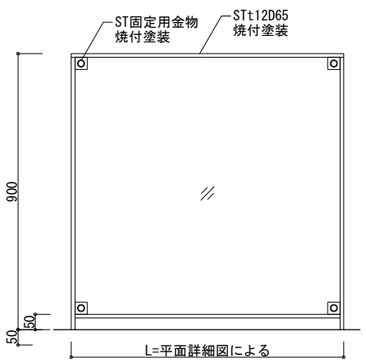
位置標示用

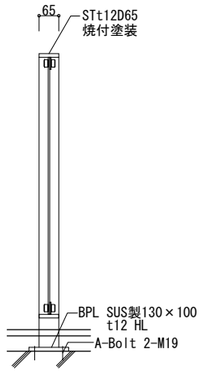




※ノンスリップ仕様とする。

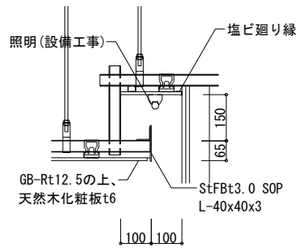
風除室　進入防止柵　S=1:10





※自動ドアの引込側に設置

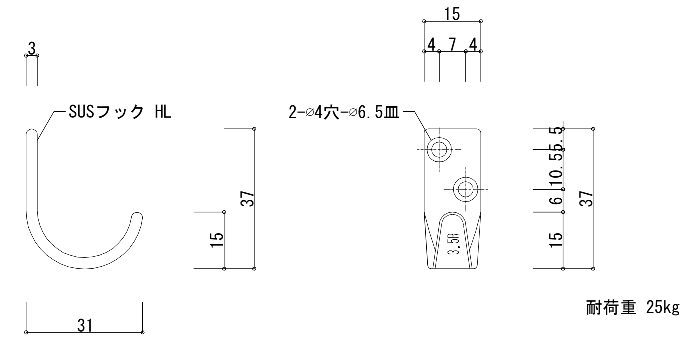
間接照明(1階ホール)　S=1:10



特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				

工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
図面名称	部分詳細図(8)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2
図番	A613	

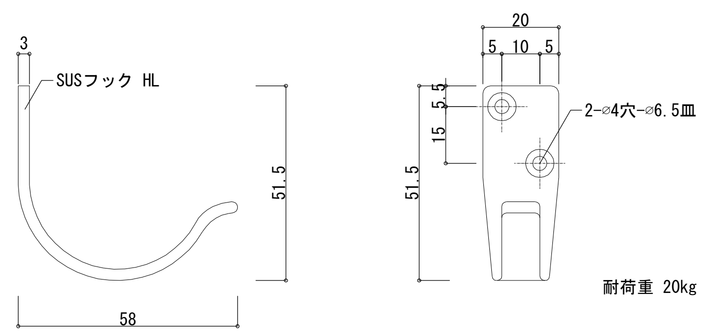
モップフック（除染室シャワーブース用）　S=1:1



■付属部品

SUS十字穴付丸皿タッピンネジ　3x16：2本

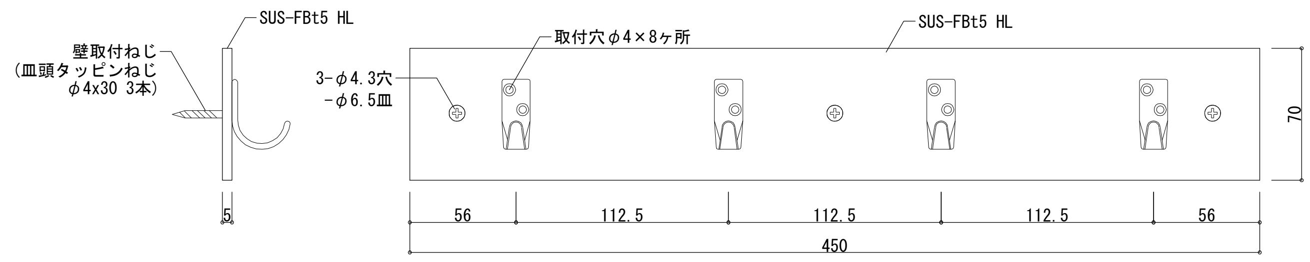
ホースフック（車庫）　S=1:1



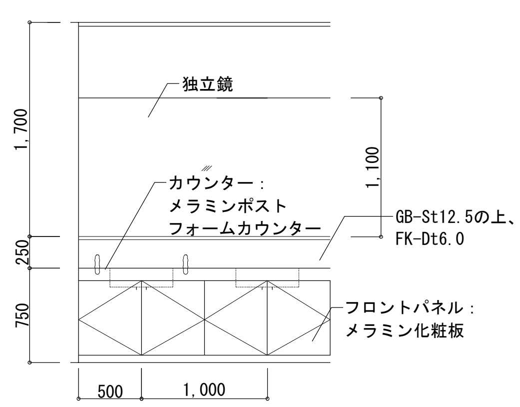
■付属部品

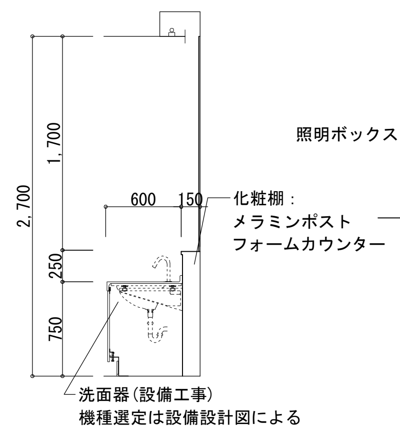
SUS十字穴付丸皿タッピンネジ 3.5x20： 2本

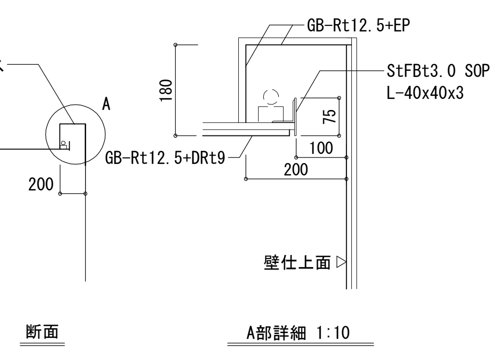
モップフック（SK）　S=1:2



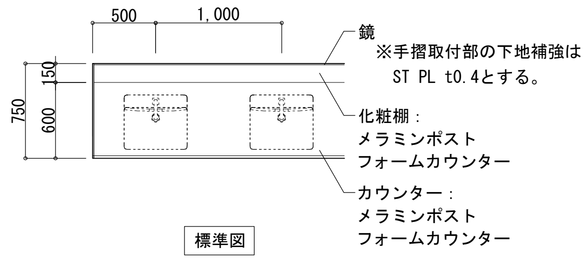
洗面　S=1:30







天井付照明　（設備工事）



カウンターまわり付加仕様は⊙印による。

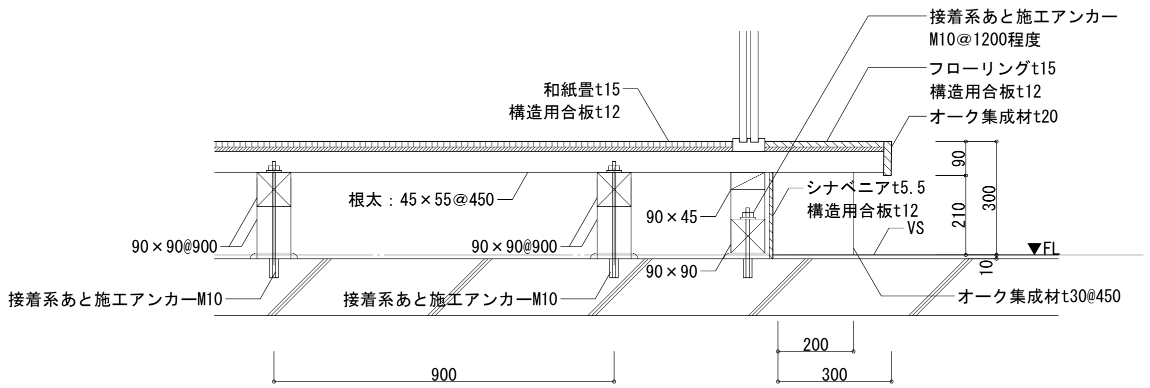
⊙　給湯（設備工事）　⊙　ハンドドライヤー（設備工事）

・　水せっけん入（設備工事）　・　ペーパータオルＢＯＸ

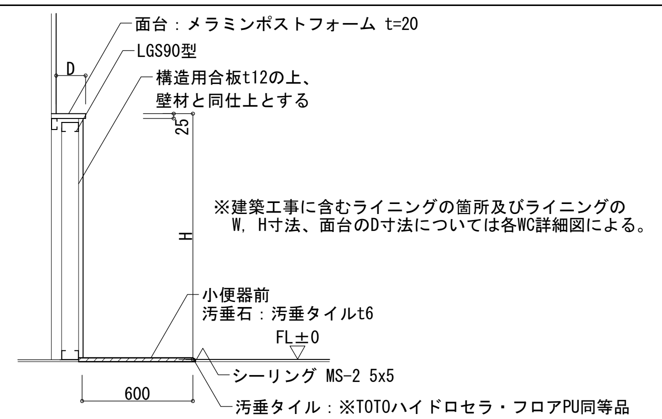
※　各鏡サイズは展開図による。

※　鏡設置箇所には耐水合板を下地に用いること。

床取り合い(待機室)　S=1:10



ライニング　(器具取付用壁補強)　S=1:20



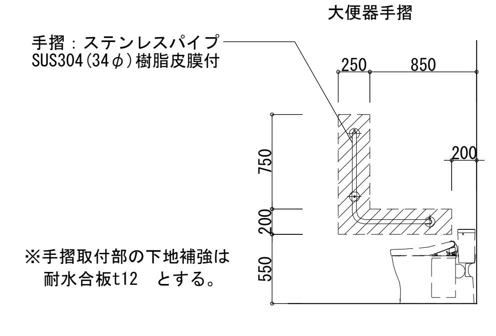
※建築工事に含むライニングの箇所及びライニングの
W, H寸法、面台のD寸法については各WC詳細図による。

■詳細

	設置室	D	H
洋便	MWC、WWC	150	900
小便	MWC	250	1,300
SK	SK	150	1,200
手洗	体力錬成室	150	1,350
洗濯機	洗濯室	150	1,200
洗濯機他	救急消毒室	200	1,200
洗濯機	脱衣室1	150	1,200

便所･大便器手摺　S=1:30

大便器手摺

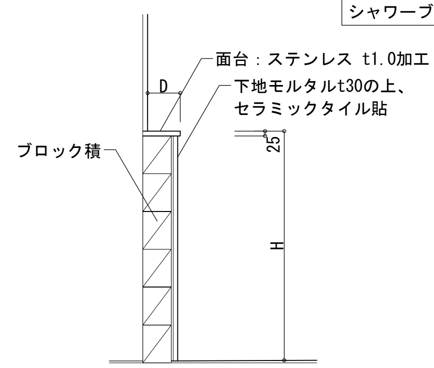


※手摺取付部の下地補強は
耐水合板t12　とする。

ライニング　S=1:20

■詳細

	設置室	D	H
一槽式シンク	車庫	200	1,200
一槽式シンク	救急消毒室	280	1,300
シャワーブース	除染室	150	1,200



特記事項	・
	・
	・
	・

株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社　一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号　TEL 06-6366-0241

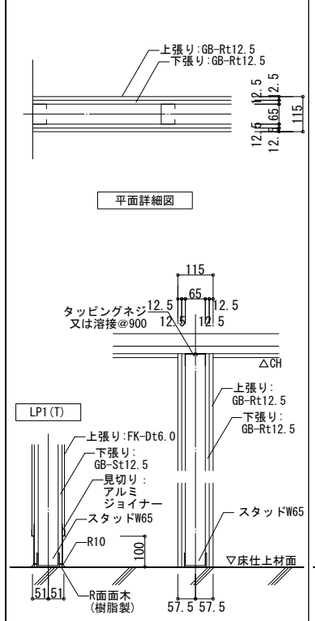
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤　貞清

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅･建築室営繕課

製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
2025年1月	図面名称	部分詳細図(9)　縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A614

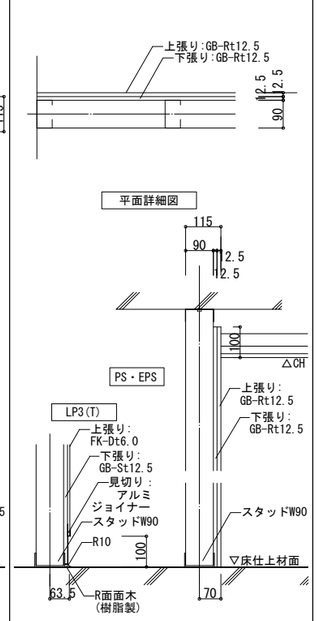
LP1 内壁：LGS下地（天井まで） S=1:10



※仕上は仕上表による

LP1(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

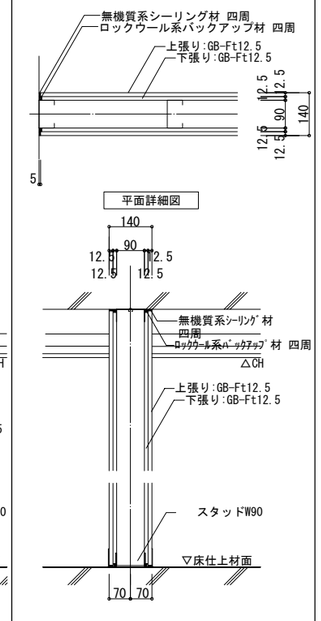
LP3 内壁：LGS下地（スラブまで）S=1:10



※仕上は仕上表による

LP3(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

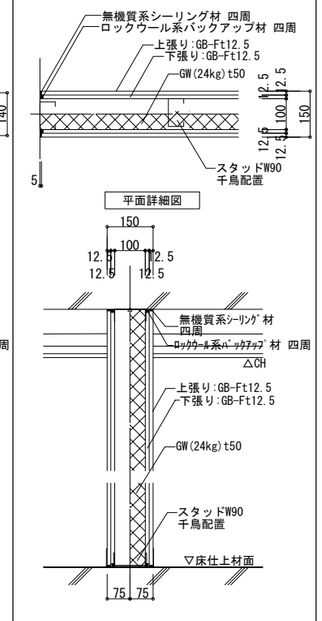
LT1 内壁：LGS下地（1時間耐火） S=1:10



※仕上は仕上表による

吉野せっこう S12 FP060NP-0483(1) 同等品

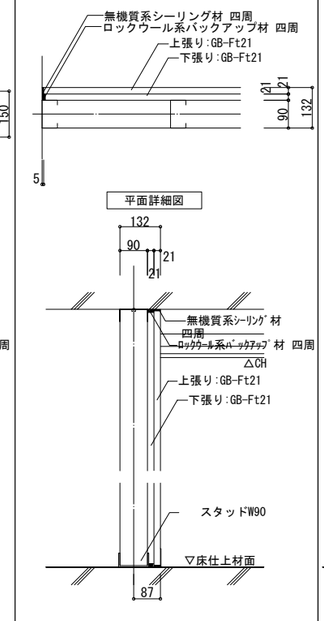
LT2 内壁：LGS下地（1時間耐火）遮音 S=1:10



※仕上は仕上表による

吉野せっこう S12-W1 FP060NP-0483(2) 同等品

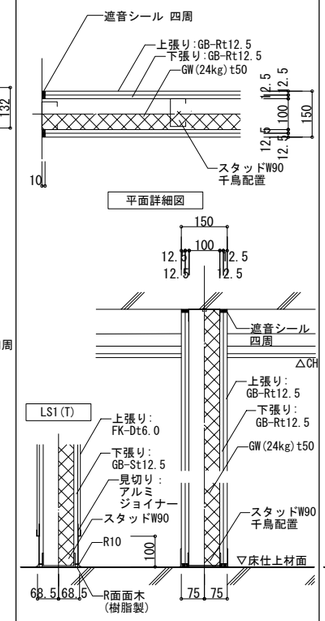
LT3 内壁：LGS下地（1時間耐火） S=1:10



※仕上は仕上表による

吉野せっこう Sウォールワン FP060NP-0497 同等品

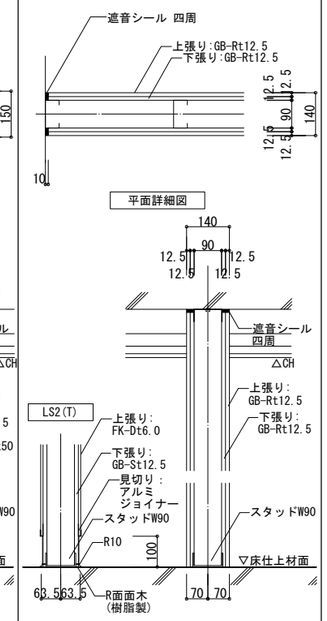
LS1 内壁：LGS下地（スラブまで）遮音 S=1:10



※仕上は仕上表による

LS1(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

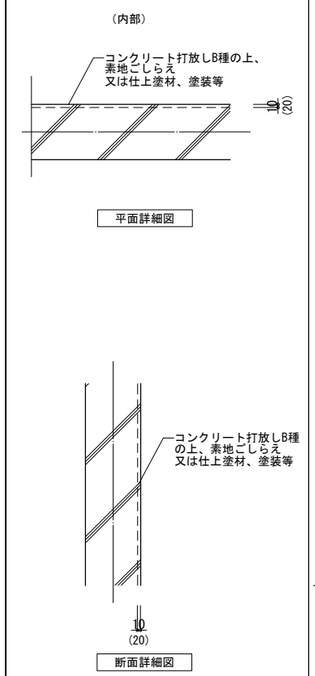
LS2 内壁：LGS下地（スラブまで）遮音 S=1:10



※仕上は仕上表による

LS2(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

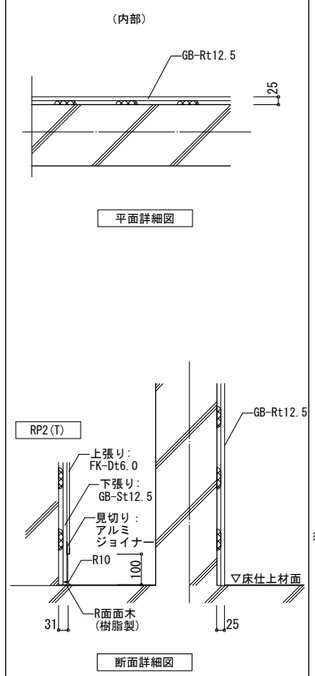
RP1 内壁：RC下地（コンクリート打放し・塗装等） S=1:10



※( )内数値は、RP1(S)を示す。

※仕上は仕上表による

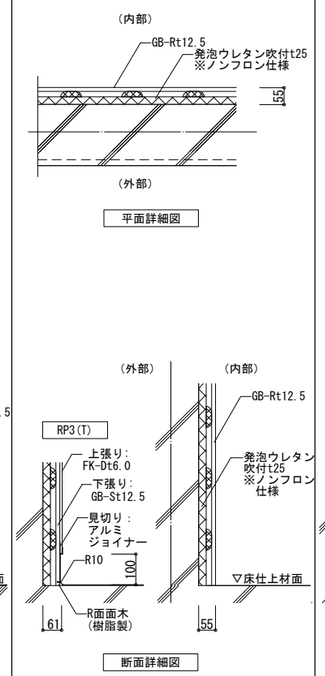
RP2 内壁：RC下地（GL工法） S=1:10



※仕上は仕上表による

RP2(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

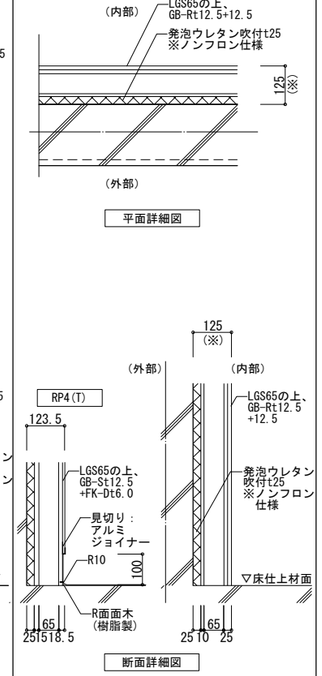
RP3 外壁：RC下地（屋内側、GL工法） S=1:10



※仕上は仕上表による

RP3(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

RP4 外壁：RC下地+LGS（屋内側、断熱材） S=1:10

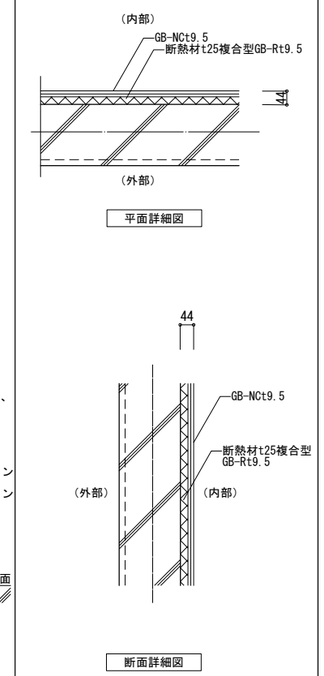


※(※)内数値は平面詳細図による。

※仕上は仕上表による

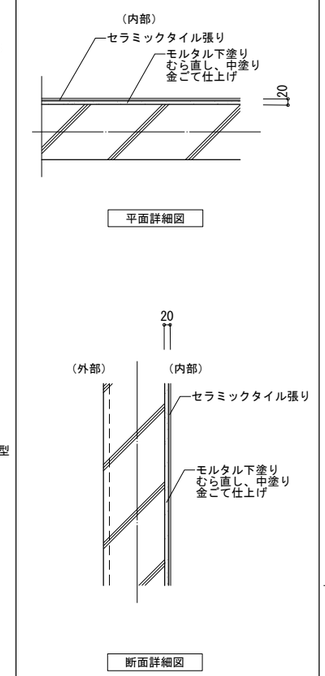
RP4(T)はGB-St12.5+FK-Dt6.0とする

RP5 外壁：RC下地（屋内側接着張り） S=1:10



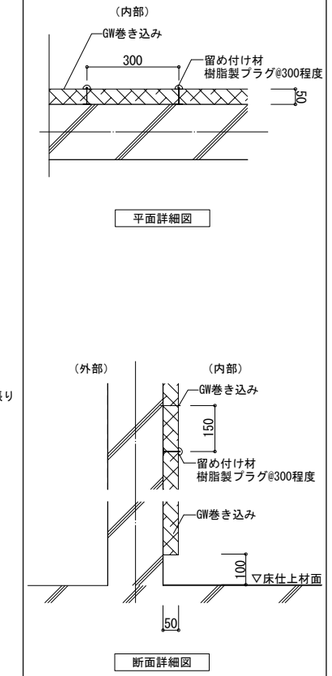
※仕上は仕上表による

RP6 内壁：RC下地（壁タイル接着剤張り） S=1:10



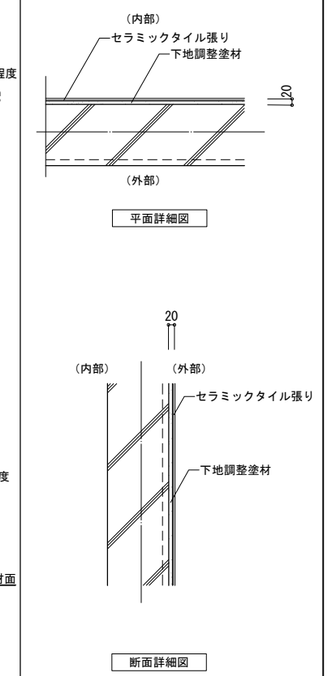
※仕上は仕上表による

RP7 内壁：RC下地（吸音材の上ガラスクロス張り） S=1:10



※仕上は仕上表による

RP8 外壁：RC下地（壁タイル接着剤張り） S=1:10



※仕上は仕上表による

特記事項

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

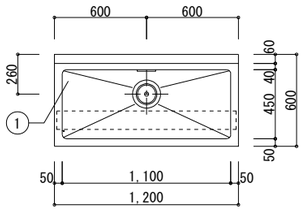
図面名称 部分詳細図(10)

縮尺 A1:図示 A3:図示/2

当初・変更・完成

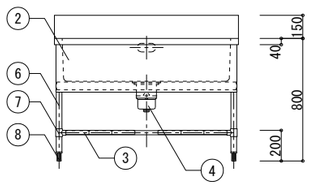
図番 A615

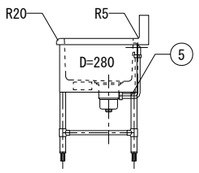
1槽式シンク(車庫内)　1/20



■　仕様表

品番	部　品　名	材　質	個数
1	甲板	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．２	
2	外装	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．０	
3	スノコ	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．０　取外式	
4	排水トラップ	塩ビ　φ１８０・接続口径５０Ａ	1
5	オーバーフローパイプ	塩ビ　小判型	1
6	脚部	ＳＵＳ３０４　φ３８	4
7	四方パイプ枠	ＳＵＳ３０４	
8	アジャスト	ＳＵＳ３０４	4
備考			

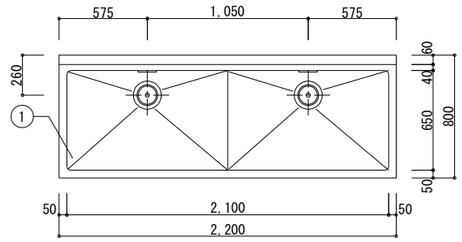


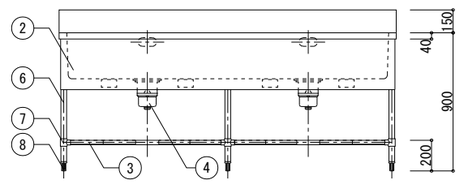


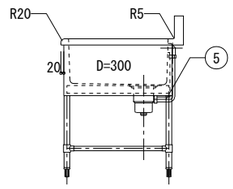
一槽シンク(救急消毒室)　1/20

■　仕様表

品番	部　品　名	材　質	個数
1	甲板	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．５	
2	外装	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．０	
3	スノコ	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．０　取外式	
4	排水トラップ	塩ビ　φ１８０・接続口径５０Ａ	2
5	オーバーフローパイプ	塩ビ　小判型	2
6	脚部	ＳＵＳ３０４　φ３８	6
7	補強パイプ枠	ＳＵＳ３０４	7
8	アジャスト	ＳＵＳ３０４	6
備考			



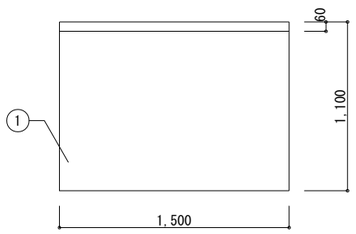


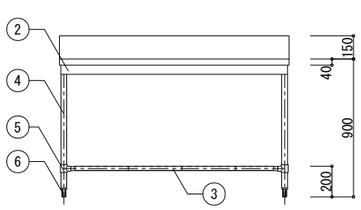


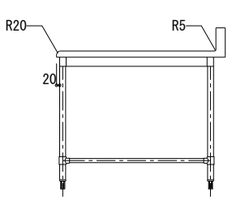
作業台(救急消毒室)　1/20

■　仕様表

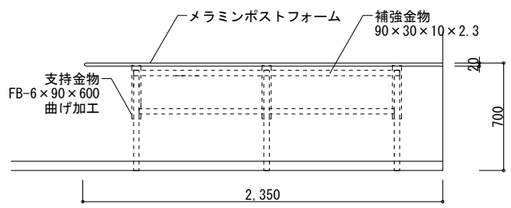
品番	部　品　名	材　質	個数
1	甲板	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．５	
2	外装	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．０	
3	スノコ	ＳＵＳ３０４　Ｎｏ．４　ｔ１．０　取外式	
4	脚部	ＳＵＳ３０４　φ３８	4
5	四方パイプ枠	ＳＵＳ３０４	
6	アジャスト	ＳＵＳ３０４	4
備考			



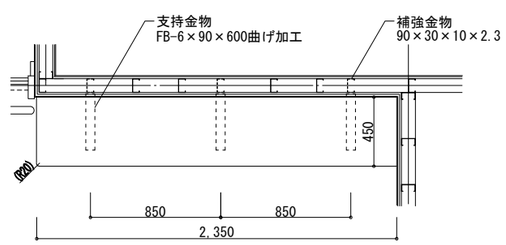




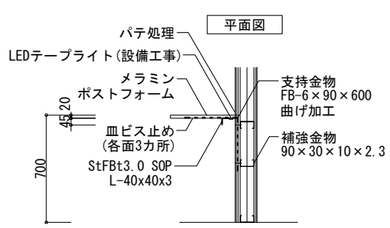
カウンター(風除室)　1/20



立面図



平面図



断面図

特記事項

株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 部分詳細図(11)　縮尺 A1:図示 A3:図示/2

当初・変更・完成

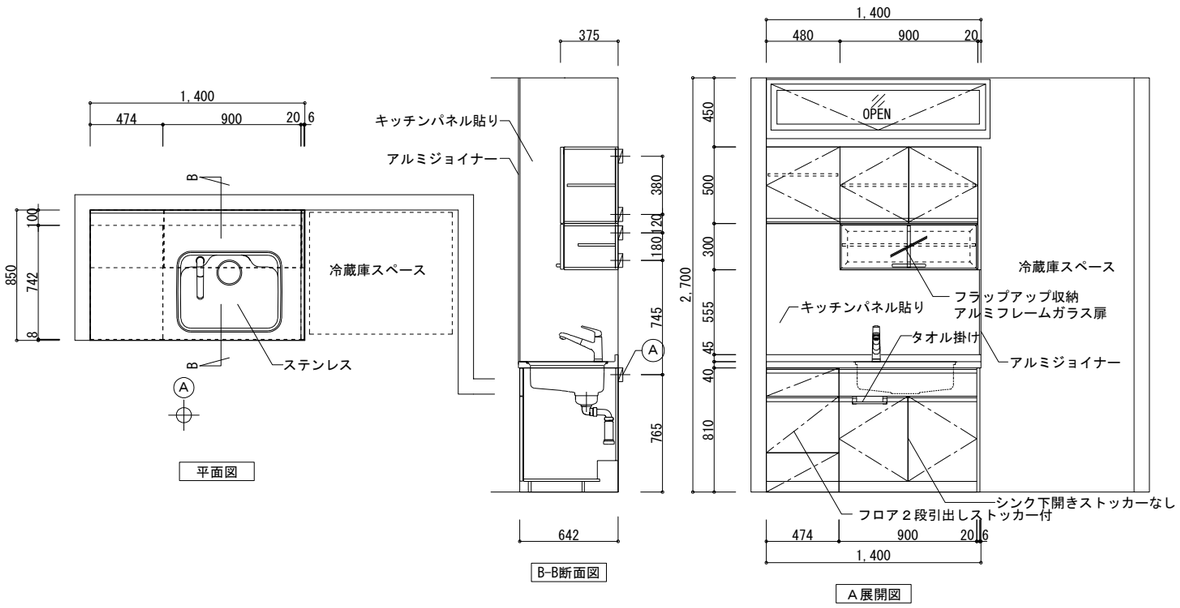
図番 A616

システムキッチン 詳細図（３階 給湯室） 1/20

A	補強桟取付位置　木桟３０ｘ９０

主な仕様

・ｶｳﾝﾀｰ　：人造大理石
・その他　：耐震用ロック機構付
※パナソニックキッチン　Ｌクラス　同等品

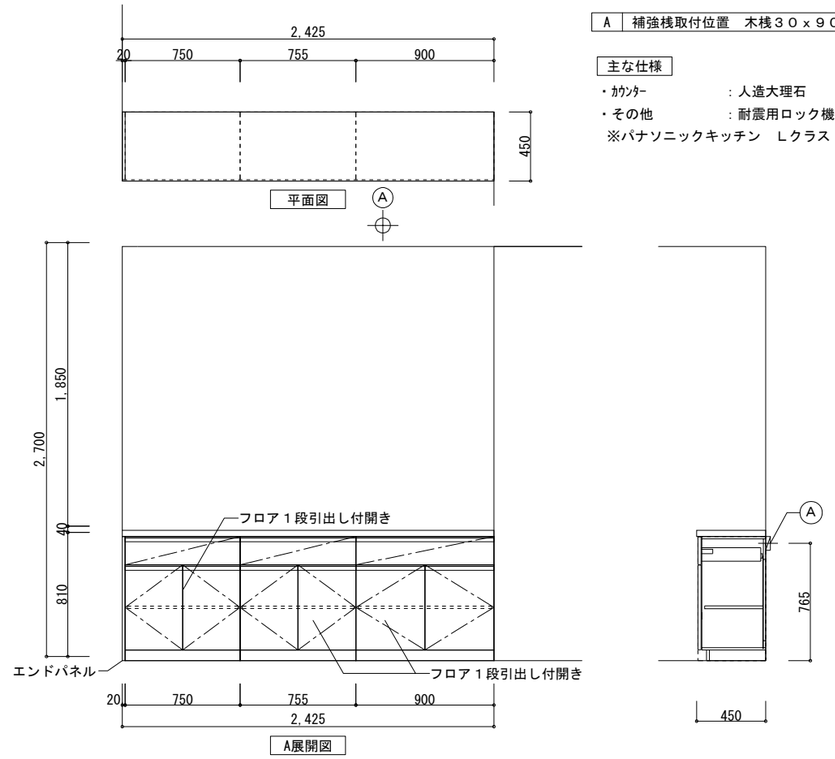


カップボード 詳細図（３階 給湯室） 1/20

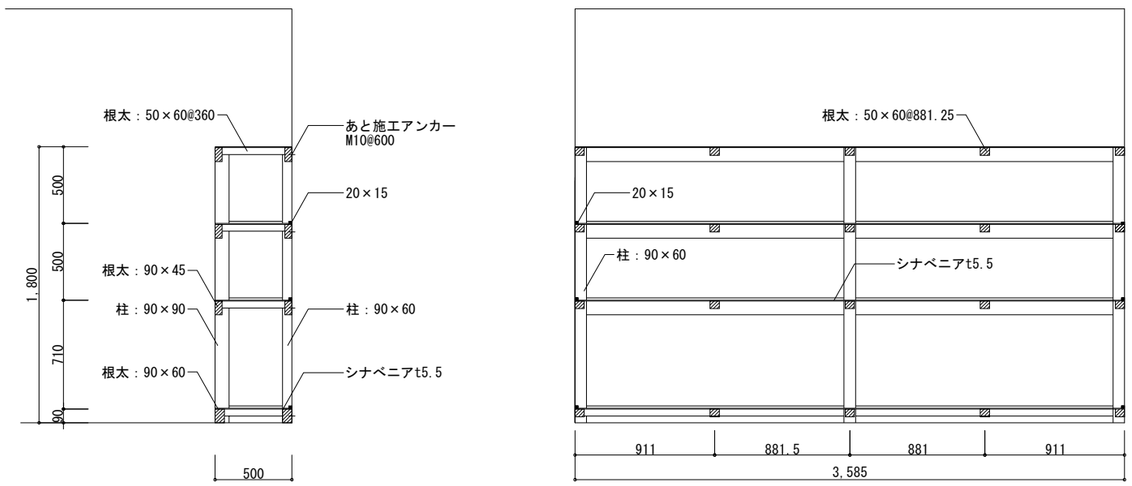
A	補強桟取付位置　木桟３０ｘ９０

主な仕様

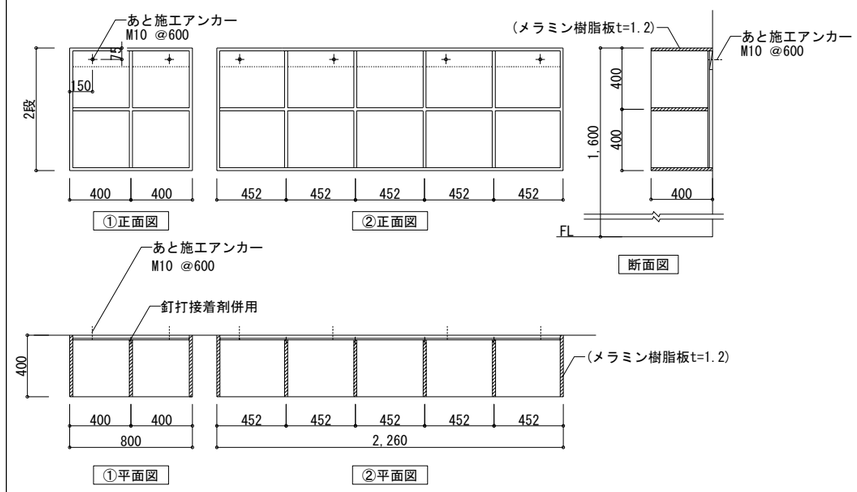
・ｶｳﾝﾀｰ　：人造大理石
・その他　：耐震用ロック機構付
※パナソニックキッチン　Ｌクラス　同等品



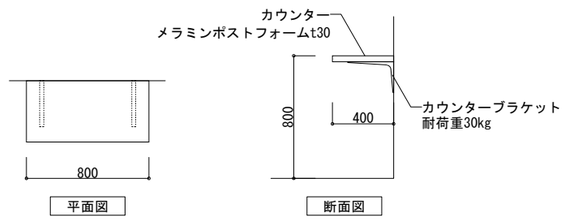
リネン収納棚（２階 リネン室）



脱衣箱①② 詳細図（３階 脱衣室） 1/20



カウンター 詳細図（３階 脱衣室） 1/20



特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 部分詳細図(12)

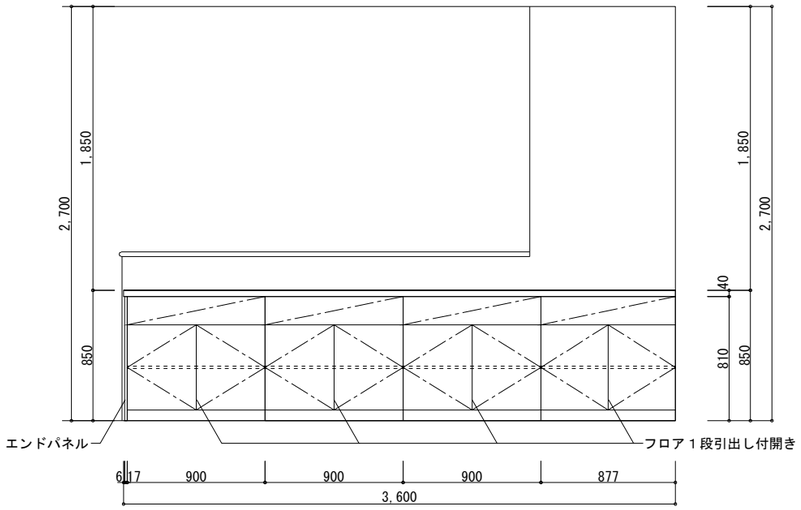
縮尺 A1：図示 A3：図示/2

当初・変更・完成

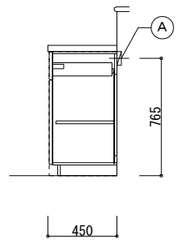
図番 A617

カップボード（食堂）

平面図



展開図

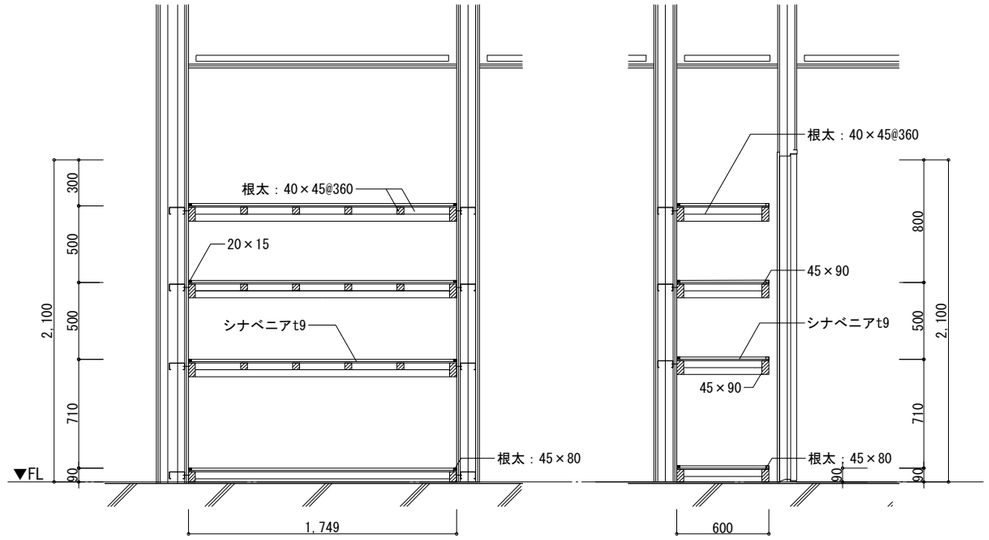


A	補強桟取付位置　木桟３０ｘ９０

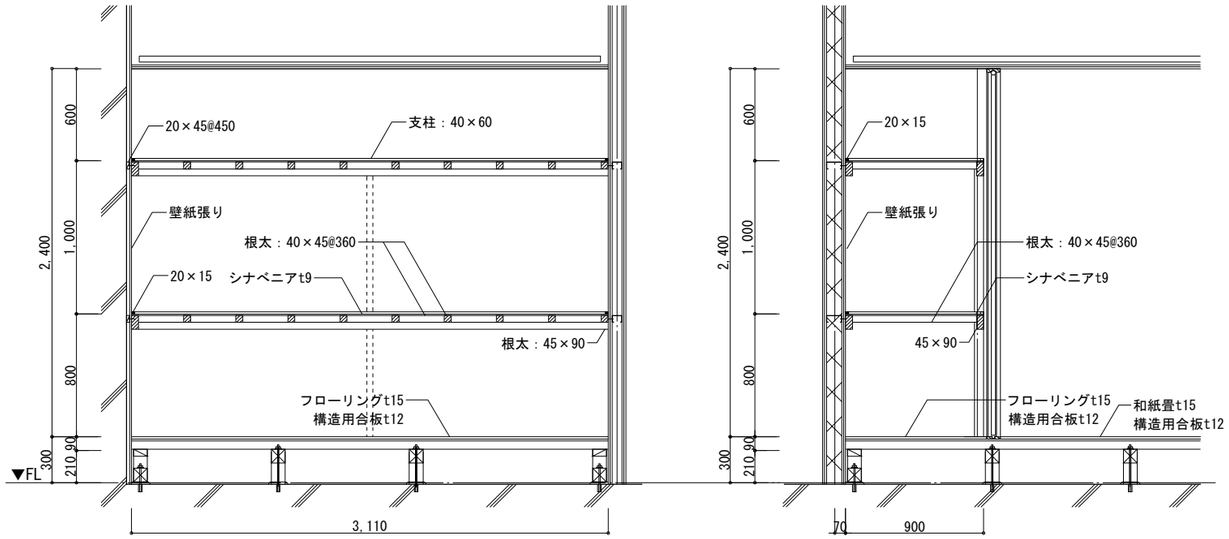
主な仕様

・ｶｳﾝﾀｰ　：人造大理石
・その他　：耐震用ロック機構付
※パナソニックキッチン　Ｌクラス　同等品

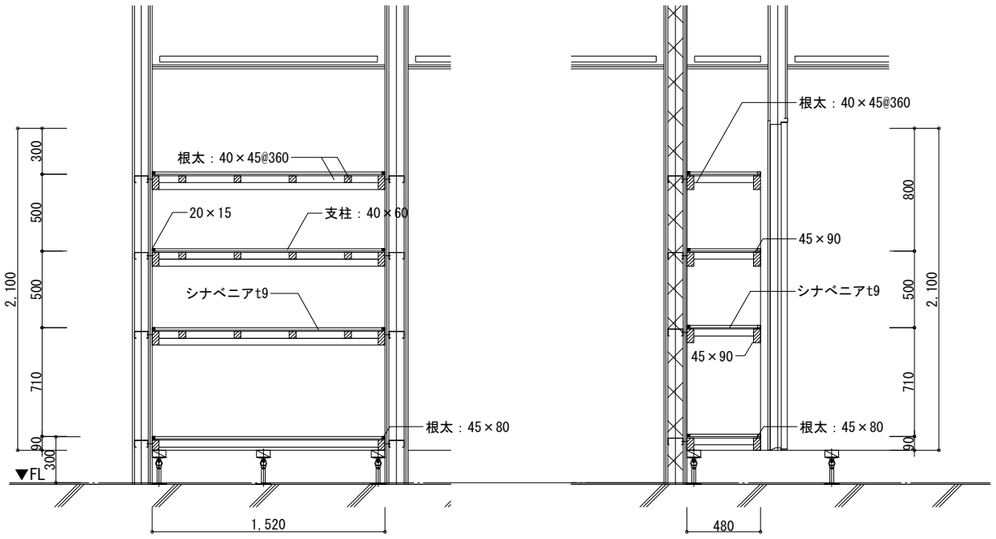
リネン収納棚（3階廊下）　1/20



収納棚（待機室）　1/20



収納棚（３階 脱衣室）　1/20



特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

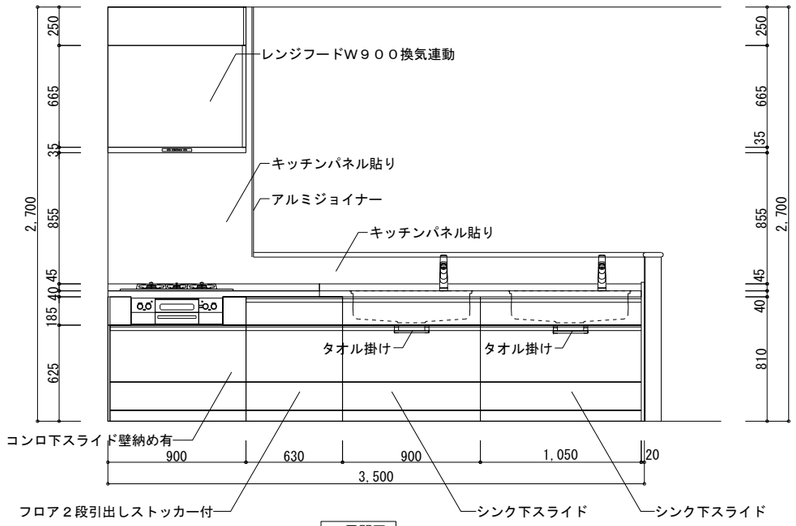
図面名称 部分詳細図(13)

縮尺 A1：図示 A3：図示/2

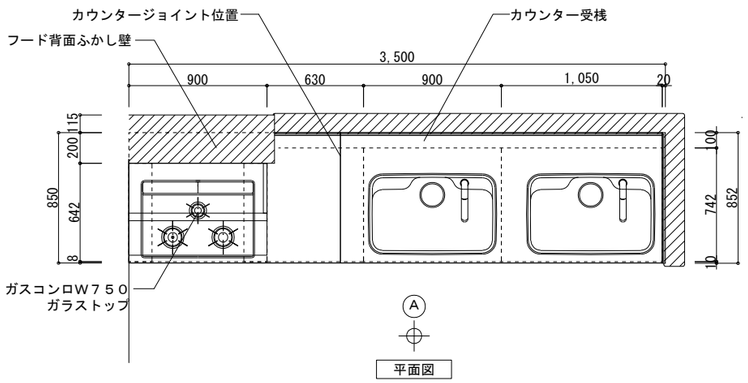
当初・変更・完成

図番 A618

キッチン(厨房) 1/20



Ａ展開図



平面図

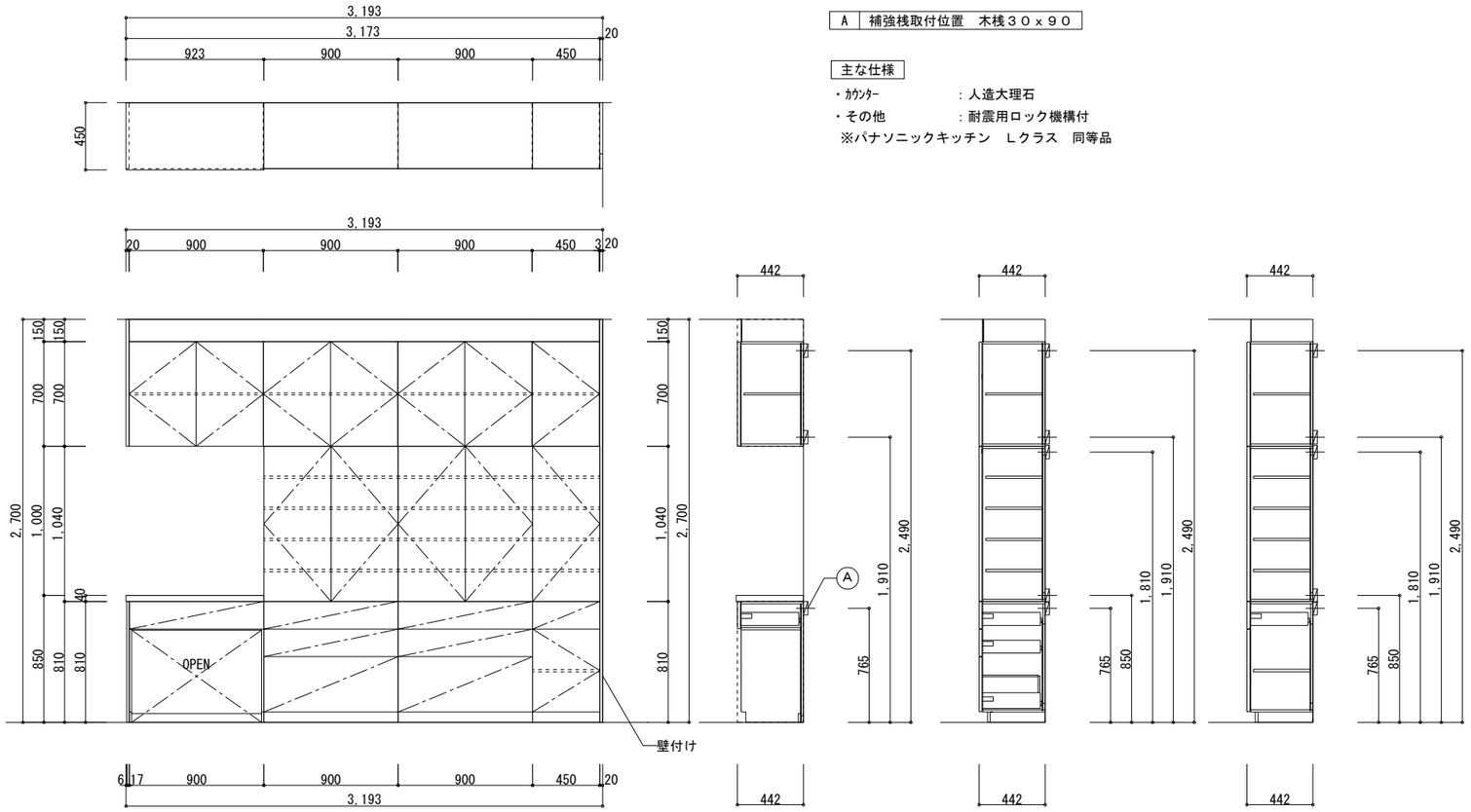
主な仕様

・ｶｳﾝﾀｰ　：人造大理石

・その他　：耐震用ロック機構付

※パナソニックキッチン　Ｌクラス　同等品

カップボード（厨房） 1/20



展開図

A　補強桟取付位置　木桟３０ｘ９０

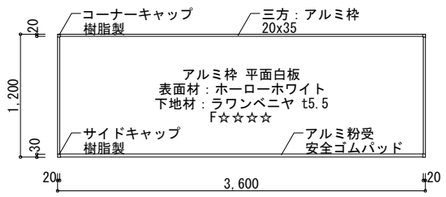
主な仕様

・ｶｳﾝﾀｰ　：人造大理石

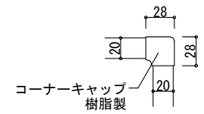
・その他　：耐震用ロック機構付

※パナソニックキッチン　Ｌクラス　同等品

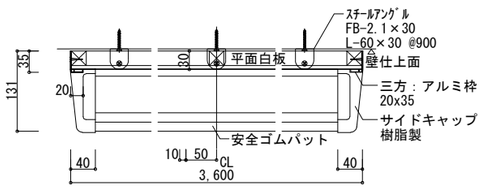
アルミ枠ホワイトボード(会議多目的室) 図示



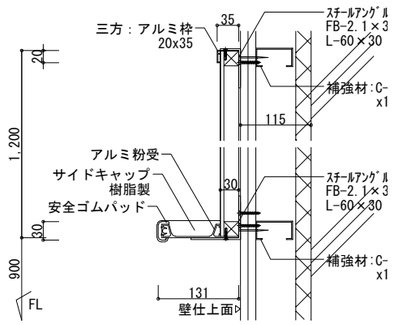
正面図　S=1/30



コーナーキャップ詳細図
S=1/3

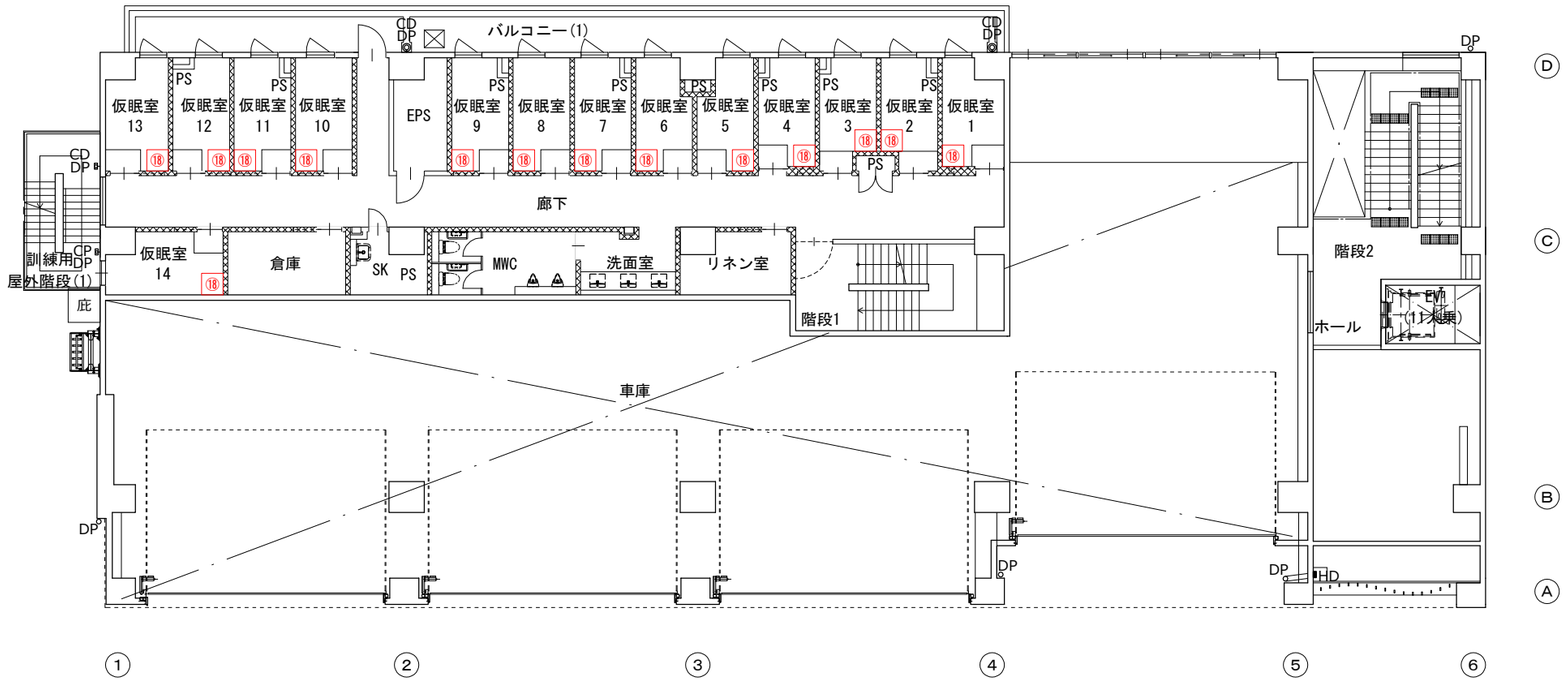


横断面図　S=1/3

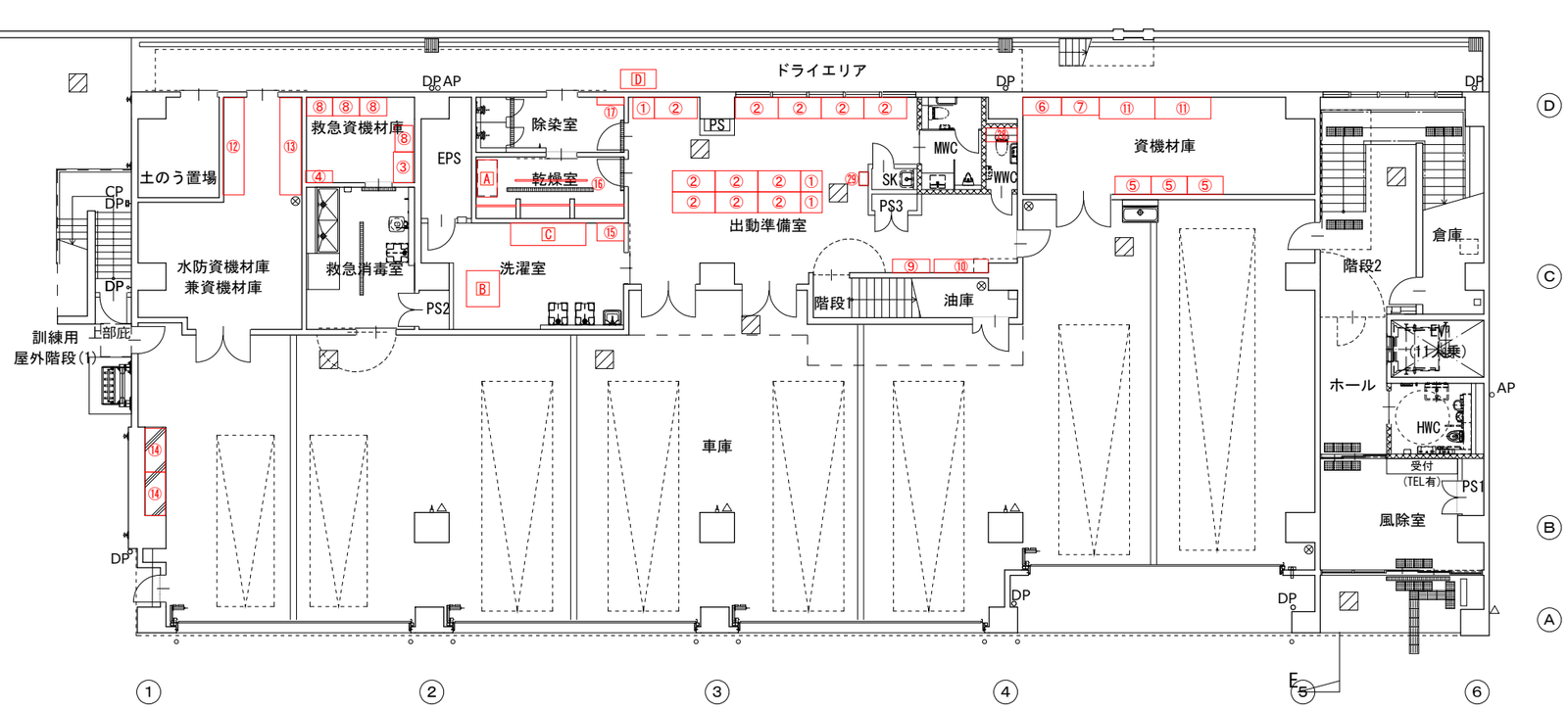


※マーカーユニット：
イレーサ 1個、
ホワイトボード用マーカー 3本(赤、青、黒 各1本)付

特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 部分詳細図(14) 縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 A619



2階家具配置図



1階家具配置図

家具リスト

番号	家具	数量	備考
①	回転式防火衣掛けロッカー	3	W700×H2100×D650
②	回転式防火衣掛けロッカー	11	W1375×H2100×D650
③	救急用酸素ボンベ収納棚	1	W1030×H1835×D650
④	薬剤庫	1	W900×H1800×D400
⑤	消防ホース収納棚	3	W1200×H2230×D550
⑥	空気呼吸器用ボンベ収納棚	1	W1290×H2025×D650
⑦	ロープ収納棚(中量ラック)	1	W1255×H1800×D571
⑧	収納棚(中量ラック)	4	W955×H2100×D571
⑨	充電スペース	1	W1200×H2100×D955
⑩	収納棚(中量ラック)	1	W1855×H1500×D471
⑪	資機材棚	2	W1800×H2100×D800
⑫	機材棚	1	W3055×H2400×D721
⑬	機材棚	1	W3055×H2400×D721
⑭	引違い収納棚	2	W2450×H2040×D680
⑮	収納棚	1	W900×H1800×D600
⑯	物干し竿	8	
⑰	ステンレスパイプ棚	1	
⑱	個人衣服収納棚	14	W700×H2640×D700
㉘	トイレ収納	1	W1000～1150×H400×D320
㉙	キーボックス	1	20本収納、ダイアル錠
A	室内据置型乾燥機(機械設備工事)	1	W1200×H1293×D650
B	防火衣洗濯機(機械設備工事)	1	W1099×H1569×D1203
C	防火衣乾燥機(機械設備工事)	1	W2500×H2000×D700
D	ごみ収納庫	1	W1200×H1400×D600

特記事項

株式会社 あい設計

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

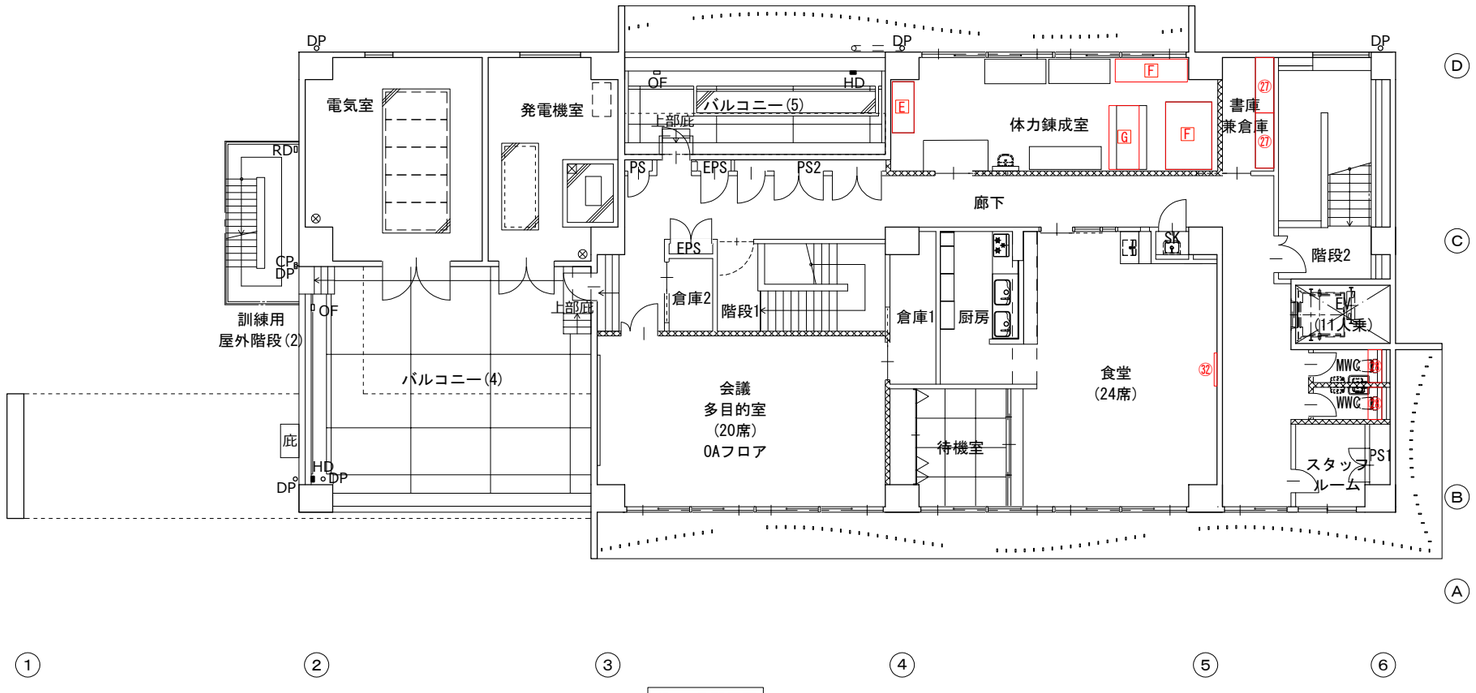
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 家具配置図(1)

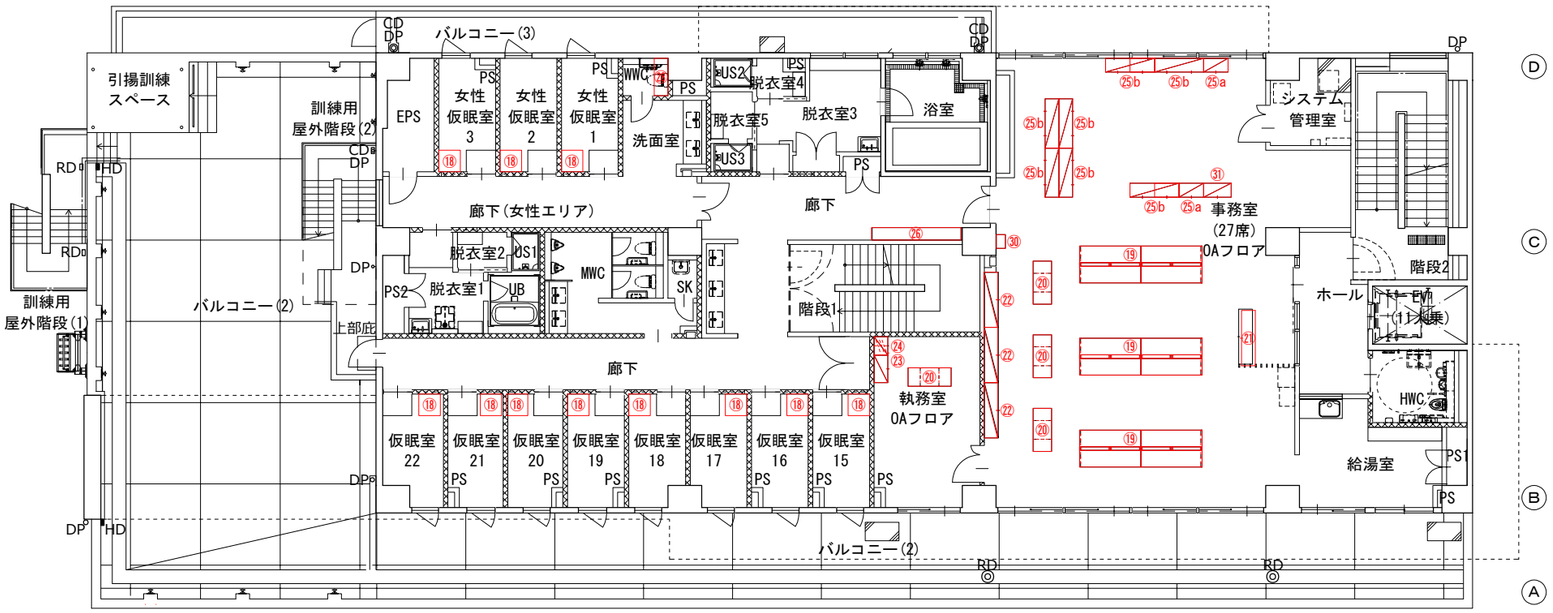
縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 A701

当初・変更・完成



4階家具配置図



3階家具配置図

家具リスト

番号	備品	数量	備品サイズ W×H×D
⑱	個人衣服収納棚	11	W700×H2640×D700
⑲	両面デスク	3	W4000×H721×D1200
⑳	両袖机(左右3段引出し)	4	W1400×H721×D600
㉑	引違い収納付ハイカウンター	1	W1800×H1000×D450
㉒	スライドボード付収納	3	W1800×H1800×D450
㉓	両開き書庫	1	W900×H1810×D450
㉔	1人用ロッカー(木目)	1	W450×H1790×D515
㉕a	3段引出し収納(個別ダイヤル錠)	2	W800×H1100×D450
㉕b	3段引出し収納(個別ダイヤル錠)	7	W1600×H1100×D450
㉖	個人用ロッカー	1	W2913×H1600×D400
㉗	軽量棚	2	W1750×H1802×D600
㉘	トイレ収納	3	W1000～1150×H400×D320
㉚	キーボックス	1	各室の鍵用、ダイアル錠
㉛	PCロッカー	1	43型以上 ※r壁付
㉜	TV(電気設備工事)	1	各室の鍵用、ダイアル錠
E	ブーリーロウ	1	W1670×H1710×D710
F	ペアダンベルラック	1	W2350×H820×D750
G	オールインワンラック	1	W2200×H2200×D1500
H	トレッドミル	1	W2080×H1620×D980

特記事項

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 家具配置図(2)

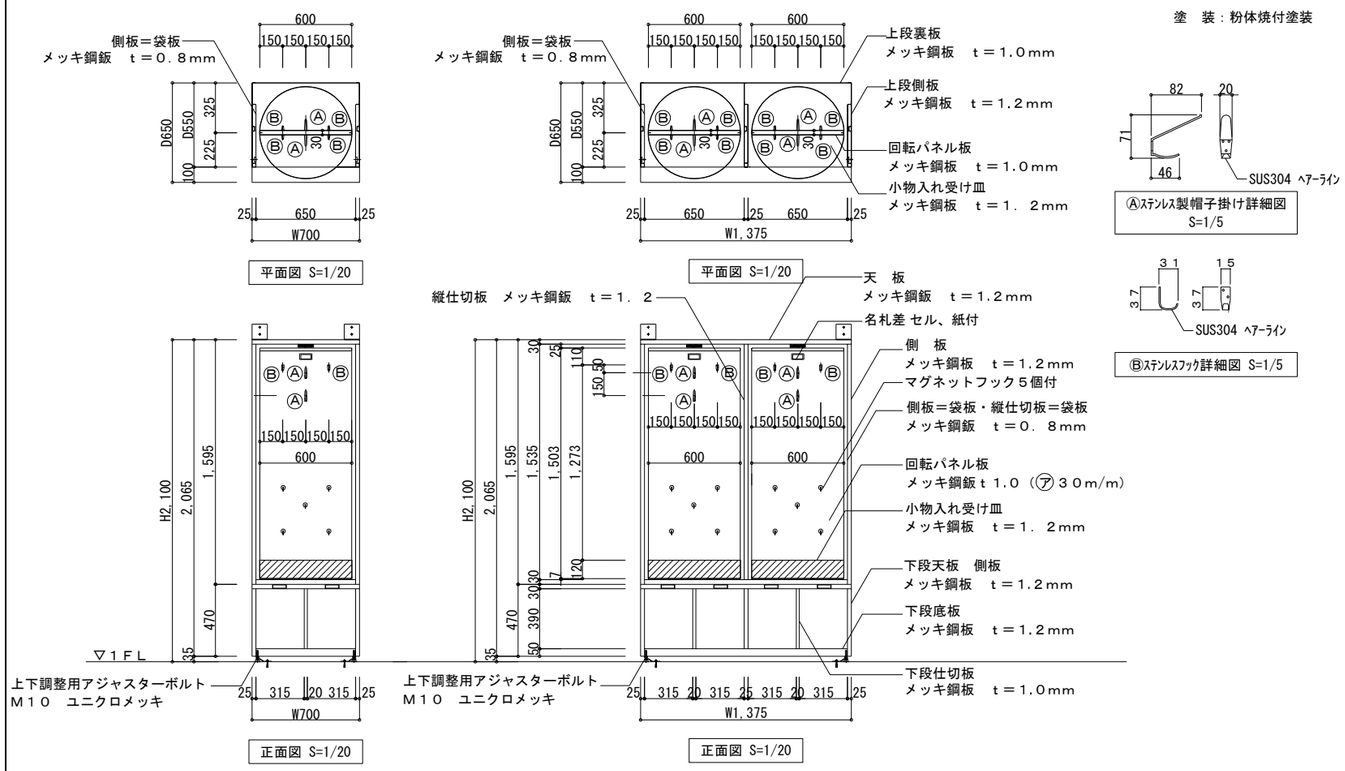
縮尺 A1:1/100 A3:1/200

当初・変更・完成

図番 A702

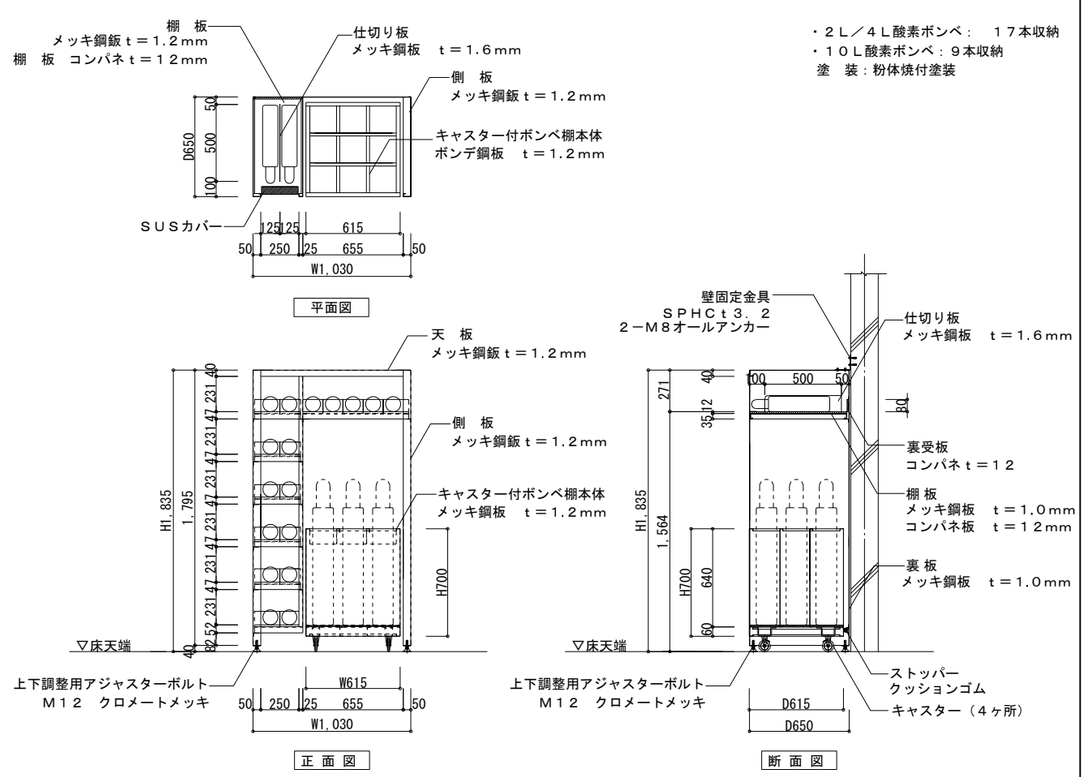
① ② 回転式防火衣掛けロッカー 詳細図（１階 防火衣着装室）

図示



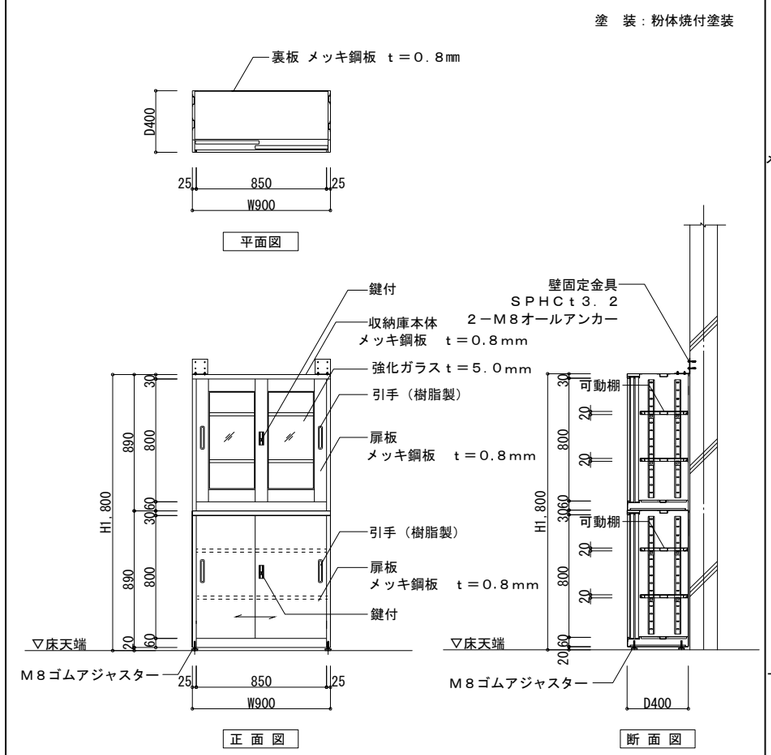
③ 救急用酸素ボンベ収納棚 詳細図（１階 救急資機材庫）

1/20



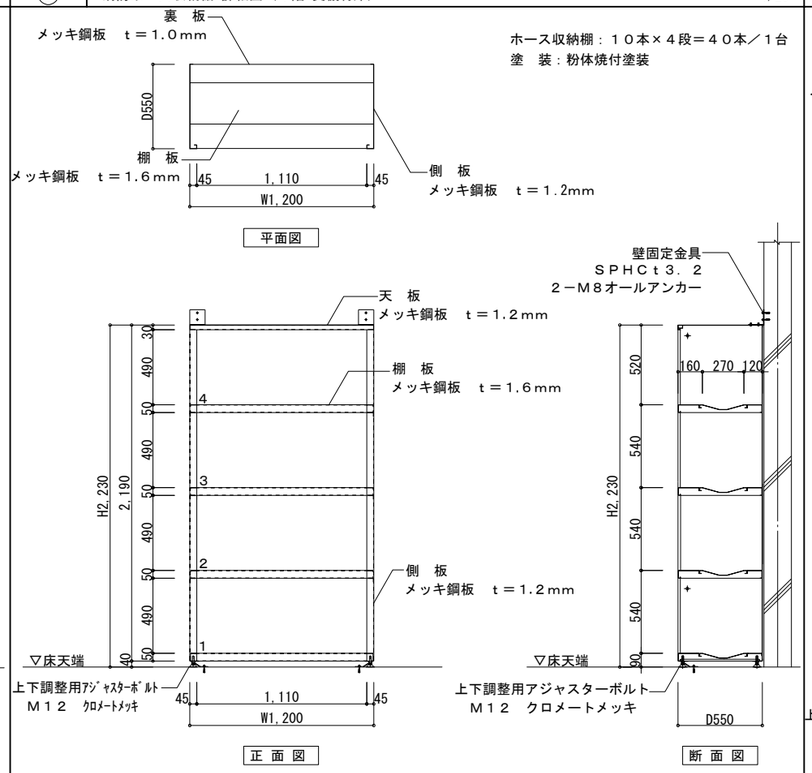
④ 薬剤庫 詳細図（１階 救急資機材庫）

1/20



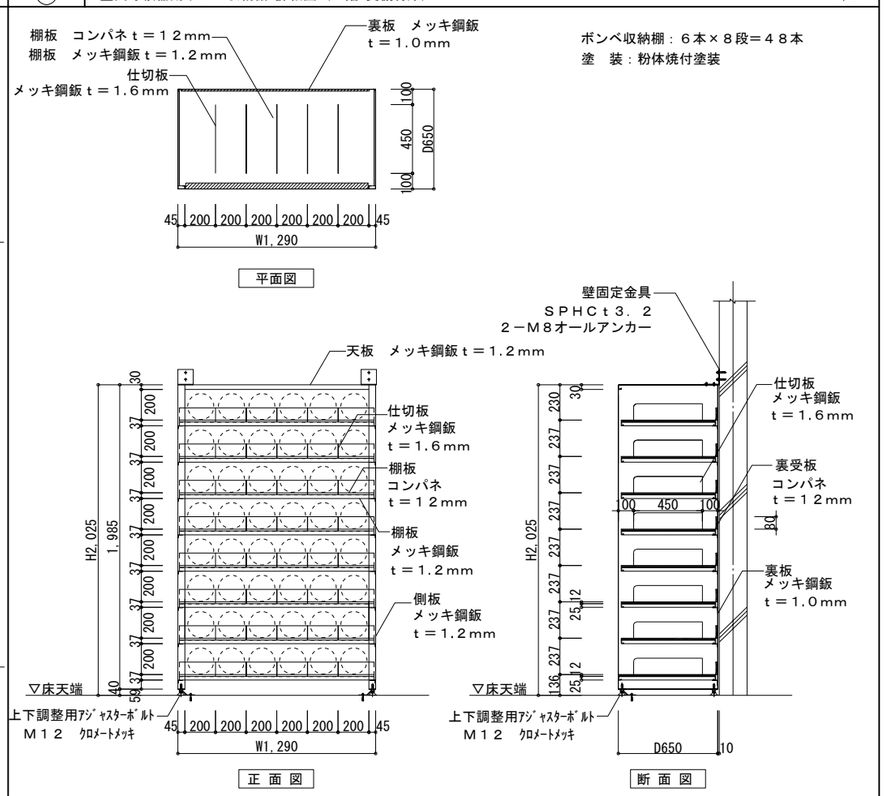
⑤ 消防ホース収納棚 詳細図（１階 資機材庫）

1/20



⑥ 空気呼吸器用ボンベ収納棚 詳細図（１階 資機材庫）

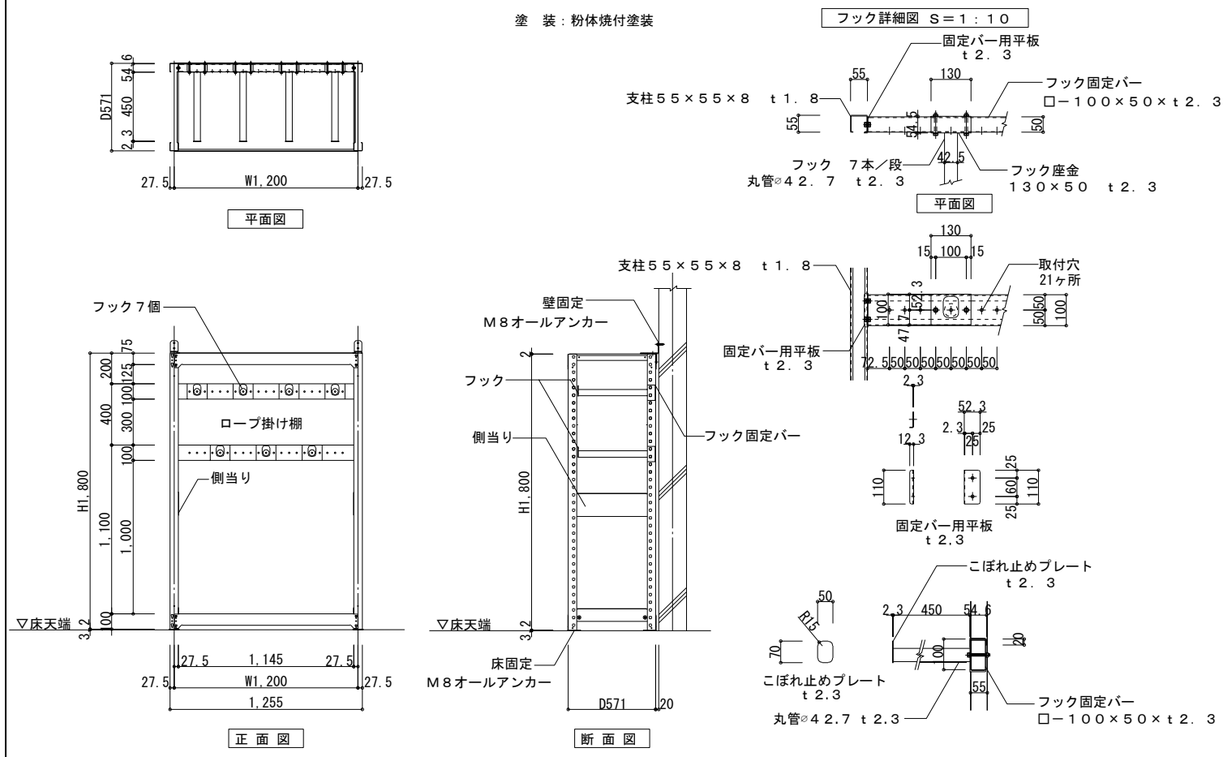
1/20



特記事項	株式会社あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241 設計者 佐藤 貞清	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 図面名称 家具詳細図(1)	当初・変更・完成 縮尺 A1:1/20 A3:1/40 図番 A703

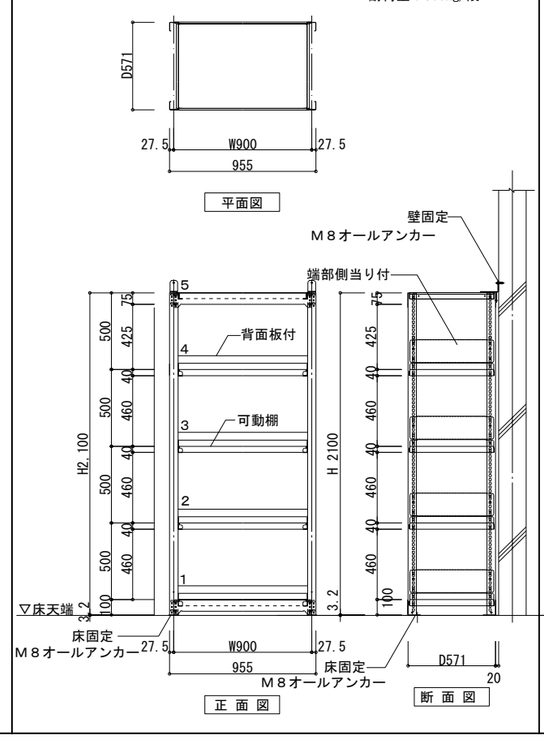
⑦ ロープ収納棚（中量ラック） 詳細図　図示

塗　装：粉体焼付塗装



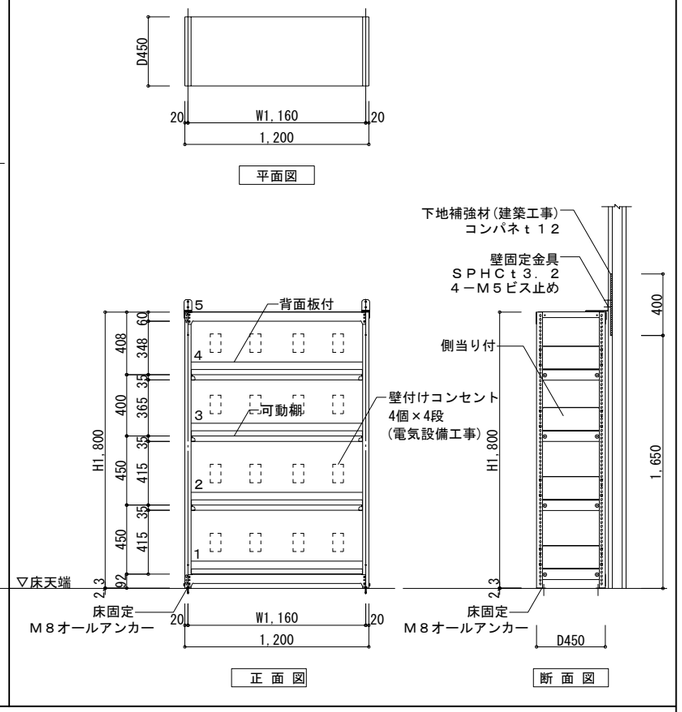
⑧ 収納棚（中量ラック） 詳細図 （１階 救急資機材庫）　1/20

塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：300kg/段



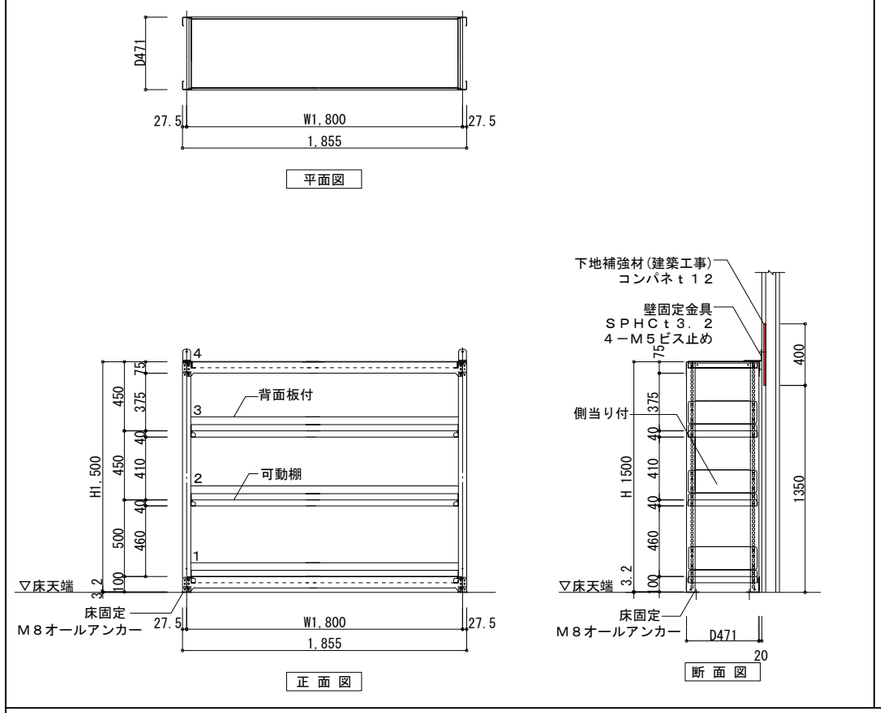
⑨ 充電スペース 詳細図（１階 出動準備室）　1/20

塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：200kg/段



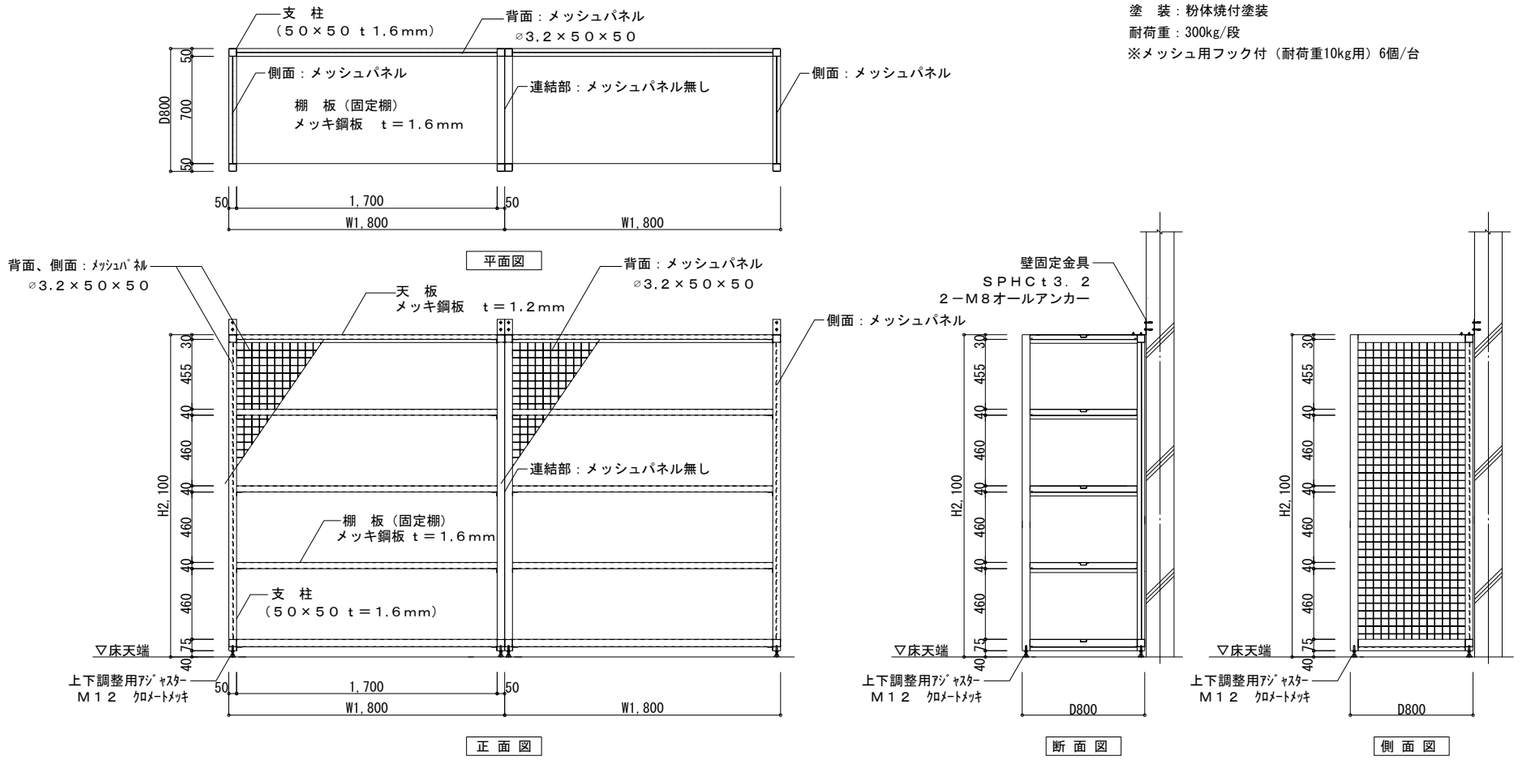
⑩ 収納棚（中量ラック） 詳細図 （１階 出動準備室）　1/20

塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：300kg/段



⑪ 資機材棚 詳細図（１階 資機材庫）　1/20

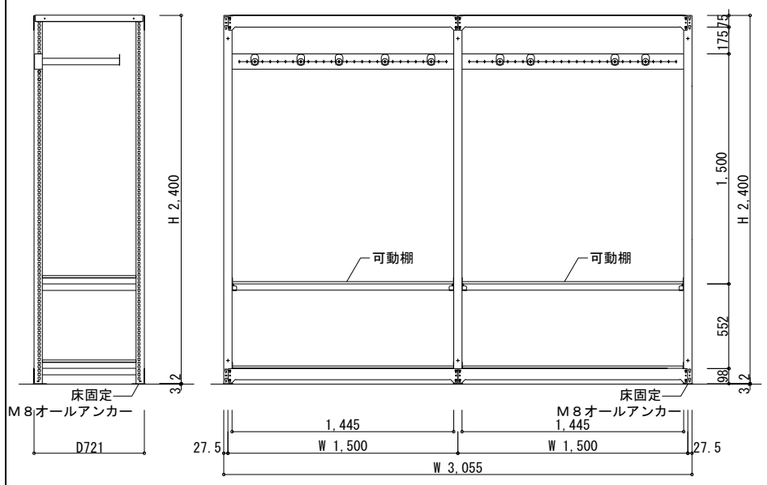
塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：300kg/段
※メッシュ用フック付（耐荷重10kg用）6個/台



特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 家具詳細図(2) / 縮尺 A1：図示 A3：図示 / 図番 A704

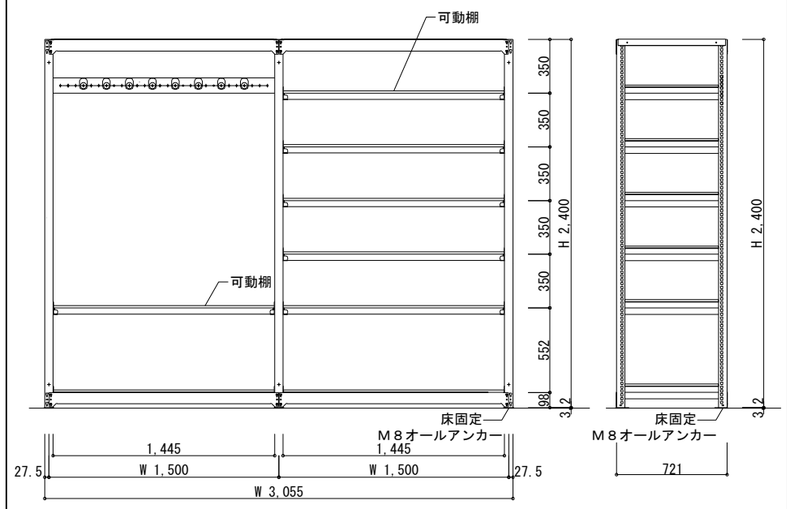
⑫ 機材棚 詳細図（１階 水防資機材庫兼資機材庫） 図示

塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：300kg/段
全段コンパネ t15張り（天板除く）
コンパネ止め金具 4個/段



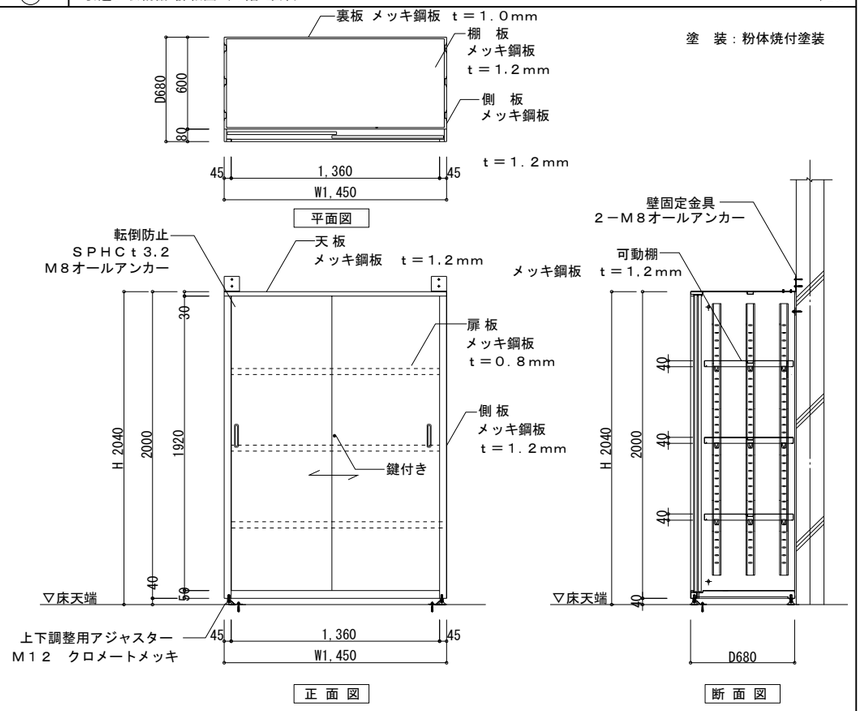
⑬ 機材棚 詳細図（１階 水防資機材庫兼資機材庫） 1/20

塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：300kg/段
全段コンパネ t15張り（天板除く）
コンパネ止め金具 4個/段



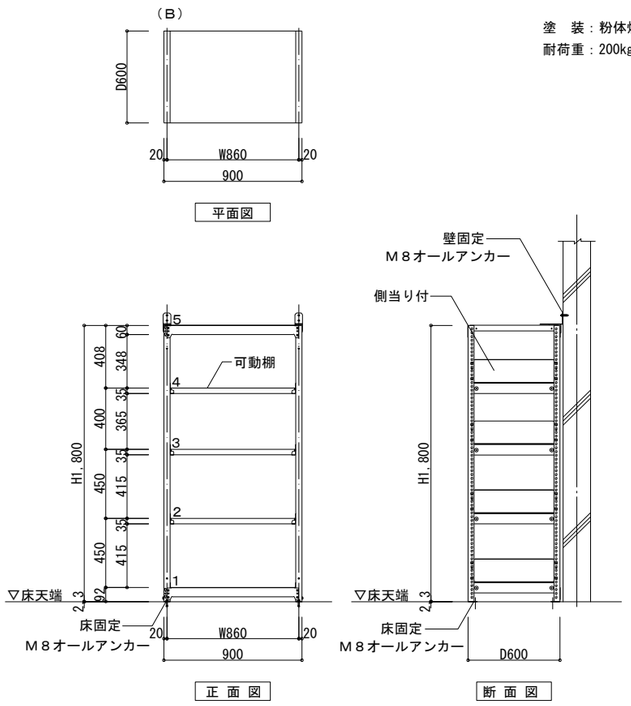
⑭ 引違い収納棚 詳細図（１階 車庫） 1/20

塗　装：粉体焼付塗装



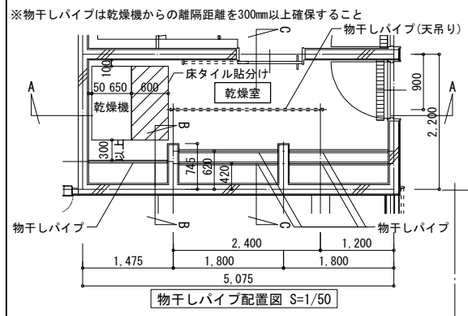
⑮ 収納棚 詳細図（１階 洗濯室） 1/20

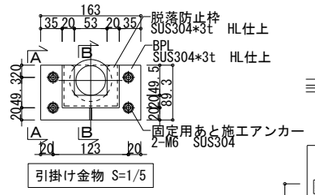
塗　装：粉体焼付塗装
耐荷重：200kg/段

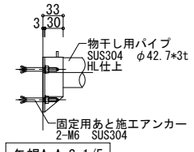


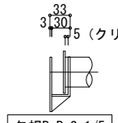
⑯ 物干し竿 詳細図（１階 乾燥室） 図示

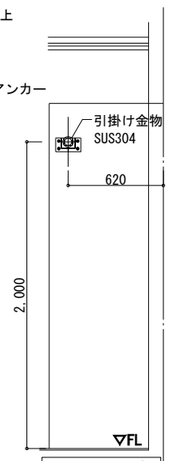
※物干しパイプは乾燥機からの離隔距離を300mm以上確保すること

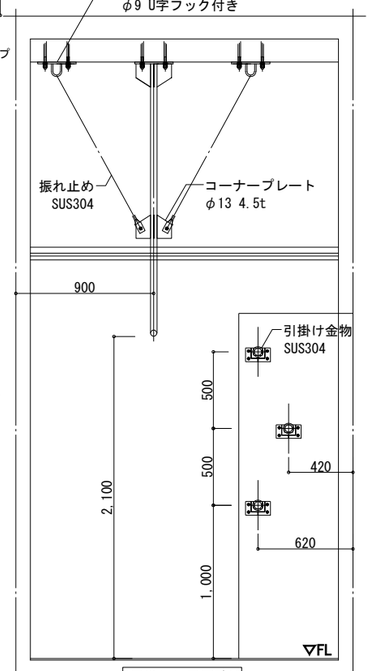


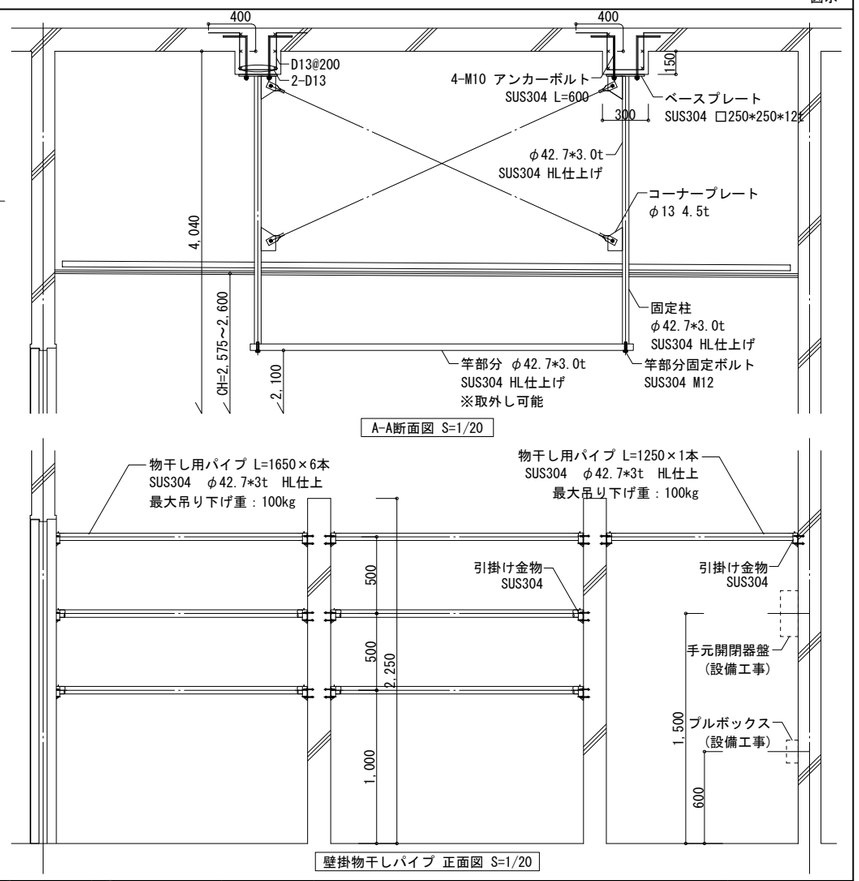






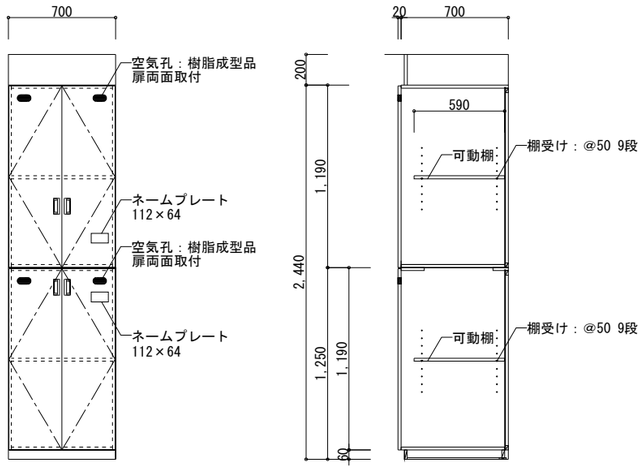






特記事項	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241 設計者 佐藤 貞清	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
						図面名称 家具詳細図(3) 縮尺 A1:図示 A3:図示	図番 A705

⑱ 個人衣服収納棚 詳細図（２，３階 仮眠室） 1/20

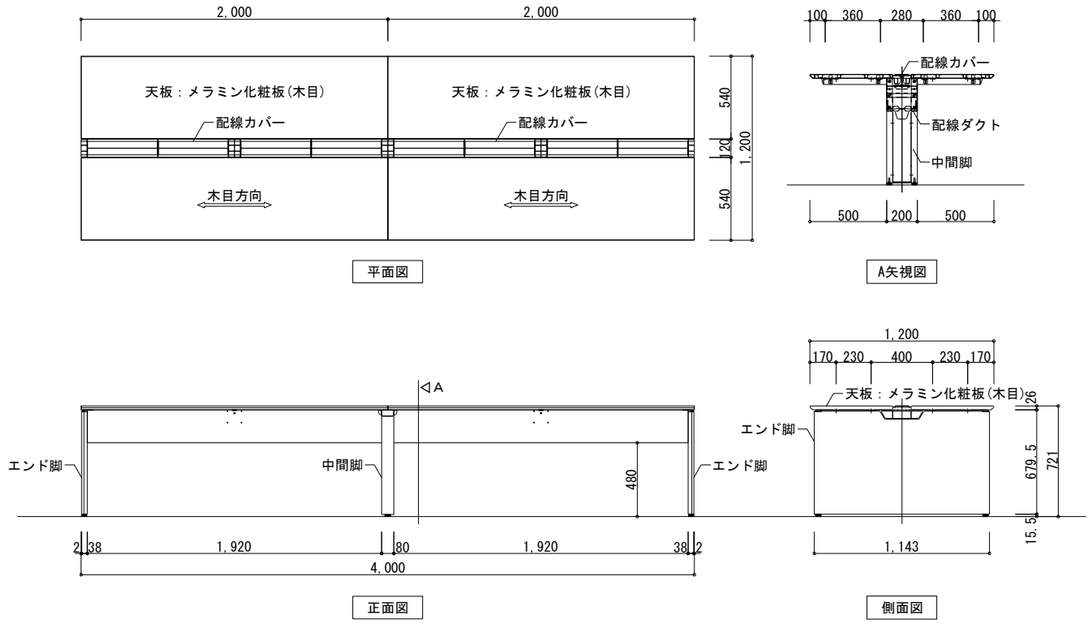


セフティーエッジ　ｔ３

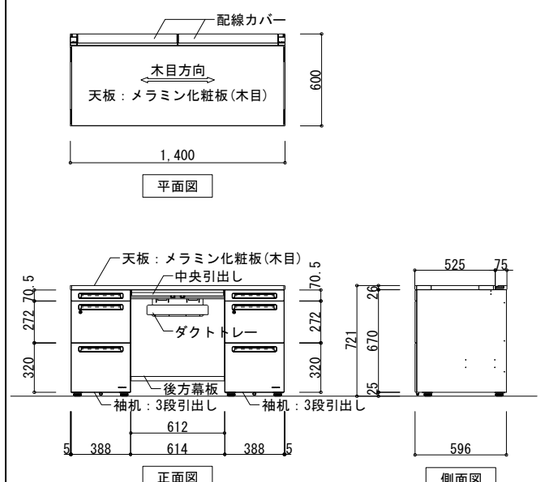
本 体	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
棚	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
	棚受ダボ：ステンレスφ9
扉	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
	木口：ABS樹脂3mm厚（セフティエッジ）
	把手：抗菌性樹脂成型品
台 輪	化粧合板貼

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）

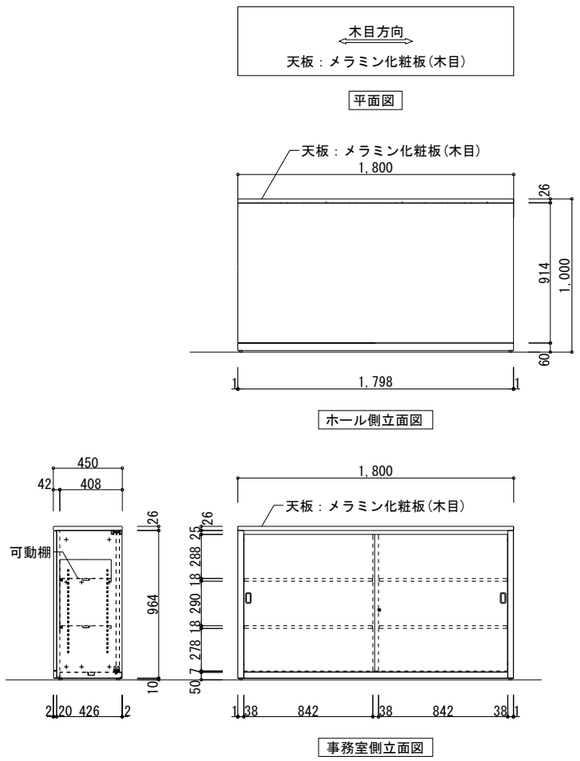
⑲ 両面デスク 1/20



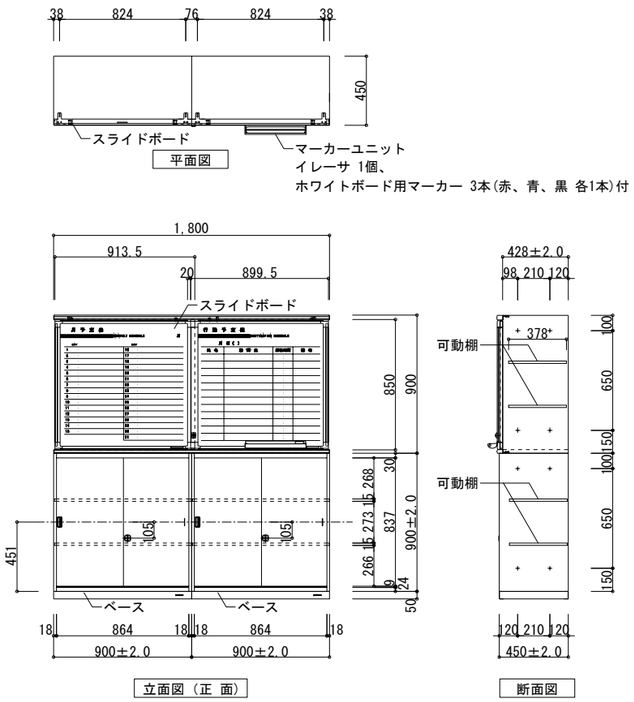
⑳ 両袖机(左右3段引出し) 詳細図（3階 事務室） 1/20



㉑ 引違い収納付ハイカウンター 詳細図（３階 事務室） 1/20

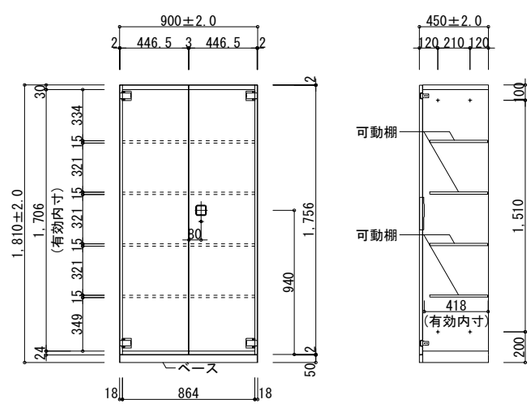


㉒ スライドボード付収納　詳細図(3階　事務室) 1/20



※予定表等のデザインについては施工図等にて施設管理者へ確認を行い、承諾後、発注・施工すること。
※壁固定とする。

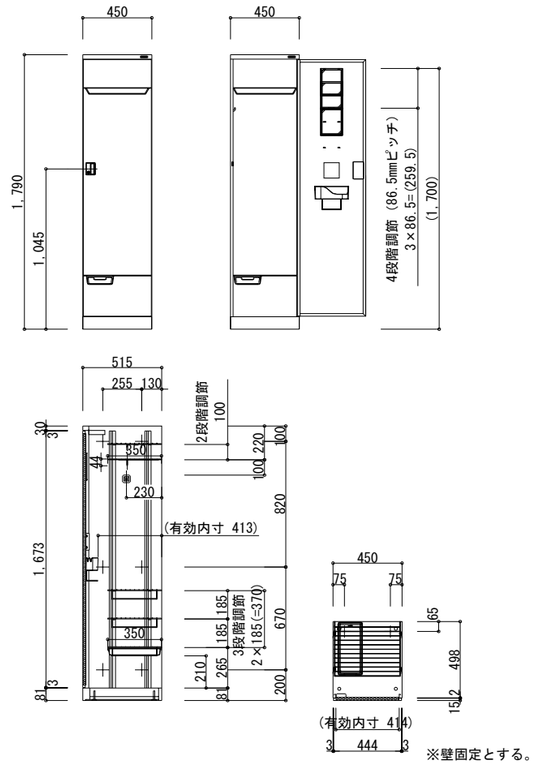
㉓ 両開き書庫　詳細図(3階事務室) 1/20



※壁固定とする。

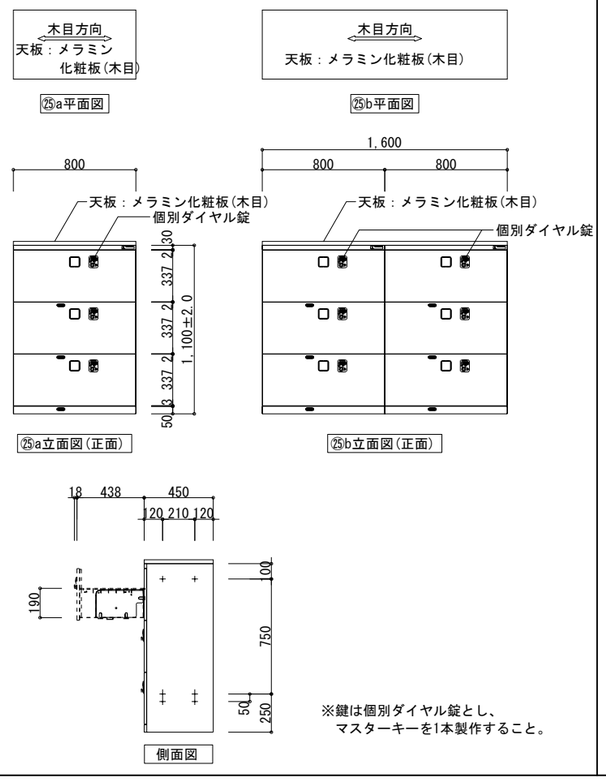
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	図面名称	家具詳細図(4) 縮尺 A1:図示 A3:図示	図番 A706

㉔ 1人用ロッカー（木目）/シリンダー錠/450W×515D×1790H　1/20



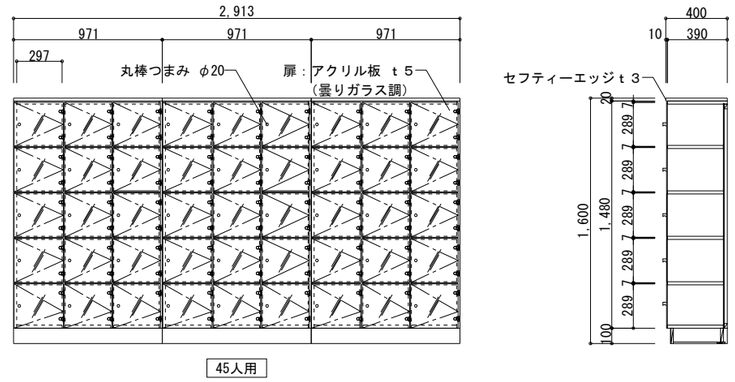
※壁固定とする。

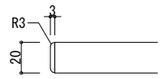
㉕ 3段引出し収納（個別ダイヤル錠）詳細図(3階事務室)　1/20



※鍵は個別ダイヤル錠とし、
マスターキーを1本製作すること。

㉖ 個人用ロッカー 詳細図（３階 廊下）　1/20



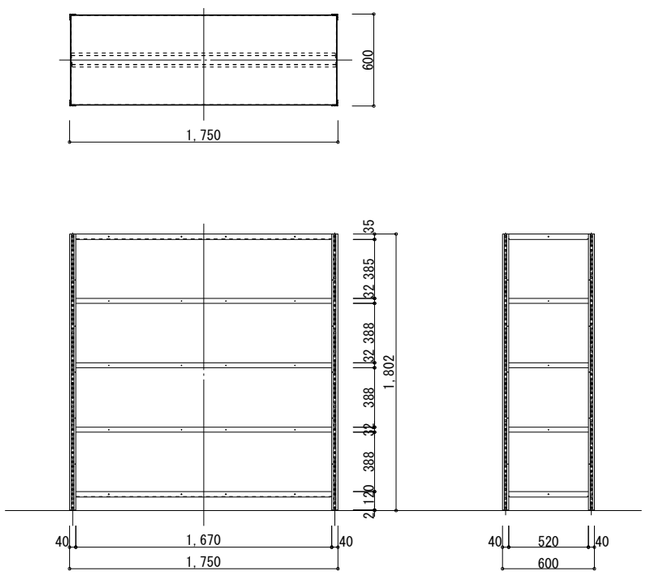


セフティーエッジ　ｔ３

本 体	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
天 板	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
	木口(前端)：ABS樹脂3mm厚（セフティエッジ）
棚	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
扉	アクリル板 ｔ５
	丸棒つまみ
台 輪	化粧合板貼

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）

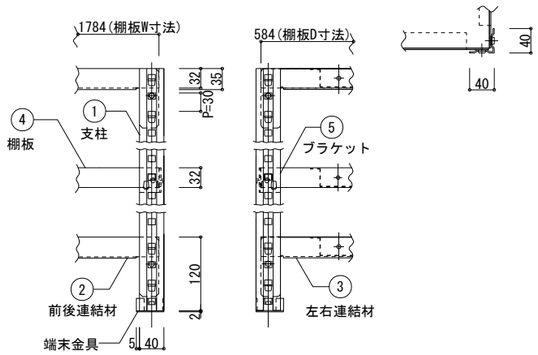
㉗ 軽量棚　詳細図(4階書庫兼倉庫)　1/20



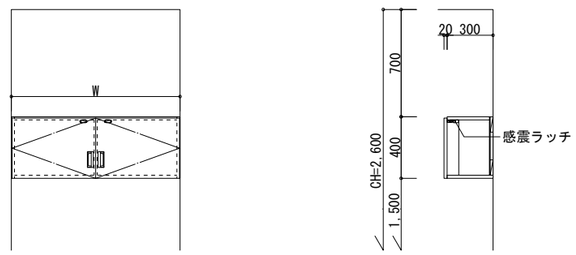
番号	名　称	個数	備　考
1	支柱	4	
2	前後連結材	4	
3	左右連結材	4	
4	棚板	5	
5	ブラケット	3	

※壁固定とする。
※主要鋼材及び部材等はすべてJISS1039規格認証製品
またはこれに準した製品であること。
※耐荷重：150kg/段、850kg/連とする。

棚板は上下方向に30mmピッチにて移動可能

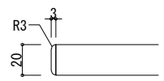


㉘ トイレ収納 詳細図　1/20



設置室

1階	WWC：W=1,000
3階	WWC：W=1,150
4階	WWC：W=1,050
	MWC：W=1,050



セフティーエッジ　ｔ３

本 体	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
扉	両面メラミン化粧パーチクルボード t20（表面硬度９Ｈ以上）
	木口：ABS樹脂3mm厚（セフティエッジ）
	把手：抗菌性樹脂成型品

※耐久面を考慮し、コート紙系パーティクルボードは使用不可
（材料サンプルでスクラッチテストを行い、鉛筆硬度9H以上を証明すること）
※ 扉木口：セフティーエッジ　ｔ３

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

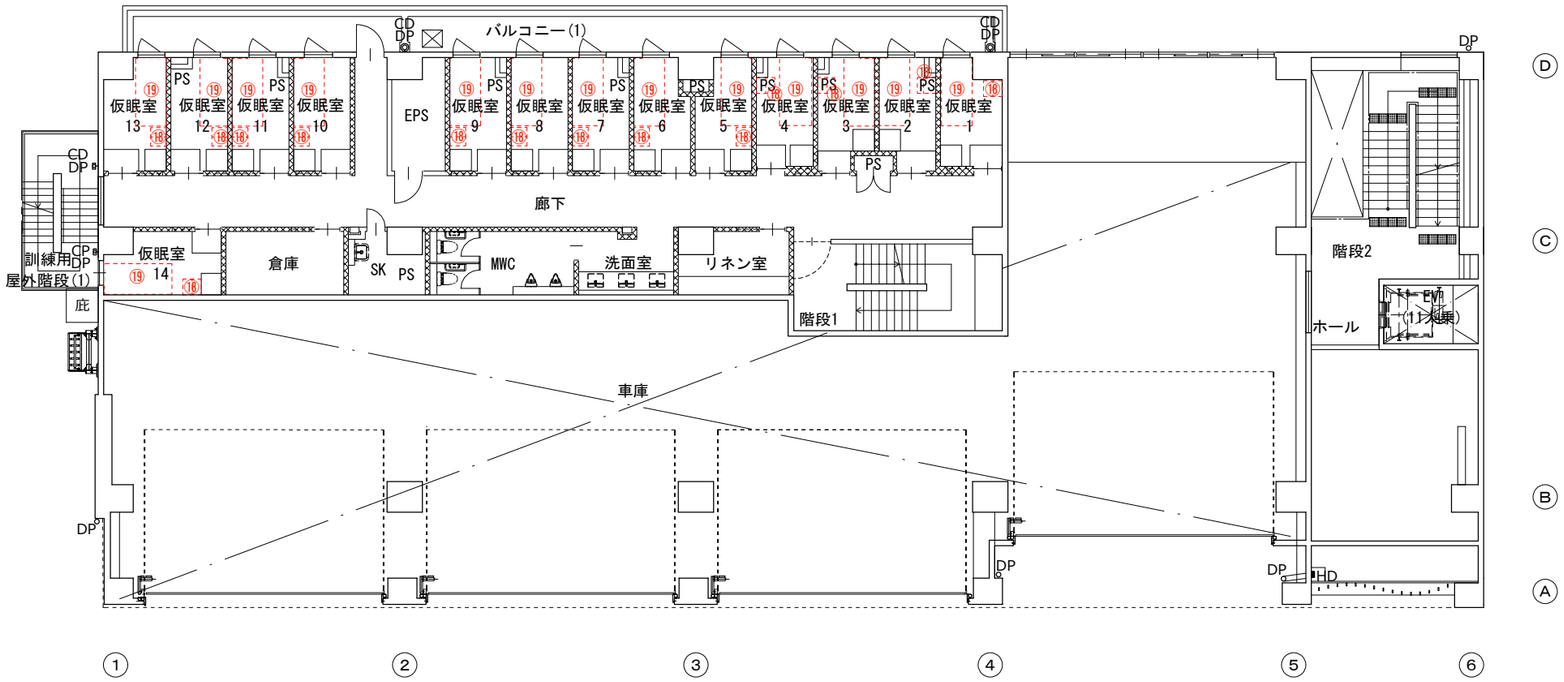
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

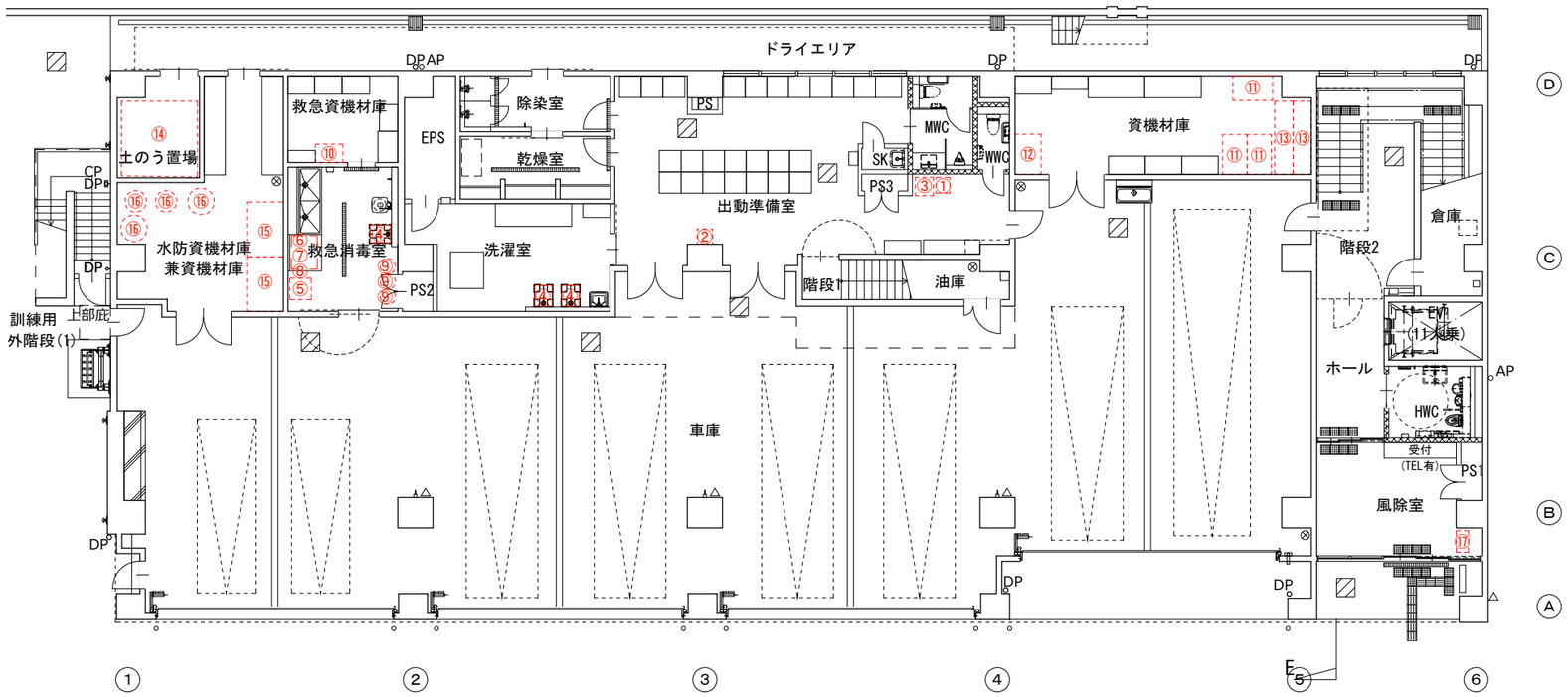
図面名称 家具詳細図(5)

縮尺 A1：図示 A3：図示

図番 A707



2階家具配置図



1階家具配置図

備品リスト

番号	備品	数量	備品サイズ W×H×D
①	殺菌線ロッカー(UVロッカー) ※救急隊出動動線上が好ましい	1	W460×H1790×D520
②	指令用プリンター(ラック共)	1	W373×H255×D388
③	冷凍庫(保冷材用)	1	W600×H900×D600程度
④	洗濯機、乾燥機、スタンド	3	10kg程度
⑤	冷蔵庫	1	W700×H1800×D700程度
⑥	高圧蒸気滅菌器 ※作業台上に設置	1	W500×H500×D500程度
⑦	救急資機材乾燥機(食器乾燥機) ※作業台上に設置	1	W500×H400×D400程度
⑧	ヒートシーラー ※作業台上に設置	1	W820×H240×D430程度
⑨	ごみ箱	3	45ℓごみバケツ
⑩	収納棚(業者補充用)	1	W900×H1860×D450
⑪	水難用カーゴ	3	W1300×H1700×D800
⑫	移動式呼吸器用高圧エアコンプレッサー	1	W860×H810×L1320
⑬	収納ボックス	2	W2400×H700×D600
⑭	完成土のう	1	350袋
⑮	大型マット	2	W1800×H1000×D1200
⑯	タイヤ	16	・救急車　4本 ・救助車、はしご車　6本×2台＝12本 (直径87cm、幅25cm)
⑰	傘立て	1	―
⑱	ロッカー(2連2人用)	14	W600×H1790×D515程度
⑲	仮眠室用ベッド	14	W1000×H850×L2200程度

※本工事完了後、別途購入・設置予定の備品リストである。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

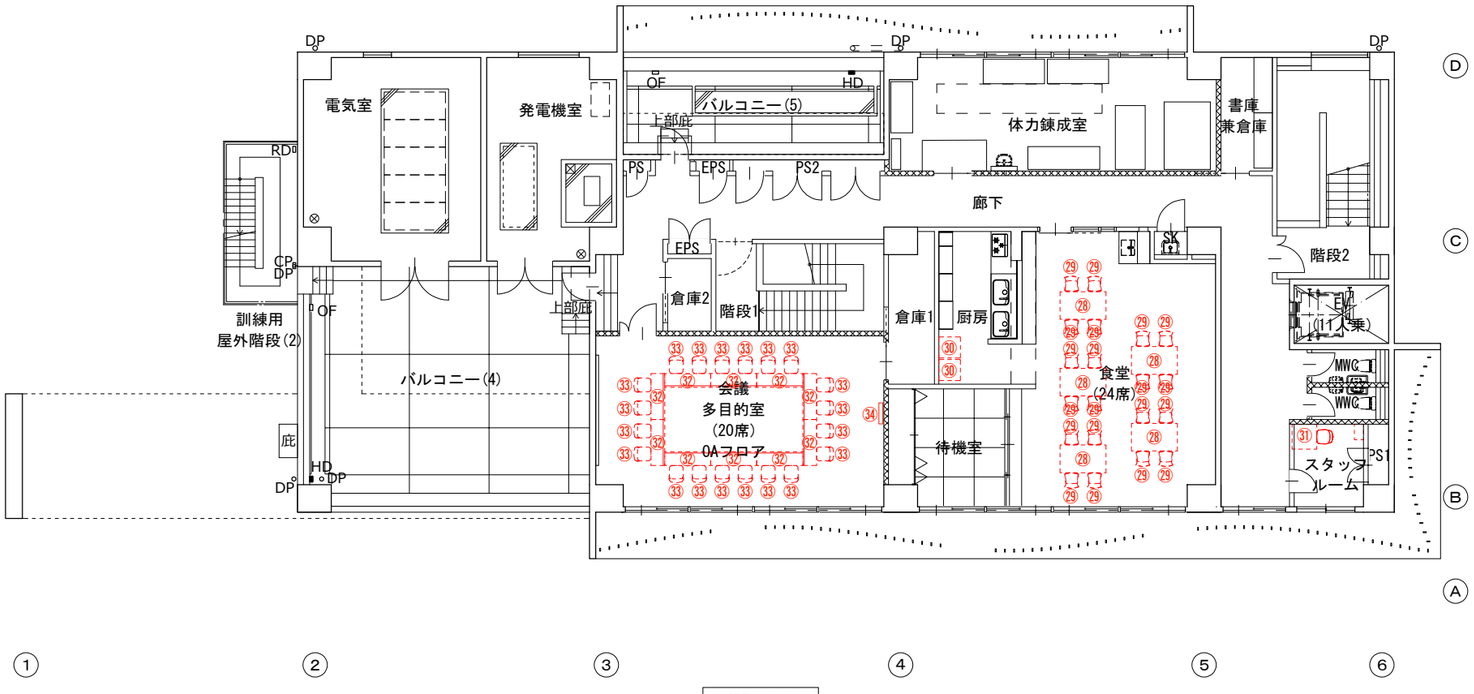
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 備品配置図(1)

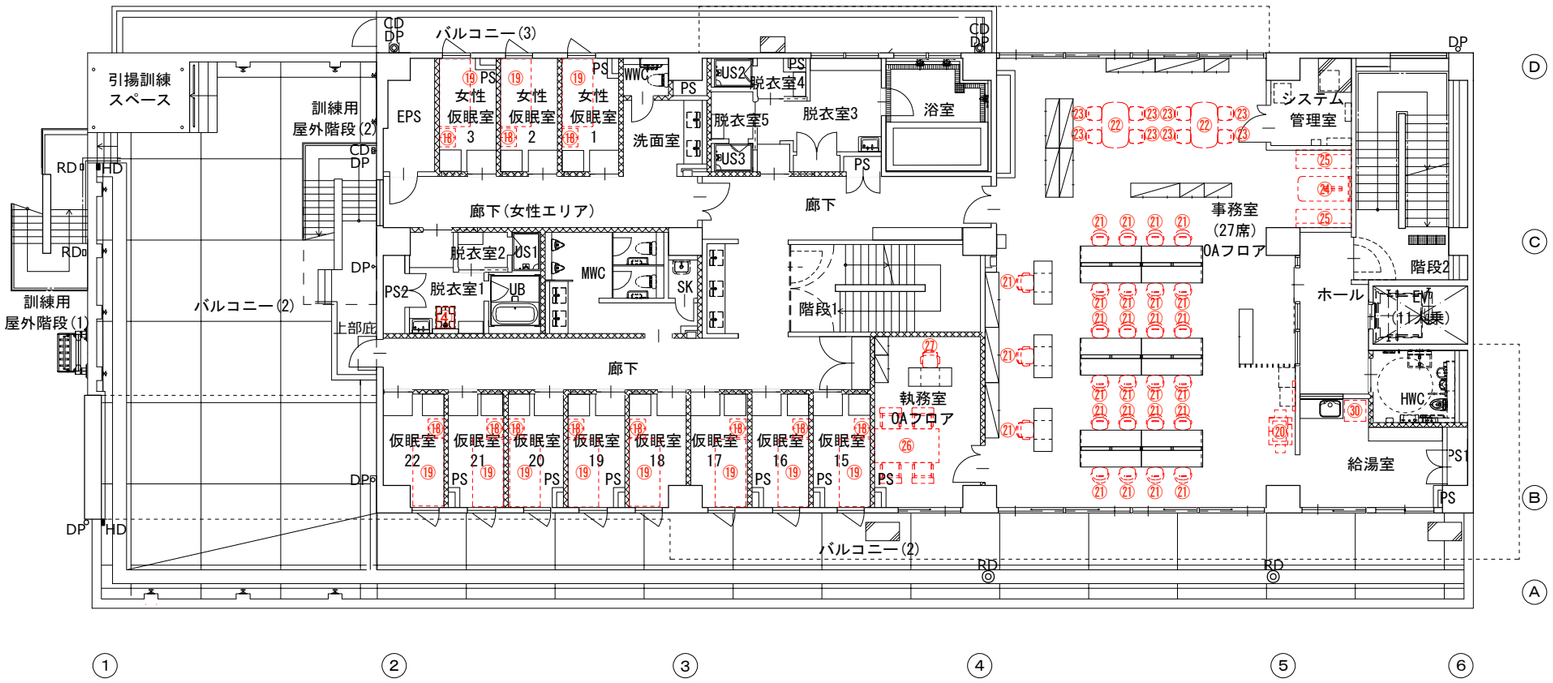
縮尺 A1:1/100 A3:1/200

当初・変更・完成

図番 A708



4階家具配置図



3階家具配置図

備品リスト

番号	備品	数量	備品サイズ W×H×D
④	洗濯機、乾燥機、スタンド	1	10kg程度
⑱	ロッカー(2連2人用)	11	W600×H1790×D515程度
⑲	仮眠室用ベッド	11	W1000×H850×L2200程度
⑳	コピー機	1	W1400×H1200×D900程度
㉑	職員用チェア	27	W680×H940×D625程度
㉒	打合せテーブル	2	W1500×H720×D900程度
㉓	打合せチェア	8	W680×H940×D625程度
㉔	来庁者用テーブル	1	W1500×H720×D900程度
㉕	来庁者用チェア	4	W680×H940×D625程度
㉖	応接セット(4人用)	1	テーブル W1200×H430×D600程度 チェア W700×H760×D700程度
㉗	椅子(執務室)	1	W680×H940×D625程度
㉘	机	5	W525×H745×D550程度
㉙	椅子	20	W1500×H720×D900程度
㉚	冷蔵庫等	3	450ℓ以上
㉛	ロッカー、テーブル、椅子(スタッフルーム)	1	―
㉜	会議用机	10	W1500×H720×D450程度
㉝	椅子(収納スペース共)	20	W525×H745×D550程度
㉞	電子黒板	1	

※本工事完了後、別途購入・設置予定の備品リストである。

特記事項	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 設計者 佐藤 真清	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 図面名称 備品配置図(2)	当初・変更・完成 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 図番 A709

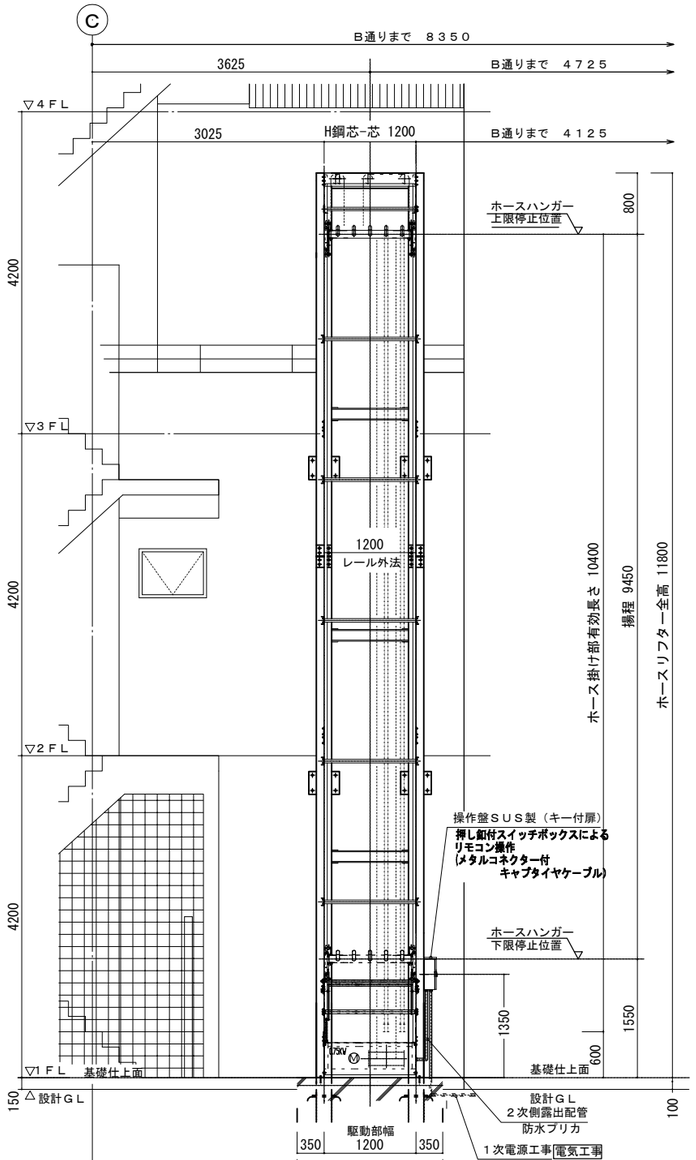
仕様概略

項　目	仕　様
台　数	1　基
外法寸法	１２００Ｗ×１１８００Ｈ
ホース収容本数	前後列　各５　　計１０本
巻上能力	２００ｋｇ（２０ｋｇ×１０本）
昇降速度	７.５ｍ／ｍｉｎ　６０ＨＺ
電動機	０.７５ｋｗ　ブレーキ付
電　源	２２０Ｖ ３相 ６０ＨＺ
操作回路電源	ＡＣ　２４Ｖ

各部材質及び防錆処理	
ガイドレール	耐蝕アルミ合金
ガイドローラー	ＭＣナイロン　軸SUS304
レールブラケット	ＳＳ材溶融亜鉛メッキ
ホースハンガー	同　上
ウインチボックス	骨格ＳＳ材溶融亜鉛メッキ、外板ＳＵＳ３０４
同上内部機器	生　地　の　ま　ま
吊りワイヤー	２－φ６　ステンレスワイヤー
ボルト類	オールアンカー共全てSUS304

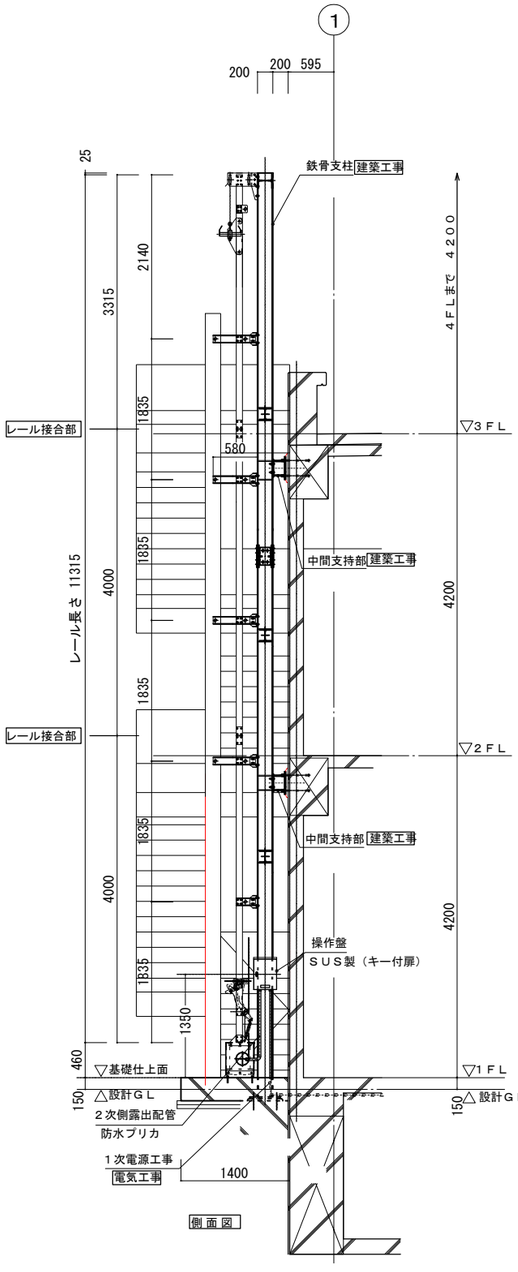
建築工事
　１）鉄骨工事
　２）基礎工事
※構造図参照

電気工事
　１）１次電源工事

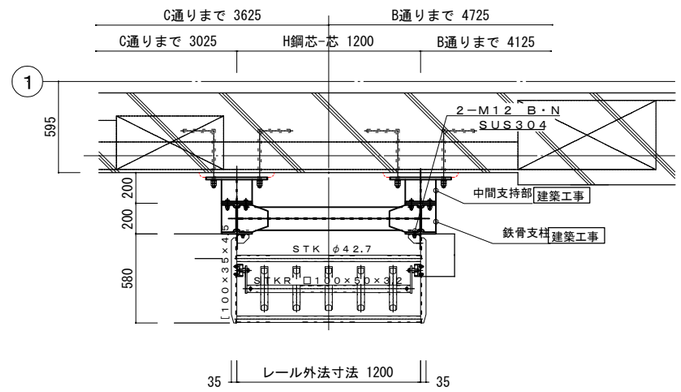


正面図

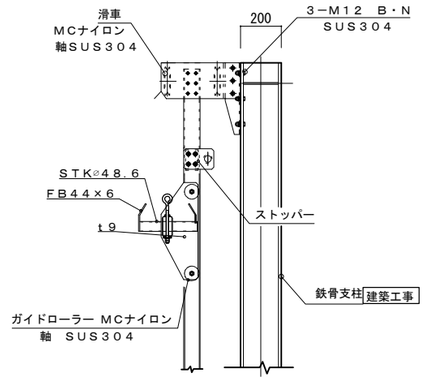
ホースリフター組立図　Ｓ＝１：４０



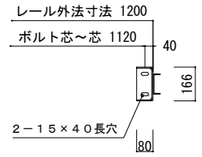
側面図



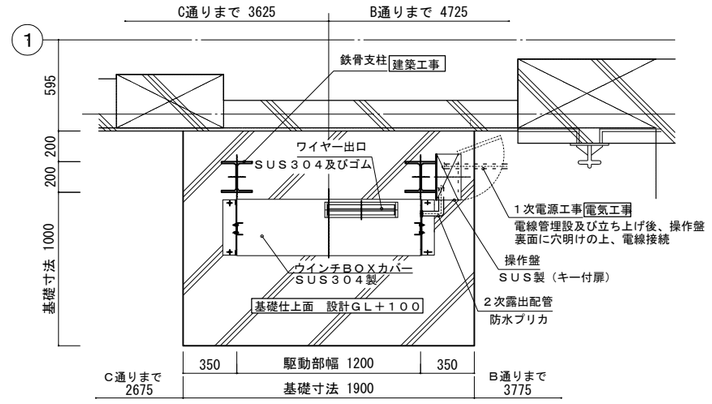
ホースハンガー及びレールブラケット平面　Ｓ＝１：２０



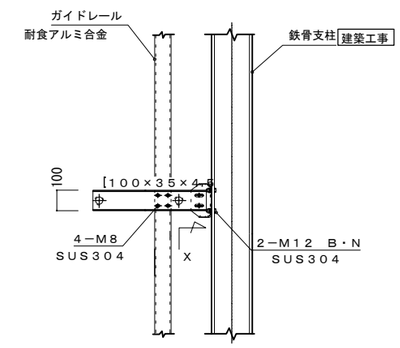
ホースハンガー詳細　Ｓ＝１：１５



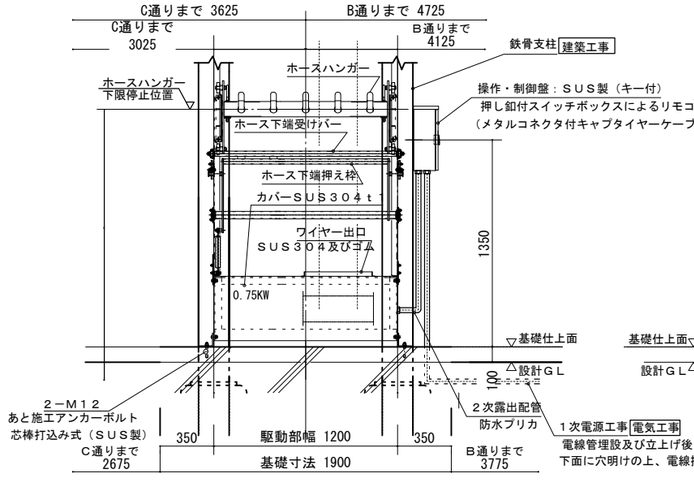
Ｘ－矢視図　Ｓ＝１：１５



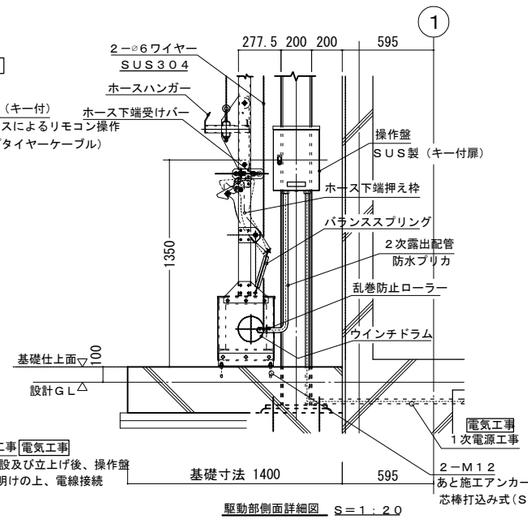
下部駆動部 平面詳細図　Ｓ＝１：２０



レールブラケット詳細　Ｓ＝１：１５

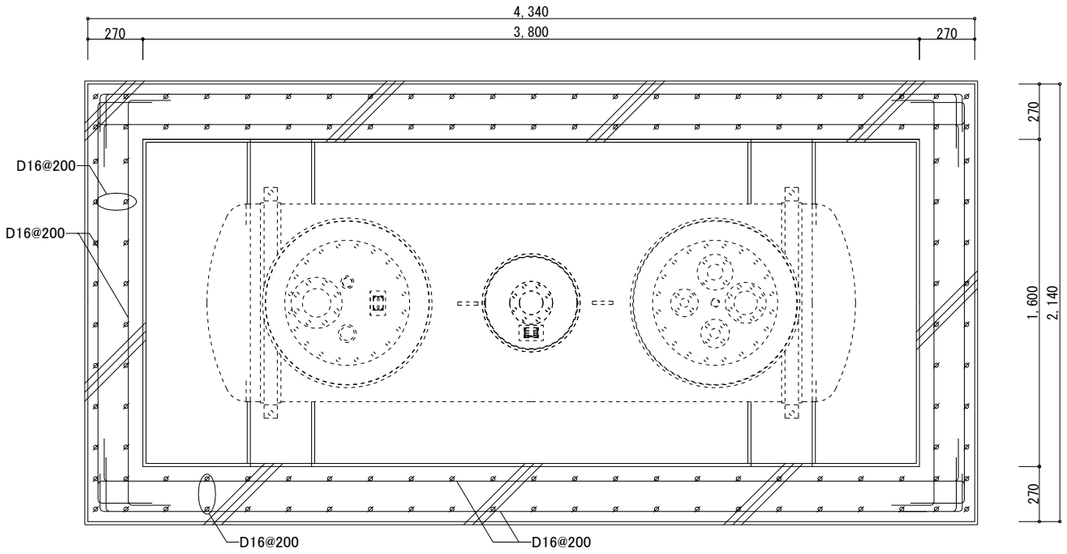


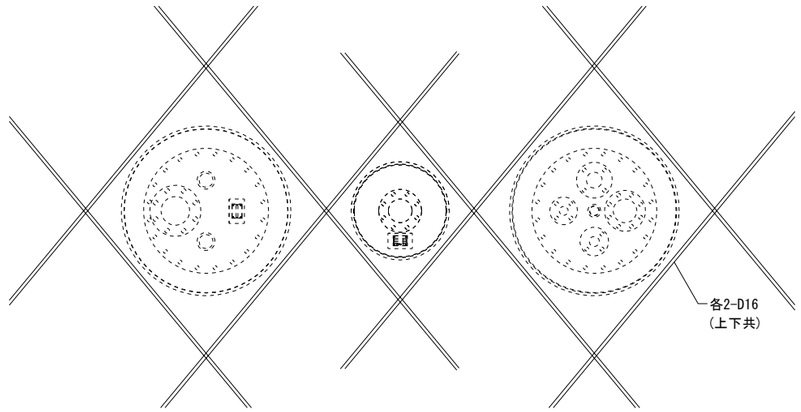
下部駆動部 正面詳細図　Ｓ＝１：２０



駆動部側面詳細図　Ｓ＝１：２０

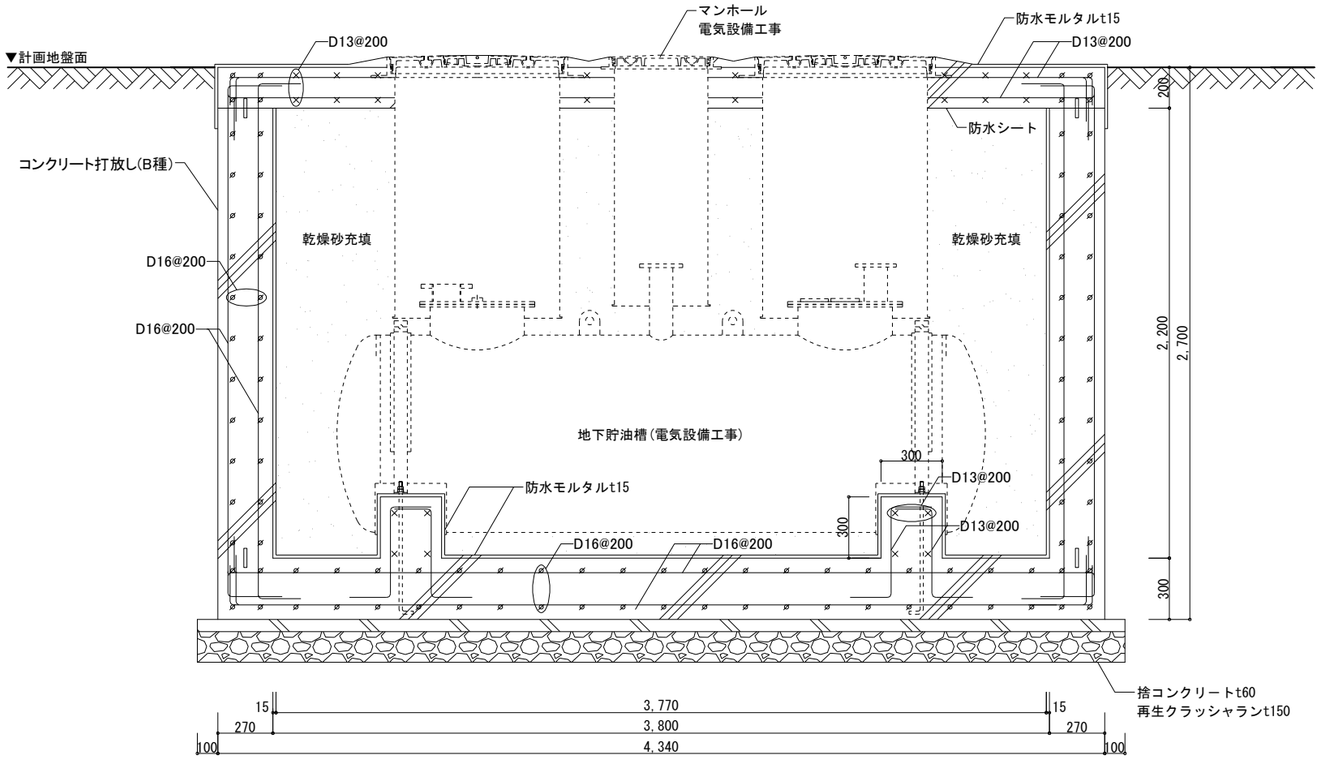
特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任者	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 ホースリフター詳細図 / 縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 A801

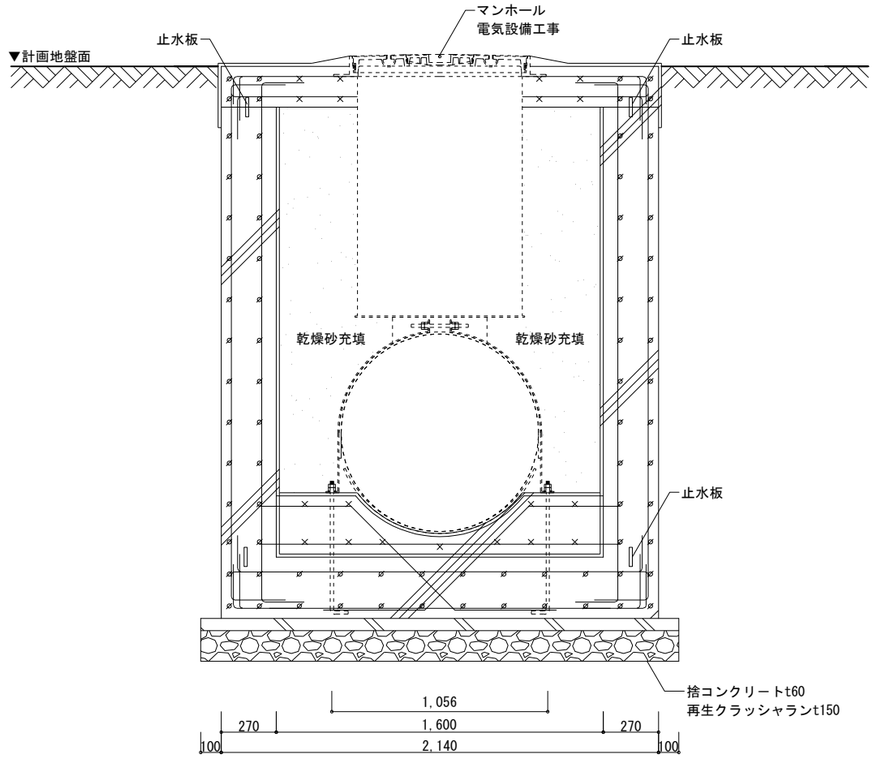




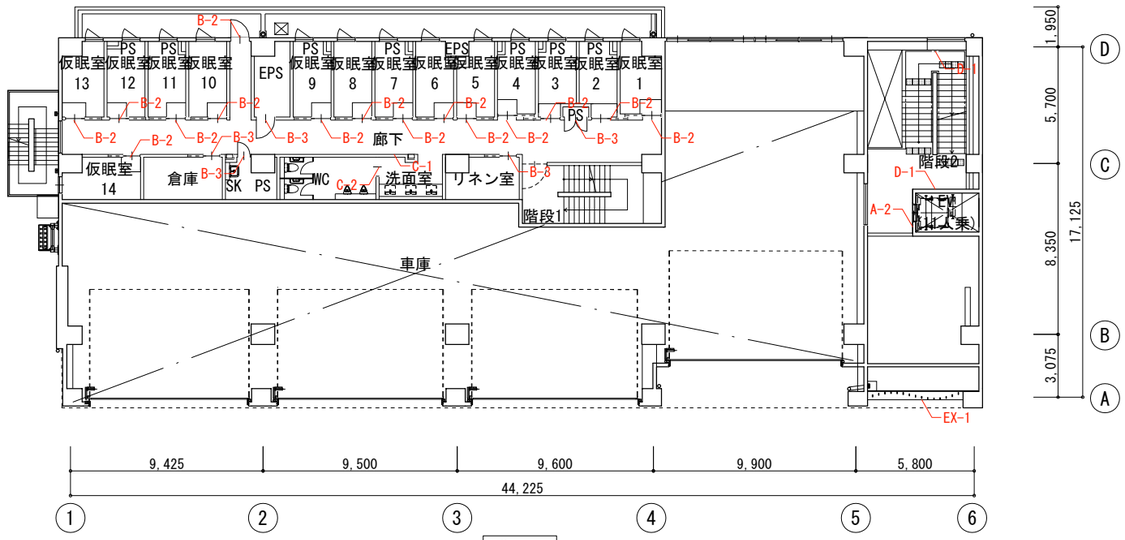
※マンホールから鉄筋の離隔を30mm以上確保すること

マンホール部分配筋詳細図

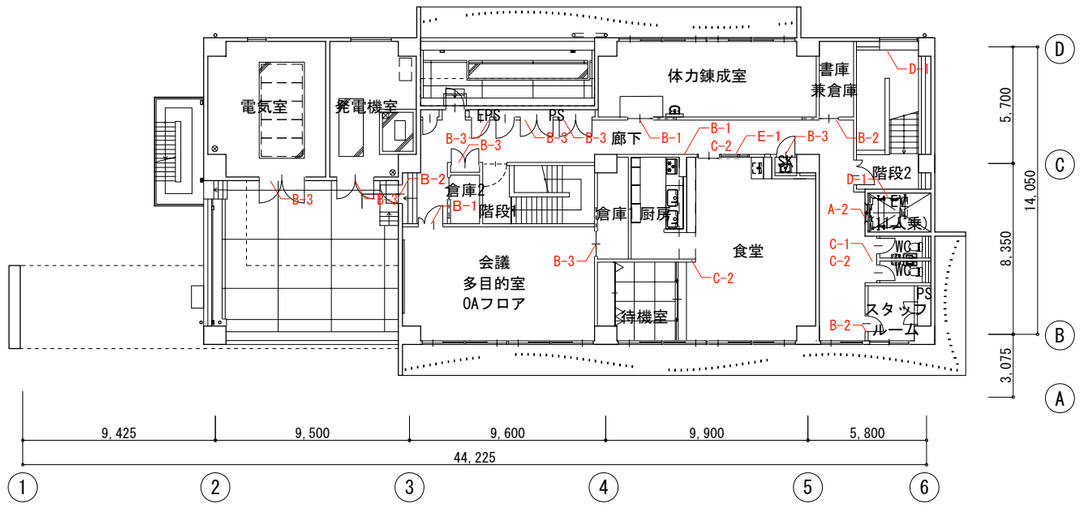




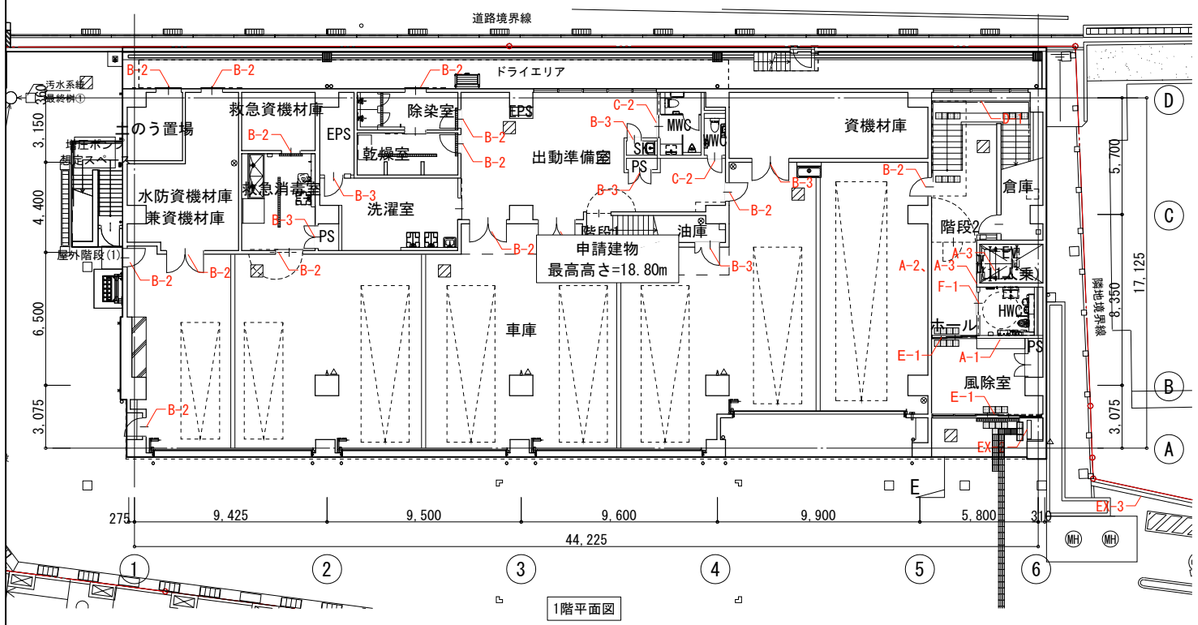
特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	オイルタンク詳細図 縮尺 A1:1/15 A3:1/30	図番 A802



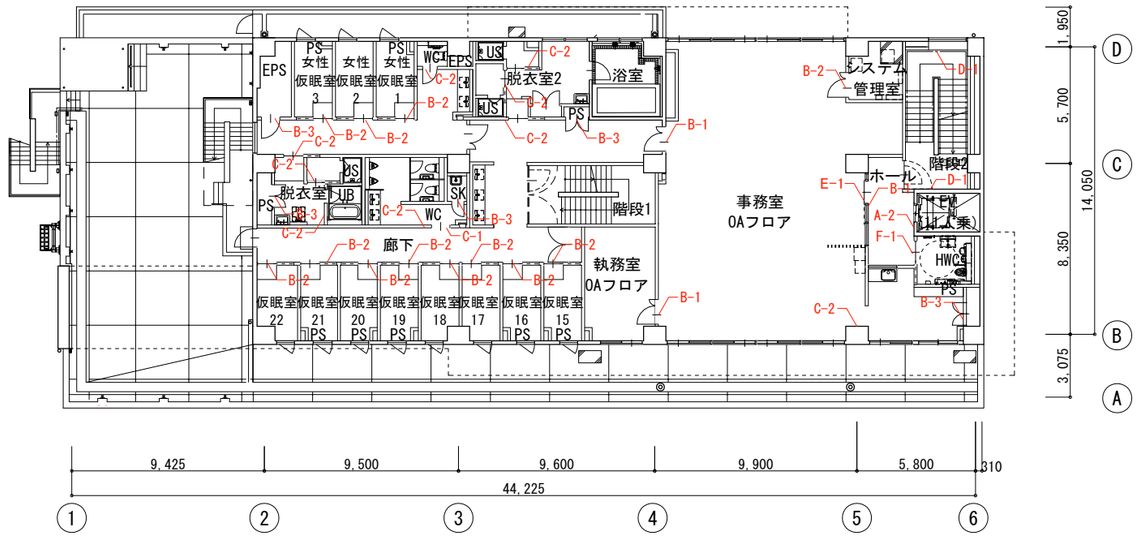
2階平面図



4階平面図



1階平面図



3階平面図

■サイン工事特記事項

1.総記
本設計図書は、サインリスト(員数表)・平面図・詳細図からなる。
平面図・詳細図は、サイン分類記号により示す。
表記内容設置位置は監督員との協議の上調整する。
サイン設置高さは特記なき限り、突出しサイン:建具高さ+150
平付けサイン:目線高さ(FL+1500～1700)とする

2.文字・ピクトグラム(本図は参考)
A-書体
・A-OTF UD 新ゴ Pr6NL 同等品を使用すること。
・表示面により平体又は長体を使用することも考えられる。
・日本字-打合せに依る。
・英字-同上
・数字-同上
B-文字高
・日本字は「木」の高さ、英字は「H」の高さ、数字は「1」の高さをそれぞれ基準とする。
C-字間
・文字の間隔は、視覚的に等しく見えるように配列する。
D-ピクトグラム
・打合せに依る。

3.材料加工
1.いずれの工法においても予めレイアウトを行い、版下の段階において監督員の承認を得ること。
2.使用する材料及びその仕上・色等については、全て見本を提出の上、監督員の承認を得ること。

4.その他
1.諸官庁手続き等必要時は請負者が行う。
2.一次側電源は、設備工事(サイン工事外)とする。
3.塗装はアクリル焼付とし、その他特記に依る。
4.ステンレスは、SUS304とする。
5.下地材は、特記なき場は全てプライマー錆止め仕上、取付下地補強を含む。
6.板面は全て糸面を取る。
7.名称等は監督員と協議の上、決定とすること。

01 サインリスト

記号	サイン名称	個数	記号	サイン名称	個数	記号	サイン名称	個数	記号	サイン名称	個数
A-1	総合案内サイン	1	B-1	室名サイン	6	C-1	ピクトサイン(突出)	3	E-1	衝突防止マーク(建具表による)	4
A-2	フロア案内サイン	4	B-2	一般室名サイン	43	C-2	ピクトサイン(平付)	15	F-1	HWCサイン	2
A-3	EV内案内サイン	1	B-3	バックヤード室名サイン	24	D-1	階数サイン	7	EX-1	館名サイン	1
									EX-2	館名サイン	1
									EX-3	駐車場案内サイン	1

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

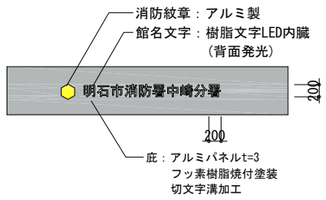
当初・変更・完成

図面名称 サイン配置図

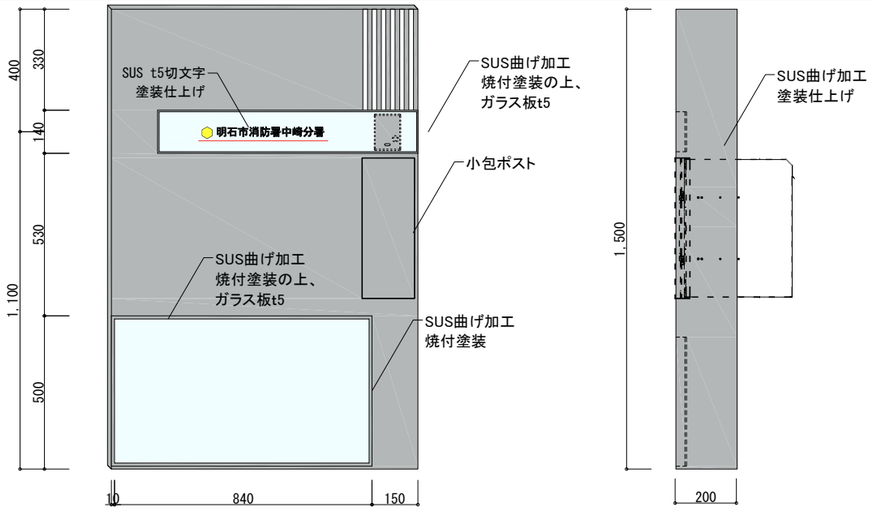
縮尺 A1:1/150 A3:1/300

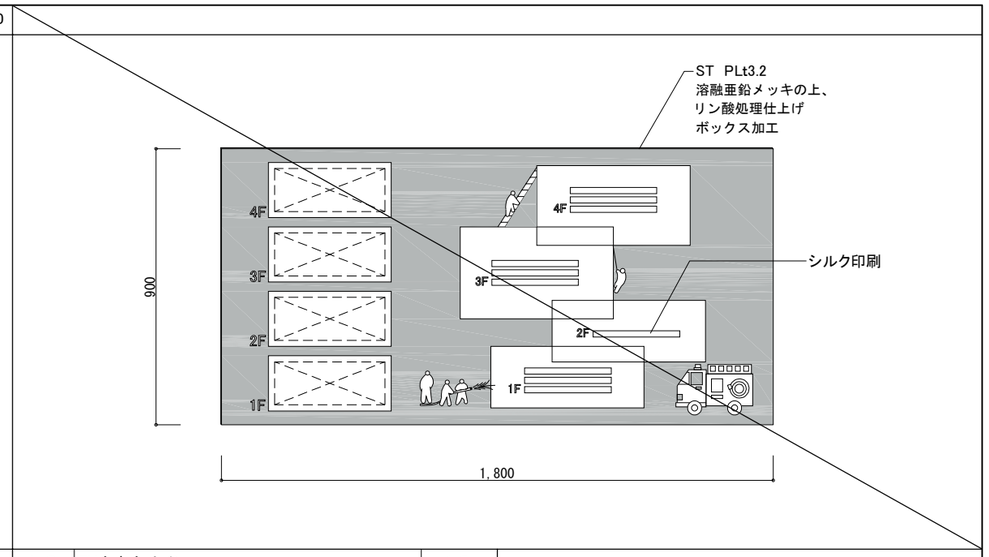
図番 A901

EX-1 館名サイン 1/5、1/10

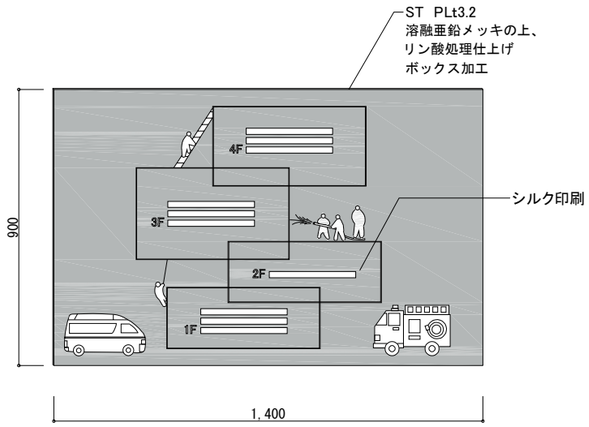


EX-2 館名サイン 1/5、1/10

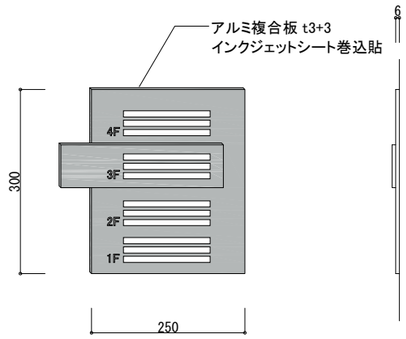




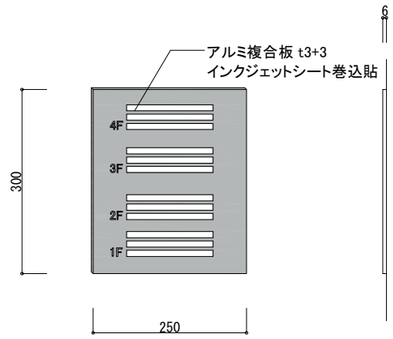
A-1 総合案内サイン 1/10



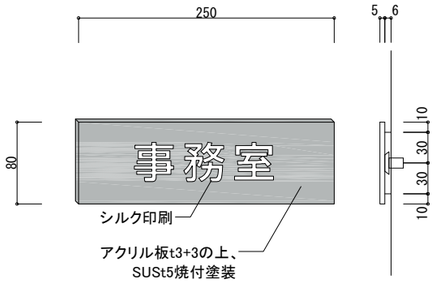
A-2 フロア案内図 1/20



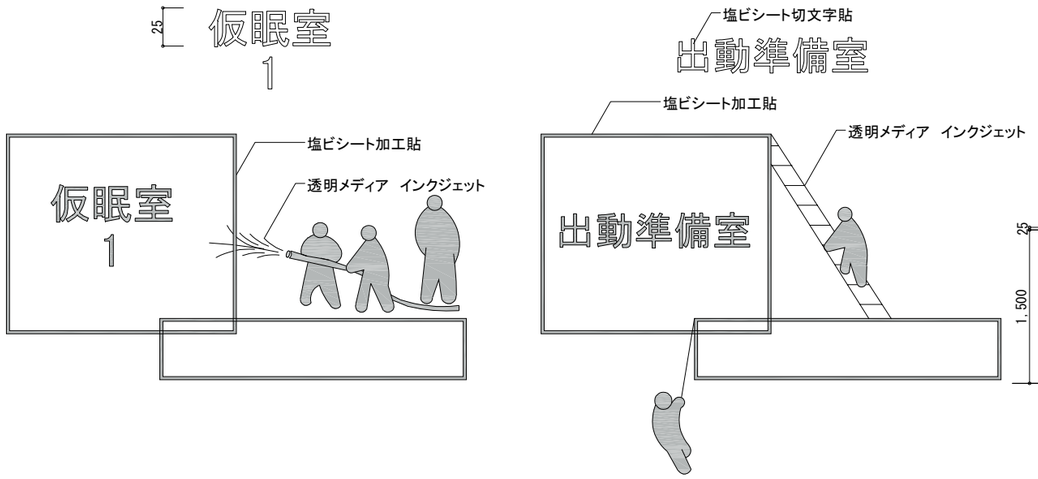
A-3 EV内案内サイン 1/5



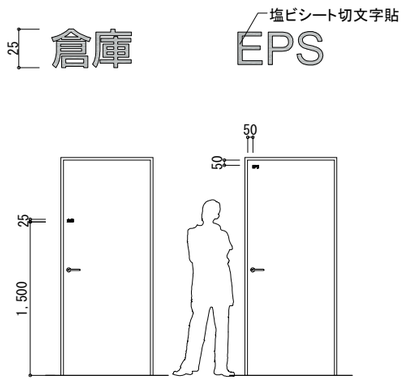
B-1 室名サイン 1/2、1/5



B-2 一般室名サイン 1/10



B-3 バックヤード室名サイン 1/2、1/30



特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 サイン詳細図(1)

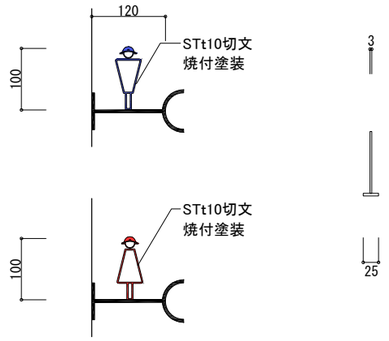
縮尺 A1：図示 A3：図示/2

図番 A902

当初・変更・完成

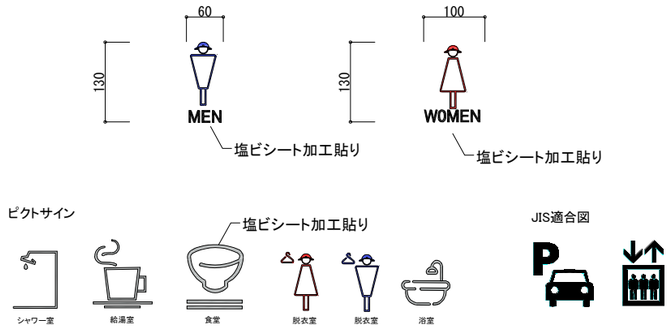
C-1 ピクトサイン(突出) 1/2、1/5

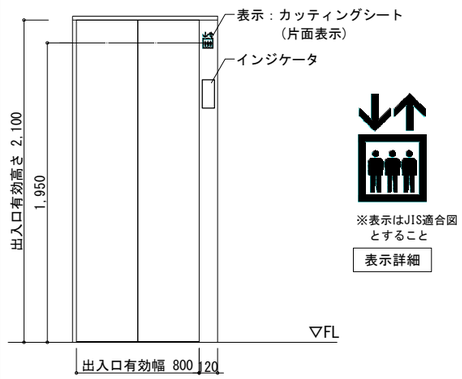
ピクト形状は監督員との協議による



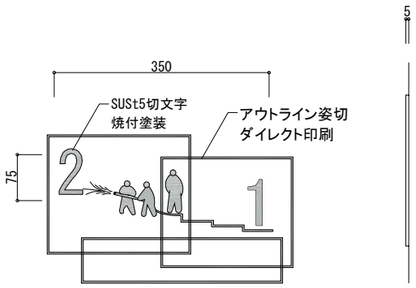
C-2 ピクトサイン(平付) 1/3

ピクト形状は監督員との協議による

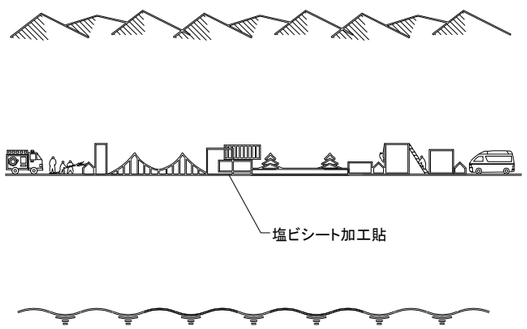


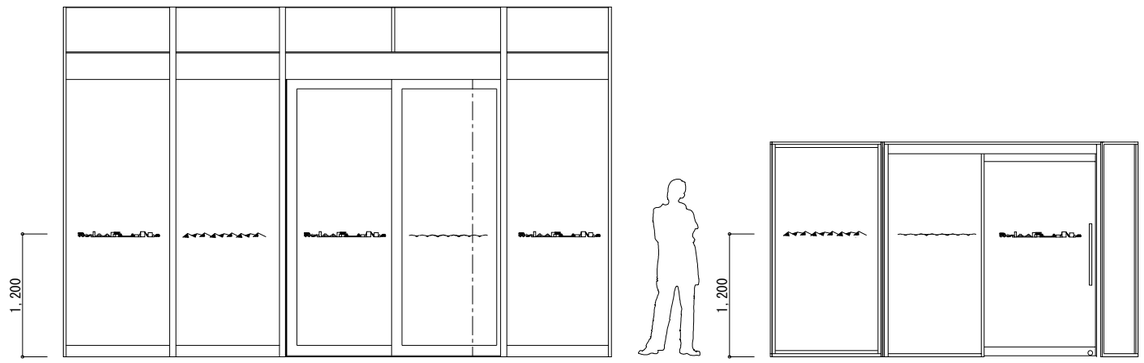


D-1 階段サイン 1/10

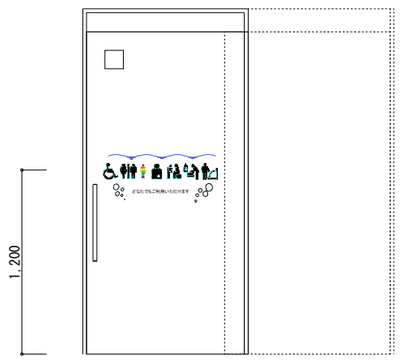


E-1 衝突防止マーク 1/5、1/50



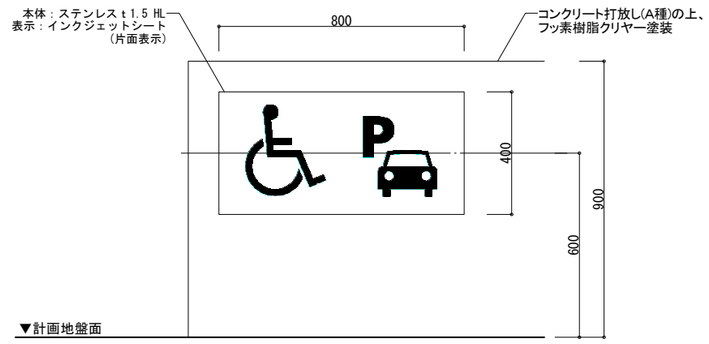


F-1 HWCピクト 1/5、1/10



※表示はJIS適合図とすること

EX-3 駐車場案内サイン 1/10

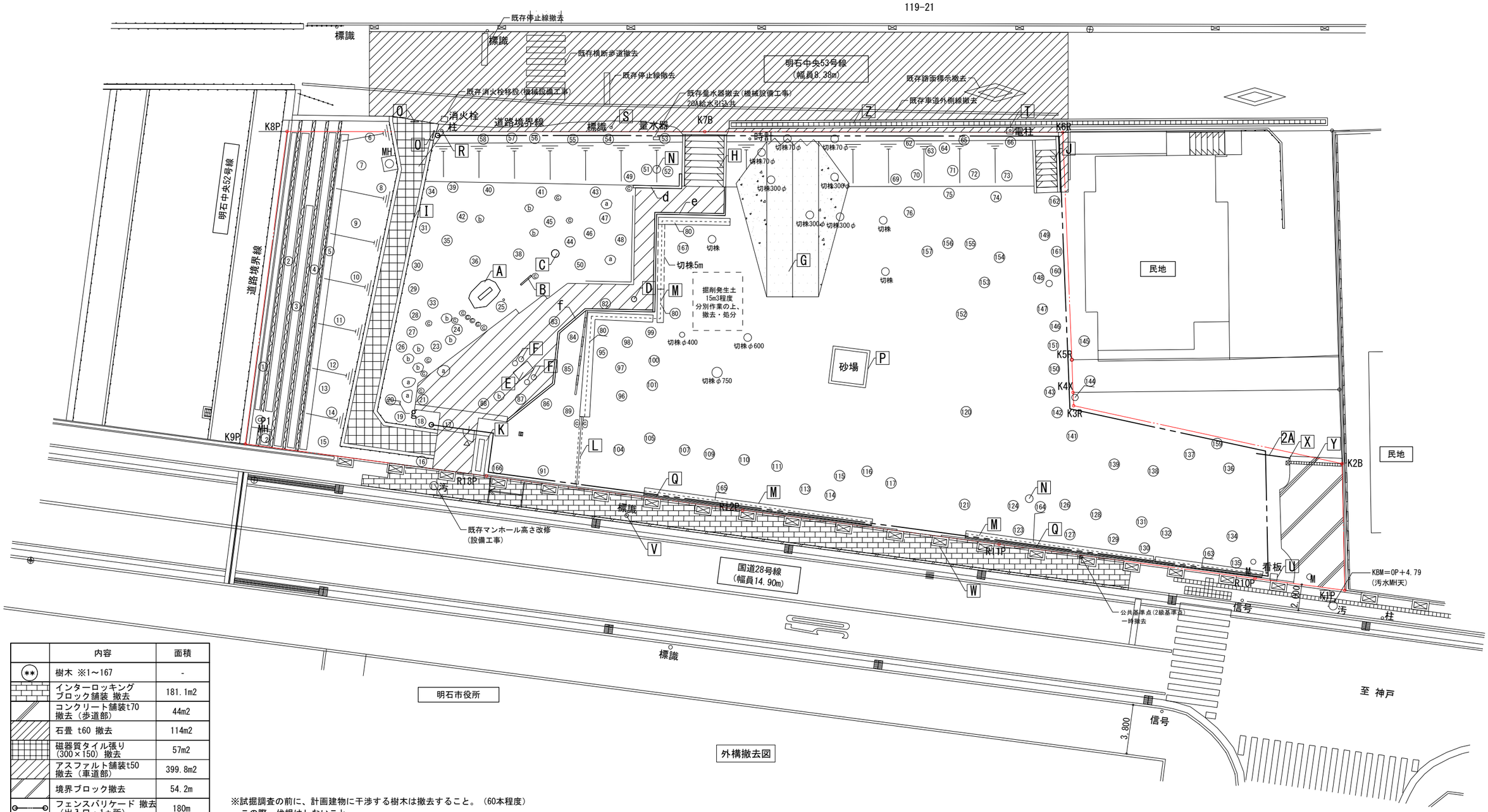


※表示はJIS適合図とすること

特記事項	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 サイン詳細図(2) 縮尺 A1:図示 A3:図示/2
	課長 担当課長 係長 担当		当初・変更・完成 図番 A903

中崎遊園地

119-21



外構撤去図

	内容	面積
(**)	樹木 ※1～167	-
	インターロッキングブロック舗装 撤去	181.1m2
	コンクリート舗装t70 撤去（歩道部）	44m2
	石畳 t60 撤去	114m2
	磁器質タイル張り(300×150) 撤去	57m2
	アスファルト舗装t50 撤去（車道部）	399.8m2
	境界ブロック撤去	54.2m
	フェンスバリケード 撤去（出入口：1ヵ所）	180m
	キャスターゲート	W5.4×H1.8
※	撤去物 ※A～Z	-
(※)	撤去石 ※a～g	-

※試掘調査の前に、計画建物に干渉する樹木は撤去すること。（60本程度）
　この際、伐根はしないこと。
※試掘調査が終了するまで、伐根作業を行わないこと。
※試掘調査が終了するまで、工作物を撤去してもよいが、
　敷地の高低差を無くすなど平らにならさないこと。
※埋蔵文化財の試掘調査を市歴史文化財担当者の立会いのもと実施すること。
※民地部分のコンクリート舗装は、民地所有者に確認の上撤去・整地とすること。

※レベルはOP基準とする
※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60=KBM+0.11

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	外構撤去図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300 / 図番 G001

■撤去植栽リスト

符号	樹　種	目通り径	枝張り(W)	高さ(H)	内　容
1	ユチャ	35株	—	0.50	撤去
2	ユキヤナギ	120株	—	1.00	剪定
3	ツツジ	100株	—	0.60	剪定
4	ユキヤナギ	100株	—	1.00	剪定
5	シャリンバイ	100株	—	1.20	撤去
6	ナンテン	3株	1.50	2.00	撤去
7	ソテツ	3株	3.00	2.00	撤去
8	ネズミモチ	φ150	1.00	1.20	撤去
9	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.50	撤去
10	サクラ	φ200×2	8.00	5.00	撤去
11	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.50	3.50	撤去
12	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.50	3.50	撤去
13	ネズミモチ	φ50	1.00	1.50	撤去
14	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.50	3.50	撤去
15	ネズミモチ	φ50	1.50	1.50	撤去
16	ユチャ	φ40	0.80	1.30	撤去
17	ボケ	10株	1.50	1.00	撤去
18	イヌマキ	φ100	1.50	3.50	撤去
19	イヌマキ	φ100	1.50	3.50	撤去
20	イヌマキ	φ120	1.50	4.50	撤去
21	サクラ	φ50	1.50	2.50	撤去
22	マツ	φ180	4.00	5.00	撤去
23	オウバソケイ	4株	1.50	2.00	撤去
24	オウバソケイ	6株	1.50	2.00	撤去
25	オウバソケイ	10株	2.50	2.00	撤去
26	イヌマキ	φ100	2.00	4.50	撤去
27	イヌマキ	φ100	2.00	4.50	撤去
28	イヌマキ	φ100	2.00	4.50	撤去
29	イヌマキ	φ100	2.00	4.50	撤去
30	イヌマキ	φ100	2.00	4.50	撤去
31	イヌマキ	φ100	3.00	4.50	撤去
32	モミジ	φ100×3	3.00	3.00	移植済
33	サクラ	φ200	4.50	4.00	撤去
34	サクラ	φ350	8.00	5.00	撤去
35	サクラ	φ200	2.50	3.00	撤去
36	サクラ	φ150	2.50	2.00	撤去
37	モミジ	φ80	3.50	4.00	移植済
38	サクラ	φ120×2	5.00	3.50	撤去
39	サンゴジュ	φ100×2	4.00	4.00	撤去
40	マツ	φ230	4.00	6.00	撤去
41	サンゴジュ	φ150×3	2.00	4.50	撤去
42	ユチャ	2株	—	0.80	撤去
43	サンゴジュ	φ50×3	2.50	2.50	撤去
44	モミジ	φ80	3.00	3.00	撤去
45	マツ	φ150	3.00	5.50	撤去

符号	樹　種	目通り径	枝張り(W)	高さ(H)	内　容
46	マツ	φ200	4.00	5.50	撤去
47	マツ	φ150	3.00	5.00	撤去
48	マツ	φ220	5.00	5.50	撤去
49	マツ	φ220	4.00	5.50	撤去
50	ユチャ	3株	1.50	2.00	撤去
51	サクラ	φ100	1.00	2.00	撤去
52	サクラ	φ150	3.00	3.50	撤去
53	ネズミモチ	φ100×3	3.00	2.50	撤去
54	ネズミモチ	φ30×2	1.50	2.00	撤去
55	ネズミモチ	φ100×2	2.00	2.50	撤去
56	ネズミモチ	φ50×2	1.50	2.00	撤去
57	ネズミモチ	φ50	1.50	2.00	撤去
58	ネズミモチ	φ50×2	3.00	2.50	撤去
59	ネズミモチ	φ50×2	2.50	2.50	切株
60	ネズミモチ	φ50	2.00	1.00	切株
61	ネズミモチ	φ80	2.50	2.50	切株
62	センダン	φ300	10.00	9.00	撤去
63	トベラ	φ30×3	2.00	2.00	撤去
64	ネズミモチ	φ30×5	2.00	2.00	撤去
65	カルミア	φ50	1.50	1.50	撤去
66	ネズミモチ	φ30×3	1.50	2.50	撤去
67	マツ	φ250	4.00	8.00	移植済
68	マツ	φ200	4.00	8.00	移植済
69	サンゴジュ	φ100×4	2.00	3.00	撤去
70	マツ	φ200	4.00	7.50	撤去
71	サクラ	φ100×2	4.00	4.50	撤去
72	サンゴジュ	φ150×3	3.00	4.00	撤去
73	マツ	φ180	4.00	7.00	撤去
74	サツキ	5株	3.00	1.60	撤去
75	ユチャ	2株	2.50	2.00	撤去
76	タイワンツクバネウツギ	5株	3.00	2.00	撤去
77	タイワンツクバネウツギ	5株	3.00	2.50	撤去
78	ユキヤナギ	10株	2.50	2.00	切株
79	ユキヤナギ	10株	2.50	2.00	切株
80	カナメモチ	60株	—	1.50	切株
81	マツ	φ200	4.00	7.00	移植済
82	ヤマモモ	φ120	3.00	3.00	撤去
83	ボケ	1株	1.00	1.20	撤去
84	ユキヤナギ	6株	2.50	2.00	撤去
85	ヒメキンシバイ	10株	—	1.00	撤去
86	タイワンツクバネウツギ	2株	2.00	2.00	撤去
87	サクラ	φ150	2.00	2.50	撤去
88	ナンテン	1株	1.50	1.70	撤去
89	サクラ	φ100×4	4.00	4.50	撤去
90	マツ	φ220	2.50	7.00	移植済

符号	樹　種	目通り径	枝張り(W)	高さ(H)	内　容
91	サンゴジュ	φ150	2.00	2.00	撤去
92	サクラ	φ250	5.00	6.50	移植済
93	サクラ	φ100	4.00	5.00	移植済
94	マツ	φ180	3.00	5.00	撤去
95	モミジ	φ100×2	2.50	3.00	撤去
96	イヌマキ	φ120	1.50	7.00	撤去
97	イヌマキ	φ120	1.50	7.00	撤去
98	イヌマキ	φ100	1.50	7.00	撤去
99	イヌマキ	φ150	2.00	7.00	撤去
100	イヌマキ	φ120	1.50	7.00	撤去
101	イヌマキ	φ120	1.50	7.00	撤去
102	マツ	φ230	5.00	3.00	撤去
103	モミジ	φ150	5.00	7.00	移植済
104	タイワンツクバネウツギ	1株	1.50	1.50	撤去
105	トベラ	1株	2.50	2.00	撤去
106	マツ	φ220	3.00	7.50	撤去
107	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.50	4.00	撤去
108	マツ	φ200	3.00	7.50	撤去
109	タイワンツクバネウツギ	1株	2.00	2.50	撤去
110	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.50	撤去
111	ユキヤナギ	3株	2.50	1.80	撤去
112	マツ	φ250	5.00	6.50	撤去
113	セイヨウキョウチクトウ	1株	2.50	3.00	撤去
114	タイワンツクバネウツギ	1株	2.00	2.50	撤去
115	トベラ	1株	1.50	2.00	撤去
116	ネズミモチ	φ30×2	2.00	1.50	撤去
117	トベラ	1株	2.00	1.50	撤去
118	マツ	φ250	4.00	6.00	移植済
119	サクラ	φ170	2.50	4.50	移植済
120	サクラ	φ50×5	2.50	2.50	撤去
121	シャリンバイ	3株	2.00	1.80	撤去
122	マツ	φ220	3.50	6.00	移植済
123	サンゴジュ	φ100×3	2.00	2.00	撤去
124	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.50	撤去
125	マツ	φ180	3.00	5.00	移植済
126	トベラ	1株	2.00	1.50	撤去
127	サクラ	φ150×2	5.00	5.50	撤去
128	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.50	撤去
129	ユチャ	φ100	1.50	1.50	撤去
130	サンゴジュ	φ100	1.50	1.80	撤去
131	タイワンツクバネウツギ	1株	2.50	2.50	撤去
132	セイヨウキョウチクトウ	1株	2.00	3.00	撤去
133	マツ	φ170	3.00	4.50	移植済
134	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.50	撤去
135	マツ	φ170	2.50	5.00	撤去

符号	樹　種	目通り径	枝張り(W)	高さ(H)	内　容
136	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.00	撤去
137	セイヨウキョウチクトウ	1株	3.00	3.00	撤去
138	タイワンツクバネウツギ	1株	2.00	1.80	撤去
139	シャリンバイ	2株	2.50	2.00	撤去
140	マツ	φ200	4.00	4.50	移植済
141	タイワンツクバネウツギ	1株	2.50	2.50	撤去
142	ネズミモチ	1株	1.50	1.50	撤去
143	セイヨウキョウチクトウ	1株	1.50	1.50	撤去
144	エノキ	φ400	9.00	10.00	撤去
145	ギムネン	φ80	1.00	4.00	撤去
146	サンゴジュ	φ100	1.50	2.50	撤去
147	マツ	φ220	2.00	7.00	撤去
148	サクラ	φ500	9.00	8.50	撤去
149	セイヨウキョウチクトウ	1株	1.50	2.50	撤去
150	オオバンボタ	φ30	1.00	2.00	撤去
151	オオバンボタ	φ30	1.00	2.00	撤去
152	イブキ	φ300	3.50	4.00	撤去
153	イブキ	φ220	3.00	4.00	撤去
154	イブキ	φ160	3.00	4.00	撤去
155	イブキ	φ200	3.00	4.00	撤去
156	イブキ	φ200	3.00	4.00	撤去
157	イブキ	φ200	3.50	4.00	撤去
158	イブキ	φ300	3.50	4.00	撤去
159	ネズミモチ	φ50	1.00	1.80	撤去
160	オオバンボタ	φ50	1.00	2.50	撤去
161	オオバンボタ	φ50	1.00	2.50	撤去
162	オオバンボタ	φ50	1.00	2.50	撤去
163	ウバメガシ	15株	1.00	1.80	撤去
164	ユチャ	20株	1.00	1.50	撤去
165	ユチャ	40株	1.00	1.50	撤去
166	ユチャ	1株	1.00	1.20	撤去
167	マツ	φ200	4.00	7.00	移植済

※撤去は、伐採・伐根とする。

■撤去物リスト

凡例	内容	数量	寸法
A	石碑（大）	1基	本体：W1200×H2200＋根込×D320 台石：W2700×D1900×H700＋根込
B	石碑（小）	1基	W1100×H1200＋根込×D110～60
C	雪見灯篭	1基	笠最大：800×H約780 台石：1000×1000程度×H450＋根込
D	織部灯篭	1基	笠：400角×H約1200（根込含む）
E	テーブル	1基	天板：1400×800×t60 台石（白御影）：250角×H420＋根込（4ケ） 台石（黒御影）：600×H400＋根込不明
F	椅子	4基	スツール：340角×H400（根込なし）（4ケ）
G	仮設スロープ	1基	
H	階段	1基	
I	スロープ	1基	
J	階段	1基	
K	花壇	1基	W1000×D3050×H500
L	竹柵	1基	H1500@2050
M	木柵	1基	H1500@2050
N	看板	1基	H1300

凡例	内容	数量	寸法
O	柵	2基	H700
P	砂場	1基	W2500×D2500×H40
Q	コンクリートブロック(木柄)	40m	100φ
R	柱	1基	H8000＋根込2000×110φ(基礎：H550×400φ)
S	標識(一時撤去、復旧)	1基	3.2m 75φ
T	電柱基礎	1基	W500×D500×H700
U	看板基礎	1基	530角H400
V	既存案内標識(移設)	1基	
W	既存桝	15ヵ所	
X	既存桝	1ヵ所	
Y	既存側溝	4m	
Z	既存側溝	26.2m	
2A	スチール製柵	2.6m	

	内容	数量
a	自然石(W1000×D1000×H400)	5個
b	自然石(W700×D700×H500)	9個
c	自然石(W500×D500×H200)	16個
d	縁石(D200×H200)	5m
e	縁石(D150×H100)	14m
f	縁石(D150×H550)	16m
g	縁石(D300×H120)	1m

特記事項

株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社　一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号　TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 真清

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

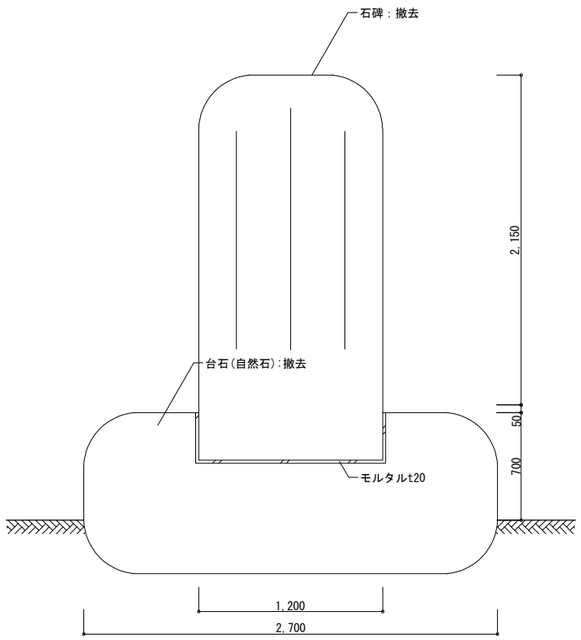
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 外構撤去リスト　縮尺 A1: A3:

当初・変更・完成

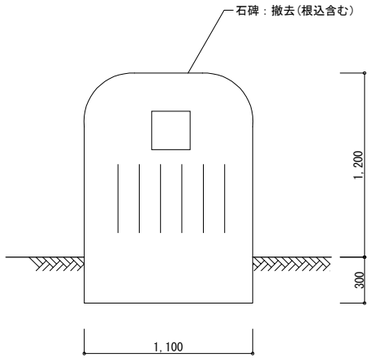
図番 G002

A 石碑(大) S=1:10



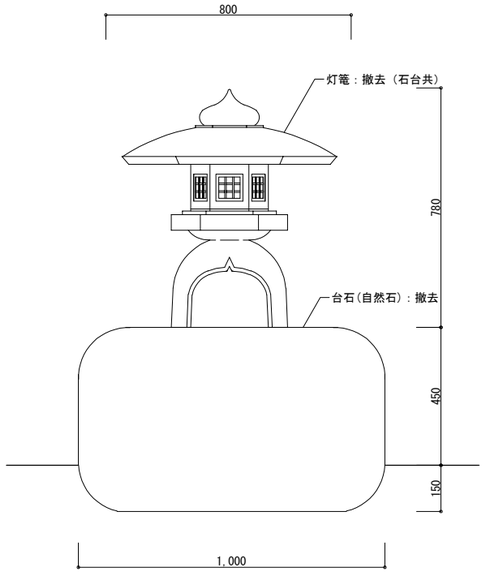
本体：W1200×H2200＋根込×D320
台石：W2700×D1900×H700＋根込

B 石碑(小) S=1:10



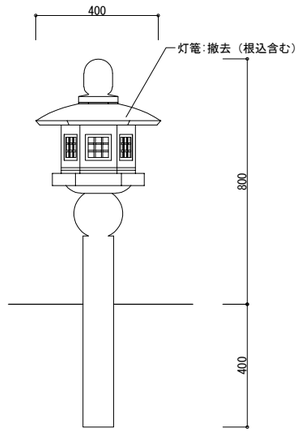
W1100×H1200＋根込×D110～60

C 雪見灯篭 S=1:10



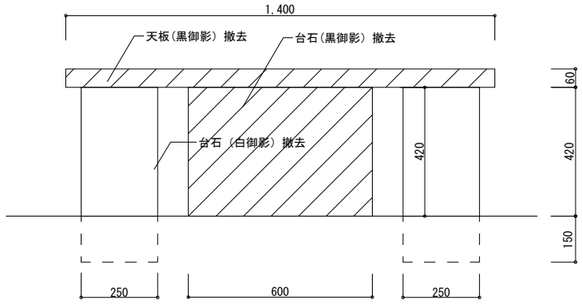
灯篭：笠最大800×H約780
台石：1000×1000程度×H450＋根込

D 織部灯篭 S=1:10



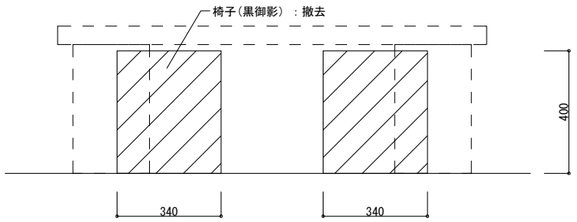
灯篭：笠400角×H約1200（根込含む）

E テーブル S=1:10



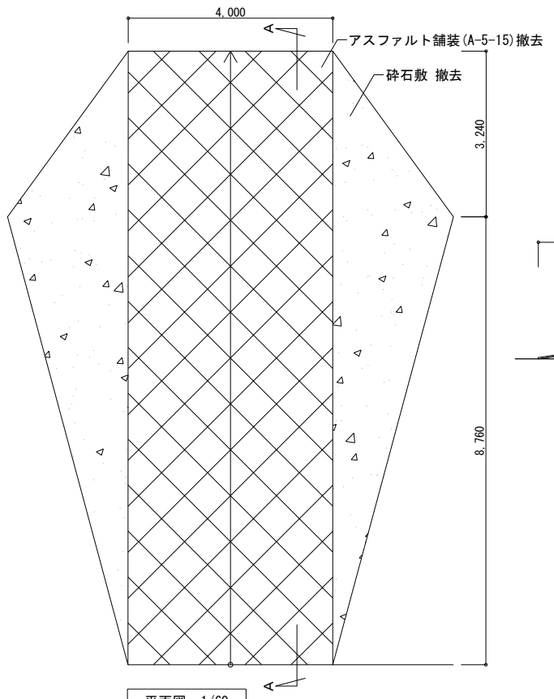
天板：1400×800×t60
台石(白御影)：250角×H420＋根込(4ヶ所)
台石(黒御影)：600×300×H420(1ヶ所)

F 椅子 S=1:10

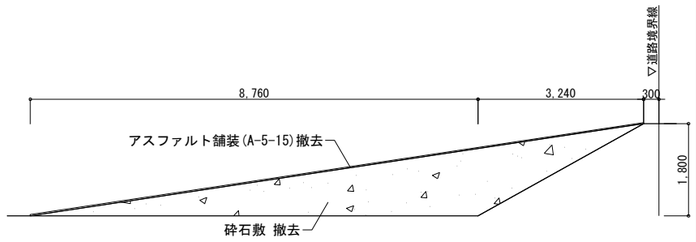


スツール：340角×H400(4ヶ所)

G 仮設スロープ S=1:60

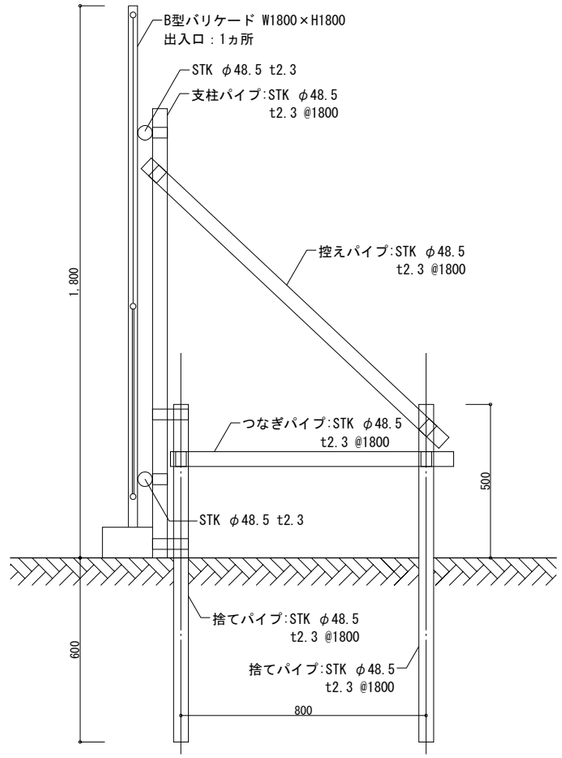


平面図 1/60



A-A断面図 1/60

フェンスバリケード S=1:10



特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 真清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

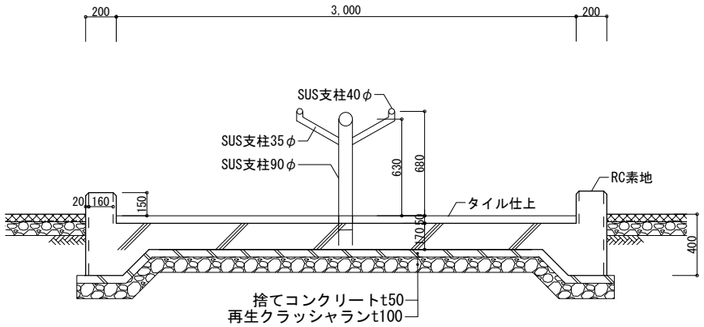
当初・変更・完成

図面名称 外構撤去詳細図(1)

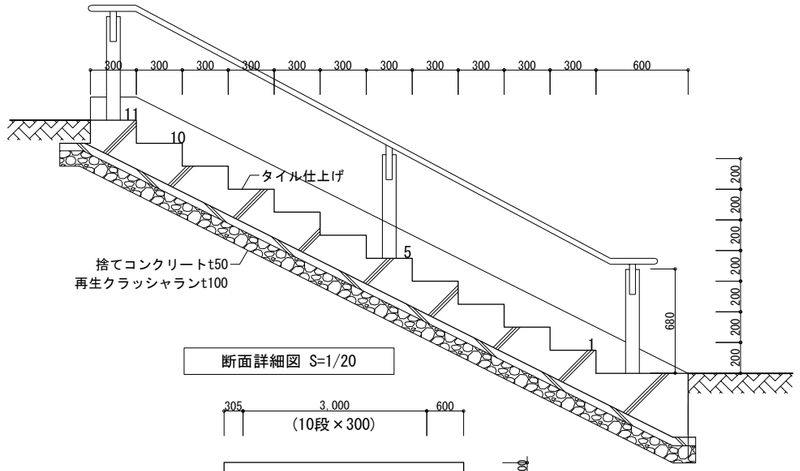
縮尺 A1:図示 A3:図示/2

図番 G003

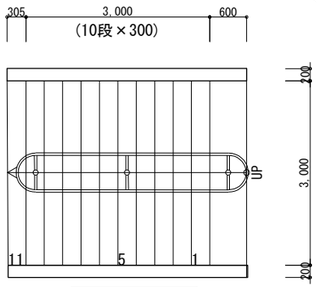
H 階段 S=1:20



断面詳細図 S=1/20

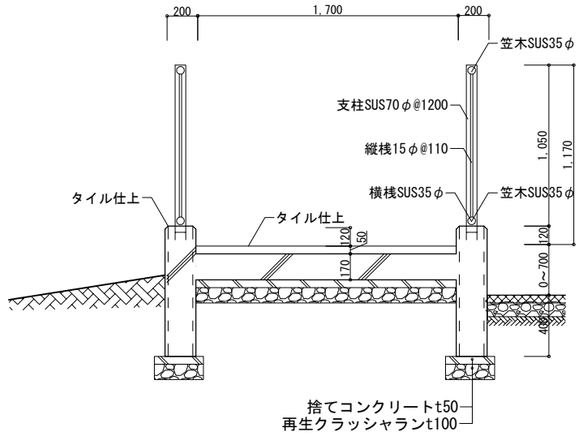


断面詳細図 S=1/20



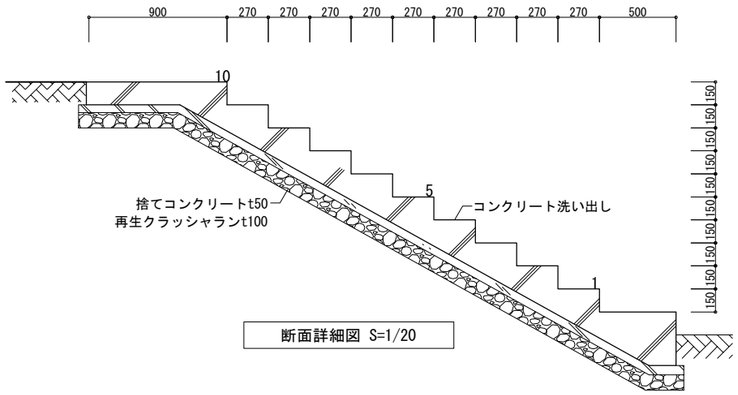
平面図 S=1:50

I スロープ S=1:20

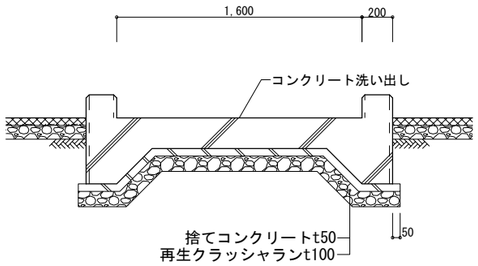


断面詳細図 S=1/20

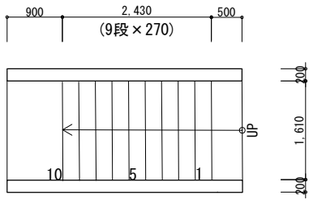
J 階段 S=1:20



断面詳細図 S=1/20

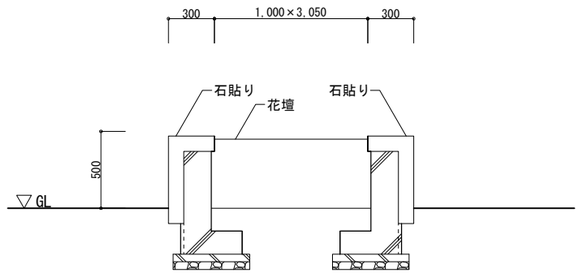


断面詳細図 S=1/20



平面図 S=1:50

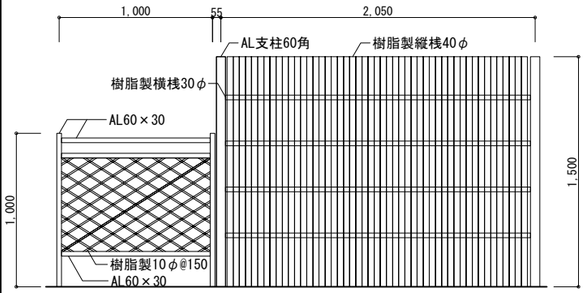
K 花壇 S=1:20



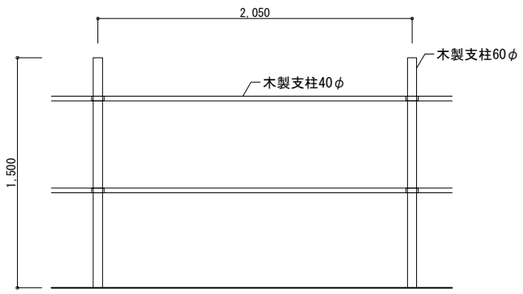
断面詳細図 S=1/20

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	図面名称 外構撤去詳細図(2) 縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 G004

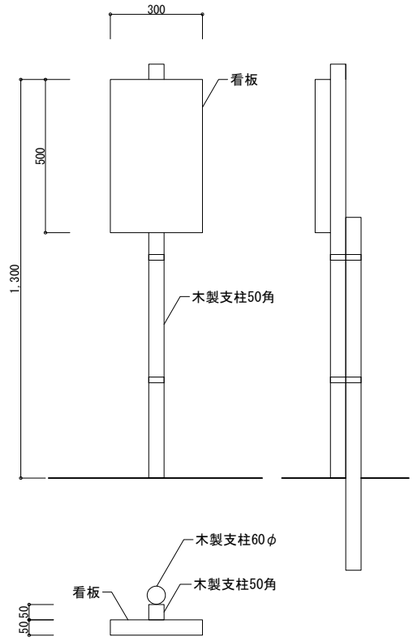
L 竹柵 S=1:20



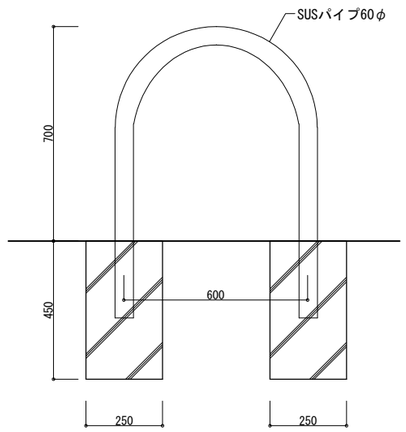
M 木柵 S=1:20



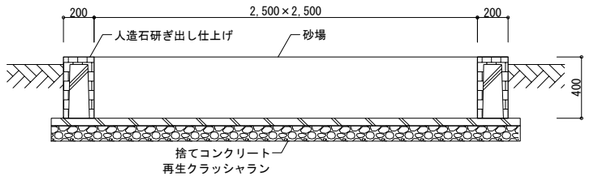
N 看板 S=1:10



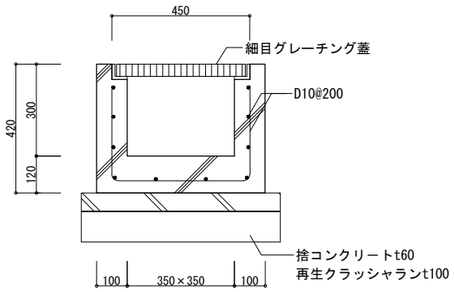
Q 柵 S=1:10



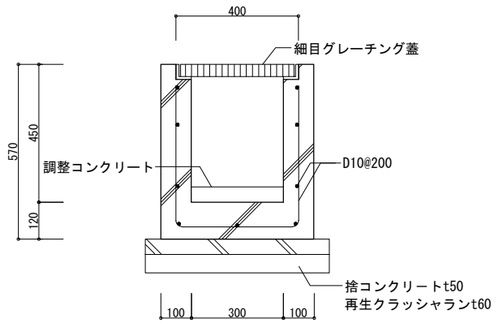
P 砂場 S=1:20



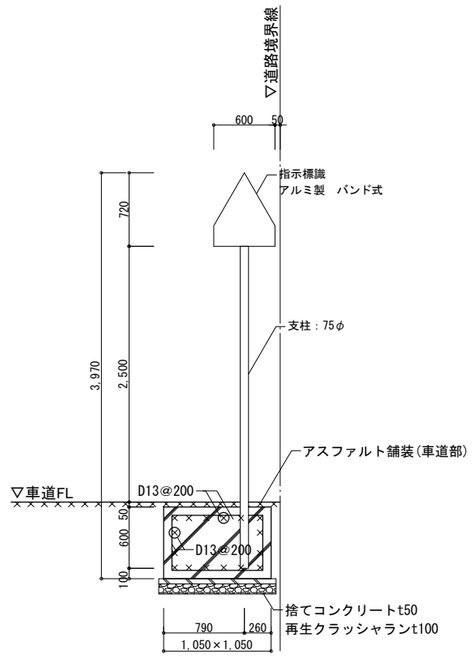
X 既存桝 S=1:10



Z 既存側溝 S=1:10

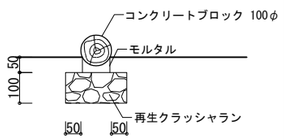


S 標識(一時撤去･復旧) S=1:30

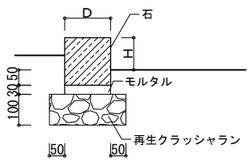


コンクリート:Fc-21-18-20

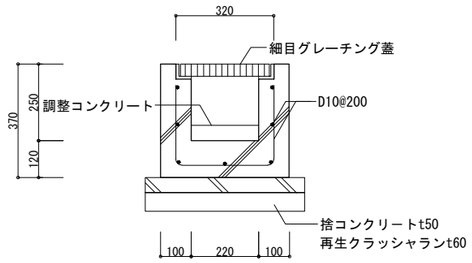
Q コンクリートブロック(木柄) S=1:10



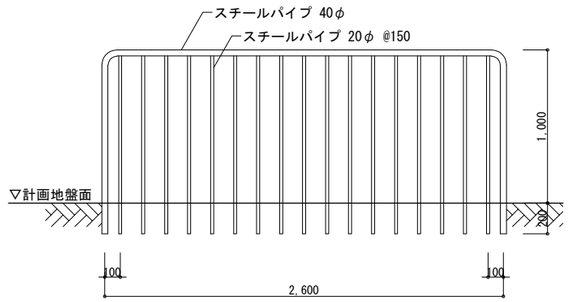
defg 縁石 S=1:10



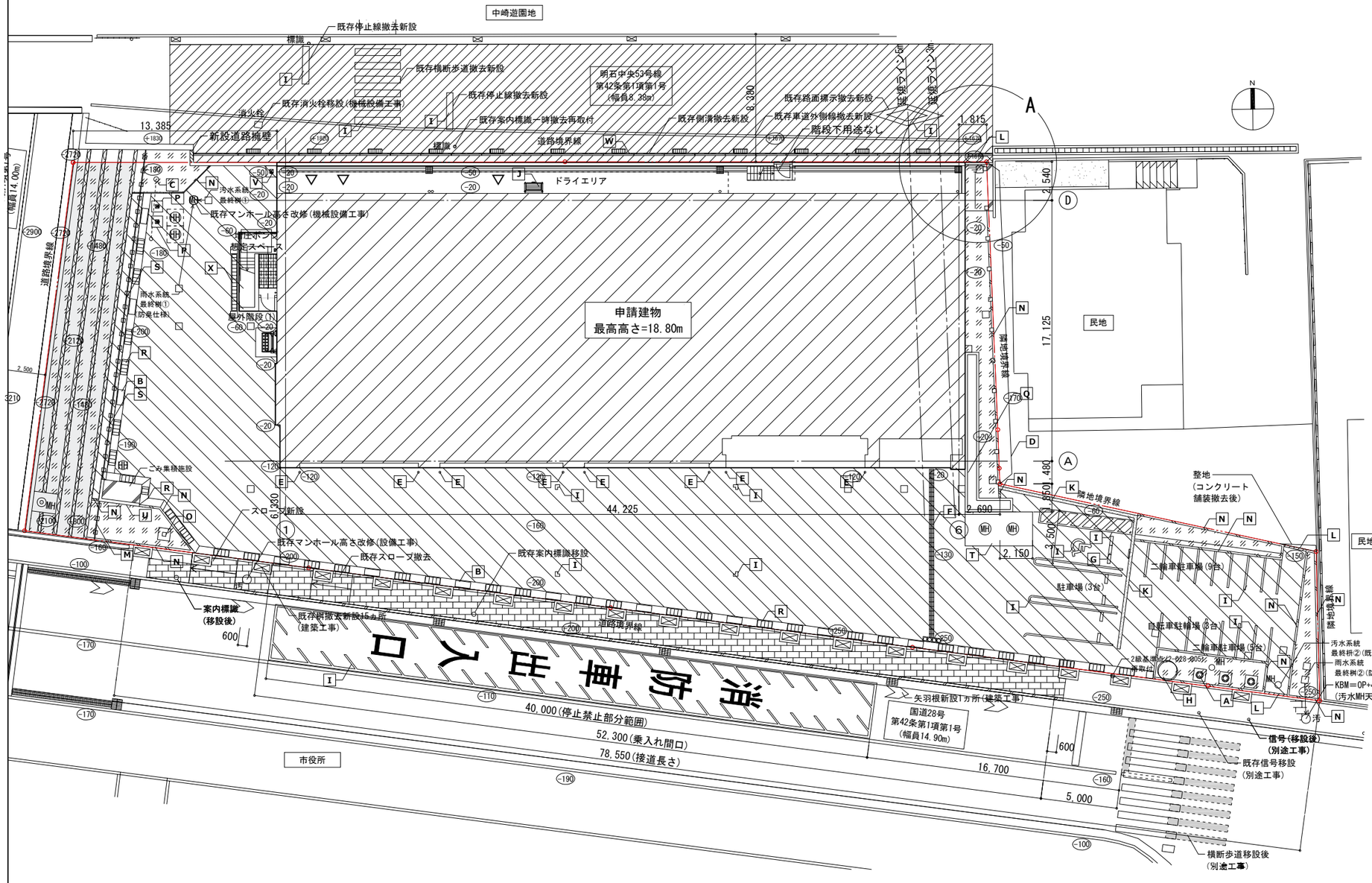
Y 既存側溝 S=1:10



2A スチール製柵 S=1:10



特記事項		製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事
			図面名称 外構撤去詳細図(3)
株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	縮尺 A1:図示 A3:図示/2
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	当初・変更・完成
			図番 G005



外構図

※敷地内舗装工事前にCBR試験を行い、路床の設計CBRが3未満の場合は、
置換処理又は安定処理により地盤を改良し、設計CBR3以上を確保すること。

■外構リスト

凡例	内容	備考	詳細図番号
A	掲揚塔	既製品 3本	
B	浸透自由勾配側溝	11ヶ所	
C	新設電柱(設備工事)	1本	
D	メッシュフェンスH1500	21.2m	
E	ガードポール	8ヶ所	
F	視覚障害者誘導用ブロック	15.0m	
G	車止めブロック	既製品	9-25-1
H	シンボルツリー	1本	
I	白線引き	286.5m	
J	ごみ収納庫	1ヶ所	
K	塀A 凡例：	18.3m	
L	縁石A 凡例：	3.0m	9-11-9
M	手摺(照明なし)	2.6m	
N	縁石B 凡例：	100.7m	9-11-12
O	出庫注意灯	1ヶ所	
P	地上マンホール（リング環付き）A	2ヶ所	
Q	側溝A	13.1m	
R	側溝B	91.5m	
S	手摺(照明付)	21.8m	
T	地下タンク	1ヶ所	
U	ごみ集積施設	1ヶ所	
V	地上マンホール（リング環付き）B	1ヶ所	
W	側溝C	52.5m	
X	側溝D	3.8m	9-12-4

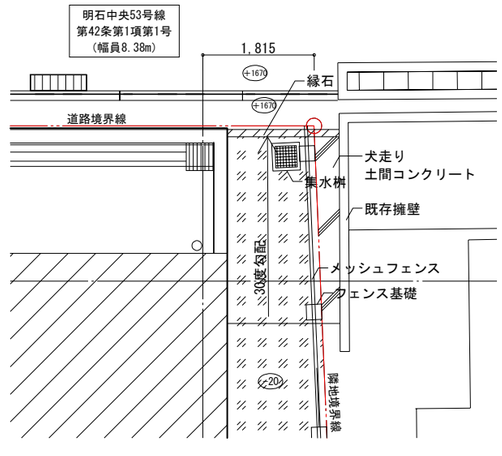
■外構舗装リスト

凡例	内容	備考	面積	詳細図番号
	植栽帯		155.4m2	
	アスファルト舗装t50	路盤：再生クラッシャランt250	797.4m2	9-21-1
	アスファルト舗装t50	道路用	405.9m2	
	インターロッキングブロック舗装		103.4m2	
	境界ブロック(街渠)		54.2m	
	砂利敷き		3.0m2	
	土間コンクリート範囲		4.2m2	

■凡例

	内容
	計画建物
	既存残置範囲
	移設後停止禁止位置及び横断歩道位置

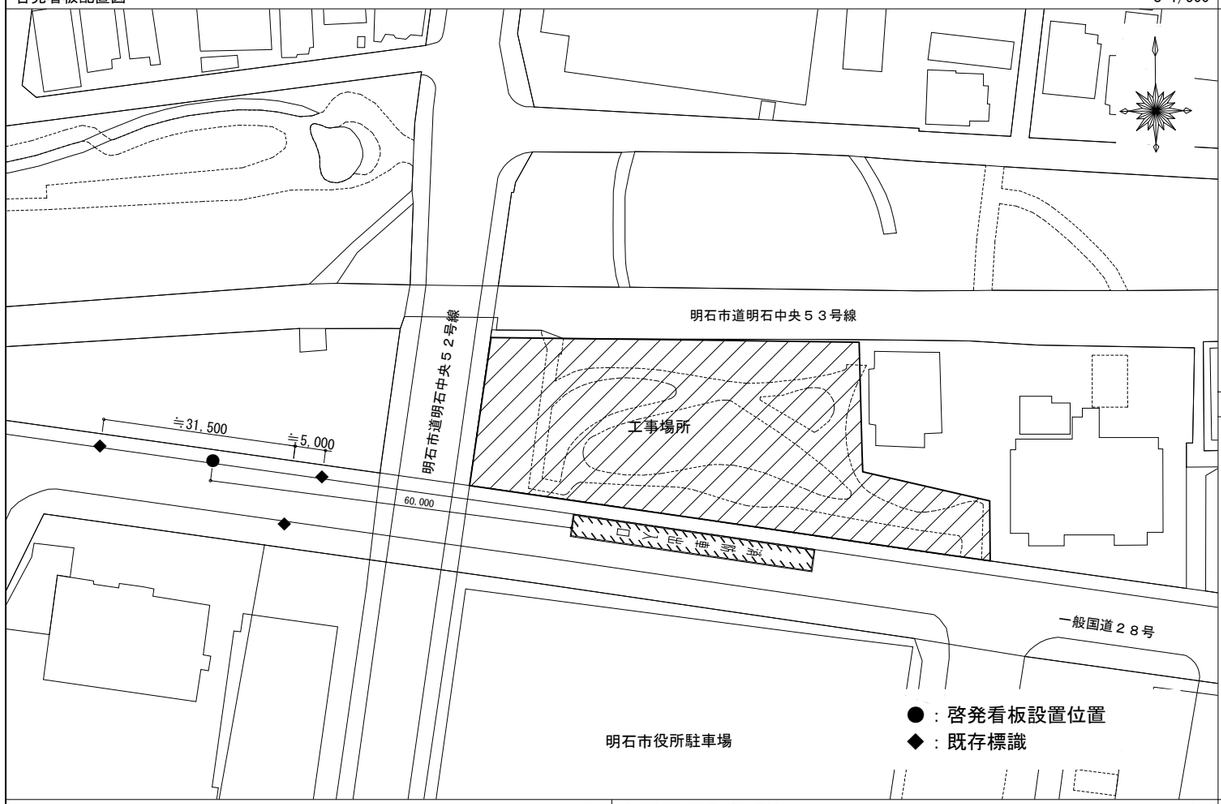
※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60=KBM+0.11



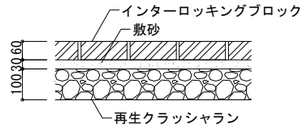
A部詳細図 S=1/50

特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 外構図(1) 縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図番 G006

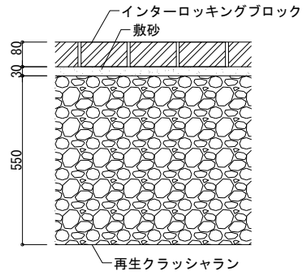
啓発看板配置図 S=1/500



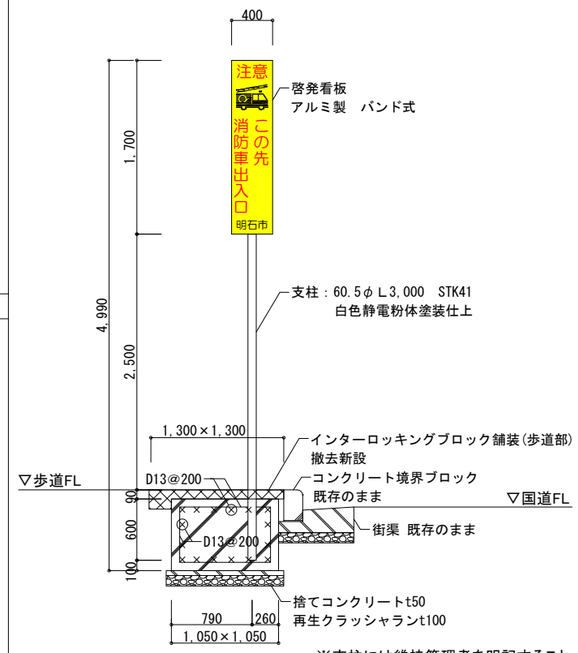
インターロッキングブロック舗装(歩道部)（南側国道）詳細図 S=1/10



インターロッキングブロック舗装(車道部)（南側国道）詳細図 S=1/10



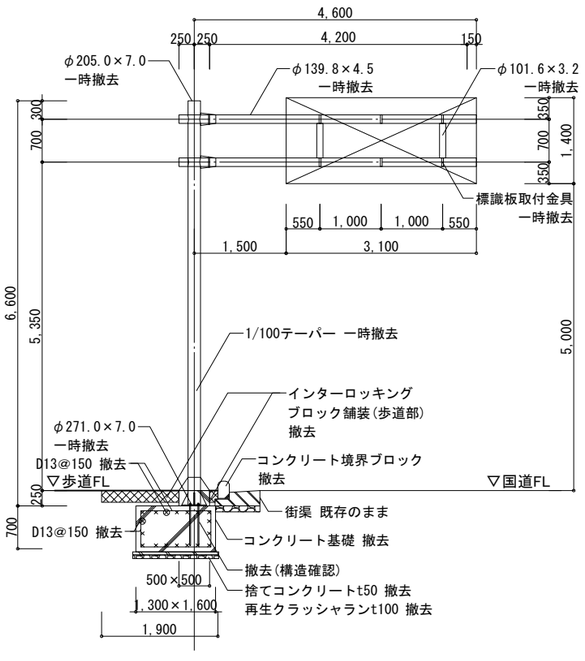
新設啓発看板 詳細図 S=1/30



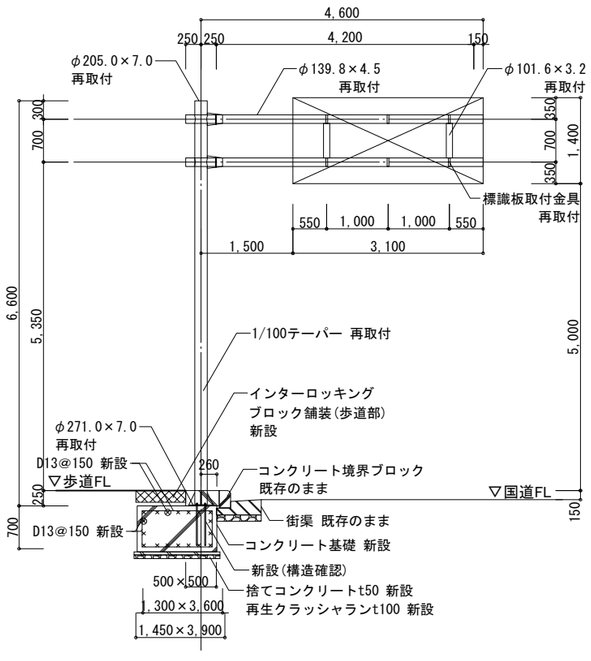
コンクリート：Fc-21-18-20

※支柱には維持管理者を明記すること。
維持管理者：明石市消防局

案内標識(移設前) 詳細図 S=1/50

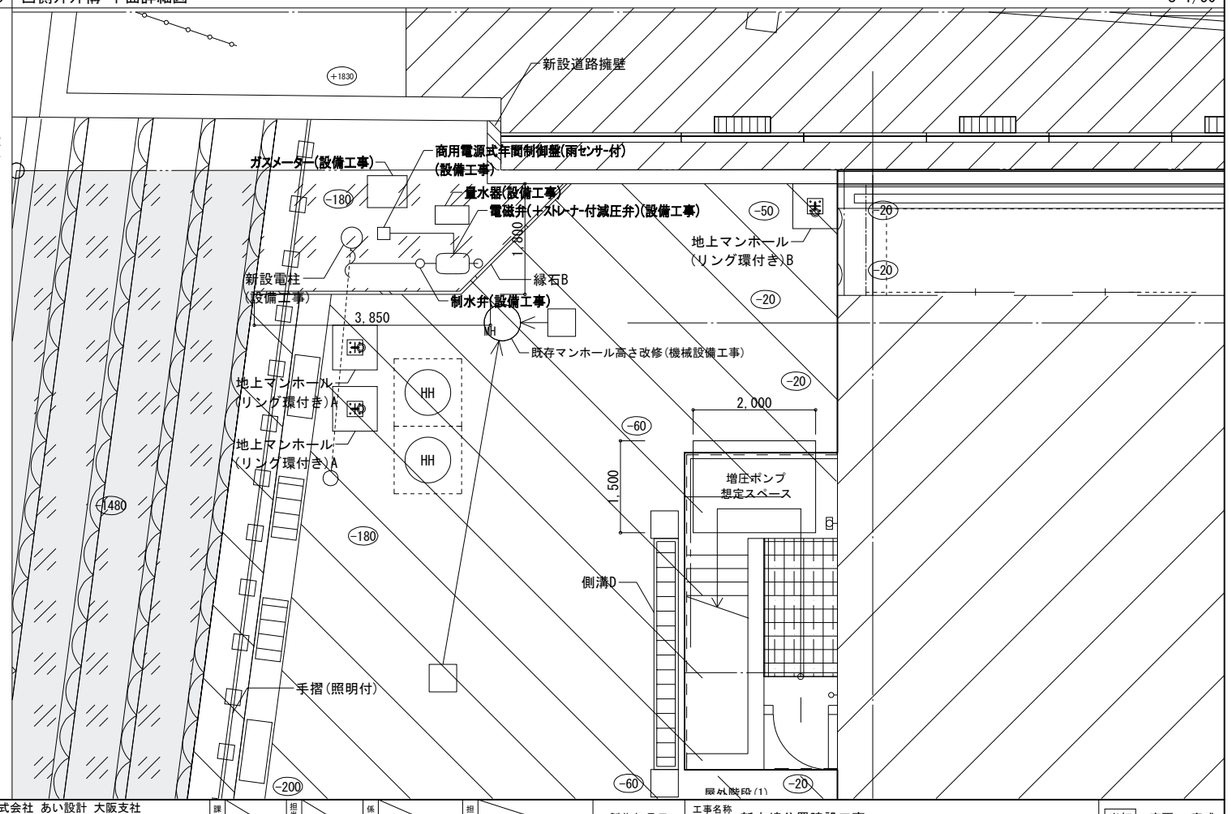


案内標識(移設後) 詳細図 S=1/50



コンクリート：Fc-21-18-20

西側外外構 平面詳細図 S=1/50



特記事項

株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 設計者 佐藤 貞清	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	明石市都市局住宅・建築室営繕課			図面名称 外構図(2) 縮尺 A1：図示 A3：図示/2	図番 G007

■凡例

凡例	内容
	計画建物
	既存残置範囲
	移設後停止禁止位置 及び横断歩道位置
±0	1FLからの仕上高さを示す

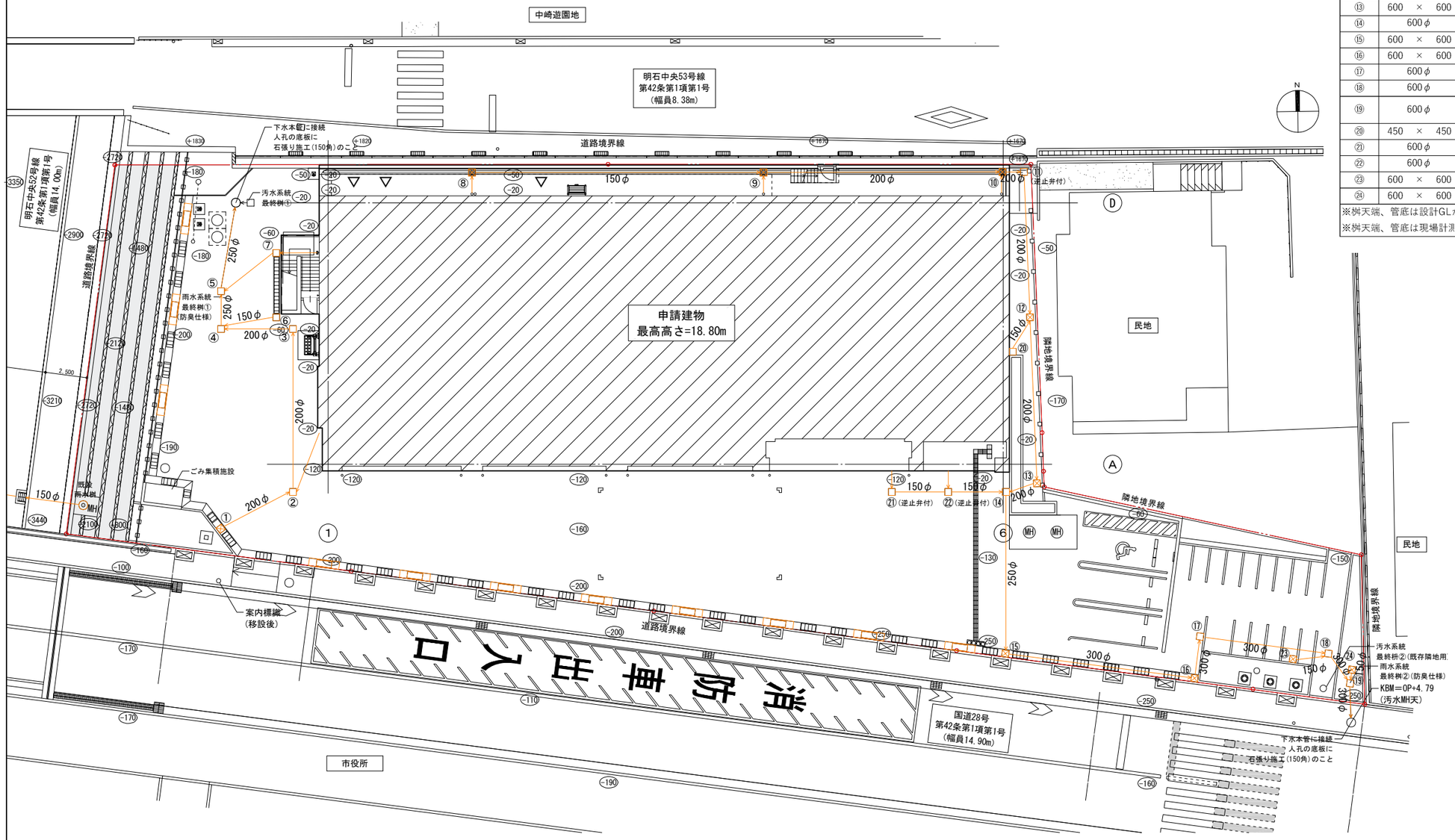
■凡例

	雨水桝 14ヶ所
	集水桝 10ヶ所
管径	新設VP管
	自由勾配側溝(細目グレーチングT-25)
	U字側溝(細目グレーチングT-25)
	浸透自由勾配側溝 L=2000 11ヶ所

■桝リスト

番号	内法寸法	桝天端	管底	桝高さ	種別	詳細番号
①	600 × 600	-70	-870	900	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-25)	9-14-6
②	600φ	0	-1100	1200	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
③	600φ	100	-1145	1345	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
④	600φ	40	-1165	1305	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
⑤	600φ	50	-1185	1335	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
⑥	500φ	85	-715	900	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-14-3
⑦	500φ	85	-1160	1345	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-14-3
⑧	600 × 600	100	-400	600	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑨	600 × 600	100	-515	715	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑩	600 × 600	100	-580	780	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑪	600 × 600	1670	-590	2360	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑫	600 × 600	130	-730	960	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑬	600 × 600	120	-855	1075	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑭	600φ	130	-1250	1480	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
⑮	600 × 600	-100	-1285	1285	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-25)	9-14-6
⑯	600 × 600	-100	-1315	1315	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
⑰	600φ	-80	-1400	1420	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-2)	9-15-1
⑱	600φ	-80	-1415	1435	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-2)	9-15-1
⑲	600φ	-80	-1425	1445	雨水桝(トラップ桝) ：鋳鉄製マンホール蓋(T-2)	9-15-1
⑳	450 × 450	130	-370	600	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-5
㉑	600φ	30	-1200	1330	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
㉒	600φ	30	-1225	1355	雨水桝 ：鋳鉄製マンホール蓋(T-25)	9-15-1
㉓	600 × 600	-80	-1280	1300	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6
㉔	600 × 600	-80	-850	870	集水桝 ：細目グレーチング蓋(T-2)	9-14-6

※桝天端、管底は設計GLからの高さを示す　※桝高さは枡天端からの高さを示す
※桝天端、管底は現場計測により調整後、再決定すること



雨水排水計画図

※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60=KBM+0.11

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 雨水排水計画図　縮尺 A1:1/150 A3:1/300	図番 G008

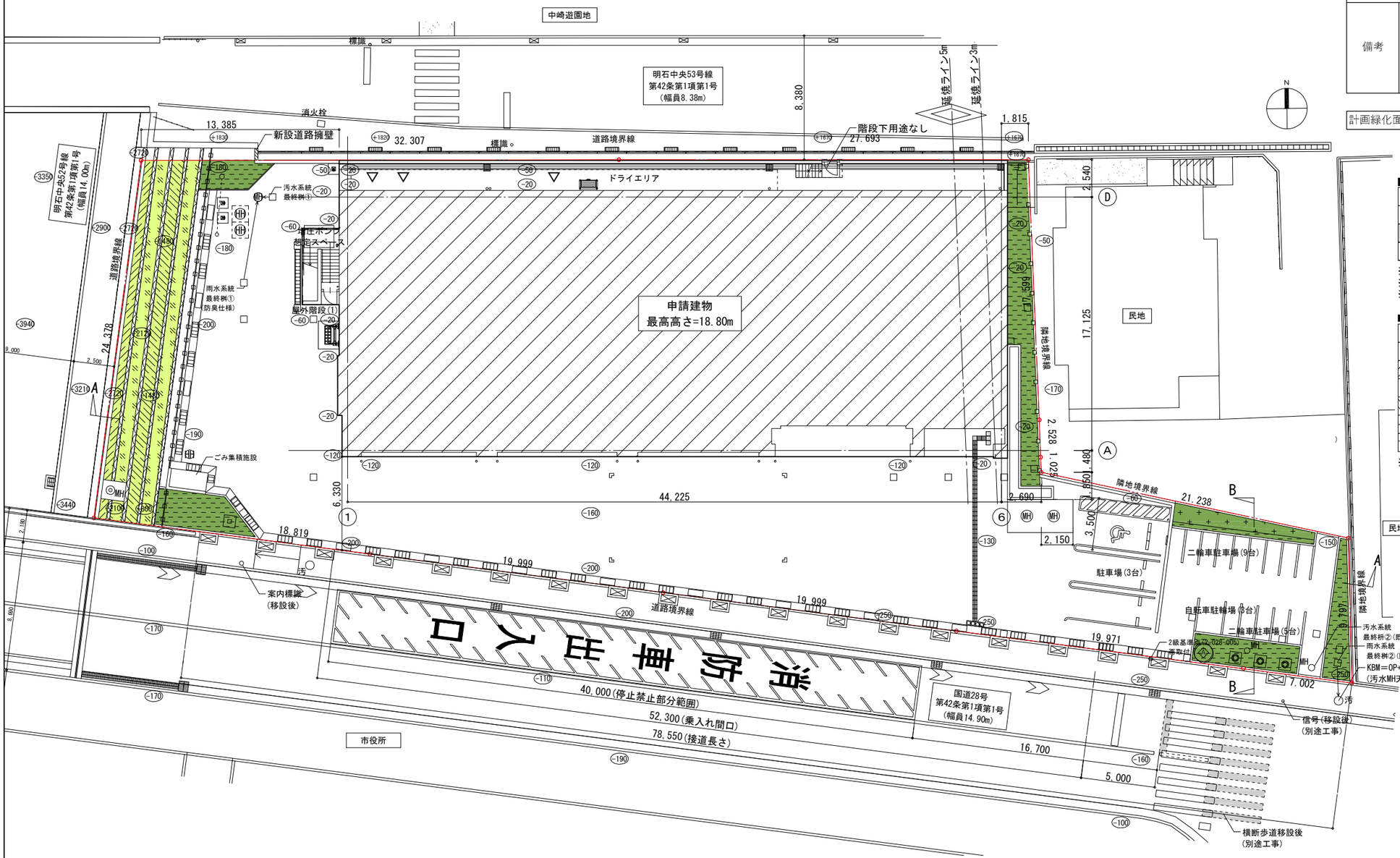
必要緑化面積

敷地面積	1993.310 ㎡
建蔽率	80 %
空地面積=1993.310-（1993.310×80%）	398.662 ㎡
必要緑化面積=空地面積×50%	199.331 ㎡

計画緑化面積

	既存緑地：植栽擁壁（CAD測定により㎡算出）	70.833 ㎡
	新設緑地（CAD測定により㎡算出） 11.037+11.390+13.200+29.473+13.824+7.241	86.165 ㎡
太陽光パネル面積（11.06kw×2）×50%=103.96×50%		51.980 ㎡
	合計	208.978 ㎡
備考	※屋上は、設備機器置場又は訓練スペース ※消防車両が南側道路に向かって出動することから、南側に空地を確保しなければならないことや、災害時の応援車両の停車エリア兼訓練エリアとして、敷地西側の空地を確保しなければならないことから、太陽光パネルの面積の1/2を敷地の緑化面積に振り替える	

計画緑化面積－必要緑化面積	+9.647 ㎡



緑地計画平面図 S=1/150

■凡例

	内容
	計画建物
	既存残置範囲
	移設後停止禁止位置及び横断歩道位置

※レベルはOP基準とする
※1FL=OP+5.05=TP+3.75
※設計GL=OP+4.90=TP+3.60=KBM+0.11

■植栽リスト

記号	名称	規格寸法(m)	数量	備考
A	ブラシノキ	H2.5	1本	新設 2脚鳥居形支柱
	ユチャ	H0.5 35株	12.503m2	既存のまま
	ユキヤナギ	H1.0 220株	38.564m2	既存のまま
	ツツジ	H0.6 100株	19.766m2	既存のまま
+ +	マサキ	H0.8	12本	新設
	リュウノヒゲ	50株/m2	78.055m2	新設

※既存緑地の枯れた箇所には低木を新設すること。（ツツジ 20m2程度）

特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学

設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

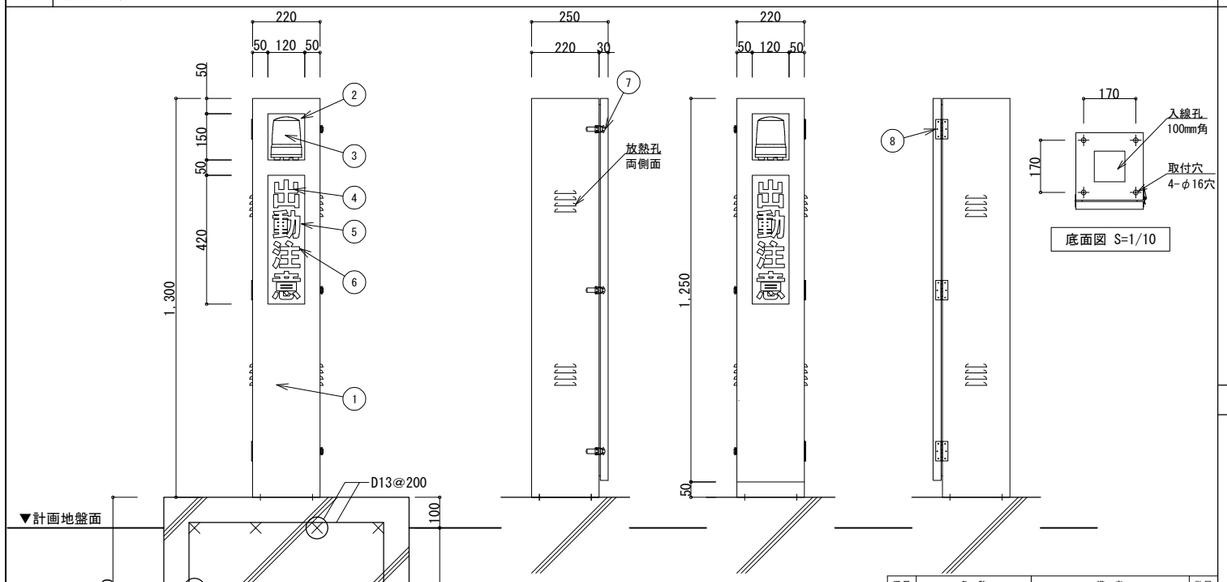
当初・変更・完成

図面名称 緑地計画平面図

縮尺 A1:1/150 A3:1/300

図番 G009

O 出動注意灯 S=1:10



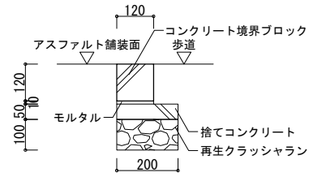
立面図 S=1/10

コンクリート:Fc-21-18-20

番号	名　称	備　考	数量
1	本体	SUS304 t1.5	1台
2	アクリル	3mm　透明	2枚
3	LED回転灯	φ100　赤色	1台
4	アクリル	3mm　カーマイン／ダイヤカット	4枚
5	LED内照基板	100mm角　赤色	8枚
6	カッティング文字	黒地に赤色浮き出し	1式
7	パチン錠	SUS製	3個
8	蝶番	SUS製	3個

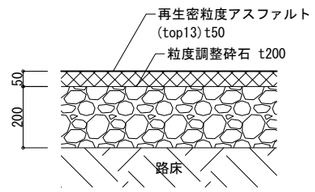
本体の塗装色はマンセルN1 半ツヤ アクリル樹脂塗装
※ブザーは不要
※回転灯の電源はDC48Vとする
※OSDと連動する仕様とする

舗装断面 S=1:10

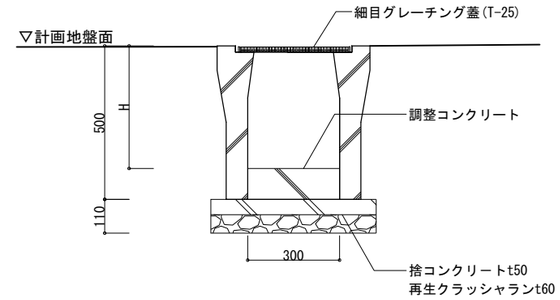


詳細図　S=1/10

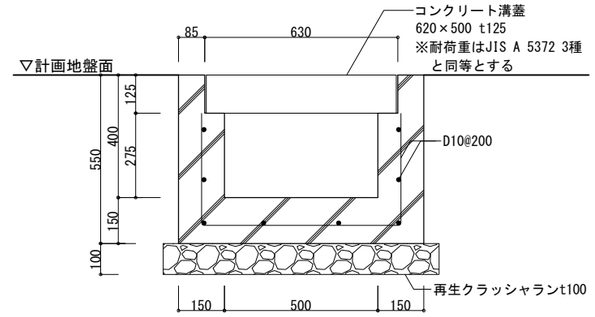
アスファルト舗装(北側市道) S=1:10



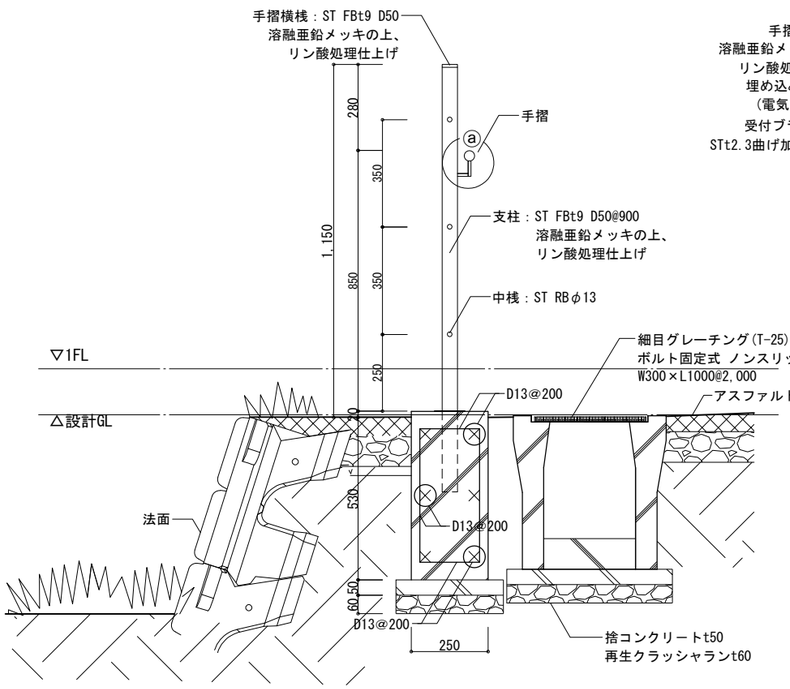
W 自由勾配側溝(プレキャスト) S=1:10

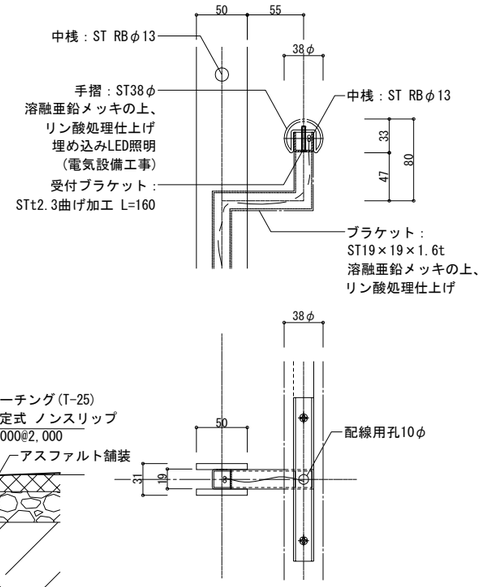


Q U字型側溝(現場打ち) S=1:10



M·R·S 鋼製手摺 S=1:10

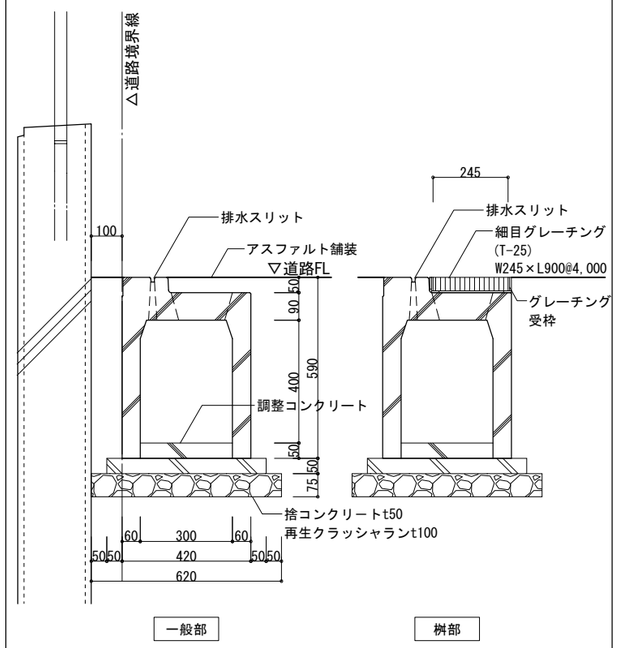




ⓐ部手摺詳細図 S=1/3

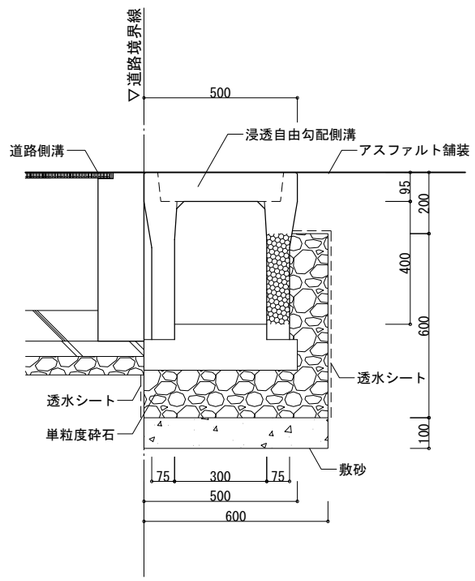
コンクリート:Fc-21-18-20

W 自由勾配側溝(道路部) S=1:10



一般部　桝部

B 浸透自由勾配側溝(プレキャスト) S=1:10



特記事項

株式会社 あい設計　大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

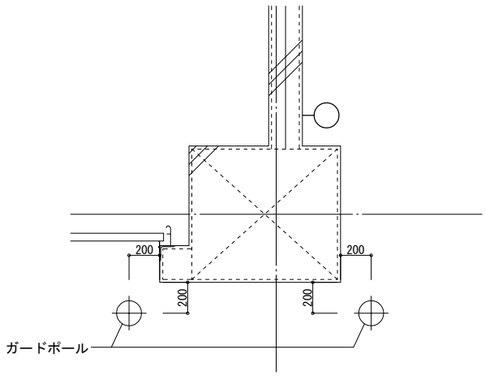
図面名称 外構図詳細図(1)

縮尺 A1:図示 A3:図示/2

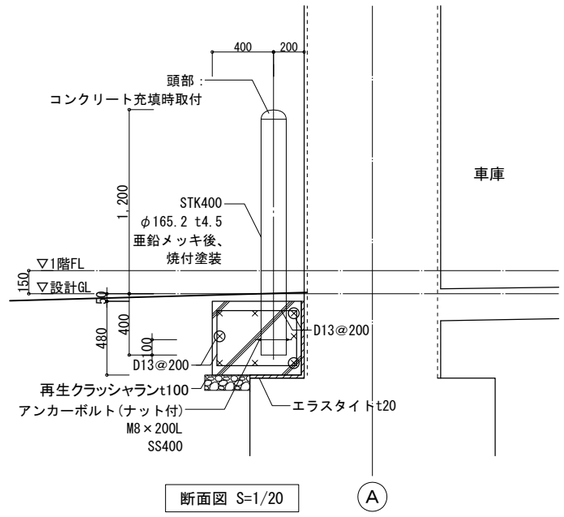
当初・変更・完成

図番 G010

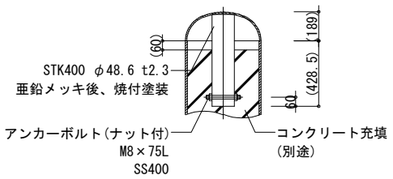
E ガードポール S=1:20



平面図 S=1/20



断面図 S=1/20

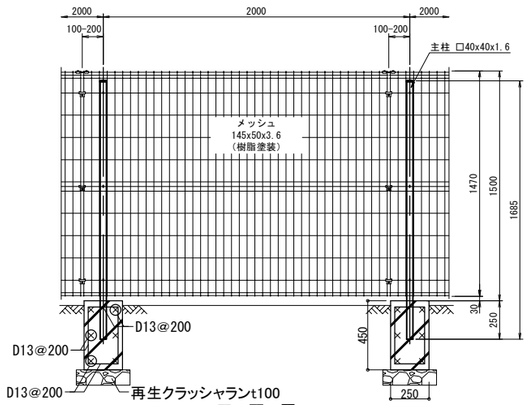


頭部詳細図 S=1/5

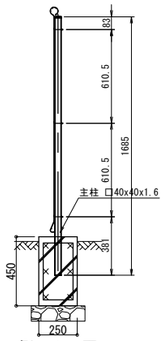
コンクリート:Fc-21-18-20

D メッシュフェンス S=1:20

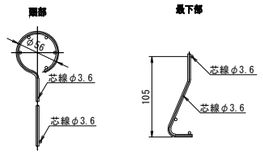
平 面 図
(S=1／20)



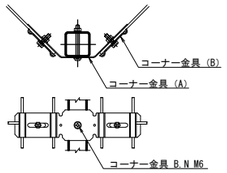
正 面 図



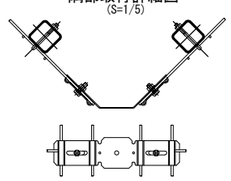
側 面 図
(S=1／20)



メッシュ断面図
(S=1/4)

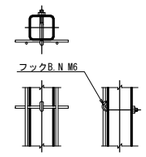


隅部取付詳細図
(S=1/5)

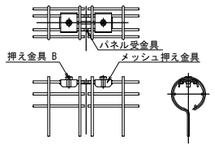


隅部取付詳細図
(柱２本建て用)

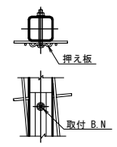
詳細図 S=1/20



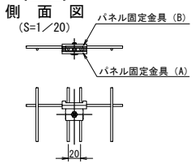
パネル取付詳細図
(S=1/5)



パネル頭部継手取付詳細図
(S=1/5)



傾斜部取付詳細図
(S=1/5)

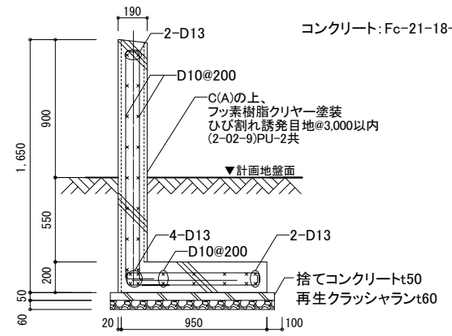


パネル継手詳細図
(S=1/5)

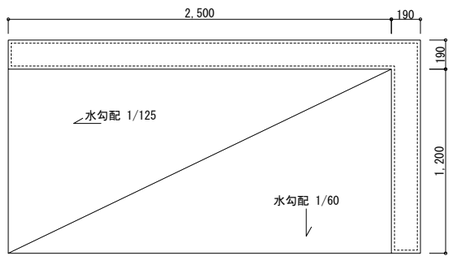
※ブラウン色とすること
（基礎条件）長期許容地耐力98kN/m²の場合。

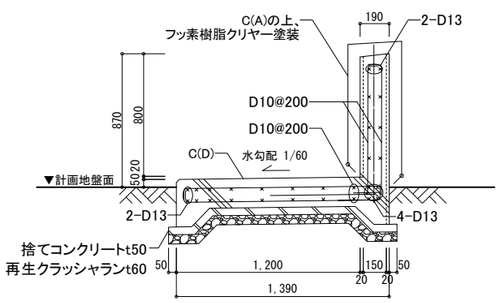
コンクリート:Fc-21-18-20

K 塀A S=1:20



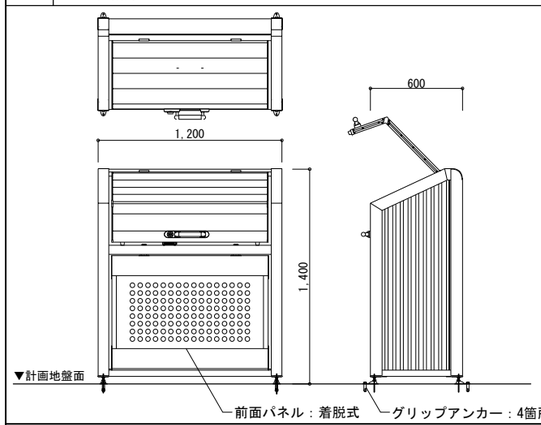
U ごみ集積施設 S=1:20





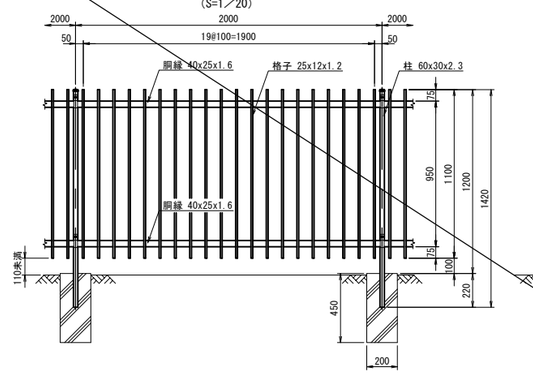
コンクリート:Fc-21-18-20

J ゴミ収納庫 S=1:20

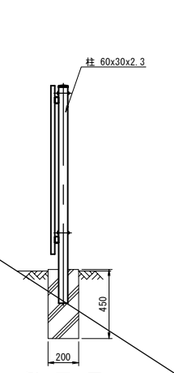


格子フェンス S=1:20

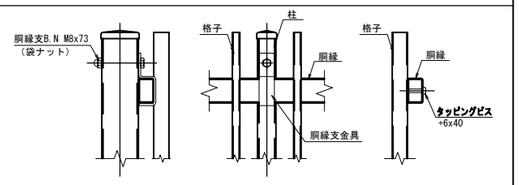
平 面 図
(S=1／20)



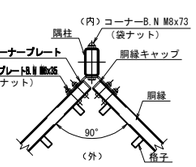
正 面 図
(S=1／20)



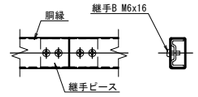
側 面 図
(S=1／20)



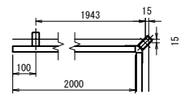
柱・胴縁取付詳細　　格子取付詳細



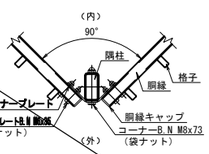
隅柱取付詳細（入隅）



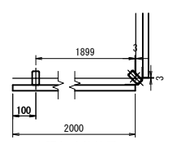
胴縁・継手取付詳細



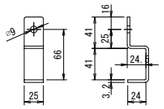
入隅部建柱位置



隅柱取付詳細（出隅）

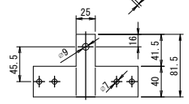


出隅部建柱位置

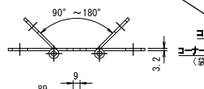


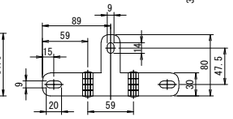
胴縁支金具

継手ピース

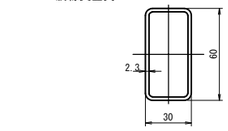


コーナープレート
(隅柱部品)





傾斜コーナー自在金具
(自在隅柱部品)



柱断面図
(S=1/2)

詳細図 S=1/20

※隅部のパネル取付け
・傾斜コーナー自在金具の場合：現場で孔加工をし設置する。

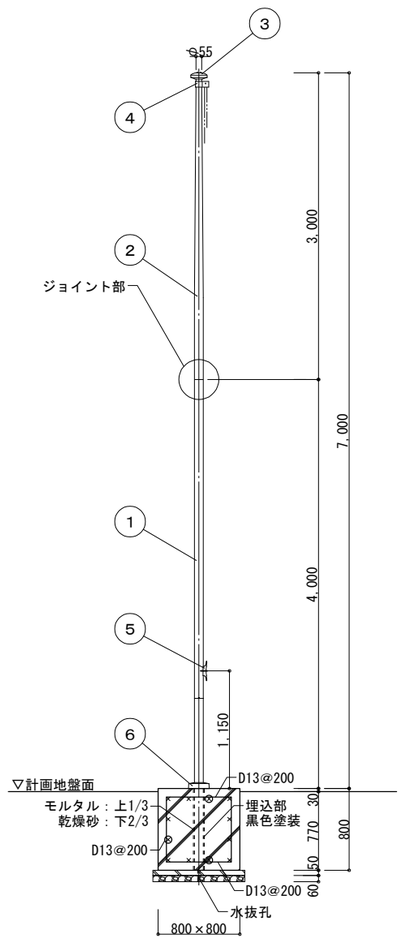
（設計条件）風荷重：昭和57年改正 建築基準法・同施行令に基づく風圧力に準拠。
（基礎条件）長期許容地耐力98kN/m²の場合。

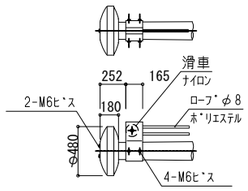
<免責事項>
凍結の恐れがある場所への設置は、内部に溜まった雨水等の凍結融解により支柱の破損やコンクリート基礎の破損の恐れがありますので施工時、水仕舞いを行ってください。
施工による水仕舞い不備で起こる支柱・基礎の破損について当社は責任を負いかねます。

コンクリート:Fc-21-18-20

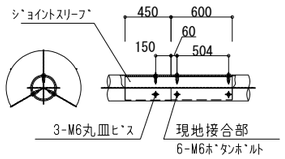
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 外構図詳細図(2) 縮尺 A1:図示 A3:図示/2	図番 G011

A 掲揚塔 S=1:10/1:30

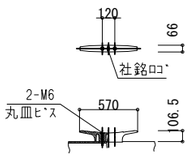




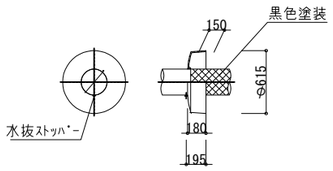
冠頭部詳細図
S=1/10



ジョイント部詳細図
S=1/10



クリート詳細図
S=1/10



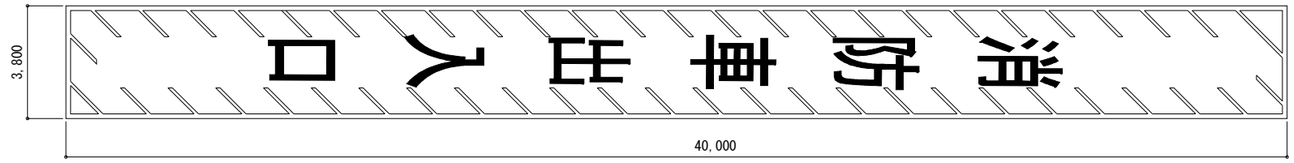
グランドセット詳細図
S=1/10

安全上、風速15m/sec以上での旗の使用はさけてください。

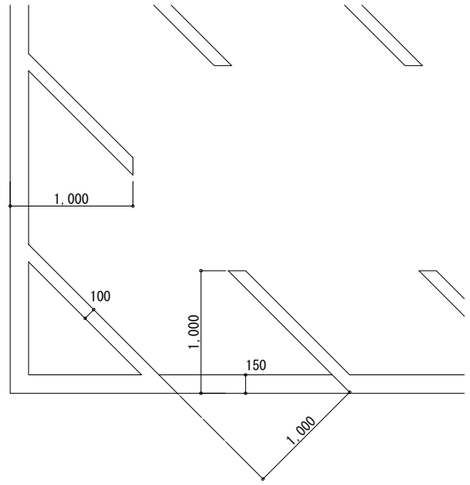
番号	品名	数量	材質		備考
6	グランドセット	1	アルミ合金ダイカスト	ADC12	塗装仕上げ
5	クリート	1	アルミ合金ダイカスト	ADC6	バフ研磨後クリアー焼付塗装
4	滑車ホルダー	1	アルミ合金	A6063S-T5	焼付塗装
3	キャップ	1	アルミ合金/ポリプロピレン	A1050P/PP	アルマイト処理
2	ポール（上段）	1	アルミ合金継目無管	YBZTD-T8	φ85×t2.0 H.L.後アルマイト処理クリアー電着塗装
1	ポール（下段）	1	アルミ合金継目無管	YBZTD-T8	φ85×t2.7 H.L.後アルマイト処理クリアー電着塗装

コンクリート:Fc-21-18-20

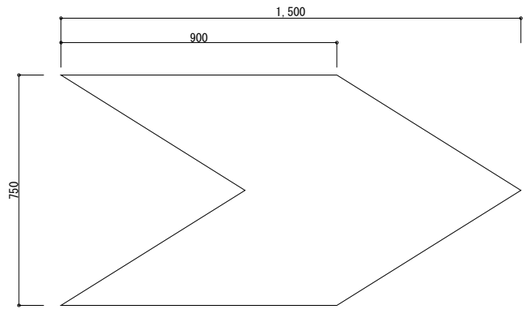
I 白線 S=1:100/1:25



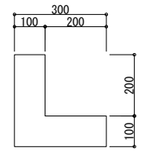
停止禁止部分詳細図 S=1:100



白線引き詳細図 S=1:25

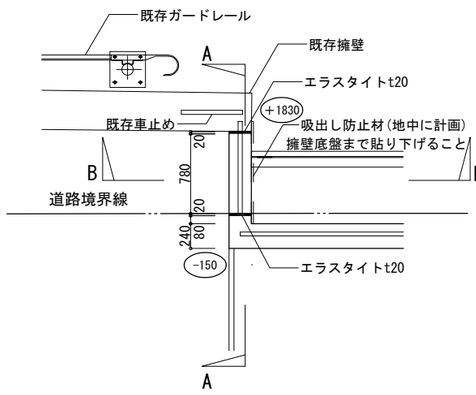


矢羽根詳細図 S=1:10

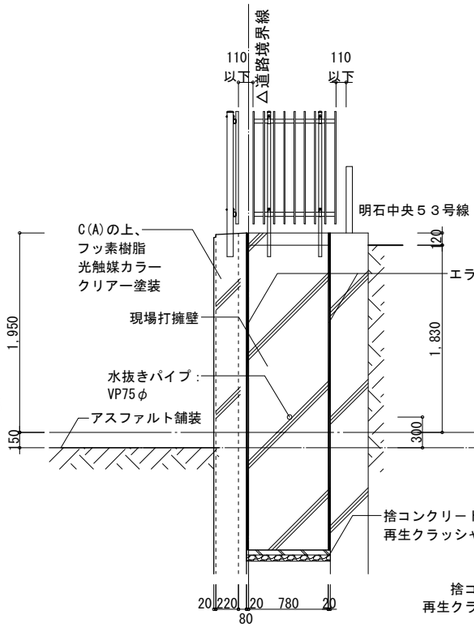


消防活動空地詳細図 S=1:10

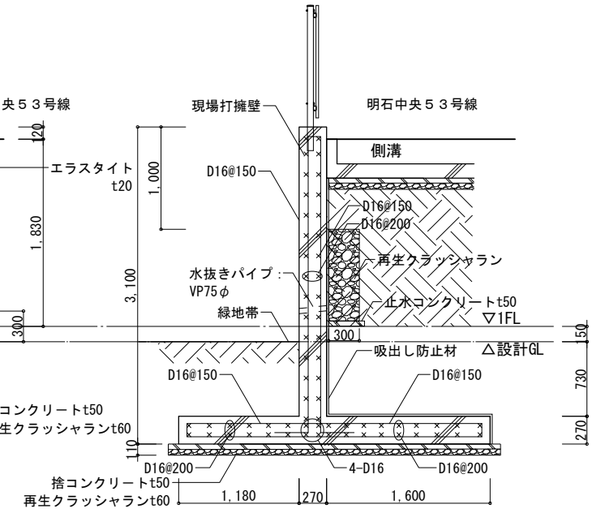
擁壁 S=1:30



外構詳細図



A-A断面図



B-B断面図

コンクリート:Fc-21-18-20

±0 FLからの仕上げ高さを示す

特記事項	・		
	・		
	・		
	・		

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 | 担当責任者 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 外構図詳細図(3)

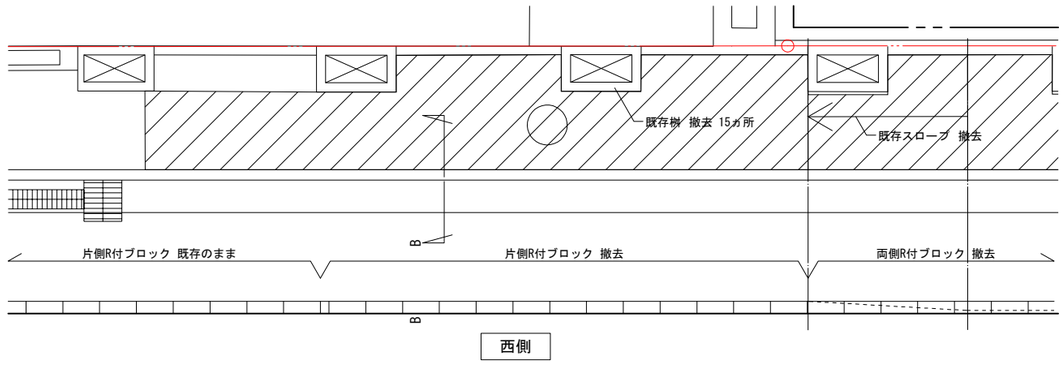
縮尺 A1:図示 A3:図示/2

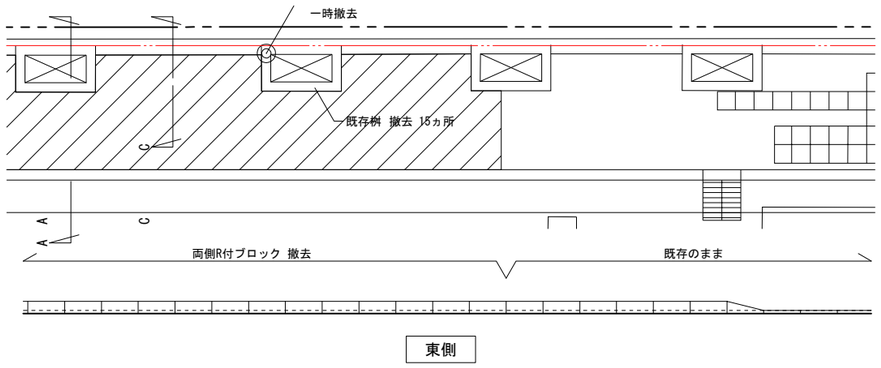
当初・変更・完成

図番 G012

歩道切下げ部詳細図 撤去

S=1:50



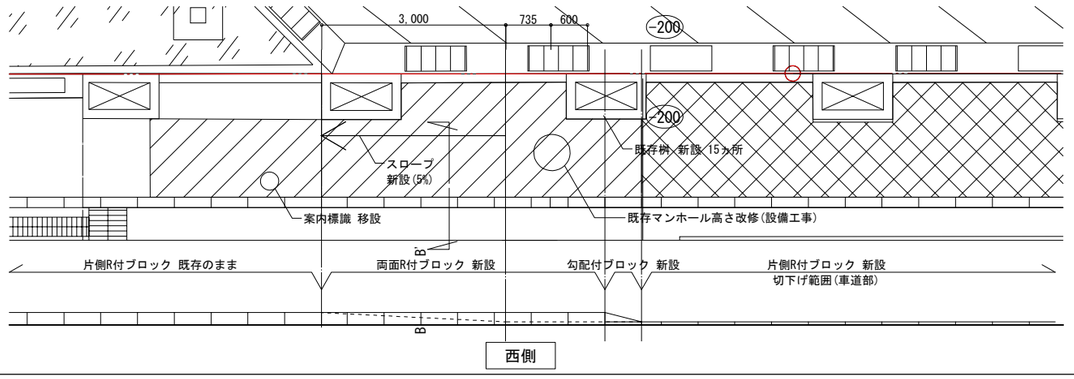


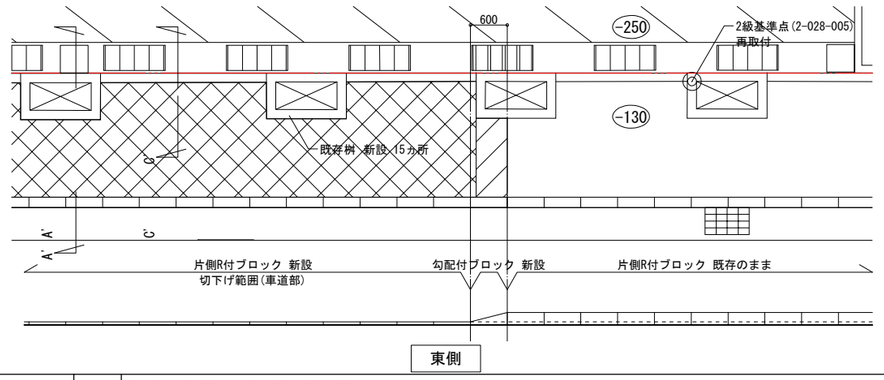
■凡例

	内容	数量
	インターロッキングブロック舗装（歩道部）撤去	99.4㎡

歩道切下げ部詳細図 新設

S=1:50



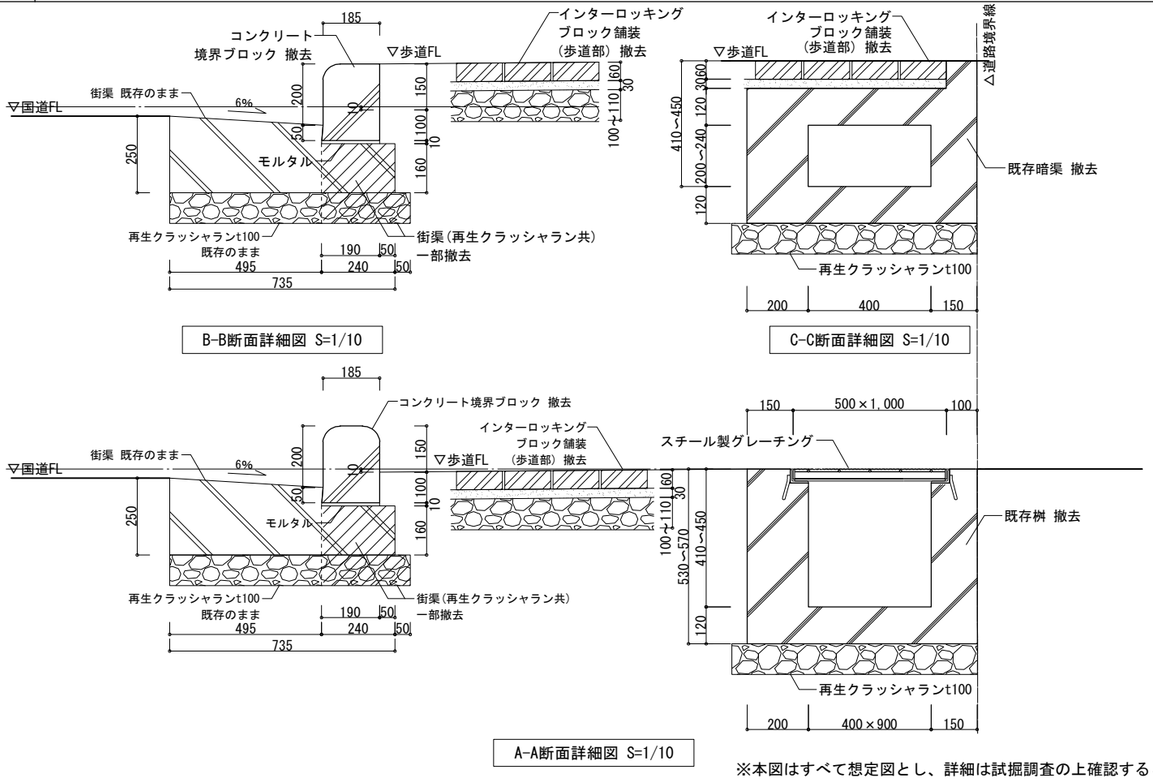


■凡例

	内容	数量
	インターロッキングブロック舗装（歩道部）新設	12.5㎡
	インターロッキングブロック舗装（車道部）新設	86.9㎡

切り下げ範囲舗装断面詳細図 撤去

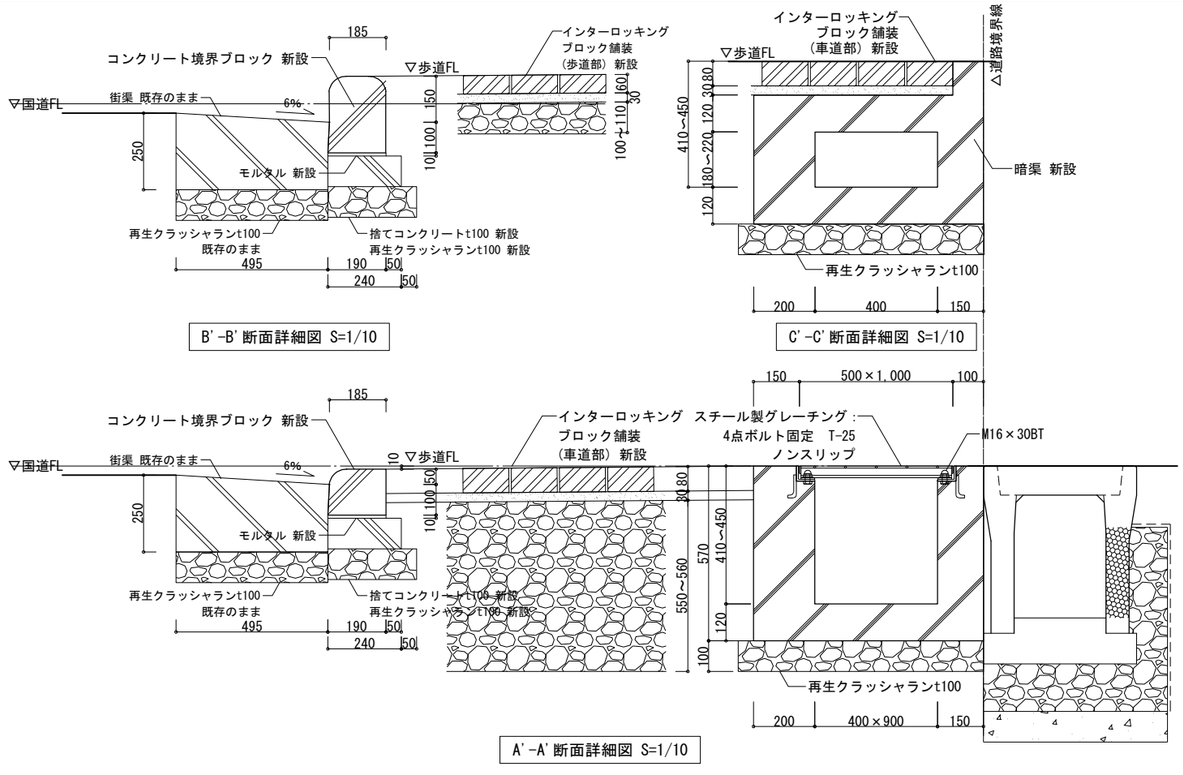
S=1:10



※本図はすべて想定図とし、詳細は試掘調査の上確認すること

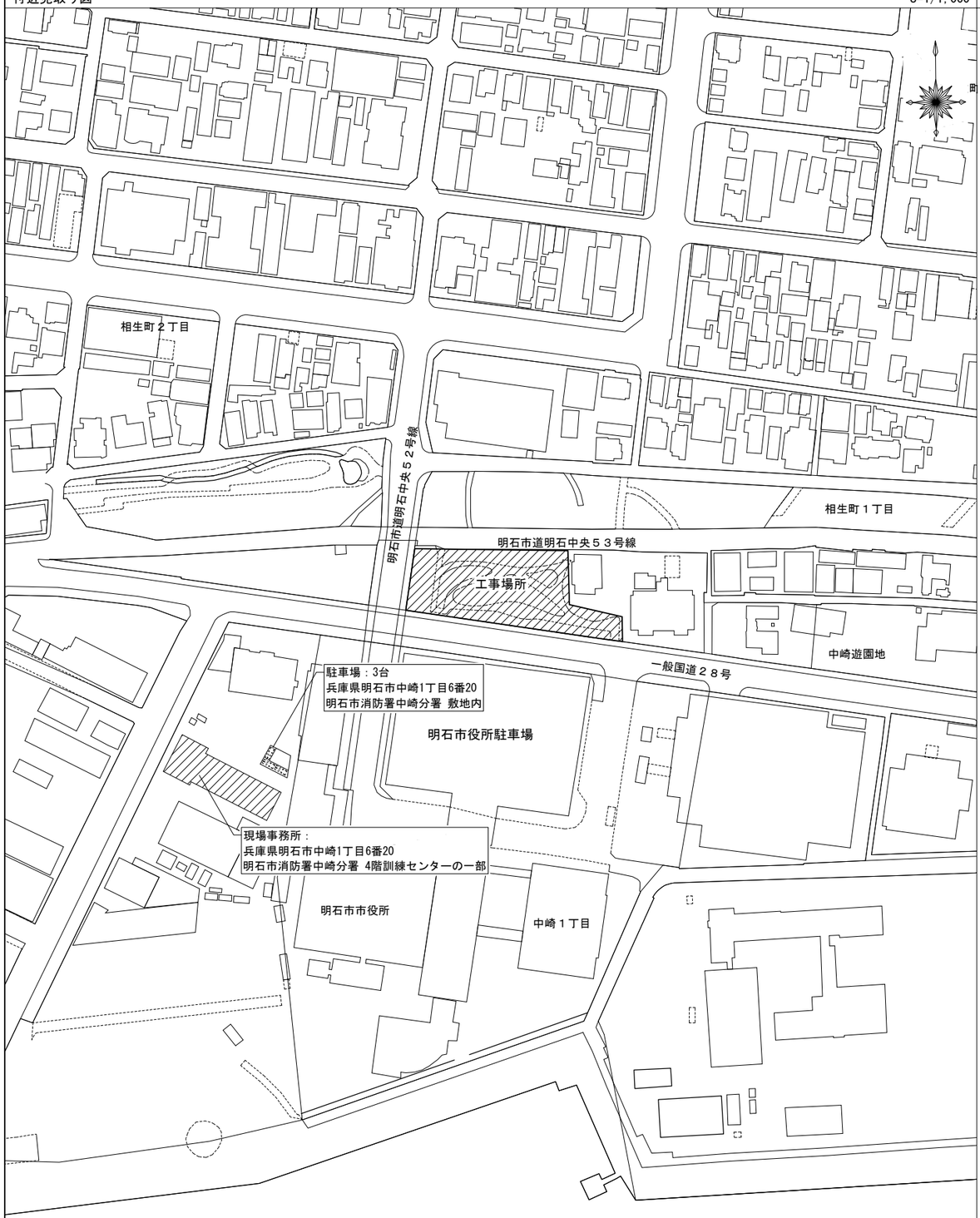
切り下げ範囲舗装断面詳細図 新設

S=1:10



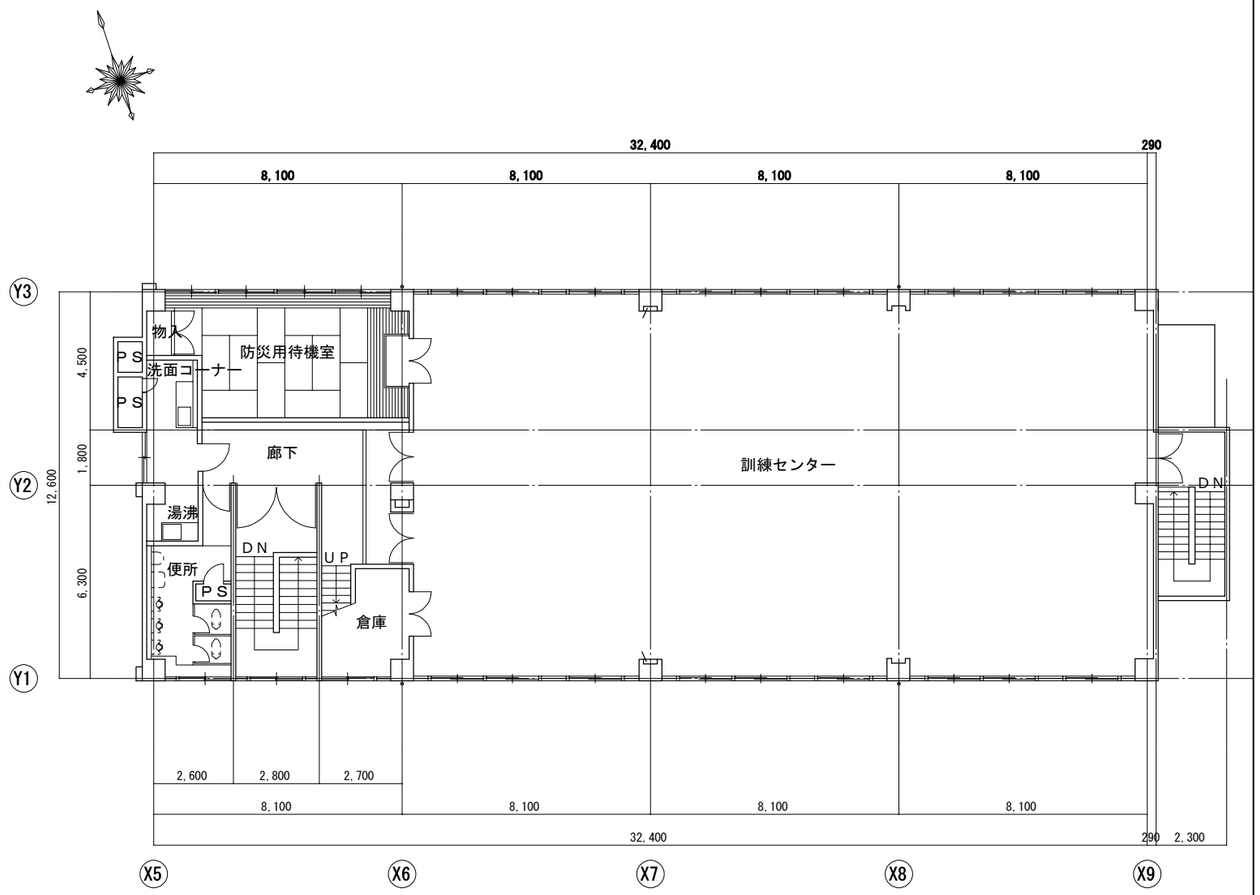
特記事項	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当責任	係長	担当	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	新中崎分署建設工事	
							図面名称 外構図詳細図(4)	縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 G013

付近見取り図 S=1/1,000



※先行工事にて近隣公園内2ヶ所に工事用仮設掲示板を設置しているため、
監督員の指示に従い必要書類の掲示を行うこと
また、工事完了後、仮設掲示板を撤去し整地を行うこと
※現場事務所用駐車場に駐車する場合、消防からの要請があり次第速やかに車を移動させること

現場事務所配置図 S=1/100

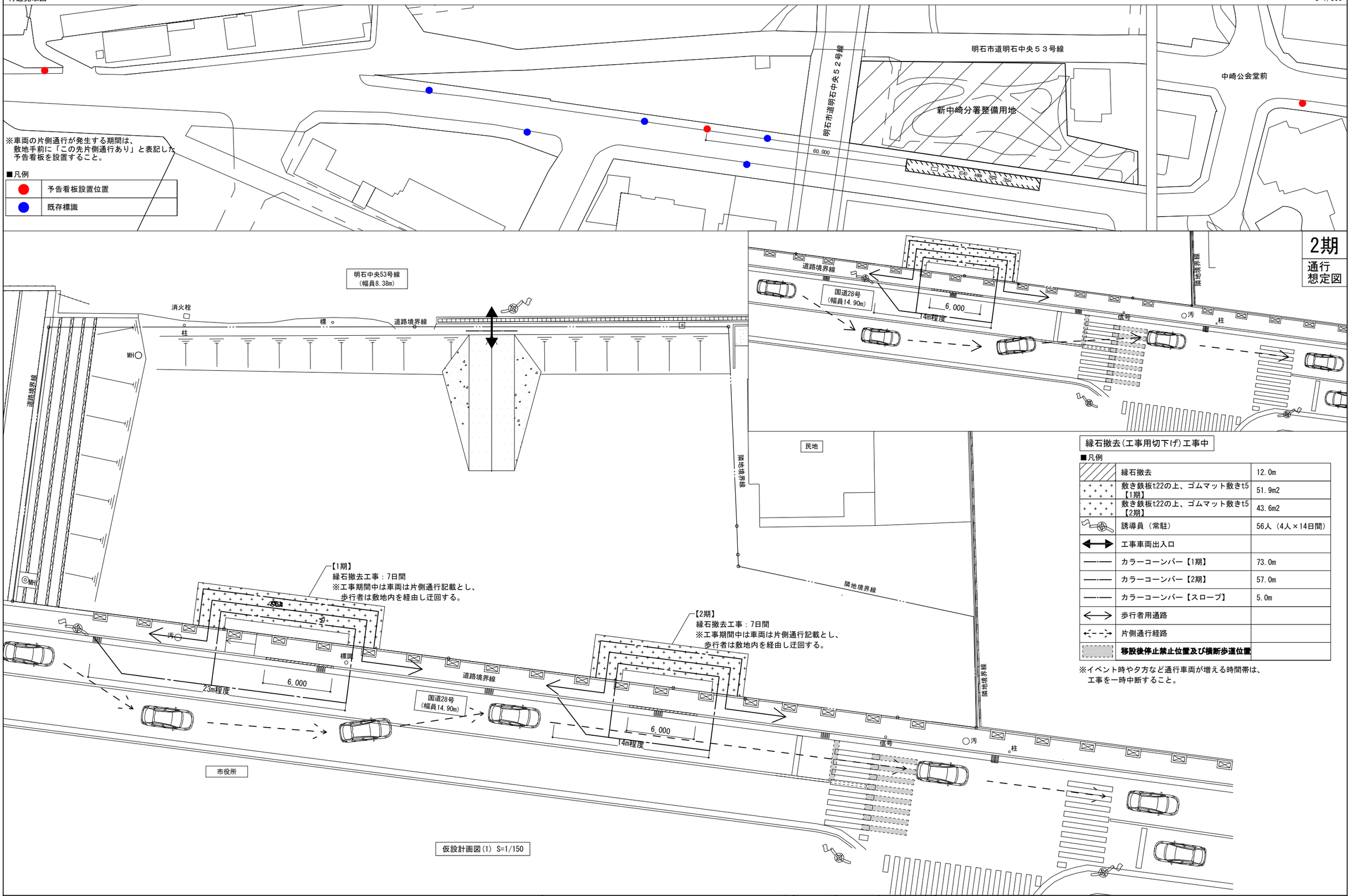


4階平面図 S=1/100

※現場事務所は訓練センター内の一部を使用することとし、設置場所は消防と協議すること。
※給水：無償
※電気：有償
※工事後の原状復旧は不要

特記事項	株式会社 あい設計 / 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当 / 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 図面名称 仮設計画図(1)	当初・変更・完成 / 縮尺 A1：図示 A3：図示/2 / 図番 K001

付近見取図　S=1/500



縁石撤去（工事用切下げ）工事中

■凡例

	縁石撤去	12.0m
	敷き鉄板t22の上、ゴムマット敷きt5【1期】	51.9m2
	敷き鉄板t22の上、ゴムマット敷きt5【2期】	43.6m2
	誘導員（常駐）	56人（4人×14日間）
	工事車両出入口	
	カラーコーンバー【1期】	73.0m
	カラーコーンバー【2期】	57.0m
	カラーコーンバー【スロープ】	5.0m
	歩行者用通路	
	片側通行経路	
	移設後停止禁止位置及び横断歩道位置	

※イベント時や夕方など通行車両が増える時間帯は、
工事を一時中断すること。

仮設計画図(1) S=1/150

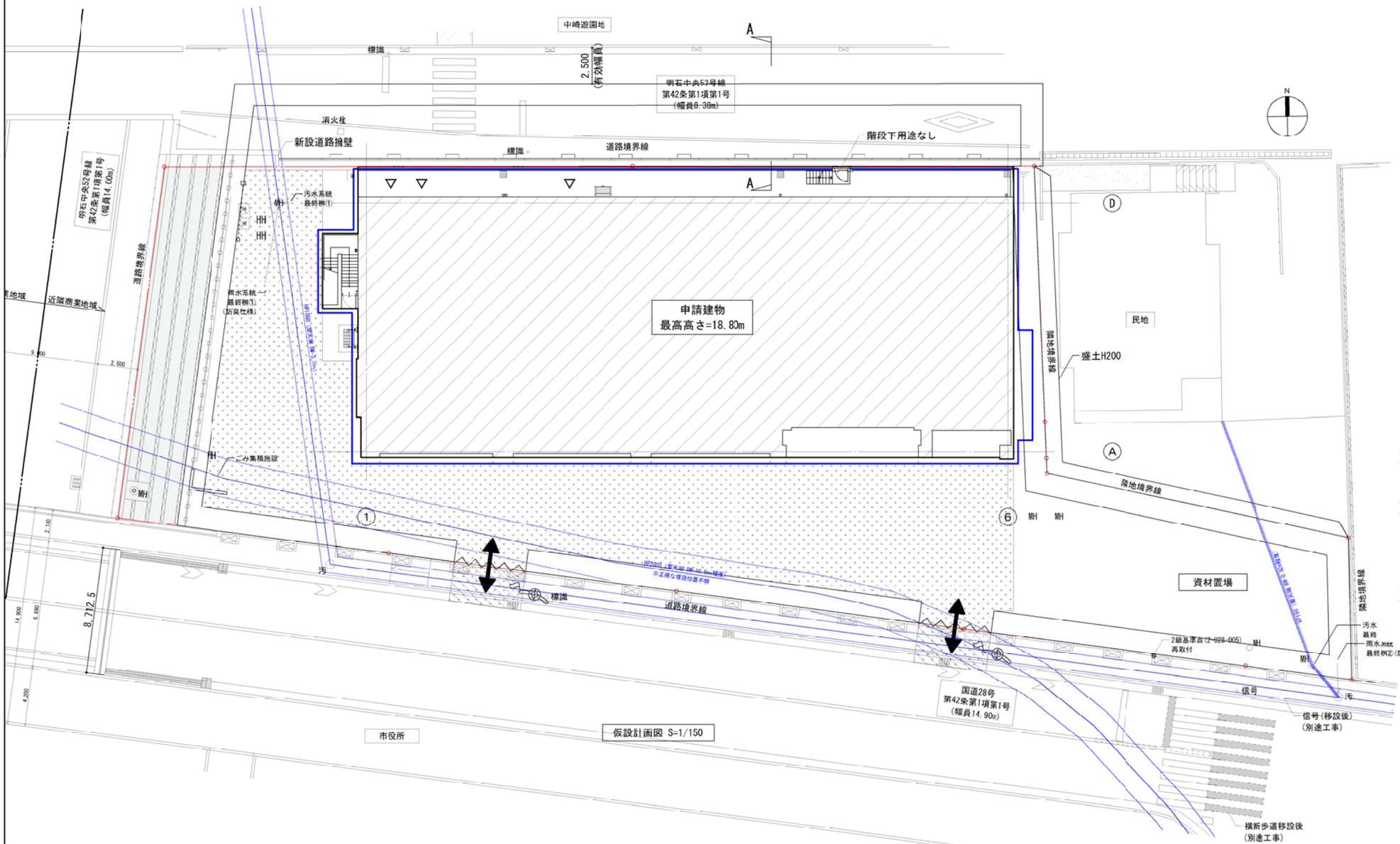
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 仮設計画図(2) / 縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 K002

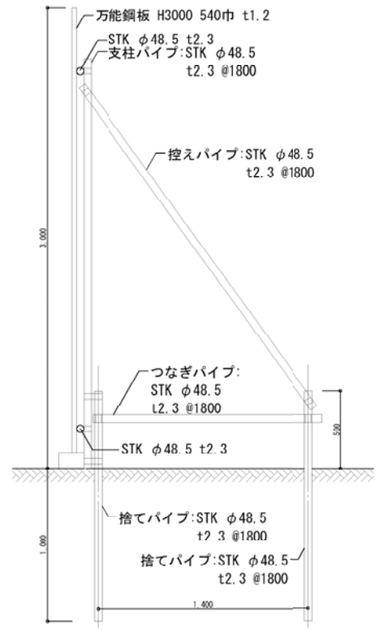
建物工事中 （山留施工時）

■凡例

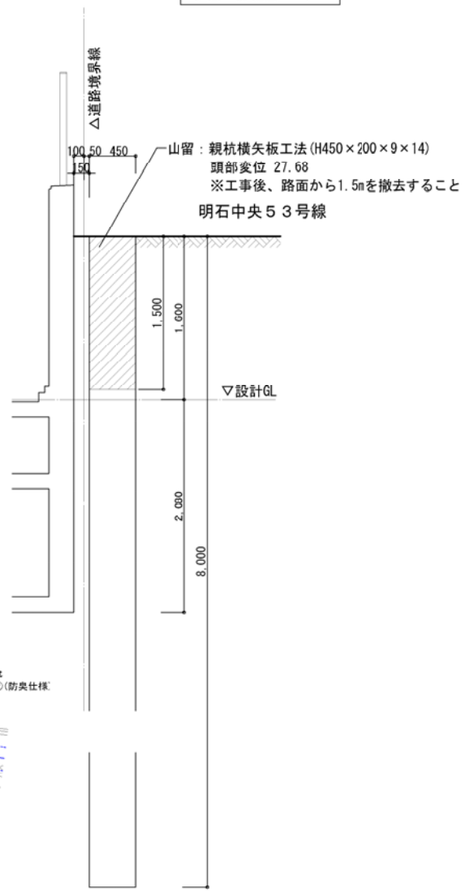
	計画建物	―
	足場（防音パネル有、北・東面に朝顔有）	―
	仮囲い	210.0m
	パネルゲート　W5.4×H4.5	2ヶ所
	誘導員（常駐＋適宜増員のこと）	120人(1人×6カ月) 増員：30人程度
	工事車両出入口	―
	移設後停止禁止位置及び横断歩道位置	―
	ゴムマット敷きt5	27.5m2
	敷き鉄板t22	563.0m2

※イベント時や夕方など通行車両が増える時間帯は、
工事車両の出入りを避けること。





仮囲い詳細図 S=1/20



A-A断面詳細図 S=1/30

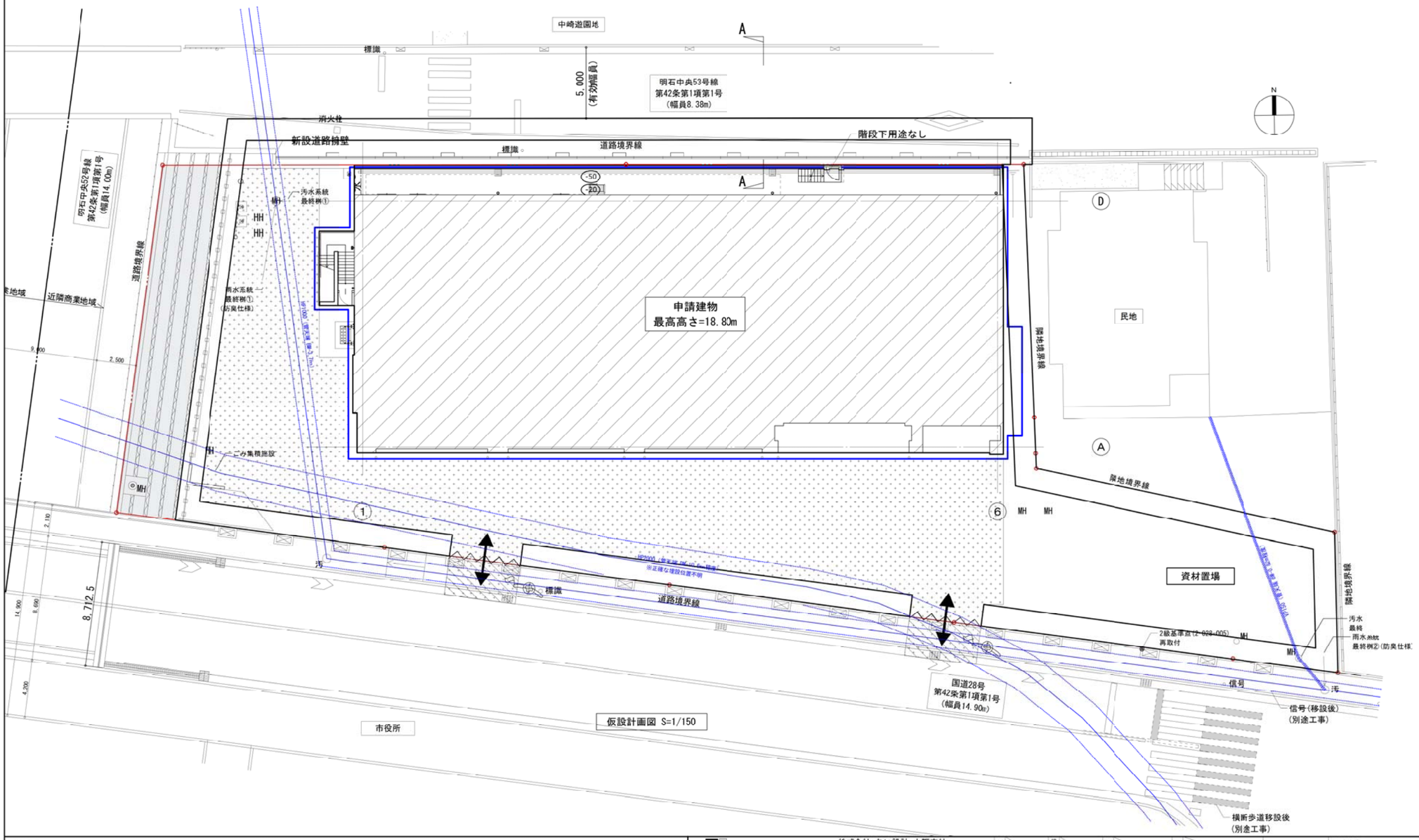
特記事項	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
		設計者 佐藤 貴清				図面名称 仮設計画図(3)	縮尺 A1：図示 A3：図示/2	図番 K003

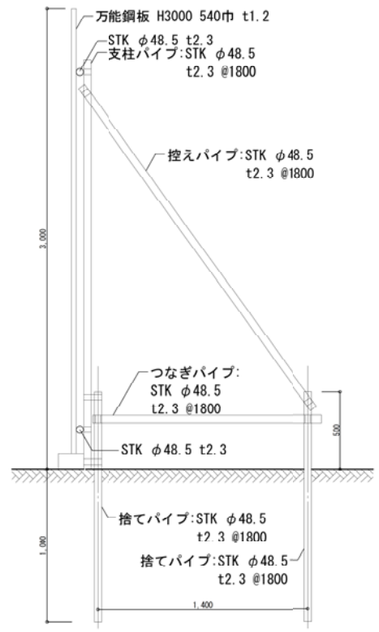
建物工事中　（仮囲い盛替え後）

■凡例

	計画建物	―
	足場（防音パネル有、北・東面に朝顔有）	―
	仮囲い	205.0m
	パネルゲート　W5.4×H4.5	2ヶ所
	誘導員（常駐＋適宜増員のこと）	180人(1人×9カ月) 増員：40人程度
	工事車両出入口	―
	移設後停止禁止位置及び横断歩道位置	―
	ゴムマット敷きt5	27.5m2
	敷き鉄板t22	563.0m2

※イベント時や夕方など通行車両が増える時間帯は、
工事車両の出入りを避けること。





仮囲い詳細図 S=1/20

特記事項

株式会社あい設計
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
設計者 佐藤 貞浩

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

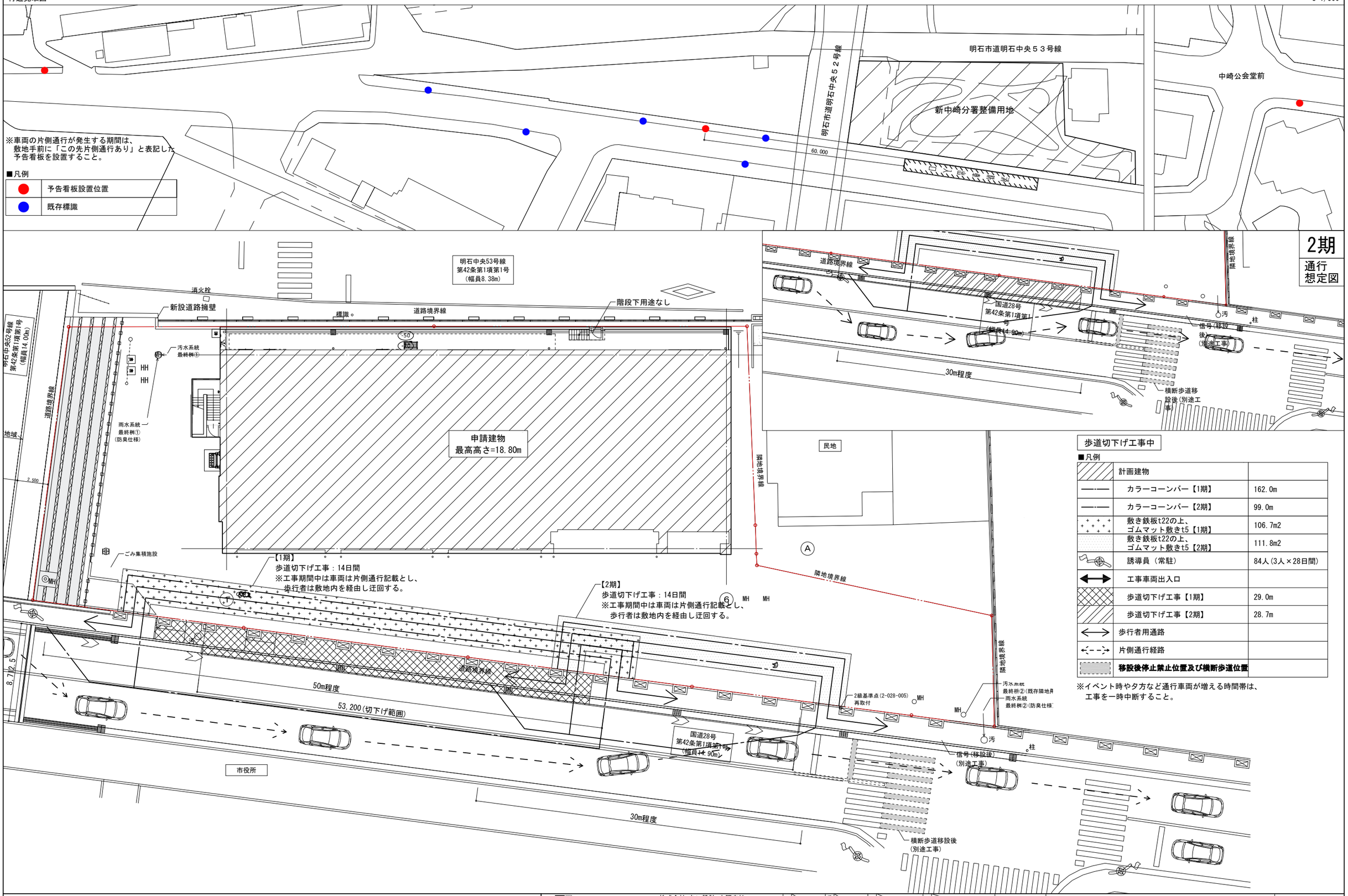
図面名称 仮設計画図(4)

縮尺 A1:1/150 A3:1/300

図番 K004

付近見取図

S=1/500



特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 仮設計画図(5)

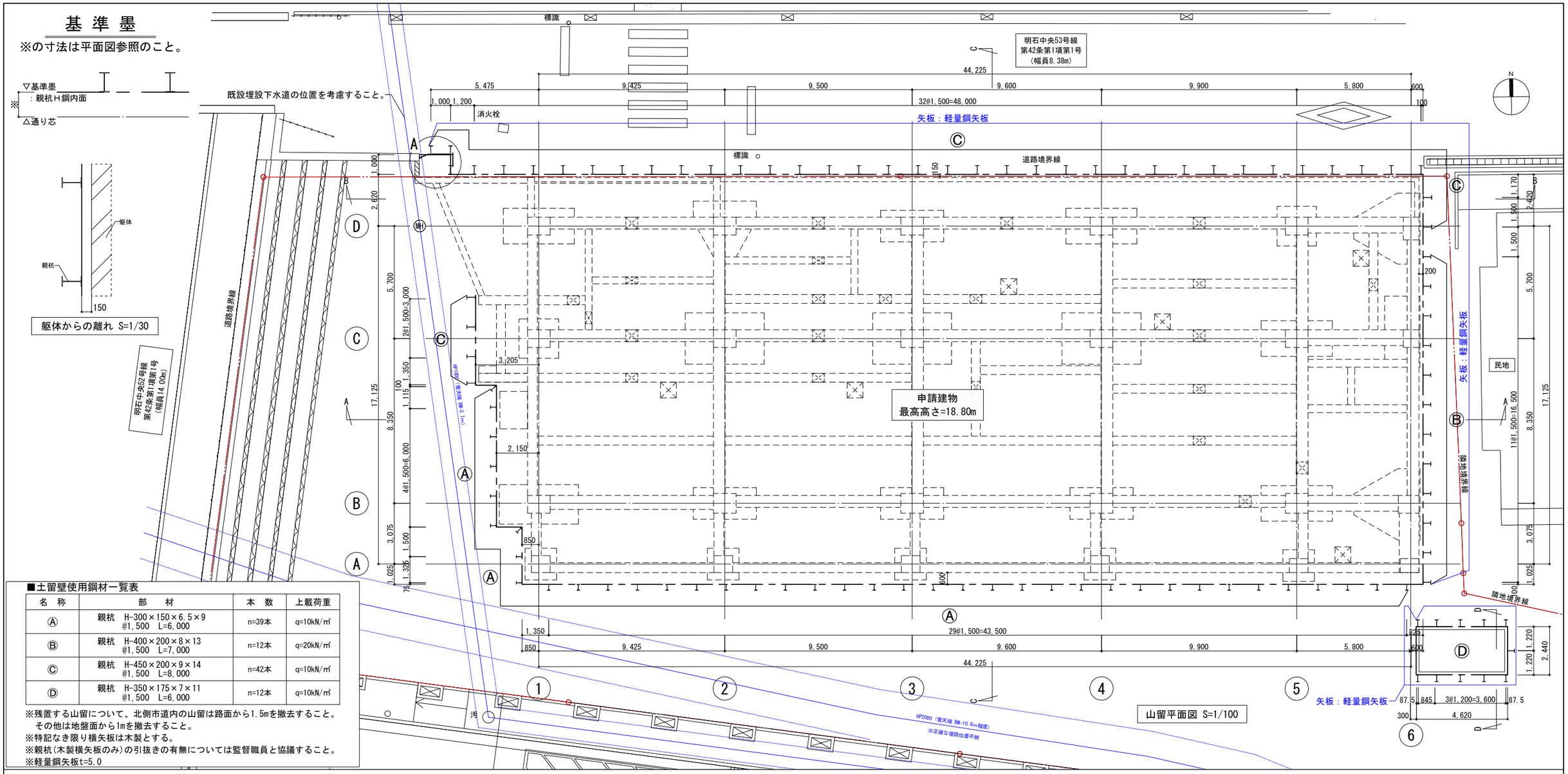
縮尺 A1:図示 A3:図示/2

図番 K005

基準墨

※の寸法は平面図参照のこと。

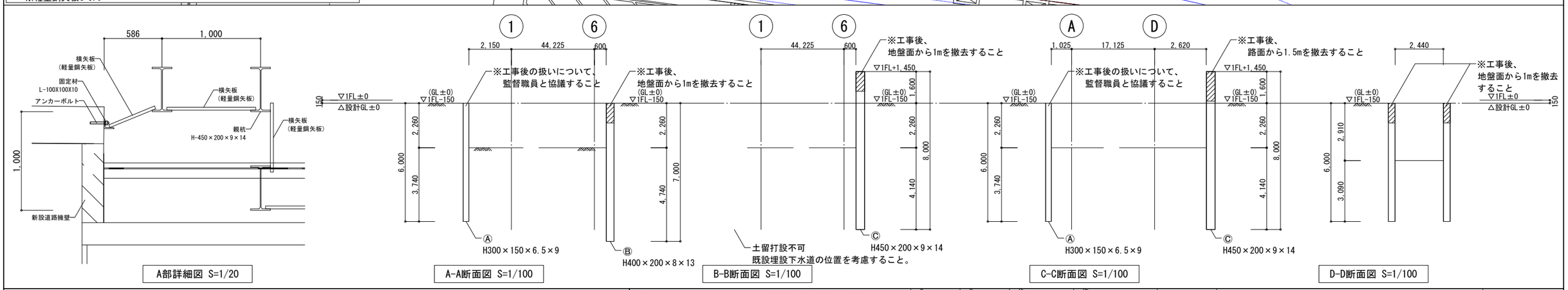
▽基準墨
：親杭H鋼内面
△通り芯



■土留壁使用鋼材一覧表

名　称	部　　材	本　数	上載荷重
Ⓐ	親杭　H-300×150×6.5×9 @1,500　L=6,000	n=39本	q=10kN/㎡
Ⓑ	親杭　H-400×200×8×13 @1,500　L=7,000	n=12本	q=20kN/㎡
Ⓒ	親杭　H-450×200×9×14 @1,500　L=8,000	n=42本	q=10kN/㎡
Ⓓ	親杭　H-350×175×7×11 @1,500　L=6,000	n=12本	q=10kN/㎡

※残置する山留について、北側市道内の山留は路面から1.5mを撤去すること。
　その他は地盤面から1mを撤去すること。
※特記なき限り横矢板は木製とする。
※親杭(木製横矢板のみ)の引抜きの有無については監督職員と協議すること。
※軽量鋼矢板t=5.0



特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 真清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 山留計画図 / 縮尺 A1:図示 A3:図示/2 / 図番 K006

構造特記仕様書　２０２４年度版

§1 一般事項

選択項目は ⊙ 印を適用し、⊙ 印が無い場合は ※ 印を適用する。
○ 印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1　使用材料は原則としてJIS規格適合品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2　設計図書の優先順位は下記による。
1)本特記仕様書
2)設計図
3)標準図
- ⊙ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図　⊙ 鉄骨工作標準図
- • 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図　⊙ 高強度せん断補強筋施工仕様書
- • 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図

4)仕様書（ ⊙公共建築協会　※日本建築家協会 ）
5)日本建築学会標準仕様書 , JASS5 2018年 , JASS6 2018年

1-3　各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、監督職員の承諾を得る。

1-4　構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に （ ⊗含む　• 含まない ）

1-5　設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて監督職員の承諾を得る。

1-6　梁貫通位置、径、及び箇所数は（ •意匠図　⊙構造図　※設備図 ）による。

1-7　その他

§2 構造計算ルート

2-1

方　向	構造計算ルート
X	•ルート1　•ルート2　⊙ルート3　•
Y	•ルート1　•ルート2　⊙ルート3　•

2-2　鉄筋の継手(定着については設計図若しくは標準図による)
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
⊗　建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定
- 日本建築学会 JASS5(2018),鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
- 日本建築学会 RC規準2018

XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018),
鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができる。

§3 仮設工事,土工事　（意匠図による）

3-1　山留め、根切り

3-2　埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土　※ 根切り土の中の良土　• 搬入良土(埋戻し土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)
盛土　※ 根切り土の中の良土　• 搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)
残土処分　• 場内地均し　※ 場外搬出処分(※ 自由　• 指定場所)

§4 地業工事

4-1　基礎及びスラブ下地業　（単位mm）

場　所		捨てコンクリート厚さ 注1)	A : 砕 石 B : 割栗石	厚　さ
基 礎	独立,布	⊗ 50 • 60　• 100	⊗ A　• B	⊗ 60　• 100　• 150　•
	ベタ	※ 50 • 60　• 100	※ A　• B	※ 60　• 100　• 150　•
基 礎 梁		⊗ 50 • 60　• 100	⊗ A　• B	⊗ 60　• 100　• 150　•
土間スラブ		⊗ 50 • 60　• 100	⊗ A　• B	⊗ 60　• 100　• 150　•
土間コンクリート	屋内	※ 50 • 60　• 100	⊗ A　• B	⊗ 60　• 100　• 150　•
	屋外	• 50 • 60　• 100	⊗ A　• B	• 60　⊗ 100　• 150　•

注1),アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
注2),端部aは100以上とする。

4-2　設計地耐力　長期　kN/m²　短期　kN/m²　終局　kN/m²
地耐力載荷試験　• 行う（ 箇所,長期設計耐力の3倍を確認する）　※ 行わない

4-3　地盤改良
- 無筋コンクリート地業　• 締固め工法　• ソイルセメント杭
- セメント系固化材攪拌　• 圧密排水工法　•

[• 載荷試験　• 一軸圧縮試験]　• 行う （ 箇所）　※ 行わない
[• 六価クロム溶出試験　]　• 行う　※ 行わない

4-4　既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
1)杭種
- ⊙ PHC杭　• A種　• B種　⊙ C種　•
- • ST杭　• A種　• B種　• C種　•
- ⊙ SC杭 12 mm　•　•　•　•
- • PRC杭　• Ⅰ種　• Ⅱ種　• Ⅲ種　• Ⅳ種
- • 節杭　• A種　• B種　• C種　•
- • 鋼管杭

2)工法
- • 打撃工法　• 油圧ハンマー　• ディーゼルハンマー
- ⊙ 埋込み工法　• プレボーリングセメントミルク注入工法
- • プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)
  杭周固定液　※ あり　• なし
- • 中掘拡大根固め工法(認定工法)
- • 回転埋設根固め工法(認定工法)
- • 回転杭工法
  先行掘削　※ あり　• なし
- ⊙ Hyper-MEGA工法（膨張型）

3)杭径,設計耐力,本数表

杭径(拡底部)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備　考
（　）					
（　）		杭リスト参照			
（　）					
（　）					

4)杭の構成は設計図による。
5)杭頭補強
⊙ New J-BAR工法

4-5　場所打鉄筋コンクリート杭,場所打鋼管コンクリート杭
1)工法
- • アースドリル工法　• 拡底アースドリル工法
- • リバース工法　• オールケーシング工法　（ • ベノト工法 •　）
- • BH工法　•

2)杭径,設計耐力,本数表(拡底部は施工径を示す)

杭径(拡底部)mm	管厚 mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備　考
（　）						
（　）						
（　）						
（　）						
（　）						

3)杭先端深さ　• GL-　m　• 杭リストによる　• 杭伏図による
4)孔壁測定　（ 2 方向)
※ 行う （ • 全数　•　% ）　• 行わない
5)使用材料　コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
コンクリート　Fc　（ • 普通ポルトランドセメント　• 高炉セメントB種 ）
鉄筋　• D　以下　SD295　• D　以上　SD345
• D　以上　SD390
鋼管(リブ付)　• SKK400　• SKK490

4-6　杭打地業共通事項
1)（⊙ 試験杭　• 試験掘]　⊙ 行う（2本）　• 行わない
2)載荷試験　• 行う（ 箇所,長期設計耐力の3倍を確認する）　※ 行わない
3)SL塗布　• 行う　⊗ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1　材種

種 類	径	継　手
⊙SD295	D 16　以下	⊗ 重ね継手　• スパイライル　• 工場溶接
⊙SD345	D 19　以上	• 重ね継手　⊗ ガス圧接(基礎は重ね継手も可)
⊙SD390	D 29　以上	⊗ ガス圧接　• 溶接継手　• 機械継手（　級）
⊙SD490	WD38J,WD41J	⊙杭頭補強筋
⊙ 溶接金網		⊙重ね継手
⊙ 高強度せん断補強筋	• 1275級　P	⊙フック加工　• スパイラル　• 工場溶接
	⊙ 785級　MK13	
	• 685級　U	

5-2　ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
⊙　抜取り検査
- 引張り試験(JISZ3120)
  1検査ロットにつき　※ 3本　• 原則 柱・梁の径毎に3本
- ⊙ 超音波探傷試験(JISZ3062)　• 熱間押抜き試験
  1検査ロットにつき　⊙ 30箇所　•
  ○不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
  1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内

5-3　溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他,日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準）
JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準）

5-4　梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-5　その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として　⊙ ①一般　• ②地反力を受ける
• ③上載荷重が大きい場合　とする。
梁の余長ℓ_1の採用　大梁・小梁　※ D'（梁有効せい）⊙ 端部上下筋15d　中央上下筋20d
基礎梁　※ min(D',L_2)　⊙ 端部上下筋15d　中央上下筋20d
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打る部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に監督職員の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1　レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019)
1)セメント　⊗ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJIS R5210　• 高炉ｾﾒﾝﾄB種
• 低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJIS R5210　•
2)粗骨材　• 砂利　⊗ 砕石　• 高炉ｽﾗｸﾞ骨材　• 人工軽量骨材　• 再生骨材
最大径(mm)　⊗ 20　• 25　• 40
3)設計基準強度　(N/mm²)　(使用区分は設計図の軸組図に示す)
⊙ 普通コンクリート
• Fc18　• Fc21　• Fc24　• Fc27　⊙ Fc30　⊙ Fc33　• Fc
• 軽量コンクリート(※ 1種　• 2種　気乾単位容積質量　※ 18.5 •　)
• LFc18　• LFc21　• LFc24　• LFc27　• LFc30　• LFc

4)土間コンクリート　⊙ Fc 18　（ただし柱,壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする）
5)捨てコンクリート　⊙ Fc 18
6)防水押さえコンクリート　⊙ Fc 18　（ただし柱,壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする）
7)かさ上げコンクリート　⊙ Fc 18　（ただし柱,壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする）

6-2　混和材　⊗AE減水剤　⊙ 高性能AE減水剤　• 躯体防水材　• 膨張材
注1),混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたもの使用する。

6-3

箇　所	基礎, 基礎梁	一　般			備　考
スランプ　cm	18以下	21以下			
水セメント比　%	60以下	60以下			60以下
単位水量　kg/m³	185以下	185以下			185以下
単位セメント量 kg/m³	270以上	270以上			270以上

注2),スランプは特記なき限り施工者が決め監督職員に報告する。

6-4　試験（躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う）
1)骨材　[⊙ 塩分含有量　⊙ アルカリシリカ反応性]　⊗ 行う　• 行わない
2)フレッシュコンクリート　[⊙ スランプ　⊙ 空気量]　⊗ 行う　• 行わない
3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験　⊗ 行う　• 行わない
4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験　• 行う　⊗ 行わない
5)マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析)　• 行う　⊗ 行わない
6)単位水量測定　• 行う　⊙ 行わない

6-5　調合（補正値は工事費に含む）
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fd
• 短期(18)　• 標準(24)　⊙ 長期(30)　• 超長期(36)
調合管理強度　Fm=Max(Fc,Fd)+S　S=3～6
材齢28日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。
F≧Fm+1.73σ　F≧0.85Fm+3σ

6-6　せき板及び支柱の在置期間(普通ポルトランドセメントの場合)

		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁　下
コンクリートの材齢による場合	15 ℃以上	3 日	17 日	28 日
	5 ℃以上	5 日	25 日	
	0 ℃以上	8 日	28 日	
圧縮試験による場合		5N/mm²	注)0.85Fcまたは12N/mm²	注）設計基準強度

注）かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全が確認されるまで。

6-7　住宅性能表示　劣化等級　• 等級2　• 等級3
劣化等級2又は3を指定する場合は、鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)2-7かぶり厚さ
が変わる為,かぶりを訂正又は,設計図に明示する

6-8　Fc36を超える場合は高強度コンクリートとし、仕様は別記特記仕様書(JASS5等)による

§7 鉄骨工事

7-1　材種及び使用箇所

規 格 名 称	鋼　材　名	柱	通し ダイア	内 ダイア	大梁	ﾌﾞﾚｰｽ	小梁 他
一般構造用圧延鋼材	⊙ SS400　•						○
溶接構造用圧延鋼材	• SM400A　• SM490A						
建築構造用圧延鋼材	⊙ SN400A　•	○					
	• SN400B　• SN490B						
	• SN400C　• SN490C						
一般構造用角形鋼管	• STKR400　• STKR490						
冷間成形角形鋼管	• BCR295　•						
	• BCP235　• BCP325						
熱間成形角形鋼管	• SHC400B　• SHC400C						
	• SHC490B　• SHC490C						
一般構造用炭素鋼管	• STK400　• STK490						
	• STKN400　• STKN490						
一般構造用軽量形鋼	⊙ SSC400　•						○
建築構造用圧延棒鋼	⊙ SNR400B					○	

7-2　高力ボルト

高 力 ボ ル ト の 種 類		使 用 箇 所
トルシア形高力ボルト	※　S10T	全般
JIS形高力ボルト	• F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛めっき高力ボルト	⊙ F8T	母材が亜鉛めっきされている部分
超高力ボルト	• S14T	屋内環境

7-3　普通ボルト,アンカーボルト
1)材質　• SS400　• SS490(M　以上)
⊙ ABR400　• ABR490　• ABM400　• ABM490(ABMはM24以上)
2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による)　• 使用する　⊙ 使用しない

7-4　頭付きスタッド

径	長　さ(mm)	使 用 箇 所
16 φ	• 80　• 100　• 120　• 150　•	
19 φ	• 80　• 100　• 120　• 150　•	
22 φ	• 100　• 120　• 150　•　•	

7-5　溶接材料
1)アーク溶接に使用する溶接棒,ワイヤ及びフラックスは母材の種類,寸法,及び溶接条件に相応したものを選定する。
2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6　スカラップ形状　※ ノンスカラップ工法　⊙ スカラップ工法

7-7　継手

	柱		梁	
フランジ	• 高力ボルト	• 現場溶接	⊗ 高力ボルト	• 現場溶接
ウェブ	• 高力ボルト	• 現場溶接	⊗ 高力ボルト	• 現場溶接

7-8　溶接手法及び管理
1)　使用する溶接ワイヤー、入熱量及びパス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2)　完全溶け込み溶接はAW検定の有資格者が行うとする指定を　⊙ 行う　• 行わない
3)　本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技量検定付加試験を　⊙ 行う　• 行わない
但し、代替タブのAW検定有資格者は技量検定付加試験を免除する。

7-9　デッキプレート　（単位　mm ）
1)　床用　高さ　•　板厚　•
2)　合成スラブ用　高さ　•　板厚　•
3)　型枠用　高さ　•　板厚　•　形版　タイプ
4)　防錆処理　• プライマー　• 亜鉛めっき　• Z12　• Z27

7-10　塗装(工場塗 ※ 2回　• 1回、現場タッチアップ程度とする)
1)　素地調整　※ ケレン　• ブラスト
2)　下塗り用塗料

適用 屋外	適用 室内	塗　料		種　別		標準膜厚
	※	鉛、クロムフリ-錆び止め	J1SK5674	※ 1種	※ 2種	30μm
	•	水系さび止めペイント	JASS18　M-111			30μm
•		変性エポキシ樹脂プライマー	JASS18　M-109	• 1種	• 2種	40μm
•		有機ジンクリッチプライマー	J1SK5552		• 2種	15μm
•		構造物用さび止めペイント	J1SK5551	A種		30μm

3)　溶融亜鉛めっき　⊙ 行う　• 行わない
4)　常温亜鉛めっき　• 行う　⊙ 行わない
5)　高耐食めっき鋼板（t3.2mm以下）　• 用いる　⊙ 用いない

7-11　溶接部の検査(受入検査)　⊗ 行う　• 行わない
1)受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、監督職員又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2)第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCIW検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3)受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4)外観検査の合否判定は国土交通省告示第1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付則6. 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5)超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2018により、合否判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6)溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。
7)受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
a)工場溶接の場合
i.検査ロットは各節、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ii.抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
iii.大きさ30個のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30個のサンプルを抜取検査する。総計60個のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b)現場溶接の場合
i.全数検査とする。
8)検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9)ずれ・食違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。

7-12　鉄骨製作工場　下記○印のグレード認定工場の内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと

国土交通省大臣認定(グレード)						
S	H	(M)	R	J		以上

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

8-1　コンクリートブロック
1)種類　• A 種　• B 種　• C 種
2)厚さ mm　• 100　• 120　• 150　• 190

8-2　ALC　パネル
1)使用箇所　• 床　• 屋根　• 外壁　• 内壁
2)厚さ mm　• 75 (80)　• 100　• 120(125)　• 150　• 175
3)外壁取り付け構法

方　向	構　法	使 用 箇 所	備　考
縦	• ロッキング構法		
横	• アンカー構法		

8-3　押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ mm　•　•

方　向	構　法	使 用 箇 所	備　考
縦	• ロッキング構法		
横	• スライド構法		

8-4　PCa板
1)床及び屋根　• 床　• 屋根
• PCa板単独 厚さ mm　•　•
• 合成板

PCa板厚さ　mm	現場打厚さ　mm	合計厚さ　mm	備　考

2)外壁 厚さ　mm　•　•

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長　担当課長　係長　担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
2025年1月	新中崎分署建設工事	
	図面名称 構造特記仕様書	縮尺 A1:NS A3:NS
		図番 S-001

鉄筋コンクリート構造配筋標準図　　2024年度版

§1 一般事項

1－1 基本事項

1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
   また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書１－２－４に指定した共通仕様書及び 日本建築学会「JASS5(2018)」及び「鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造配筋指針同解説(2021)」による。
3. 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

1－2 その他

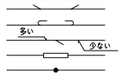
§2 共通事項

2－1 鉄筋の表示記号

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	・	×	″	●	○	◉	⊠	⊚	⊕	◆	▣
呼び径d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径b	11	14	18	22	26	29	33	37	40	43	47

- ﾌｯｸのない場合
- ﾌｯｸのある場合
- 本数に差がある場合
- 機械式継手表示
- ガス圧接、溶接継手表示



2－2 鉄筋の折り曲げ

柱,梁,基礎の主筋、及び、その他の鉄筋の折り曲げ形状,寸法

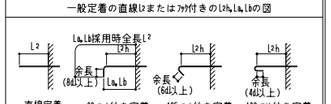
折り曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法寸法(D)
180°	余長 4d以上	柱,梁主筋 基礎主筋 帯筋 あばら筋 ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋 ｽﾗﾌﾞ筋 壁筋	SD295	D16以下	3d以上
135°	余長 6d以上		SD345	D19～D41	4d以上
90°	余長 8d以上		SD390	D41以下	5d以上
			SD490	D25以下	5d以上
				D29～D41	6d以上

(SD490は90°のみ)

2－3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ「JASS5(2018)」に準拠

鉄筋の種類	ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度(N/mm²)	重ね継手の長さ 下段	重ね継手の長さ 上段	定着の長さ 一般 下段	定着の長さ 一般 上段	定着の長さ 梁・床スラブ 上端筋	定着の長さ 梁・床スラブ 下端筋
SD295 SD345 SD390 SD490 を示す	18	45d(50d) 35d	60d 50d	35d 25d	.20d	15d (20d)	la=20d Lah=10d 床スラブの場合 la=10d かつ 150以上 SD490は適用外
	21	40d(45d) 30d	55d 45d	30d 25d	.15(20)d		
	24～27	35d(40d) 25d(30d)	50d(55d) 40d(35d)	30d(35d) 20d(25d)	.15(20)d		
	30～36	30d 25d	45d 35d	30d 20d	.15d	15d	
	39～45	30d(35d) 20d(25d)	45d(50d) 35d(25d)	25d(30d) 15d(20d)	.15d		
	48～60	30d 20d	45d 35d	25d 15d	.15d		
SD390 (SD490) を示す (ｰ)は適用外	21	50d(-) 35d(-)	60d(-) 40d(-)	40d(-) 30d(-)	.20d(-)	20d (-)	
	24～27	45d(55d) 35d(45d)	60d(65d) 50d(35d)	40d(45d) 30d(35d)	.20(25)d		
	30～36	40d(50d) 30d(35d)	55d(60d) 45d(30d)	35d(40d) 25d(30d)	.20(25)d		
	39～45	35d(40d) 25d(30d)	50d(55d) 40d(25d)	30d(35d) 20d(25d)	.15(20)d	15d (-)	
	48～60	35d(40d) 25d(30d)	50d(55d) 40d(25d)	30d(35d) 20d(25d)	.15(20)d		

一般定着の直線lzまたはﾌｯｸ付きのlzh,la,Lah,Lbの図

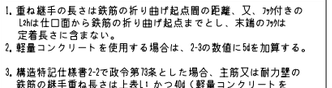


1. 重ね継手の長さは鉄筋の折り曲げ起点間の距離、又、ﾌｯｸ付きのlzhは仕口面から鉄筋の折り曲げ起点までとし、末端のﾌｯｸは定着長さに含まない。
2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に5d を加算する。
3. 構造特記仕様書2-2で政令第73条とした場合、主筋又は耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは上表に1.1かつ40(軽量コンクリートを使用する場合は50d)とする。
4. 構造特記仕様書2-2でJASS5(2018)、RC規準2018とした場合、主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手重ね長さは設計図によるが、参考値として上表JASS5(2018)にlz1lz2を示す。

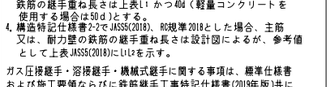
ガス圧接継手・溶接継手・機械式継手に関する事項は、標準仕様書および施工要領ならびに鉄筋継手工事特記仕様書(2019年版)共に公益社団法人日本鉄筋継手協会編に準拠。

2－4 継手一般

1.ガス圧接、溶接継手



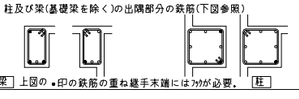
3.重ね継手　(壁、スラブ筋を除く)



4. D35以上の鉄筋は原則として重ね継手は用いない。(ガス圧接、溶接、機械式継手等による)
5. 溶接継手及び機械式継手の場合はメーカー仕様による。

- 下記の1.～7.に示す鉄筋の末端部にはﾌｯｸをつける。

1. あばら筋及び帯筋　　2. 煙突の鉄筋
3. 柱及び梁(基礎梁を除く)の出隅部分の鉄筋(下図参照)



梁　上図の ●印の鉄筋の重ね継手末端にはﾌｯｸが必要。　柱

2－5 鉄筋のフック

2－6 鉄筋のあき

4. 片持ちｽﾗﾌﾞの上端筋の先端
5. 最上階及びこれに準ずる箇所の柱頭の四隅の鉄筋
6. 杭基礎の基礎筋(偏心基礎及び杭3本打以上の場合)
7. 鉄骨柱の脚部の基礎柱、又は根巻ｺﾝｸﾘｰﾄの四隅の鉄筋

- 鉄筋のあきは原則として下記による。
  呼び名の数値dの1.5倍以上
  粗骨材の最大寸法の1.25倍以上　　かつ25以上
- 鉄筋径が異なる場合は大きい方による。
- 二段筋のあきは1.5d且つ粗骨材最大値の1.25倍以上とする。

※D a D　※D:最外径を示す

2－7 かぶり厚さ

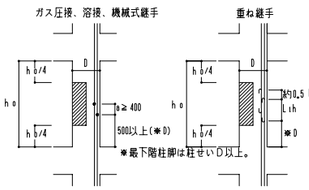
鉄筋に対するｺﾝｸﾘｰﾄの設計かぶり厚さと最小かぶり厚さ

部位			かぶり厚さ(mm) 仕上げあり	かぶり厚さ(mm) 仕上げなし
土に接しない部分	屋根ｽﾗﾌﾞ 床ｽﾗﾌﾞ 非耐力壁	屋内	30 (20)	30 (20)
		屋外	30 (20)	40 (30)
	柱 梁 耐力壁	屋内	40 (30)	40 (30)
		屋外	40 (30)	50 (40)
	擁壁		50 *1 (40) *1	50 *1 (40) *1
土に接する部分	柱・梁・床ｽﾗﾌﾞ・壁 布基礎の立上り		50 *2 (40) *2	
	基礎，擁壁		70 *2 (60) *2	

1. ( )内の数値は最小かぶり厚さを示す。
2. 仕上げあり　とは、鉄筋の耐久性上有効な仕上げのある場合とする。
3. *1 品質,施工法に応じ、監督職員の承認で10減の値とすることができる。
4. *2 軽量ｺﾝｸﾘｰﾄの場合は、これに10加算する。
5. 柱・梁の主筋の最小かぶり厚さは、表の数値以上かつ主筋径の1.5倍以上とする。

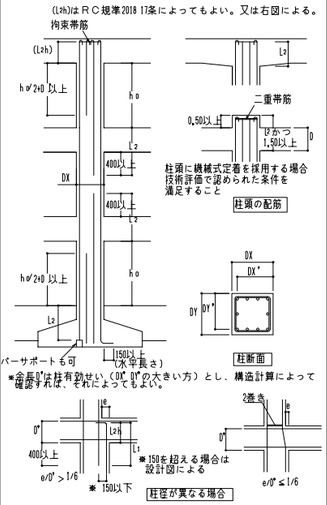
3－1 主筋の継手

§3 柱



- ▨印内に継手中心部を設けることを原則とする。

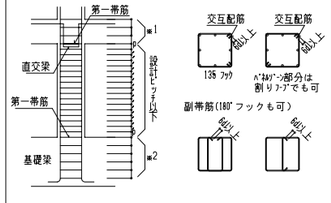
3－2 主筋の定着



*定着長さは柱有効せい(D'or D'の大きい方)とし、構造計算によって確認すること。

3－3 帯筋 副帯筋

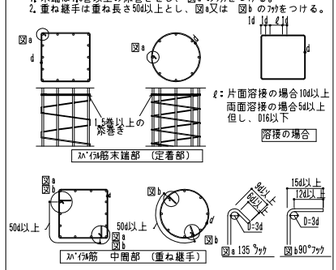
- 第一帯筋(D13以上使用の事)は梁面上端筋直上に入れ、その間を設計ﾋﾟｯﾁ以下に割り付ける。
- 帯筋の加工は下図による。

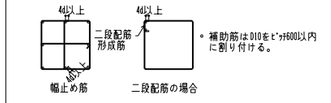


- ﾊﾟﾈﾙｿﾞｰﾝの帯筋は設計図によるが、明記なき場合は下記による。
  ただし、帯筋量(pw)は0.2%以上とする。
  *1. 設計ﾋﾟｯﾁの1.5倍以下とする。巾形以上の場合は同径同材質で□形φ100以下とする。
  *2. 基礎梁部分は、同径で□形φ150以下とする。

3－4 補助筋

- ﾊﾟﾈﾙ筋の末端処理及び継手は下記のとおりとする。
  1. 末端は1.5巻以上の添巻きをし、図aのﾌｯｸをつける。
  2. 重ね継手は重ね長さ50d以上とし、図b又は 図bのﾌｯｸをつける。





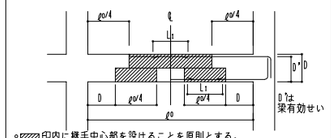
- 補助筋は D10をﾋﾟｯﾁ600以内に割り付ける。

3－5 柱のｺﾝﾌｧｲﾒﾝﾄ補強

補強する柱は設計図による。(柱頭、柱脚柱せいの範囲を補強する。)

§4 梁

4－1 主筋の継手

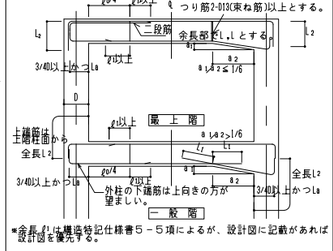


- ▨印内に継手中心部を設けることを原則とする。
  (告示平12第1463号使用基準参照)

溶接継手の場合でも柱面より500以上はなすこと。

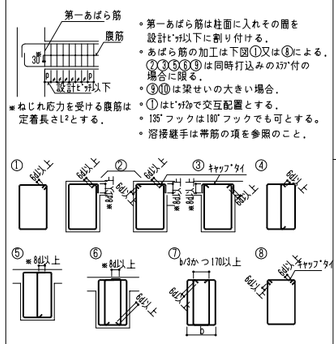
- 定着形状を下記以外とする場合は設計図書による。

4－2 主筋の定着及び余長



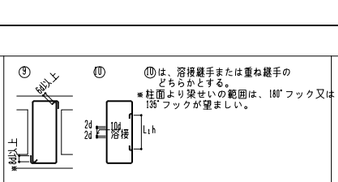
- 梁主筋は原則として通し筋とするが、拘束筋□をあばら筋と同径同ピッチで落としこむ。

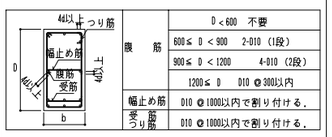
4－3 副あばら筋



- 第一あばら筋は柱面に入れその間を設計ﾋﾟｯﾁ以下に割り付ける。
- あばら筋の加工は下図①又は⑧による。
  ②③⑤⑥⑦は同時打込みのｽﾗﾌﾞ付の場合に限る。
- ③④⑤は梁せいの大きい場合。
- ①は上ﾌﾟﾗｽﾗﾌﾞで交互配置とする。
- 135°フックは180°フックでも可とする。
- 溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

4－4 補助筋

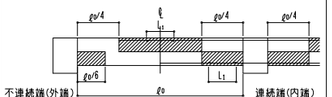




腹筋	D < 600	不要
	600≦ D < 900	2-D10 (1段)
	900≦ D < 1200	4-D10 (2段)
	1200≦ D	D10 @300以内
幅止め筋		D10 @1000以内で割り付ける。
受筋 つり筋		D10 @1000以内で割り付ける。

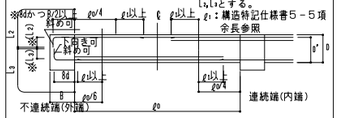
4－5 小梁及び片持梁

a)小梁継手



- ▨印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上はなすこと。
  ※水平投影長さ(RC規準による)確保できない場合余長部でl1lzとする。

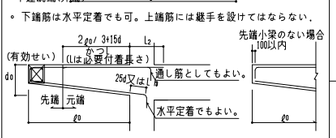
定着



b)片持梁

- 下端筋は水平定着でも可。上端筋には継手を設けてはならない。

定着 継手

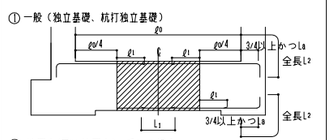


※地反力を受ける梁は構造特記仕様書5－5項および設計図に示す。
余長ℓ1は設計図に記載があれば、設計図を優先する。

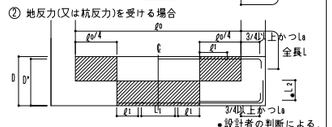
4－6 基礎梁及び基礎小梁

a)基礎梁の継手及び定着

① 一般(独立基礎、杭打独立基礎)



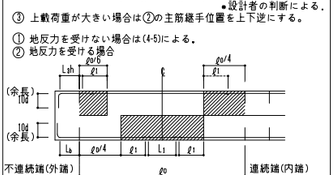
② 地反力(又は杭反力)を受ける場合



③ 上載荷重が大きい場合は②の主筋継手位置を上下逆にする。

b)基礎小梁の継手及び定着

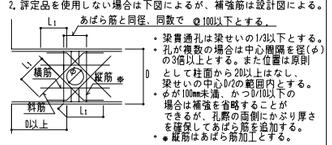
① 地反力を受けない場合は(4-5)による。
② 地反力を受ける場合



- ▨印内に継手中心部を設けることを原則とする。ただし溶接継手の場合は柱面(基礎小梁の場合は梁面)より500以上はなすこと。l1とれない場合4－5 a定着によってよい。

4－7 梁の貫通補強

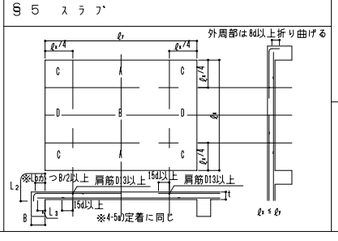
1. 補強筋は原則として工場製品　(評定品)を使用する。
2. 評定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計図による。



- 梁貫通孔は梁せいの1/3以下とする。
- 孔が複数の場合は中心間隔を径(φ)の3倍以上とする。また位置は原則として柱面から2D以上はなし、梁せいの中心D/2の範囲内とする。
- φが100mm未満、かつD/10以下の場合は補強を省略することができるが、孔際の面側にかぶり厚さを確保してあばら筋を追加する。
- *縦筋はあばら筋加工とする。

§5 スラブ

5－1 鉄筋の折り曲げ及び定着

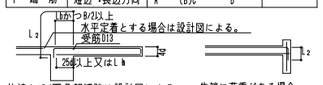


5－2 継手

継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。
( )はdx'ℓ0 4の長辺方向

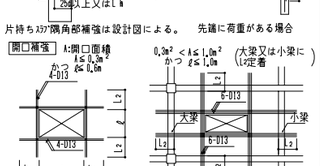
		標準継手位置	
上端筋	短辺方向	B	D
	長辺方向	A	B
下端筋	短辺・長辺方向	A (B)C	D

5－3 片持ちスラブ

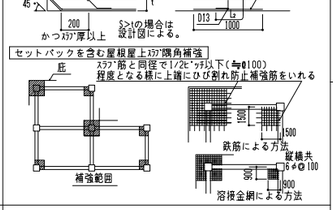


片持ちｽﾗﾌﾞ隅角部補強は設計図による。　先端に荷重がある場合

5－4 補強筋

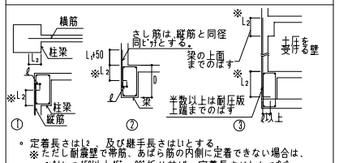


注)ｽﾗﾌﾞ筋を切断しない場合は補強筋を要しない。



§6 壁

6－1 定着及び継手

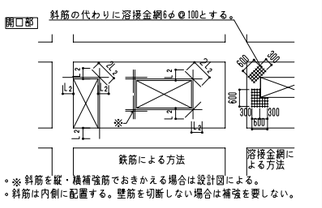


- 定着長さは①、②は継手長さはl1とする。
  ※ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、ℓ'≧4dかつ150以上45°～90°折り曲げ、定着長さはl1かつ40d以上とする。(通し配筋の場合は不要)
- 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は③図による。
- 継手位置はどの部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。

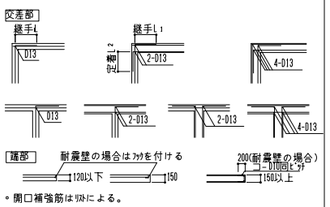
6－2 壁配筋

壁の配筋は設計図書による。
- ﾀﾞﾌﾞﾙ配筋では幅止め筋を縦横共D10@1000以内を標準とする。

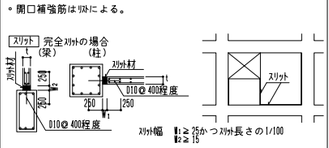
6－3 補強筋



- ※斜筋を縦・横補強筋でおきかえる場合は設計図による。
- 斜筋は内側に配置する。壁筋を切断しない場合は補強を要しない。

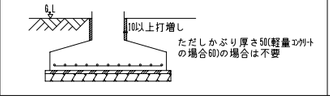


- 開口補強筋はﾌｯｸによる。

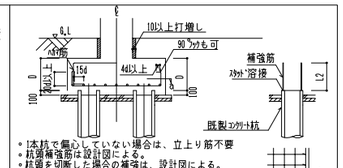


§7 基礎

7－1 独立基礎



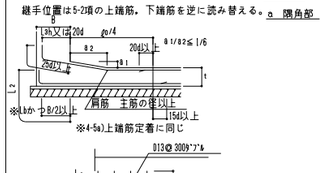
7－2 杭基礎



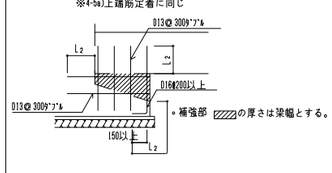
- *1本杭で偏心していない場合は、立上り筋不要
- 杭頭補強筋は設計図による。
- 杭頭を切断した場合の補強は、設計図による。

7－3 べた基礎継手及び定着

継手位置は5-2項の上端筋。下端筋を逆に読み替える。a 隅角部

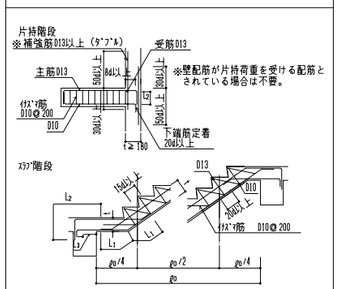


7－4 基礎と基礎梁

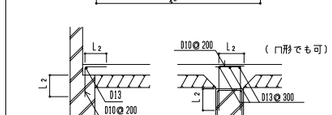


§8 その他

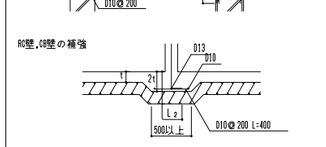
8－1 階段



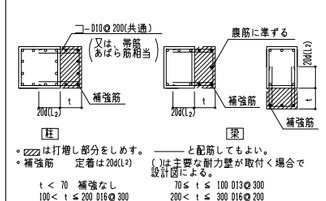
8－2 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ



RC壁，CB壁の補強



8－3 打増し補強

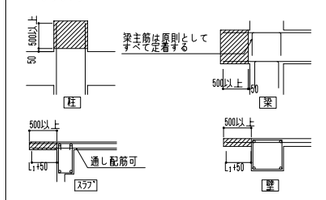


- ▨は打増し部分をしめす。　　と配筋してもよい。
- 補強筋　　定着は20d(L2)　　l1は主要な耐力壁が取付く場合設計図による。

t < 70　補強なし	70≦ t ≦ 100 D13@300
100< t ≦200 D16@300	200< t ≦ 300 D16@200
t > 300 設計図による	

原則として、構造図に記載された個所以外に打増ししてはならない。

8－4 増築予定



- ▨は、はつり部分を示す。
- 増築時の継手は、原則として柱,梁の主筋は溶接継手とする。(増築側の鉄筋は水平定着でもよい。)

特記事項

株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当
設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課				

製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図	縮尺 A1:NS A3:NS	図番 S-002

鉄骨工作標準図　　２０２４年度版

§1　一般事項

1－1 基本事項

1) 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
2) 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は、構造特記仕様書1-2-4,5に指定した共通仕様書及び標準仕様書による。
3) 製作精度等に関しては、JASS6の付則6「鉄骨精度検査基準」による。
4) 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてｍｍとする。

1－2 その他

§2　共通事項

2－1 略号

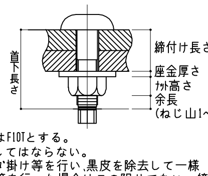
- ○ＡＢ —— ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ
- ○ＢＰＬ —— ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＤＦＰＬ —— ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ
- ○ＦＰＬ —— ﾌﾗﾝｼﾞﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＨＴＢ —— 高力ﾎﾞﾙﾄ
- ○ＳＰＬ —— ｽﾌﾟﾗｲｽﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＷＰＬ —— ｳｪﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＢＨ —— 組立てH形鋼
- ○ＣＨＰＬ —— ﾁｪｯｶｰﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＦＢ —— ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ
- ○ＧＰＬ —— ｶﾞｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＲＰＬ —— ﾘﾌﾞﾌﾟﾚｰﾄ
- ○ＴＢ —— ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ
- ○Ｗ1-9 —— 溶接記号(§4参照)

§3　ﾎﾞﾙﾄ接合

3－1 高力ボルト

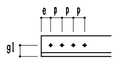
ﾎﾞﾙﾄの長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ F8T,F10T	S10T
M16	30	25
M20	35	30
M22	40	35
M24	45	40



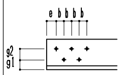
1, 特記以外はすべてS10T(ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ、上図)又はF10Tとする。
2, 本締めに使用するﾎﾞﾙﾄと、仮締めﾎﾞﾙﾄの兼用はしてはならない。
3, ﾎﾞﾙﾄの接合面の処理は、締付け摩擦面を平ｸﾞﾗｲﾝﾀﾞ掛け等を行い,黒皮を除去して一様に赤さびを自然発生させる。ただし、ｼｮｯﾄﾌﾞﾗｽﾄ等を行った場合はこの限りでない。締付けは1次締付け後、ﾏｰｷﾝｸﾞを入れてから本締めをする。
4, 亜鉛ﾒｯｷﾎﾞﾙﾄの場合は、すべてF8Tとする。

3－2 高力ボルトのピッチ



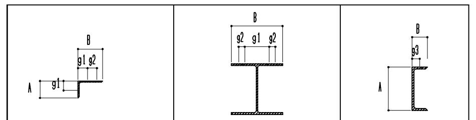
呼び径			M16	M20	M22	M24
孔径			18	22	24	26
ﾋﾟｯﾁ	標準	p	60	60	60	70
	最小		40	50	55	60
はしあき		e	40	40 (50)	40 (55)	45 (60)
最小縁端距離	せん断縁、手動ｶﾞｽ切断縁		28	34	38	44
	圧延縁、自動ｶﾞｽ切断縁等		22	26	28	32

( )内はﾎﾞﾙﾄが応力方向に3本以上並ばない場合を示す。



ｹﾞｰｼﾞ g2	千鳥打ちのﾋﾟｯﾁ b M16,20,22	M24
35	50	65
40	45	60
55	25	45

3－3 形鋼のゲージ

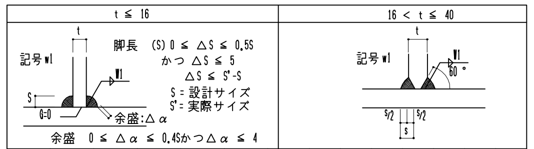


AorB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
** 50	30		16	** 100	60		16	** 50	30	16
60	35		16	125	75		16	65	35	20
65	35		20	150	90		22	70	40	20
70	40		20	175	105		22	75	40	22
75	40		22	200	120		24	80	45	22
80	45		22	250	150		24	90	50	24
90	50		24	* 300	150	40	24	100	55	24
100	55		24	350	140	70	24			
125	50	35	24	400	140	90	24			
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

* B = 300は千鳥打ちとする。
** 印の欄のg及び最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

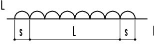
§4　溶接接合

4－1 隅肉溶接



t	6以下	9	12	14	16	t	19	22	25	28	32	36	40
s	t	7	9	10	12	s	11	13	15	17	19	21	24

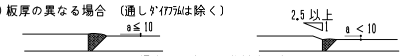
断続隅肉溶接の長さL



L≧10Sかつ40以上

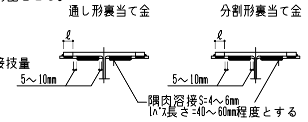
4－2 完全溶込み溶接（突合せ溶接）

1) 板厚の異なる場合　(通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑは除く)

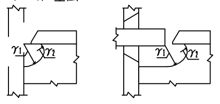


ｸﾚｰﾝｶﾞｰﾀﾞの場合は、全て2.5倍以上の勾配をとる。

2) ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ
両端に継手と同じ形状のｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを取り付ける。
ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞの長さ ℓ は25mm以上とする。
ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞを切断する場合溶接終了後母材より5～10mmはなして切断する。代替えﾀﾌﾞを採用する場合は溶接技量付加試験に合格した溶接工によること。
ｴﾝﾄﾞﾀﾌﾞ、裏当て金の組立て溶接は右図による。

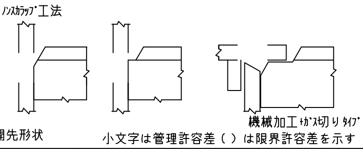


3) 開先加工　(下図は参考とする)
a) ｽｶﾗｯﾌﾟ工法



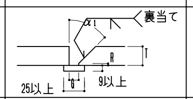
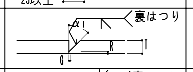
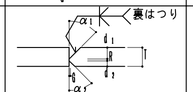
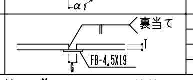
- ｽｶﾗｯﾌﾟの円弧の曲線は、ﾌﾗﾝｼﾞに滑らかに接するように加工する。γ1は35程度、γ2は10以上とする。なお複合円は滑らかに仕上げること。
- 完全溶込み溶接部以外のｽｶﾗｯﾌﾟはγ=25程度とする。

b) ﾉﾝｽｶﾗｯﾌﾟ工法



機械加工+ｶﾞｽ切りﾀｲﾌﾟ

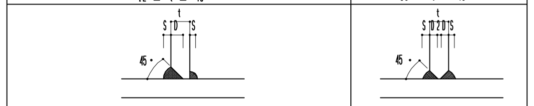
4) 開先形状　小文字は管理許容差（ ）は限界許容差を示す　※十分な品質管理を行う

記号	形状	適用板厚	寸法	ｱｰｸ手溶接	ｶﾞｽｼｰﾙﾄﾞ及びｾﾙﾌｼｰﾙﾄﾞｱｰｸ溶接
W2 MC-BL-1B GC-BL-1B		6～	G	9 +∞ −2 (+∞ −3)	7 +∞ −2 (+∞ −3)
			R	2 +1 −2 (+2 −2)	2 +1 −2 (+2 −2)
			α1	35° +∞ −2.5° (+∞ −5°)	35° +∞ −2.5° (+∞ −5°)
			G		7 +∞ −1 (+∞ −2)
			R		2 +2 −2
			α1		30° +∞ −1° (+∞ −2°)
W3 MC-BL-2 GC-BL-2		6～	G	0 +2.5 −2 (+4 −0)	0 +2 −0 (+3 −0)
			R	2 +2 −2 (+3 −2)	2 +2 −2 (+3 −2)
			α1	45° +∞ −2.5° (+∞ −5°)	45° +∞ −2.5° (+∞ −5°)
W4 MC-BK-2 GC-BK-2		16～	G	0 +2.5 −0 (+4 −0)	0 +2 −0 (+3 −0)
			d1	2/3(T-R)	2/3(T-R)
			R	2 +2 −2 (+3 −2)	2 +2 −2 (+3 −2)
			d2	1/3(T-R)	1/3(T-R)
			α1	45° +∞ −2.5° (+∞ −5°)	45° +∞ −2.5° (+∞ −5°)
			α2	60° +∞ −2.5° (+∞ −5°)	60° +∞ −2.5° (+∞ −5°)
W5 MC-B1-1B GC-B1-1B		3～6	G	T +∞ −2 (+∞ −3)	T +∞ −2 (+∞ −3)

MC —はｱｰｸ手溶接　GC — はｶﾞｽｼｰﾙﾄﾞｱｰｸ溶接 ｾﾙﾌｼｰﾙﾄﾞｱｰｸ溶接の記号を示す。

4－3 部分溶込み溶接

片面溶接 W6	両面溶接 W7
12 ≦ t ≦ 40	16 ≦ t ≦ 40



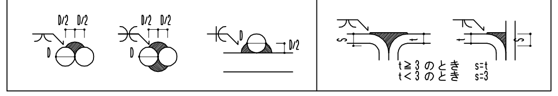
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

D = (t-2) / 2

t/4 ≦ S ≦ 10

4－4 フレア溶接

丸鋼等溶接 W8	軽量形鋼等溶接 W9

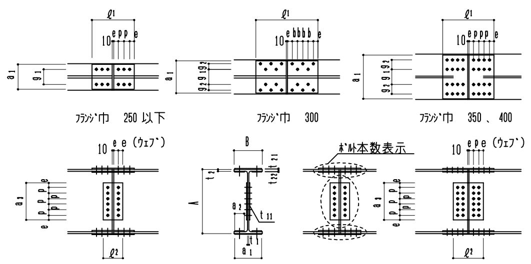


4－5 その他

加工工程中及び現場建方後においてもｱｰｸｽﾄﾗｲｸ、ｼｮｰﾄﾋﾞｰﾄﾞをしてはならない。

§5　継　手

5－1 継手リスト



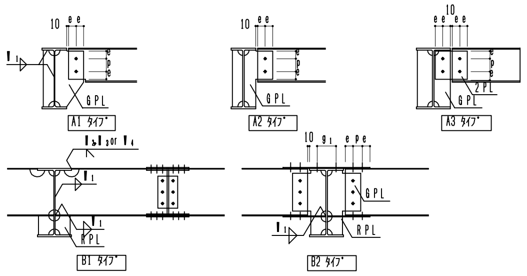
材種	主材	高力ボルト径	フランジ ボルト総本数	外側添板 2PL— t21 x a1 x ℓ1	内側添板 4PL— t22 x a2 x ℓ1	ウェブ ボルト総本数	添板 2PL— t11 x a3 x ℓ2	ピッチ
	H- A x B x t1 x t2 / BH- A x B x t1 x t2							
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	
	H- x x x			x x	x x		x x	

1, ﾌﾗﾝｼﾞPL面もしくはｳｪﾌﾞPL面で、段差1mmを超える場合は、ﾌｨﾗｰPLを入れて調整すること。
2, a は原則として梁成の2/3以上確保すること。

5－2 小梁仕口

ピン接合 Aタイプ

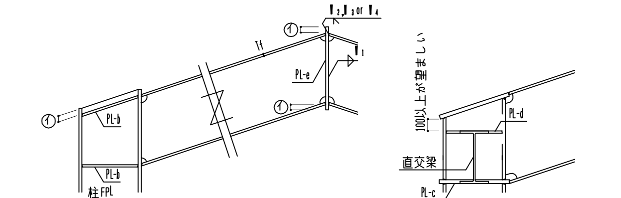
剛接合 Bタイプ



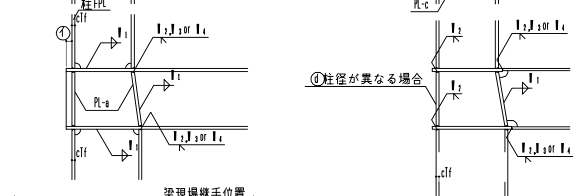
1, GPL, RPLは材種　版厚とも小梁のWPLと同等以上とする。
2, 継手ﾌﾟﾚｰﾄ及び高力ﾎﾞﾙﾄはﾘｽﾄによる。

§6　柱梁接合部及び継手

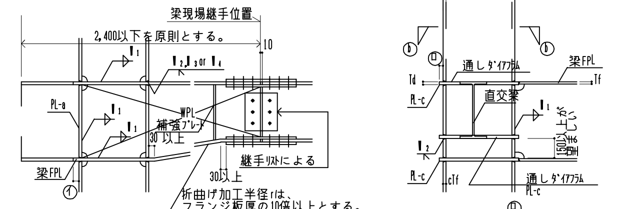
6－1 勾配屋根



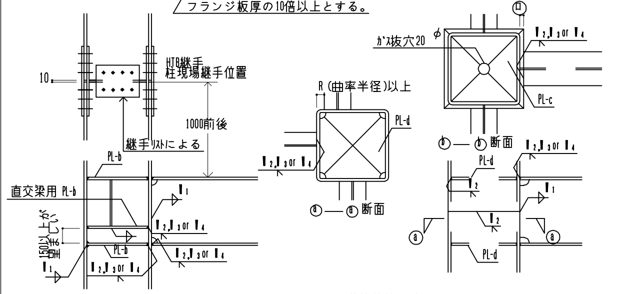
6－2 梁通し



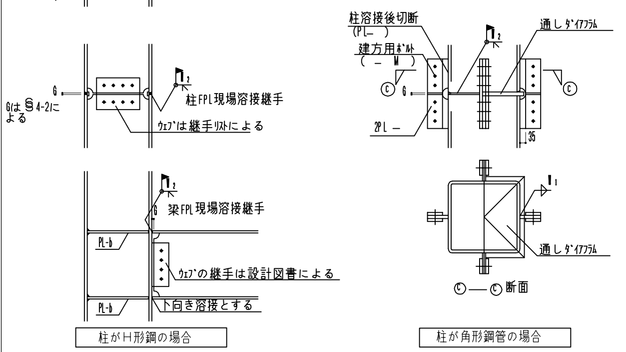
6－3 仕口と継手



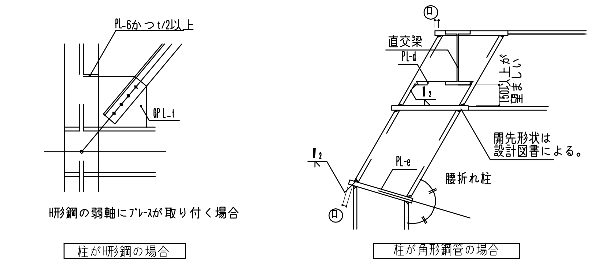
6－4 柱通し



6－5 現場溶接継手



6－6 その他



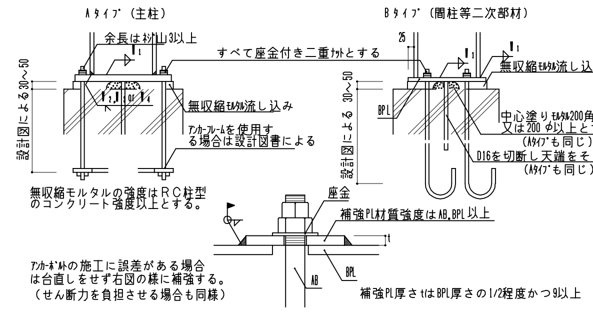
1) ﾊﾟﾈﾙｿﾞｰﾝのPLの厚さ
1. PL- a (鉛直ｽﾁﾌﾅ)　上下柱のFPLの厚い方より1ｻｲｽﾞUP以上
2. PL- b (水平ｽﾁﾌﾅ)　仕口部に集結する梁の最大FPLより1ｻｲｽﾞUP以上
3. PL- c (通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ)　仕口部に集結する梁の最大FPLより2ｻｲｽﾞUP以上かつ柱のFPL以上
4. PL- d (内ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ)　仕口部に集結する梁の最大FPLより1～2ｻｲｽﾞUP以上
5. PL- e (折れ曲がり部)　梁(柱)のFPLより1ｻｲｽﾞUP以上

2) 出寸法
ⓘ　25mmかつcTf以上
ⓡ　Td≦25 の場合　25
　　Td≧28 の場合　30

3) 注記
1, ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ﾗﾝｸ上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ﾗﾝｸ上質とする。
2, ⓓ(6-2項)上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階柱の厚い方、材質は上下階柱と同質以上とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
3, ﾊﾝﾁ部でFPLを折り曲げる場合はR≧10Tfとし補強ﾌﾟﾚｰﾄを入れる。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
4, ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑと梁ﾌﾗﾝｼﾞの溶接部は、梁ﾌﾗﾝｼﾞはﾀﾞｲｱﾌﾗﾑの厚みの内部で溶接すること。(告示1464)
5, 現場溶接を行なう場合は監督職員の承諾を得,養生に十分配慮して行なうこと。

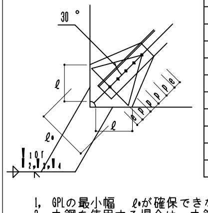
§7　柱脚

7－1 一般柱脚



§8　壁面ﾌﾞﾚｰｽ

8－1 ブレースリスト

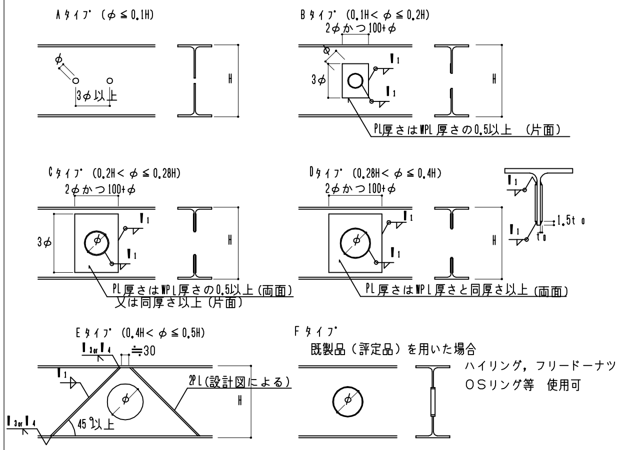


符号	部材	高力ﾎﾞﾙﾄ 径	本数	GPL t	ℓ0	溶接 脚長	Σℓ

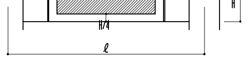
1, GPLの最小幅　ℓ0が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2, 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ共JIS規格適合品を使用する。
3, 床面ﾌﾞﾚｰｽは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

§9　その他

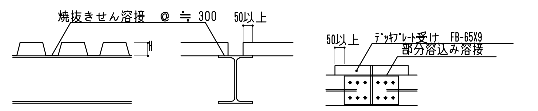
9－1 貫通補強



1, 既製品を用いた場合は評定内容による。
在来補強の場合、特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径(φ)は0.5H以下とし、そのﾋﾟｯﾁは3.0φ以上とする。
(これを満足できない場合は設計者の指示による。)
2, 貫通孔を設ける範囲は右図の ▨ 部分を原則とする。

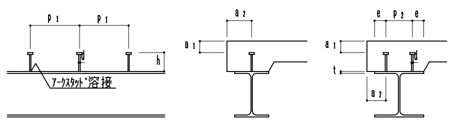


9－2 デッキプレート



○合成ｽﾗﾌﾞの場合はﾒｰｶｰ仕様による。

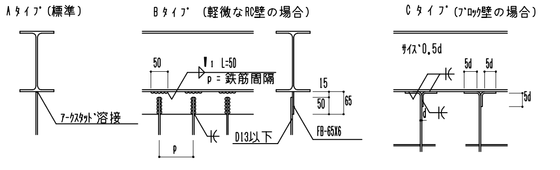
9－3 頭付きスタッド



h ≧ 4.0d
7.5d ≦ p1 ≦ 300
p2 ≧ 5.0d
a1 ≧ 40
a2 ≧ 100
e ≧ 40
d ≦ 2.5t

h，p1,p2 設計図書による

9－4 壁筋の溶接



特記事項	・
	・
	・
	・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者　佐藤　三谷

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
2025年1月	図面名称 鉄骨工作標準図　縮尺 A1：NS A3：NS	図番 S-003

建築工事設計・施工標準図
高強度せん断補強筋 エムケーフープ(785級)同等品

BCJ評定-RC0419-03

1. 一般事項

1-1 適用範囲

本指針は、建築物の鉄筋コンクリート造梁及び柱のせん断補強筋（溶接閉鎖形筋、フック付閉鎖形筋等）として、高強度せん断補強筋用異形棒鋼 MK785(以下、MK785と呼ぶ）を使用する場合の設計・施工に適用する。

1-2 コンクリート

コンクリートの種類は普通コンクリートとし、
設計基準強度の範囲は 21N/mm² 以上 60N/mm² 以下とする。

1-3 共通事項

本仕様書に記載なき事項についてはJASS5 (2018) によるものとする。

2. MK785フープの品質

2-1 区分、種類の記号及び認定番号は下記による

区　分	種類の記号	認定番号
高強度せん断補強筋用異形棒鋼	MK785	MSRB-0067

2-2 エムケーフープの化学成分(%)

種類の記号	C	Si	Mn	P	S	炭素当量
MK785	0.40 以下	0.35 以下	1.40 以下	0.035 以下	0.03 以下	0.65 以下

2-3 エムケーフープの形状・寸法、質量およびその許容差

呼び名	公称直径 (mm)	公称周長 (cm)	公称断面積 (cm²)	単位質量 (kg/m)	質量の許容差 (%)
MD10	9.53	3.0	0.7133	0.560	±6
MD13	12.7	4.0	1.267	0.995	±6
MD16	15.9	5.0	1.986	1.560	±5

2-4 エムケーフープの機械的性質

試験片の区分	降伏点 (N/mm²)	引張強さ (N/mm²)	伸び (%)	曲げ性	
				曲げ角度	内側直径
母材	785 以上	930 以上	8 以上	180°	3.0d
溶接を含んだ部分			5 以上	——	

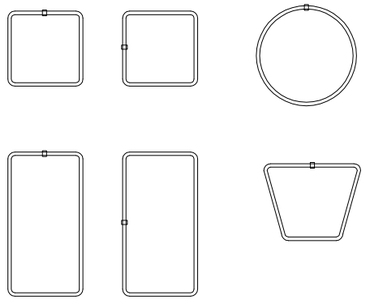
降伏点は、降伏点または0.2%耐力とする。
注）dは公称直径を示す

3. 加工

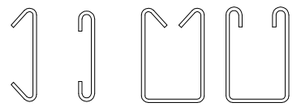
3-1 加工形状

せん断補強筋 MK785 の加工形状は、溶接閉鎖形帯筋及びあばら筋、135°フック付き閉鎖形帯筋及びあばら筋、キャプタイ付きU字形あばら筋、U字形副あばら筋、Ｉ字形の副帯筋及び副あばら筋とする。

① 基本加工形状（溶接閉鎖形）



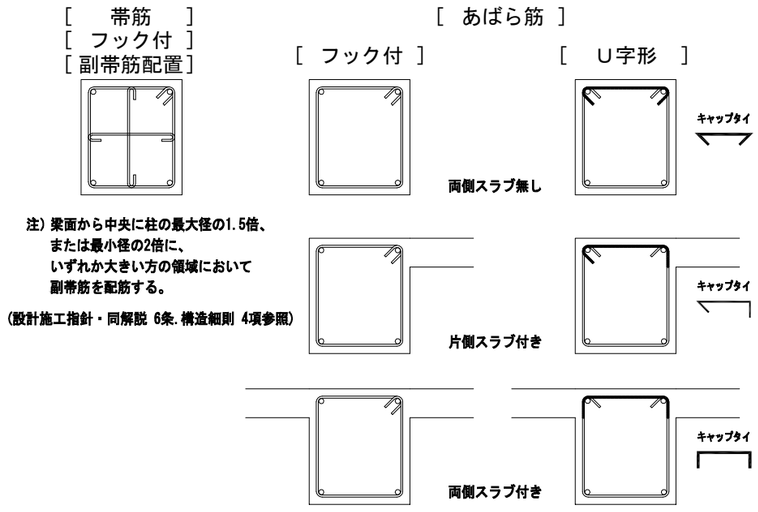
［溶接閉鎖形帯筋、あばら筋］



（Ｉ形）　（U形）

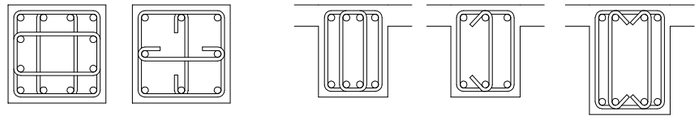
［フック付副帯筋、副あばら筋 ］

② 基本加工形状（フック付き閉鎖形）

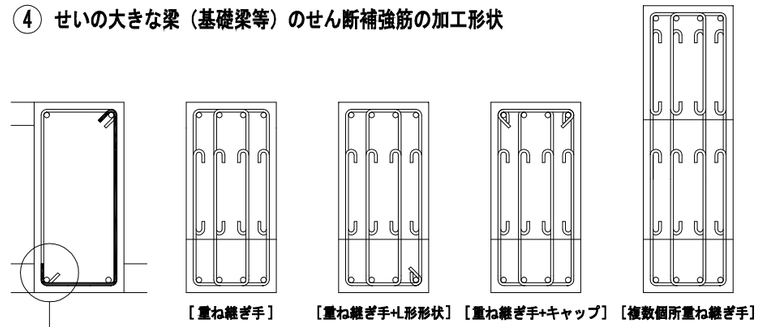


注）梁面から中央に柱の最大径の1.5倍、
または最小径の2倍に、
いずれか大きい方の領域において
副帯筋を配筋する。
（設計施工指針・同解説 6条.構造細則 4項参照）

③中子筋の加工形状

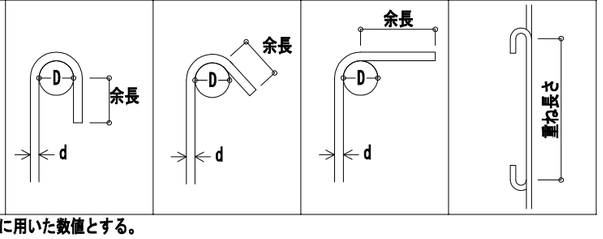


④ せいの大きな梁（基礎梁等）のせん断補強筋の加工形状



3-2 折曲げ部及び重ね継手の形状・寸法

せん断補強筋MK785の折曲げ部及び梁せいの大きな梁（基礎梁等）における重ね継手の形状・寸法は、下表によるものとし、冷間加工を原則とする。

種類の記号	MK785			
折曲げ角度	180°	135°	90°	180°
内側直径（D）	4d以上	4d以上	4d以上	4d以上
余　長	6d以上	6d以上	12d以上	6d以上
重ね長さ	——	——	——	表Ｉによる
図				

注）dは　呼び名に用いた数値とする。

表Ｉ　コンクリート強度と重ね長さ寸法

コンクリート Fc (N/mm²)	Fc ＜ 36	36 ≦ Fc ＜ 45	45 ≦ Fc
重ね長さ ℓ (mm)	50 d	45 d	40 d

4. その他

4-1　加工は下記のメーカーによる溶接加工とする。
（MK785によるA級継ぎ手認定企業）

- ・コーリョー建販㈱
- ・㈱小財スチール
- ・㈱小財昭和スチール
- ・近藤鋼材㈱
- ・昭和産業㈱
- ・北興昭和㈱
- ・宮城昭和産業㈱
- ・㈱ワイビーテクノ

4-2　溶接　エムケーフープは現場溶接を行ってはならない。
4-3　保管　エムケーフープは直接地面に接するように置かない。
4-4　清掃　エムケーフープは組み立てに先立ち、コンクリートの付着を妨害する汚れ、塵や土の付着が無いことを確認し、汚れが認められる場合は取り除くこと。

2023.09.22

特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 建築工事 高強度せん断補強筋設計・施工標準図
	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当		縮尺 A1：NS A3：NS
			当初・変更・完成
			図番 S-004

Hyper-MEGA工法(膨脹型)(ω=1.00)　設計・施工標準図

１．一般事項

１）本工事に採用する工法は「Hyper-MEGA工法」(認定番号：TACP-0530号,TACP-0531号,TACP-0532号）とする。

２）工事着手前に、工事概要・工程・使用する杭の明細・使用機械等を明記した施工計画書を作成し、監督員の承認を得る。

３）工事施工者および管理者は、日本コンクリート工業㈱もしくは日本コンクリート工業㈱が承認した施工会社とする。ただし、後者の場合でも地盤の許容支持力については、日本コンクリート工業㈱が責任を負う。

２．使用杭

１）杭の構造

使用する杭は下記のものとする。

①平成13年国土交通省告示第1113号8号第二号、第三号、第四号、第五号及び第六号の何れかに基づき ｺﾝｸﾘｰﾄの許容応力度が規定された既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭。

②建築基準法施行令第90条、平成12年国土交通省告示第2464号第1、第2に基づき鋼材の許容応力度が 規定された鋼管。

２）杭の構成

節杭(拡頭節杭,複合杭を含む)のみ、または節杭（拡頭節杭を含む）とこの上方に継いで使用するｽﾄﾚｰﾄ杭(拡頭杭を含む)により基礎杭を構成する。なお、下杭には必ず節杭(拡頭節杭を含む)を使用する。

３）杭径

①節杭(拡頭節杭を含む)の径は、以下のものとする。

節部径 φ1200～φ400

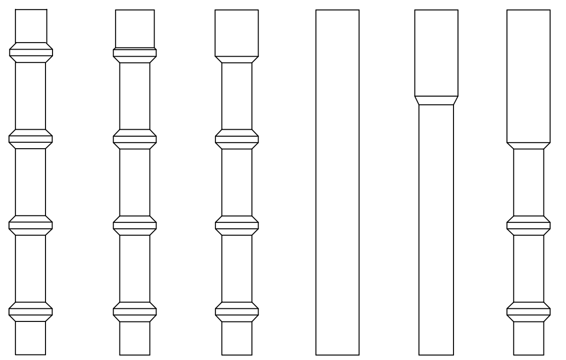
軸部径 φ1000～φ300

②ｽﾄﾚｰﾄ杭(拡頭杭を含む)の径は、以下のものとする。

杭径 φ298.4～φ1200

４)杭姿図

使用する杭の姿図の例を示す。



節杭　拡頭節杭（中間径ﾀｲﾌﾟ）　拡頭節杭（節部径ﾀｲﾌﾟ）　ｽﾄﾚｰﾄ杭　拡頭杭　複合節杭

５）最大施工深さ

最大施工深さは、先端地盤が砂質地盤の場合は杭施工地盤面－68.0m、先端地盤が礫質地盤の場合は杭施工地盤面－68.0m、先端地盤が粘土質地盤の場合は杭施工地盤面－60.0mとする。

３．試験杭

１）試験杭の位置および数量は、地盤調査・敷地状況・建築物の平面計画等を考慮し、設計者・監督員と協議して決定する。

２）試験杭は、本工事に先立ち、設計・施工計画の妥当性を確認するために実施する。

３）試験杭では、本工事と同一寸法の杭、本工事に使用予定の機械器具を用いることを原則とし、次の項目について確認する。

1.施工能率
2.地中障害の有無
3.使用機械の適否
4.高止まりの有無
5.逸水の有無
6.先端地盤の確認
7.拡翼の確認

４．施工方法

本工法の標準的な施工手順を下図に示し、その概要を以下に記述する。

①施工機据え付け・杭芯ｾｯﾄ
掘削芯を確認しつつ、適宜、掘削液を送りながら地盤に適した速度で所定の位置まで掘削する。

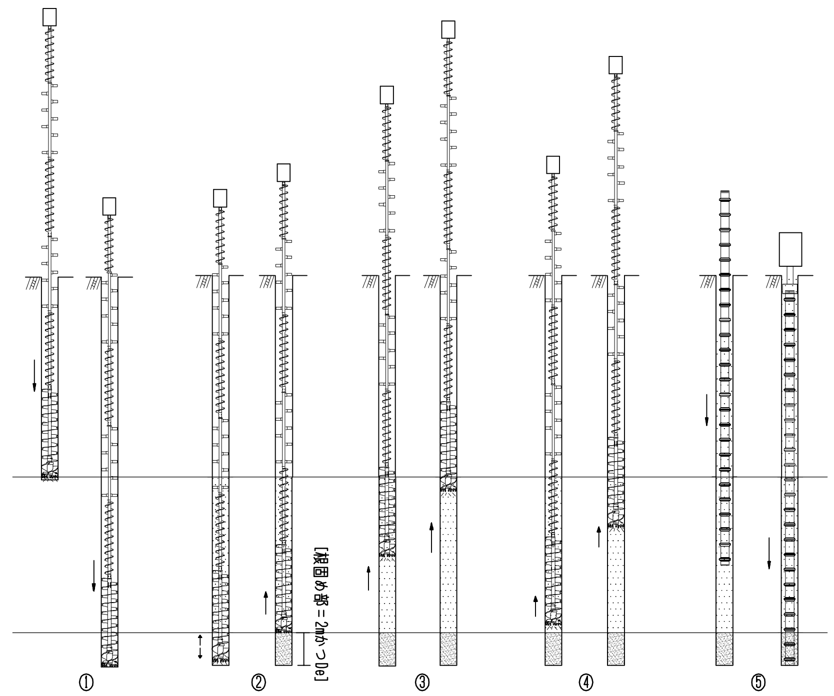
②根固め部築造
所定範囲にて根固め液を注入しながら、上下反復して根固め部を築造する。

③杭周充填液注入
根固め部築造後、膨張材を用いた杭周充填液を吐出しながら所定範囲の掘削土砂と攪拌混合する。

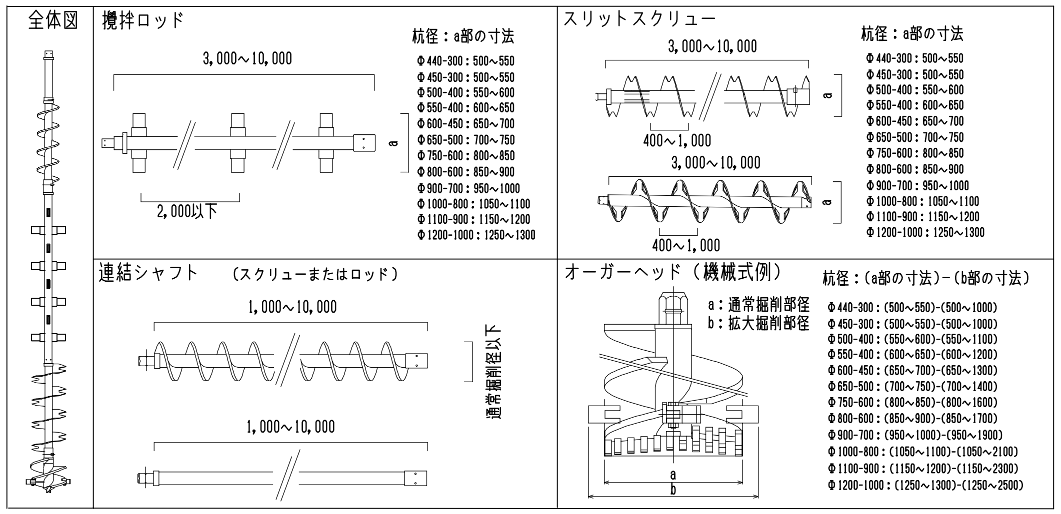
④引き上げ
杭周充填液の攪拌混合後、オーガーを引き上げる。

⑤杭の建て込み
鉛直性を確認しながら杭を建て込み、所定位置に定着させる。

※ 本工事は、ω＝1.00（拡大掘削を行わないストレート掘削）とする。



５．掘削装置の形状および寸法



（単位：ｍｍ）

６．充填材の配合と管理

１）材料

1.セメントは、普通ポルトランドセメント、早強セメントおよび混合セメントを用いる。

2.練り混ぜに使用する水は、上水道水またはセメント硬化に悪影響のない水とする。

２）杭周充填液（W/(C+K)＝85%以下・圧縮強さ：10N/mm²）

杭周充填液は、杭体と地盤とを一体化させる目的で注入する。

杭周充填液材料の基準量(対象土1m³あたり)を下表に示す。【普通ポルトランドセメント使用の場合】

膨張材種	水固化材比 W/(C+K)(%)	膨張材置換率 K/(C+K)(%)	セメント C(kg)	膨張材 K(kg)	水 W(%)	注入量 (m³)
無水石膏	85	6	269	17	243	0.334
二水石膏	85	8	261	23	241	0.334

３）根固め液

杭先端部に、先端支持力を確保するために拡大根固め部の体積量を注入し、杭先端平均N値（N）と拡大比（ω）に応じて、水セメント比は下記を標準とする

拡大比	水セメント比		
	N̄≦20	20＜N≦40	40＜N̄
1.0≦ω≦1.25	100%（10N/mm²）	85%（17N/mm²）	65%（22N/mm²）
1.25＜ω≦1.75	85%（17N/mm²）	60%（25N/mm²）	60%（25N/mm²）
1.75＜ω≦2.0	85%（17N/mm²）	60%（25N/mm²）	55%（30N/mm²）

*（　）内は、管理強度

４）強度の管理

管理試験は、充填液について下表により行う。

杭 の 種 別		回 数
試験杭		1本毎
本杭	継ぎ手のある場合	20本毎またはその端数につき1回
	継ぎ手のない場合	30本毎またはその端数につき1回

1.1回の試験の、供試体の数は杭周充填液および根固め液を各3個とする。
2.供試体は、(社)土木学会「コンクリート標準示方書（規準編）」のブリージング率および膨張率試験方法案(体積方法)によるポリエチレン袋を用いて、グラウトプラントより採取し、直径50mm・高さ100mm程度の円柱形に仕上げる。
3.強度試験は、JIS A 1108（コンクリートの圧縮試験方法）による。
4.充填液の圧縮強さは、材齢28日として管理する。(　上記３）根固め液 参照　)
5.杭周充填液および根固め液の密度測定を1日1回行う。

７．施工記録

1. 工事概要・組織
2. 実施工程表
3. 使用杭の仕様・諸元
4. 充填液の配合・使用量・試験結果
5. 使用機械器具
6. 試験杭施工記録
7. 本杭施工記録
8. その他必要事項

８．安全・公害対策

１）安全対策

1. 災害の種類

杭の施工に伴って発生する可能性のある労働災害には、杭打機の転倒・接触・挟まれ・巻き込まれ・衝突・飛来落下・墜落・感電等がある。

2. 災害の防止

a) 作業指揮者および作業者は、予め定めた手順に従って規律ある正しい作業を行い、安全活動には全面的・積極的に参加する。
b) 各種機械の運転者は、使用する機械器具の使用前点検を行い、損傷・変形・機能不具合等があれば修理・交換等必要な措置を講じ、その記録を残す。
c) 杭打機の組立・据え付け・解体は、予め定めた計画に基づき、作業指揮者の指揮のもとに行う。
d) 現場内の作業地盤は平坦にし、軟弱地盤の場合は転倒防止のためにサンドマット・敷き鉄板・地盤改良等で補強を行う。
e) 杭打機等機械器具の運転は専任の者によることとし、資格を要する作業は必ず有資格者が行う。
f) 鉄道・道路・高圧架線・電灯線・通信線・建築物・地下埋設物等既存のものに近接して作業を行う場合は、元請業者と打ち合わせを行い、関係者の立ち会いを求める等して事故防止につとめる。
g) 作業者または第３者の接触・挟まれ・転落落下をおこさないように、立入禁止措置または監視・誘導を充分に行う。
h) 現場での作業開始前に、作業員全員による打ち合わせ・確認を行い、作業者の配置(役割分担)を定め、元請業者への届け出を行う。

２）公害対策

本工法の施工に伴って発生する可能性のある公害は、騒音・振動・粉塵・地盤沈下・地下水汚染・泥土や泥水の場外流出による汚損・土砂の飛散等がある。これらが発生して、近隣環境や第３者に影響を及ぼすことのないよう充分に留意する。

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者　佐藤　三谷
課長　担当課長　係長　担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課

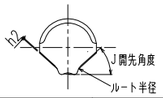
製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
2025年1月	図面名称 建築工事 Hyper-MEGA工法設計・施工標準図	縮尺 A1:NS A3:NS	図番 S-005

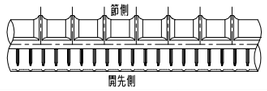
杭頭補強に関する設計・施工標準

最終修正2023年4月27日

1。使用材料　大臣認定の適用範囲：SC杭、鋼管杭および外殻鋼管場所打ちコンクリート杭の杭頭鋼管

開先付き異形棒鋼 NewJ-BAR
大臣認定品 WSD390 WD32J、WD35J、WD38J　MSRB-0118：節側に●2個マークあり
大臣認定品 WSD490 WD32J、WD35J、WD38J　MSRB-0120：節側に●3個マークあり
大臣認定品 WSD490 WD41J　※ MSRB-0129、MSRB-0119：節側に●3個マークあり
大臣認定品 WSD490 WD41J　MSRB-0108　：節側に●3個マークあり



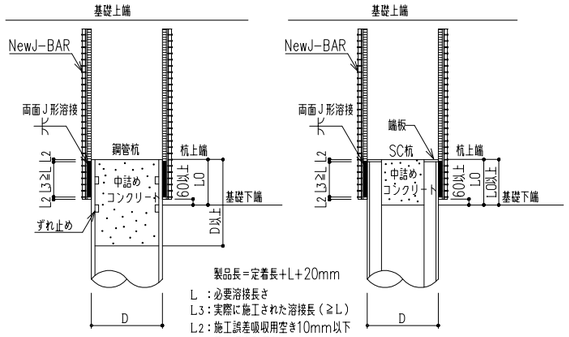


※MSRB-0129、MSRB-0119の場合上記2認定番号を併記願います。

呼び名	種類の記号	J開先角度	J開先ルート半径	J開先 凸部高さ（h2）
WD32J	WSD390（SD390相当）、WSD490（SD490相当）	42.5±2.5°	9.0±2.0	0.7±0.2
WD35J、WD38J	WSD390（SD390相当）、WSD490（SD490相当）	42.5±2.5°	9.0±2.0	0.8±0.2
WD41J	WSD490（SD490相当）	42.5±2.5°	9.0±2.0	0.9±0.2

中詰めコンクリート　基礎コンクリートと同じ設計基準強度

2。杭頭部の標準納まり



溶接継目	形式：部分溶込み溶接　開先形状：J形開先				
	NewJ-BAR ＼ 杭の鋼材材質		400N/mm²級	490N/mm²級以上	備考
鋼材材質に応じた杭鋼管等の適用板厚	WSD390	WD32J	8mm以上	6mm以上	
		WD35J	9mm以上	7mm以上	
		WD38J	10mm以上	8mm以上	
	WSD490	WD32J	8mm以上	8mm以上	
		WD35J	9mm以上		
		WD38J	10mm以上		
		WD41J	11mm以上	9mm以上	
杭頭の最小埋込み深さL0(mm)	WSD390	WD32J	220（210）	220（210）	溶接下端にエンドタブを付ける場合は（）内数値とすることができる。 なお、外殻鋼管場所打ちコンクリート杭もこれに準ずる。
		WD35J	240（230）	240（230）	
		WD38J	240（230）	240（230）	
	WSD490	WD32J	260（250）	230（220）	
		WD35J	280（270）	260（250）	
		WD38J	280（270）	260（250）	
		WD41J	300（290）	270（260）	
NewJ-BARの製品長（mm）	WSD390	WD32J	1280（35d）	1280（35d）	（）内は付着部を示す、長さは自在に設定できる、但し付着部は下記とする。 WSD390：35d以上 WSD490：42d以上 本表に示す製品長は定着長が標準の場合を示し、基礎コンクリートの設計基準強度に応じた長さの調整ができる。
		WD35J	1410（35d）	1410（35d）	
		WD38J	1510（35d）	1510（35d）	
	WSD490	WD32J	1550（42d）	1520（42d）	
		WD35J	1690（42d）	1670（42d）	
		WD38J	1820（42d）	1800（42d）	
		WD41J	1970（42d）	1940（42d）	

基礎コンクリート強度Fcに対するNewJ-BARの直線定着

標準定着長はWSD390ではFc21、WSD490ではFc24を用いてRC規準17条定着（17.2）式から計算した長さであるが、基礎コンクリート強度Fcがこれより大きい場合は下記表の数値を限界値として定着長を標準定着長より短くすることができる。但し余裕度の設定は設計者判断で行う。　下記表以外のFcに対しても同様に行うことができる。

＼	Fc21	Fc24	Fc27	Fc30	Fc33	Fc36	Fc39
WSD390	35d	33d	31d	30d	29d	28d	26d
WSD490	—	41d	39d	38d	36d	35d	33d

3。溶接方法、溶接材料及び溶接技能者

施工に関しては、指定評価機関に確認された施工要領書の抜粋であり、準拠願います。その内容よりも性能が上回る事項の場合は、設計者判断にて採用可能とします。

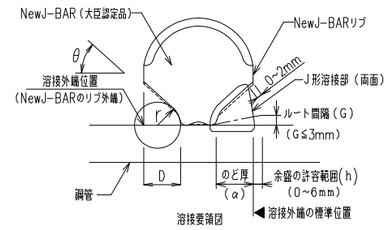
溶接材料は原則的に以下の表に示された規格以上のものの内、全姿勢の溶接に適する溶接材料を使用することし、適正な保管場所に吸湿しないように保管する。

		CO_2半自動溶接			被覆アーク溶接			
鋼管または鉄骨等の材質	鋼管または鉄骨等のF値	JIS Z 3312 軟鋼及び高張力鋼用マグ溶接ソリッドワイヤ	JIS Z 3313 軟鋼、高張力鋼及び低温用アーク溶接フラックス入りワイヤ注1	溶接技能者	鋼管または鉄骨等の材質	鋼管または鉄骨等のF値	JIS Z 3211 軟鋼、高張力鋼及び低温用鋼用被覆アーク溶接棒	溶接技能者
400	235	YGW11、YGW12	T49XT1-1CA-XXX T49JXT1-1CA-XXX	・JIS Z 3841に合格した有資格者とする。資格は、立向姿勢 SA（SN）-2V（2P） SA（SN）-3V（3P）以上とする。 または ・AW検定　現場溶接資格　Ⅲ類以上とする。	400	235	E4916	・JIS Z 3801に合格した有資格者とする。資格は、立向姿勢 A（N）-2V（2P） A（N）-3V（3P）以上とする。 または ・AW検定　現場溶接資格　Ⅲ類以上とする。
490	325				490	325		
520	355	YGW18	T55XT1-1CA-XXX		520	355	E5516	
540	375				540	375		
550	385				550	385		
570	400	G57A1UCXX、G57A1CXX	T59XT1-1CA-XXX T59JXT1-1CA-XXX		570	400	E5716	
590（SA440）	440	G59A1UCXX、G59JA1UCXX G59A1CXX、G59JA1CXX			590（SA440）	440	E5916	
注　記		（注1）JIS Z 3313：2009の規格について、Xは衝撃試験温度の記号、XXXは溶着金属の化学成分の記号であり、ここではいずれも指定はない。 （注2）WSD490にフラックス入りワイヤを使用する場合、拡散性水素量の規定値が5ml/100g以下のものを使用することが望ましい。			（注3）WSD490に被覆アーク溶接棒を使用する場合、拡散性水素量の規定値が5ml/100g以下のものを使用することが望ましい。			

4。溶接施工

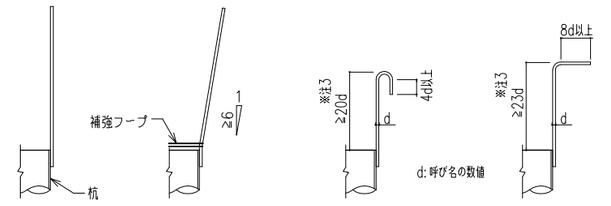
気象条件等	溶接周辺部が次のいずれかの場合は、溶接を行わない、また作業空間は、足場が堅固で十分な広さがあり、かつ溶接作業に支障をきたす鉄筋等がない状態とする。ただし、適切な防護措置（雨風対策、予熱など）を施し、監督者の了解を得た場合はこの限りではない。 1）雨天：小雨以上のとき、（降雪時を含む）は原則として溶接は行わない。また降雨・降雪後で溶接部の材片間に水分が残っている場合及び鋼板に結露が生ずる場合には、これらをガス炎などで除去し母材表面に水分が残っていないことを確認してから溶接を行う。 2）強風：被覆アーク溶接では風速10m/s以上のとき、CO_2半自動溶接では風速2m/s以上のときは、原則として溶接を行はない。 （「鉄骨工事技術指針・工場現場施工編」一般社団法人日本建築学会　推奨値） 3）低気温：気温が−5℃以下のときは原則として溶接を行わない。ただし、溶接部より100mmの範囲の母材部分を、40℃以上、かつ結露が十分防止する温度まで加熱して溶接する場合はこの限りではない。加熱方法及び鋼種、板厚に対する標準予熱温度に関しては、「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」一般社団法人日本建築学会に準ずる。
溶接施工管理者	溶接施工管理者は、溶接に関する十分な知識と経験を有し、本工事施工要領書および関連書類の内容を十分理解しているものとする。この溶接施工管理者は、本工事の溶接作業責任者とする。
溶接機器	1）CO_2半自動溶接では、電源部分のほかワイヤ送給装置、溶接ヘッドまたは溶接トーチ、シールドガス用の圧力調整器、制御装置などは、実際の作業に適した性能を有するものとする。 2）アーク溶接では、使用される溶接材料に対して十分な電気容量を持ち、適正な電流を供給できるものとする。
取付け位置のマーキング	1）NewJ-BARの配列設計または均等配置等の取り付け個所の確認 2）杭1本当たりの取付本数の確認
鋼管表面及び開先内の清掃	作業所にて、鋼管の溶接面をグラインダー等で清掃する。 1）溶接に悪影響を及ぼす、水分、スラグ、ごみ、さび、油、塗料、はがれやすいミルスケール、およびその他溶接に支障となるものを除去する。ただし、ワイヤブラシかけでも取れないミルスケールなどの薄層は、溶接に支障のないかぎりは除去しなくてもよい。 2）鋼管ソイルセメント杭に杭頭溶接補強筋を溶接する場合は、溶接部の鋼管外面の突起（鋼管成形溶接の余盛等）を溶接作業に支障ない程度（NewJ-BAR溶接部のルート間隔が3mm未満となるよう）に、あらかじめ削除する。
NewJ-BARのセッティング	組立溶接に際してNewJ-BARを左右の倒れに注意して鋼管にルート間隔G≦3mmになるように固定する。
スポット溶接	組立溶接に先立ち、位置決めを目的としてスポット溶接を行うことがある。スポット溶接を実施する場合には、スポット溶接後長時間放置しないでその上に組立溶接を重ねる。
組立溶接	組立溶接はショートビードにならないように溶接長が40mm以上になるように溶接する。組立溶接は、左右のねじれが無く鋼管に隙間無く固定させるため、杭に向かって左上、右下、左下、右上の順にたすき掛けで溶接する。
本溶接の層数など	CO_2半自動溶接：2層以上盛ることを原則とする。 被覆アーク溶接：初層3.2Φ、上層4Φで使い分けて、3~4層以上盛る。
5。検査	溶接の検査は、原則として外観目視検査とするが、特に監理者の指示のある場合は、その指示に従うこととする。検査で以下の点を確認し、不具合がある場合は補修を行う。検査の結果は施工要領書の「杭頭補強筋溶接施工検査チェックシート」に記録する。 1）のど厚寸法（h）：NewJ-BARリブ表面から0.0mm≦h≦6.0mm　直角スケール等を「溶接要領図」に示すNewJ-BARリブ表面に直角にあて、溶接部外端が内側になる場合は、のど厚不足であるため、スラグを取り除き溶着金属を補充する。 2）余盛寸法の誤差（h）：NewJ-BARリブ表面から0.0mm≦h≦6.0mm　余盛が過大である場合には、該当箇所をグラインダー等で削り、補修する。 3）溶接部およびその周辺のアンダーカット（e）：e≦0.5mm　規定値0.5mmを超えるアンダーカットは該当箇所をグラインダー等で削り、溶着金属を補修する。 4）ビードの不整、ピットおよびオーバーラップ　断面欠損を伴わない著しい不良（ビードの不整、ピット及びオーバーラップ）は、該当箇所をグラインダー等で削り、補修する。 ビードの不整の基準値：凸凹は溶接長またはビード幅25mmの範囲で4mm以下、ビード幅の不整は溶接長150mmの範囲で7mm以下 ピットの基準値：溶接長300mm当たり2箇所以下、ただしピットの大きさが1mm以下のものは、3個を1個として計算する。 オーバーラップの基準値：著しいものがあってはならない。 5）割れ：割れが発生している場合には、溶接部分を完全に削り取り、再溶接する。
6。NewJ-BARの配列	鉄筋の最小間隔は「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説（社）日本建築学会」等の規定（2.7d以上）とするが、溶接作業の施工性、基礎配筋などを考慮することによりそれ相応の間隔を確保する必要がある。一般的な溶接作業の施工性を考慮した最小芯々距離を例として示す。なお基礎梁主筋び柱主筋等と干渉しないためには十分な間隔の検討が必要となる。 配筋用参考値　WD32J：120mm以上、WD35J：125mm以上、WD38J：130mm以上、WD41J:135mm以上 溶接作業用最小値　WD32J：100mm、WD35J：105mm、WD38J：110mm、WD41J:120mm

本溶接



	NewJ-BAR ＼ 杭の鋼材材質		400N/mm²級	490N/mm²級以上
必要溶接長さ（L） 有効溶接長＋有効のど厚×2	WSD390	WD32J	140mm以上	140mm以上
		WD35J	160mm以上	160mm以上
		WD38J		
	WSD490	WD32J	180mm以上	150mm以上
		WD35J	200mm以上	180mm以上
		WD38J		
		WD41J	220mm以上	190mm以上
余盛（h） （余盛位置マークまで溶接）	NewJ-BARのリブ表面からの許容範囲（h） 0mm≦h≦6mm			
有効のど厚（α）	WD32J α=10mm WD35J α=10.5mm WD38J α=12.5mm WD41J α=13.0mm		開先深さ（D）	D≧α

7。NewJ-BARの定着形式



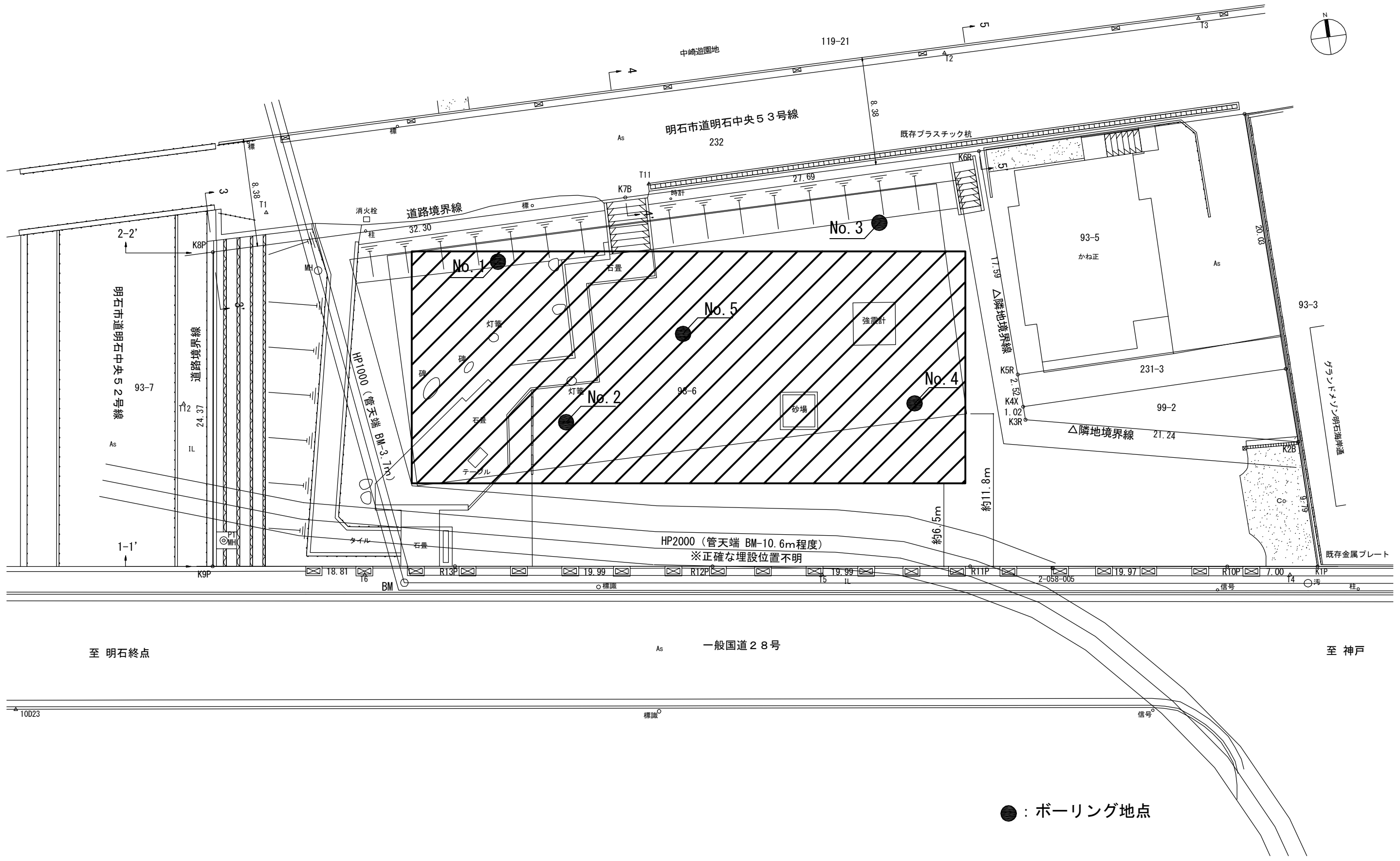
a）直線定着　b）杭頭折り曲げ　c）WSD390頭部フック　d）WSD490頭部90°フック

※注1 NewJ-BARの折り曲げ加工は原則としてNewJ-BAR溶接前に工場加工とする。
※注2 必要定着長さ及び標準フック仕様はRC規準またはJASS5鉄筋コンクリート工事等を参照。
※注3 上図フック付き投影定着長さはWSD390ではFc21、WSD490ではFc24を用いてRC規準17条定着（17.2）式から計算した限界値であり、柱と基礎梁との接合部形成のため余裕度の設定は設計者判断で行う。

特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷
明石市都市局住宅・建築室営繕課

課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
				2025年1月	新中崎分署建設工事	
					図面名称 New J-BAR設計・施工標準図	縮尺 A1：NS A3：NS
						図番 S-006



調査位置図

BM＝T.P. ±0m
設計GL＝BM＋3.60m

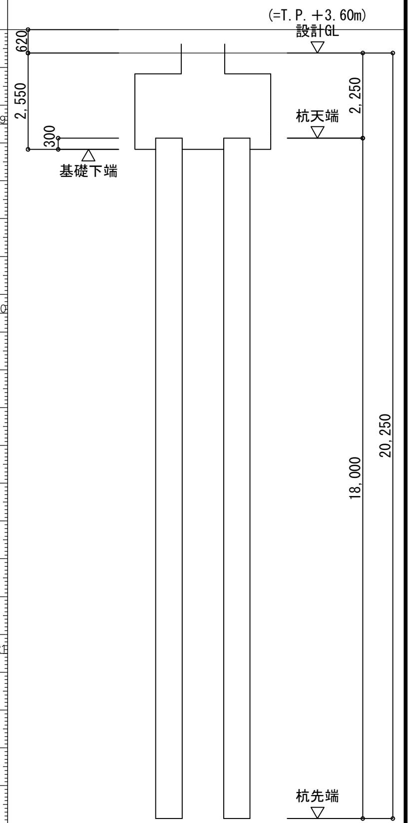
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　新中崎分署建設設計業務委託のうち土質調査
事業名または工事名
調査目的及び調査対象

ボーリング名	No. 1	調査位置	兵庫県明石市相生町１丁目93番6	北緯	34° 38′ 39.9″
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	令和05年09月19日～令和05年09月22日	東経	134° 59′ 51.7″
調査業者名	中央開発株式会社　関西支社 電話(06-6386-3605)	主任技師	末宗　克浩	現場代理人	古田　愛実
コア鑑定者	古田　愛実	ボーリング責任者	佐野　淳規		
孔口標高	T.P. 4.22 m	角度	上 180° / 下 0° / 90°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	24.40 m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		
使用機種	試錐機 DO-D	エンジン	TF90V-E	ポンプ	V5-P

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定年月日
0.42	3.80	盛土・礫混じり砂	暗茶灰	rd2～rd3		中～粗砂主体 φ2～80mmの円～亜角礫点在 若干シルト混入	9/20 3.80
−0.28	4.50	盛土・シルト質砂	暗灰	rd1		細～中砂主体 全体にシルト混入 腐植物混入	
−1.68	5.90	砂礫		rd4		φ2～40mmの亜円～角礫主体 砂は中～粗砂 逸水が見られる	
−3.48	7.70	砂		rd3		細～中砂主体 若干シルト混入	
−4.38	8.60	礫混じり砂		rd3		細～中砂主体 φ2～15mmの円～亜角礫点在 若干シルト混入	
−6.48	10.70	砂礫	灰茶褐	rd5		φ2～40mmの亜角礫主体 砂は中～粗砂 若干シルト混入 逸水が見られる	
−7.58	11.80	粘土質砂礫	茶褐	rd5		φ2～25mmの円～亜角礫主体 砂は極細砂 全体に粘土混入	
−8.38	12.60	シルト質砂		rd3		細砂主体 全体にシルト混入	
−10.78	15.00	粘土	暗青灰		rc5	粘性弱、含水小の均質な粘土 若干シルト混入	
−14.38	18.60	シルト質粘土	暗灰		rc4	粘性中、含水中のシルト質粘土 GL-15.8mからシルトと砂の薄層が見られる 一部有機物混入	
−14.88	19.10	シルト質砂				細～中砂主体 全体にシルト混入	
−17.98	22.20	砂	暗茶灰	rd5		細～中砂主体 若干シルト混入 22.00～22.20mに砂質シルト挟む	
−20.18	24.40	礫混じり砂	茶褐～茶灰	rd5		中～粗砂主体 φ2～20mmの亜角礫混入 若干シルト混入	

N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	試料番号	採取方法	削孔月日
5.0	1.15～1.45	1	2	2	5/300	P−1	P	
15.0	2.15～2.45	3	6	6	15/300	P−2	P	9/19
16.0	3.15～3.45	5	5	6	16/300	P−3	P	
2.0	4.15～4.45	1/150	1/150		2/300	P−4	P	
33.0	5.15～5.45	10	10	13	33/300	P−5	P	
18.0	6.15～6.45	6	3	9	18/300	P−6	P	
24.0	7.15～7.45	6	8	10	24/300	P−7	P	9/20
23.0	8.15～8.45	5	8	10	23/300	P−8	P	
180.0	9.15～9.25	60			60/100	P−9	P	
225.0	10.15～10.23	60/80			60/80	P−10	P	
120.0	11.15～11.30	35	25/50		60/150	P−11	P	
33.0	12.15～12.45	8	10	15	33/300	P−12	P	
39.0	13.15～13.45	11	13	15	39/300	P−13	P	
34.0	14.15～14.45	8	12	14	34/300	P−14	P	
29.0	15.15～15.45	7	10	12	29/300	P−15	P	
25.0	16.15～16.45	7	8	10	25/300	P−16	P	9/21
25.0	17.15～17.45	5	8	12	25/300	P−17	P	
22.0	18.15～18.45	5	8	9	22/300	P−18	P	
81.8	19.15～19.37	12	40	8/20	60/220	P−19	P	
72.0	20.15～20.40	20	22	18/50	60/250	P−20	P	
90.0	21.15～21.35	26	34		60/200	P−21	P	
81.8	22.15～22.37	12	26	22/20	60/220	P−22	P	
81.8	23.15～23.37	22	30	8/20	60/220	P−23	P	
72.0	24.15～24.40	17	22	21/50	60/250	P−24	P	9/22



特記事項	•
	•
	•
	•

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当
明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
2025年1月	図面名称 土質柱状図（1）	縮尺 A1：NS A3：NS	図番 S-007

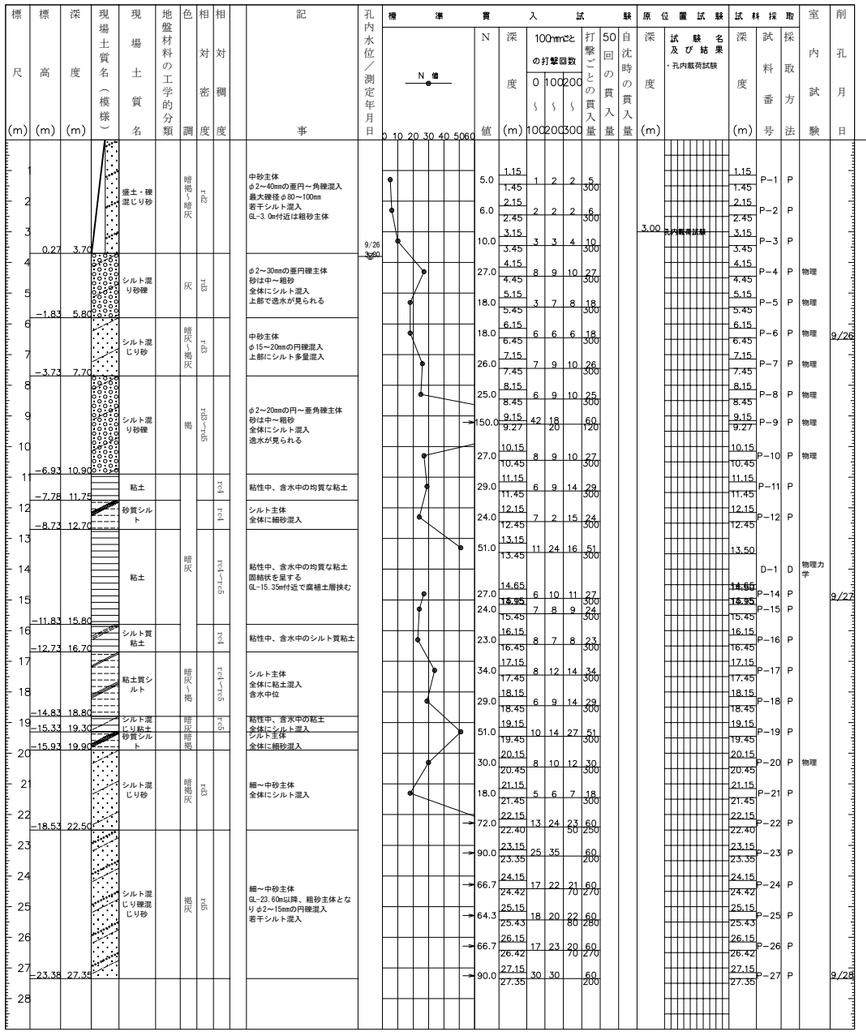
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　新中崎分署建設設計業務委託のうち土質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.2	調査位置	兵庫県明石市相生町１丁目93番6			北緯	34° 38′ 39.5″
発注機関	株式会社あい設計			調査期間	令和05年09月26日～令和05年09月28日	東経	134° 59′ 51.9″
調査業者名	中央開発株式会社　関西支社 電話(06-6386-3605)	主任技師	末宗　克浩	現場代理人	古田　愛実	コア鑑定者	古田　愛実
						ボーリング責任者	佐野　淳規
孔口機高	T.P. 3.97 m	角度	180°, 90°, 0°	方位	北 0°, 西 270°, 東 90°, 南 180°	地盤勾配	北 0°, 東 90°, 南 180°, 西 270°
総削孔長	27.35 m					使用機種	試錐機 D0-D
							エンジン TF90V-E　ポンプ V5-P



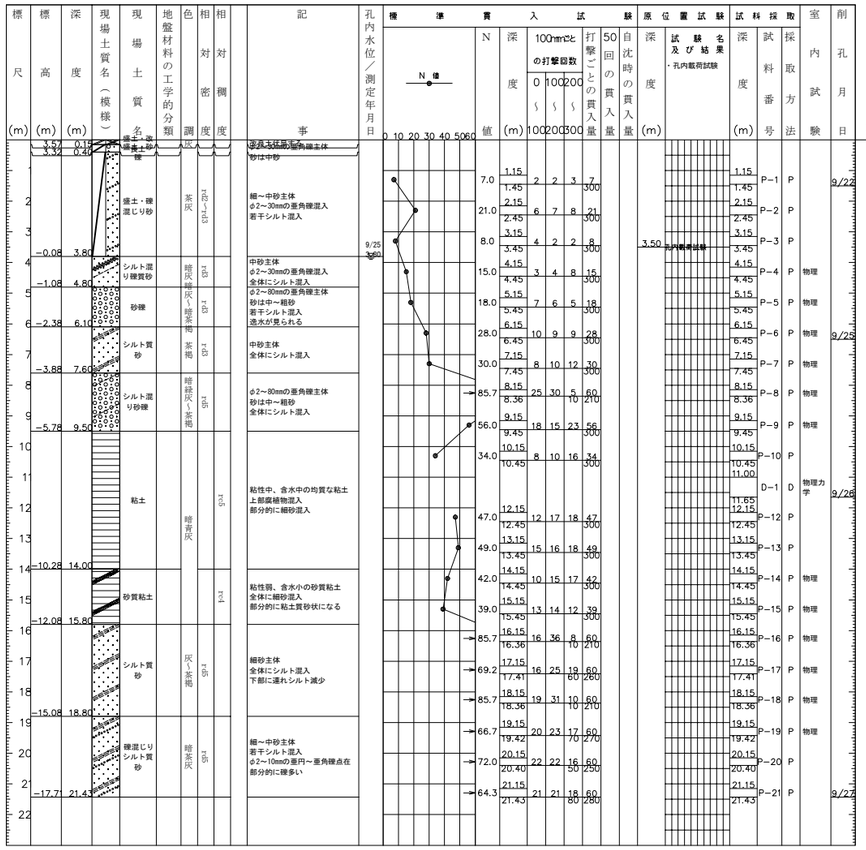
土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　新中崎分署建設設計業務委託のうち土質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.3	調査位置	兵庫県明石市相生町１丁目93番6			北緯	34° 38′ 39.7″
発注機関	株式会社あい設計			調査期間	令和05年09月22日～令和05年09月27日	東経	134° 59′ 52.9″
調査業者名	中央開発株式会社　関西支社 電話(06-6386-3605)	主任技師	末宗　克浩	現場代理人	古田　愛実	コア鑑定者	古田　愛実
						ボーリング責任者	内野　和馬
孔口機高	T.P. 3.72 m	角度	180°, 90°, 0°	方位	北 0°, 西 270°, 東 90°, 南 180°	地盤勾配	北 0°, 東 90°, 南 180°, 西 270°
総削孔長	21.43 m					使用機種	試錐機 D0-D
							エンジン TF120V-E　ポンプ BG-30L



特記事項	・
	・
	・
	・

株式会社あい設計
株式会社　あい設計　大阪支社
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士　一級建築士 第354634号　三谷 学
設計者　佐藤　三谷

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日　2025年1月

工事名称　新中崎分署建設工事

図面名称　土質柱状図（２）

縮尺　A1：NS　A3：NS

当初・変更・完成

図番　S-008

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　新中崎分署建設設計業務委託のうち土質調査

事業名または工事名

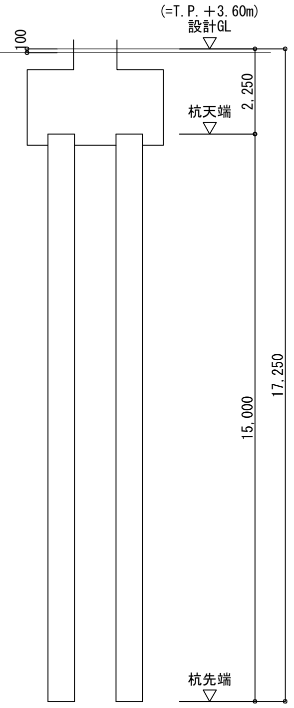
調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.4	調査位置	兵庫県明石市相生町１丁目93番6	北緯	34° 38′ 39.3″
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	令和05年09月29日～令和05年10月03日	東経	134° 59′ 52.9″
調査業者名	中央開発株式会社　関西支社　電話(06-6386-3605)	主任技師	末宗　克浩	現場代理人	古田　愛実
コア鑑定者	古田　愛実	ボーリング責任者	内野　和馬		
孔口標高	T.P. 3.50 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北0° 東90° 南180° 西270°
総削孔長	21.43 m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	試錐機	DO-D
使用機種 エンジン	TF120V-E	ポンプ	BG-3CL		

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事
2.50	1.00	盛土・砂礫	灰			φ2～20mmの礫主体 砂は細～粗砂
-0.50	4.00	盛土・玉石混じり礫混じりシルト質砂	暗茶灰	rd2～rd5		φ2～10mmの亜角礫 細～中砂主体 全体にシルト混入 GL-2.5～4.0mでコンクリート片混入
-2.60	6.10	砂礫	暗灰～黄褐	rd3		φ2～40mmの亜角礫 細～中砂主体 若干シルト混入 逸水が見られる
-4.10	7.60	シルト質砂	暗灰	rd3～rd4		細～中砂主体 全体にシルト混入
-6.20	9.70	砂礫	暗緑灰～茶褐	rd5		φ2～60mmの亜角礫 中～粗砂主体 若干シルト混入
-7.50	11.00	シルト混じり粘土	暗灰～暗茶灰		rc4	粘性中、含水中の不均質なシルト混じり粘土 全体にシルト混入
-9.50	13.00	粘土	暗青灰		rc5	粘性中、含水中の均質な粘土 一部有機物混入
-12.50	16.00	砂質粘土	暗灰～暗茶灰～灰		rc5	粘性弱、含水小～中の不均質な砂質粘土 全体に細砂混入
-16.10	19.60	シルト混じり砂	暗灰	rd5		細砂主体 全体にシルト混入し、部分的に多くなる GL-16.0m上部でシルト多く砂質シルト状になる
-17.93	21.43	シルト混じり礫混じり砂	暗灰	rd5		細～中砂主体 全体にシルト混入 部分的にφ2～15mmの亜角礫点在

孔内水位／測定年月日：9/29 3.80

N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃回数/貫入量	試料番号	採取方法	削孔月日
5.0	1.15～1.45	2	1	2	5/300	P-1	P	
12.0	2.15～2.45	3	4	5	12/300	P-2	P	
60.0	3.15～3.15	60/0			60/0			
21.0	4.15～4.45	6	7	8	21/300	P-4	P	
30.0	5.15～5.45	10	8	12	30/300	P-5	P	9/29
24.0	6.15～6.45	10	8	6	24/300	P-6	P	
31.0	7.15～7.45	9	10	12	31/300	P-7	P	
100.0	8.15～8.33	28	32/80		60/180	P-8	P	
64.3	9.15～9.43	25	20	15/80	60/280	P-9	P	
28.0	10.15～10.45	8	9	11	28/300	P-10	P	
40.0	11.15～11.45	10	15	15	40/300	P-11	P	
41.0	12.15～12.45	12	14	15	41/300	P-12	P	
33.0	13.15～13.45	10	10	13	33/300	P-13	P	
36.0	14.15～14.45	11	12	13	36/300	P-14	P	
44.0	15.15～15.45	12	14	18	44/300	P-15	P	
72.0	16.15～16.40	10	24	26/50	60/250	P-16	P	10/2
81.8	17.15～17.37	21	28	11/20	60/220	P-17	P	
85.7	18.15～18.36	26	29	5/10	60/210	P-18	P	
78.3	19.15～19.38	19	26	15/30	60/230	P-19	P	
69.2	20.15～20.41	20	20	20/60	60/260	P-20	P	
64.3	21.15～21.43	19	22	19/80	60/280	P-21	P	10/3



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　新中崎分署建設設計業務委託のうち土質調査

事業名または工事名

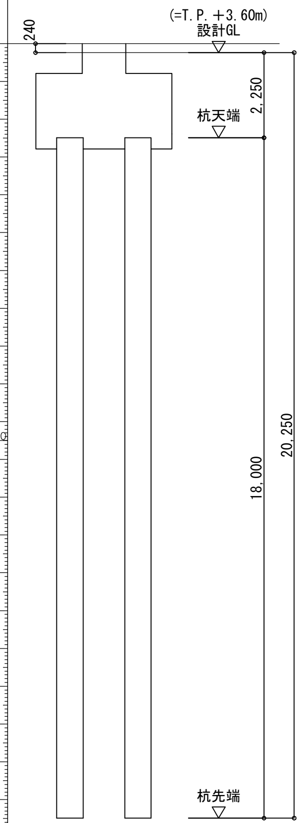
調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.5	調査位置	兵庫県明石市相生町１丁目93番6	北緯	34° 38′ 39.6″
発注機関	株式会社あい設計	調査期間	令和05年09月19日～令和05年09月21日	東経	134° 59′ 52.1″
調査業者名	中央開発株式会社　関西支社　電話(06-6386-3605)	主任技師	末宗　克浩	現場代理人	古田　愛実
コア鑑定者	古田　愛実	ボーリング責任者	内野　和馬		
孔口標高	T.P. 3.84 m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北0° 東90° 南180° 西270°
総削孔長	24.50 m	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	試錐機	DO-D
使用機種 エンジン	TF120V-E	ポンプ	BG-3CL		

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事
3.44	0.40	盛土・砂				中～粗砂主体
3.24	0.60	盛土・改良土				改良土状呈する
0.04	3.80	盛土・礫混じり砂	暗灰	rd2		細～粗砂主体 φ2～20mmの亜角礫点在 若干シルト混入
-0.76	4.60	粘土質砂礫	暗灰	rd1		φ2～30mmの亜円礫 砂は中～粗砂 全体に粘土混入
-1.66	5.50	砂礫	黄褐	rd4		φ2～80mmの亜角礫 細～中砂主体 逸水が見られる
-3.46	7.30	砂	黄褐	rd3		中砂主体 若干シルト混入 φ2～10mmの亜角礫点在
-3.86	7.70	シルト混じり砂	暗灰			細砂主体 全体にシルト混入
-5.56	9.40	砂礫	暗青灰～暗茶褐	rd4～rd5		φ2～50mmの亜角礫主体 砂は中～粗砂 若干シルト混入
-6.66	10.50	シルト混じり粘土	暗青灰～茶褐		rc5	粘性中、含水中のシルト混じり粘土
-7.86	11.70	シルト質砂	暗灰	rd4		細砂主体 全体にシルト混入
-12.66	16.50	粘土	暗灰～暗青灰		rc5	粘性弱、含水小の均質な粘土 部分的に腐植物混入 部分的にシルト混入
-15.41	19.25	砂混じりシルト	暗灰～暗茶褐		rc5	シルト主体 極細砂混入
-20.66	24.50	礫混じり砂	黄褐	rd5		中砂主体 若干シルト混入 φ2～6mmの亜角礫点在 GL-24m付近から細砂主体

孔内水位／測定年月日：9/20 3.80

N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃回数/貫入量	試料番号	採取方法	削孔月日
8.0	1.15～1.45	3	2	3	8/300	P-1	P	
6.0	2.15～2.45	3	2	1	6/300	P-2	P	
7.0	3.15～3.45	3	3	1	7/300	P-3	P	
3.0	4.15～4.45	1	1	1	3/300	P-4	P	
48.0	5.15～5.45	18	16	14	48/300	P-5	P	
21.0	6.15～6.45	8	8	5	21/300	P-6	P	
28.0	7.15～7.45	10	9	9	28/300	P-7	P	
46.0	8.15～8.45	15	13	18	46/300	P-8	P	
120.0	9.15～9.30	32	28/50		60/150	P-9	P	
43.0	10.15～10.45	12	13	18	43/300	P-10	P	9/20
37.0	11.15～11.45	9	15	13	37/300	P-11	P	
32.0	12.15～12.45	10	11	11	32/300	P-12	P	
34.0	13.15～13.45	11	11	12	34/300	P-13	P	
26.0	14.15～14.45	7	9	10	26/300	P-14	P	
31.0	15.15～15.45	7	9	15	31/300	P-15	P	
23.0	16.15～16.45	7	8	8	23/300	P-16	P	
40.0	17.15～17.45	7	15	18	40/300	P-17	P	
29.0	18.15～18.45	6	10	13	29/300	P-18	P	
60.0	19.15～19.45	12	23	25	60/300	P-19	P	
81.8	20.15～20.37	19	29	12/20	60/220	P-20	P	
75.0	21.15～21.39	21	25	14/40	60/240	P-21	P	
64.3	22.15～22.43	14	20	26/80	60/280	P-22	P	
60.0	23.15～23.45	23	25	12	60/300	P-23	P	
51.0	24.15～24.45	12	15	24	51/300	P-24	P	9/21



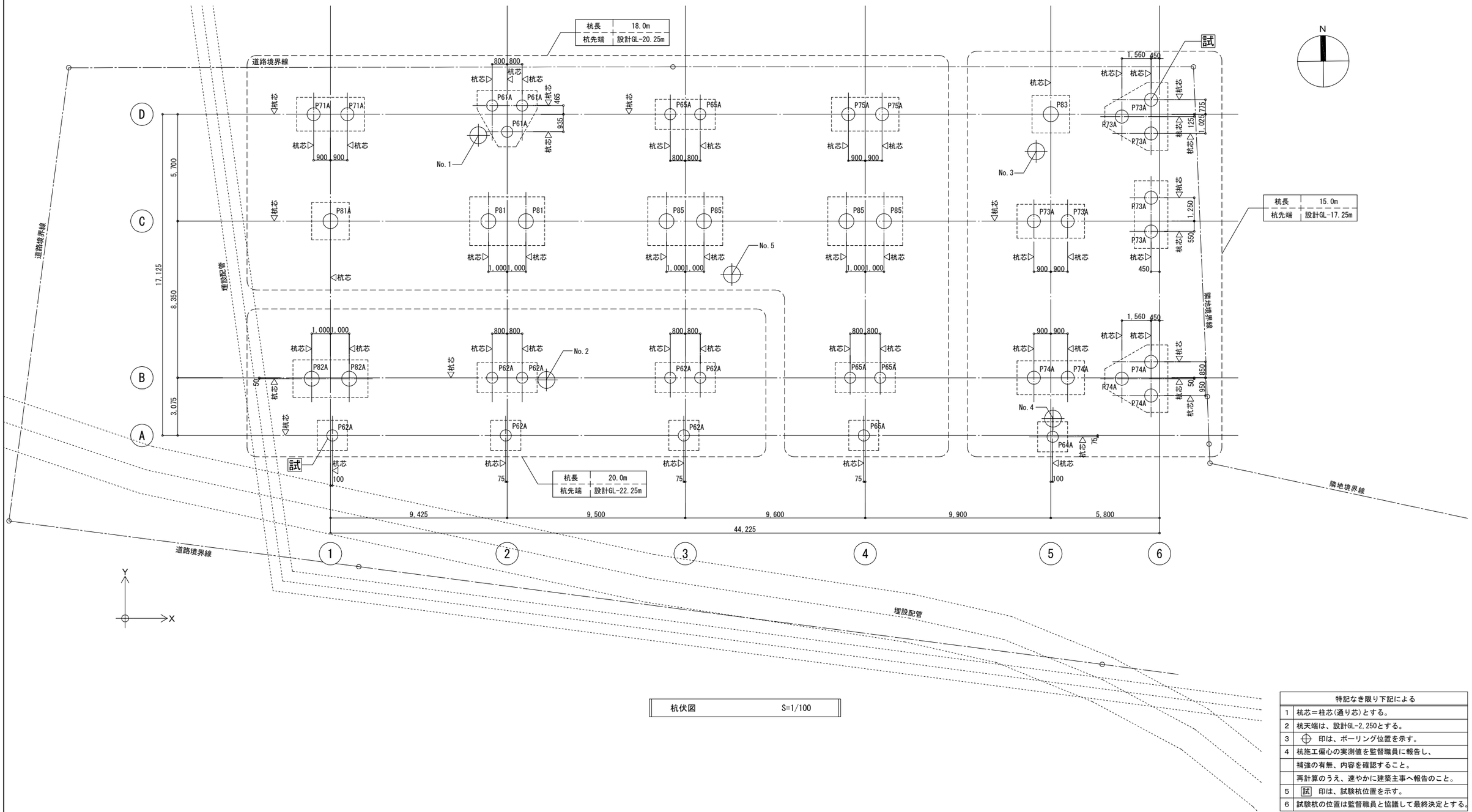
特記事項	・	株式会社あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社　一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号　TEL 06-6366-0241	課長／担当課長／係長／担当	製作年月日 2025年1月
	・	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者（佐藤）（三谷）	明石市都市局住宅・建築室営繕課	工事名称 新中崎分署建設工事
	・			図面名称 土質柱状図（３）　縮尺 A1:NS A3:NS
	・			当初・変更・完成　図番 S-009

杭リスト

杭工法:Hyper-MEGA工法（膨張型）（大臣認定番号：TACP-0532）
杭JOINT:T.P JOINT(BCJ評定-FD 0183-08)

杭符号	杭径	杭全長	杭種(上杭)	杭種（下杭）	杭頭レベル	杭先端レベル	本数	長期許容支持力	備考
P61A,P65A	600-6080	18m	φ600-Hi-SC105t12 8.0m	φ6080-600-HF-ONA105-C 10.0m	設計GL-2.25m	設計GL-20.25m	8	Ra=2,800kN	引張対応金具を使用
P71A,P75A	700-7090	18m	φ700-Hi-SC105t14 8.0m	φ7090-700-HF-ONA105-C 10.0m	設計GL-2.25m	設計GL-20.25m	4	Ra=3,700kN	引張対応金具を使用
P81,P85	800-80100	18m	φ800-Hi-SC105t12 8.0m	φ80100-800-HF-ONA105-C 10.0m	設計GL-2.25m	設計GL-20.25m	6	Ra=4,700kN	
P81A	800-80100	18m	φ800-Hi-SC105t12 8.0m	φ80100-800-HF-ONA105-C 10.0m	設計GL-2.25m	設計GL-20.25m	1	Ra=4,700kN	引張対応金具を使用
P62A	600-6080	20m	φ600-Hi-SC105t12 8.0m	φ6080-600-HF-ONA105-C 12.0m	設計GL-2.25m	設計GL-22.25m	7	Ra=2,800kN	引張対応金具を使用

杭符号	杭径	杭全長	杭種(上杭)	杭種（下杭）	杭頭レベル	杭先端レベル	本数	長期許容支持力	備考
P82A	800-80100	20m	φ800-Hi-SC105t12 8.0m	φ80100-800-HF-ONA105-C 12.0m	設計GL-2.25m	設計GL-22.25m	2	Ra=4,700kN	引張対応金具を使用
P73A	700-7090	15m	φ700-Hi-SC105t14 6.0m	φ7090-700-HF-ONA105-C 9.0m	設計GL-2.25m	設計GL-17.25m	7	Ra=3,700kN	引張対応金具を使用
P83	800-80100	15m	φ800-Hi-SC105t12 6.0m	φ80100-800-HF-ONA105-C 9.0m	設計GL-2.25m	設計GL-17.25m	1	Ra=4,700kN	
P64A	600-6080	15m	φ600-Hi-SC105t12 6.0m	φ6080-600-HF-ONA105-C 9.0m	設計GL-2.25m	設計GL-17.25m	1	Ra=2,800kN	引張対応金具を使用
P74A	700-7090	15m	φ700-Hi-SC105t14 6.0m	φ7090-700-HF-ONA105-C 9.0m	設計GL-2.25m	設計GL-17.25m	5	Ra=3,700kN	引張対応金具を使用
						合計	42		



杭伏図 S=1/100

特記なき限り下記による	
1	杭芯＝柱芯(通り芯)とする。
2	杭天端は、設計GL-2,250とする。
3	⊕ 印は、ボーリング位置を示す。
4	杭施工偏心の実測値を監督職員に報告し、
	補強の有無、内容を確認すること。
	再計算のうえ、速やかに建築主事へ報告のこと。
5	試 印は、試験杭位置を示す。
6	試験杭の位置は監督職員と協議して最終決定とする。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当責任者 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

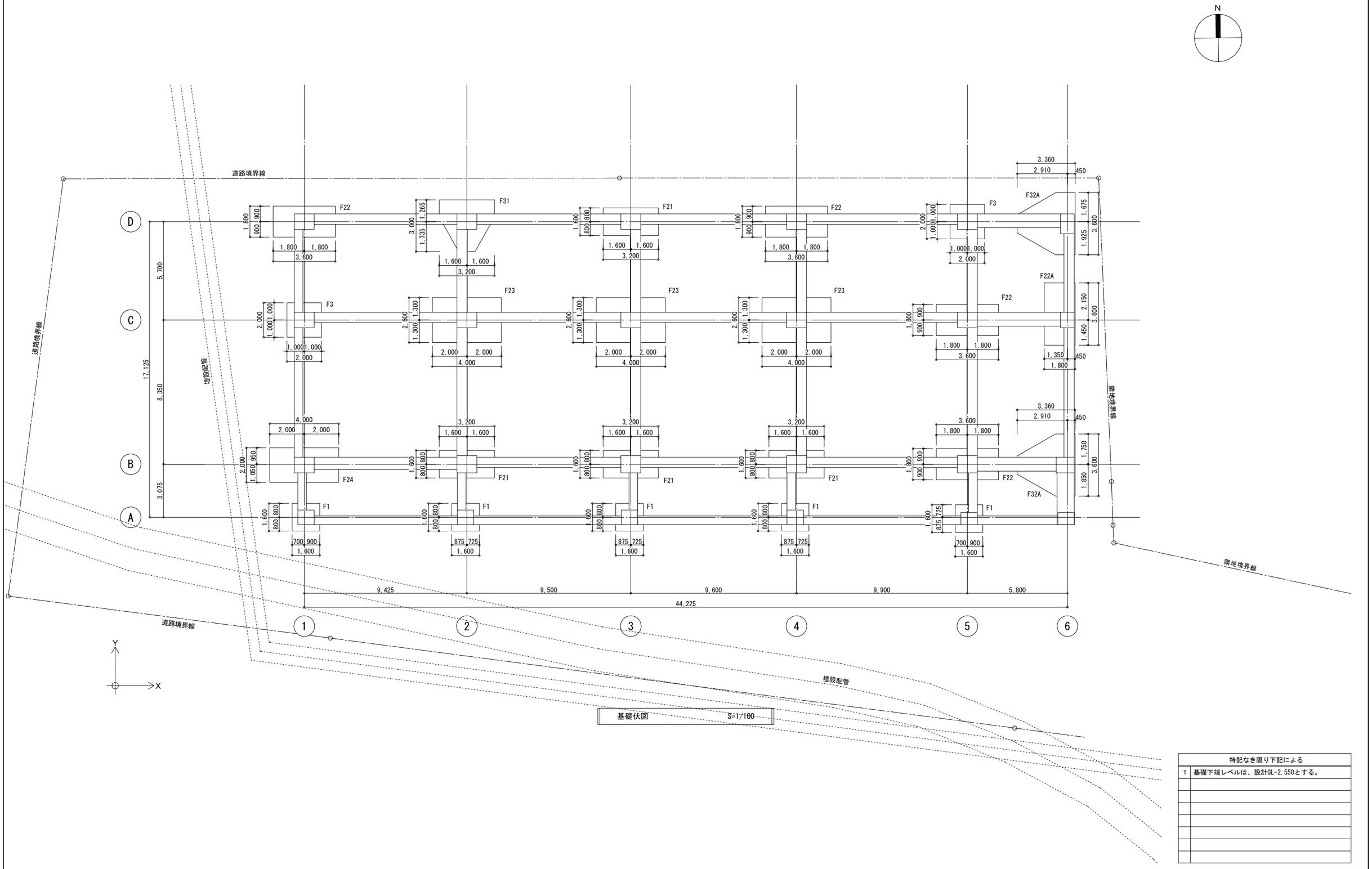
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 杭伏図・杭リスト

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 S-010



基礎伏図　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	基礎下端レベルは、設計GL-2,550とする。

特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

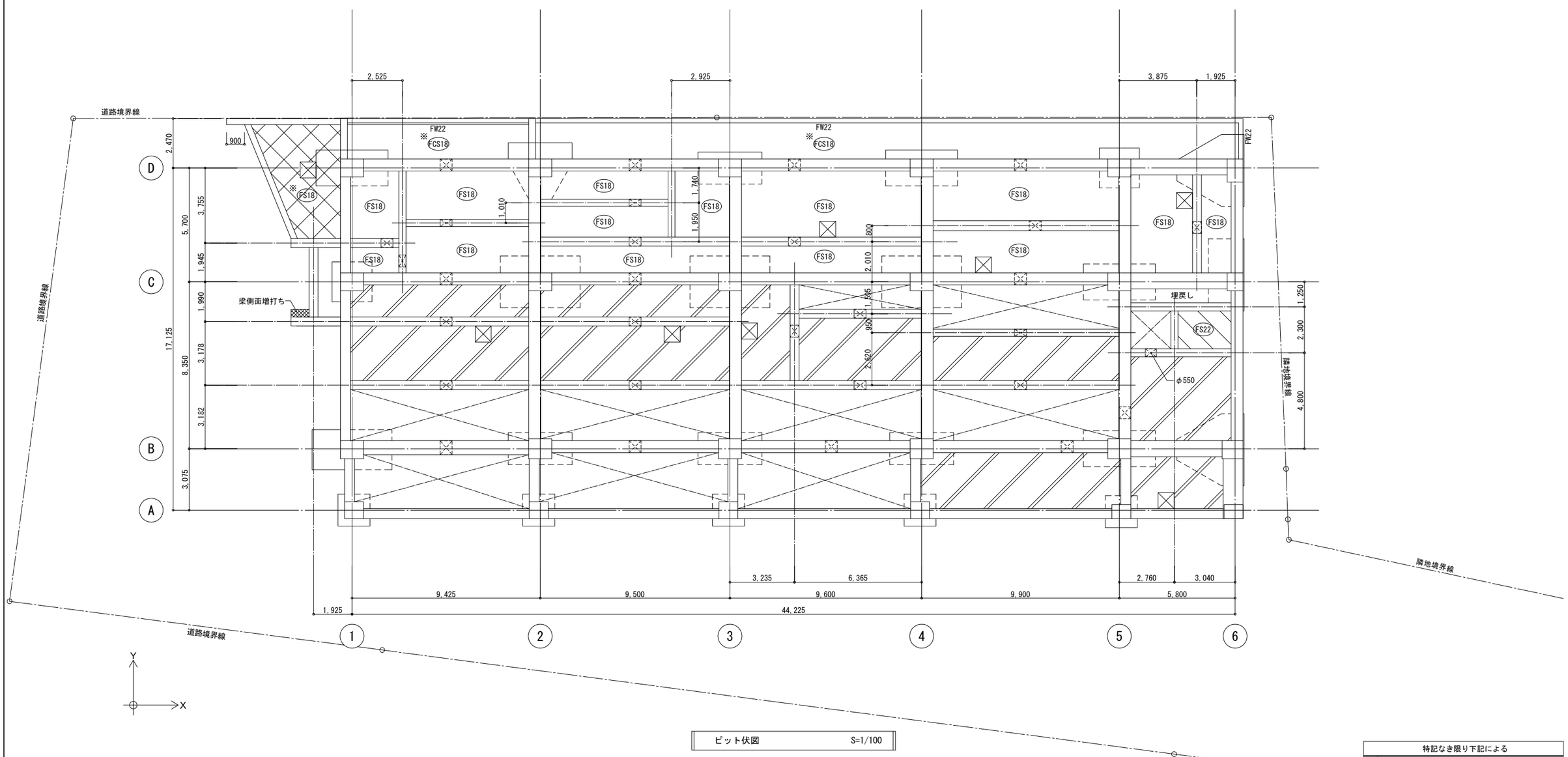
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 基礎伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

当初・変更・完成

図番 S-011



ピット伏図　S=1/100

スラブ符号と主筋方向の関係図

スラブ符号の向きにより、
主筋方向を表す。

FS※ 主筋方向

FS※ 主筋方向

※特記なきスラブは、
短辺方向配筋を主筋方向とする。

特記なき限り下記による	
1	ピットスラブ天端は、設計GL-1,930とする。
2	ピットスラブ天端
	・ 設計GL-1,370
	・ 設計GL-1,100
3	印は、砕石敷ピット範囲を示す。
4	印は、土間コンクリートを示す。
	(t=160　D10@200　ﾀﾃﾖｺﾀﾞﾌﾞﾙ)
5	印は、人通孔600φを示す。
6	印は、釜場800×800×H500を示す。
7	※印部は、十分に転圧すること。
8	小梁の位置寸法は、現場にて再確認すること。

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

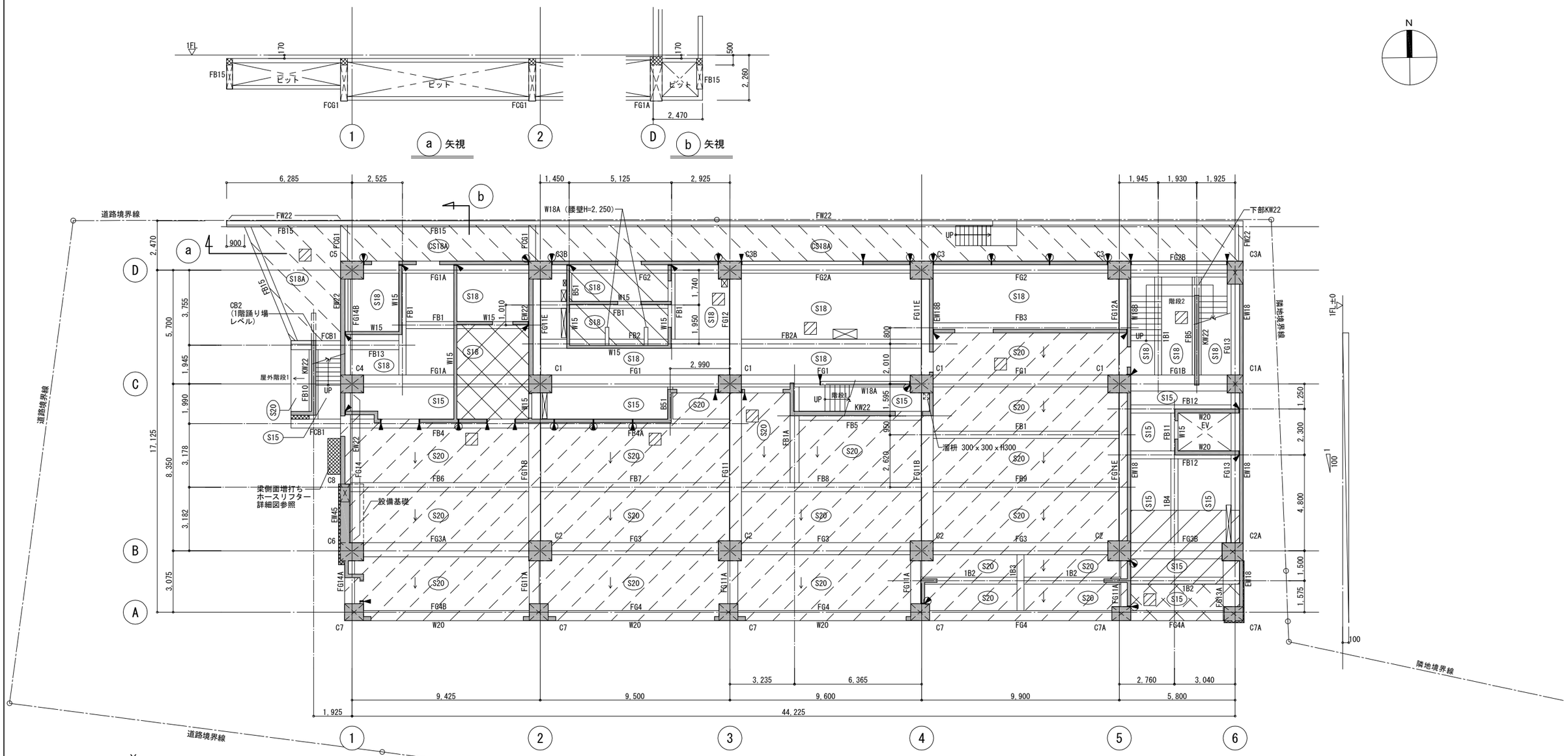
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 ピット伏図

縮尺 A1：1/100 A3：1/200

当初・変更・完成

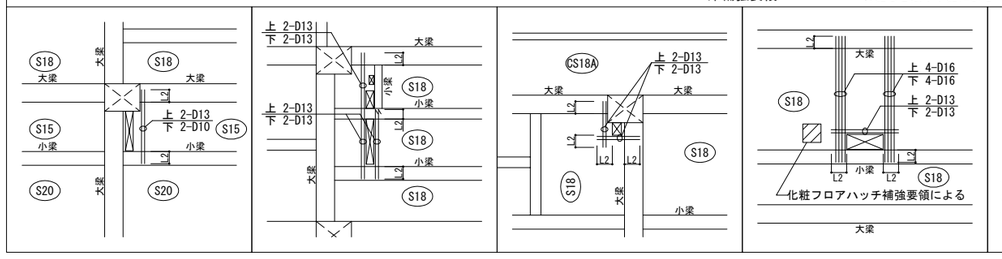
図番 S-012



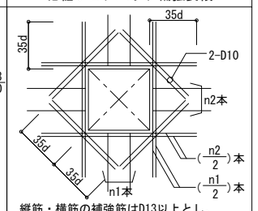
1階柱床梁伏図　S=1/100

床補強要領

特記なき限り下記による



化粧フロアハッチ補強要領



縦筋・横筋の補強筋はD13以上とし、
隅角部は斜め方向に2-D10(L=70d)
シングルを上下筋の内側に配筋する。

スラブ符号と主筋方向の関係図

スラブ符号の向きにより、
主筋方向を表す。

S※ 主筋方向

S※ 主筋方向

※特記なきスラブは、
短辺方向配筋を主筋方向とする。

特記なき限り下記による	
1	1FL=設計GL+150
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	スラブ天端は、1FL-10とする。
4	スラブ天端
	・ 1FL-30　・ 1FL-10～-110
	・ 1FL-60　・ 1FL-170
	・ 1FL-50　・ 1FL-30～-50
5	壁符号は、W18とする。
6	◀、◐ 印は、完全構造スリット(鉛直)を示す。
	水平スリットは、軸組図を参照する。
	各印の配筋内容は、壁リストを参照する。
7	⊠ 印は、床補強位置を示す。
8	▨ 印は、化粧フロアハッチ600x600を示す。
9	▩ 印は、増打を示す。
10	スラブ・梁天端のレベル差は、梁上増打とする。
11	小梁の位置寸法は、現場にて再確認すること。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

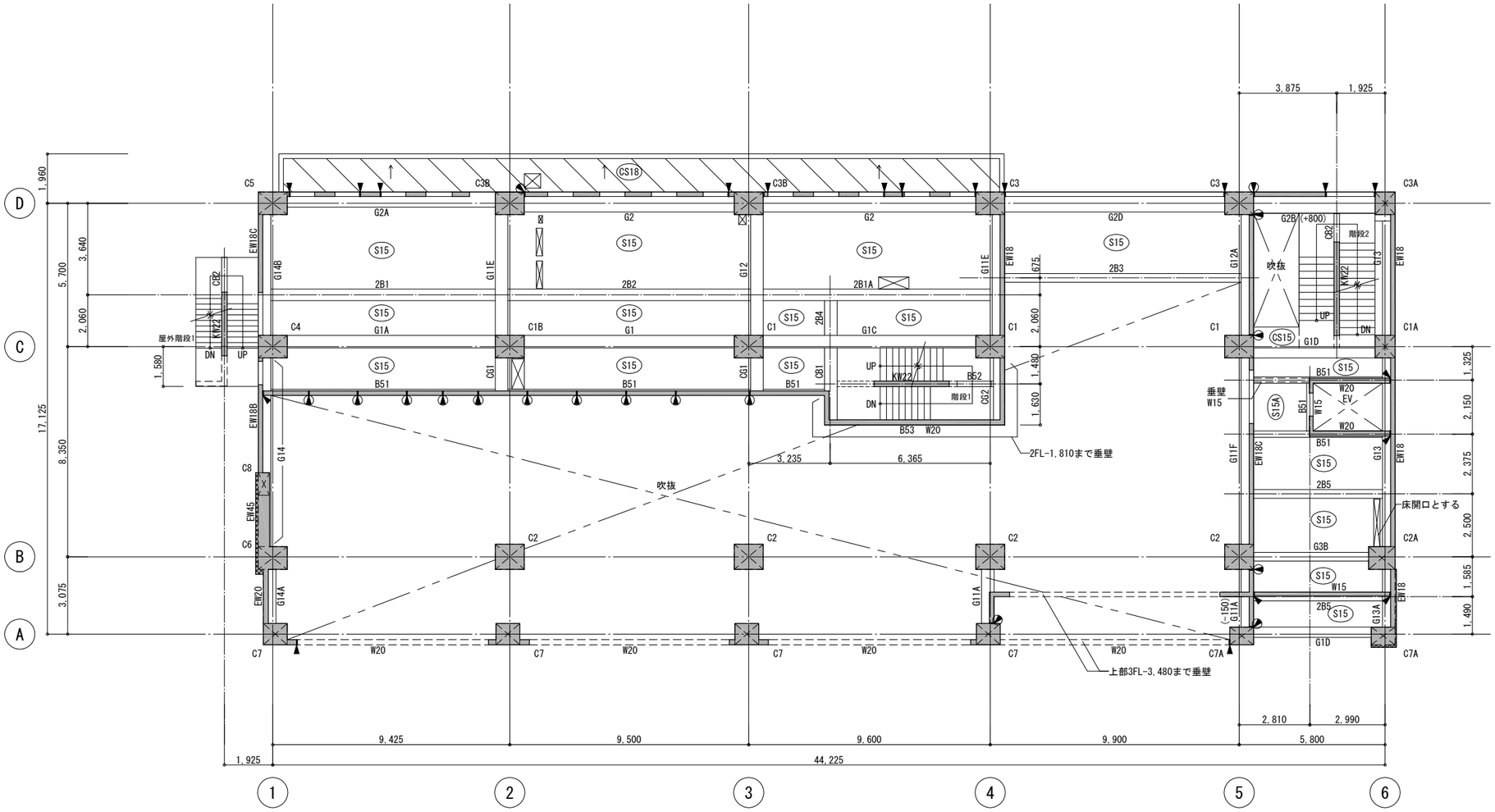
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 1階柱床梁伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 S-013

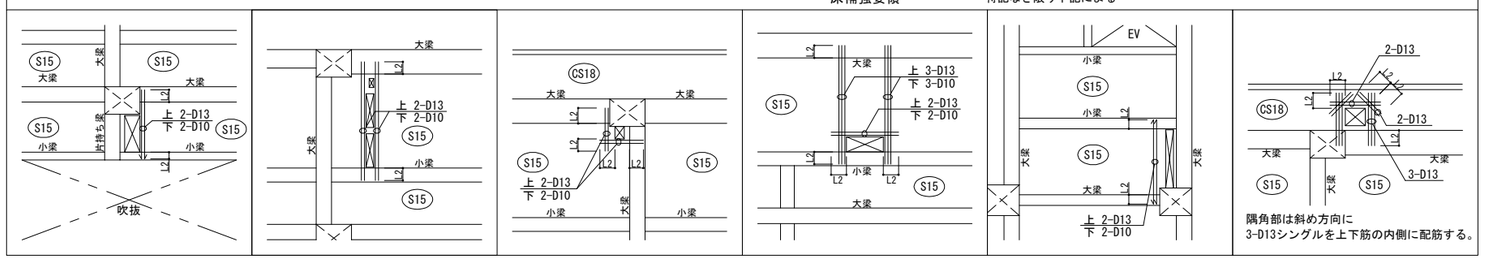


Y
X

２階柱床梁伏図　　S=1/100

床補強要領

特記なき限り下記による



スラブ符号と主筋方向の関係図

スラブ符号の向きにより、
主筋方向を表す。

S※ 主筋方向

S※ 主筋方向

※特記なきスラブは、
短辺方向配筋を主筋方向とする。

特記なき限り下記による	
1	梁天端は、2FL-30とする。
2	(　　)内数値は、2FLよりの梁天端を示す。
3	スラブ天端は、2FL-10とする。
4	スラブ天端
	・ 2FL-250～-280
5	壁符号は、W18とする。
6	◀,◐ 印は、完全構造スリット(鉛直)を示す。
	水平スリットは、軸組図を参照する。
	各印の配筋内容は、壁リストを参照する。
7	印は、床補強位置を示す。
8	印は、増打を示す。
9	スラブ・梁天端のレベル差は、梁上増打とする。
10	小梁の位置寸法は、現場にて再確認すること。

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

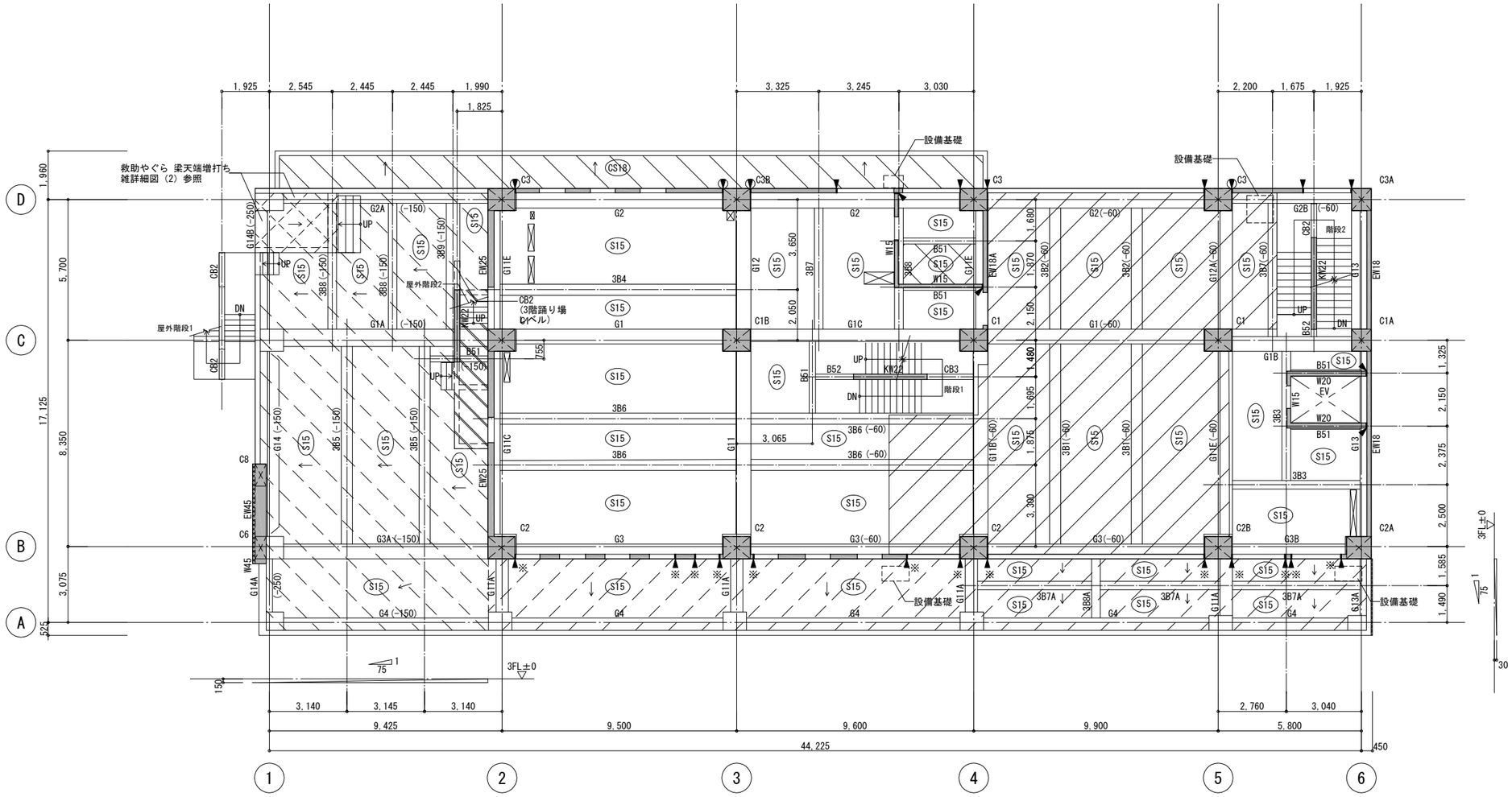
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

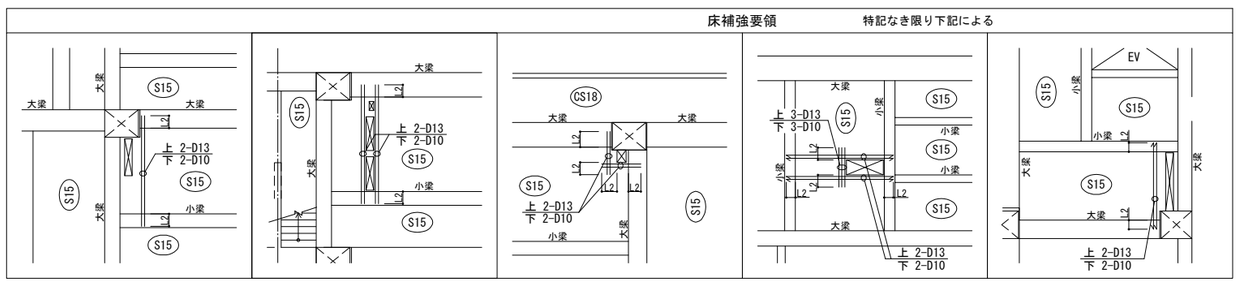
図面名称 ２階柱床梁伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 S-014



3階柱床梁伏図　S=1/100



スラブ符号と主筋方向の関係図

スラブ符号の向きにより、
主筋方向を表す。

S※ 主筋方向

S※ 主筋方向

※特記なきスラブは、
短辺方向配筋を主筋方向とする。

特記なき限り下記による	
1	梁天端は、3FL-30とする。
2	(　　)内数値は、3FLよりの梁天端を示す。
3	スラブ天端は、3FL-10とする。
4	スラブ天端
	・3FL-50　・3FL±0～-30
	・3FL-250～-280　・3FL±0～-150
	・3FL-230　・3FL+750～+720
	・3FL+600
5	壁符号は、W18とする。
6	◄,◐ 印は、完全構造スリット(鉛直)を示す。
	水平スリットは、軸組図を参照する。
	各印の配筋内容は、壁リストを参照する。
	※印付きの ◄ 完全構造スリット(鉛直)箇所は、
	3FL+600以下で縁を切らないこと。
7	印は、床補強位置を示す。
8	印は、増打を示す。
9	スラブ・梁天端のレベル差は、梁上増打とする。
10	小梁の位置寸法は、現場にて再確認すること。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

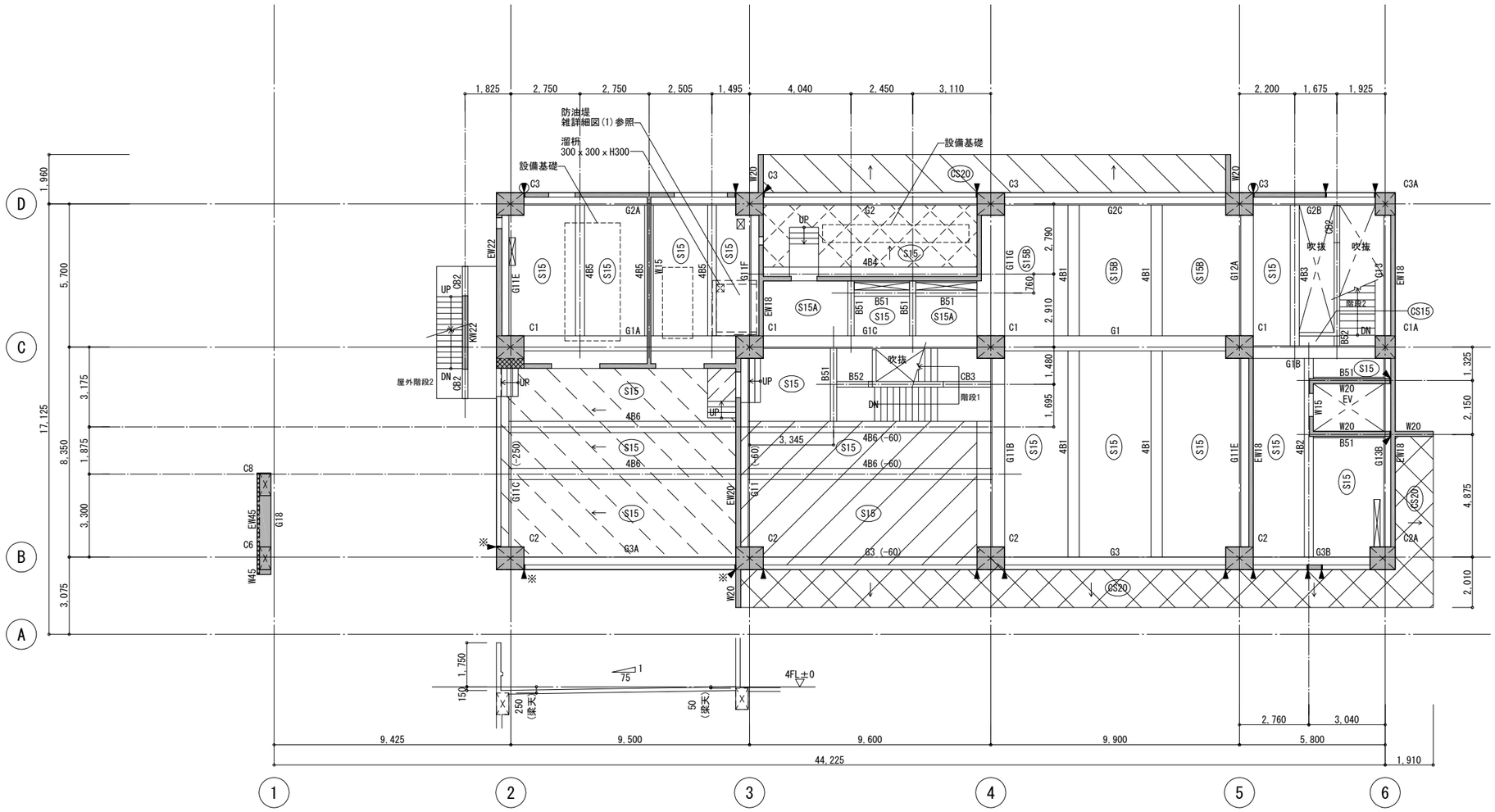
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

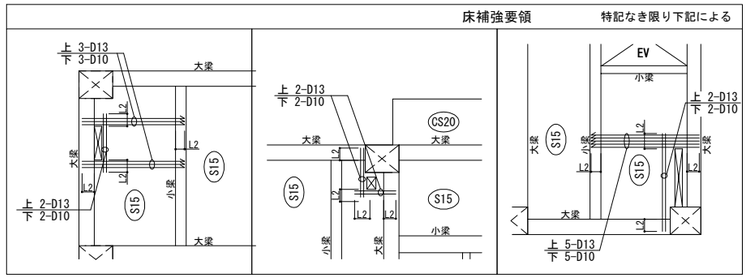
図面名称 3階柱床梁伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 S-015



4階柱床梁伏図　S=1/100



スラブ符号と主筋方向の関係図

スラブ符号の向きにより、
主筋方向を表す。

S※ 主筋方向

S※ 主筋方向

※特記なきスラブは、
短辺方向配筋を主筋方向とする。

特記なき限り下記による	
1	梁天端は、4FL-30とする。
2	(　　)内数値は、4FLよりの梁天端を示す。
3	スラブ天端は、4FL-10とする。
4	スラブ天端
	・4FL-60　・4FL+600
	・4FL-900　・4FL±0～-150
	・4FL-660　・4FL-550～-600
5	壁符号は、W18とする。
6	◄、◄ 印は、完全構造スリット(鉛直)を示す。
	水平スリットは、軸組図を参照する。
	各印の配筋内容は、壁リストを参照する。
	※印付きの ◄ 完全構造スリット(鉛直)箇所は、
	4FL+600以下で縁を切らないこと。
7	印は、床補強位置を示す。
8	印は、増打を示す。
9	スラブ・梁天端のレベル差は、梁上増打とする。
10	小梁の位置寸法は、現場にて再確認すること。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 後藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

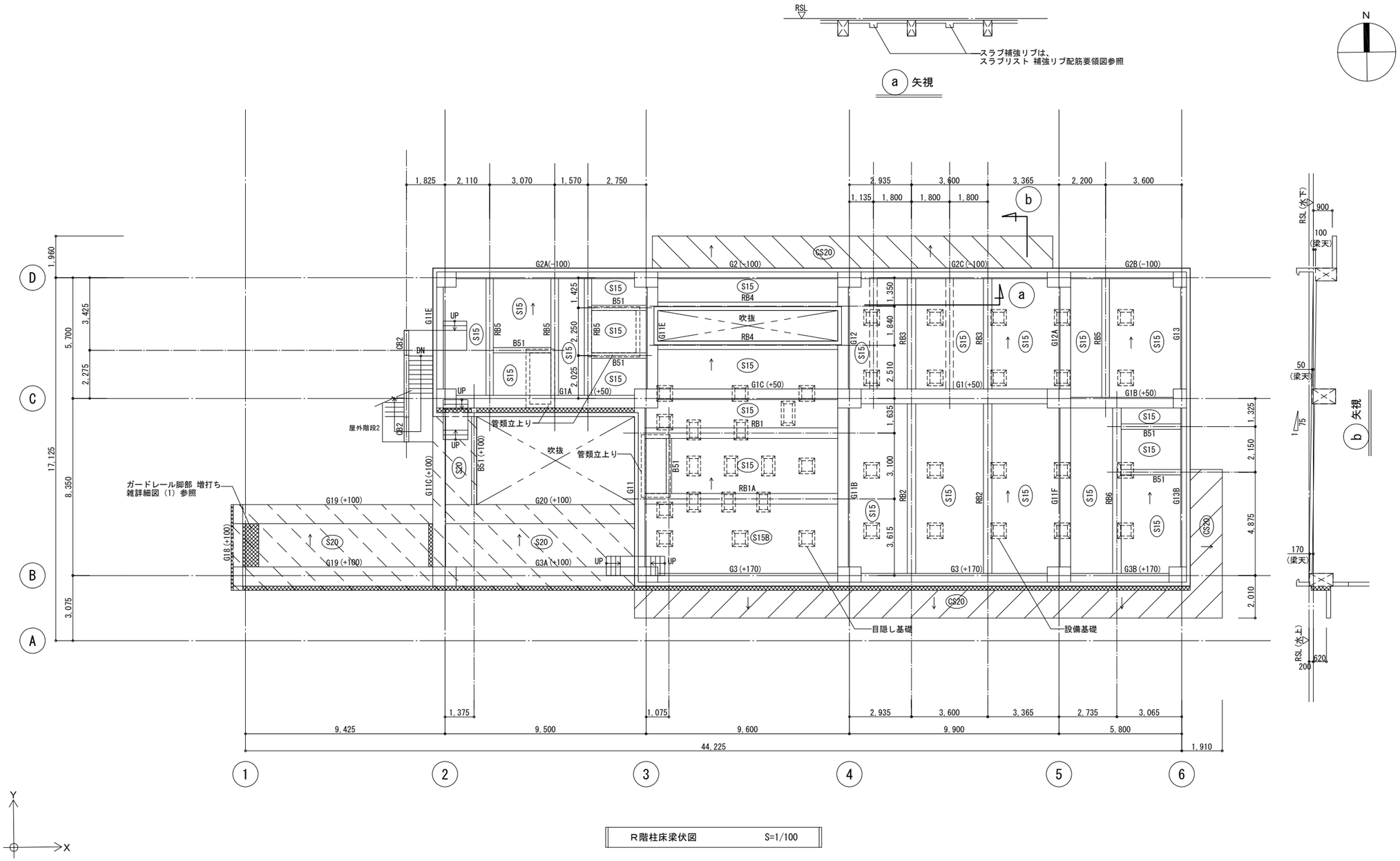
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 4階柱床梁伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 S-016



R階柱床梁伏図　S=1/100

スラブ符号と主筋方向の関係図

スラブ符号の向きにより、
主筋方向を表す。

S※ 主筋方向

S※ 主筋方向

※特記なきスラブは、
短辺方向配筋を主筋方向とする。

特記なき限り下記による	
1	梁天端は、水勾配による。
2	(　　)内数値は、RSL(水下)よりの梁天端を示す。
3	スラブ天端は、水勾配による。
4	スラブ天端
	・ RSL(水下)-620 ・ RSL(水下)+100
	・ RSL(水下)-900
5	スラブ・梁天端のレベル差は、梁上増打とする。
6	小梁の位置寸法は、現場にて再確認すること。

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

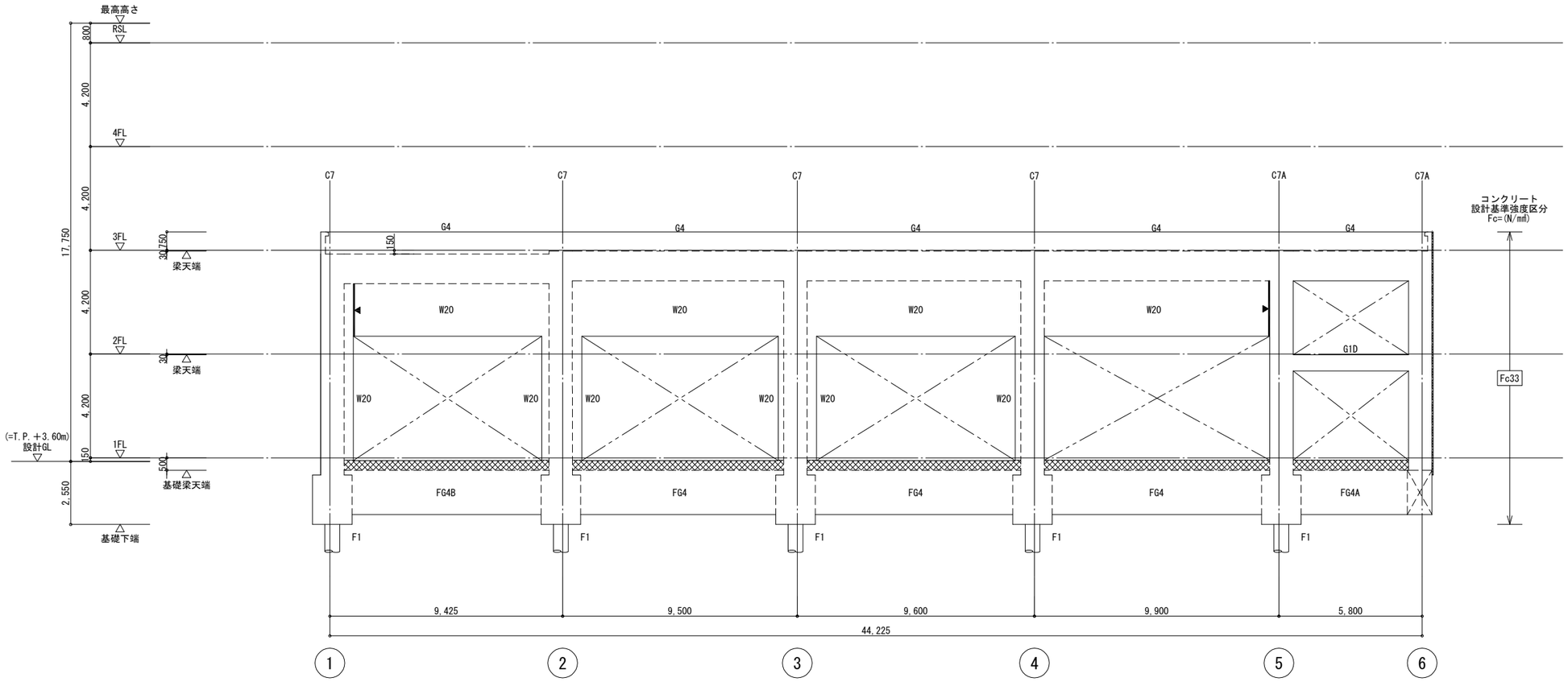
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 R階柱床梁伏図

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

当初・変更・完成

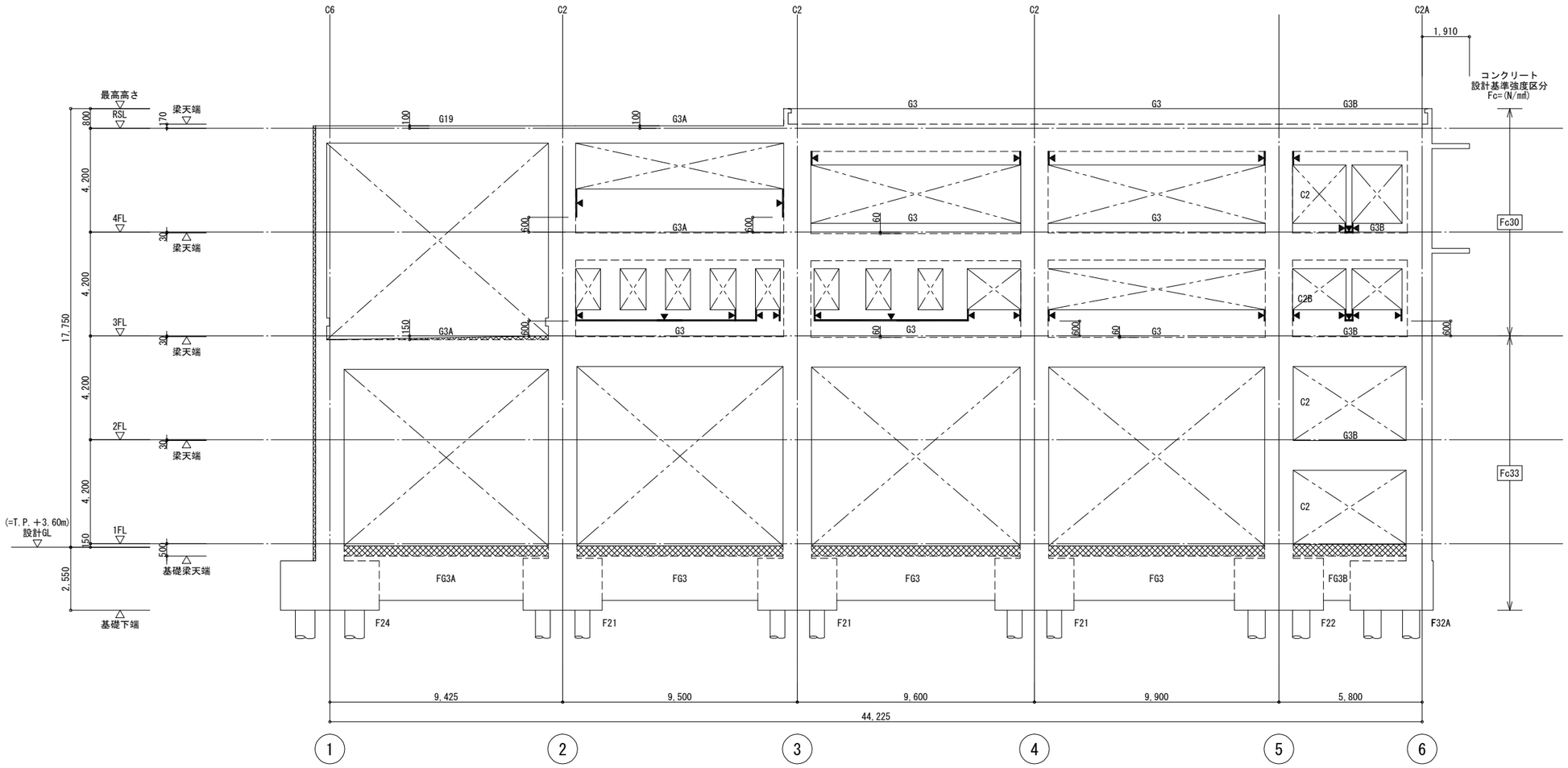
図番 S-017



Ⓐ 通り　軸組図　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	柱符号は上階に倣う。
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	壁符号は、W18とする。
4	完全構造スリット
	印は、鉛直スリットを示す。
	印は、水平スリットを示す。
5	印は、増打を示す。

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 軸組図（1） / 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 / 図番 S-018



Ⓑ 通り　軸組図　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	柱符号は上階に倣う。
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	壁符号は、W18とする。
4	完全構造スリット
	印は、鉛直スリットを示す。
	印は、水平スリットを示す。
5	印は、増打を示す。

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

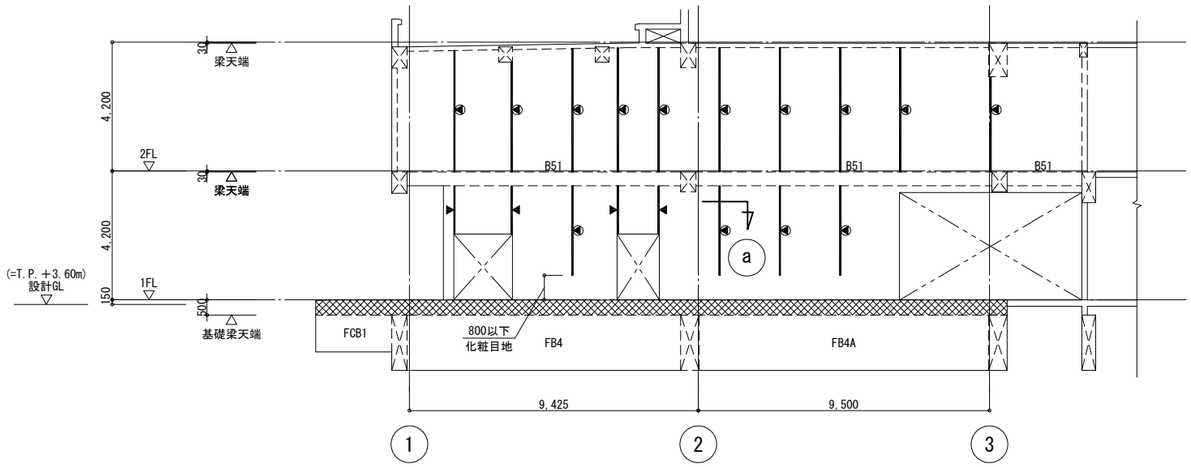
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 軸組図（2）

縮尺 A1：1/100 A3：1/200

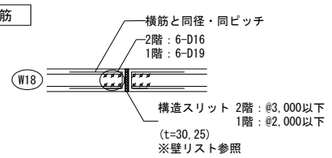
図番 S-019

当初・変更・完成

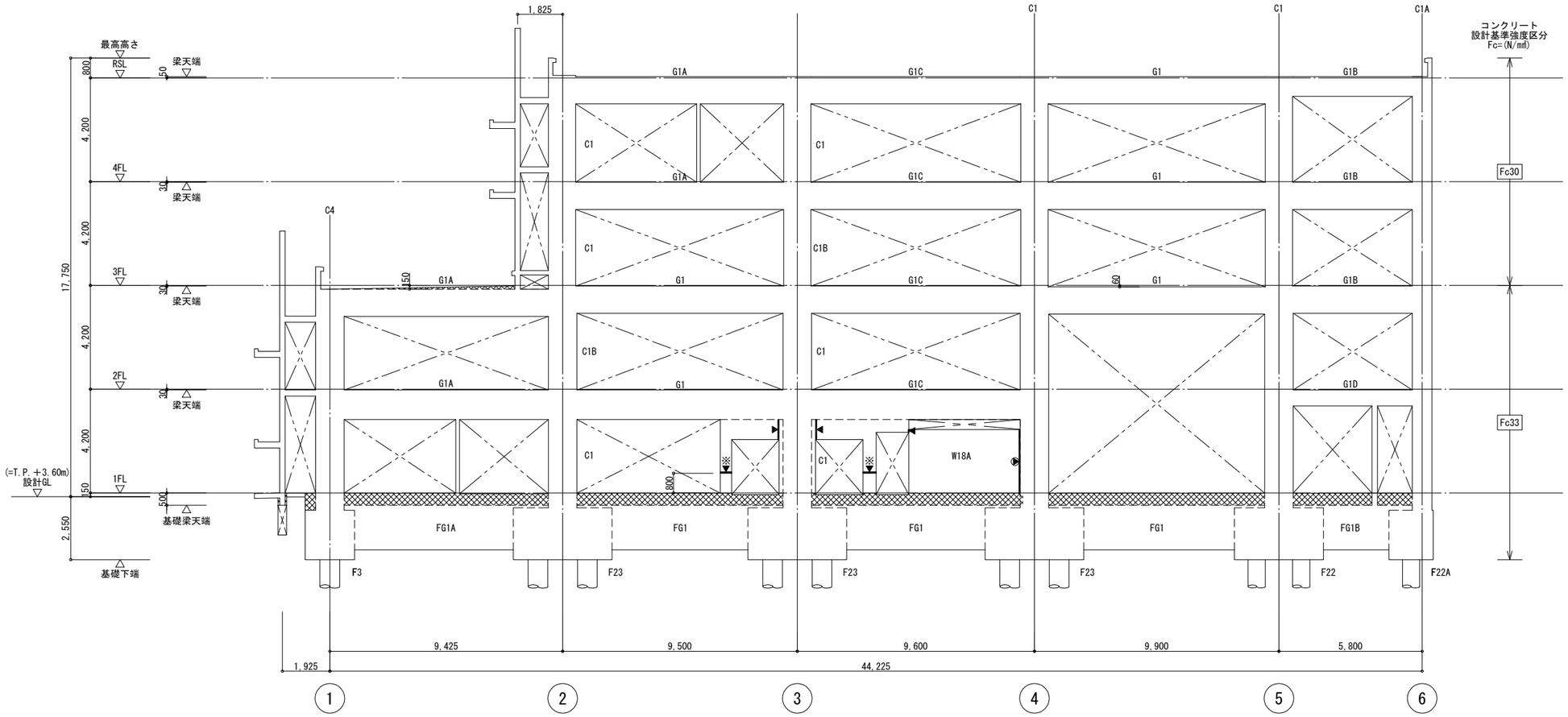


Ⓒ 通り-1,800　軸組図　S=1/100

壁端部補強筋



ⓐ 矢視



Ⓒ 通り　軸組図　S=1/100

▼※印箇所の水平スリットは、
壁リスト
5・C通り構造スリット(水平)配筋要領図参照

特記なき限り下記による	
1	柱符号は上階に倣う。
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	壁符号は、W18とする。
4	完全構造スリット
	印は、鉛直スリットを示す。
	印は、水平スリットを示す。
5	印は、増打を示す。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

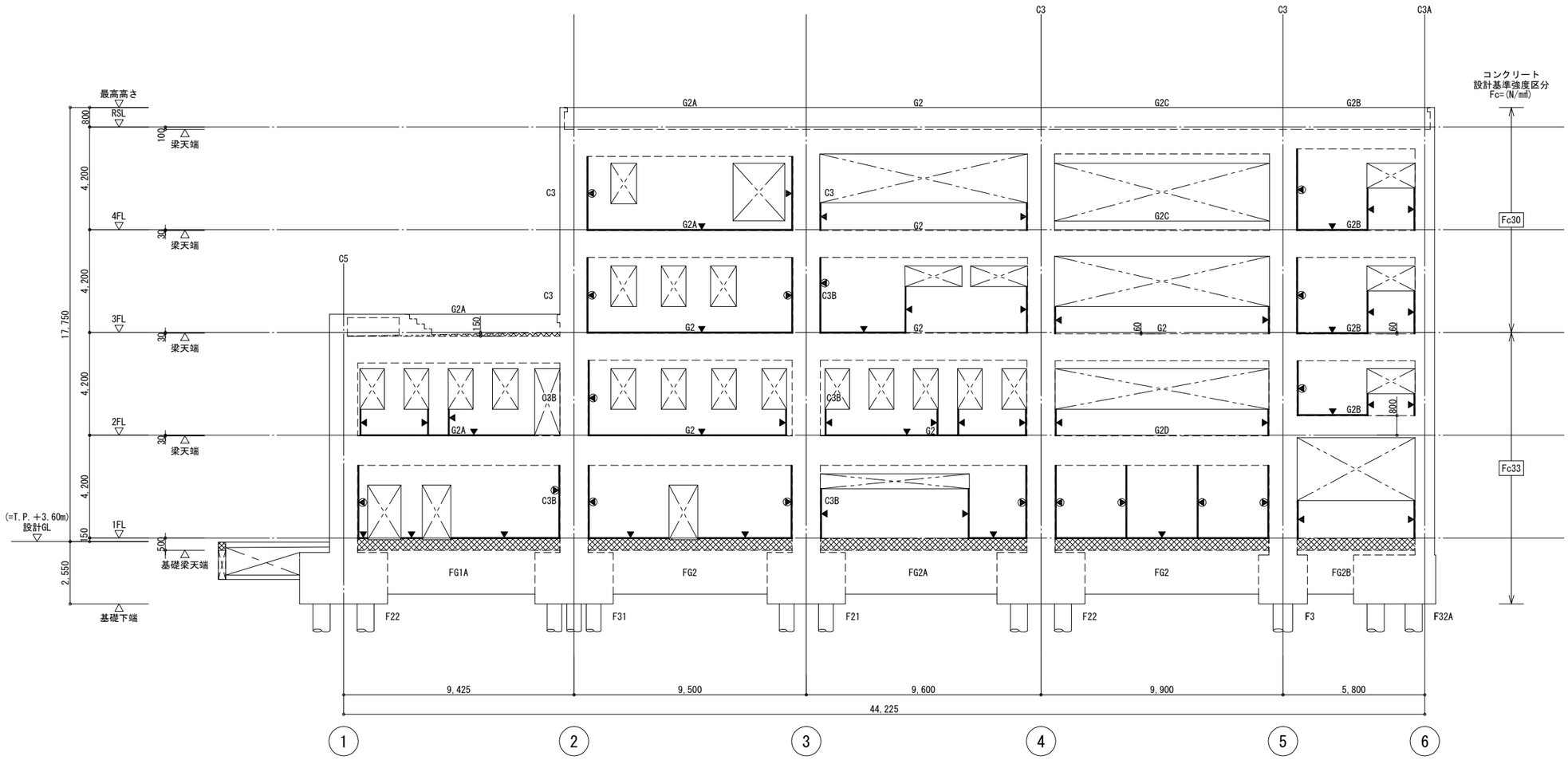
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 軸組図（３）

縮尺 A1：1/100 A3：1/200

図番 S-020



Ⓓ 通り　軸組図　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	柱符号は上階に倣う。
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	壁符号は、W18とする。
4	完全構造スリット
	◀, ◀ 印は、鉛直スリットを示す。
	▼ 印は、水平スリットを示す。
5	▩ 印は、増打を示す。

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当責任 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

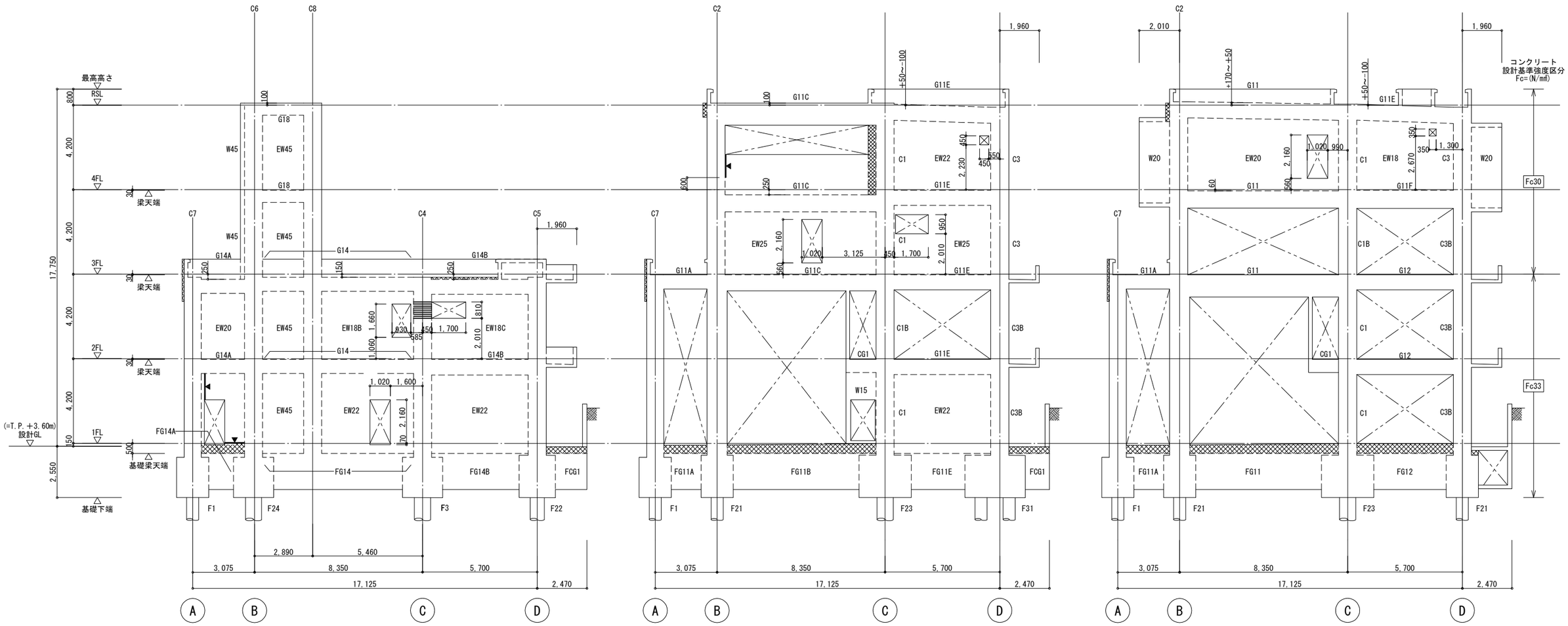
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 軸組図（4）

縮尺 A1：1/100 A3：1/200

図番 S-021

当初・変更・完成



① 通り　軸組図　S=1/100

② 通り　軸組図　S=1/100

③ 通り　軸組図　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	柱符号は上階に倣う。
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	壁符号は、W18とする。
4	完全構造スリット
	印は、鉛直スリットを示す。
	印は、水平スリットを示す。
5	印は、増打を示す。
6	部は、帯筋 -D13 @100とする。

特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学

設計者　佐藤　三谷

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日　2025年1月

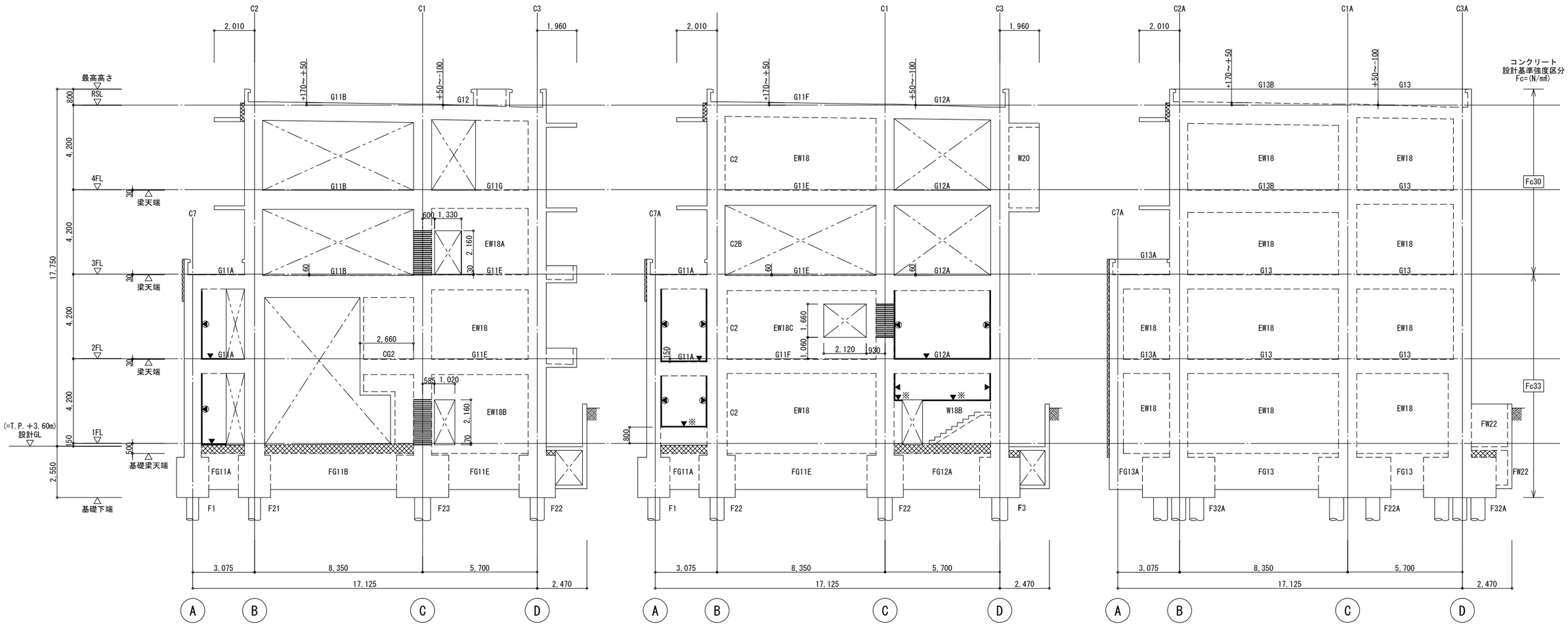
工事名称　新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称　軸組図（５）

縮尺　A1：1/100　A3：1/200

図番　S-022



④ 通り　軸組図　S=1/100

⑤ 通り　軸組図　S=1/100

⑥ 通り　軸組図　S=1/100

▼※印箇所の水平スリットは、
壁リスト
5・C通り構造スリット(水平)配筋要領図参照

特記なき限り下記による	
1	柱符号は上階に倣う。
2	基礎梁天端は、1FL-500とする。
3	壁符号は、W18とする。
4	完全構造スリット
	印は、鉛直スリットを示す。
	印は、水平スリットを示す。
5	印は、増打を示す。
6	部は、帯筋 -D13 @100とする。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

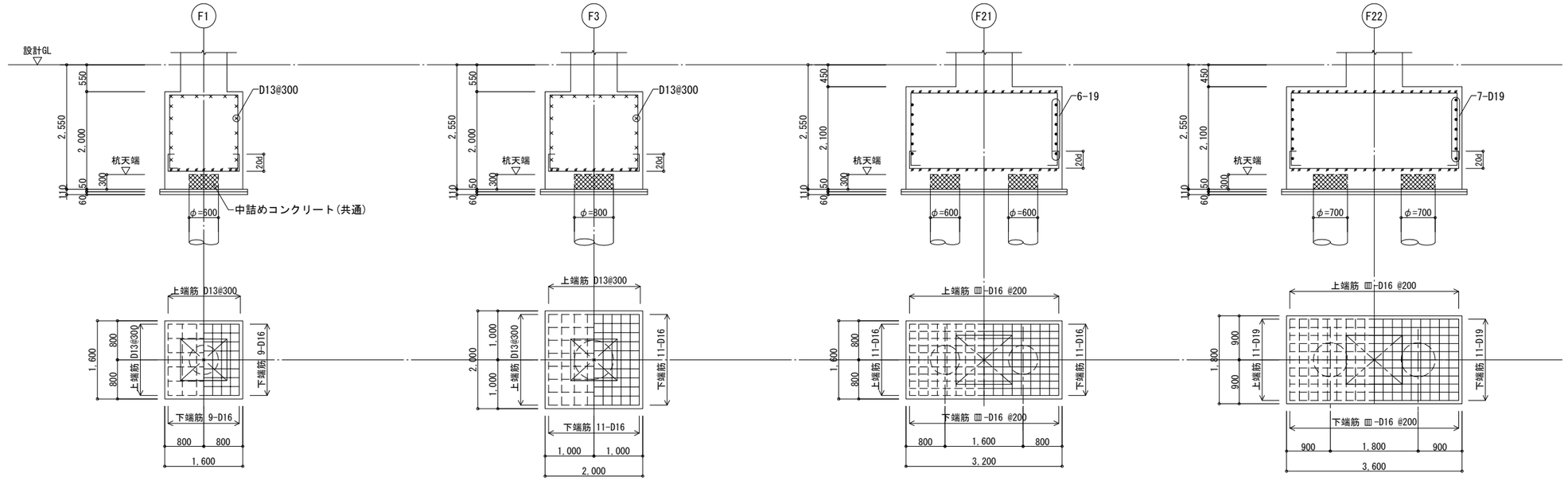
当初・変更・完成

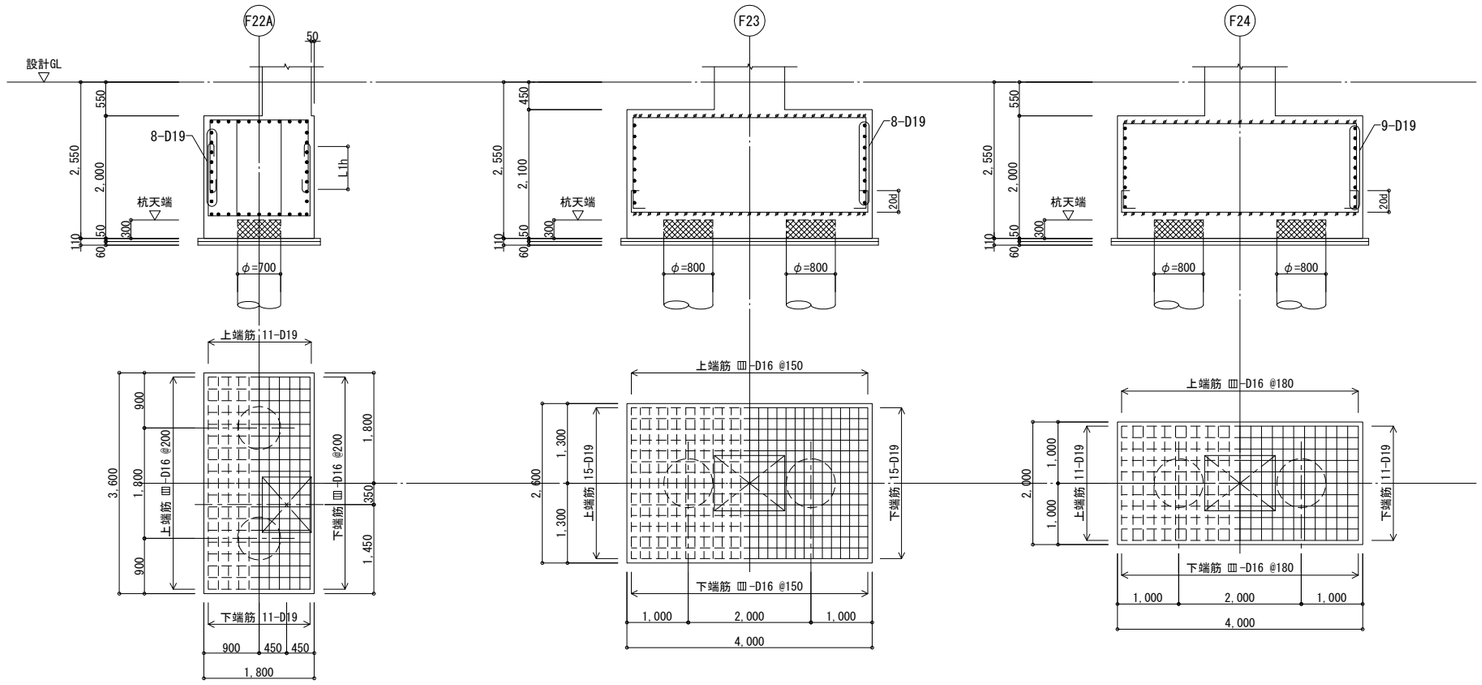
図面名称 軸組図（6）

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

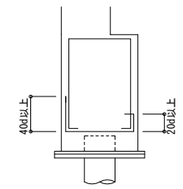
図番 S-023

基礎リスト（1）　S=1/50

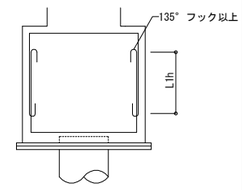




偏心基礎鉄筋定着長さ



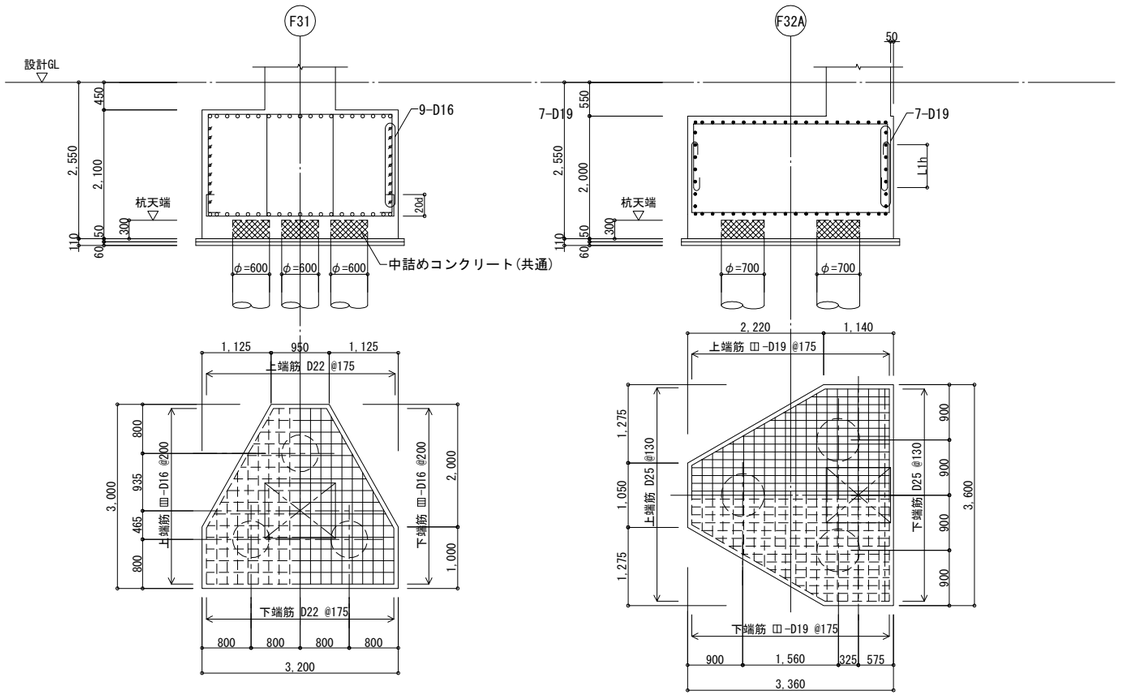
2本杭基礎部短手方向配筋要領図



<2本杭基礎部短手方向>

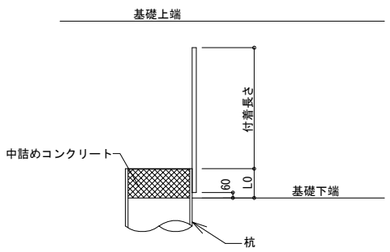
特記事項	株式会社 あい設計 / 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学 / 設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 基礎リスト（1） / 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図番 S-024

基礎リスト（２）　　S=1/50



New J-BAR使用の杭頭補強に関する特記

杭頭部の標準納まり



杭符号	杭頭補強筋	杭符号	杭頭補強筋
P61A	10-WD38J	P74A	12-WD41J
P62A	10-WD38J	P75A	12-WD41J
P64A	10-WD38J	P81,P81A	14-WD38J
P65A	10-WD38J	P82A	14-WD38J
P71A	12-WD41J	P83	14-WD38J
P73A	12-WD41J	P85	14-WD38J

杭頭の埋込み長(L0)	300 mm
New J-BARの配列	New J-BARの最小間隔の規定はJIS規格の鉄筋と同様とするが、溶接作業の施工性、基礎配筋などを考慮することにより、それ相応の間隔を確保することが必要である。
New J-BARの付着長さ	WD38J : 1370mm , WD41J : 1480mm

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

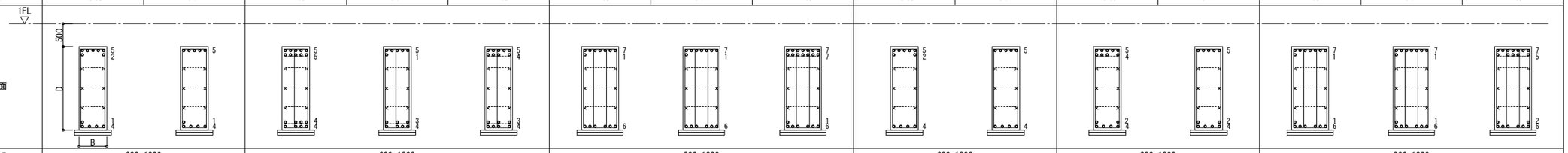
図面名称 基礎リスト（２）

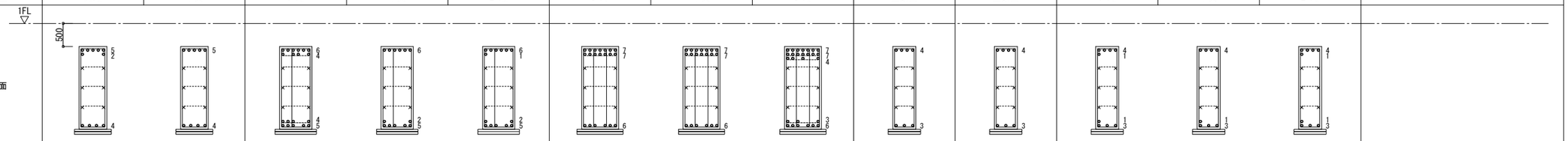
縮尺 A1:1/50 A3:1/100

当初・変更・完成

図番 S-025

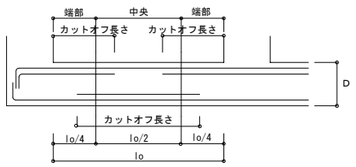
基礎梁リスト（1）　S=1/50

符号	FG1		FG1A			FG1B			FG2		FG2A		FG2B		
位置	両端	中央	1 端	中央	2 端	5 端	中央	6 端	両端	中央	両端	中央	5 端	中央	6 端
断面															
B x D	600x1800		600x1800			800x1800			600x1800		600x1800		800x1800		
上端筋	7-D32	5-D32	10-D32	6-D32	9-D32	8-D32	8-D32	14-D32	7-D32	5-D32	9-D32	5-D32	8-D32	8-D32	12-D32
下端筋	5-D32	5-D32	8-D32	7-D32	7-D32	6-D32	6-D32	7-D32	4-D32	4-D32	6-D32	6-D32	7-D32	7-D32	8-D32
ｶｯﾄｵﾌ長さ 上端筋	3,200	-	3,550	-	3,200	-	-	2,950	3,000	-	3,600	-	-	-	2,950
ｶｯﾄｵﾌ長さ 下端筋	-	-	2,900	-	-	-	-	2,350	-	-	-	-	-	-	2,450
あばら筋	□-D13 @200		(3) Ⅲ-D13 @150			(4) Ⅲ-D13 @100			□-D13 @200		□-D13 @150		(4) Ⅲ-D13 @150		
腹筋	6-D13		6-D13			6-D13			6-D13		6-D13		6-D13		

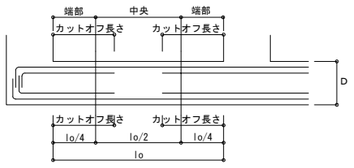
符号	FG3		FG3A			FG3B			FG4	FG4A	FG4B			
位置	両端	中央	1 端	中央	2 端	5 端	中央	6 端	全断面	全断面	1 端	中央	2 端	
断面														
B x D	600x1800		700x1800			800x1800			500x1800	500x1800	500x1800			
上端筋	7-D32	5-D32	10-D32	6-D32	7-D32	14-D32	14-D32	18-D32	4-D32	4-D32	5-D32	4-D32	5-D32	
下端筋	4-D32	4-D32	9-D32	7-D32	7-D32	6-D32	6-D32	9-D32	3-D32	3-D32	4-D32	4-D32	4-D32	
ｶｯﾄｵﾌ長さ 上端筋	3,000	-	3,400	-	2,750	-	-	2,900	-	-	2,700	-	2,800	
ｶｯﾄｵﾌ長さ 下端筋	-	-	2,950	-	-	-	-	2,450	-	-	-	-	-	
あばら筋	□-D13 @200		(3) Ⅲ-D13 @200			(4) Ⅲ-MK13 @100			□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200			
腹筋	6-D13		6-D13			6-D13			6-D13	6-D13	6-D13			

基礎梁端部カットオフ要領図

・中央下端筋が端部下端筋よりも本数が多い場合

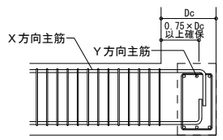


・端部下端筋が中央下端筋よりも本数が多い場合



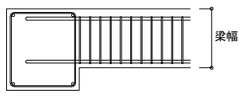
梁の主筋納まり

・基礎梁天端が同レベルの場合

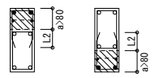


あばら筋要領図

・柱と同面に納まる基礎梁のあばら筋加工形状



基礎梁　上下面増打補強図



部分は増打コンクリートを示す

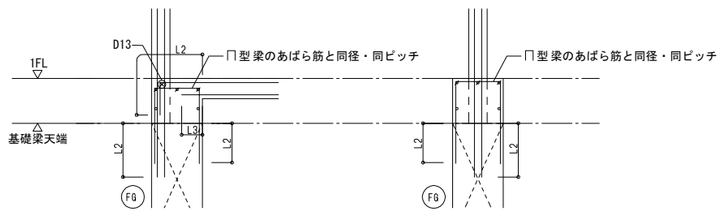
・増打ち高さa>80の場合・・・補強主筋は梁主筋の3段落し径、かつD16以上とする
　500≧a>≧200の場合・・・補強主筋は梁主筋の3段落し径、かつD16以上とする
　　a>500の場合・・・補強主筋は梁主筋の2段落し径、かつD16以上とする
・主筋は梁幅350以下は2本、350を超える場合は@200以下とする
・補強あばら筋は、梁あばら筋と同径・同ピッチとし、定着長さはL2とする
・補強腹筋は、梁の腹筋と同径・同ピッチとする
・設計図書に表示のない増打コンは事前に構造設計者の了解を得ること
・ ● 印補強筋は、柱に0～150程度の定着とする

基礎梁　側面増打補強図

部分は増打コンクリートを示す

・増打ち幅　a>80の場合・・・補強梁主筋は梁主筋の2段落し径、かつD16以上@200以下、
　　補強あばら筋は梁せん断補強筋と同径・倍ピッチかつ
　　200以下・定着長さは300とし梁主筋内に定着

増打部耐力壁　配筋要領図



※ 耐力壁の配筋は、基礎梁天端からの配筋とすること。(横筋も同様)

鋼材種別	
D10～D16	SD295
D19～D25	SD345
D29～D32	SD390

特記事項
・幅止め筋は、D10@1000とする。
・あばら筋の中子筋の加工形状：加工寸法せいは、外周あばら筋と同一せいとする。
・梁貫通補強…貫通径φが梁せい1/10かつ100mm以下は補強を不要とする。
補強方法はメーカーの計算結果及び仕様書に基づくこと。
・主筋は原則、圧接継手とする。また、監理者と協議のうえ、溶接継手・機械式継手を
採用しても可とする。
・せん断補強筋 MK は高強度せん断補強筋エムケーフープ（785級）を示す。

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

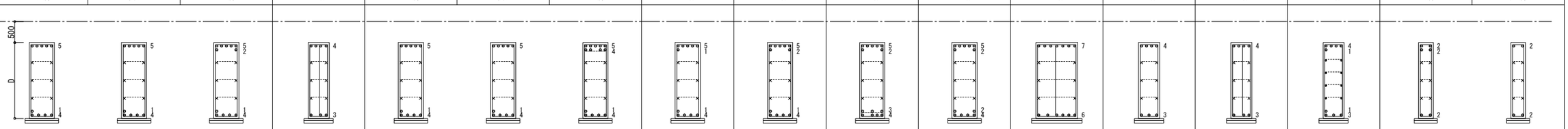
図面名称 基礎梁リスト（1）

縮尺 A1:1/50 A3:1/100

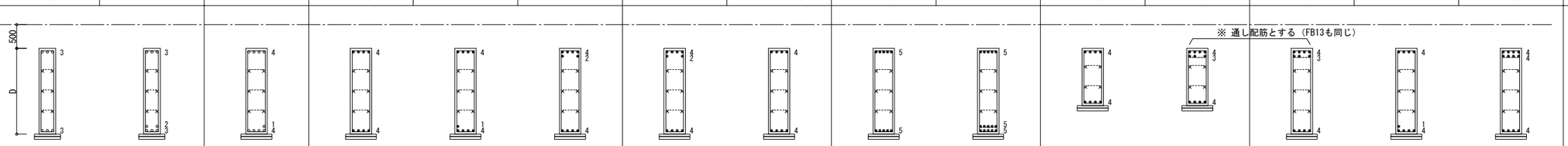
当初・変更・完成

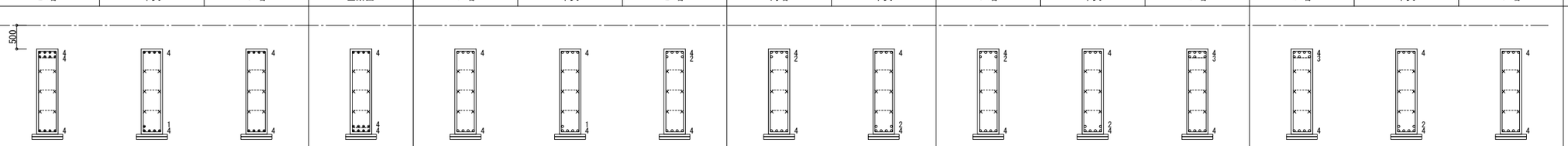
図番 S-026

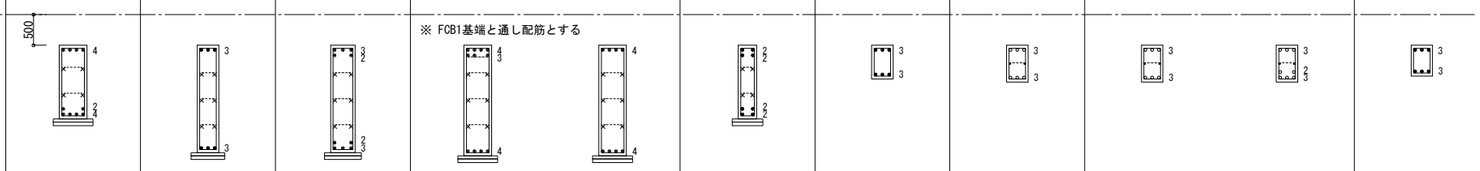
基礎梁リスト（２）　S=1/50

符号	FG11			FG11A	FG11B			FG11E	FG12	FG12A	FG13	FG13A	FG14	FG14A	FG14B	FCG1	
位置	B 端	中央	C 端	全断面	B 端	中央	C 端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	基端	先端
断面																	
B x D	600x1800			500x1800	600x1800			600x1800	600x1800	600x1800	600x1800	1000x1800	500x1800	500x1800	500x1800	350x1800	
上端筋	5-D32	5-D32	7-D32	4-D32	5-D32	5-D32	9-D32	6-D32	7-D32	7-D32	7-D32	7-D32	4-D32	4-D32	5-D32	4-D32	2-D32
下端筋	5-D32	5-D32	5-D32	3-D32	5-D32	5-D32	5-D32	5-D32	5-D32	7-D32	6-D32	6-D32	3-D32	3-D32	4-D32	2-D32	2-D32
ｶｯﾄｵﾌ 長さ 上端筋	－	－	2,900	－	－	－	5,200	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
ｶｯﾄｵﾌ 長さ 下端筋	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
あばら筋	□-D13 @200			(3) ◫-MK13 @200	□-D13 @200			□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	(3) ◫-D13 @150	□-D13 @200	(3) ◫-D13 @100	□-D13 @200	□-D13 @200	
腹筋	6-D13			6-D13	6-D13			6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	6-D13	8-D25（柱にL2定着）	6-D13	

基礎小梁リスト　S=1/50

符号	FB1		FB1A	FB2			FB2A		FB3		FCB1		FB4			
位置	両端	中央	全断面	2 端	中央	3 端	3 端	中央・4 端	両端	中央	先端	基端	1 端	中央	2 端	
断面																
B x D	350x1800		450x1800	450x1800			450x1800		500x1800		450x1200		450x1800			
上端筋	3-D22	3-D22	4-D22	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	5-D25	5-D25	4-D25	7-D25	7-D25	4-D25	8-D25	
下端筋	3-D22	5-D22	5-D22	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	10-D25	4-D25	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	
あばら筋	□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200			
腹筋	6-D13		6-D13	6-D13			6-D13		6-D13		4-D13		6-D13			

符号	FB4A			FB5	FB6			FB7		FB8			FB9			
位置	2 端	中央	3 端	全断面	1 端	中央	2 端	両端	中央	3 端	中央	4 端	4 端	中央	5 端	
断面																
B x D	450x1800			450x1800	450x1800			450x1800		450x1800			450x1800			
上端筋	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	6-D22	4-D22	7-D22	7-D22	4-D22	4-D22	
下端筋	4-D25	5-D25	4-D25	8-D25	4-D22	5-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22	4-D22	
あばら筋	□-D13 @200			□-D13 @200	□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200			
腹筋	6-D13			6-D13	6-D13			6-D13		6-D13			6-D13			

符号	FB10	FB11	FB12	FB13		FB15	1B1	1B2	1B3		1B4
位置	全断面	全断面	全断面	1 端	中央・他端	全断面	全断面	全断面	両端	中央	全断面
断面											
B x D	450x1200	350x1750	400x1750	450x1800		300x1200	350x550	350x600	350x600		350x500
上端筋	4-D25	3-D19	5-D25	7-D25	4-D25	4-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D22	3-D19
下端筋	6-D25	3-D19	5-D25	4-D25	4-D25	4-D19	3-D19	3-D22	3-D22	5-D22	3-D19
あばら筋	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200		□-D13 @100	□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200		□-D10 @200
腹筋	4-D13	6-D13	6-D13	6-D13		4-D13	—	2-D10	2-D10		—

※ 通し配筋とする（FB13も同じ）

※ FCB1基端と通し配筋とする

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

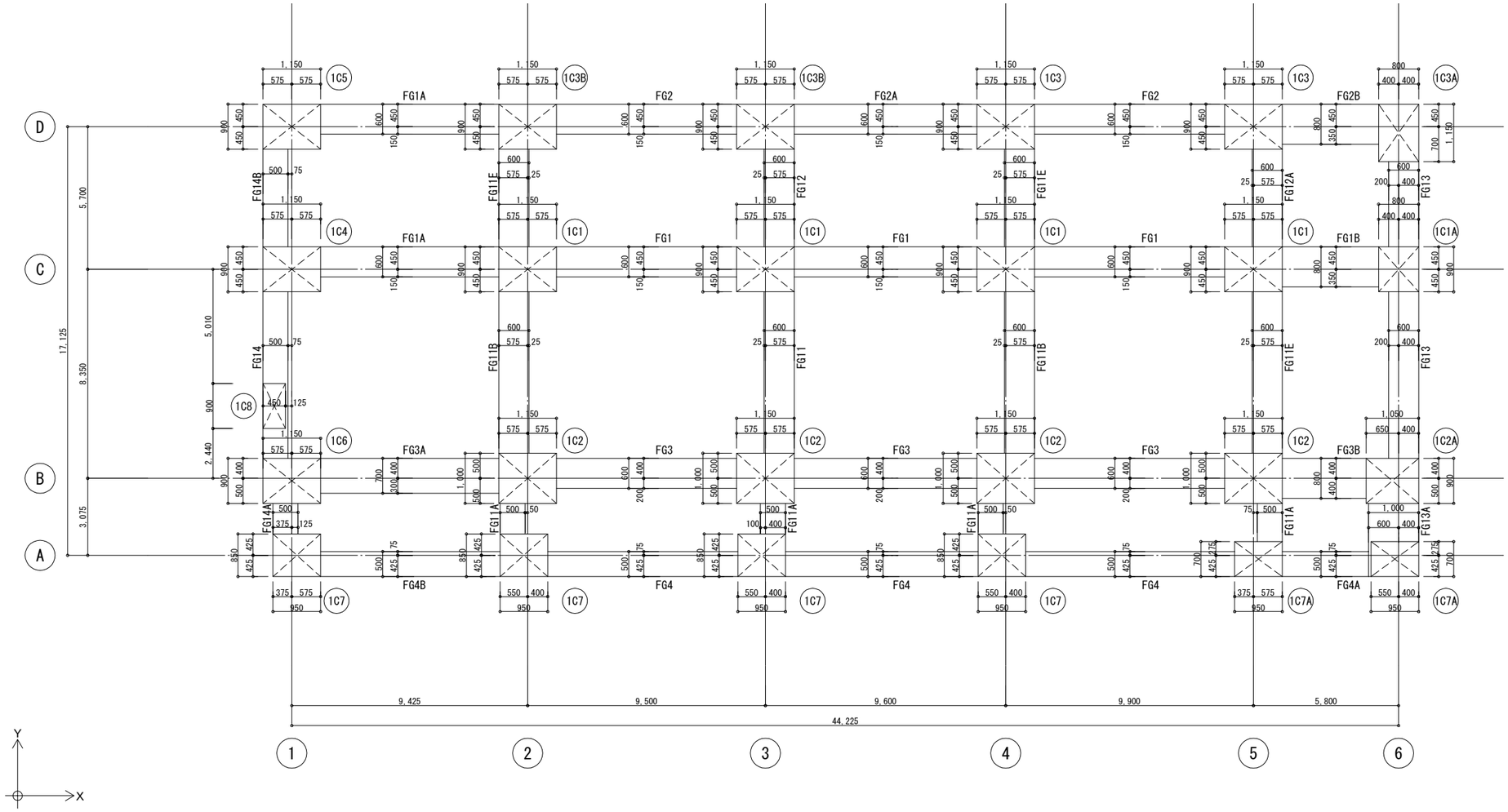
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 基礎梁リスト（２）・基礎小梁リスト

縮尺 A1：1/50 A3：1/100

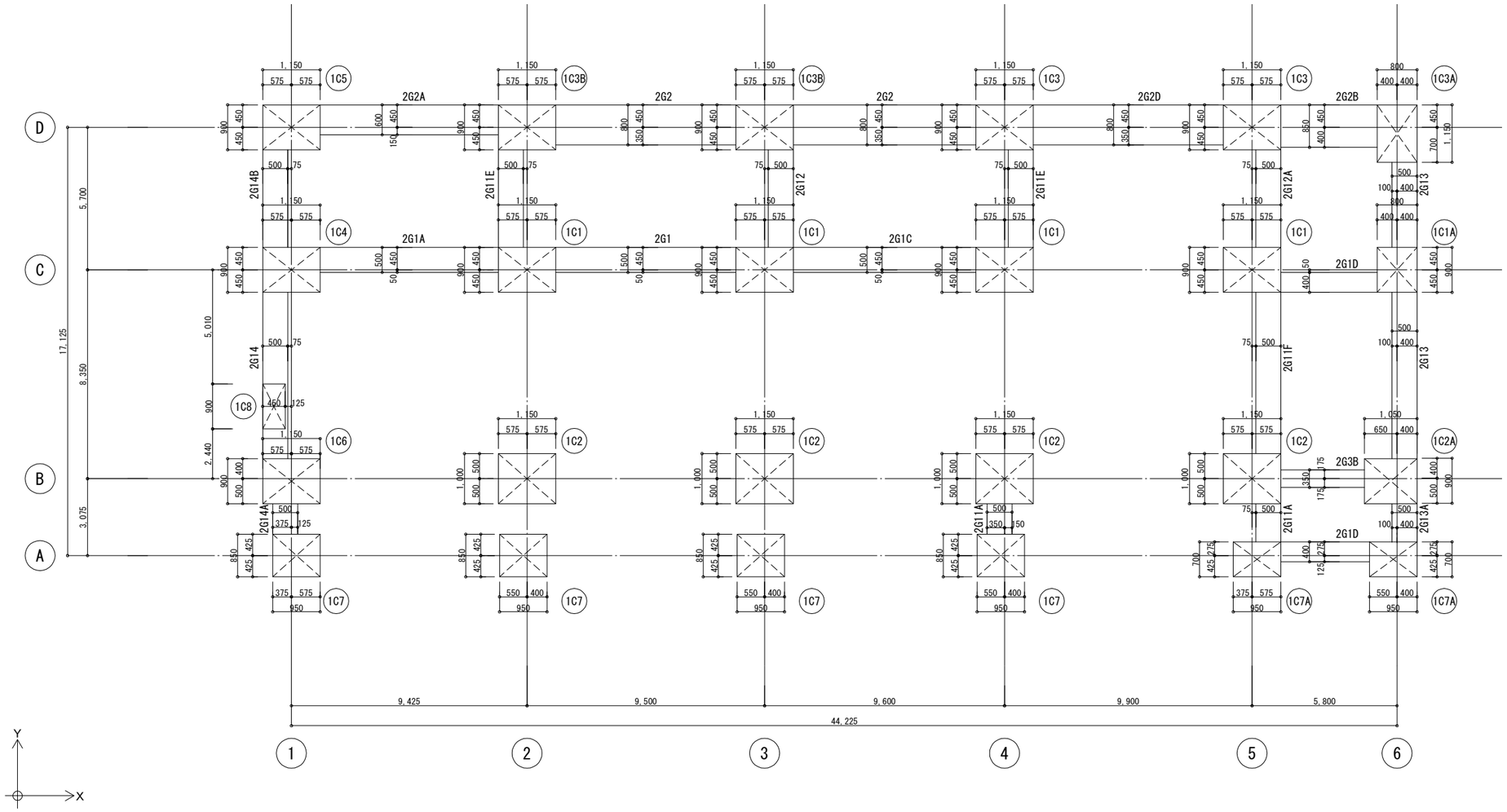
当初・変更・完成

図番 S-027



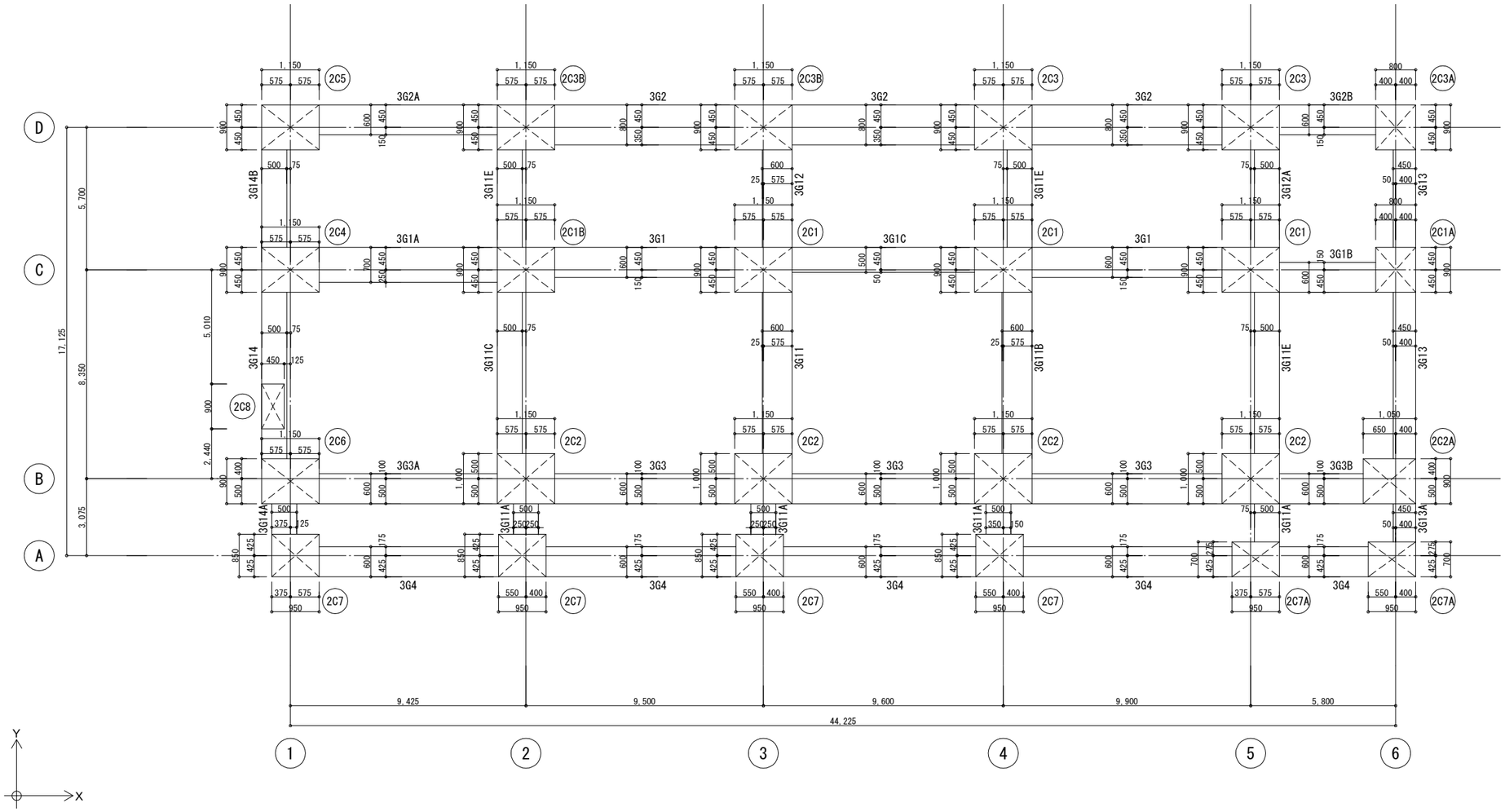
1階柱1階梁芯線図(見下げ図)　S=1/50・100

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	柱梁芯線図１（１階柱１階梁） 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 S-028



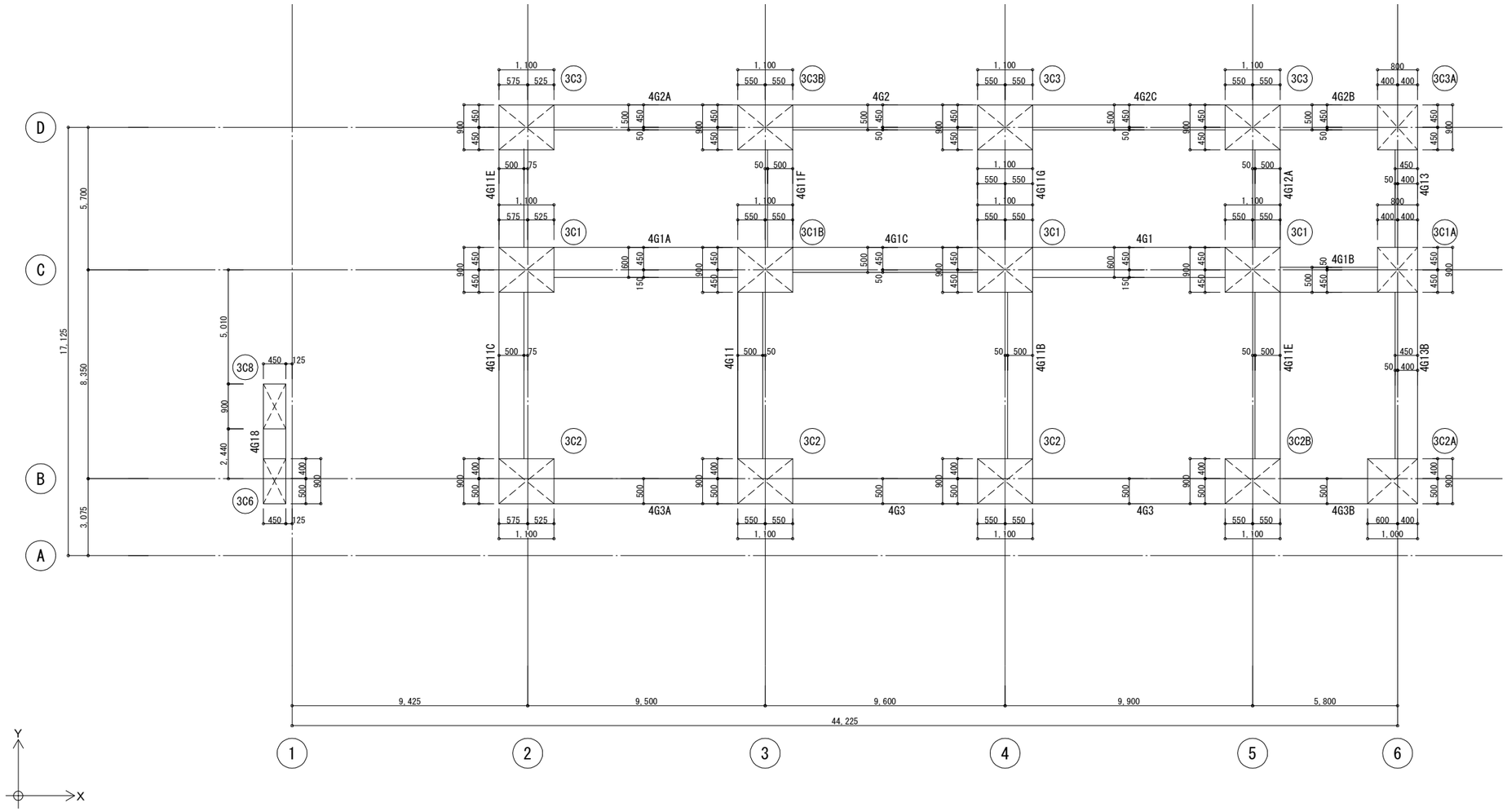
1階柱2階梁芯線図(見上げ図)　S=1/50・100

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事		当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称 柱梁芯線図２（１階柱２階梁）	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 S-029



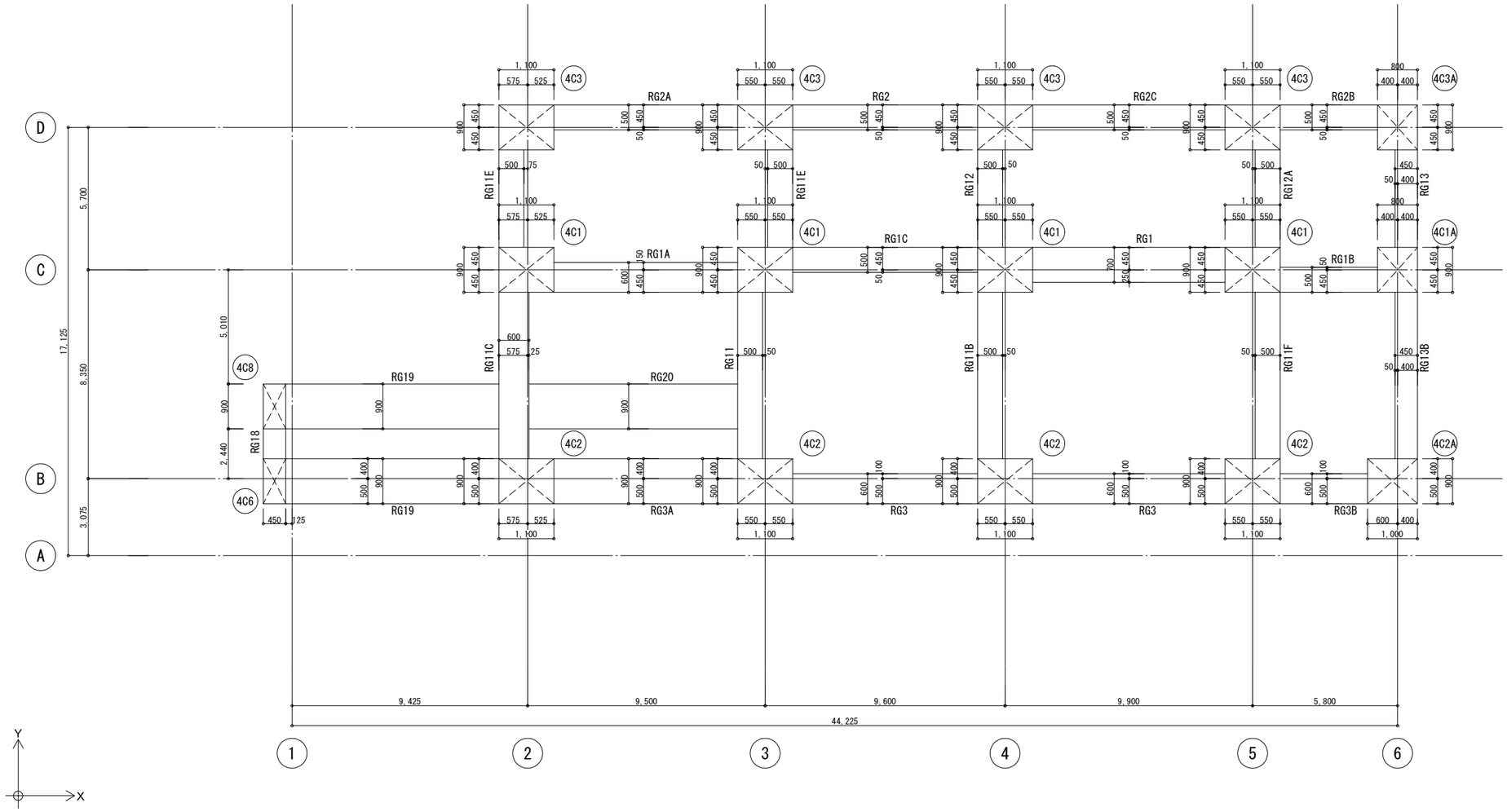
２階柱３階梁芯線図(見上げ図)　S=1/50・100

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 柱梁芯線図３（２階柱３階梁） 縮尺 A1：1/100 A3：1/200	図番 S-030



３階柱４階梁芯線図(見上げ図)　S=1/50・100

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241 設計者 佐藤 三谷	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 図面名称 柱梁芯線図４（３階柱４階梁）	当初・変更・完成 縮尺 A1：1/100 A3：1/200 図番 S-031



４階柱Ｒ階梁芯線図(見上げ図)　S=1/50・100

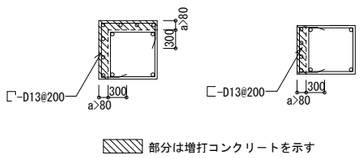
特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 図面名称 柱梁芯線図５（４階柱Ｒ階梁）	当初・変更・完成 縮尺 A1：1/100 A3：1/200 図番 S-032

柱リスト　S=1/50

階	符号	C1	C1A	C1B	C2	C2A	C2B	C3	C3A	C3B	C4	C5	C6	C7	C7A	C8
4	仕口内帯筋	田-D13 @100	□-D13 @ 90		田-D13 @100	田-D13 @100		田-D13 @100	□-D13 @ 90				□-D13 @ 90			□-D13 @ 90
	断面	5 / 5 / D / B	4 / 5		5 / 5	5 / 5		5 / 7	4 / 5				3 / 5			3 / 5
	B x D	1100x900	800x900		1100x900	1000x900		1100x900	800x900				450x900			450x900
	主筋	16-D25	14-D25		16-D25	16-D25		20-D25	14-D25				12-D25			12-D25
	帯筋	□-D13 @100	□-D13 @100		□-D13 @100	□-D13 @100		□-D13 @100	□-D13 @100				□-D13 @100			□-D13 @100
3	仕口内帯筋	(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 90	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 90	(3,3)田-D13 @100			□-D13 @ 90			□-D13 @ 90
	断面	5 / 5	4 / 5	5 / 5	5 / 6	5 / 5	5 / 6	5 / 7	4 / 5	5 / 7			3 / 5			3 / 5
	B x D	1100x900	800x900	1100x900	1100x900	1000x900	1100x900	1100x900	800x900	1100x900			450x900			450x900
	主筋	16-D29	14-D29	16-D29	18-D29	16-D29	18-D29	20-D29	14-D29	20-D29			12-D25			12-D25
	帯筋	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	(4,4)田-D13 @100	(4,2)目-D13 @100	□-D13 @100	(4,2)目-D13 @100			□-D13 @100			□-D13 @100
2	仕口内帯筋	(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 90	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100		(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 90	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 80	□-D13 @ 80	—
	断面	5 / 5	4 / 5	5 / 5	5 / 6	5 / 5		6 / 7	4 / 5	5 / 7	6 / 6	6 / 6	5 / 5	5 / 6	4 / 5	3 / 5
	B x D	1150x900	800x900	1150x900	1150x1000	1050x900		1150x900	800x900	1150x900	1150x900	1150x900	1150x900	950x850	950x700	450x900
	主筋	16-D29	14-D29	16-D29	18-D29	16-D29		22-D29	14-D29	20-D29	20-D25	20-D25	16-D29	18-D29	14-D25	12-D25
	帯筋	□-D13 @100	□-D13 @100	(4,4)田-MK13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100		(3,2)目-MK13 @100	(4,2)目-D13 @100	(3,2)目-MK13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100
1	仕口内帯筋	(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 90		(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100		(3,3)田-D13 @100	(3,2)目-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	(3,3)田-D13 @100	□-D13 @ 80	□-D13 @ 80	—
	断面	5 / 5	4 / 5		5 / 6	5 / 5		6 / 7	4 / 7	5 / 7	6 / 6	6 / 6	5 / 5	5 / 6	4 / 5	3 / 5
	B x D	1150x900	800x900		1150x1000	1050x900		1150x900	800x1150	1150x900	1150x900	1150x900	1150x900	950x850	950x700	450x900
	主筋	16-D29	14-D29		18-D29	16-D29		22-D29	18-D32	20-D29	20-D29	20-D29	16-D29	18-D29	14-D25	12-D25
	帯筋	(4,2)目-D13 @100	□-D13 @100		□-D13 @100	□-D13 @100		(3,2)目-MK13 @100	(4,2)目-D13 @100	(3,2)目-MK13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100
	仕口内帯筋	□-D13 @100	□-D13 @100		□-D13 @100	□-D13 @100		□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	—

柱　増打補強図

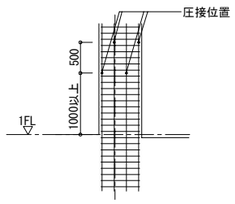
・補強筋は、柱主筋の一段落しかつD16以上とし@300とする



・増打幅a<500の場合、補強主筋は柱主筋の3段落し径かつD16以上@300以下、補強帯筋は、柱せん断補強筋と同径、倍ピッチ・定着長さは300とし、柱主筋内に定着させる。

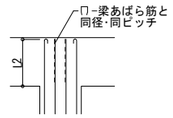
・増打幅a≧500の場合、補強主筋は柱主筋の2段落し径かつD16以上@300以下、補強帯筋は、柱せん断補強筋と同径、倍ピッチ・定着長さは300とし、柱主筋内に定着させる。

柱主筋（1階部分）圧接位置図

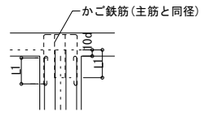


柱頭部　キャップ筋配筋要領図

・定着長がL2確保できる場合

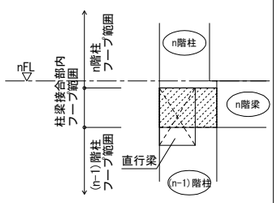


・定着長がL2確保できない場合



かご鉄筋使用の場合
柱頭の配筋

柱梁仕口部内　帯筋範囲



鋼材種別	
D10～D16	SD295
D19～D25	SD345
D29～D32	SD390

特記事項
・帯筋は溶接閉鎖型とする。（中子筋及び仕口内帯筋を除く）
・柱幅止め筋はD10@1000以下とする。（幅800以下、中子筋がある場合は中止してもよい）
・主筋は原則、圧接継手とする。また、監督職員と協議の溶接継手を採用しても可とする。
・帯筋は原則、柱幅-100で加工すること。
・帯筋の中子筋加工寸法せいは、外周帯筋と同一せいとすること。
・せん断補強筋 MK は高強度せん断補強筋エムケーフープ（785級）を示す。
・開口が隣接する柱には帯筋補強を施す。具体的な位置と仕様は軸組図参照。
・鉄筋のかぶり厚さはS-002,2-7の表の数値に＋10mm加算すること。

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

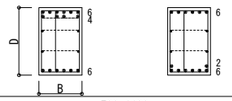
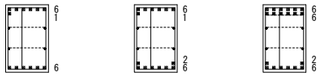
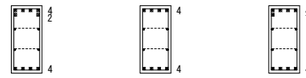
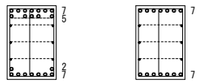
図面名称 柱リスト

縮尺 A1：1/50 A3：1/100

当初・変更・完成

図番 S-033

大梁リスト（1）　S=1/50

階	符号	G1		G1A			G1B		G1C		G1D	G2	
R	位置	両端	中央	両端	中央		5 端	中央・6 端	両端	中央		両端	中央
	断面												
	B x D	700x1100		600x1100			500x800		500x1100			500x1000	
	上端筋	10-D25	6-D25	8-D25	5-D25		7-D25	4-D25	5-D25	4-D25		7-D25	4-D25
	下端筋	6-D25	8-D25	5-D25	6-D25		4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		4-D25	4-D25
	カットオフ長さ 上端筋	2,800	–	2,650	–		1,850	–	–			2,750	–
	カットオフ長さ 下端筋	–	–	–	–		–	–	–			–	–
	あばら筋	(3)Ⅲ-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200	
	腹筋	4-D10		4-D10			2-D10		4-D10			4-D10	
4	位置	両端	中央	2 端・中央	3 端		全断面		全断面			両端	中央
	断面												
	B x D	600x1100		600x1100			500x1100		500x1100			500x1100	
	上端筋	7-D29	5-D29	5-D29	6-D29		4-D29		4-D29			8-D29	5-D29
	下端筋	5-D29	5-D29	5-D29	5-D29		4-D29		4-D29			5-D29	4-D29
	カットオフ長さ 上端筋	–		–			–		–			2,700	–
	カットオフ長さ 下端筋	–		–			–		–			–	–
	あばら筋	□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200			(3)Ⅲ-D13 @150	
	腹筋	4-D10		4-D10			4-D10		4-D10			4-D10	
3	位置	両端	中央	1 端	中央	2 端	5 端	中央・6 端	両端	中央		両端	中央
	断面												
	B x D	600x1100		700x1100			600x1200		500x1100			800x1100	
	上端筋	8-D29	5-D29	7-D29	7-D29	12-D29	8-D29	5-D29	5-D29	4-D29		13-D29	7-D29
	下端筋	7-D29	5-D29	6-D29	8-D29	8-D29	7-D29	5-D29	4-D29	4-D29		11-D29	7-D29
	カットオフ長さ 上端筋	2,700	–	–	–	3,050	2,600	–	–			3,500	–
	カットオフ長さ 下端筋	–	–	–	–	–	1,900	–	–			–	–
	あばら筋	□-D13 @200		(3)Ⅲ-D13 @150			□-D13 @200		□-D13 @200			(4)Ⅲ-D13 @150	
	腹筋	4-D10		4-D10			6-D10		4-D10			4-D10	
2	位置	両端	中央	両端	中央				3 端	中央	4 端	全断面	両端	中央
	断面												
	B x D	500x1200		500x1200					500x1100			400x650	800x1200	
	上端筋	5-D29	4-D29	5-D29	4-D29				6-D29	4-D29	5-D29	3-D29	12-D32	7-D32
	下端筋	4-D29	4-D29	4-D29	4-D29				4-D29	4-D29	4-D29	3-D29	9-D32	7-D32
	カットオフ長さ 上端筋	–		–					–				3,500	–
	カットオフ長さ 下端筋	–		–					–				–	–
	あばら筋	□-D13 @200		□-D13 @200					□-D13 @200			□-D13 @200	(3)Ⅲ-D13 @150	
	腹筋	6-D10		6-D10					4-D10			2-D10	6-D10	

鋼材種別	
D10～D16	SD295
D19～D25	SD345
D29～D32	SD390

特記事項（大梁リスト共通）
・幅止め筋は、D10@1000とする。
・あばら筋の中子筋の加工形状：加工寸法せいは、外周あばら筋と同一せいとする。
・梁貫通補強…貫通径φが梁せい1/10かつ100mm以下は補強を不要とする。 補強方法はメーカーの計算結果及び仕様書に基づくこと。
・主筋は原則、圧接継手とする。また、監督職員と協議のうえ、溶接継手・機械式継手を 採用しても可とする。
・せん断補強筋 MK は高強度せん断補強筋エムケーフープ（785級）を示す。
・鉄筋のかぶり厚さはS-002,2-7の表の数値に＋10mm加算すること。

※その他共通事項については、大梁リスト（５）を参照すること。

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

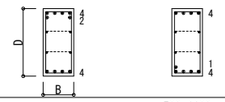
図面名称 大梁リスト（1）

縮尺 A1：1/50 A3：1/100

当初・変更・完成

図番 S-034

大梁リスト（２）　S=1/50

階	符号	G2A			G2B		G2C		G2D	G3		G3A			G3B		G4
R	位置	2 端	中央	3 端	5 端	中央・6 端	両端	中央		両端	中央	全断面			5 端	中央・6 端	
	断面																
	B x D	500x1100			500x800		500x1000			600x1100		900x700			600x1100		
	上端筋	6-D25	4-D25	7-D25	5-D25	4-D25	7-D25	4-D25		8-D25	5-D25	7-D25			6-D25	5-D25	
	下端筋	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		5-D25	6-D25	7-D25			5-D25	5-D25	
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 上端筋	–	–	2,850	1,650	–	2,850	–		2,750	–	–			1,850	–	
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 下端筋	–	–	–	–	–	–	–		–	–	–			–	–	
	あばら筋	□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200		(3)四-D13 @200			□-D13 @200		
	腹筋	4-D10			2-D10		4-D10			4-D10		2-D10			4-D10		
4	位置	両端	中央		5 端	中央・6 端	両端	中央		両端	中央	2 端	中央	3 端	全断面		
	断面																
	B x D	500x1100			500x1100		500x1050			500x1100		500x1100			500x1100		
	上端筋	6-D29	4-D29		7-D29	6-D29	8-D29	5-D29		7-D29	4-D29	8-D29	5-D29	8-D29	5-D29		
	下端筋	4-D29	4-D29		5-D29	5-D29	5-D29	4-D29		4-D29	4-D29	6-D29	5-D29	5-D29	4-D29		
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 上端筋	–	–		2,200	–	2,650	–		3,000	–	2,700	–	2,700	–		
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 下端筋	–	–		–	–	–	–		–	–	–	–	–	–		
	あばら筋	□-D13 @200			(4)四-D13 @150		(3)四-D13 @150			(3)四-D13 @200		(3)四-D13 @150			□-D13 @200		
	腹筋	4-D10			4-D10		4-D10			4-D10		4-D10			4-D10		
3	位置	1 端	中央	2 端	5 端	中央・6 端				両端	中央	1 端	中央	2 端	5 端	中央・6 端	全断面
	断面																
	B x D	600x1100			600x1100					600x1200		600x1200			600x1200		600x1200
	上端筋	7-D29	5-D29	8-D29	8-D29	7-D29				8-D29	5-D29	6-D29	5-D29	8-D29	7-D29	6-D29	8-D29
	下端筋	7-D29	5-D29	7-D29	8-D29	7-D29				7-D29	5-D29	6-D29	5-D29	7-D29	7-D29	6-D29	5-D29
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 上端筋	2,700	–	2,600	2,150	–				2,800	–	–	–	2,700	2,050	–	–
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 下端筋	–	–	–	1,950	–				–	–	–	–	–	1,800	–	–
	あばら筋	(3)四-D13 @200			(3)四-D13 @150					□-D13 @200		□-D13 @200			(3)四-D13 @200		(3)四-D13 @150
	腹筋	4-D10			4-D10					6-D10		6-D10			6-D10		6-D10
2	位置	1 端	中央	2 端	全断面				4 端	中央・5 端					全断面		
	断面																
	B x D	600x1200			850x900				800x1200						350x1200		
	上端筋	9-D32	5-D32	8-D32	8-D29				12-D32	7-D32					5-D29		
	下端筋	6-D32	5-D32	5-D32	8-D29				9-D32	7-D32					5-D29		
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 上端筋	3,050	–	2,700	–				3,050	–					–		
	ｶｯﾄｵﾌ長さ 下端筋	–	–	–	–				–	–					–		
	あばら筋	(4)四-D13 @150			(4)四-D13 @100				四-D13 @150						(3)四-D13 @150		
	腹筋	6-D10			4-D10				4-D10						6-D10		

特記事項
・
・
・
・

株式会社あい設計
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

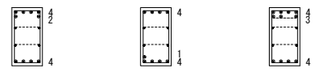
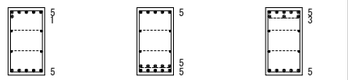
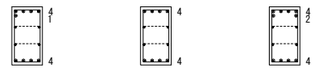
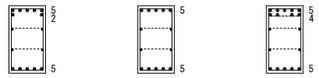
図面名称 大梁リスト（２）

縮尺 A1：1/50 A3：1/100

当初・変更・完成

図番 S-035

大梁リスト（３）　　S=1/50

階	符号		G11			G11A		G11B			G11C			G11E	G11F	G11G
R	位置		全断面					B 端	中央	C 端	B 端	中央	C 端	全断面	全断面	
	断面															
	B x D		500x800					500x950			600x1100			500x800	500x750	
	上端筋		4-D25					6-D25	4-D25	7-D25	6-D25	5-D25	8-D25	4-D25	4-D25	
	下端筋		4-D25					4-D25	5-D25	4-D25	5-D25	10-D25	5-D25	4-D25	4-D25	
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-					-	-	2,450	-	-	2,750	-	-	
		下端筋	-					-	-	-	-	-	-	-	-	
	あばら筋		□-D13 @200					□-D13 @200			□-D13 @200			□-D13 @200	□-D13 @200	
	腹筋		2-D10					4-D10			4-D10			2-D10	2-D10	
4	位置		全断面					B 端	中央	C 端	全断面			全断面	全断面	全断面
	断面															
	B x D		500x850					500x950			500x850			500x750	500x900	1100x900
	上端筋		4-D25					5-D25	4-D25	6-D25	4-D25			4-D25	4-D25	8-D25
	下端筋		4-D25					4-D25	4-D25	4-D25	4-D25			4-D25	4-D25	8-D25
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-					-			-			-	-	-
		下端筋	-					-			-			-	-	-
	あばら筋		□-D13 @200					□-D13 @200			□-D13 @200			□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
	腹筋		2-D10					4-D10			2-D10			2-D10	4-D10	4-D10
3	位置		B 端	中央	C 端	A 端・中央	B 端	B 端	中央	C 端	全断面			全断面		
	断面															
	B x D		600x1100			500x700		600x1100			500x800			500x750		
	上端筋		7-D25	5-D25	9-D25	4-D25	6-D25	7-D25	5-D25	9-D25	4-D25			4-D25		
	下端筋		5-D25	6-D25	5-D25	4-D25	4-D25	5-D25	5-D25	5-D25	4-D25			4-D25		
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-	-	2,650	-	1,300	-	-	5,200	-			-		
		下端筋	-	-	-	-	-	-	-	-	-			-		
	あばら筋		□-D13 @200			(3)□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200			□-D13 @200		
	腹筋		4-D10			2-D10		4-D10			2-D10			2-D10		
2	位置					全断面								全断面	全断面	
	断面															
	B x D					500x700								500x750	500x700	
	上端筋					4-D25								4-D25	4-D25	
	下端筋					4-D25								4-D25	4-D25	
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋				-								-	-	
		下端筋				-								-	-	
	あばら筋					(3)□-D13 @200								□-D13 @200	□-D13 @200	
	腹筋					2-D10								2-D10	2-D10	

特記事項 ・	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
・	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 大梁リスト（３）	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 S-036
・							
・							

大梁リスト（4）　S=1/50

階	符号		G12		G12A		G13	G13A	G13B	G14	G14A	G14B
R	位置		C 端	中央・D 端	全断面		全断面		全断面			
	断面											
	B x D		500x800		500x750		450x700		450x1100			
	上端筋		6-D25	4-D25	4-D25		3-D25		4-D25			
	下端筋		4-D25	4-D25	4-D25		3-D25		4-D25			
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-		-		-		-			
		下端筋	-		-		-		-			
	あばら筋		◫-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200			
	腹筋		2-D10		2-D10		2-D10		4-D10			
4	位置				全断面		全断面		全断面			
	断面											
	B x D				500x750		450x700		450x1100			
	上端筋				4-D25		3-D25		4-D25			
	下端筋				4-D25		3-D25		4-D25			
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋			-		-		-			
		下端筋			-		-		-			
	あばら筋				□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200			
	腹筋				2-D10		2-D10		4-D10			
3	位置		C 端	中央・D 端	C 端・中央	D 端	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面
	断面											
	B x D		600x750		500x750		450x700	450x700		500x700	500x700	500x750
	上端筋		6-D25	5-D25	5-D25	8-D25	3-D25	3-D25		4-D25	4-D25	4-D25
	下端筋		5-D25	5-D25	4-D25	6-D25	3-D25	3-D25		4-D25	4-D25	4-D25
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-		-	2,100	-	-		-	-	-
		下端筋	-		-	-	-	-		-	-	-
	あばら筋		□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
	腹筋		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10
2	位置		C 端・中央	D 端	C 端・中央	D 端	全断面	全断面		全断面	全断面	全断面
	断面											
	B x D		600x800		500x700		500x700	500x700		500x700	500x700	500x750
	上端筋		7-D25	8-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D25		4-D25	4-D25	4-D25
	下端筋		4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25		4-D25	4-D25	4-D25
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-	1,700	-		-	-		-	-	-
		下端筋	-	-	-		-	-		-	-	-
	あばら筋		(3)◫-D13 @150		□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200		□-D13 @200	□-D13 @200	□-D13 @200
	腹筋		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	2-D10

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 大梁リスト（4）

縮尺 A1：1/50 A3：1/100

当初・変更・完成

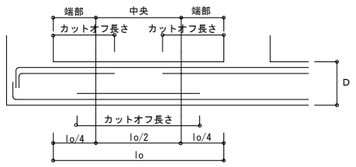
図番 S-037

大梁リスト（５）　S=1/50

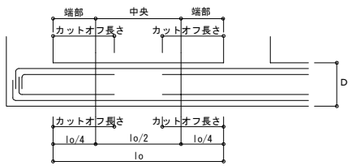
階	符号		G18	G19			G20		
	位置		全断面	1 端	中央	2 端	2 端	中央	3 端
R	断面								
	B x D		450x600	900x700			900x700		
	上端筋		3-D22	8-D25	8-D25	14-D25	14-D25	8-D25	8-D25
	下端筋		3-D22	7-D25	9-D25	9-D25	9-D25	9-D25	7-D25
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-	-	-	3,000	3,000	-	-
		下端筋	-	-	-	-	-	-	-
	あばら筋		□-D13 @200	(3)□-D13 @200			(3)□-D13 @200		
	腹筋		2-D10	2-D10			2-D10		
4	位置		全断面						
	断面								
	B x D		450x600						
	上端筋		3-D22						
	下端筋		3-D22						
	ｶｯﾄｵﾌ長さ	上端筋	-						
		下端筋	-						
	あばら筋		□-D13 @200						
	腹筋		2-D10						

大梁端部カットオフ要領図

・中央下端筋が端部下端筋よりも本数が多い場合

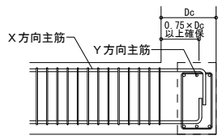


・端部下端筋が中央下端筋よりも本数が多い場合



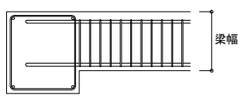
梁の主筋納まり

・梁天端が同レベルの場合

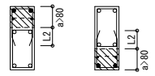


あばら筋要領図

・柱と同面に納まる大梁のあばら筋加工形状



大梁　上下面増打補強図



部分は増打コンクリートを示す

・増打ち高さa>80の場合・・・補強主筋は梁主筋の3段落し径、かつD16以上とする
　500≧a>≧200の場合・・・補強主筋は梁主筋の3段落し径、かつD16以上とする
　a>500の場合・・・補強主筋は梁主筋の2段落し径、かつD16以上とする
・主筋は梁幅350以下は2本、350を超える場合は@200以下とする
・補強あばら筋は、梁あばら筋と同径・同ピッチとし、定着長さはL2とする
・補強腹筋は、梁の腹筋と同径・同ピッチとする
・設計図書に表示のない増打コンは事前に構造設計者の了解を得ること
・ ● 印補強筋は、柱に0～150程度の定着とする

大梁　側面増打補強図

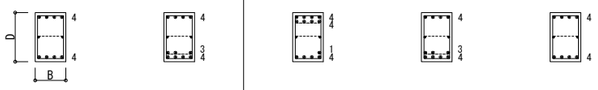
部分は増打コンクリートを示す

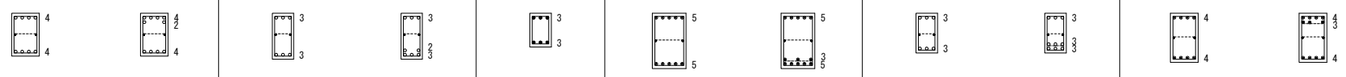
・増打ち幅　a>80の場合・・・補強梁主筋は梁主筋の2段落し径、かつD16以上@200以下、
　補強あばら筋は梁せん断補強筋と同径・倍ピッチかつ200以下・
　定着長さは300とし梁主筋内に定着

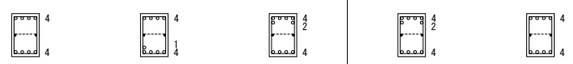
特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	図面名称 大梁リスト（５） 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	図番 S-038

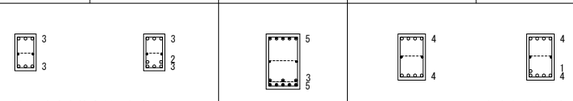
小梁リスト　S=1/50

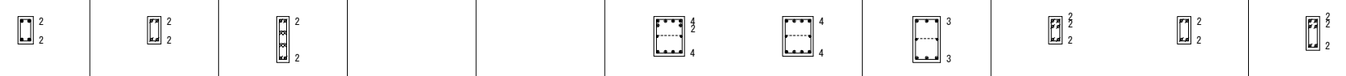
特記事項
・幅止め筋は、D10@1000とする。　・鋼材種別　D10～D16：SD295,　D19～D25：SD345　・鉄筋のかぶり厚さはS-002,2-7の表の数値に＋10mm加算すること。

符号	RB1		RB1A			RB2			RB3		RB4		RB5	RB6	
位置	両端	中央	3 端	中央	4 端	B 端	中央	C 端	C 端	中央・D 端	両端	中央	全断面	両端	中央
断面															
B x D	500x800		500x800			400x750			400x750		400x800		350x600	400x750	
上端筋	4-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D22	3-D22	3-D22	3-D25	3-D25
下端筋	4-D25	7-D25	5-D25	7-D25	4-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D22	6-D22	5-D22	3-D25	5-D25
スターラップ	□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @200		□-D10 @200	□-D13 @200	
腹筋	2-D10		2-D10			2-D10			2-D10		2-D10		2-D10	2-D10	

符号	4B1		4B2		4B3	4B4		4B5		4B6					
位置	他端・中央	C 端	両端	中央	全断面	両端	中央	両端	中央	他端・中央	3 端				
断面															
B x D	450x700		350x750		350x550	550x900		350x650		450x800					
上端筋	4-D22	6-D22	3-D22	3-D22	3-D19	5-D25	5-D25	3-D22	3-D22	4-D25	7-D25				
下端筋	4-D22	4-D22	3-D22	5-D22	3-D19	5-D25	8-D25	3-D22	6-D22	4-D25	4-D25				
スターラップ	□-D13 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	□-D13 @200		□-D10 @200		□-D13 @200					
腹筋	2-D10		2-D10		—	2-D10		2-D10		2-D10					

符号	3B1			3B2		3B3		3B4		3B5		3B6		3B7	3B7A
位置	B 端	中央	C 端	C 端	中央・他端	両端	中央	両端	中央	両端	中央	他端・中央	3 端	全断面	全断面
断面															
B x D	450x700			450x700		350x600		450x750		450x800		450x800		350x600	350x600
上端筋	4-D22	4-D22	6-D22	6-D22	4-D22	3-D19	3-D19	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	3-D19	4-D19
下端筋	4-D22	5-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D19	5-D19	4-D22	6-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22	4-D19	3-D19
スターラップ	□-D13 @200			□-D13 @200		□-D10 @200		□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @200		□-D10 @200	□-D10 @200
腹筋	2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10

符号	3B8・3B8A		3B9	2B1・2B1A			2B2		2B3		CB1		2B4	2B5	
位置	両端	中央	全断面	1 端・4 端	中央	2 端・3 端	両端	中央	両端	中央	先端	基端	全断面	全断面	
断面											※ 通し配筋とする				
	3BAは中央主筋全断面とする			( )内は2B1Aを示す											
B x D	350x600		550x900	450x750 (450x1000)			450x750		350x700		500x1000		500x1000	350x500	
上端筋	3-D22	3-D22	5-D25	4-D22	4-D22	5-D22	5-D22	4-D22	3-D22	3-D22	5-D25	10-D25	10-D25	3-D19	
下端筋	3-D22	5-D22	8-D25	4-D22	5-D22	4-D22	4-D22	4-D22	3-D22	4-D22	5-D25	5-D25	5-D25	4-D19	
スターラップ	□-D10 @200		□-D13 @200	□-D13 @200			□-D13 @200		□-D10 @200		□-D13 @200		□-D13 @200	□-D10 @200	
腹筋	2-D10		2-D10	2-D10			2-D10		2-D10		4-D10		4-D10	—	

符号	B51	B52	B53			CG1		CG2	CB2		CB3				
位置	全断面	全断面	全断面			基端	先端	全断面	基端	先端	基端	先端			
断面															
B x D	250x450	220x450	200x750			500x650		450x750	220x450		220x550				
上端筋	2-D19	2-D16	2-D16			6-D25	4-D25	3-D25	4-D16	2-D16	4-D16	2-D16			
下端筋	2-D19	2-D16	2-D16			4-D25	4-D25	3-D25	2-D16	2-D16	2-D16	2-D16			
スターラップ	□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200			□-D13 @200		□-D13 @200	□-D10 @200		□-D10 @200				
腹筋	—	—	4-D13			2-D10		2-D10	—		—				

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 小梁リスト

縮尺 A1：1/50 A3：1/100

当初・変更・完成

図番 S-039

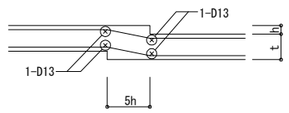
スラブリスト

特記事項
・スラブ増打ち厚さが50mmを超える場合は、溶接金網6φ-150x150以上で補強すること。
・鉄筋のかぶり厚さはS-002,2-7の表の数値に＋10mm加算すること。

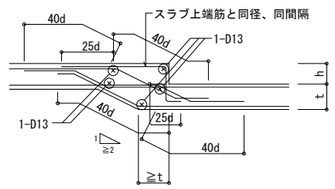
符　号	厚　さ	位置	主筋方向配筋	配力筋方向配筋	備　考
S15	150	上	D10,D13 @200	D10 @200	
		下	D10 @200	D10 @200	
S15A	150	上	D10,D13 @200	D10,D13 @200	
		下	D10 @200	D10 @200	
S15B	150	上	D10,D13 @150	D10,D13 @150	
		下	D10 @150	D10 @150	
S18	180	上	D13 @100	D13 @100	
		下	D13 @100	D13 @100	
S18A	180	上	D13,D16 @100	D13 @200	
		下	D13,D16 @100	D13 @200	
S20	200	上	D13,D16 @150	D13 @200	
		下	D13,D16 @150	D13 @200	
CS15	150	上	D10,D13 @200	D10 @200	
		下	D10 @200	D10 @200	
CS18	180～150	上	D13 @100	D10 @200	受け筋D16
		下	D10 @100	D10 @200	
CS18A	180	上	D13,D16 @100	D13 @200	受け筋D16
		下	D13,D16 @100	D13 @200	
CS20	200	上	D13 @200	D10,D13 @200	受け筋D16
		下	D10 @200	D10 @200	
FS18	180	上	D13 @100	D13 @100	
		下	D13 @100	D13 @100	
FS22	220	上	D13 @200	D13 @200	EVピット
		下	D13 @200	D13 @200	
FCS18	180	上	D13 @100	D13 @200	受け筋D16
		下	D13 @100	D13 @200	

スラブ段差要領(1)

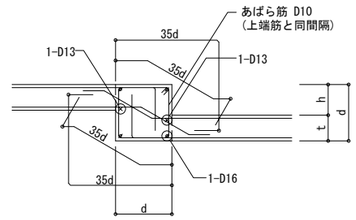
h≦70mmの場合



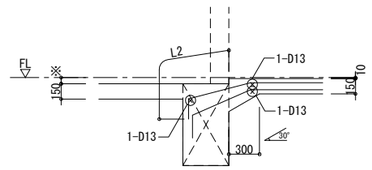
70mm<h≦150mmの場合



h>150mmの場合

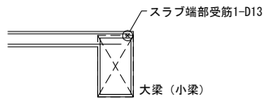


スラブ段差要領(2)　1/30

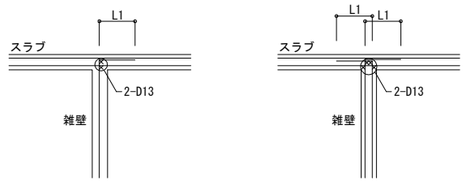


※かぶりが不足する場合はハンチを設けること

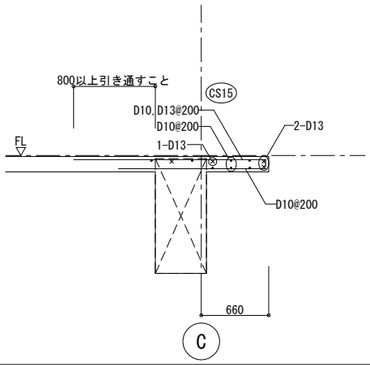
梁天端との段差がある場合のスラブ端部筋要領図



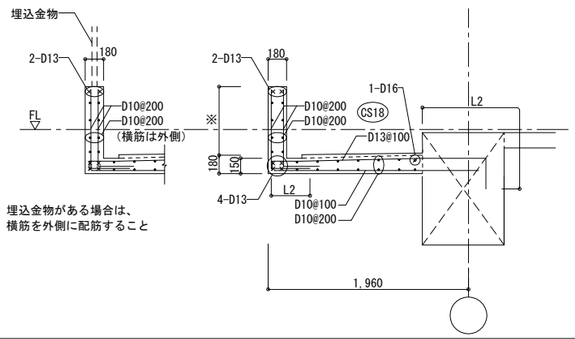
スラブと雑壁との取り合い要領図



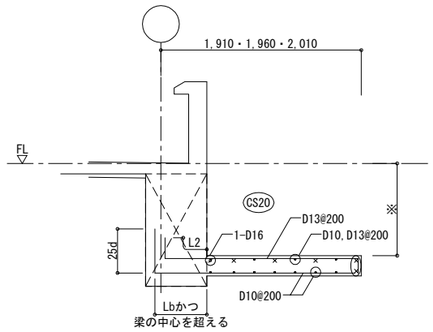
CS15　配筋詳細図　1/30



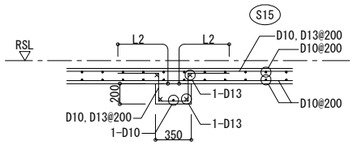
CS18　配筋詳細図　1/30



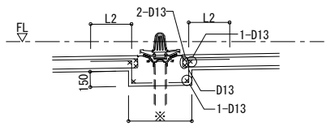
CS20　配筋詳細図　1/30



R階スラブ補強リブ　配筋詳細図　※寸法は意匠図による　1/30

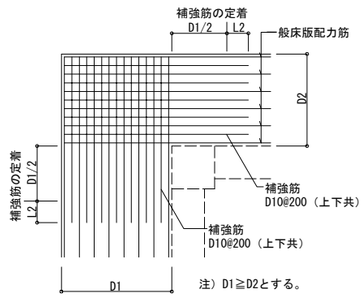


ルーフドレン周り　配筋詳細図　※寸法は意匠図による

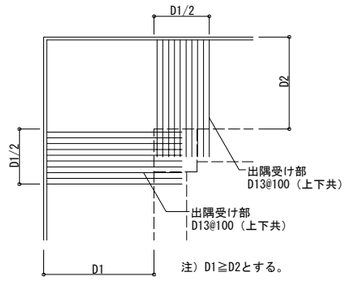


※寸法は納まり上、意匠上により決定すること

出隅部　補強詳細図　※寸法は意匠図による　1/30



出隅補強筋

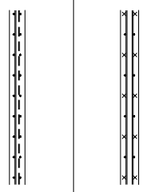
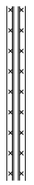
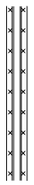
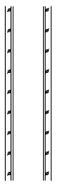
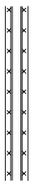
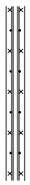
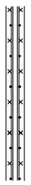
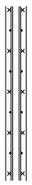
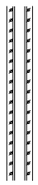
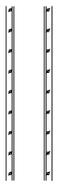
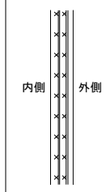


出隅受け部

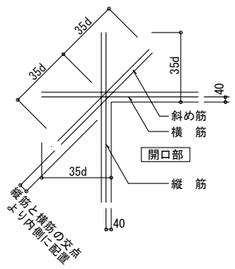
特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 スラブリスト　縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 S-040

壁リスト　S=1/30

特記事項
・リスト内表記は鉛直断面を示す。　・鉄筋のかぶり厚さはS-002,2-7の表の数値に＋10mm加算すること。

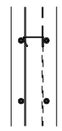
符号		W15	W18	W18A	W18B	W20	W45	KW22		EW18	EW18A	EW18B	EW18C	EW20	EW22	EW25	EW45		FW22		
厚さ		150	180	180	180	200	450	220		180	180	180	180	200	220	250	450		220		
断面																					
配筋種別		ﾁﾄﾞﾘ(縦)ﾀﾞﾌﾞﾙ(横)	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル		ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル	ダブル		ダブル		
縦筋		D10 @200	D10,D13 @200	D13 @200	D13 @150	D13 @200	D16 @200	D13 @150		D10,D13 @200	D10,D13 @200	D10,D13 @200	D10,D13 @200	D10,D13 @200	D13 @200	D16 @200	D16 @200		D13,D16 @100		
横筋		D10 @200	D10,D13 @200	D13 @200	D13 @200	D13 @200	D16 @200	D13 @200		D10,D13 @200	D10,D13 @200	D10,D13 @150	D10,D13 @150	D10,D13 @200	D13 @200	D16 @100	D16 @200		D13 @200		
開口補強筋	縦	2-D13	2-D13	4-D13	4-D13	—	—	—		2-D13	6-D16	6-D16	6-D16	4-D13	4-D19	4-D19	—		—		
	横	2-D13	2-D13	4-D13	4-D13	—	—	—		2-D13	6-D16	6-D16	6-D19	6-D13	4-D16	6-D19	—		—		
	斜め	—	—	6φ @100	6φ @100	—	—	—		6φ @100	6φ @100	6φ @100	2-D13	2-D13	4-D13	4-D16	—		—		
幅止め筋		D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000		D10@1,000	D10@1,000	D10@900	D10@900	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000	D10@1,000		D10@1,000		
備考								端部補強筋は 階段詳細図を参照													

壁開口部補強筋



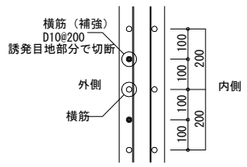
特記がない場合は、斜筋は柱・梁に定着させずに
柱・梁部材手前で折り曲げ壁内定着としてもよい

幅止め筋配筋要領



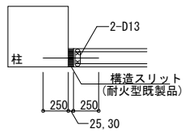
幅止め筋は横筋ダブルの内側に配置する。

外部（雨かかり部）横筋補強要領

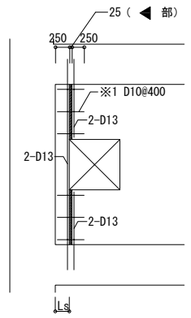


壁の横筋が@100のものは除く

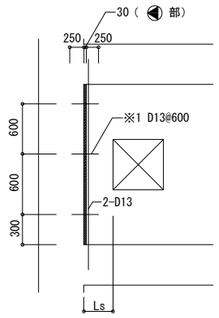
完全構造スリット（鉛直）



※1　防錆鉄筋又は溶融亜鉛めっきとする
（各図共通）

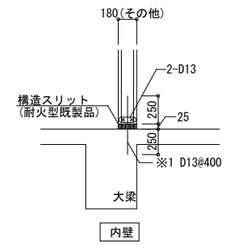


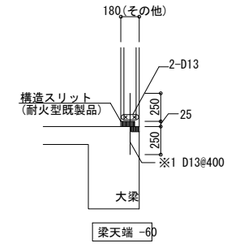
Ls＜300mm程度の場合、開口部の上下に
完全鉛直スリットを設ける
（ﾀﾞﾚ部分は含まない）



Ls≧300mm程度の場合、袖壁と
柱の境界部分に完全スリットを設ける
（ﾀﾞﾚ部分は含まない）

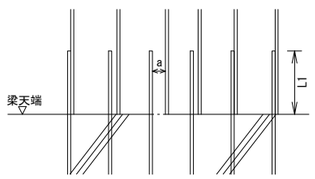
完全構造スリット（水平）





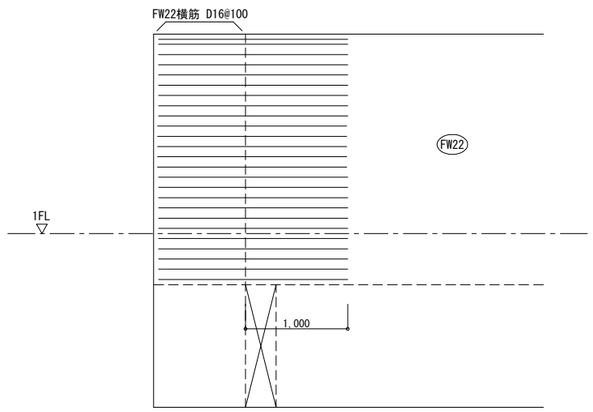
※1　防錆鉄筋又は溶融亜鉛めっきとする
（各図共通）

耐震壁の縦筋定着要領



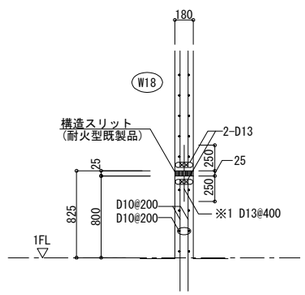
※ 壁縦筋のあき重ね継手の　a 寸法は、0.2L1かつ150mm以下とすること

FW22補強要領

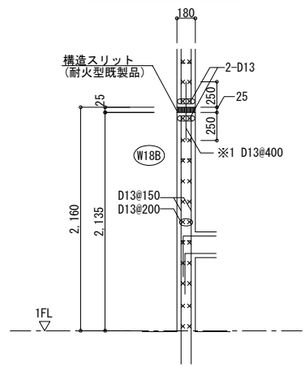


1階 5・C通り 構造スリット（水平）配筋要領図　S=1/30

A～B通り間　W18壁



C～D通り間　W18B壁



※1　防錆鉄筋又は溶融亜鉛めっきとする
（各図共通）

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長　担当課長　係長　担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

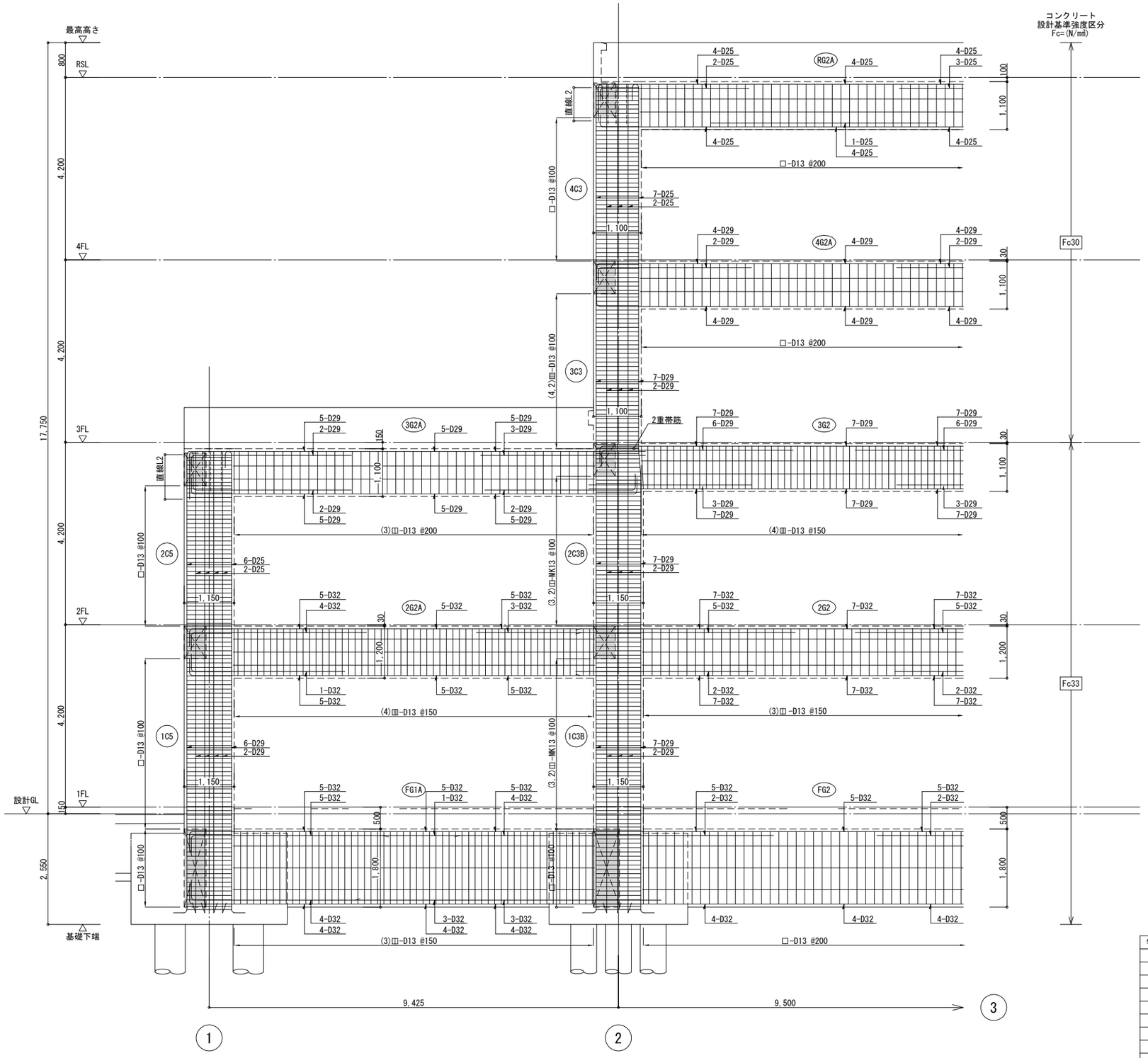
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 壁リスト

縮尺 A1:1/30 A3:1/60

当初・変更・完成

図番 S-041



Ⓓ 通り　架構詳細図　S=1/50

特記事項
・腹筋は図示の段数とし、鉄筋径・本数は下記とする。
基礎梁　…　2-D13
一般梁　…　2-D10
補強方法はメーカーの計算結果及び仕様書に基づくこと。
・仕口部帯筋は、(3,3)Ⅲ-D13 @100とする。
・カットオフ長さは大梁リストを参照すること。
・せん断補強筋 MK は高強度せん断補強筋エムケーフープ
（785級）を示す。

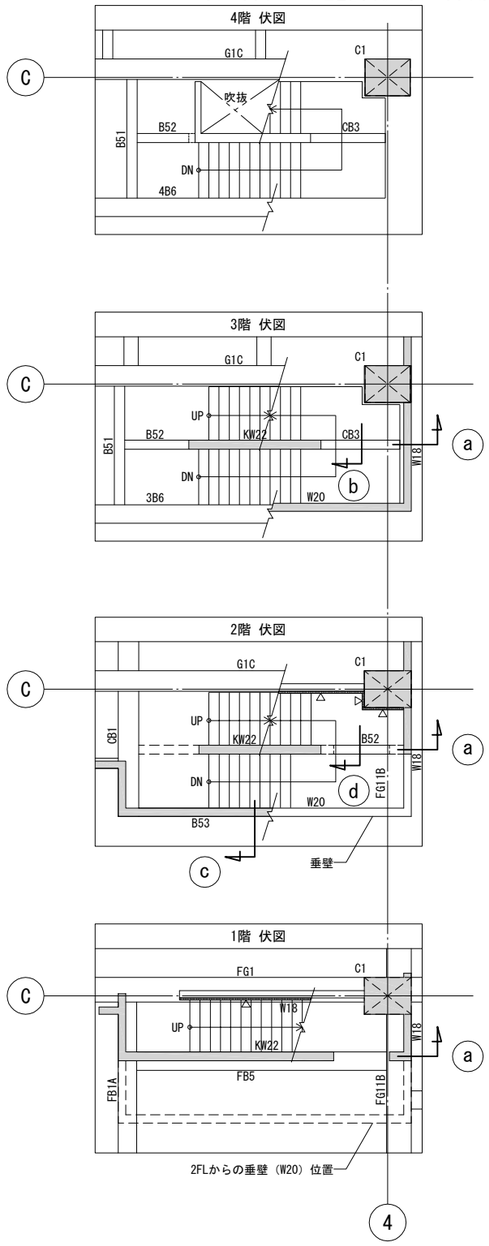
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 架構詳細図 / 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 図番 S-042

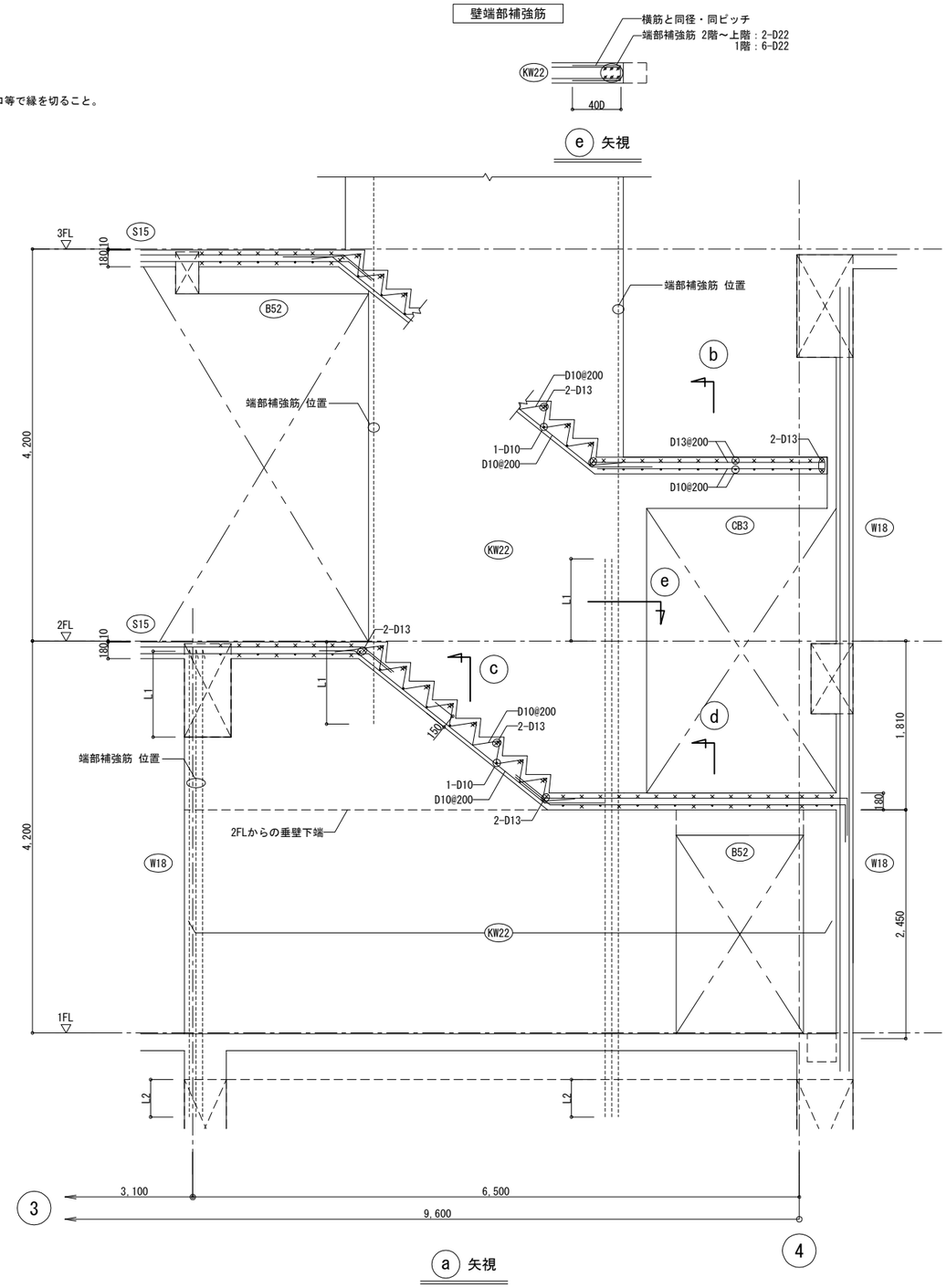
階段詳細図（1）　S=1/30

階段1　配筋要領図

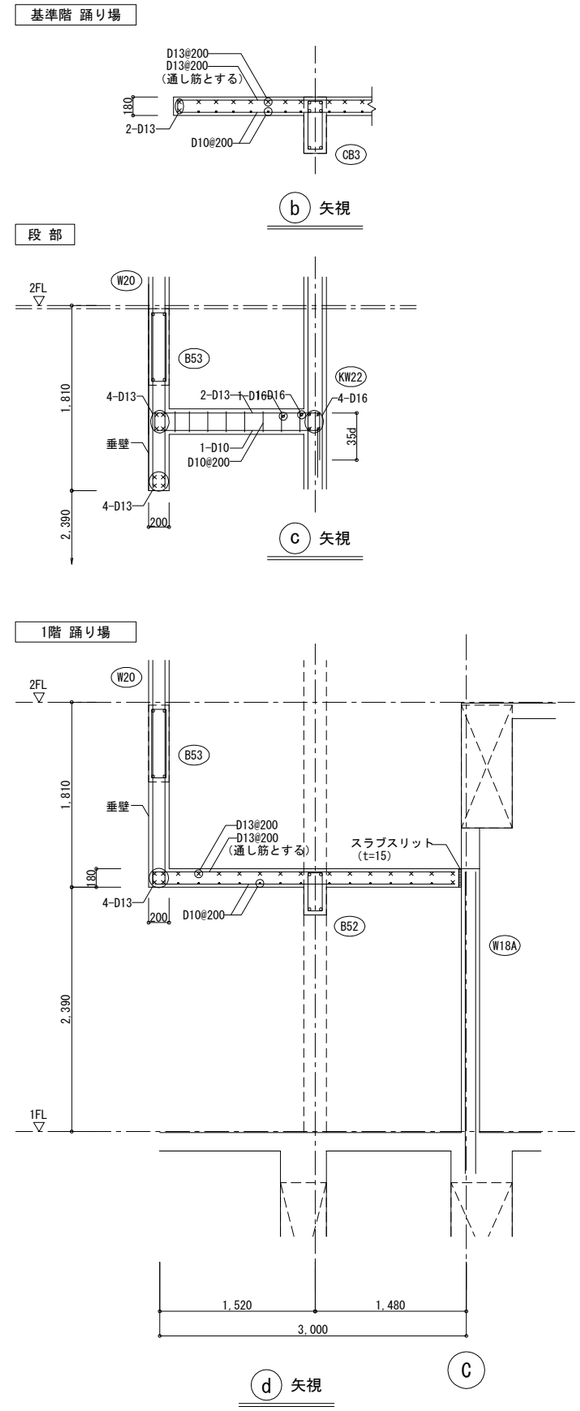
1/30

印：スラブスリット（t=15）位置を示す。スラブスリットはスタイロ等で縁を切ること。





a 矢視



d 矢視

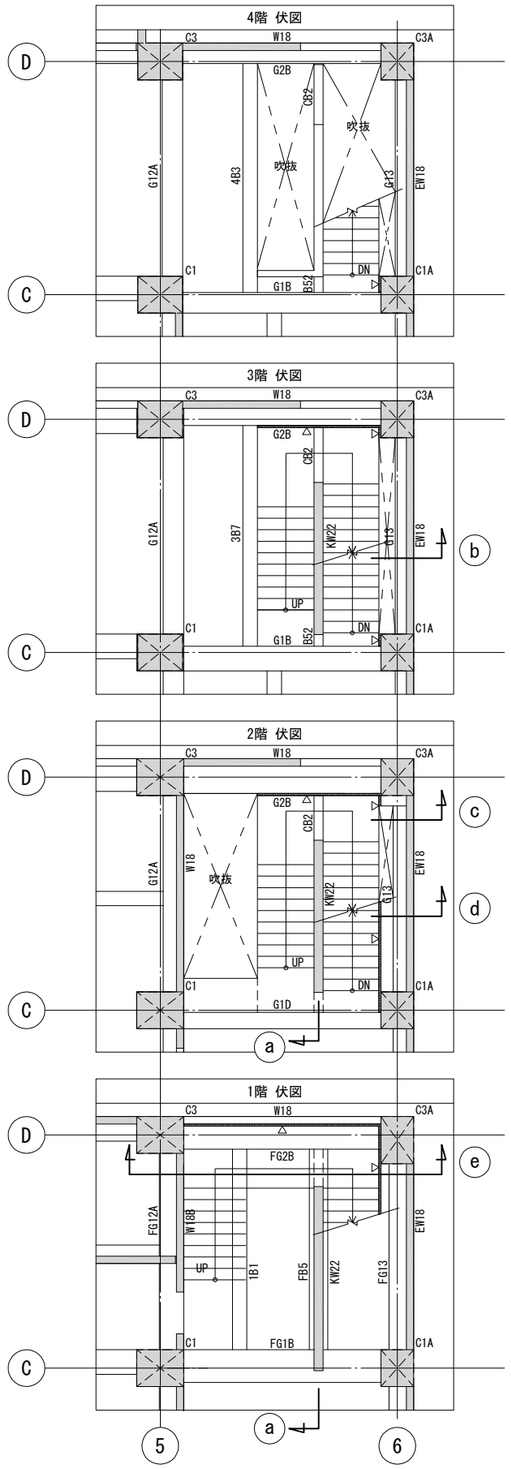
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	階段詳細図（1）　縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図番 S-043

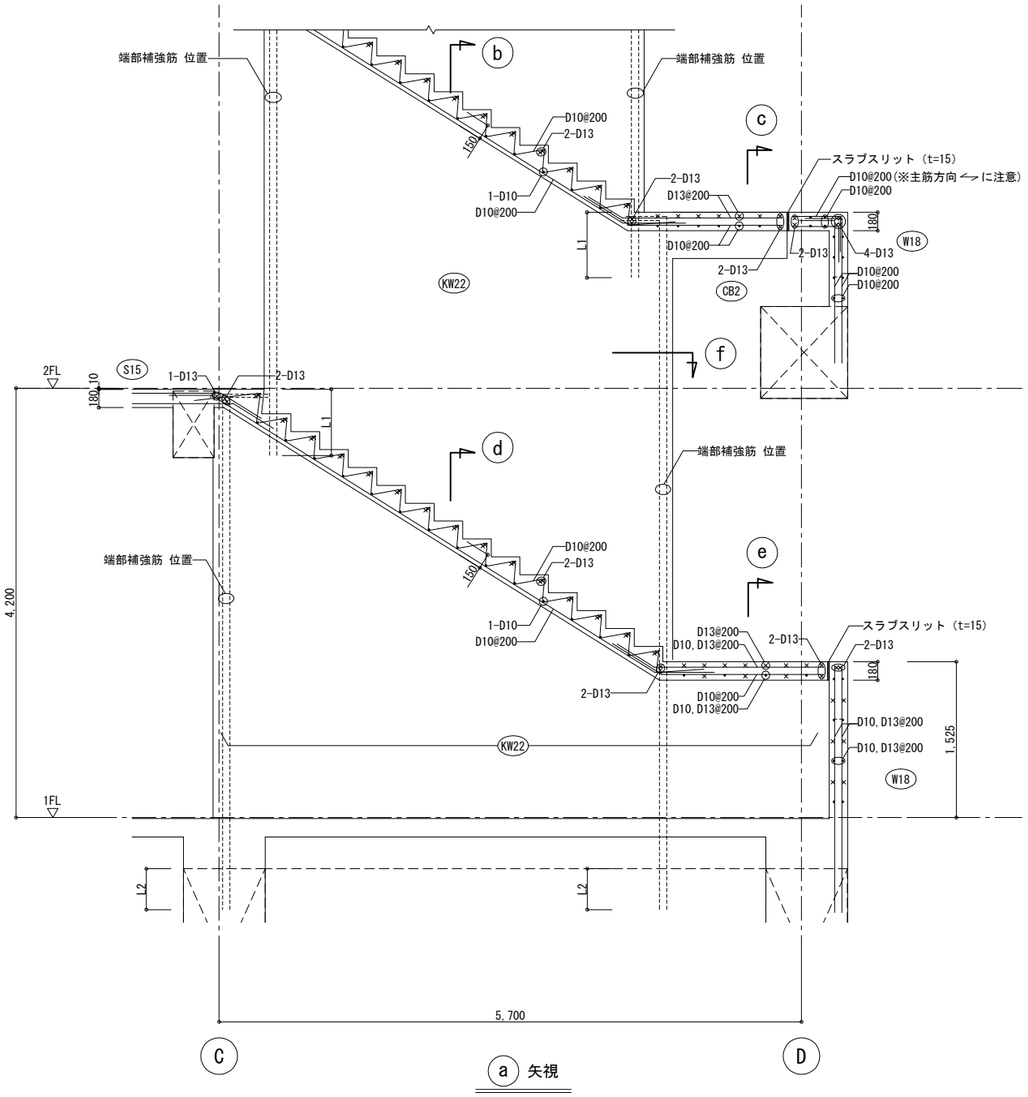
階段詳細図（２）　S=1/30

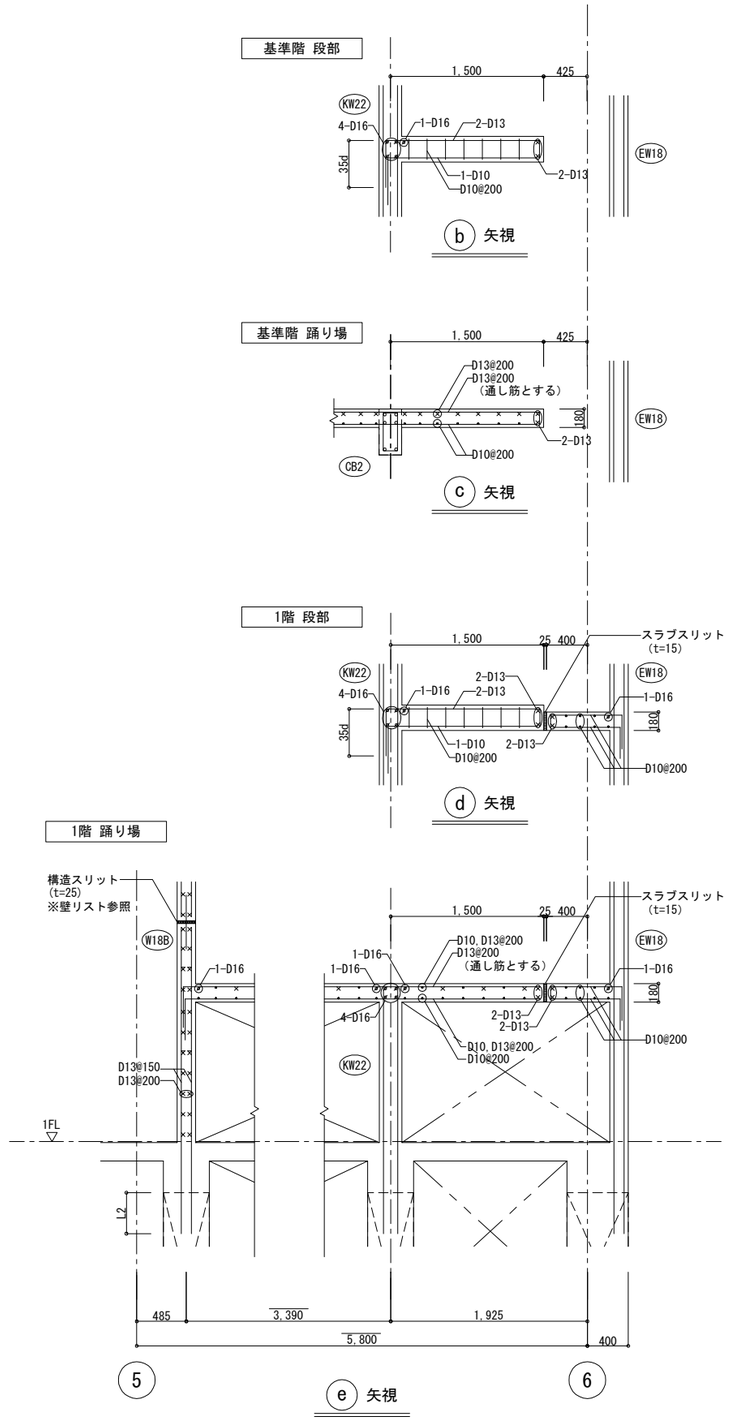
階段2　配筋要領図

1/30

印：スラブスリット（t=15）位置を示す。スラブスリットはスタイロ等で縁を切ること。



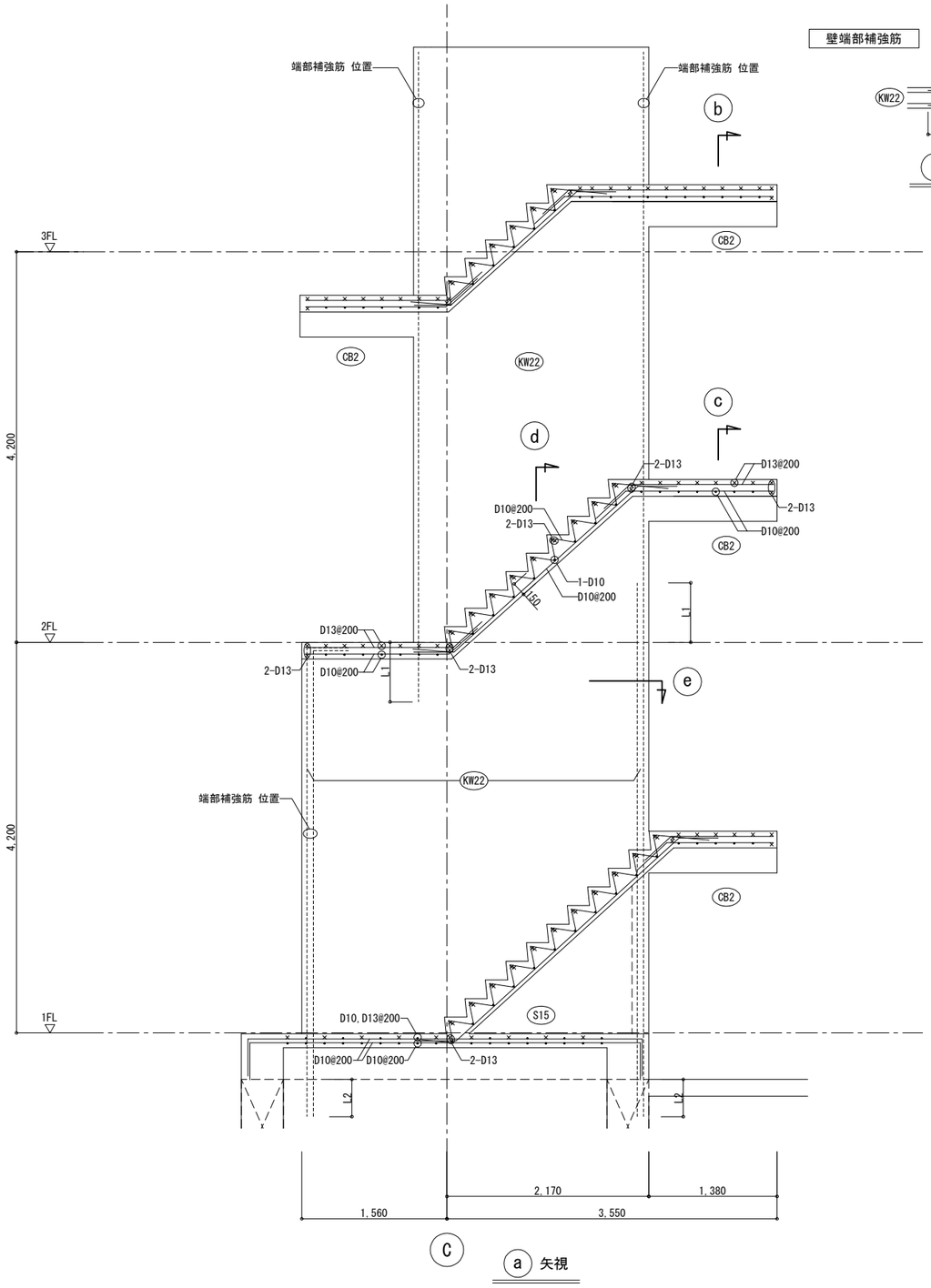




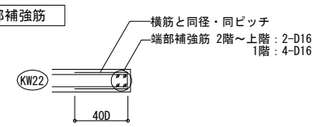
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 階段詳細図（２）	縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図番 S-044

階段詳細図（３）　S=1/30

屋外階段1　配筋要領図　1/30

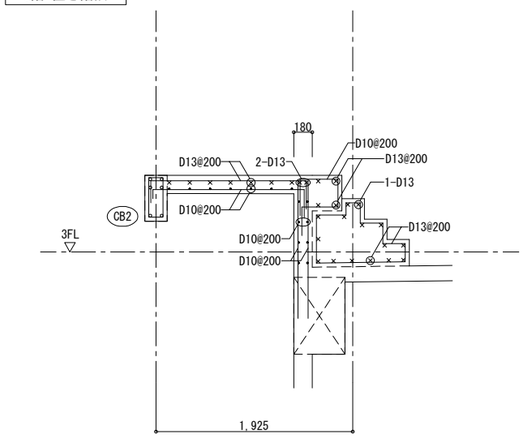


壁端部補強筋



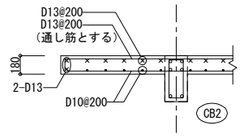
e 矢視

3階 置き階段



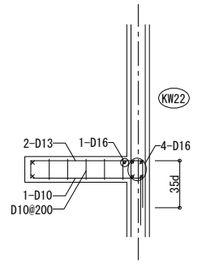
b 矢視

基準階 踊り場



c 矢視

段 部

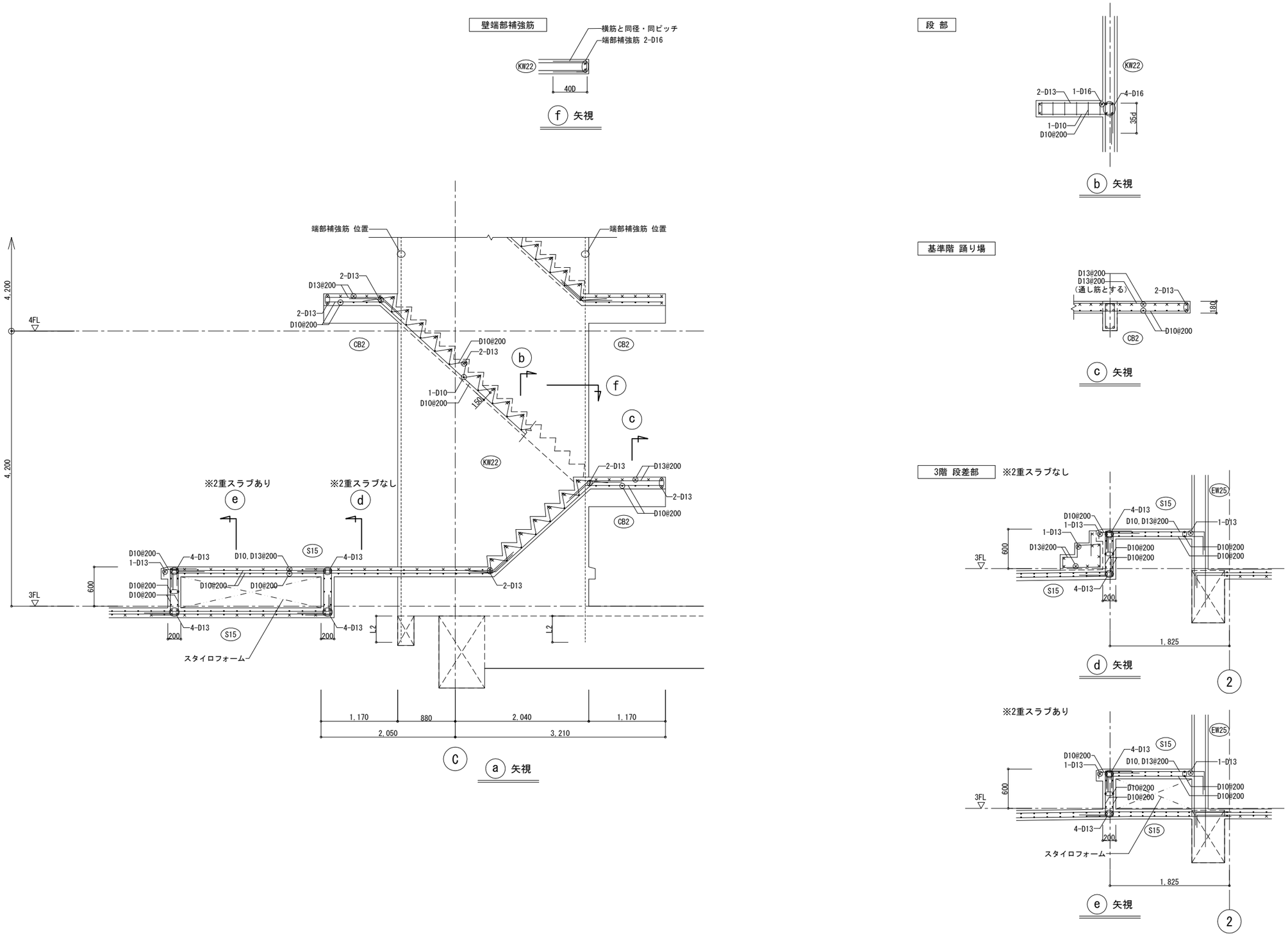


d 矢視

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	階段詳細図（３）　縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 S-045

階段詳細図（4）　S=1/30

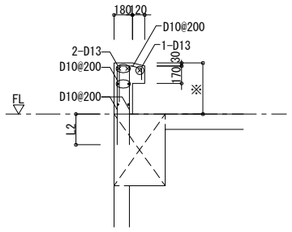
屋外階段2　配筋要領図　1/30



特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	階段詳細図（4） 縮尺 A1：1/30 A3：1/60	図番 S-046

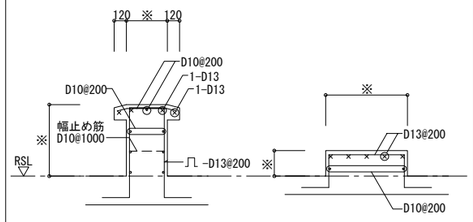
雑詳細図（1）　S=1/30

パラペット（1）　配筋要領図　1/30



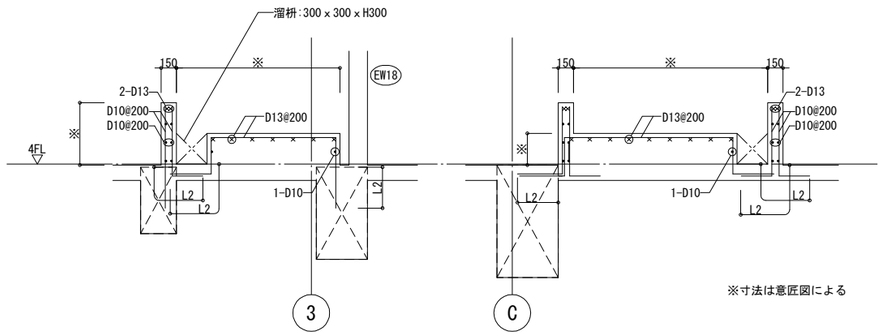
※寸法は意匠図による

設備基礎　配筋要領図　1/30



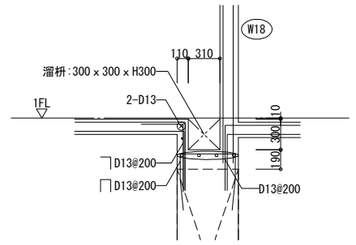
※寸法は各設備基礎の大きさによる

4階 防油堤基礎　配筋要領図　1/30



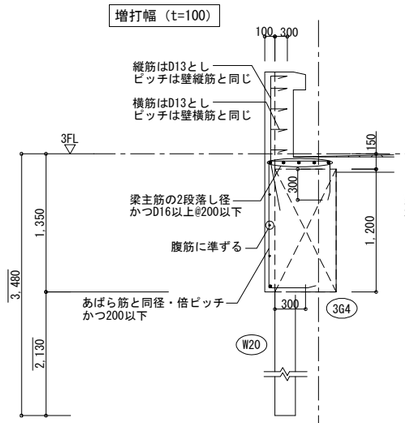
※寸法は意匠図による

1階 溜桝部　配筋要領図　1/30

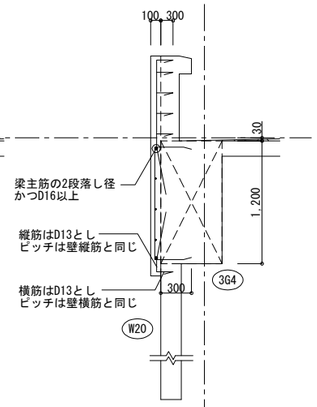


外壁部増打　配筋要領図　1/30

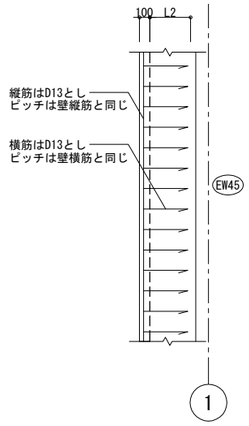
増打幅（t=100）



①～②通り間

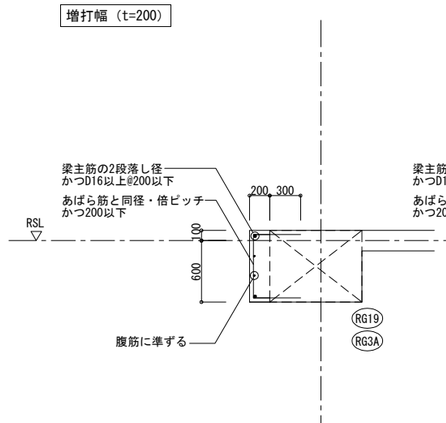


②～⑥通り間

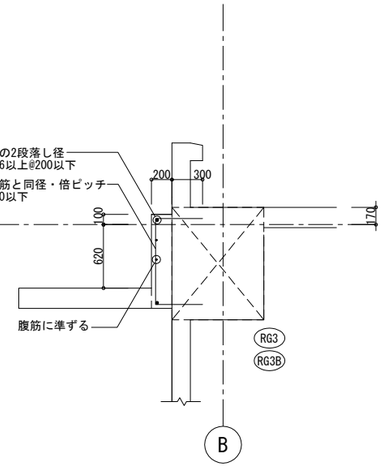


EW45

増打幅（t=200）

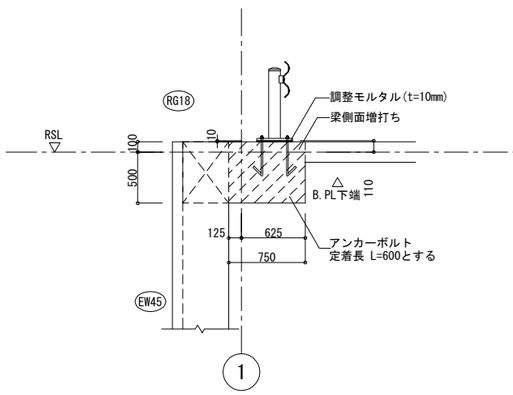


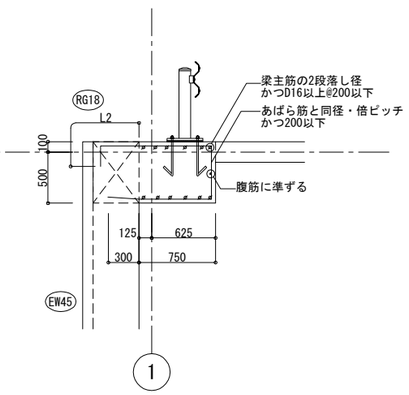
①～③通り間



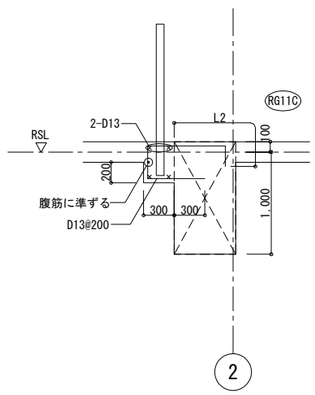
③～⑥通り間

ガードレール脚部　詳細図　1/30

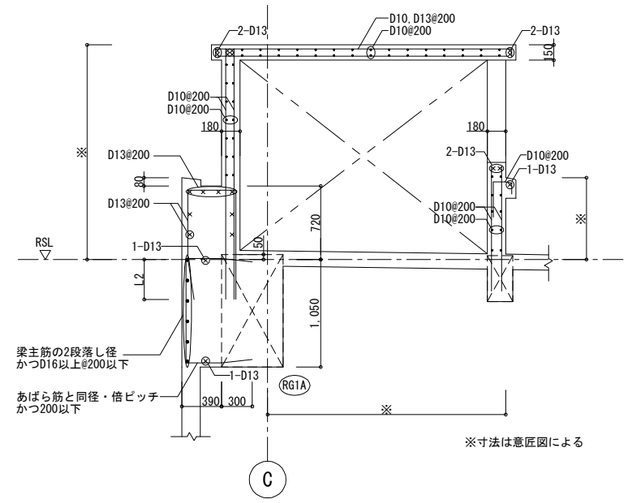




門扉脚部　配筋要領図　1/30



C通り2～3通り間増打ち及び管類立上り　配筋要領図　1/30

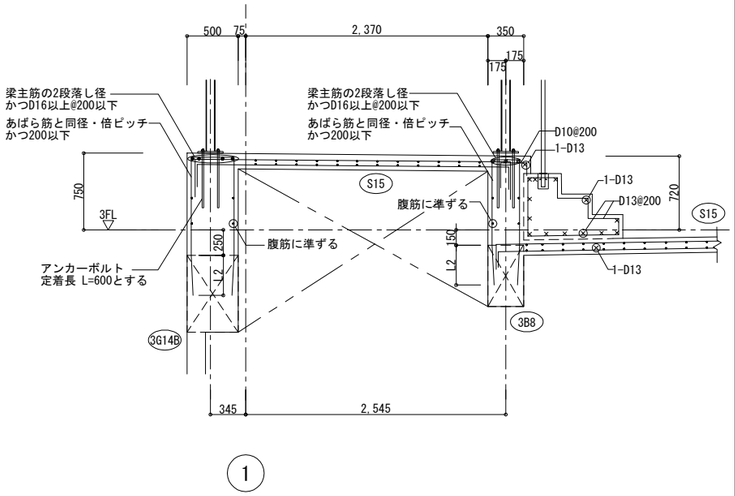


※寸法は意匠図による

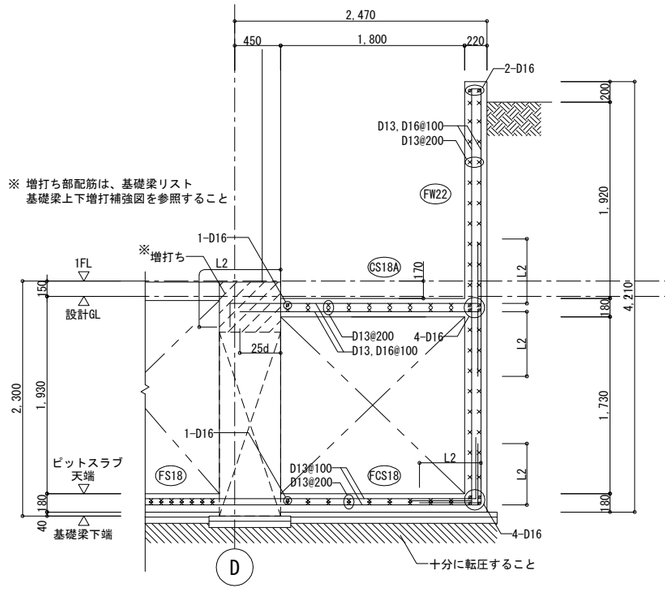
特記事項	株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学　設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 雑詳細図（1） 縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 S-047

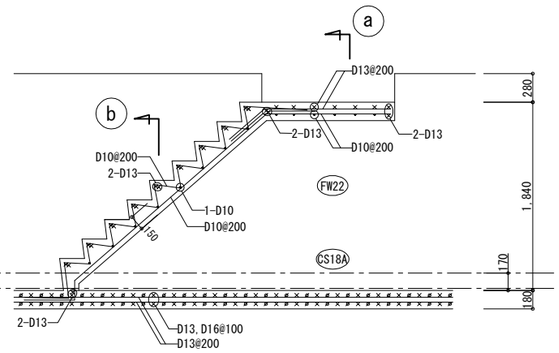
雑詳細図（２）　S=1/30

3階救助やぐら　梁天端増打ち配筋要領図　1/30

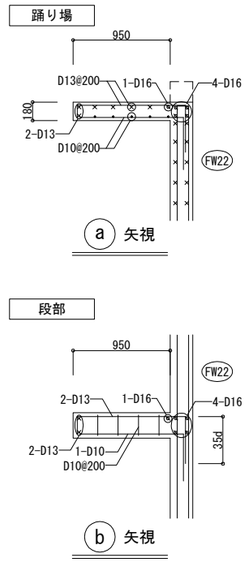


土圧壁　配筋要領図　1/30



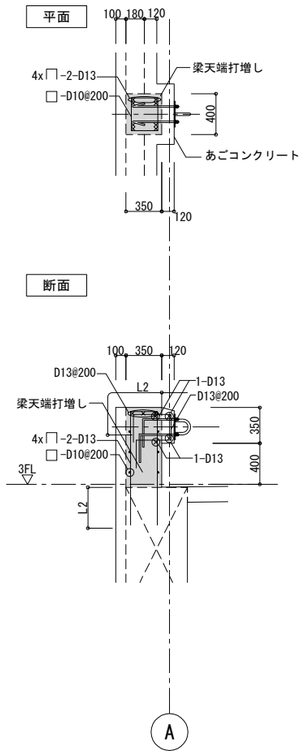


階段詳細図

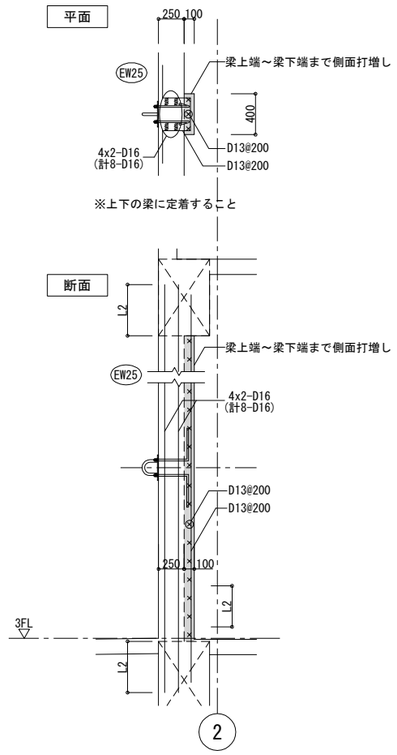


丸環アンカー部　配筋要領図　1/30

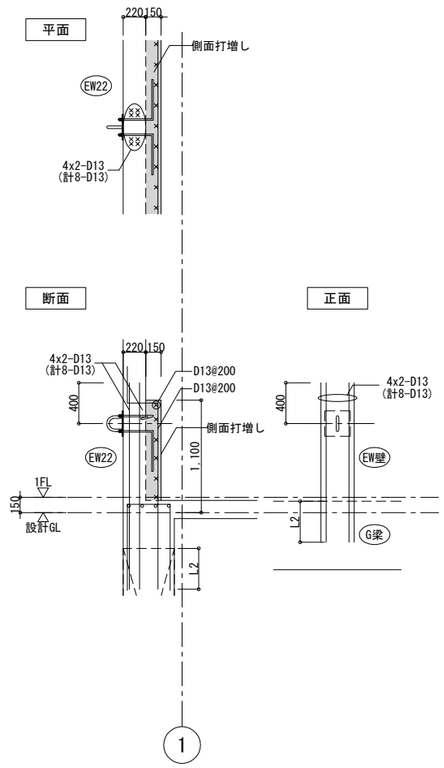
3階　パラペット



3階 2通りC～D通り間　EW壁

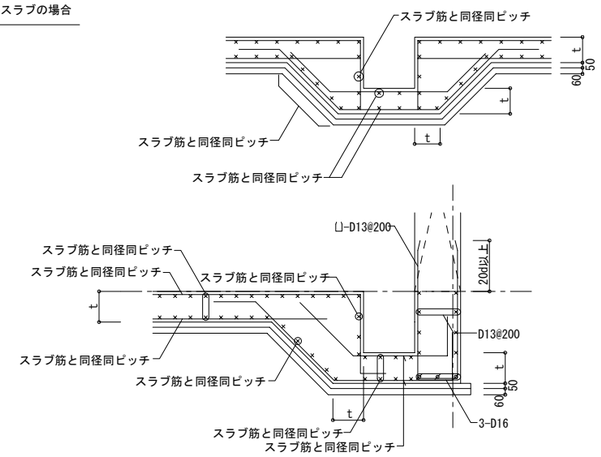


1階　1,C軸+2,550～D通り間 EW壁

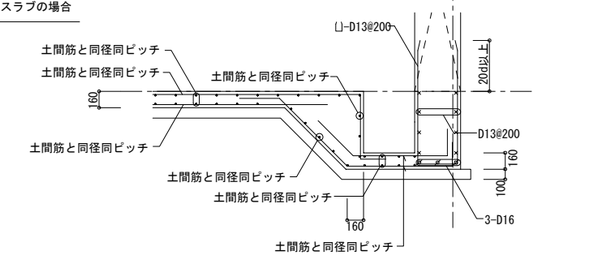


釜場配筋要領図　1/30

構造スラブの場合



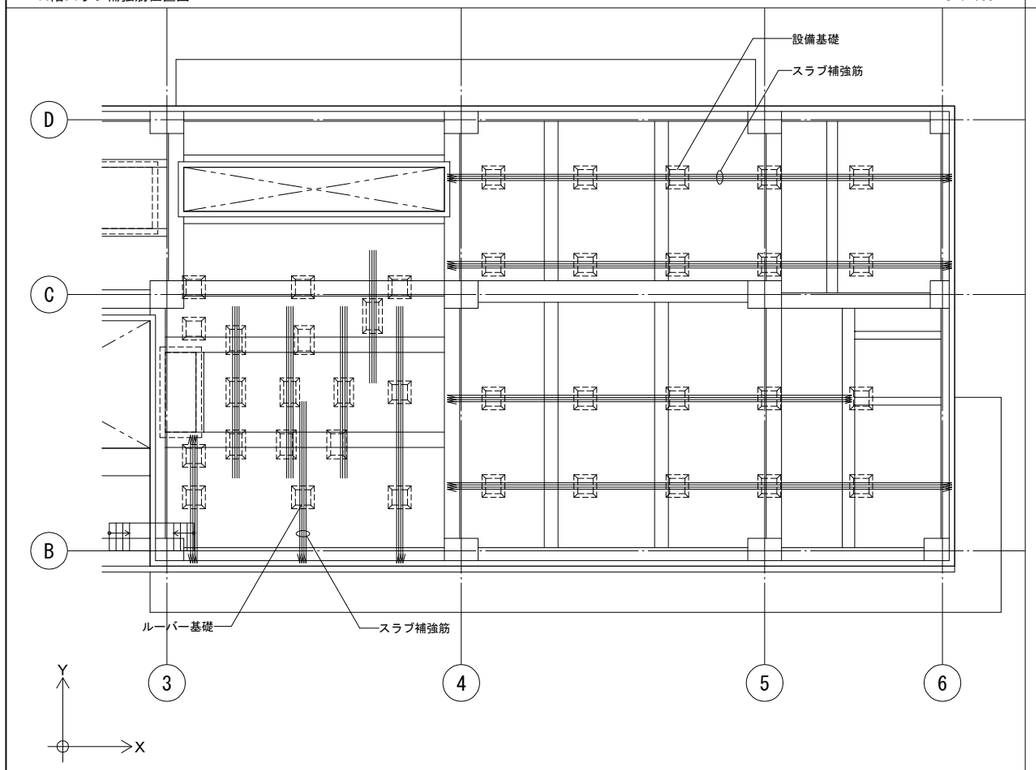
土間スラブの場合



特記事項

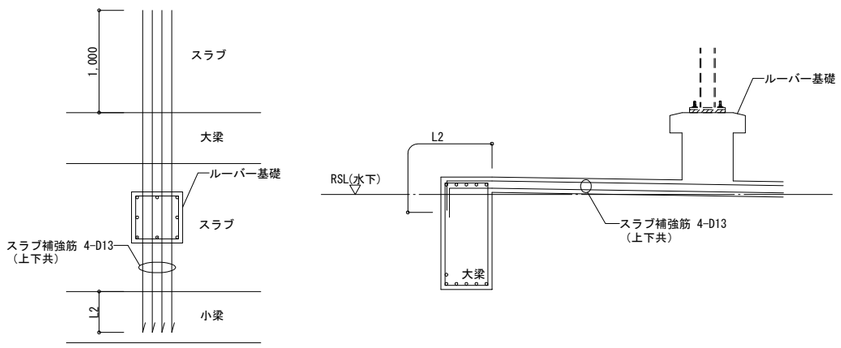
株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	図面名称	雑詳細図（２）　縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図番 S-048

R階スラブ補強筋位置図　S=1:100

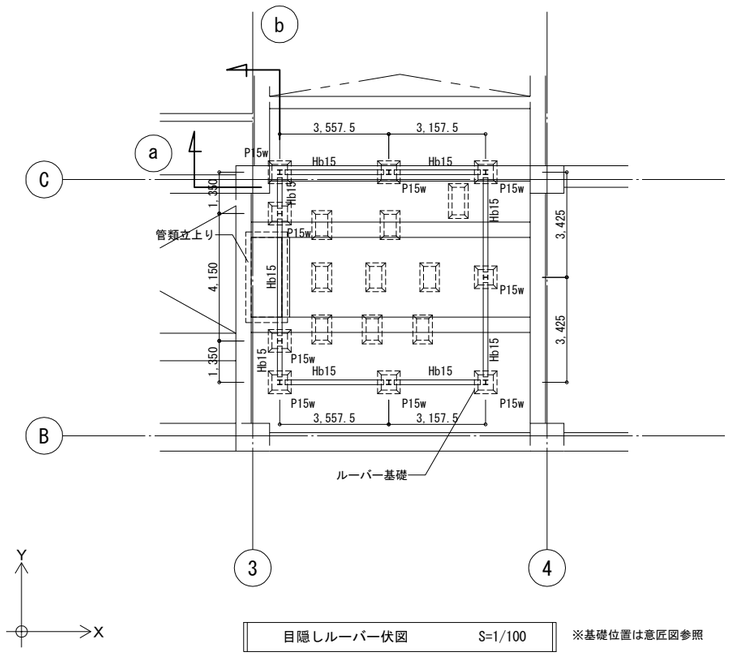


ルーバー基礎部スラブ補強筋要領図

※ 補強範囲はR階スラブ補強筋位置図参照



R階目隠しルーバー構造図

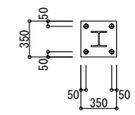
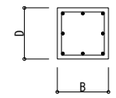


目隠しルーバー伏図　S=1/100

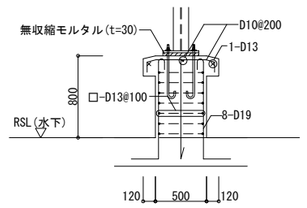
※基礎位置は意匠図参照

鉄骨柱リスト　S=1:30

特記事項
1. 鋼材種は、SS400とする。
2. HTBは、F8Tとする。
3. アンカーボルトは、フック付きダブルナット締めとする。
4. 溶融亜鉛めっきとする。

符　号	P15w
部 材	H-150x150x7x10
GPL	9
HTB	2-M20
柱　脚	
ベースプレート	BPL-22x350x350(SN400B)
A.Bolt	4-M19(L=380)
リブプレート	―
備　考	―
RC柱型	
B × D	500x500
主　筋	8-D19
帯　筋	□-D13 @100
備　考	四隅の主筋はフック付とする

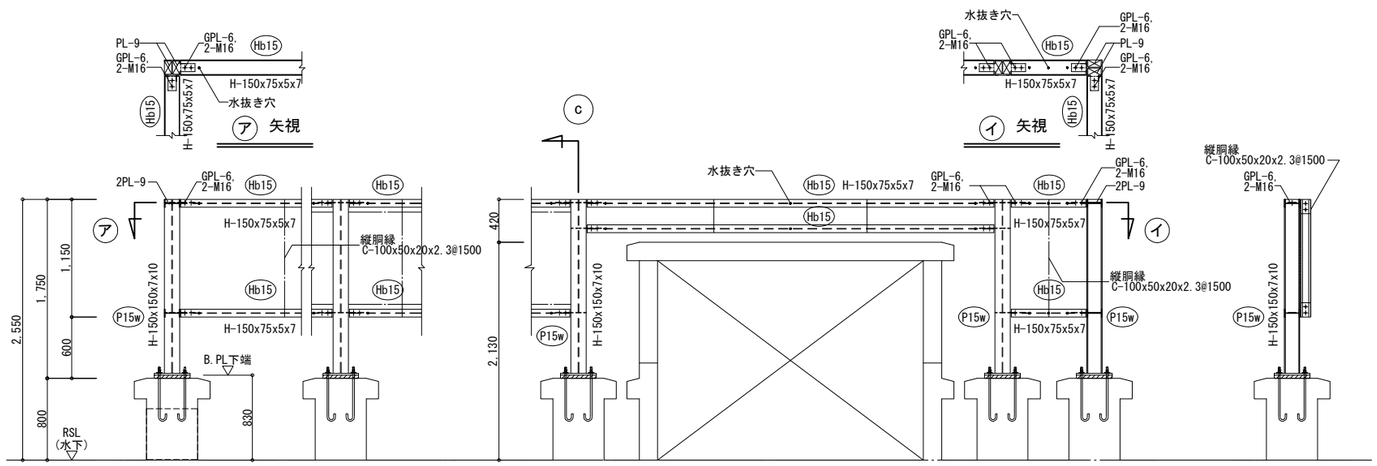
ルーバー基礎　配筋要領図　S=1:30



鉄骨部材リスト

特記事項
1. 鋼材種は、SS400とする。　2. HTBは、F8Tとする。　3. 溶融亜鉛めっきとする。

符 号	部 材	接 合 部					備 考
		HTB	nw	ボルトピッチ	GPL	SPL	
Hb15	H-150x 75x 5x 7	M16	2	60	GPL- 6	-	横使い（水抜き穴 3箇所）
縦胴縁	C-100x 50x 20x2.3 @1500	M12	2	60	GPL- 6	-	普通ボルト採用（SSC400）



目隠しルーバー詳細図　S=1/30

特記事項
・鋼材種
間柱 … SS400　　小梁 … SS400
HTB … F8T
・溶融亜鉛めっきとする。
・アンカーボルトはフック付きダブルナット締めとする。

特記事項
・
・
・
・

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

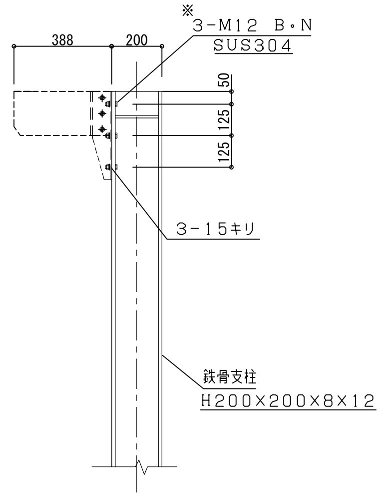
明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

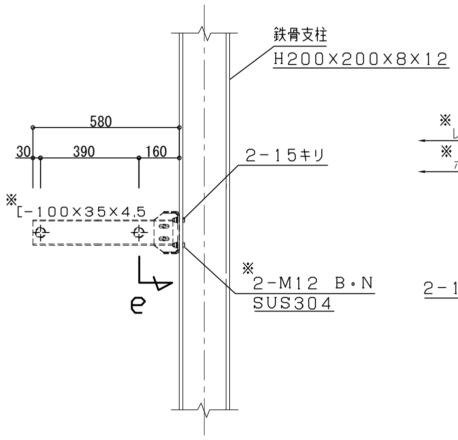
工事名称 新中崎分署建設工事　当初・変更・完成

図面名称 屋上目隠しルーバー詳細図　縮尺 A1:1/100・30 A3:1/200・60　図番 S-049

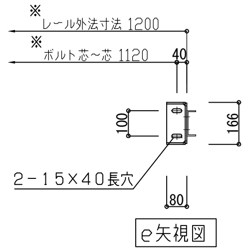
※部はメーカー工事とする。



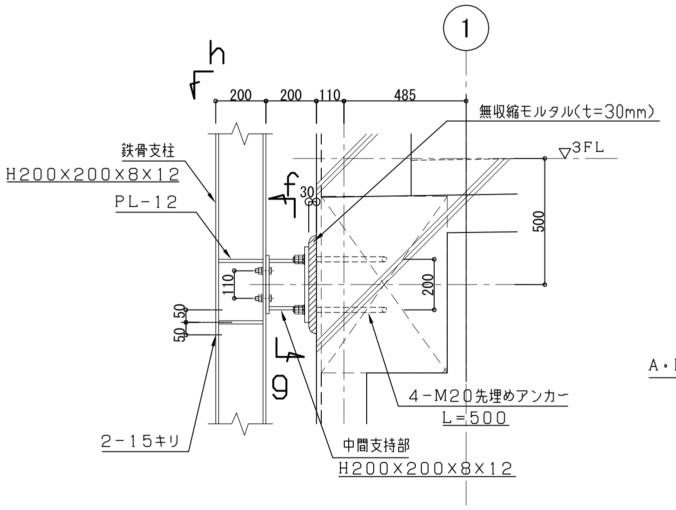
a 部 ホースハンガー詳細 S=1/15



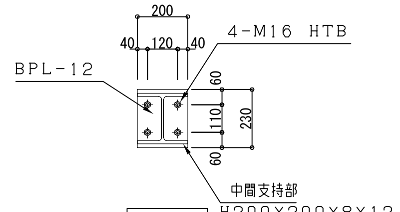
b 部 レールブラケット詳細 S=1/15



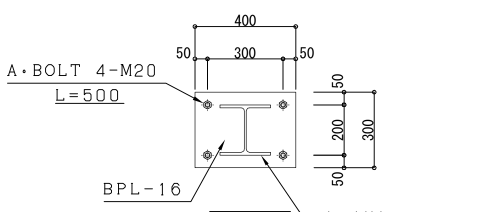
e矢視図



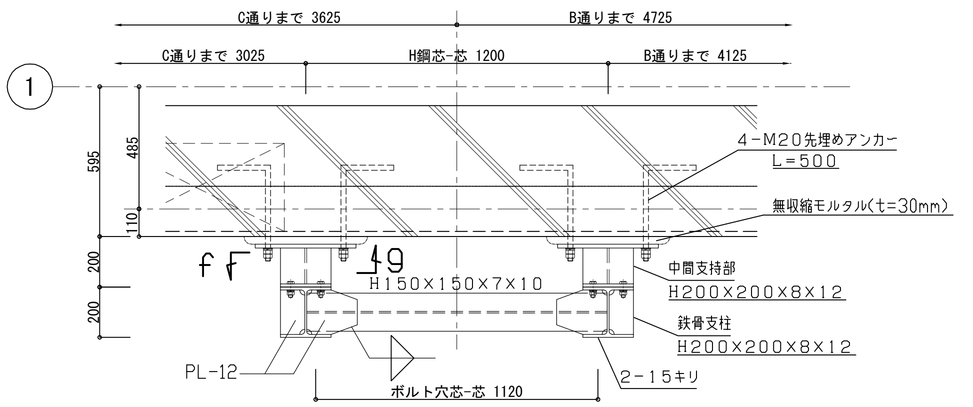
c 部 中間支持部詳細 S=1/15



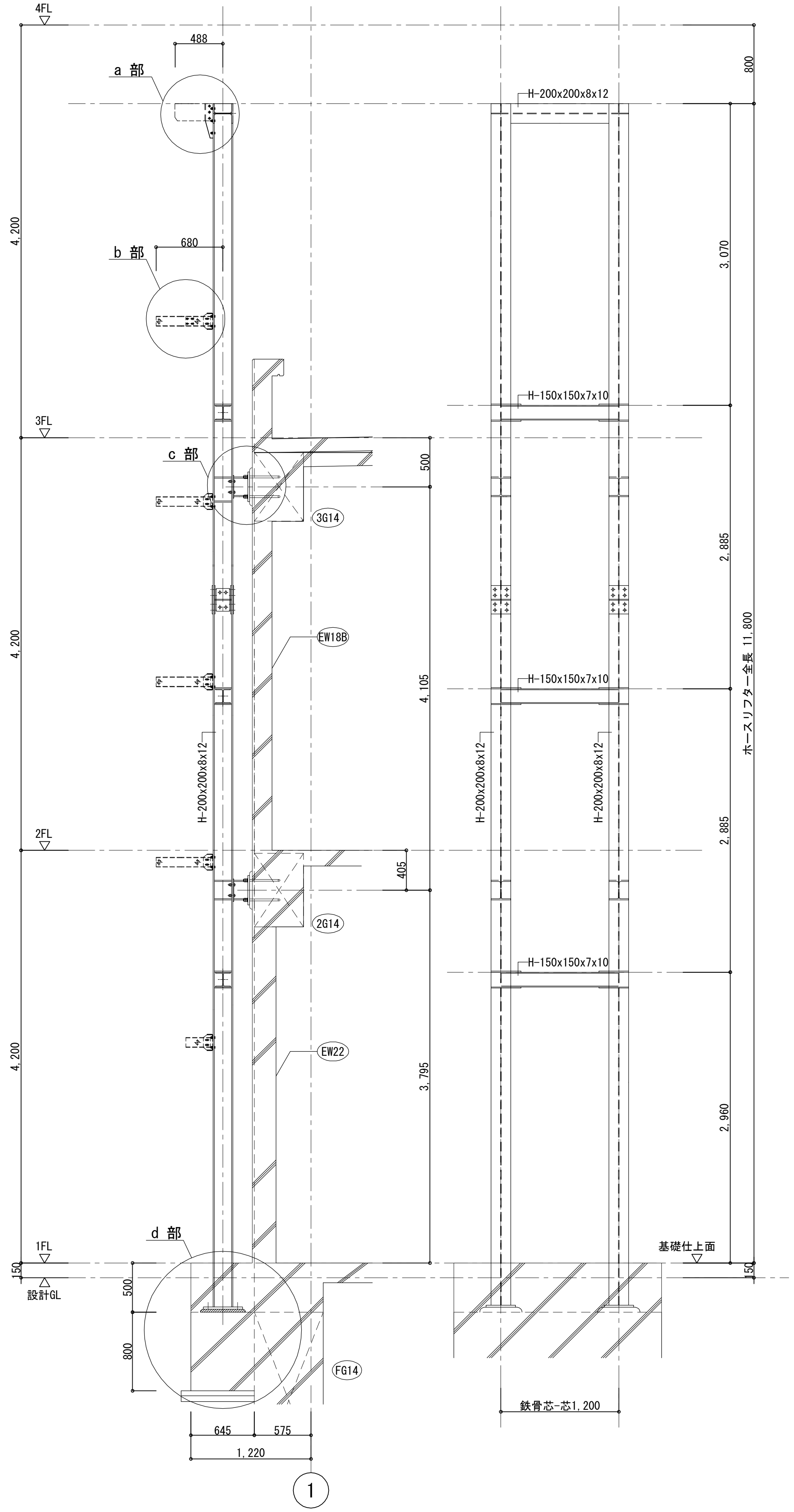
f矢視図



g矢視図



h矢視図



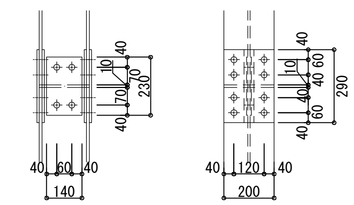
ホースリフター組立図 S=1/30

・HTBは、F8Tとする。
・鉄骨部材は、溶融亜鉛めっきとする。

柱継手リスト S=1/15

H200×200×8×12		
フランジ	16-M20	2PL- 9×200×290 4PL- 9× 80×290
ウェブ	4-M20	2PL- 6×140×230

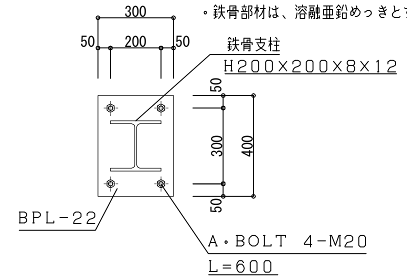
・HTBは、F8Tとする。
・鉄骨部材は、溶融亜鉛めっきとする。

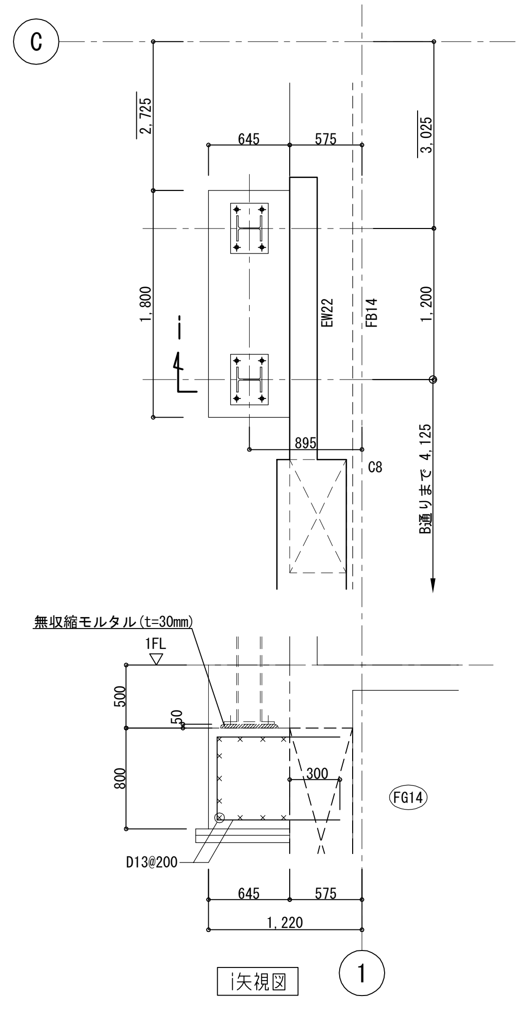


柱脚部詳細図 S=1/15

H200×200×8×12

・HTBは、F8Tとする。
・鉄骨部材は、溶融亜鉛めっきとする。





i矢視図

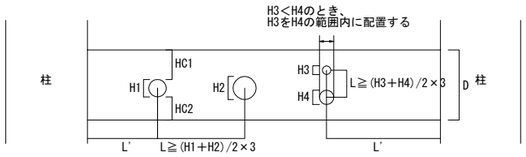
d 部 梁側面増打ち 配筋詳細図 S=1/30

特記事項	・
	・
	・
	・

株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 (佐藤) (三谷)	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称 ホースリフター詳細図　縮尺 A1:1/15・30 A3:1/30・60	図番 S-050

梁貫通孔要領（共通事項）

梁貫通孔要領　※選定した既製品メーカー仕様に準じること

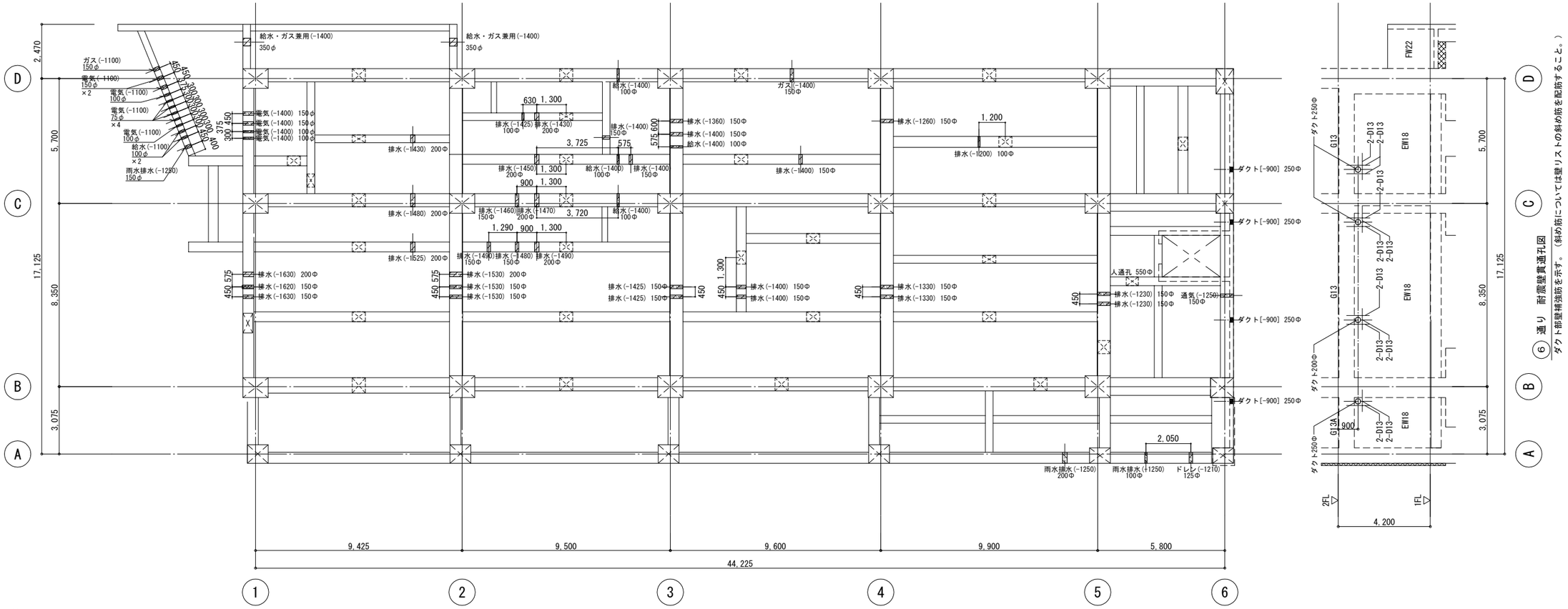


（a）選定する既製品メーカーは下記のいずれかとする。

・ダイヤレン、ダイヤレンNS（コーリョー健販）
・ウェブレン、MAXウェブレン（テイエム技研）
・スーパーハリー、スーパーハリーZ（栗本商事）

（b）梁貫通孔は、次による。

（1）　開口の形状は円形または多角形とし、多角形の場合はその外接円を開口とみなす。
（2）　開口径（H）は開口外径とし、梁せいの1/3以下とする。ただし、上下に複数の開口を設ける場合は、当該複数孔の開口径の合計は梁せいの1/3以下とする。
（3）　隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離（L）は開口径の3倍以上とし、隣接する開口の径が異なる場合は、両開口径の平均値の3倍以上とする。また、上下に複数の開口を設ける場合には、最大径の範囲内にその他の開口を配置することとする。
（4）　へりあき（HC1,HC2）は選定した既製品メーカー仕様に準ずる。
（5）　水平方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離（L'）は原則1.0m以上とする。
2階梁～R階梁については、貫通する梁せい以上とする。
ただしやむを得ない場合は、選定した既製品メーカー仕様に準ずる。



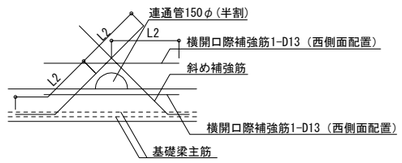
⑥通り　耐震壁貫通孔図
ダクト部壁補強筋を示す。（斜め筋については壁リストの斜め筋を配筋すること。）

梁貫通スリーブ図（1階）　S=1/100

梁貫通孔数量表

孔 径	補強種別	数 量	備 考
75φ	－	4	貫通補強不要
100φ	－	17	貫通補強不要
125φ	－	1	
150φ	－	35	
200φ	－	22	
250φ	－	5	
350φ	－	2	
550φ	－	1	人通孔
600φ	－	29	人通孔

連通管の貫通孔補強要領



斜め補強筋は、D-13 2本1組×1組
（基礎梁の両側面配置）とする。

連通管の位置は意匠図による。

特記なき限り下記による	
1	▨ 印は、梁貫通孔を示す。
2	（　）内は1FLからの梁貫通孔の芯レベルを示す。
3	特記なき配管レベルはFL-400とする。
4	▬ 印は、耐震壁貫通孔を示す。
5	[　]内は2FLからの耐震壁貫通孔の芯レベルを示す。
6	><　印は、人通孔600φを示す。

特記事項

株式会社 あい設計　株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241

管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 三谷

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

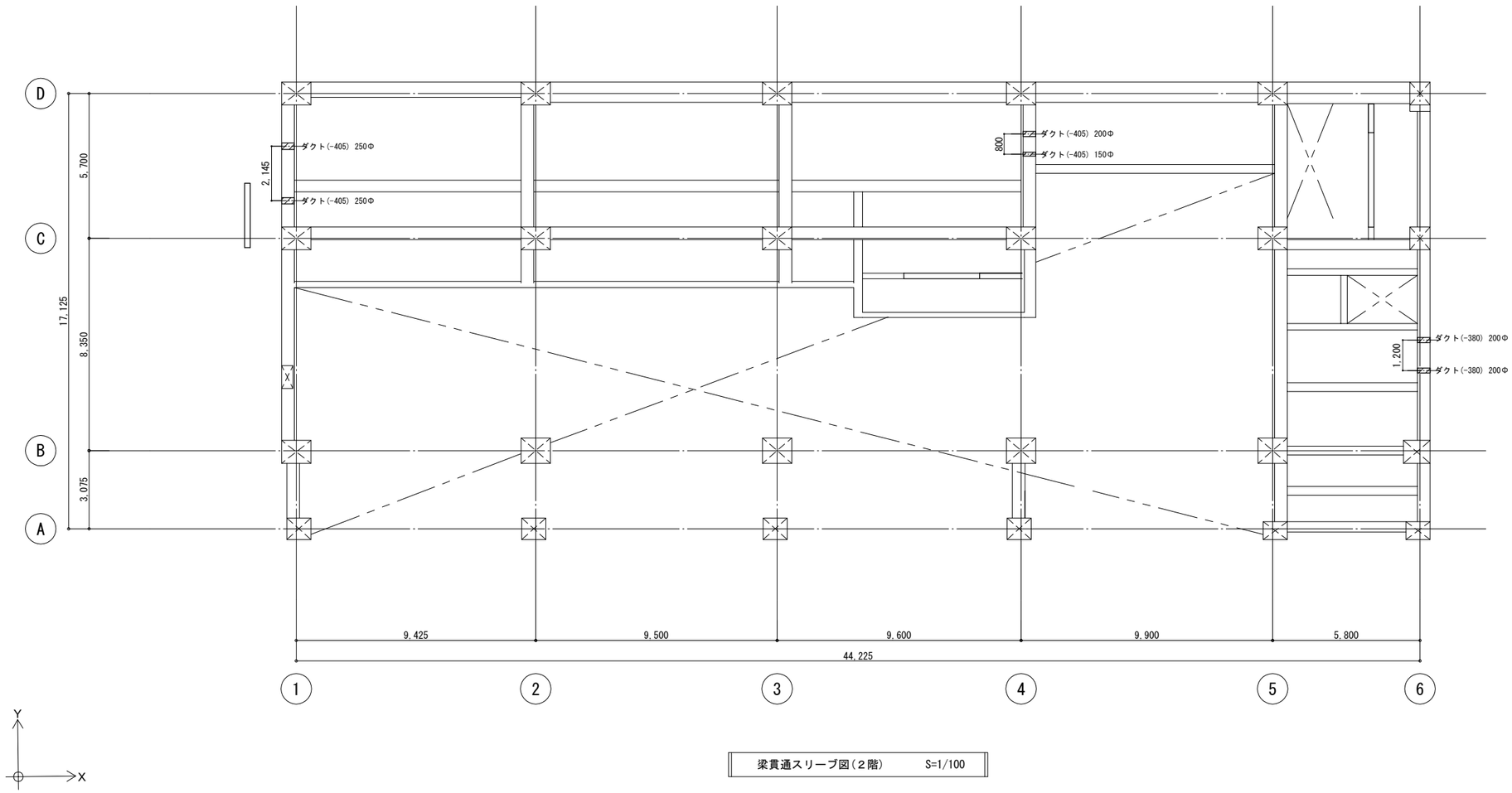
工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 梁貫通スリーブ図(1階)

縮尺 A1：1/100 A3：1/200

当初・変更・完成

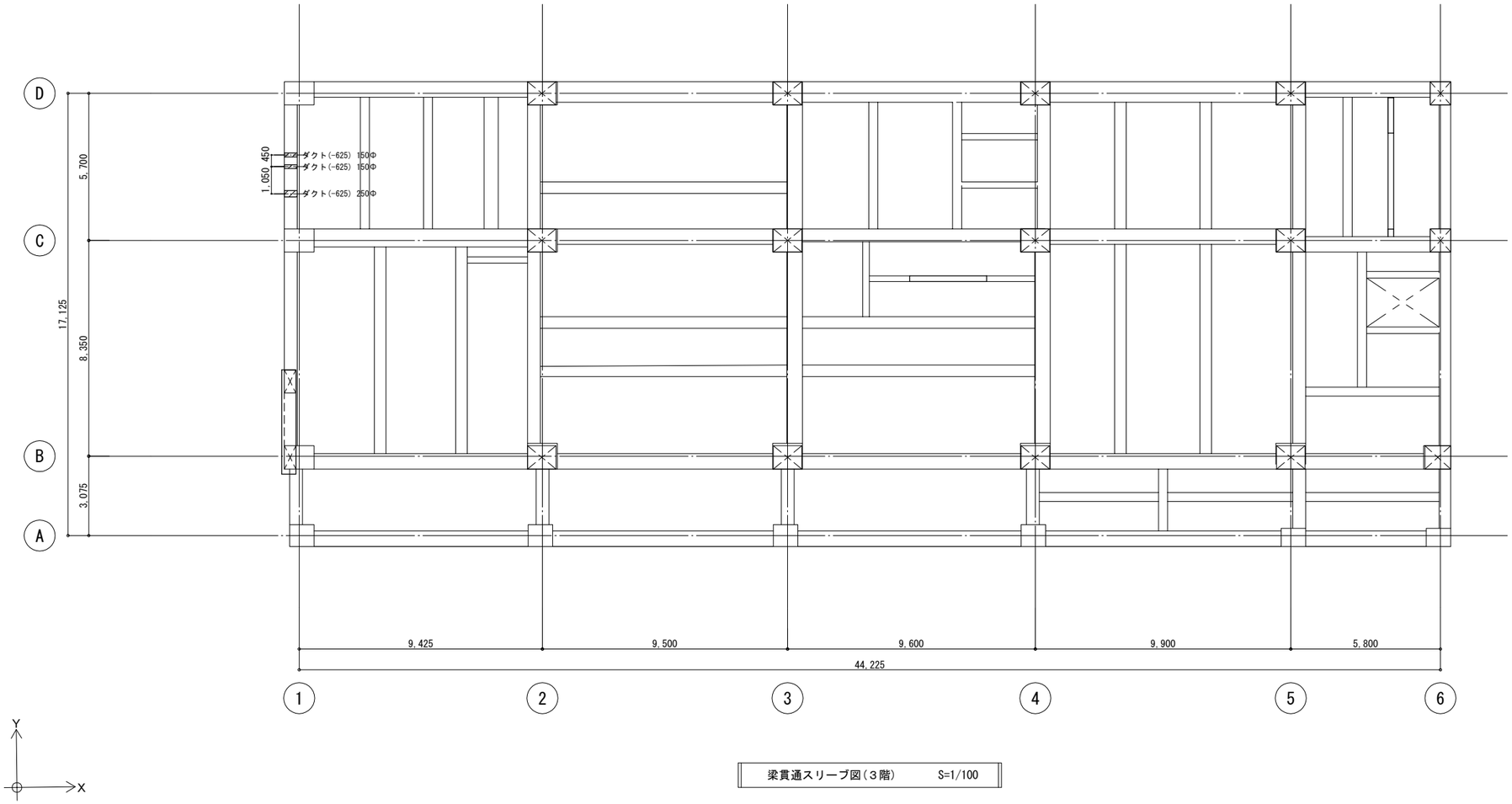
図番 S-051



梁貫通スリーブ図(２階)　　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	▨ 印は、梁貫通孔を示す。
	(　　)内は2FLからの梁貫通孔の芯レベルを示す。

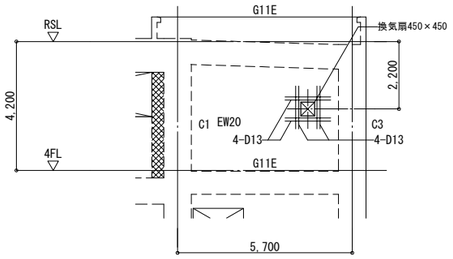
特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称 梁貫通スリーブ図(2階)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 S-052



梁貫通スリーブ図(3階)　S=1/100

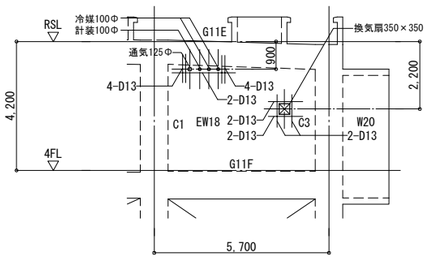
特記なき限り下記による	
1	▨ 印は、梁貫通孔を示す。
	(　　)内は3FLからの梁貫通孔の芯レベルを示す。

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	梁貫通スリーブ図(3階)　縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 S-053



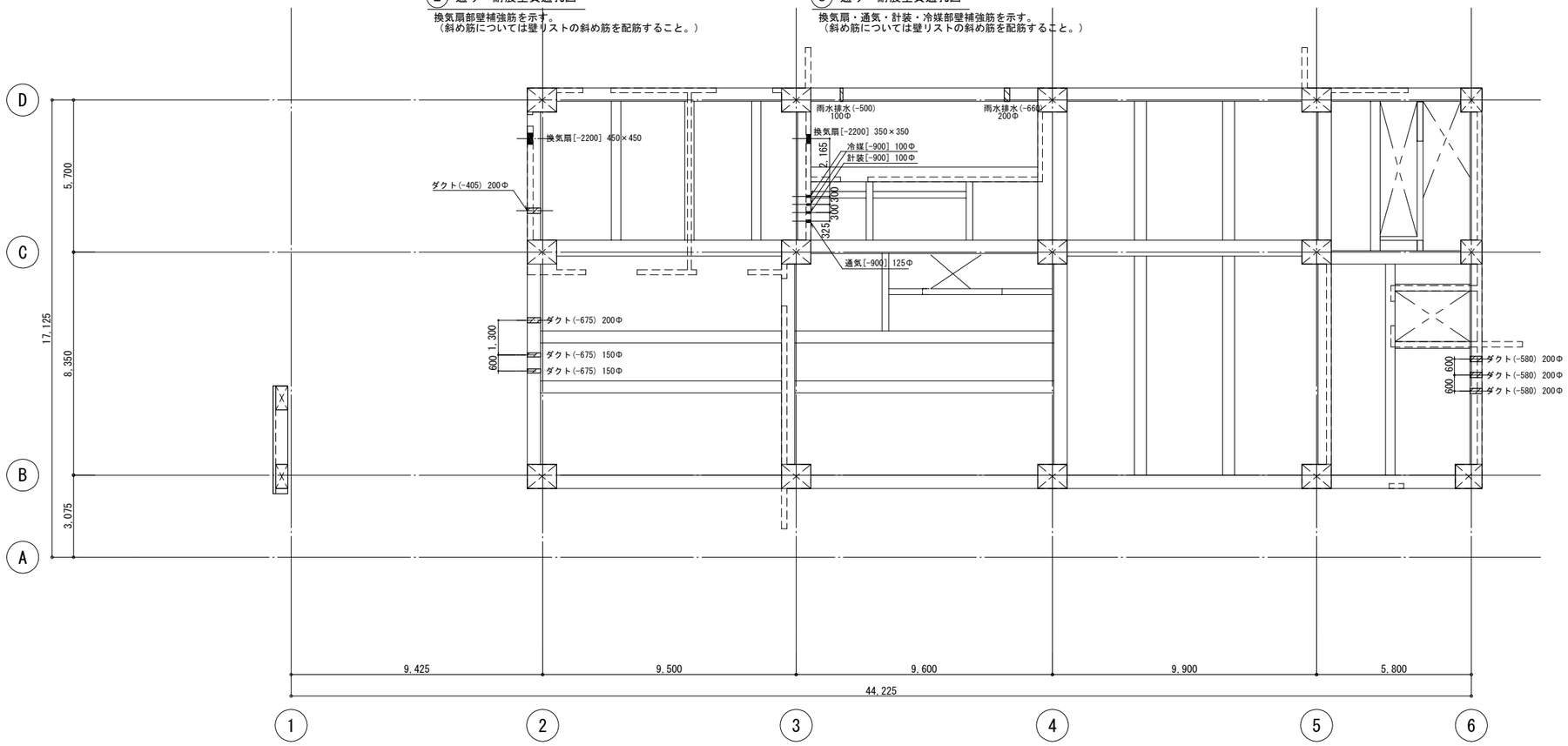
② 通り　耐震壁貫通孔図

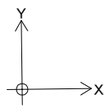
換気扇部壁補強筋を示す。
（斜め筋については壁リストの斜め筋を配筋すること。）



③ 通り　耐震壁貫通孔図

換気扇・通気・計装・冷媒部壁補強筋を示す。
（斜め筋については壁リストの斜め筋を配筋すること。）

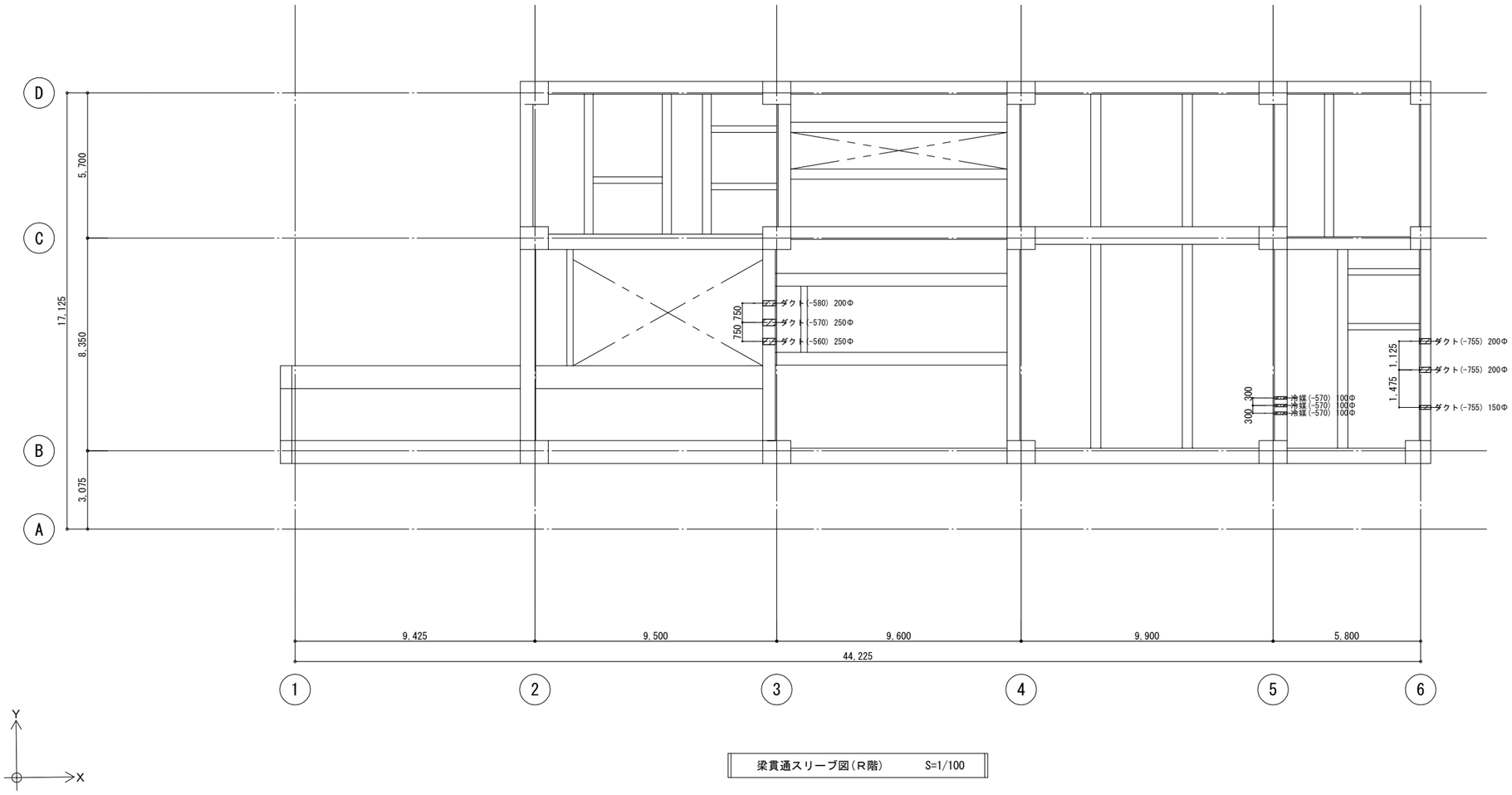




梁貫通スリーブ図（４階）　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	▨ 印は、梁貫通孔を示す。
2	（　）内は4FLからの梁貫通孔の芯レベルを示す。
3	▬ 印は、耐震壁貫通孔を示す。
4	［　］内はRSLからの耐震壁貫通孔の芯レベルを示す。

特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	梁貫通スリーブ図(4階)　縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 S-054



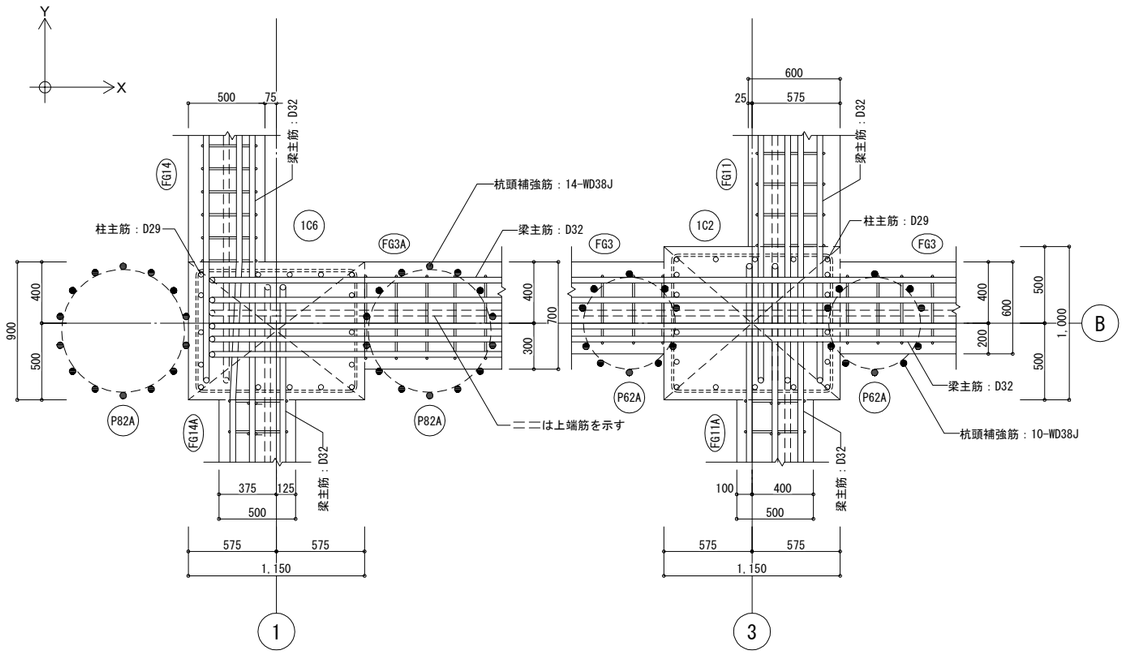
梁貫通スリーブ図(R階)　　S=1/100

特記なき限り下記による	
1	▨ 印は、梁貫通孔を示す。
2	(　　)内はRSLからの梁貫通孔の芯レベルを示す。

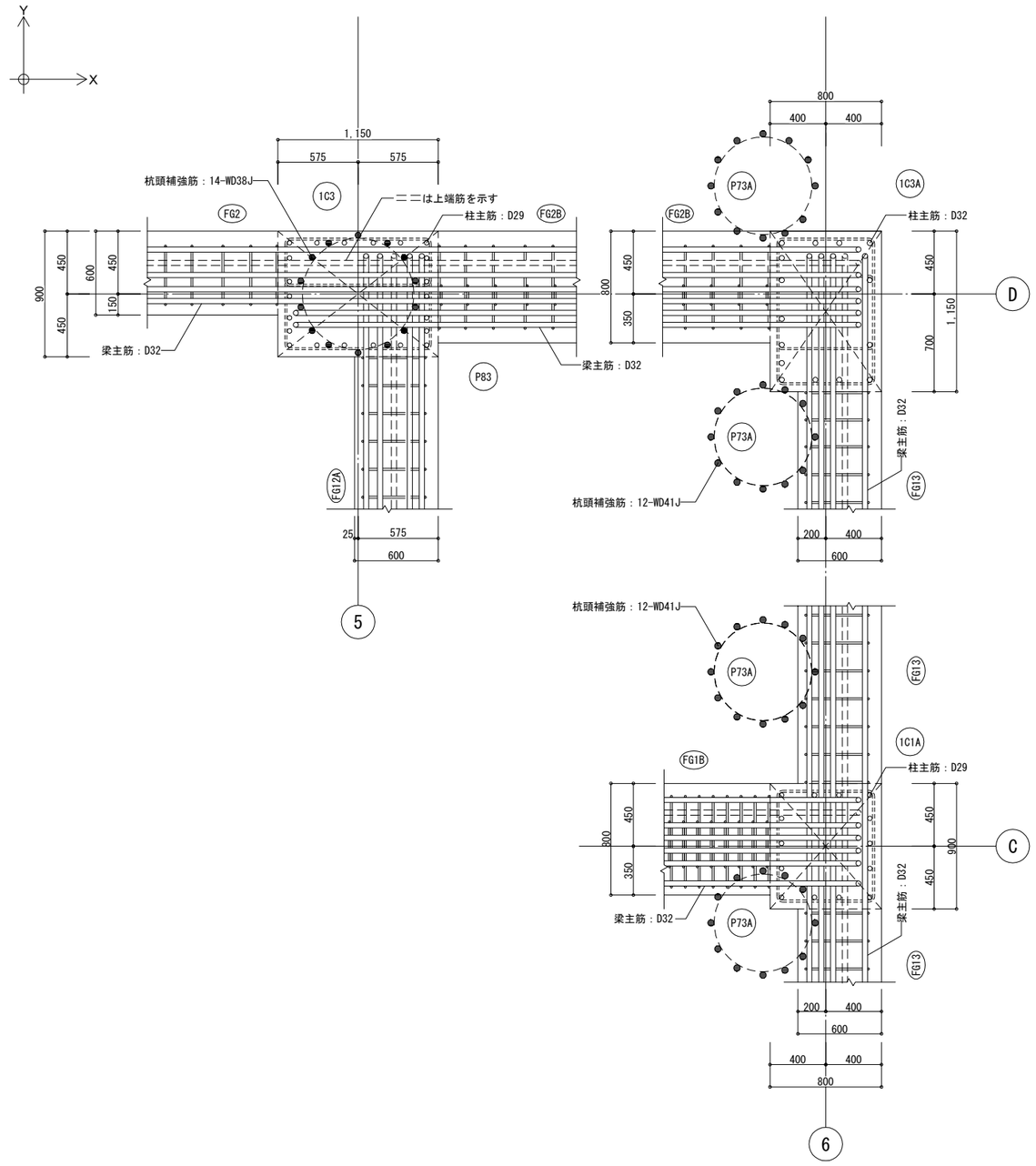
特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課					図面名称 梁貫通スリーブ図(R階) 縮尺 A1:1/100 A3:1/200

当初・変更・完成　図番 S-055

1階 B通り1～3通り間 柱・基礎梁納まり図　S=1/20



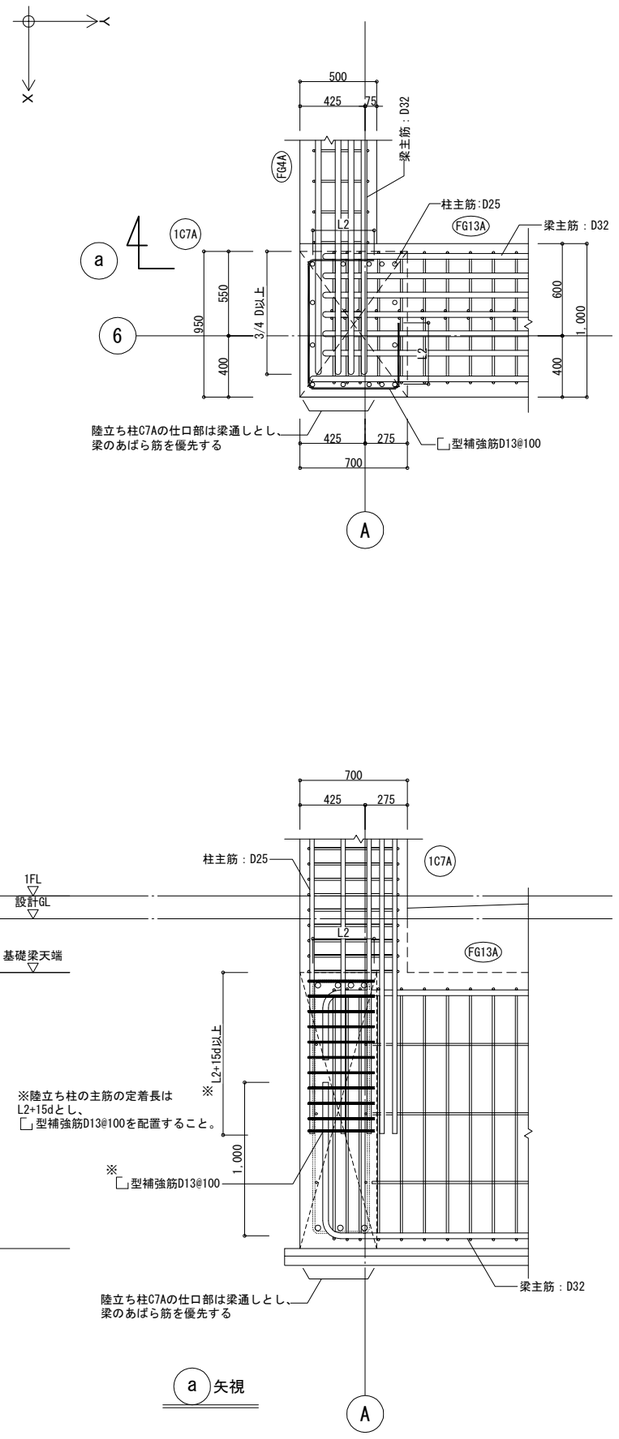
1階 5～6通り C～D通り間 柱・基礎梁納まり図　S=1/20



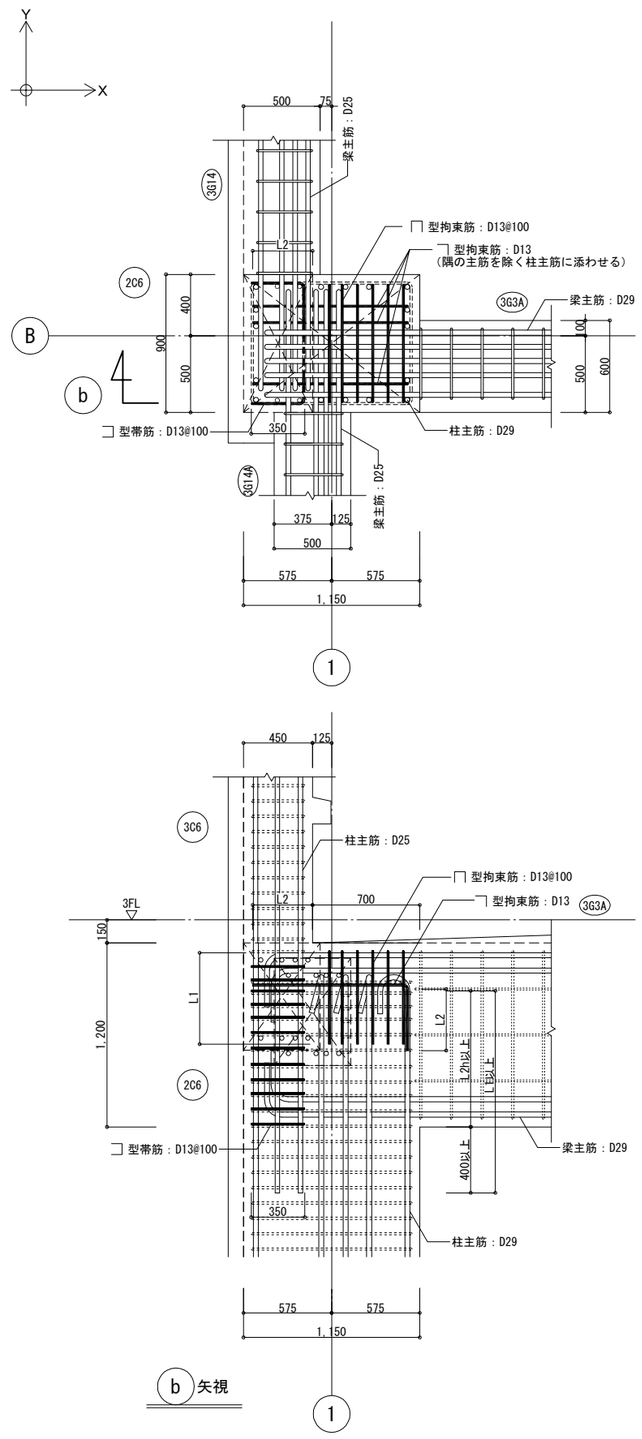
参考図

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当責任者 / 係長 / 担当	製作年月日	工事名称	新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課	2025年1月	図面名称	柱梁納まり図（1） 縮尺 A1：1/20 A3：1/40	図番 S-056

1階 6,A軸 陸立ち柱・梁納まり図 S=1/20



3階1,B軸 柱・梁納まり図 S=1/20



参考図

特記事項	株式会社 あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 三谷	明石市都市局住宅・建築室営繕課				2025年1月	図面名称 柱梁納まり図（２） 縮尺 A1:1/20 A3:1/40	図番 S-057

特 記 仕 様 書

Ⅰ． 昇降機設備工事科目

⊙昇降機設備　新設一式
・昇降機設備　改修一式
（改修内容）
・
・

Ⅱ． 昇降機設備工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。
● 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
● 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
● 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）

（2）建築工事、電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、建築工事、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、建築工事の特記仕様書は（　／　）図、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）による。

2．特 記 仕 様
章、項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項　目	特　記　事　項
● 一般共通事項	● 環境への配慮	（1）本工事において，「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）」に基づく，「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」による特定調達品目の判断基準物品等を選択するよう努める。 ただし，公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は，判断の基準を満たすものとする。 （2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料**を使用する。** ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 （3）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当**する材料を指す。** ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	● 電気保安技術者	● 適用する　　○ 適用しない
	● 工事用仮設物	構内につくることが　○ できる　● できない
	● 足場その他	● 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ● エレベーター設置に関する昇降路内足場は本工事とする。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 ● 内部足場（● Ａ種　● Ｂ種　○　種） ○ 外部足場（○　種　○　種　○　種　○　種）
	● 電源周波数	○ ５０Ｈｚ　● ６０Ｈｚ
	● 容量等の表示	電動機出力は、原則として表示された数値以下とする。
	● 耐震設計用地域係数	耐震設計用地域係数は、１．０とする。
	● 耐震措置	エレベーター設備機器の固定等は、すべて「昇降機耐震設計・施工指針　2014年版（国土交通省住宅局建築指導課監修）」による。 なお、耐震安全性分類による耐震クラスは、（● Ａ14　○ Ｓ14）とする。
	○ 天井仕上区分	（　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○ 施工調査	事前調査　○ 本工事　○ 別途 調査項目　○ 既存資料調査 調査範囲　○ 図示　○ 調査方法　○ 図示　○ ○ はつり工事は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。
	○ 既存躯体への穿孔	既存躯体に穿孔する場合は金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する。
	● 他工事又は他工事との取合い	工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
● エレベーター設備	● エレベーター仕様	仕様は、「Ⅲ．エレベーター仕様」による。
	○ エレベーター監視盤	○ 要　○ 有（既設）（仕様は、Ⅳ．エレベーター監視盤等による。） （設置場所：　　階　　室内総合盤組込）
	○ エレベーター警報盤	○ 要　○ 有（既設）（仕様は、Ⅳ．エレベーター監視盤等による。） （設置場所：　　階　　）
	○ 動力計測用電力量計	○ 要（動力計測用外部出力端子付とし、エレベーター１台ごとに設置する。 なお、電力量の表示は不要としてもよい。） ● 不要
○ 撤去工事	○ 撤去内容	○ 図示による。 ○

工事区分表（●印を適用する。）
凡例　Ａ：建築工事　Ｅ：電気設備工事　Ｍ：機械設備工事　EV：エレベーター設備工事

昇降機関連	Ａ	Ｅ	Ｍ	ＥＶ	備　　考
昇降路の躯体	●				
昇降路内ピット防水・集水桝	●				
点検用タラップ				●	
各階出入口穴あけ・同補強	●				
三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補修				●	
出入口扉・三方枠及び幕板				●	
出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材	●				
昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱 他昇降路内の鋼製部材一式				●	
昇降路がＳ造の時の中間ビーム及びブラケット受けピース	●				
機械室内大梁又は昇降路内にフックの取付（フックを含む）	●				
ホール押釦・インジケータ・鋼索などの壁開口	●				
点検用コンセント、煙感知器		●			
ＥＶ制御盤(ＥＶ機械室内又は昇降路内等)への動力・照明用電源、 アース、防災信号、拡声設備(館内放送用)の配管・配線工事		●			
ＥＶ監視盤又は警報盤から，ＥＶ制御盤までの制御及び インターホンの配管・配線工事		●			
ＥＶ制御盤又はＥＶ監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）及び 緊急地震速報受信用の配線工事		●			

Ⅲ． エレベーター仕様

項　目			
1	用途		乗用
2	ＪＩＳ記号		Ｐ-１１-ＣＯ
3	区分		ロープ式（普及型）機械室なし
4	積載量・定員		７５０ｋｇ（１１人）
5	かご内法寸法（mm） 間口×奥行×（約）高さ		１４００×１３５０×２２３５
6	出入口寸法（mm） 有効幅×高さ		８００×２１００
7	防火設備　注１） （乗場の戸等）		遮炎遮煙性能 有
8	戸開閉方式		２枚両引き戸（電動式）
9	速度(m/min)		６０
１０	停止箇所・停止階		4箇所停止（1、2、3、4階） ※4階は暗証番号入力制御とする
１１	電源		三相200V 単相100V
１２	電動機容量（ｋＷ）		製造者標準
１３	運転操作方式		乗合全自動方式
１４	管制運転機能	地震時管制運転 （閉じ込め時ﾘｽﾀｰﾄ運転）	有
１５	管制運転機能	火災時管制運転	有
１６	管制運転機能	停電時救出運転	有
１７	管制運転機能	非常用発電時管制運転 （自家発時管制運転）	無
１８	管制運転機能	ピット冠水時管制運転	有
１９	管制運転機能	浸水時管制運転	有
２０	管制運転機能	長尺物振れ管制運転	無
２１	管制運転機能	緊急地震速報連動運転	無
２２	かご仕上	天　井	デラックス天井（製造者標準）
		戸	鋼板化粧シート張り
		壁	鋼板化粧シート張り
		床	合成樹脂系タイル貼り
		かご操作盤	製造者の標準仕様
２３	乗場仕上	三方枠	大枠：鋼板塗装仕上・A種（指定色）
		戸	鋼板塗装仕上・A種（指定色）
		乗場ボタン	ステンレス（凸文字）、黄橙色ＬＥＤ
		幕　板	無
		ホールランタン	無
２４	防　犯　窓 注２）		無
２５	かご出入口検出装置		有（多光軸式）
２６	かご室内付加仕様　注３）		無
２７	かご室内のその他の付加仕様	各階案内表示板 注４）	有
		館内放送用スピーカー	有
		着脱式壁保護材	有
		戸開延長ﾎﾞﾀﾝ	有
		非常ﾎﾞﾀﾝ乱用防止ｶﾊﾞｰ	有

注１）遮炎遮煙性能を有する防火設備は、建築基準法第68条の26第1項及び同法施行令第112条第14項二号に適合したものとする。
注２）防犯窓は大型とし、網入り合わせガラスとする。サイズは、（　／　）図による。
注３）普及型エレベーターの場合で、かご室内付加仕様を有する場合は、標準仕様書第９編第２章 2.2.2.3かご室(カ)に示すものを全て備えるものとし、かご内専用操作盤上に専用インジケータを設置するカバープレートの仕上げは、製造者の標準仕様とする。また、乗場には専用乗場ボタンを設置し、カバープレートの仕上げは製造者の標準仕様とする。一般エレベーターの場合で、かご室内付加仕様を有する場合は、標準仕様書第９編第２章 2.2.2.3かご室内(カ)に示すものを全て備えるものとする。また、乗場には専用乗場ボタンを設置する。
注４）各階案内表示板は、サイン工事とする。
注５）本工事で使用する電線・ｹｰﾌﾞﾙは原則としてEM電線とする。(使用箇所は製造者標準とする。)

Ⅳ． エレベーター監視盤等

○ エレベーター監視盤

形式	○ 自立式　○ 壁掛形　○ デスクトップ形　○ 別途総合盤組込形
表示・操作部	○ 表示・操作パネル（グラフィックパネル）　○ 液晶ディスプレイ
電源識別表示	○ 商用表示灯　○ 発電表示灯
運行状態表示	○ かご位置表示灯　○ かご方向表示灯
管制運転表示	以下の管制運転の運転中とその完了表示を行う。 ○ 地震時（閉じ込め時リスタート）　○ 火災時　○ 停電時救出 ○ 非常用発電時　○ ピット冠水時　○ 浸水時　○ 自動診断仮復旧
遠隔操作スイッチ（キースイッチ）	以下のスイッチを監視盤に備えるものとする。 ○ 各種管制運転を行う操作スイッチ　○ 運転及び休止の切換スイッチ ○ 基準階切換スイッチ
ボタン類	以下のボタンを監視盤に備えるものとする。 ○ 故障警報リセットボタン（警報内蔵）　○ ランプチェックボタン
インターホン（親機）	○ 監視盤組込（　　回線）　○ 別置（　　回線）
交流無停電 電源装置	○有（停電保持時間　　分）　●無
電源	単相１００Ｖ
その他	○ 群管理故障灯

○ エレベーター警報盤

形式	○ 壁掛形　● 別途総合盤組込形
管制運転表示	以下の管制運転の運転中とその完了表示を行う。 ● 地震時（閉じ込め時リスタート）　● 火災時　● 停電時救出 ○ 非常用発電時　● ピット冠水時　● 浸水時　● 自動診断仮復旧
遠隔操作スイッチ（キースイッチ）	以下のスイッチを警報盤に備えるものとする。 ● 各種管制運転を行う操作スイッチ　● 運転及び休止の切換スイッチ
ボタン類	以下のボタンを警報盤に備えるものとする。 ● 故障警報リセットボタン（警報内蔵）　● ランプチェックボタン
インターホン（親機）	● 警報盤組込（　3　回線）　● 別置（　3　回線　1台宿直室）
蓄電池	● 有（製造者の標準仕様）　○無
電源	単相１００Ｖ

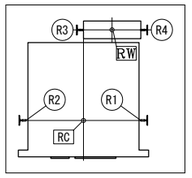
特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 あい設計 株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事 / 当初・変更・完成
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 / 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課	図面名称 EV特記仕様書 / 縮尺 A1：－ A3：－ / 図番 EV001

電源設備（１台当たり）　【電気工事】					
記号	種別	線種等		引込み高さ	引出し線長さ
	動力用電源	３φ　３Ｗ　ＡＣ　　Ｖ200　Ｈｚ　60		1FL-100	3500mm
		幹線サイズ（mm²）	5.5 ｜ 8 ｜ 14		
		幹線こう長（m）	37 ｜ 53 ｜ 93		
		電気室ブレーカ（Ａ）	40		
		接地線（mm ）²	3.5		
		電源設備容量（ｋＶＡ）	6.0		
		制御盤内降圧トランス容量（ｋＶＡ）	0.15		
	照明用電源	１φ　２Ｗ　ＡＣ　　Ｖ100　Ｈｚ　60			
		照明用電源容量（ｋＶＡ）	1.0		
	ピットコンセント	ＡＣ１００Ｖ　１０Ａ　１個		1FL-200	
	電話回線用配線	別途打ち合わせによる		1FL+100	4500mm
	弱電関係用配線			1FL+100	8000mm

高調波対策

高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、できるだけ建屋側でも下記対策をお願いします。

1．漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
　感度電流値は昇降機1台あたり50mA（感度設定値100mA相当）の
　漏洩電流として設定下さい。
2．昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも
　「インバータ対応型」を使用して下さい。
3．昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
　やむを得ず平行配線する場合は、１m以上離して下さい。
4．昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
5．昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
　（接地極は同一で構いません。）
6．昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。



ピット部反力（ｋＮ）：長期荷重

R1	R2	R3	R4
21	22	37	16

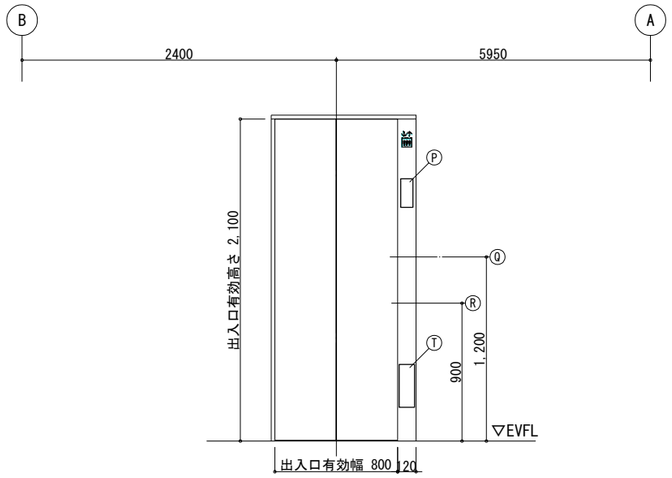
ピット床衝撃力（ｋＮ）：短期荷重

RC	RW
87	77

レールに作用する荷重値　（ｋＮ）

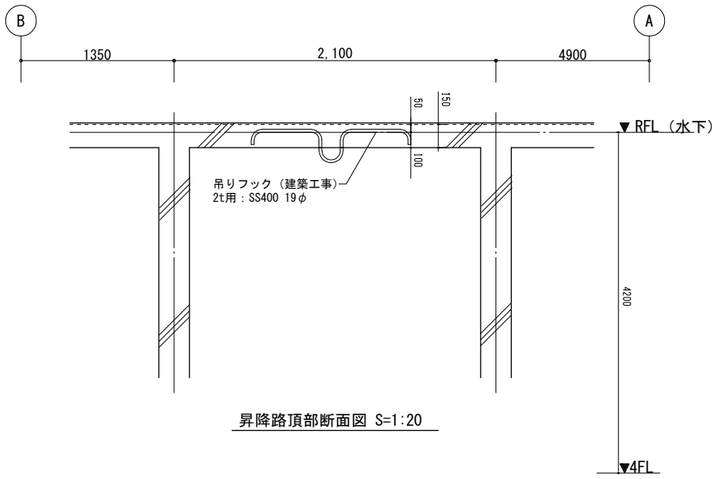
		Ｐｘ	Ｐｙ
Ｐｙ　Ｐｘ	かご	5.1	3.4
	おもり	7.3	3.7

短期荷重による建築部材のたわみは
５mm以下としてください

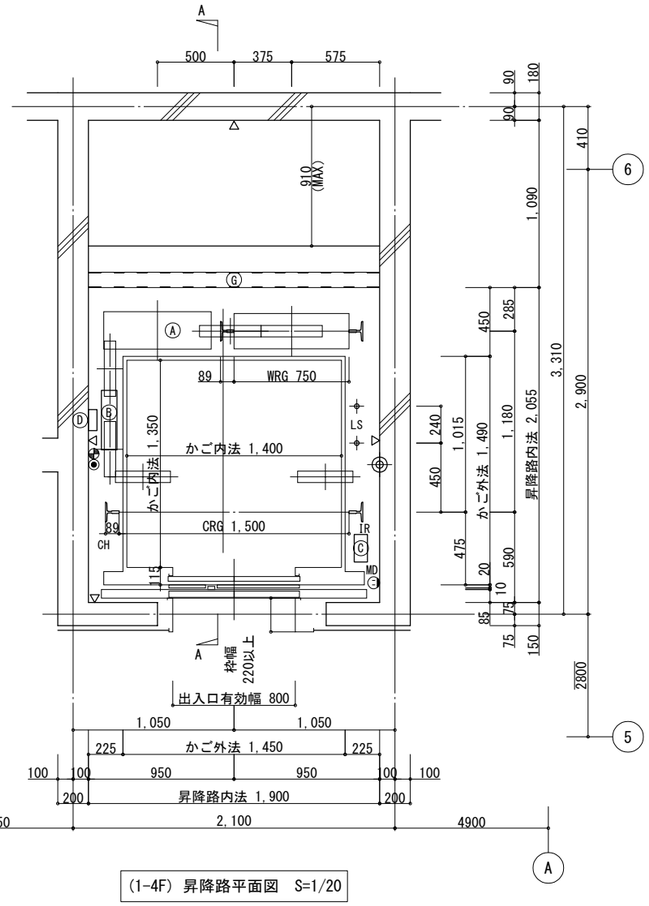


(1-4F) 出入口正面図　S=1/20

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯
T	メンテナンスツールボックス（1Fのみ）



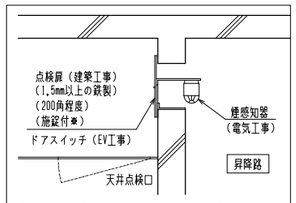
昇降路頂部断面図 S=1:20



(1-4F) 昇降路平面図　S=1/20

注：ピット内は、塗膜防水仕上願います。
　　△：防水仕上面を示す。

A	巻上機	(EV工事)
B	制御盤	(EV工事)
C	受電箱・ピットタラップ	(EV工事)
D	地震感知器	(EV工事)
G	中間ビーム	(EV工事)



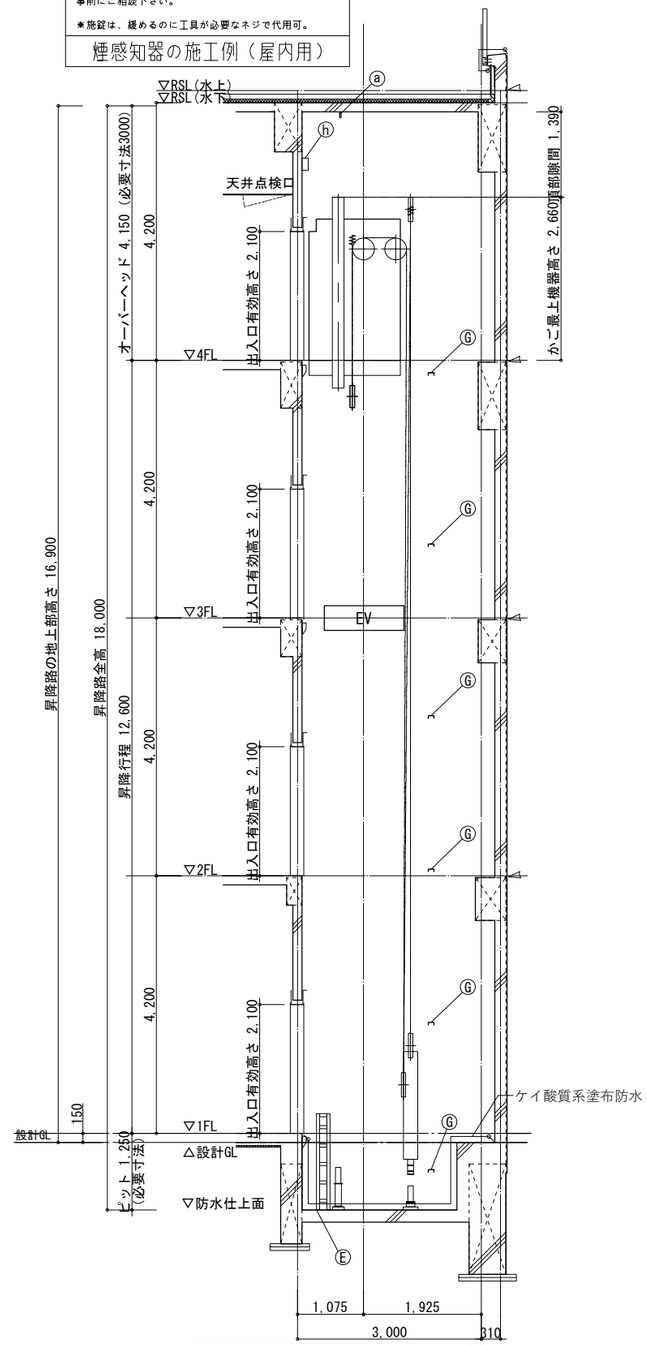
昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）
点検口の位置は、塔内機器と干渉する恐れがあるため、事前にご相談下さい。

＊施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

煙感知器の施工例（屋内用）

昇降路断面図　S=1/50

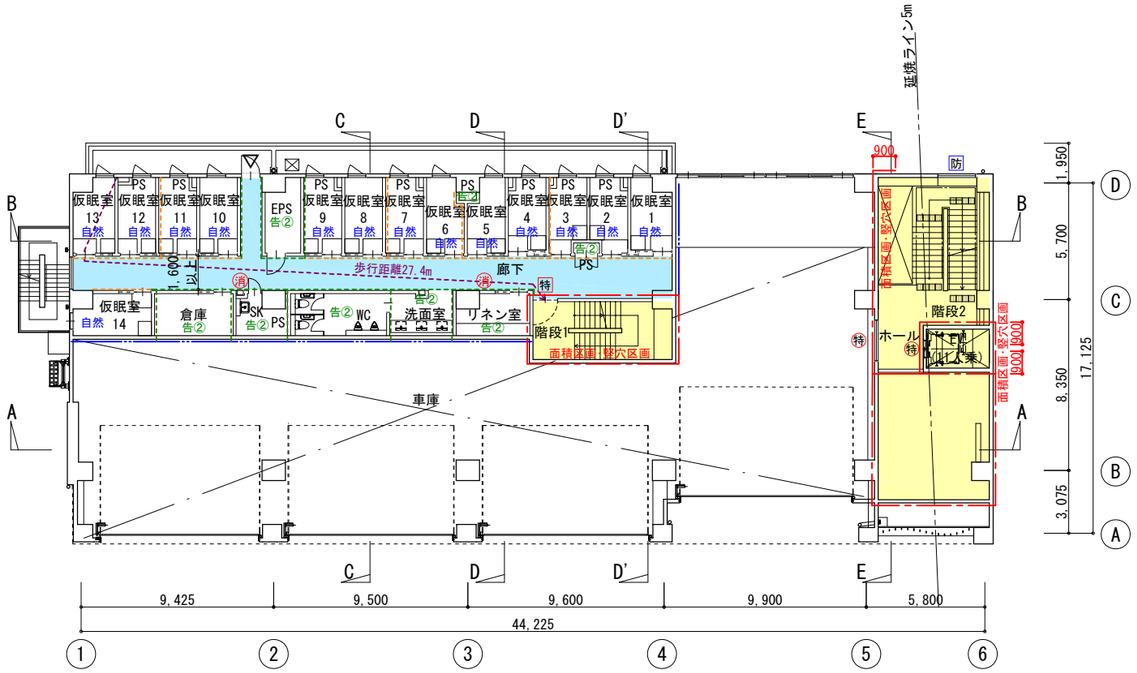
a	20kN 吊りフック	(建築工事)
h	煙感知器	(電気工事)
E	タラップ	(EV工事)
G	中間ビーム	(EV工事)



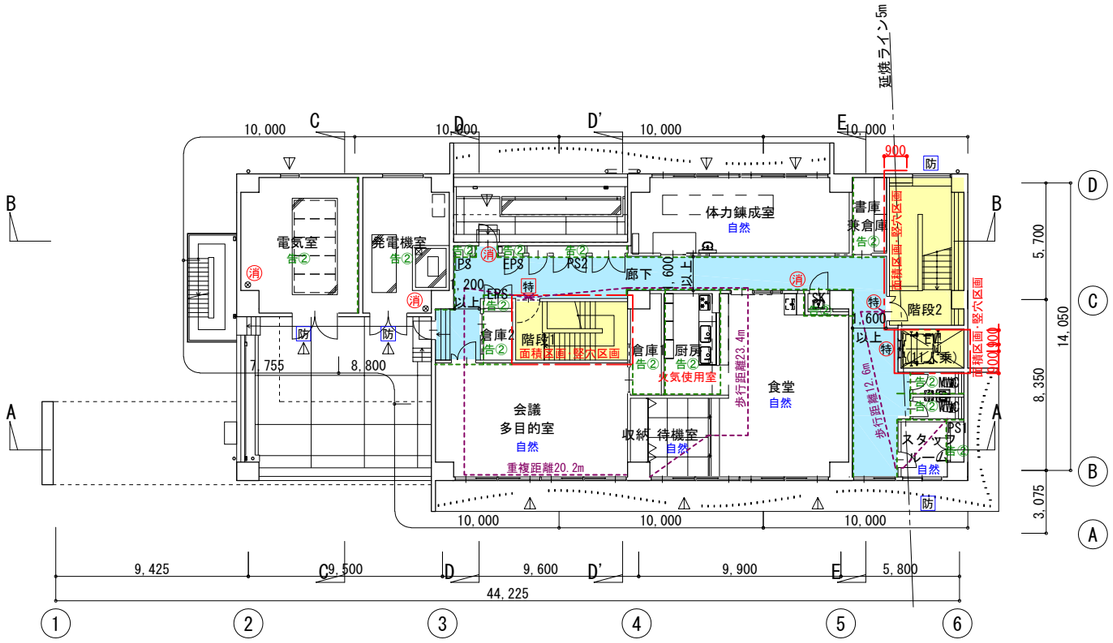
A-A断面詳細図　S=1/50

▷シーリング

特記事項	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	実習生	担当	係長	担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
・	管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 清	明石市都市局住宅・建築室営繕課						図面名称 EV詳細図	縮尺 A1：図示 A3：図示/2	図番 EV002

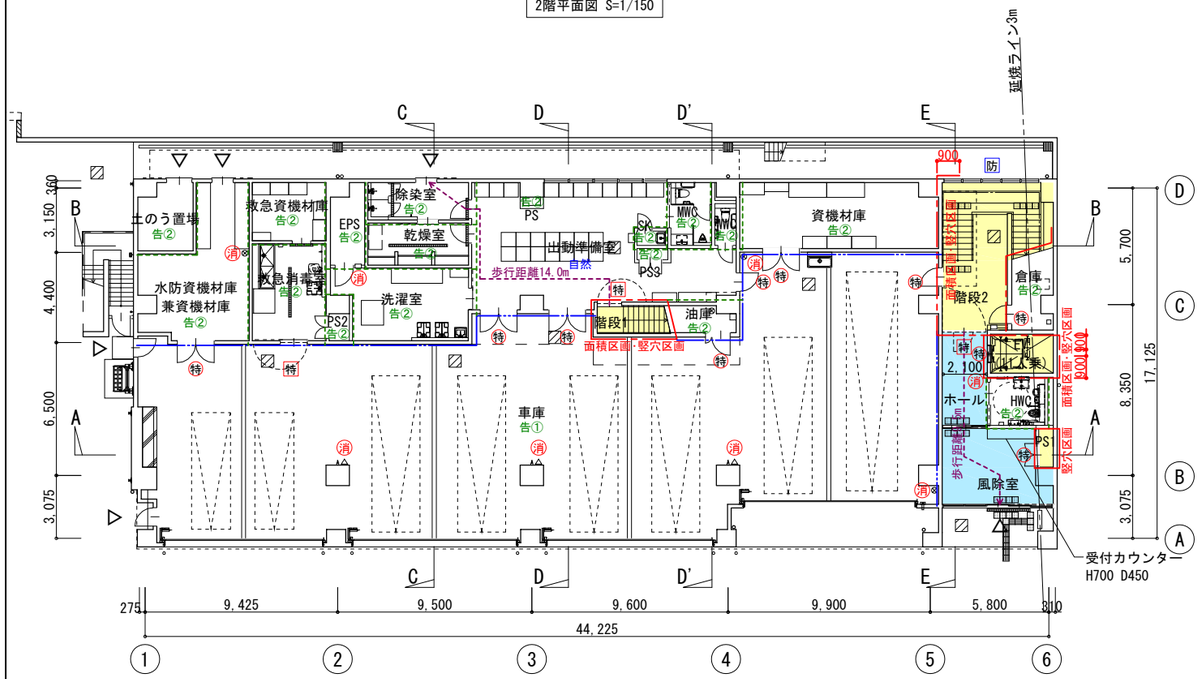


2階平面図 S=1/150

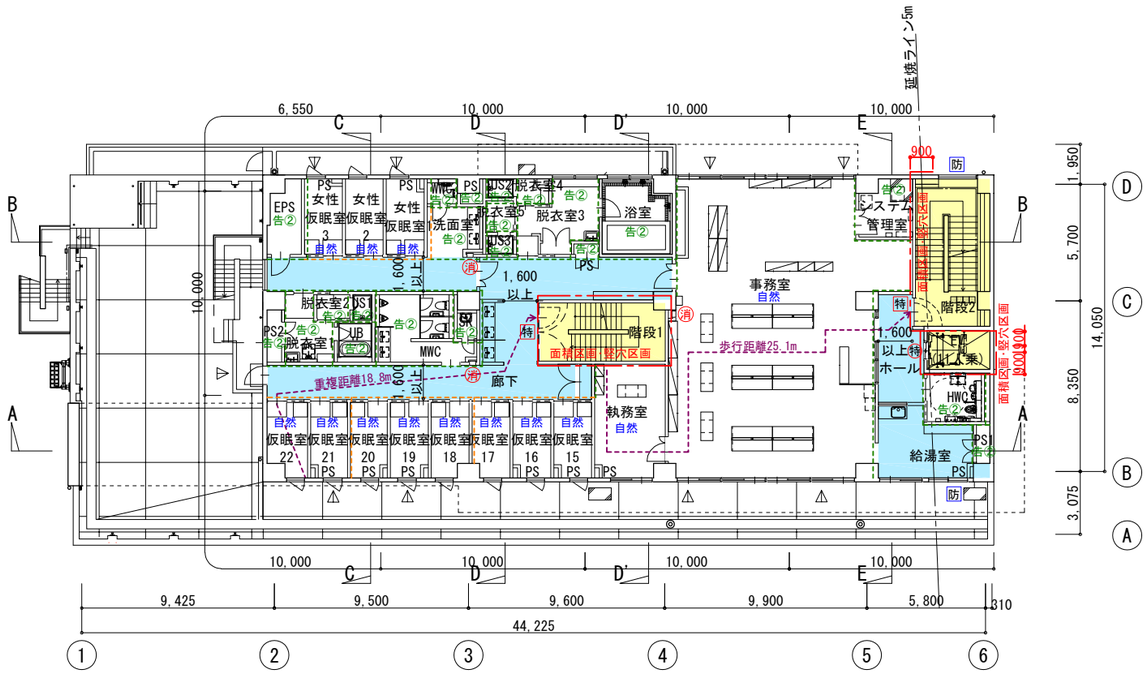


4階平面図 S=1/150

※4階は消防諸室を計画しており、一般市民の立入りがないことから、
特定施設整備基準を遵守しない



1階平面図 S=1/150



3階平面図 S=1/150

階段1(1～2F)

有効幅	1,251
蹴上	200
踏面	250
手摺	
1段手摺(両側)	
出幅	72
高さ	750

階段1(2～3F)

有効幅	1,266
蹴上	200
踏面	250
手摺	
1段手摺(両側)	
出幅	72
高さ	750

階段1(3～4F)

有効幅	1,266
蹴上	200
踏面	250
手摺	
1段手摺(両側)	
出幅	72
高さ	750

階段2(1～4F)

有効幅	1,380
蹴上	175
踏面	280
手摺	
2段手摺(両側)	
出幅	72
高さ	650 850

■歩行距離(内装不燃材料とする)

【1階(避難階)】
- 一般居室
  歩行距離≦100m
- 無窓居室：該当なし
- 階段
  歩行距離≦50m

【2～4階】
- 一般居室
  歩行距離≦50m+10m(内装準不燃)
  重複距離≦25m+ 5m(内装準不燃)
- 無窓居室：該当なし

※防煙壁：間仕切壁、天井面から50cm以上下方に突出した垂れ壁等は不燃材料で造り、又は覆われたもの
※面積区画≦1500㎡(階ごとに防火区画)
※廊下の有効幅は取手等の突出物を除いた幅で指定幅員を確保すること

特記事項							
	防火区画(耐火1時間)(兼防煙区画)		避難経路		自然排煙設備(廊下)	告②	排煙免除 告1436-4-ヘ(2)
	異種用途区画(耐火1時間)(兼防煙区画)	特	特定防火設備(遮煙・随閉(煙感))	自然	自然排煙設備(居室、室)	消	消火器
	114条区画(耐火1時間)(兼防煙区画)	特	特定防火設備(遮煙・常閉)		排煙免除(竪穴) 令126の2-1-3	⚠	非常用進入口 代替進入口
	防煙区画(防煙垂れ壁：1F=H500、2～4F=H600)	防	防火設備	告①	排煙免除 告1436-4-ヘ(1)		

株式会社 あい設計
管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学
設計者 佐藤 貞清

株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

図面名称 法チェック図

縮尺 A1:1/150 A3:1/300

当初・変更・完成

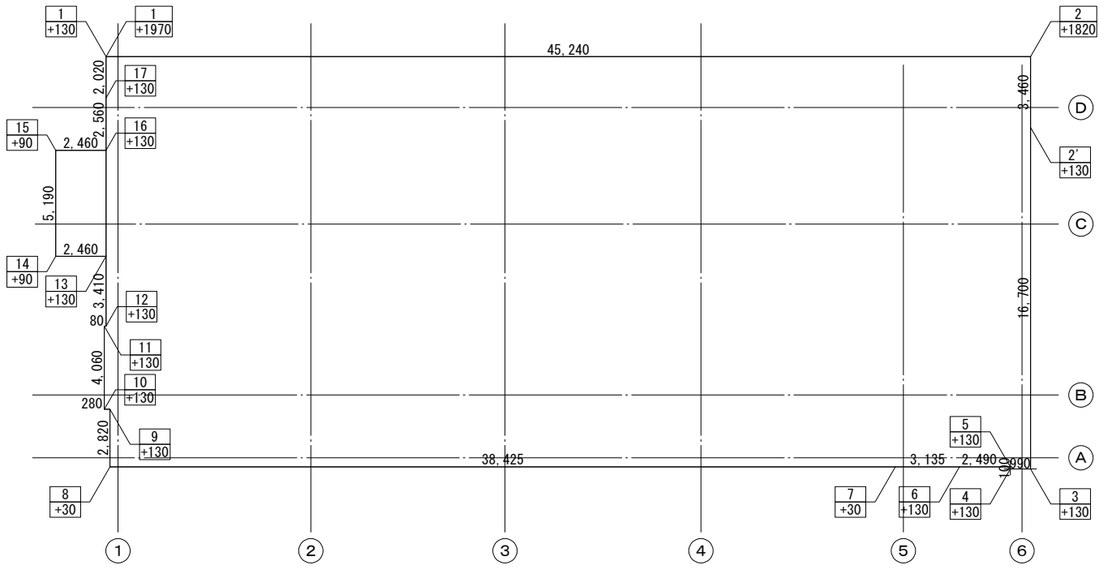
図番 0001

■平均地盤面算定表

地点A		地点B	A地点高さ(m)（設計GLより）		B地点高さ(m)（設計GLより）		地点間距離(m)				基準面積(㎡)
1	～	2	(1.970	+	1.820)	×	45.240	×	1/2	=	85.730
2	～	2'	(1.820	+	0.130)	×	3.460	×	1/2	=	3.374
2'	～	3	(0.130	+	0.130)	×	16.700	×	1/2	=	2.171
3	～	4	(0.130	+	0.130)	×	0.990	×	1/2	=	0.129
4	～	5	(0.130	+	0.130)	×	0.100	×	1/2	=	0.013
5	～	6	(0.130	+	0.130)	×	2.490	×	1/2	=	0.324
6	～	7	(0.130	+	0.030)	×	3.135	×	1/2	=	0.251
7	～	8	(0.030	+	0.030)	×	38.425	×	1/2	=	1.153
8	～	9	(0.030	+	0.130)	×	2.820	×	1/2	=	0.226
9	～	10	(0.130	+	0.130)	×	0.280	×	1/2	=	0.036
10	～	11	(0.130	+	0.130)	×	4.060	×	1/2	=	0.528
11	～	12	(0.130	+	0.130)	×	0.080	×	1/2	=	0.010
12	～	13	(0.130	+	0.130)	×	3.410	×	1/2	=	0.443
13	～	14	(0.130	+	0.090)	×	2.460	×	1/2	=	0.271
14	～	15	(0.090	+	0.090)	×	5.190	×	1/2	=	0.467
15	～	16	(0.090	+	0.130)	×	2.460	×	1/2	=	0.271
16	～	17	(0.130	+	0.130)	×	2.560	×	1/2	=	0.333
17	～	1	(0.130	+	0.130)	×	2.020	×	1/2	=	0.263
合計							135.880				95.990

95.99045 ÷ 135.88 = 0.70644

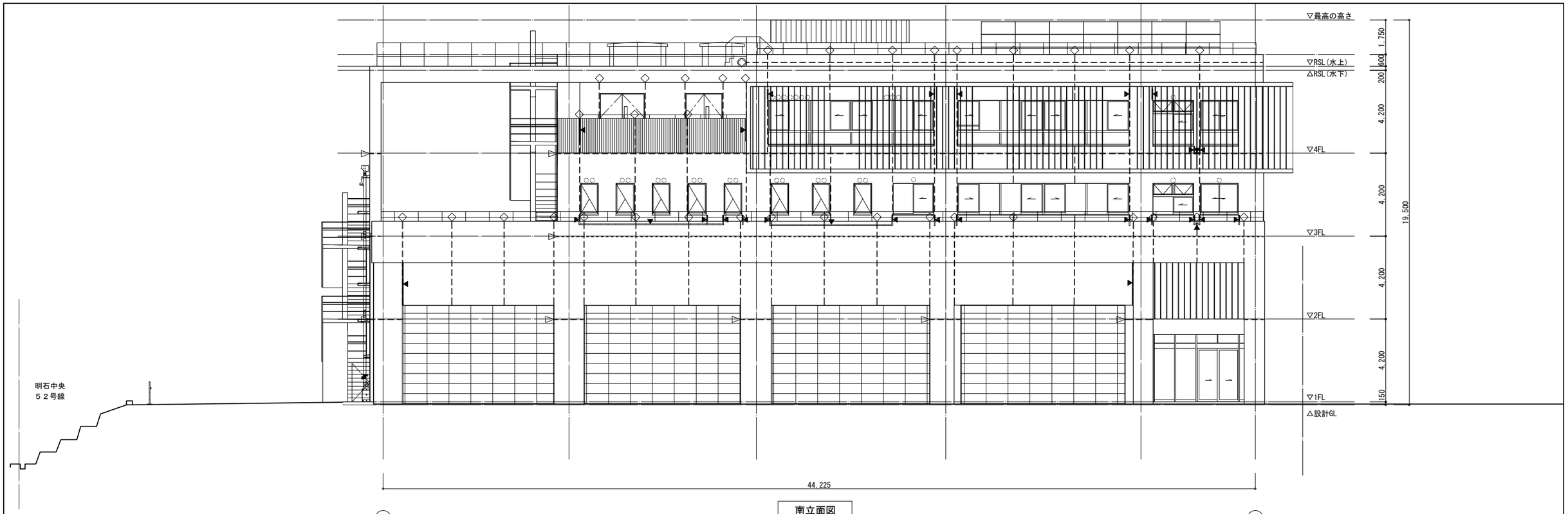
平均地盤面高さ＝設計GL+700とする



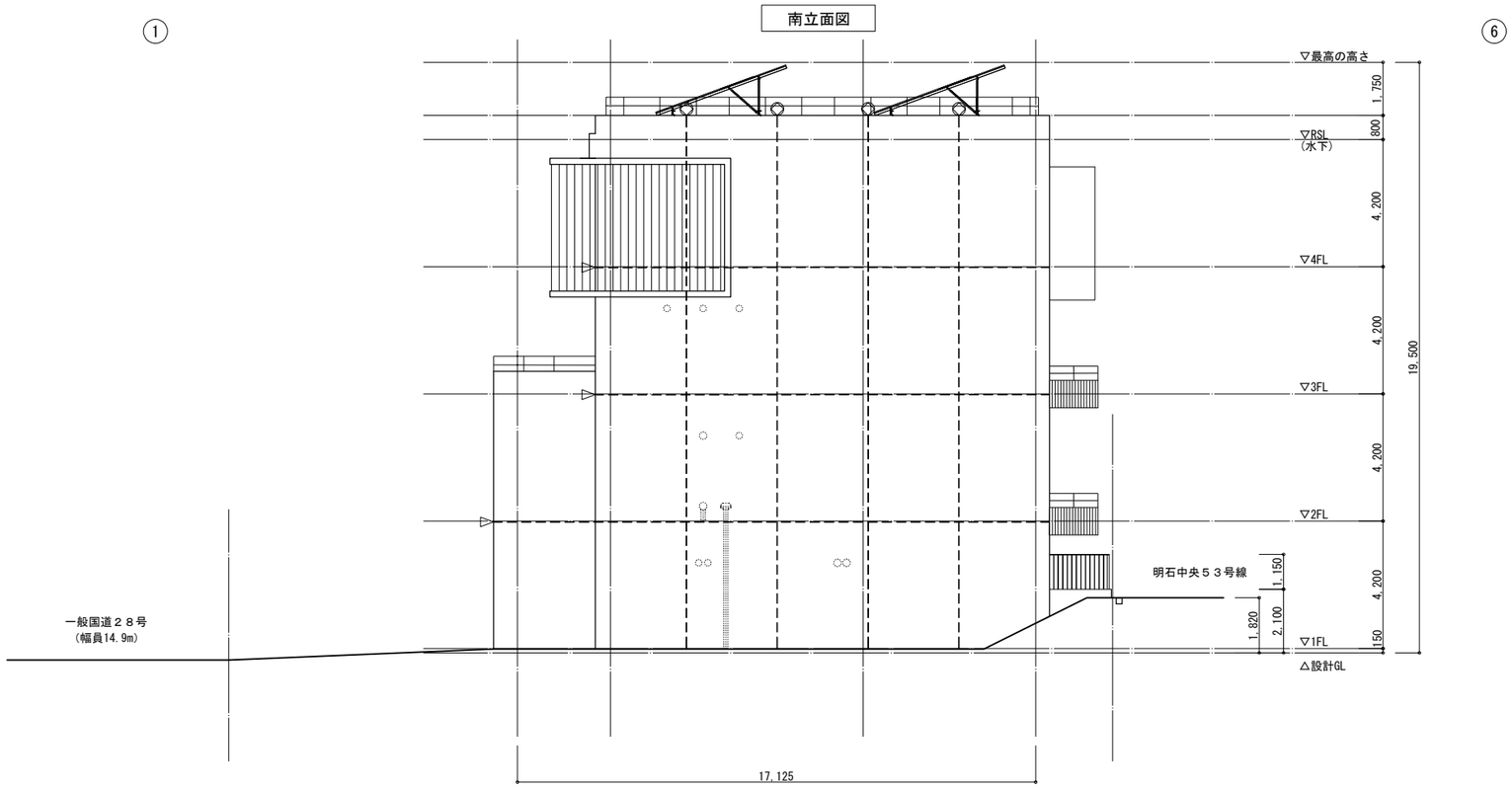
■凡例

※	地点番号を示す
※	設計GLからの仕上高さを示す

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社あい設計	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号 TEL 06-6366-0241	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当	製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成
		管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤 貞清	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 平均地盤面算定表 縮尺 A1：－ A3：－	図番 0002



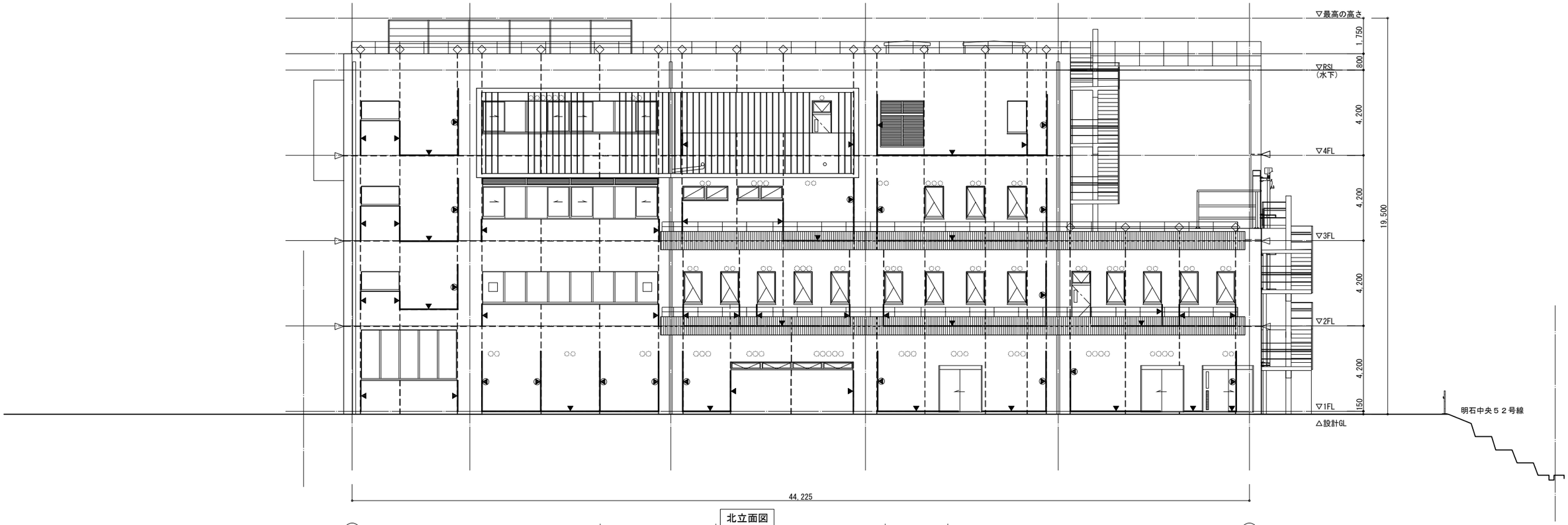
南立面図



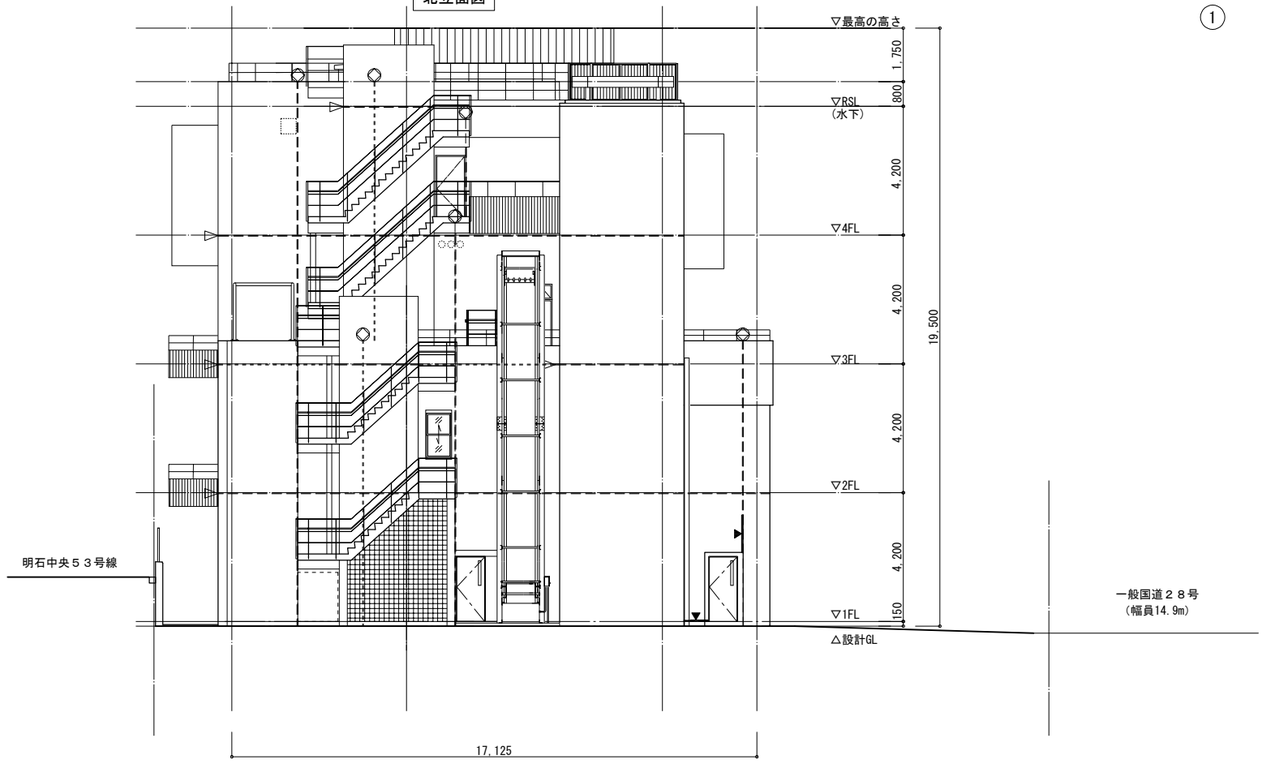
東立面図

■凡例	
	構造スリット
○	ベントキャップ(機械設備工事)
▷----	打継目地25×20
▷------	打継目地(見え隠れ)25×20
◇----	誘発目地25×20
◇------	誘発目地(見え隠れ)25×20
◎----	化粧目地20×10
◎------	化粧目地(見え隠れ)20×10

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社あい設計 管理建築士 一級建築士 第354634号 三谷 学	設計者 佐藤	株式会社 あい設計 大阪支社 一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号 TEL 06-6366-0241	課長	担当課長	係長	担当	明石市都市局住宅・建築室営繕課
製作年月日 2025年1月	工事名称 新中崎分署建設工事	当初・変更・完成	図面名称 目地・スリット図(1)	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図番 0003				



北立面図



西立面図

Ⓓ Ⓐ

■凡例	
	構造スリット
	ベントキャップ(機械設備工事)
	打継目地25×20
	打継目地(見え隠れ)25×20
	誘発目地25×20
	誘発目地(見え隠れ)25×20
	化粧目地20×10
	化粧目地(見え隠れ)20×10

特記事項

株式会社あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録 (二)第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

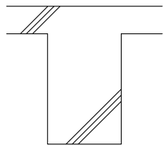
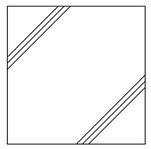
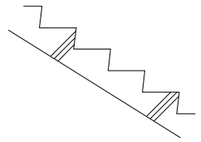
工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

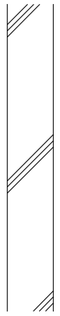
図面名称 目地・スリット図(2)

縮尺 A1:1/100 A3:1/200

図番 0004

梁	柱	屋根	床	階段
 RC造（1時間耐火）	 RC造（1時間耐火）	RC造（30分耐火）	RC造（1時間耐火） スラブ厚70mm以上	 RC造（30分耐火）
建告第1399号第4第三号ロ	建告第1399号第2第三号ロ	建告第1399号第5第一号	建告第1399号第3第二号イ	建告第1399号第6第一号

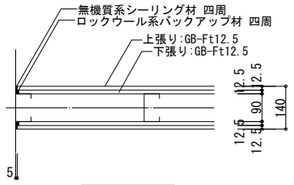
壁（外壁及び異種用途区画）



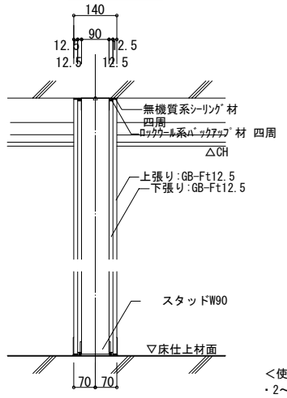
RC造（1時間耐火）
壁厚70mm以上

建告第1399号第1第二号イ

壁（防火区画） S=1:10



平面詳細図

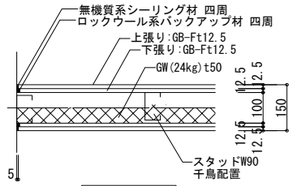


<使用室>
・2～4階：階段1
・3～4階：階段2

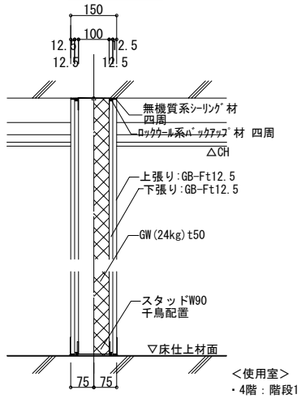
断面詳細図

※仕上は仕上表による

吉野せっこう S12 FP060NP-0483(1) 同等品



平面詳細図

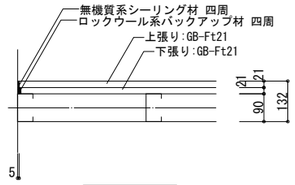


<使用室>
・4階：階段1

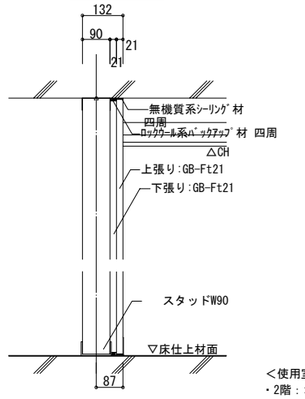
断面詳細図

※仕上は仕上表による

吉野せっこう S12·WI FP060NP-0483(2) 同等品



平面詳細図



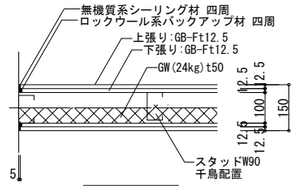
<使用室>
・2階：ホール

断面詳細図

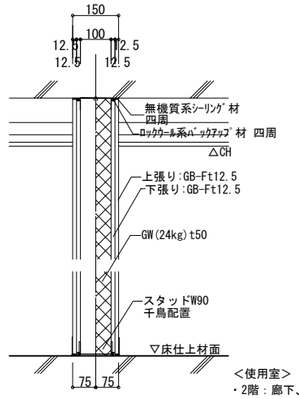
※仕上は仕上表による

吉野せっこう Sウォールワン FP060NP-0497 同等品

壁（114条区画） S=1:10



平面詳細図



<使用室>
・2階：廊下、階段1
仮眠室
・3階：廊下、階段1
仮眠室

断面詳細図

※仕上は仕上表による

吉野せっこう S12·WI FP060NP-0483(2) 同等品

特記事項

株式会社 あい設計
株式会社 あい設計 大阪支社
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第23122号
TEL 06-6366-0241
管理建築士
一級建築士 第354634号
三谷 学
設計者 佐藤 貞清

課長 担当課長 係長 担当

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年1月

工事名称 新中崎分署建設工事

当初・変更・完成

図面名称 耐火リスト

縮尺 A1:図示 A3:図示/2

図番 0005